

基礎数学演習 Exercises in Basic Mathematics				
小林 俊 公 (コバヤシ トシマサ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ハ	前期(30回)	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 この講義は微積分学への準備となるように意図されている。微積分の講義では説明が省略されるか簡単に済まされるものに対して詳しい説明と演習を行う。微積分学は瞬間の変化を記述し、微小なものを足し合わせる方法を教えている。その動機付けとなるような問題も扱いたいと思っている。そのため物理からの簡単な応用問題も取り上げたいと思っている。主な目標は(1)種々の量を文字式で表現できる。(2)初等関数の性質を利用した計算ができる。(3)平行移動、対称移動を利用して関数のグラフが描ける。
 学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点
 教科書に基づく講義と演習を中心に進める。これと並行して、各単元の内容の演習を演習教材(ワークブック)を用いて次のサイクルで実施する：
 (1) 授業で指定された演習問題に解答し、(2) 教員の評価を受けること。正解するまでやり直し、(3) その単元の全問題に正答した時点で、教員から検印を貰う。

科目学習の効果(資格)
 微積分、線形代数のための基礎を身につけて、専門科目で用いられる数式理解に役立てる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 整数・有理数・無理数
【内容・方法等】 ・オリエンテーション
・整数・有理数・無理数の諸性質
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第1.1~1.4章 レポート課題
- 第2回 【授業テーマ】 複素数・無理数
【内容・方法等】 ・複素数の四則演算
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第1.5~1.6章 レポート課題
- 第3回 【授業テーマ】 複素平面と極形式
【内容・方法等】 ・複素数の極形式表示
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第1.7章 レポート課題
- 第4回 【授業テーマ】 文字式
【内容・方法等】 ・文字式の展開・因数分解
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第2.1~2.3章 レポート課題
- 第5回 【授業テーマ】 2次方程式
【内容・方法等】 ・解の公式等による2次方程式の解法
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第2.4章 レポート課題
- 第6回 【授業テーマ】 高次方程式
【内容・方法等】 ・因数定理を用いた高次方程式の解法
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第2.4章 レポート課題
- 第7回 【授業テーマ】 1次関数(1)
【内容・方法等】 ・直線の式、直交条件
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第3.1章 レポート課題
- 第8回 【授業テーマ】 1次関数(2)
【内容・方法等】 ・1次関数の応用
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第3.1章 レポート課題
- 第9回 【授業テーマ】 2次関数
【内容・方法等】 ・グラフ
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第3.2章 レポート課題
- 第10回 【授業テーマ】 無理関数
【内容・方法等】 ・グラフ
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第3.2章 レポート課題
- 第11回 【授業テーマ】 分数式
【内容・方法等】 ・計算・部分分数分解
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第4.1-4.2章 レポート課題
- 第12回 【授業テーマ】 分数式
【内容・方法等】 ・グラフ
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第4.2章
- 第13回 【授業テーマ】 三角比(1)
【内容・方法等】 ・一般角、三平方の定理とその応用
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第5.1章 レポート課題
- 第14回 【授業テーマ】 三角比(2)
【内容・方法等】 ・三角関数の定義、グラフ
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第5.2章 レポート課題
- 第15回 【授業テーマ】 三角比(3)
【内容・方法等】 ・三角比の計算、余弦定理
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第5.2~5.3章 レポート課題
- 第16回 【授業テーマ】 絶対値(1)
【内容・方法等】 ・絶対値の基本的性質
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第6.1章 レポート課題

- 第17回 【授業テーマ】 絶対値(2)
【内容・方法等】 ・絶対値付きの方程式の解法、グラフ
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第6.2~6.3章 レポート課題
- 第18回 【授業テーマ】 指数関数(1)
【内容・方法等】 ・指数法則
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第7.1章 レポート課題
- 第19回 【授業テーマ】 指数関数(2)
【内容・方法等】 ・指数関数のグラフ、方程式の解法
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第7.1章 レポート課題
- 第20回 【授業テーマ】 対数関数(1)
【内容・方法等】 ・対数の定義、底の変換公式
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第7.2章 レポート課題
- 第21回 【授業テーマ】 対数関数(2)
【内容・方法等】 ・対数関数を含む方程式
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第7.2章 レポート課題
- 第22回 【授業テーマ】 対数関数(3)
【内容・方法等】 ・対数関数のグラフ
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第7.2章 レポート課題
- 第23回 【授業テーマ】 三角関数(1)
【内容・方法等】 ・加法定理
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第8.1章 レポート課題
- 第24回 【授業テーマ】 三角関数(2)
【内容・方法等】 ・加法定理を用いた計算問題
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第8.1章 レポート課題
- 第25回 【授業テーマ】 三角関数(3)
【内容・方法等】 ・加法定理から導かれる種々の公式
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第8.2章 レポート課題
- 第26回 【授業テーマ】 三角関数(4)
【内容・方法等】 ・加法定理を用いた三角関数のグラフの描き方
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第8.3章 レポート課題
- 第27回 【授業テーマ】 数列
【内容・方法等】 ・等差数列、等比数列
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第9.1~9.3章 レポート課題
- 第28回 【授業テーマ】 和の公式
【内容・方法等】 ・等差数列、等比数列の和、シグマ記号に慣れる
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第9.2~9.4章 レポート課題
- 第29回 【授業テーマ】 数学的帰納法
【内容・方法等】 ・数学的帰納法を用いた証明
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第9.5章 レポート課題
- 第30回 【授業テーマ】 総合演習
評価方法(基準)

全単元の検印を受けて演習教材(ワークブック)を完遂した者のみを成績評価の対象とし、演習、小テスト、演習教材(ワークブック)で約30%、定期テスト(中間、期末)で約70%の割合で判定し評価する。

教材等
教科書…数学の基礎(基礎理工学機構編) 日々の演習(基礎理工学機構編)
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ
 教科書の問題を自分で何度も解いて数式を扱う経験を十分に積むよう努力してください。演習は必ず自分で解こうと努力し、わからないところは質問する積極的な姿勢を望みます。

関連科目
 数式を用いるすべての科目、特に微積分。

担当者の研究室等
 3号館3階 数学研究室

微積分 Calculus I				
伊 東 恵 一 (イトウ ケイイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ニ	前期(30回)	選択	4

授業概要・目的・到達目標
 整式、有理式、無理関数、3角、指数、対数関数などの基本的な関数について、微分の計算法、テイラー展開の求め方、不定積分の計算法を習得する。・到達目標1)基本的な関数の微分ができる。2)関数の挙動を求めグラフが描ける3)基本的な関数の不定積分ができる。
 学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点
 進捗の具合により講義と演習を適宜配分。左に挙げた内容を解説し、演習で理解を深める。専門学科で必要とされる微積分の

素養、計算能力を身につけるために授業には必ず出席し、予習復習も励行すること。試験は中間、期末の計2回

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(1)
【内容・方法等】 ・座標平面・点の表示・点の移動の表示
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(2)
【内容・方法等】 ・関数に関する用語・簡単な関数のグラフ
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】 関数の極限
【内容・方法等】 ・実数の性質・極限の定義・極限の計算方法
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】 関数の連続性
【内容・方法等】 ・連続性の定義・連続関数の性質
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】 微分係数
【内容・方法等】 ・微分係数の定義・接線の方程式
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】 導関数
【内容・方法等】 ・導関数の定義・導関数の求め方・整式の導関数
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 導関数の計算方法
【内容・方法等】 ・積、商の導関数
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第8回 【授業テーマ】 合成関数の微分高次導関数
【内容・方法等】 ・合成の方法・合成関数の微分の計算
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第9回 【授業テーマ】 逆関数の微分
【内容・方法等】 ・逆関数の定義・逆関数の微分の計算
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第10回 【授業テーマ】 指数関数
【内容・方法等】 ・指数法則・ネピアの数 e ・指数関数の定義
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第11回 【授業テーマ】 指数関数の微分
【内容・方法等】 ・ $x=0$ での微分係数・指数関数の微分
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第12回 【授業テーマ】 対数関数
【内容・方法等】 ・自然対数の定義・対数の性質
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第13回 【授業テーマ】 対数関数の微分
【内容・方法等】 ・ $x=1$ での微分係数・導関数の求め方・対数微分法
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第14回 【授業テーマ】 3角関数
【内容・方法等】 ・弧度法・3角関数の定義・諸性質と公式
【事前・事後学習課題】 第4章の間、問題 課題レポート
- 第15回 【授業テーマ】 3角関数・逆3角関数の微分
【内容・方法等】 ・ $\sin x$ の微分・3角関数の微分・逆3角関数の微分
【事前・事後学習課題】 第4章の間、問題 課題レポート
- 第16回 【授業テーマ】 高次導関数(1)
【内容・方法等】 ・高次導関数の定義・多項式の高次導関数
【事前・事後学習課題】 第5章の間、問題 課題レポート
- 第17回 【授業テーマ】 高次導関数(2)
【内容・方法等】 ・指数、対数、3角関数の高次導関数・ライプニッツの公式
【事前・事後学習課題】 第5章の間、問題 課題レポート
- 第18回 【授業テーマ】 平均値の定理
【内容・方法等】 ・ロルの定理・平均値の定理
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
- 第19回 【授業テーマ】 関数の挙動(1)
【内容・方法等】 ・関数の増減・極大、極小
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
- 第20回 【授業テーマ】 関数の挙動(2)
【内容・方法等】 ・グラフの凹凸・変曲点
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
- 第21回 【授業テーマ】 関数の展開(1)
【内容・方法等】 ・テイラー展開・マクローリン展開
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
- 第22回 【授業テーマ】 関数の展開(2)
【内容・方法等】 ・指数関数、3角関数、対数関数の展開・2項定理の一般化
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
- 第23回 【授業テーマ】 原始関数(1)
【内容・方法等】 微分の逆演算としての不定積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第24回 【授業テーマ】 原始関数(2)
【内容・方法等】 ・整式、有理式的不定積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第25回 【授業テーマ】 原始関数(3)
【内容・方法等】 ・3角関数の不定積分

- 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第26回 【授業テーマ】 原始関数(4)
【内容・方法等】 ・指数関数、対数関数の不定積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第27回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(1)
【内容・方法等】 ・置換積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第28回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(2)
【内容・方法等】 ・部分積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第29回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(3)
【内容・方法等】 ・分数関数の不定積分・無理関数の不定積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第30回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(4)
- 評価方法 (基準)
演習、小テストで約30%、定期テスト(中間、期末)で約70%判定し評価する。

教材等
教科書…微積分基礎 寺本恵昭(共立出版) 2,310円(税込)
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ
講義内容に関することはどんな事でも遠慮なく質問すること。いつでも親切に答えるようにしています。参考書を貸し出しますので相談に来て下さい。また、スチューデントアワー(月-金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

関連科目
微積分Ⅱ、線形代数Ⅰ・Ⅱ

担当者の研究室等
3号館3階 数学研究室

微積分I Calculus I				
中津了勇(ナカツ トシオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ホ	前期(30回)	選択	4

授業概要・目的・到達目標
整式、有理式、無理関数、3角、指数、対数関数などの基本的な関数について、微分の計算法、テイラー展開の求め方、不定積分の計算法を習得する。・到達目標1)基本的な関数の微分ができる2)関数の挙動を求めグラフが描ける3)基本的な関数の不定積分ができる。
学科の学習・教育目標の対応：[D]

授業方法と留意点
進捗の具合により講義と演習を適宜配分。左に挙げた内容を解説し、演習で理解を深める。専門学科で必要とされる微積分の素養、計算能力を身につけるために授業には必ず出席し、予習復習も励行すること。試験は中間、期末の計2回

科目学習の効果(資格)
本講義の内容は後期の微積分IIを習得するのに引き継がれる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(1)
【内容・方法等】 ・座標平面・点の表示・点の移動の表示
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(2)
【内容・方法等】 ・関数に関する用語・簡単な関数のグラフ
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】 関数の極限
【内容・方法等】 ・実数の性質・極限の定義・極限の計算方法
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】 関数の連続性
【内容・方法等】 ・連続性の定義・連続関数の性質
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】 微分係数
【内容・方法等】 ・微分係数の定義・接線の方程式
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】 導関数
【内容・方法等】 ・導関数の定義・導関数の求め方・整式の導関数
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 導関数の計算方法
【内容・方法等】 ・積、商の導関数
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第8回 【授業テーマ】 合成関数の微分高次導関数
【内容・方法等】 ・合成の方法・合成関数の微分の計算
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート

- 第9回 【授業テーマ】 逆関数の微分
【内容・方法等】 ・逆関数の定義・逆関数の微分の計算
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第10回 【授業テーマ】 指数関数
【内容・方法等】 ・指数法則・ネピアの数 e・指数関数の定義
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第11回 【授業テーマ】 指数関数の微分
【内容・方法等】 ・ $x=0$ での微分係数・指数関数の微分
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第12回 【授業テーマ】 対数関数
【内容・方法等】 ・自然対数の定義・対数の性質
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第13回 【授業テーマ】 対数関数の微分
【内容・方法等】 ・ $x=1$ での微分係数・導関数の求め方・対数微分法
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第14回 【授業テーマ】 3角関数
【内容・方法等】 ・弧度法・3角関数の定義・諸性質と公式
【事前・事後学習課題】 第4章の間、問題 課題レポート
- 第15回 【授業テーマ】 3角関数・逆3角関数の微分
【内容・方法等】 ・ $\sin x$ の微分・3角関数の微分・逆3角関数の微分
【事前・事後学習課題】 第4章の間、問題 課題レポート
- 第16回 【授業テーマ】 高次導関数(1)
【内容・方法等】 ・高次導関数の定義・多項式の高次導関数
【事前・事後学習課題】 第5章の間、問題 課題レポート
- 第17回 【授業テーマ】 高次導関数(2)
【内容・方法等】 ・指数、対数、3角関数の高次導関数・ライプニッツの公式
【事前・事後学習課題】 第5章の間、問題 課題レポート
- 第18回 【授業テーマ】 平均値の定理
【内容・方法等】 ・ロルの定理・平均値の定理
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
- 第19回 【授業テーマ】 関数の挙動(1)
【内容・方法等】 ・関数の増減・極大、極小
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
- 第20回 【授業テーマ】 関数の挙動(2)
【内容・方法等】 ・グラフの凹凸・変曲点
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
- 第21回 【授業テーマ】 関数の展開(1)
【内容・方法等】 ・テイラー展開・マクローリン展開
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
- 第22回 【授業テーマ】 関数の展開(2)
【内容・方法等】 ・指数関数、3角関数、対数関数の展開・2項定理の一般化
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
- 第23回 【授業テーマ】 原始関数(1)
【内容・方法等】 微分の逆演算としての不定積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第24回 【授業テーマ】 原始関数(2)
【内容・方法等】 ・整式、有理式的不定積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第25回 【授業テーマ】 原始関数(3)
【内容・方法等】 ・3角関数の不定積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第26回 【授業テーマ】 原始関数(4)
【内容・方法等】 ・指数関数、対数関数の不定積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第27回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(1)
【内容・方法等】 ・置換積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第28回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(2)
【内容・方法等】 ・部分積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第29回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(3)
【内容・方法等】 ・分数関数の不定積分・無理関数の不定積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第30回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(4)

評価方法

(基準) 演習小テストで30%、定期テスト(中間、期末)で70%判定し評価する。

教材等

教科書…微積分基礎 寺本恵昭(共立出版) 2,310円(税込)
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ

講義内容に関することはどんな事でも遠慮なく質問すること。いつでも親切に答えるようにしています。参考書を貸し出しますので相談に来て下さい。また、スチューデントアワー(月・金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

関連科目

微積分Ⅱ、線形代数Ⅰ・Ⅱ
担当者の研究室等
3号館3階 数学研究室

微積分I
Calculus I

中津了勇(ナカツ トシオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期(30回)	選択	4

授業概要・目的・到達目標

整式、有理式、無理関数、3角、指数、対数関数などの基本的な関数について、微分の計算法、テイラー展開の求め方、不定積分の計算法を習得する。・到達目標1)基本的な関数の微分ができる2)関数の挙動を求めグラフが描ける3)基本的な関数の不定積分ができる。
学科の学習・教育目標の対応：[D]

授業方法と留意点

進捗の具合により講義と演習を適宜配分。左に挙げた内容を解説し、演習で理解を深める。専門学科で必要とされる微積分の素養、計算能力を身につけるために授業には必ず出席し、予習復習も励行すること。試験は中間、期末の計2回

科目学習の効果(資格)

本講義の内容は後期の微積分Ⅱを習得するのに引き継がれる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(1)
【内容・方法等】 ・座標平面・点の表示・点の移動の表示
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(2)
【内容・方法等】 ・関数に関する用語・簡単な関数のグラフ
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】 関数の極限
【内容・方法等】 ・実数の性質・極限の定義・極限の計算方法
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】 関数の連続性
【内容・方法等】 ・連続性の定義・連続関数の性質
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】 微分係数
【内容・方法等】 ・微分係数の定義・接線の方程式
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】 導関数
【内容・方法等】 ・導関数の定義・導関数の求め方・整式の導関数
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 導関数の計算方法
【内容・方法等】 ・積、商の導関数
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第8回 【授業テーマ】 合成関数の微分高次導関数
【内容・方法等】 ・合成の方法・合成関数の微分の計算
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第9回 【授業テーマ】 逆関数の微分
【内容・方法等】 ・逆関数の定義・逆関数の微分の計算
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第10回 【授業テーマ】 指数関数
【内容・方法等】 ・指数法則・ネピアの数 e・指数関数の定義
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第11回 【授業テーマ】 指数関数の微分
【内容・方法等】 ・ $x=0$ での微分係数・指数関数の微分
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第12回 【授業テーマ】 対数関数
【内容・方法等】 ・自然対数の定義・対数の性質
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第13回 【授業テーマ】 対数関数の微分
【内容・方法等】 ・ $x=1$ での微分係数・導関数の求め方・対数微分法
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第14回 【授業テーマ】 3角関数
【内容・方法等】 ・弧度法・3角関数の定義・諸性質と公式
【事前・事後学習課題】 第4章の間、問題 課題レポート
- 第15回 【授業テーマ】 3角関数・逆3角関数の微分
【内容・方法等】 ・ $\sin x$ の微分・3角関数の微分・逆3角関数の微分
【事前・事後学習課題】 第4章の間、問題 課題レポート
- 第16回 【授業テーマ】 高次導関数(1)
【内容・方法等】 ・高次導関数の定義・多項式の高次導関数
【事前・事後学習課題】 第5章の間、問題 課題レポート
- 第17回 【授業テーマ】 高次導関数(2)
【内容・方法等】 ・指数、対数、3角関数の高次導関数・ラ

イプニッツの公式

- 第18回 【事前・事後学習課題】 第5章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】 平均値の定理
【内容・方法等】 ・ロルの定理・平均値の定理
- 第19回 【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】 関数の挙動(1)
【内容・方法等】 ・関数の増減・極大、極小
- 第20回 【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】 関数の挙動(2)
【内容・方法等】 ・グラフの凹凸・変曲点
- 第21回 【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】 関数の展開(1)
【内容・方法等】 ・テイラー展開・マクローリン展開
- 第22回 【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】 関数の展開(2)
【内容・方法等】 ・指数関数、3角関数、対数関数の展開・2項定理の一般化
- 第23回 【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】 原始関数(1)
【内容・方法等】 微分の逆演算としての不定積分
- 第24回 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】 原始関数(2)
【内容・方法等】 ・整式、有理式の不定積分
- 第25回 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】 原始関数(3)
【内容・方法等】 ・3角関数の不定積分
- 第26回 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】 原始関数(4)
【内容・方法等】 ・指数関数、対数関数の不定積分
- 第27回 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】 不定積分の計算法(1)
【内容・方法等】 ・置換積分
- 第28回 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】 不定積分の計算法(2)
【内容・方法等】 ・部分積分
- 第29回 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】 不定積分の計算法(3)
【内容・方法等】 ・分数関数の不定積分・無理関数の不定積分
- 第30回 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
【授業テーマ】 不定積分の計算法(4)

評価方法 (基準)

演習小テストで30%、定期テスト(中間、期末)で70%判定し評価する。

教材等

教科書…微積分基礎 寺本恵昭 (共立出版) 2,310円 (税込)
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ

講義内容に関することはどんな事でも遠慮なく質問すること。いつでも親切に答えるようにしています。参考書を貸し出しますので相談に来て下さい。また、スチューデントアワー(月・金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

関連科目

微積分Ⅱ、線形代数Ⅰ・Ⅱ

担当者の研究室等

3号館3階 数学研究室

微積分I Calculus I				
田 畑 謙 二 (タバタ ケンジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期(30回)	選択	4

授業概要・目的・到達目標

整式、有理式、無理関数、3角、指数、対数関数などの基本的な関数について、微分の計算法、テイラー展開の求め方、不定積分の計算法を習得する。・到達目標1)基本的な関数の微分ができる2)関数の挙動を求めグラフが描ける3)基本的な関数の不定積分ができる。
学科の学習・教育目標の対応：[D]

授業方法と留意点

進捗の具合により講義と演習を適宜配分。左に挙げた内容を解説し、演習で理解を深める。専門学科で必要とされる微積分の素養、計算能力を身につけるために授業には必ず出席し、予習復習も励行すること。試験は中間、期末の計2回

科目学習の効果 (資格)

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(1)
【内容・方法等】 ・座標平面・点の表示・点の移動の表示
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(2)
【内容・方法等】 ・関数に関する用語・簡単な関数のグラフ
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】 関数の極限
【内容・方法等】 ・実数の性質・極限の定義・極限の計算方法
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】 関数の連続性
【内容・方法等】 ・連続性の定義・連続関数の性質
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】 微分係数
【内容・方法等】 ・微分係数の定義・接線の方程式
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】 導関数
【内容・方法等】 ・導関数の定義・導関数の求め方・整式の導関数
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 導関数の計算方法
【内容・方法等】 ・積、商の導関数
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第8回 【授業テーマ】 合成関数の微分高次導関数
【内容・方法等】 ・合成の方法・合成関数の微分の計算
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第9回 【授業テーマ】 逆関数の微分
【内容・方法等】 ・逆関数の定義・逆関数の微分の計算
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第10回 【授業テーマ】 指数関数
【内容・方法等】 ・指数法則・ネピアの数 e・指数関数の定義
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第11回 【授業テーマ】 指数関数の微分
【内容・方法等】 ・ $x=0$ での微分係数・指数関数の微分
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第12回 【授業テーマ】 対数関数
【内容・方法等】 ・自然対数の定義・対数の性質
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第13回 【授業テーマ】 対数関数の微分
【内容・方法等】 ・ $x=1$ での微分係数・導関数の求め方・対数微分法
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第14回 【授業テーマ】 3角関数
【内容・方法等】 ・弧度法・3角関数の定義・諸性質と公式
【事前・事後学習課題】 第4章の間、問題 課題レポート
- 第15回 【授業テーマ】 3角関数・逆3角関数の微分
【内容・方法等】 ・ $\sin x$ の微分・3角関数の微分・逆3角関数の微分
【事前・事後学習課題】 第4章の間、問題 課題レポート
- 第16回 【授業テーマ】 高次導関数(1)
【内容・方法等】 ・高次導関数の定義・多項式の高次導関数
【事前・事後学習課題】 第5章の間、問題 課題レポート
- 第17回 【授業テーマ】 高次導関数(2)
【内容・方法等】 ・指数、対数、3角関数の高次導関数・ライプニッツの公式
【事前・事後学習課題】 第5章の間、問題 課題レポート
- 第18回 【授業テーマ】 平均値の定理
【内容・方法等】 ・ロルの定理・平均値の定理
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
- 第19回 【授業テーマ】 関数の挙動(1)
【内容・方法等】 ・関数の増減・極大、極小
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
- 第20回 【授業テーマ】 関数の挙動(2)
【内容・方法等】 ・グラフの凹凸・変曲点
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
- 第21回 【授業テーマ】 関数の展開(1)
【内容・方法等】 ・テイラー展開・マクローリン展開
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
- 第22回 【授業テーマ】 関数の展開(2)
【内容・方法等】 ・指数関数、3角関数、対数関数の展開・2項定理の一般化
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
- 第23回 【授業テーマ】 原始関数(1)
【内容・方法等】 微分の逆演算としての不定積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第24回 【授業テーマ】 原始関数(2)
【内容・方法等】 ・整式、有理式の不定積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第25回 【授業テーマ】 原始関数(3)
【内容・方法等】 ・3角関数の不定積分
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第26回 【授業テーマ】 原始関数(4)
【内容・方法等】 ・指数関数、対数関数の不定積分

- 第27回 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
 【授業テーマ】 不定積分の計算法(1)
 【内容・方法等】 ・置換積分
- 第28回 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
 【授業テーマ】 不定積分の計算法(2)
 【内容・方法等】 ・部分積分
- 第29回 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
 【授業テーマ】 不定積分の計算法(3)
 【内容・方法等】 ・分数関数の不定積分・無理関数の不定積分
- 第30回 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
 【授業テーマ】 不定積分の計算法(4)

評価方法 (基準)
 演習、小テストで約30%、定期テスト(中間、期末)で約70%判定し評価する。

教材等
 教科書…微積分基礎 寺本恵昭(共立出版) 2,310円(税込)
 参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ
 講義内容に関することはどんな事でも遠慮なく質問すること。いつでも親切に答えるようにしています。参考書を貸し出しますので相談に来て下さい。また、スチューデントアワー(月・金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますのでで数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

関連科目
 微積分Ⅱ、線形代数Ⅰ・Ⅱ

担当者の研究室等
 3号館3階 数学研究室

微積分Ⅱ Calculus II				
島田 伸一 (シマダ シンイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期(30回)	選択	4

授業概要・目的・到達目標
 定積分の概念と計算法、2変数関数の偏微分の計算とそのグラフの把握、重積分の概念と計算法、以上を説明する。・到達目標1) 基本的な関数の積分ができる2)偏微分の計算ができる3)2変数関数の挙動がわかる4)重積分の計算ができる。
 学科の学習・教育目標の対応：[D]

授業方法と留意点
 挙げた内容を具体的な計算例を中心にできるだけ平易に解説し、理解の程度を演習により確かめる。受講者はその厳選された平易な内容を確実に自分のものとするよう心掛けて頂きたい。そのため、欠席をせず授業の前に30分でも良いから復習を重ねること。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 定積分の定義
 【内容・方法等】 ・面積と定積分・定積分の定義・定積分の性質
 【事前・事後学習課題】 第8章の間、問題 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 簡単な定積分
 【内容・方法等】 ・定数関数、1次、2次関数の定積分・不定積分と定積分・基本的な関数の定積分
 【事前・事後学習課題】 第8章の間、問題 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】 定積分の計算法(1)
 【内容・方法等】 ・微積分の基本定理・不定積分と定積分
 【事前・事後学習課題】 第8章の間、問題 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】 定積分の応用(2)
 【内容・方法等】 ・置換積分
 【事前・事後学習課題】 第8章の間、問題 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】 定積分の応用(3)
 【内容・方法等】 ・部分積分
 【事前・事後学習課題】 第8章の間、問題 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】 定積分の応用(4)
 【内容・方法等】 ・指数関数、3角関数の定積分
 【事前・事後学習課題】 第8章の間、問題 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 定積分の計算法(5)
 【内容・方法等】 ・有理関数、無理関数の定積分
 【事前・事後学習課題】 第8章の間、問題 課題レポート
- 第8回 【授業テーマ】 定積分の応用(1)
 【内容・方法等】 ・曲線が囲む面積の計算
 【事前・事後学習課題】 第8章の間、問題 課題レポート
- 第9回 【授業テーマ】 定積分の応用(2)
 【内容・方法等】 ・体積の計算
 【事前・事後学習課題】 第8章の間、問題 課題レポート
- 第10回 【授業テーマ】 定積分の応用(3)
 【内容・方法等】 ・回転体の体積

- 第11回 【事前・事後学習課題】 第8章の間、問題 課題レポート
 【授業テーマ】 定積分の応用(4)
 【内容・方法等】 ・広義積分
- 第12回 【事前・事後学習課題】 第8章の間、問題 課題レポート
 【授業テーマ】 2変数の関数(1)
 【内容・方法等】 ・2変数関数の例・xy平面内の領域と関数の定義域

- 第13回 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート
 【授業テーマ】 2変数関数のグラフ(1)
 【内容・方法等】 ・グラフとしての曲面・グラフ上の曲線
 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート
- 第14回 【授業テーマ】 2変数の関数(2)
 【内容・方法等】 ・2変数関数の極限・2変数関数の連続性
 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート

- 第15回 【授業テーマ】 2変数関数のグラフ(2)
 【内容・方法等】 ・グラフ上の曲線の接線・接平面の導入
 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート
- 第16回 【授業テーマ】 偏微分
 【内容・方法等】 ・偏微分の定義
 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート

- 第17回 【授業テーマ】 偏微分の計算(1)
 【内容・方法等】 ・偏導関数の定義・偏導関数の計算法
 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート
- 第18回 【授業テーマ】 偏微分の計算(2)
 【内容・方法等】 ・偏微分可能性・全微分可能性
 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート

- 第19回 【授業テーマ】 合成関数の偏微分
 【内容・方法等】 ・2変数関数の合成と偏微分の計算
 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート
- 第20回 【授業テーマ】 高次偏導関数(1)
 【内容・方法等】 ・2次偏導関数の定義・偏微分の順序交換
 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート

- 第21回 【授業テーマ】 高次偏導関数(2)
 【内容・方法等】 ・合成の高次偏微分・偏微分作用素の表示
 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート
- 第22回 【授業テーマ】 高次偏導関数(3)
 【内容・方法等】 ・2変数のテイラー展開・マクロロリン展開

- 第23回 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート
 【授業テーマ】 偏微分の応用(1)
 【内容・方法等】 ・2変数関数の極値問題
 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート
- 第24回 【授業テーマ】 偏微分の応用(2)
 【内容・方法等】 ・陰関数定理・条件付き極値問題
 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート

- 第25回 【授業テーマ】 重積分の定義(1)
 【内容・方法等】 ・体積と重積分・長方形領域上での重積分
 【事前・事後学習課題】 第10章の間、問題 課題レポート
- 第26回 【授業テーマ】 重積分の定義(1)
 【内容・方法等】 ・長方形上での逐次積分
 【事前・事後学習課題】 第10章の間、問題 課題レポート

- 第27回 【授業テーマ】 重積分の計算法(1)
 【内容・方法等】 ・曲線で囲まれた領域上での重積分
 【事前・事後学習課題】 第10章の間、問題 課題レポート
- 第28回 【授業テーマ】 重積分の計算法(2)
 【内容・方法等】 ・逐次積分への帰着
 【事前・事後学習課題】 第10章の間、問題 課題レポート

- 第29回 【授業テーマ】 重積分の計算法(3)
 【内容・方法等】 ・重積分と立体の体積
 【事前・事後学習課題】 第10章の間、問題 課題レポート
- 第30回 【授業テーマ】 重積分の計算法(4)
 【内容・方法等】 ・重積分の計算法(4)

評価方法 (基準)
 演習、小テストで約30%、習熟度確認テストと期末テスト約70%で判定し評価する。

教材等
 教科書…微積分基礎 寺本恵昭(共立出版) 2,310円(税込)
 参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ
 どんなに些細な事でも遠慮なく質問すること、授業中でもいつでも親切に答えます。参考書を貸し出しますので相談に来て下さい。また、スチューデントアワー(月・金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますのでどんな質問でも良いから来て下さい。数学は特に積み重ねが肝心の科目です。諦めずに続けましょう。

関連科目
 微積分Ⅰ、線形代数Ⅰ・Ⅱ

担当者の研究室等
 3号館3階 数学研究室

微積分II Calculus II				
東 武 大 (アズマ タケヒロ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期(30回)	選択	4

授業概要・目的・到達目標
 定積分の概念と計算法、2変数関数の偏微分の計算とそのグラフの把握、重積分の概念と計算法、以上を説明する。・到達目標1) 基本的な関数の積分ができる2)偏微分の計算ができる3)2変数関数の挙動がわかる4)重積分の計算ができる。
 学科の学習・教育目標の対応：[D]

授業方法と留意点
 挙げた内容を具体的な計算例を中心にできるだけ平易に解説し、理解の程度を演習により確かめる。受講者はその厳選された平易な内容を確実に自分のものとするよう心掛けて頂きたい。そのためには、欠席をせず授業の前30分でも良いから復習を重ねること。

科目学習の効果（資格）
 本講義の内容は、工業数学及び諸々の専門科目の習得に引き継がれる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 定積分の定義
【内容・方法等】 ・面積と定積分・定積分の定義・定積分の性質
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
- 第2回 【授業テーマ】 簡単な定積分
【内容・方法等】 ・定数関数、1次、2次関数の定積分・不定積分と定積分・基本的な関数の定積分
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
- 第3回 【授業テーマ】 定積分の計算法(1)
【内容・方法等】 ・微積分の基本定理・不定積分と定積分
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
- 第4回 【授業テーマ】 定積分の計算法(2)
【内容・方法等】 ・置換積分
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
- 第5回 【授業テーマ】 定積分の計算法(3)
【内容・方法等】 ・部分積分
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
- 第6回 【授業テーマ】 定積分の計算法(4)
【内容・方法等】 ・指数関数、三角関数の定積分
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
- 第7回 【授業テーマ】 定積分の計算法(5)
【内容・方法等】 ・有理関数、無理関数の定積分
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
- 第8回 【授業テーマ】 定積分の応用(1)
【内容・方法等】 ・曲線が囲む面積の計算
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
- 第9回 【授業テーマ】 定積分の応用(2)
【内容・方法等】 ・体積の計算
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
- 第10回 【授業テーマ】 定積分の応用(3)
【内容・方法等】 ・回転体の体積
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
- 第11回 【授業テーマ】 定積分の応用(4)
【内容・方法等】 ・広義積分
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
- 第12回 【授業テーマ】 2変数の関数(1)
【内容・方法等】 ・2変数関数の例・xy平面内の領域と関数の定義域
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 第13回 【授業テーマ】 2変数関数のグラフ(1)
【内容・方法等】 ・グラフとしての曲面・グラフ上の曲線
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 第14回 【授業テーマ】 2変数の関数(2)
【内容・方法等】 ・2変数関数の極限・2変数関数の連続性
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 第15回 【授業テーマ】 2変数関数のグラフ(2)
【内容・方法等】 ・グラフ上の曲線の接線・接平面の導入
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 第16回 【授業テーマ】 偏微分
【内容・方法等】 ・偏微分の定義
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 第17回 【授業テーマ】 偏微分の計算(1)
【内容・方法等】 ・偏導関数の定義・偏導関数の計算法
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 第18回 【授業テーマ】 偏微分の計算(2)
【内容・方法等】 ・偏微分可能性・全微分可能性
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 第19回 【授業テーマ】 合成関数の偏微分
【内容・方法等】 ・2変数関数の合成と偏微分の計算
【事前・事後学習課題】 第9章の問題

- 第20回 【授業テーマ】 高次偏導関数(1)
【内容・方法等】 ・2次偏導関数の定義・偏微分の順序交換
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
 - 第21回 【授業テーマ】 高次偏導関数(2)
【内容・方法等】 ・合成の高次偏微分・偏微分作用素の表示
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
 - 第22回 【授業テーマ】 高次偏導関数(3)
【内容・方法等】 ・2変数のテイラー展開・マクロローリン展開
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
 - 第23回 【授業テーマ】 偏微分の応用(1)
【内容・方法等】 ・2変数関数の極値問題
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
 - 第24回 【授業テーマ】 偏微分の応用(2)
【内容・方法等】 ・陰関数定理・条件付き極値問題
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
 - 第25回 【授業テーマ】 重積分の定義(1)
【内容・方法等】 ・体積と重積分・長方形領域上での重積分
【事前・事後学習課題】 第10章の問題
 - 第26回 【授業テーマ】 重積分の定義(2)
【内容・方法等】 ・長方形上での逐次積分
【事前・事後学習課題】 第10章の問題
 - 第27回 【授業テーマ】 重積分の計算法(1)
【内容・方法等】 ・曲線で囲まれた領域上での重積分
【事前・事後学習課題】 第10章の問題
 - 第28回 【授業テーマ】 重積分の計算法(2)
【内容・方法等】 ・逐次積分への帰着
【事前・事後学習課題】 第10章の問題
 - 第29回 【授業テーマ】 重積分の計算法(3)
【内容・方法等】 ・重積分と立体の体積
【事前・事後学習課題】 第10章の問題
 - 第30回 【授業テーマ】 重積分の計算法(4)
- 評価方法（基準）**
 小テストで30%、習熟度確認テストで35%、期末テストで35%で判定し評価する。

教材等
 教科書…微積分基礎 寺本恵昭(共立出版) 2,310円(税込)
 参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ
 3号館3階に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

関連科目
 微積分I、線形代数I・II
担当者の研究室等
 3号館3階 数学研究室

線形代数I Linear Algebra I				
西 脇 純 一(ニシワキ ジュンイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	イ	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 線形代数は、幾何ベクトルや連立1次方程式の取り扱い方を一般化してできた理論で、理工系学生に欠くことのできない数学的教養である。到達目標1)行列の計算ができる2)ベクトルの内積・外積を理解する3)基本変形で連立1次方程式を解く4)基本変形で逆行列を求める。
 学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点
 前半60分を講義、後半30分を演習、を基本とするが、進行状況により変更することもある。(1)演習は前半の講義内容から出題、終了時に回収し次回に返却する。(2)期末試験の出題内容は授業中の演習問題レベルとする。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】 行列の定義(1)
【内容・方法等】 ・和、スカラー倍
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
 - 第2回 【授業テーマ】 行列の定義(2)
【内容・方法等】 ・積の定義・転置行列
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
 - 第3回 【授業テーマ】 正方行列(1)
【内容・方法等】 ・単位行列・正則行列の定義
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
 - 第4回 【授業テーマ】 正方行列(2)
【内容・方法等】 ・正則行列の性質
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
 - 第5回 【授業テーマ】 2次正方行列
【内容・方法等】 ・逆行列の計算

- 第6回 【事前・事後学習課題】 第1章の間, 演習問題 レポート
【授業テーマ】 いろいろな行列
【内容・方法等】 ・対称行列・交代行列・ベキ零行列
- 第7回 【事前・事後学習課題】 第1章の間, 演習問題 レポート
【授業テーマ】 連立1次方程式(1)
【内容・方法等】 ・消去法
- 第8回 【事前・事後学習課題】 第2章の間, 演習問題 レポート
【授業テーマ】 連立1次方程式(2)
【内容・方法等】 ・連立1次方程式の行列表示・基本変形・階数
- 第9回 【事前・事後学習課題】 第2章の間, 演習問題 レポート
【授業テーマ】 連立1次方程式(3)
【内容・方法等】 ・基本変形の正則行列表示・掃き出し法による逆行列の求め方
- 第10回 【事前・事後学習課題】 第2章の間, 演習問題 レポート
【授業テーマ】 連立1次方程式(4)
【内容・方法等】 ・基本解・特殊解
- 第11回 【事前・事後学習課題】 第2章の間, 演習問題 レポート
【授業テーマ】 連立1次方程式(5)
【内容・方法等】 ・同次連立1次方程式・正則行列となる条件
- 第12回 【事前・事後学習課題】 第2章の間, 演習問題 レポート
【授業テーマ】 空間のベクトル(1)
【内容・方法等】 ・空間のベクトルの定義・和とスカラー倍
- 第13回 【事前・事後学習課題】 第3章の間, 演習問題 レポート
【授業テーマ】 空間のベクトル(2)
【内容・方法等】 ・内積・距離
- 第14回 【事前・事後学習課題】 第3章の間, 演習問題 レポート
【授業テーマ】 空間のベクトル(3)
【内容・方法等】 ・外積・スカラー3重積
- 第15回 【事前・事後学習課題】 第3章の間, 演習問題 レポート
【授業テーマ】 空間のベクトル(4)
【内容・方法等】 ・直線の方程式・平面の方程式

【事前・事後学習課題】 第3章の間, 演習問題 レポート

【授業テーマ】 空間のベクトル(4)

【内容・方法等】 ・直線の方程式・平面の方程式

【事前・事後学習課題】 第3章の間, 演習問題 レポート

評価方法 (基準)
演習,小テストで約30%, 定期テスト(中間, 期末)で約70%判定し評価する。

教材等
教科書…線形代数(摂南大学数学研究室) 共立出版
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ
疑問に思ったことがあれば遠慮なく質問してください。いかなる質問も大歓迎です。大学の数学は簡単ではありませんが些細なことにこだわらずに最終目標をいつも頭において勉強してください。

関連科目
線形代数 II

担当者の研究室等
3号館3階 数学研究室

線形代数I				
Linear Algebra I				
尾 和 重 義 (オウ シゲヨシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ロ	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
線形代数は、幾何ベクトルや連立1次方程式の取り扱い方を一般化してできた理論で、理工系学生に欠くことのできない数学的教養である。到達目標1)行列の計算ができる2)ベクトルの内積・外積を理解する3)基本変形で連立1次方程式を解く4)基本変形で逆行列を求める。
学科の学習・教育目標との対応: [D]

授業方法と留意点
前半60分を講義、後半30分を演習、を基本とするが、進行状況により変更することもある。(1)演習は前半の講義内容から出題、終了時に回収し次回に返却する。(2)期末試験の出題内容は授業中の演習問題レベルとする。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 行列の定義(1)
【内容・方法等】 ・和、スカラー倍
【事前・事後学習課題】 第1章の間, 演習問題 レポート
- 第2回 【授業テーマ】 行列の定義(2)
【内容・方法等】 ・積の定義・転置行列
【事前・事後学習課題】 第1章の間, 演習問題 レポート
- 第3回 【授業テーマ】 正方行列(1)
【内容・方法等】 ・単位行列・正則行列の定義
【事前・事後学習課題】 第1章の間, 演習問題 レポート
- 第4回 【授業テーマ】 正方行列(2)

- 【内容・方法等】 ・正則行列の性質
- 第5回 【事前・事後学習課題】 第1章の間, 演習問題 レポート
【授業テーマ】 2次正方行列
【内容・方法等】 ・逆行列の計算
- 第6回 【事前・事後学習課題】 第1章の間, 演習問題 レポート
【授業テーマ】 いろいろな行列
【内容・方法等】 ・対称行列・交代行列・ベキ零行列
- 第7回 【事前・事後学習課題】 第1章の間, 演習問題 レポート
【授業テーマ】 連立1次方程式(1)
【内容・方法等】 ・消去法
- 第8回 【事前・事後学習課題】 第2章の間, 演習問題 レポート
【授業テーマ】 連立1次方程式(2)
【内容・方法等】 ・連立1次方程式の行列表示・基本変形・階数
- 第9回 【事前・事後学習課題】 第2章の間, 演習問題 レポート
【授業テーマ】 連立1次方程式(3)
【内容・方法等】 ・基本変形の正則行列表示・掃き出し法による逆行列の求め方
- 第10回 【事前・事後学習課題】 第2章の間, 演習問題 レポート
【授業テーマ】 連立1次方程式(4)
【内容・方法等】 ・基本解・特殊解
- 第11回 【事前・事後学習課題】 第2章の間, 演習問題 レポート
【授業テーマ】 連立1次方程式(5)
【内容・方法等】 ・同次連立1次方程式・正則行列となる条件
- 第12回 【事前・事後学習課題】 第2章の間, 演習問題 レポート
【授業テーマ】 空間のベクトル(1)
【内容・方法等】 ・空間のベクトルの定義・和とスカラー倍
- 第13回 【事前・事後学習課題】 第3章の間, 演習問題 レポート
【授業テーマ】 空間のベクトル(2)
【内容・方法等】 ・内積・距離
- 第14回 【事前・事後学習課題】 第3章の間, 演習問題 レポート
【授業テーマ】 空間のベクトル(3)
【内容・方法等】 ・外積・スカラー3重積
- 第15回 【事前・事後学習課題】 第3章の間, 演習問題 レポート
【授業テーマ】 空間のベクトル(4)
【内容・方法等】 ・直線の方程式・平面の方程式

【事前・事後学習課題】 第3章の間, 演習問題 レポート

【授業テーマ】 空間のベクトル(4)

【内容・方法等】 ・直線の方程式・平面の方程式

【事前・事後学習課題】 第3章の間, 演習問題 レポート

評価方法 (基準)
演習,小テストで約30%, 定期テスト(中間, 期末)で約70%判定し評価する。

教材等
教科書…線形代数(摂南大学数学研究室) 共立出版
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ
疑問に思ったことがあれば遠慮なく質問してください。いかなる質問も大歓迎です。大学の数学は簡単ではありませんが些細なことにこだわらずに最終目標をいつも頭において勉強してください。

関連科目
線形代数 II

担当者の研究室等
3号館3階 数学研究室

線形代数II				
Linear Algebra II				
尾 和 重 義 (オウ シゲヨシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	イ	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
行列式の計算法と行列の固有値と固有ベクトルの求め方が本講義の目的である。到達目標(1)行列式の計算(2)固有値と固有ベクトル(3)行列の3角化と対角化
学科の学習・教育目標との対応: [D]

授業方法と留意点
授業ではテーマに掲げた内容を出るだけ平易に説明する。基本的には授業の前半の60分を講義に充て、後半の30分を演習の時間に充てる。(1)演習問題は授業の前半に講義した内容から出題する。(2)期末試験の出題内容は授業中の演習問題レベルとする。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 行列式(1)
【内容・方法等】 ・置換の定義・置換の積・置換の符号
【事前・事後学習課題】 第4章の間, 演習問題 レポート
- 第2回 【授業テーマ】 行列式(2)
【内容・方法等】 ・行列式の定義・多重線形性・交代性
【事前・事後学習課題】 第4章の間, 演習問題 レポート
- 第3回 【授業テーマ】 行列式(3)

授業方法と留意点

比較的平易な内容に限定し容易に理解出来るものであるため、確実に自分のものとするよう心掛けて頂きたい。そのためには、第一に欠席をせず、毎回授業の前には復習をしておくこと、第二にどんなに些細でも不明なことは質問すること。

科目学習の効果（資格）

本講義の内容は、工業数学II及び諸々の専門科目の習得に引き継がれる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ベクトル(1)
【内容・方法等】 ・ベクトルの内積の図形的意味
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第2回 【授業テーマ】 ベクトル(2)
【内容・方法等】 ・ベクトルの内積の物理への応用
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第3回 【授業テーマ】 ベクトル(3)
【内容・方法等】 ・ベクトルの外積の図形的意味
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第4回 【授業テーマ】 行列式の計算
【内容・方法等】 ・行列式の計算技法、平行6面体の体積
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第5回 【授業テーマ】 関数のグラフ
【内容・方法等】 ・微分の図形的意味、増減凹凸表、最大最小値の計算
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第6回 【授業テーマ】 関数の積分
【内容・方法等】 ・種々の積分の計算方法
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第7回 【授業テーマ】 速度・加速度(1)
【内容・方法等】 ・微分・積分を用いた速度、加速度の定義、運動方程式の記述
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第8回 【授業テーマ】 速度・加速度(2)
【内容・方法等】 ・ポテンシャル、エネルギー保存則、単振動と三角関数
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第9回 【授業テーマ】 ベクトルを用いた物理量(1)
【内容・方法等】 ・直線上の運動、投げ上げ、斜方投射への応用
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第10回 【授業テーマ】 ベクトルを用いた物理量(2)
【内容・方法等】 ・外積を用いた、角運動量と力のモーメントの記述
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第11回 【授業テーマ】 2重積分の計算
【内容・方法等】 ・逐次積分法、ヤコビ行列を用いた変数変換
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第12回 【授業テーマ】 3重積分の計算
【内容・方法等】 ・逐次積分法、平行6面体の体積とヤコビ行列
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第13回 【授業テーマ】 重心の計算
【内容・方法等】 ・1次モーメント、種々の図形の重心
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第14回 【授業テーマ】 慣性モーメント(1)
【内容・方法等】 ・定義とその物理的意味
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第15回 【授業テーマ】 慣性モーメント(2)
【内容・方法等】 ・種々の立体の慣性モーメント、平行軸の定理
【事前・事後学習課題】 演習問題

評価方法（基準）

演習小テストで30%、習熟度確認テストで35%、期末テストで35%判定し評価する。

教材等

教科書…「工業数学の基礎」(基礎理工学機構編)
参考書…微積分、線形代数、物理数学に関連するものは多くある。また、物理への応用については古典力学の範囲を中心に扱うので、力学の教科書も参考になると思われる。

学生へのメッセージ

3号館3階に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

関連科目

微積分I.II、線形代数I.II、工業数学II。特に微積分Iを履修済みであることが望ましい。

担当者の研究室等

3号館3階 数学研究室

工業数学II

Applied Mathematics for Engineers II

東 武 大 (アスマ タケヒロ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

工学の分野では微分方程式はもっとも頻繁に使われている数学の1つである。講義の前半は、1階の常微分方程式の解法及び工学・自然現象への応用について学習する。そして講義の後半では2階の定数係数常微分方程式の解法・応用、及び微分方程式の数値的な解法について学習する。
到達目標は、主に質点の運動方程式を微分方程式で表して解くなど、専門科目の学習で出会う微分方程式の扱い方や解法を習得することである。
到達目標：専門基礎で用いられる数学的表現を理解すること。
学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点

比較的平易な内容に限定し容易に理解出来るものであるため、確実に自分のものとするよう心掛けて頂きたい。そのためには、第一に欠席をせず、毎回授業の前には復習をしておくこと、第二にどんなに些細でも不明なことは質問すること。

科目学習の効果（資格）

本講義の内容は、諸々の専門科目の習得に引き継がれる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 微分方程式の解
【内容・方法等】 ・微分方程式とは何か、原始関数(不定積分)と微分方程式
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第2回 【授業テーマ】 1階常微分方程式(1)
【内容・方法等】 ・変数分離形1階常微分方程式の解法
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第3回 【授業テーマ】 1階常微分方程式(2)
【内容・方法等】 ・定数変化法による1階線形微分方程式の解法
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第4回 【授業テーマ】 1階常微分方程式(3)
【内容・方法等】 ・微分方程式を用いた運動方程式の記述
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第5回 【授業テーマ】 1階常微分方程式(4)
【内容・方法等】 ・空気抵抗中の運動など物理への応用
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第6回 【授業テーマ】 2階定数線形微分方程式(1)
【内容・方法等】 ・基本解・解の表示
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第7回 【授業テーマ】 2階定数線形微分方程式(2)
【内容・方法等】 ・未定係数法(1)
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第8回 【授業テーマ】 2階定数線形微分方程式(3)
【内容・方法等】 ・未定係数法(2)
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第9回 【授業テーマ】 2階定数線形微分方程式(4)
【内容・方法等】 ・未定係数法(3)
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第10回 【授業テーマ】 2階定数線形微分方程式の応用(1)
【内容・方法等】 ・2階微分方程式を用いた、単振動の運動方程式
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第11回 【授業テーマ】 2階定数線形微分方程式の応用(2)
【内容・方法等】 ・強制振動など物理への応用
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第12回 【授業テーマ】 数値計算(1)
【内容・方法等】 ・差分を用いた微分の記述、オイラー法による微分方程式の解法
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第13回 【授業テーマ】 数値計算(2)
【内容・方法等】 ・ルンゲ・クッタ法による微分方程式の解法
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第14回 【授業テーマ】 総合演習
【内容・方法等】 ・応用問題
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第15回 【授業テーマ】 総合演習
【内容・方法等】 ・応用問題
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題

評価方法（基準）

演習小テストで30%、習熟度確認テストで35%、期末テストで35%判定し評価する。

教材等

教科書…「微分方程式の基礎」(基礎理工学機構編) 800円
参考書…微積分、線形代数、微分方程式に関連するものは多くある。また、微分方程式の工学・自然現象への応用に関しては、

力学の教科書も参考になるとと思われる。

学生へのメッセージ

3号館3階に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

関連科目

微積分I,II、線形代数I,II、工業数学I。特に微積分I,IIを履修済みであることが望ましい。

担当者の研究室等

3号館3階 数学研究室

代数学 Algebra				
寺本 恵 昭 (テラモト ヨシアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

自然数の足し算、掛け算の持つ一定の性質に着目して、演算をもつ集合の総称としての代数系概念が形成された。この授業では整数の集合のもつ代数的性質を例として、環とよばれる代数系を理解し、同値類としてえられる有理数のつくる体という代数系の理解を目指す。さらにそれらを係数とする多項式のつくる代数系についての理解を目標とする。

学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点

講義を基本とし理解度をみるため適宜演習をおこなう。また他者に説明できるまで授業内容を把握しているかもみるので出席を重視する。

微積分I、微積分II、線形代数I、線形代数IIは当然の予備知識となるが、これら理解に必要な計算力、論証能力をはるかに上回る数理的素養を要求する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 集合の用語
【内容・方法等】 内包的定義、外延的定義、同値類、写像
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 自然数(1)
【内容・方法等】 自然数の公理系、大小、加法、乗法、数学的帰納法
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】 自然数(2)
【内容・方法等】 自然数内での減法、除法、素数、素因数分解
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】 整数(1)
【内容・方法等】 負の整数、加法と乗法のつくる代数系、整数の除法の性質
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】 整数(2)
【内容・方法等】 Euclidの互除法、代数系をつくる整数の部分集合
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】 整数係数の多項式(1)
【内容・方法等】 多項式のつくる代数系、整除関係
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 整数係数の多項式(2)
【内容・方法等】 剰余定理、因数定理、整方程式の有理解
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第8回 【授業テーマ】 有理数(1)
【内容・方法等】 同値類による有理数の構成、有理数のつくる代数系
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第9回 【授業テーマ】 有理数(2)
【内容・方法等】 正の有理数のつくる代数系、約分と通分、既約分数
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第10回 【授業テーマ】 実数と複素数(1)
【内容・方法等】 実数と複素数の構成、実数と複素数のつくる代数系
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第11回 【授業テーマ】 実数と複素数(2)
【内容・方法等】 代数学の基本定理
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第12回 【授業テーマ】 群(1)
【内容・方法等】 群の公理、例としての置換群
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第13回 【授業テーマ】 群(2)
【内容・方法等】 部分群、正規部分群、準同型写像
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第14回 【授業テーマ】 群(3)

【内容・方法等】 正則行列のつくる群とそれらの部分群

【事前・事後学習課題】 課題レポート

【授業テーマ】 群(4)

【内容・方法等】 座標平面への作用、球面への作用

【事前・事後学習課題】 課題レポート

評価方法(基準)

演習小テストで約30%、定期テスト(中間、期末)で約70%判定し評価する。

教材等

教科書…各回ごとに数学研究室作成のプリントを配る。

参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ

講義内容に関することはどんな事でも遠慮なく質問すること。いつでも親切に答えるようにしています。参考書を貸し出しますので相談に来て下さい。また、スチューデントアワー(月金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

関連科目

微積分I・II、線形代数I・II、など。

担当者の研究室等

3号館3階 数学研究室

幾何学I Geometry I				
小林 俊 公 (コバヤシ トシマサ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

幾何学は、公理と公準から正しい推論により導かれる命題の体系として確立された最初の学問である。三角形、四辺形、円などの図形の性質を学ぶとともに、古典幾何の形成をたどりながら、論理的に述べられた文章を理解し、論理的に考え、論理的に記述することができるようになることを目標とする。

学科の学習・教育目標との対応：[B]

授業方法と留意点

講義を中心に行います。授業中は集中して、論理的な文章の理解の仕方、記述の仕方等を掴んでいってください。また毎回の課題レポートは、時間をかけて取り組むようにしましょう。論理的な文章が書けるように、練習を積んでください。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 推論と証明(1)
【内容・方法等】 命題、三段論法、背理法
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 推論と証明(2)
【内容・方法等】 命題の逆、対偶、必要十分条件
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(1)
【内容・方法等】 合同の概念、線分と角の合同
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(2)
【内容・方法等】 三角形の合同定理
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(3)
【内容・方法等】 直角の存在、垂線の存在
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(4)
【内容・方法等】 三角不等式、線分の中点、角の2等分線
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(5)
【内容・方法等】 三角形の外心、内心、重心、垂心
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第8回 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(6)
【内容・方法等】 円に内接する4角形
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第9回 【授業テーマ】 平行線の公理(1)
【内容・方法等】 三角形の内角の和
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第10回 【授業テーマ】 平行線の公理(2)
【内容・方法等】 平行4辺形の性質、長方形の存在
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第11回 【授業テーマ】 平面幾何学の公理系(1)
【内容・方法等】 点と直線、無定義の用語、公理
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第12回 【授業テーマ】 平面幾何学の公理系(2)
【内容・方法等】 あらためて平行線の公理、直角仮説
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第13回 【授業テーマ】 平面幾何学の公理系(3)
【内容・方法等】 非ユークリッド幾何

第14回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
 【授業テーマ】 平面上の曲線
 【内容・方法等】 2次曲線、媒介変数表示
第15回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
 【授業テーマ】 複素数平面
 【内容・方法等】 複素数による図形表示、ド・モアブルの定理
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
評価方法(基準)
 演習、小テストで約30%、定期テストで約70%の割合で判定し評価する。
教材等
 教科書…各回ごとに数学研究室作成のプリントを配る。
 参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。
学生へのメッセージ
 授業の中でわからないことがあれば遠慮なく質問してください。また、毎回の課題レポートでは難しいものもあるかもしれませんが、まずは「考えることに意義がある」と思って、じっくり取り組んでください。そしてできるだけ欠かさず提出することを心がけましょう。
関連科目
 微積分Ⅰ・Ⅱ、線形代数Ⅰ・Ⅱなど。
担当者の研究室等
 3号館3階 数学研究室

幾何学II Geometry II				
島田 伸一 (シマダ シンイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 微分幾何学の見地で、日常によくみる曲面、曲線がいかに分類されているのか、その理解を目標とする。その応用として惑星の軌道が一つの平面内の2次曲線であることの定式化とその証明を行い、エネルギーとの関係を論ずる。
 学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点
 講義を基本とし理解度をみるため適宜演習をおこなう。また他者に説明できるまで授業内容を把握しているかもみるので出席を重視する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 2次曲線(1)
 【内容・方法等】 放物線、標準形、準線、焦点、極形式
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第2回 【授業テーマ】 2次曲線(2)
 【内容・方法等】 楕円、標準形、準線、焦点、極形式
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第3回 【授業テーマ】 2次曲線(3)
 【内容・方法等】 双曲線、標準形、準線、焦点、極形式
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第4回 【授業テーマ】 2次曲線(4)
 【内容・方法等】 座標軸の回転、一般論
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第5回 【授業テーマ】 2次曲線(5)
 【内容・方法等】 座標軸の回転と固有値
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第6回 【授業テーマ】 惑星の軌道(1)
 【内容・方法等】 定式化、ベクトル値関数の微分
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第7回 【授業テーマ】 惑星の軌道(2)
 【内容・方法等】 運動量の保存と内積
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第8回 【授業テーマ】 惑星の軌道(3)
 【内容・方法等】 角運動量の保存と外積
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第9回 【授業テーマ】 惑星の軌道(4)
 【内容・方法等】 面積速度と外積
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第10回 【授業テーマ】 惑星の軌道(5)
 【内容・方法等】 動径の逆数が満たす微分方程式と惑星の軌道
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第11回 【授業テーマ】 惑星の軌道(6)
 【内容・方法等】 楕円軌道の場合の周期、エネルギーと軌道の関係
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第12回 【授業テーマ】 平面の曲線(1)
 【内容・方法等】 弧長、曲率

第13回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
 【授業テーマ】 平面曲線(2)
 【内容・方法等】 曲率と平面曲線の特徴付け、フルネセレーの公式
第14回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
 【授業テーマ】 空間内の曲面(1)
 【内容・方法等】 陰関数表示、パラメータ表示、接平面
第15回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
 【授業テーマ】 空間内の曲面(2)
 【内容・方法等】 曲面積分、曲面積、重心
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
評価方法(基準)
 毎回の課題レポートで約50%、定期テストで約50%判定し評価する。
教材等
 教科書…各回ごとに数学研究室作成のプリントを配る。
 参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。
学生へのメッセージ
 講義内容に関することはどんな事でも遠慮なく質問すること。いつでも親切に答えるようにしています。参考書を貸し出しますので相談に来て下さい。また、チューデントアワー(月・金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。
関連科目
 微積分Ⅰ・Ⅱ、線形代数Ⅰ・Ⅱ、幾何学Ⅰ、解析学、代数学
担当者の研究室等
 3号館3階 数学研究室

解析学 Analysis				
伊東 恵一 (イトウ ケイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 微積分学の厳密な展開を目標にする。理工学部初年度の微積分では計算技法の習得に主眼がおかれ、その基礎となる実数についての理解は直感にたよっている。この授業では、実数を厳密に構成しそれに基づいて連続、収束の概念の明確な理解をめざす。そして連続関数、微分可能関数のもつ重要な性質の理解、また関数の集合が与えられたときの関数族としてもつ性質についての理解を目標にする。
 学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点
 講義を基本とし理解度をみるため適宜演習をおこなう。また他者に説明できるまで授業内容を把握しているかもみるので出席を重視する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 実数の構成と性質(1)
 【内容・方法等】 論証の用語、和集合、共通部分
 有理数と実数
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第2回 【授業テーマ】 実数の構成と性質(2)
 【内容・方法等】 無限集合、濃度の比較、
 有理数の可算性と実数の非可算性
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第3回 【授業テーマ】 実数の構成と性質(3)
 【内容・方法等】 実数の連続性、実数の作る集合の性質
 限・下限、上極限・下極限、
 数列の極限、 ε - N 論法
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第4回 【授業テーマ】 実数の構成と性質(4)
 【内容・方法等】 コーシー列、実数の完備性、
 ボルツァーノ・ワイエルシュトラスの定理
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第5回 【授業テーマ】 関数の性質(1)
 【内容・方法等】 関数の定義、関数の極限、
 関数の連続性と ε - δ 論法、
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第6回 【授業テーマ】 関数の性質(2)
 【内容・方法等】 中間値の定理、最大値・最小値の存在
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第7回 【授業テーマ】 連続関数
 【内容・方法等】 逆関数の定義、合成関数の連続性、
 一様連続性、
 リプシッツ・ヘルダー連続性
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

第8回 【授業テーマ】 微分と積分(1)
 【内容・方法等】 微分係数の定義、導関数の定義

微分可能な関数の作る空間

第9回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 微分と積分(2)
【内容・方法等】 リーマン積分可能性と定積分、微積分の基本定理

第10回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 平均値の定理とテーラー展開(I)
【内容・方法等】 ロルの定理、コーシーの平均値の定理、有限増分の公式

第11回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 平均値の定理とテーラー展開(2)
【内容・方法等】 ベキ級数の収束と収束半径、多項式近似定理

第12回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 関数列
【内容・方法等】 数列の収束と関数列の収束、一様収束と各点収束

第13回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 関数空間
【内容・方法等】 関数の作る空間、ノルム区間と完備性、アスコリ・アルツェラの定理

第14回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 関数方程式と関数空間 (1)
【内容・方法等】 関数方程式と関数空間、縮小写像の原理と不動点定理

第15回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 関数方程式と関数空間 (2)
【内容・方法等】 色々な関数方程式と解の存在
【事前・事後学習課題】 課題レポート

評価方法 (基準)
レポートで約30%、定期テスト(期末)で約70%判定し評価する。

教材等
教科書…数学研究室作成のプリントを授業ごとに配布
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ
講義内容に関することはどんな事でも遠慮なく質問すること。いつでも親切に答えるようにしています。参考書を貸し出しますので相談に来て下さい。また、スチューデントアワー(月・金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

関連科目
微積分Ⅰ・Ⅱ、線形代数Ⅰ・Ⅱ、力学、物理学など。特に微積分Ⅰ・Ⅱの修得は不可欠。

担当者の研究室等
3号館3階 数学研究室

統計学 Statistics				
伊 東 恵 一 (イトウ ケイイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
理工学の分野では、偶然性を伴う現象が多く扱われるため、様々な調査や実験で得られた偶然性を伴うデータを解析し、その結果をもとに行動を決定することが求められる。偶然性を伴うデータの解析では、確率・統計の知識を必要とする。また、各種の資格においても、確率・統計の基礎に関する知識を身に付けていることが必要とされている。そこでこの科目では確率・統計の基礎を学ぶ。到達目標：(1)調査や実験で得られたデータを度数分布表やグラフなどで整理し、平均値や分散などを求めることができる。(2)基本的な2項分布・正規分布を理解でき、確率の計算ができる。(3)推定に必要なカイ2乗分布やt分布を理解でき、確率の計算ができる。(4)与えられたデータより、母数の点推定や区間推定ができる。

学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点
教科書に沿って授業を進める。詳しく説明することが必要な項目についてはプリントを配布する。授業時間の終わりにその日の宿題の課題を与え、次週の授業の始に復習を兼ねて宿題の説明をし、また解答も配布する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 確率の基礎(I)
【内容・方法等】 離散分布の平均と分散、2項分布、ポアソン分布など
【事前・事後学習課題】 課題レポート

第2回 【授業テーマ】 確率の基礎 (II)
【内容・方法等】 2項分布、ポアソン分布と中心極限定理

第3回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 確率変数の期待値と分散(I)
【内容・方法等】 連続分布の期待値と分散、標準偏差 (I)

第4回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 確率変数の期待値と分散(II)
【内容・方法等】 連続分布の期待値と分散、標準偏差 (II)

第5回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 独立性和標本
【内容・方法等】 標本と確率変数、独立と相関

第6回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 点推定の考え方(I)
【内容・方法等】 標本平均と不偏分散

第7回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 点推定の考え方(II)
【内容・方法等】 概収束、大数の法則、正規分布、中心極限定理

第8回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 検定の考え方
【内容・方法等】 正規分布(再)、検定の原理

第9回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 区間推定
【内容・方法等】 母平均の区間推定、幾つかの例題、Poisson 分布

第10回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 正規母集団の統計的推測 (I)
【内容・方法等】 カイ二乗分布、分散の推定と検定

第11回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 正規母集団の統計的推測 (II)
【内容・方法等】 t 分布、平均値の推定と検定

第12回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 正規母集団の比較
【内容・方法等】 F 分布、等分散の検定

第13回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 回帰分析
【内容・方法等】 最小二乗法、回帰値の検定、相関係数

第14回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 尤度
【内容・方法等】 尤度、不偏推定量の有効性

第15回 【事前・事後学習課題】 課題レポート
【授業テーマ】 検定の定式化
【内容・方法等】 ベイズの公式と事前確率

評価方法 (基準)
レポート及び小試験で 30%ほど、70% は定期試験 (期末試験) による。

教材等
教科書…服部哲弥著「確率と統計の基礎」(学術出版) 2000円程度
参考書…石村園子著 やさしく学べる統計学 (共立出版)
安藤貞一他著 品質管理のための統計的方法 (共立出版)

学生へのメッセージ
前の方に座って授業を聞きノートをとってその日の授業のテーマがなんであったのかを授業中に理解するように努めてほしい。宿題をすることを奨励するため宿題の中から何題かを定期試験問題として出題する。宿題が解らなければ質問に来て下さい。歓迎します。

関連科目
微積分Ⅰ、Ⅱを履修済み若しくは、同等以上の微積分の基礎知識を習得していることが望ましい。

担当者の研究室等
3号館3階 数学研究室

物理学I Physics I				
前 田 純 一 郎 (マエダ ジュンイチロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
物理学は力学とともに理工系大学教育において、極めて重要な基礎科目である。授業はさまざまな物理現象を基本原理から丁寧に講義する。

物理学Ⅰでは熱、光を軸として、力学や電磁気とも関連した物理学の基礎を総合的に学ぶ。

到達目標：熱および光の性質を基本原理から習得する。

学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点

教科書とプリントを用いて授業を行なう。また理解を深めるため、簡単な実験を行うこともある。毎回小テストを行なうが、小テストは友達と相談したり、教科書を参照してもよいので、最後まであきらめずに考えて解くこと。

科目学習の効果（資格）

理工系専門科目において必要不可欠な工学の基礎であり、専門で出てくる物理量の意味や相互関係の理解に役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 身近なところで活躍する物理学
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 【授業テーマ】 力とエネルギー
【内容・方法 等】 いろいろな力と力のつりあい
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題1
- 第3回 【授業テーマ】 力学と熱
【内容・方法 等】 運動とエネルギー(ジュールの実験)
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題2
- 第4回 【授業テーマ】 熱の基本的性質
【内容・方法 等】 熱の移動 比熱
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題3
- 第5回 【授業テーマ】 熱膨張
【内容・方法 等】 ボイル・シャルルの法則
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題4
- 第6回 【授業テーマ】 熱というエネルギー (1)
【内容・方法 等】 熱力学第一法則
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題5
- 第7回 【授業テーマ】 熱というエネルギー (2)
【内容・方法 等】 いろいろな熱源
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題6
- 第8回 【授業テーマ】 エネルギー
【内容・方法 等】 明るさと熱
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題7
- 第9回 【授業テーマ】 光の屈折
【内容・方法 等】 光ファイバーの性質
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題8
- 第10回 【授業テーマ】 分光と光の干渉
【内容・方法 等】 光の色
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題9
- 第11回 【授業テーマ】 光の反射
【内容・方法 等】 鏡の性質
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題10
- 第12回 【授業テーマ】 光と電磁波
【内容・方法 等】 光と電磁波
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題11
- 第13回 【授業テーマ】 光と電磁気学
【内容・方法 等】 家庭用電源と電池(直流と交流)
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題12
- 第14回 【授業テーマ】 光と熱と電磁気学
【内容・方法 等】 電力の効率化とエネルギー
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題13
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____

評価方法（基準）

定期試験と小テストにより行う。
定期試験70%、小テスト30%

教材等

教科書…「やさしい基礎物理」(森北出版) 潮秀樹、上村 洸 (2520円)：力学Ⅰ・Ⅱ、物理学Ⅱと共通
参考書…_____

学生へのメッセージ

この授業内容は、中学や高校における「試験用の物理」とは全く異なる「専門につながる基礎」なので、苦手意識をもたずに授業にのぞんでください。

関連科目

物理学Ⅱ、力学Ⅰ、物理学実験

担当者の研究室等

8号館2階 物理準備室

授業概要・目的・到達目標

物理学は自然現象や理工系学部の専門科目を理解する上で、極めて重要な基礎科目であり、現代の科学技術の基礎をなしている。本講義では身近な物理現象の紹介とその成り立ちについて基本的な法則から説明する。特に、力学、熱学、光学および電磁気学に関する物理学の基本的原理や法則の相互関係を概説し、物理現象を総合的にかつ定量的に取り扱う方法を学ぶ。
学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点

教科書とプリントを用いて授業を行なう。また理解を深めるため、簡単な実験を行うこともある。毎回小テストを行なうが、小テストは友達と相談したり、教科書を参照してもよいので、最後まであきらめずに考えて解くこと。

科目学習の効果（資格）

理工系専門科目において必要不可欠な工学の基礎であり、専門で出てくる物理量の意味や相互関係の理解に役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 身の周りの現象と物理学
【内容・方法 等】 身近なところで活躍する物理学
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 【授業テーマ】 運動の法則
【内容・方法 等】 運動の三法則
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題1
- 第3回 【授業テーマ】 剛体の力学
【内容・方法 等】 力のモーメント
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題2
- 第4回 【授業テーマ】 電荷と力
【内容・方法 等】 力学と電気の関係：クーロンの法則
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題3
- 第5回 【授業テーマ】 電荷の運動（質点の力学）
【内容・方法 等】 ミリカンの実験・ブラウン管における電荷の運動
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題4
- 第6回 【授業テーマ】 直流と交流
【内容・方法 等】 家庭用電源と電池の原理と役割、簡単な回路
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題5
- 第7回 【授業テーマ】 電流と電圧（簡単な回路）
【内容・方法 等】 電圧、電流、抵抗及び消費電力について説明する
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題6
- 第8回 【授業テーマ】 電磁誘導（磁石と力）
【内容・方法 等】 磁石と力、モーターと発電機、剛体の運動
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題7
- 第9回 【授業テーマ】 電気エネルギーと熱エネルギー
【内容・方法 等】 電気エネルギーと熱エネルギーの関係および熱力学の法則
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題8
- 第10回 【授業テーマ】 電気・熱エネルギーと物質変化
【内容・方法 等】 電気・熱エネルギーによる物質の変化と状態の方程式
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題9
- 第11回 【授業テーマ】 電気・熱エネルギー変換と熱機関
【内容・方法 等】 電気・磁気と熱サイクル
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題10
- 第12回 【授業テーマ】 光の性質：電磁波
【内容・方法 等】 折れ曲がる電磁波と光
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題11
- 第13回 【授業テーマ】 光の性質：粒子
【内容・方法 等】 光の粒子性とエネルギー
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題12
- 第14回 【授業テーマ】 物理学とエネルギー
【内容・方法 等】 エネルギーの変換と効率化(力学、電磁気、熱、光の融合)
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題13
- 第15回 【授業テーマ】 原子物理とまとめ
【内容・方法 等】 原子物理の概要と物理学Ⅱのまとめ
【事前・事後学習課題】 復習課題14

評価方法（基準）

期末試験と小テストにより行う。
定期試験70%、小テスト30%

教材等

教科書…「やさしい基礎物理」(森北出版) 潮秀樹、上村 洸 (2520円)
参考書…なし

学生へのメッセージ

数学や物理は単に「試験問題」と考えると難しく思われがちですが、自然現象や経験をもとに考えると難しくありません。この授業は、中学や高校における「試験用の物理」とは全く異なる「専門につながる基礎」なので、苦手意識をもたずに授業にのぞんでください。

関連科目

物理学Ⅰ、物理学実験
担当者の研究室等

物理学Ⅱ Physics II				
前 田 純 一 郎 (マエダ ジュニイチロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

基礎力学演習

Exercises in Basic Mechanics

前田 純一郎(マエダ ジュンイチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	Y	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

近代の科学技術の基礎には物理学があり、さらにその基礎には力学がある。力学は理工学の基盤となる科目であり、理工学部専門科目を理解する上で必要不可欠である。また、力学は日常的な現象を定量的に知るができる学問であり、ものづくりには欠かせない。基礎力学演習では、日常において経験している物理現象の表し方を学ぶ。

学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点

30分の講義と1時間の演習にて行う。演習問題は友達と相談して解いてもよいので勉強の仲間作りのきっかけにしよう。

科目学習の効果(資格)

理工学の基礎として必要不可欠な力学や物理学の理解に役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 力学と自然現象
【内容・方法等】 自然科学とは何だろうかを身近な例をとって分かりやすく説明する。
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 重力
【内容・方法等】 質量と重力加速度
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題1
- 第3回 【授業テーマ】 質点のつりあい(1)
【内容・方法等】 1質点にかかる力の合力
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題2
- 第4回 【授業テーマ】 質点のつりあい(2)
【内容・方法等】 力の合成と分解
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題3
- 第5回 【授業テーマ】 質点のつり合い(3)
【内容・方法等】 質点のつり合いの総合問題に取り組む。
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題4
- 第6回 【授業テーマ】 剛体のつり合い(1)
【内容・方法等】 重心について
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題5
- 第7回 【授業テーマ】 剛体のつり合い(2)
【内容・方法等】 天秤、シーソー
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題6
- 第8回 【授業テーマ】 剛体のつり合い(3)
【内容・方法等】 棒のつり合い
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題7
- 第9回 【授業テーマ】 運動する物体(1)
【内容・方法等】 等速直線運動
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題8
- 第10回 【授業テーマ】 運動する物体(2)
【内容・方法等】 等加速度運動
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題9
- 第11回 【授業テーマ】 運動する物体(3)
【内容・方法等】 円運動
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題10
- 第12回 【授業テーマ】 作用・反作用
【内容・方法等】 作用と反作用
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題11
- 第13回 【授業テーマ】 エネルギー
【内容・方法等】 仕事とエネルギー
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題12
- 第14回 【授業テーマ】 さまざまな力学現象
【内容・方法等】 さまざまな力学現象の解法
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題13
- 第15回 【授業テーマ】 基礎力学演習のまとめ
【内容・方法等】 総合問題に取り組む。
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題14

評価方法(基準)

期末試験と演習問題の解答・取り組み方で評価する。

定期試験70%、演習問題の解答・取り組み30%

教材等

教科書…「やさしい基礎物理」(森北出版) 潮秀樹、上村洸(2520円)

参考書…なし

学生へのメッセージ

物理は試験問題と考えると難しく思われがちですが、自然現象や経験をもとに考えると難しくありません。この授業を通して、1つ1つみんなが体験している現象の原因を突き止めてみましょう。困ったときやわからないときには、担当教員や学習支援

センターを遠慮なくたずねてください。

関連科目

微積分I、線形代数I、力学I、物理学実験

担当者の研究室等

8号館2階物理準備室

力学I

Mechanics I

東谷 篤志(ヒガシヤ アツシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	X	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

物理学は現在の科学技術において基礎となる学問である。この物理学の基礎分野の大きな柱の一つである力学は、理工学部のものづくりを基本とする専門科目を理解するための必要不可欠なものとなる。力学Iでは物体の形や大きさを考慮しない質点系の運動について講義を行う。

到達目標：運動の記述におけるニュートンの運動方程式と運動量・エネルギー保存則を理解する。

学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点

講義は主として教科書に沿って行い、授業後にはプリントを配布する。プリントは教科書と授業を参照すれば理解できるので最後まであきらめずに考えて解くこと。

科目学習の効果(資格)

今後の専門科目で出てくる物理量の意味や色々な物理量の相互関係の理解に役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 力学とは
【内容・方法等】 自然科学とは何だろうかを身近な例をとって分かりやすく説明する。力学に必要な物理量や単位と次元についての説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント1：単位と次元
- 第2回 【授業テーマ】 ベクトルの基礎
【内容・方法等】 ベクトルの和・積、そして分解・合成について説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント2：ベクトルと位置
- 第3回 【授業テーマ】 ベクトルの座標表示とスカラー積
【内容・方法等】 ベクトルを表示するために直交座標を導入する。そしてベクトルのスカラー積についての説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント3：ベクトルとスカラー積
- 第4回 【授業テーマ】 微分とベクトルに対する微分
【内容・方法等】 力学に必要な数学的な微分を説明し、それをベクトルに拡張する。そして位置ベクトルの時間微分についての説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント4：微分
- 第5回 【授業テーマ】 位置ベクトルの微分と速度ベクトル
【内容・方法等】 平均の速度と瞬間の速度との違いを示し、位置ベクトルの微分と速度の関係を説明する。また、速さと速度の違いについて説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント5：速度
- 第6回 【授業テーマ】 加速度と運動の法則
【内容・方法等】 速度ベクトルの微分が瞬間の加速度であることを理解するために、速度の時間的変化についての説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント6：加速度と位置ベクトル
- 第7回 【授業テーマ】 重力
【内容・方法等】 運動の三つの法則についての説明を行い、ニュートンの万有引力の法則について説明する。
【事前・事後学習課題】 課題プリント7：力と重力と万有引力と重力
- 第8回 【授業テーマ】 運動方程式
【内容・方法等】 自由落下や放物線運動を基礎としてニュートンの第二法則である運動方程式の作り方を説明する。
【事前・事後学習課題】 課題プリント8：運動方程式
- 第9回 【授業テーマ】 垂直抗力と摩擦
【内容・方法等】 垂直抗力と摩擦について説明し、釣り合っている状態での運動方程式を理解する。
【事前・事後学習課題】 中間確認プリント
- 第10回 【授業テーマ】 ばねからの力と単振動
【内容・方法等】 ばねによる単振動、さらに円運動と単振動について説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント9：円運動と単振動
- 第11回 【授業テーマ】 運動量と力積
【内容・方法等】 運動量を定義し、衝撃力による物体の運動を理解するために、物体の運動量変化と力積についての説明を行う。また、運動量の保存則を説明する。
【事前・事後学習課題】 課題プリント10：運動量と力積

- 第12回 【授業テーマ】 仕事とエネルギー
【内容・方法 等】 空間と力の内積から仕事(エネルギー)を定義し、仕事が移動経路に依存することを示す。
【事前・事後学習課題】 課題プリント11: 仕事とエネルギー
- 第13回 【授業テーマ】 運動エネルギーと位置エネルギー
【内容・方法 等】 運動エネルギーと位置エネルギーについて説明を行う。さらにポテンシャルエネルギー(位置エネルギー)について説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント12: 運動エネルギーと位置エネルギー
- 第14回 【授業テーマ】 エネルギー保存則
【内容・方法 等】 運動エネルギーと位置エネルギーの和が保存することを説明する。
【事前・事後学習課題】 課題プリント13: 運動量とエネルギー保存則
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 講義のまとめ
【事前・事後学習課題】 _____

評価方法 (基準)
評価は期末試験と小テストにて行う。
定期試験70%、その他30%

教材等
教科書…「やさしい基礎物理」(森北出版) 潮 秀樹/上村 洸 (2520円)
参考書…なし

学生へのメッセージ
力学Iの考え方や物事の捉え方は、これから学ぶ専門科目で役に立ちますので、できるだけ授業に集中してください。また、力学Iでは微分・積分の知識も必要となりますが、授業で力学Iに必要な微分・積分について簡単に講義しますので、数学の苦手な方も不安にならずに履修してください。

関連科目
微積分I・II、線形代数I・II、力学II、物理学実験
担当者の研究室等
1号館2階 物性物理研究室2

力学I Mechanics I				
東 谷 篤 志 (ヒガシヤ アツシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	Y	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
物理学は現在の科学技術において基礎となる学問である。この物理学の基礎分野の大きな柱の一つである力学は、理工学部のものづくりを基本とする専門科目を理解するための必要不可欠なものとなる。力学Iでは物体の形や大きさを考慮しない質点系の運動について講義を行う。
到達目標：運動の記述におけるニュートンの運動方程式と運動量・エネルギー保存則を理解する。
学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点
講義は主として教科書に沿って行い、授業後にはプリントを配布する。プリントは教科書と授業を参照すれば理解できるので最後まであきらめずに考えて解くこと。

科目学習の効果 (資格)
今後の専門科目で出てくる物理量の意味や色々な物理量の相互関係の理解に役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 力学とは
【内容・方法 等】 自然科学とは何だろうかを身近な例をとって分かりやすく説明する。力学に必要な物理量や単位と次元についての説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント1: 単位と次元
- 第2回 【授業テーマ】 ベクトルの基礎
【内容・方法 等】 ベクトルの和・積、そして分解・合成について説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント2: ベクトルと位置
- 第3回 【授業テーマ】 ベクトルの座標表示とスカラー積
【内容・方法 等】 ベクトルを表示するために直交座標を導入する。そしてベクトルのスカラー積についての説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント3: ベクトルとスカラー積
- 第4回 【授業テーマ】 微分とベクトルに対する微分
【内容・方法 等】 力学に必要な数学的な微分を説明し、それをベクトルに拡張する。そして位置ベクトルの時間微分についての説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント4: 微分
- 第5回 【授業テーマ】 位置ベクトルの微分と速度ベクトル
【内容・方法 等】 平均の速度と瞬間の速度との違いを示し、

位置ベクトルの微分と速度の関係を説明する。また、速さと速度の違いについて説明を行う。

- 第6回 【事前・事後学習課題】 課題プリント5: 速度
【授業テーマ】 加速度と運動の法則
【内容・方法 等】 速度ベクトルの微分が瞬間の加速度であることを理解するために、速度の時間的変化についての説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント6: 加速度と位置ベクトル
- 第7回 【授業テーマ】 重力
【内容・方法 等】 運動の三つの法則についての説明を行い、ニュートンの万有引力の法則について説明する。
【事前・事後学習課題】 課題プリント7: 力と重力と万有引力と重力
- 第8回 【授業テーマ】 運動方程式
【内容・方法 等】 自由落下や放物線運動を基礎としてニュートンの第二法則である運動方程式の作り方を説明する。
【事前・事後学習課題】 課題プリント8: 運動方程式

- 第9回 【授業テーマ】 垂直抗力と摩擦
【内容・方法 等】 垂直抗力と摩擦について説明し、釣り合っている状態での運動方程式を理解する。
【事前・事後学習課題】 中間確認プリント
- 第10回 【授業テーマ】 ばねからの力と単振動
【内容・方法 等】 ばねによる単振動、さらに円運動と単振子について説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント9: 円運動と単振動
- 第11回 【授業テーマ】 運動量と力積
【内容・方法 等】 運動量を定義し、衝撃力による物体の運動を理解するために、物体の運動量変化と力積についての説明を行う。また、運動量の保存則を説明する。
【事前・事後学習課題】 課題プリント10: 運動量と力積

- 第12回 【授業テーマ】 仕事とエネルギー
【内容・方法 等】 空間と力の内積から仕事(エネルギー)を定義し、仕事は移動経路に依存することを示す。
【事前・事後学習課題】 課題プリント11: 仕事とエネルギー
- 第13回 【授業テーマ】 運動エネルギーと位置エネルギー
【内容・方法 等】 運動エネルギーと位置エネルギーについて説明を行う。さらにポテンシャルエネルギー(位置エネルギー)について説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント12: 運動エネルギーと位置エネルギー
- 第14回 【授業テーマ】 エネルギー保存則
【内容・方法 等】 運動エネルギーと位置エネルギーの和が保存することを説明する。
【事前・事後学習課題】 課題プリント13: 運動量とエネルギー保存則
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 講義のまとめ
【事前・事後学習課題】 _____

評価方法 (基準)
評価は期末試験と小テストにて行う。
定期試験70%、その他30%

教材等
教科書…「やさしい基礎物理」(森北出版) 潮 秀樹/上村 洸 (2520円)
参考書…なし

学生へのメッセージ
力学Iの考え方や物事の捉え方は、これから学ぶ専門科目で役に立ちますので、できるだけ授業に集中してください。また、力学Iでは微分・積分の知識も必要となりますが、授業で力学Iに必要な微分・積分について簡単に講義しますので、数学の苦手な方も不安にならずに履修してください。

関連科目
微積分I・II、線形代数I・II、力学II、物理学実験
担当者の研究室等
1号館2階 物性物理研究室2

力学II Mechanics II				
松 尾 純 子 (マツオ ジュンコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	X	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
近代の科学技術の基礎には物理学があり、さらにその基礎には力学がある。力学は理工学部の基盤となる科目であり、理工学部専門科目を理解する上で必要不可欠である。力学IIでは、剛体の力学について学ぶ。到達目標：剛体の取り扱い方を学ぶ。
学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点
教科書とプリントを用いて授業を行なう。また理解を深めるため、

簡単な実験を行うこともある。毎回小テストを行なうが、小テストは友達と相談したり、教科書を参照してもよいので、最後まであきらめずに考えて解くこと。

科目学習の効果（資格）

理工学の基礎として、専門に出てくる物理量の意味や色々な物理量の相互関係の理解に役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 力学Iの復習
【内容・方法等】 質点の力学について復習する。
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 力のモーメントの基礎
【内容・方法等】 てこの原理について学ぶ
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題1
- 第3回 【授業テーマ】 力のモーメントのつりあい
【内容・方法等】 シーソー、天秤のつりあいについて学ぶ
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題2
- 第4回 【授業テーマ】 力のモーメントと並進・回転運動
【内容・方法等】 並進、回転運動の静止条件から物体のつりあいについて考える
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題3
- 第5回 【授業テーマ】 重心とモーメント
【内容・方法等】 重心の意味を理解し、様々な図形の重心の位置を求める
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題4
- 第6回 【授業テーマ】 数学的準備(1)
【内容・方法等】 回転運動を表現する上で重要なラジアン表記、角速度、角加速度について学ぶ
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題5
- 第7回 【授業テーマ】 数学的準備(2)
【内容・方法等】 回転運動を表現する上で重要な外積について学ぶ
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題6
- 第8回 【授業テーマ】 角運動量
【内容・方法等】 角運動量保存則について学ぶ
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題7
- 第9回 【授業テーマ】 慣性モーメントの基礎
【内容・方法等】 慣性モーメントについて定性的に理解をし、慣性モーメントと角運動量の関係について学ぶ
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題8
- 第10回 【授業テーマ】 棒の慣性モーメント
【内容・方法等】 棒状の慣性モーメントについて説明する
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題9
- 第11回 【授業テーマ】 板の慣性モーメント
【内容・方法等】 板状の慣性モーメントについて説明する
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題10
- 第12回 【授業テーマ】 円盤の慣性モーメント
【内容・方法等】 円盤状の慣性モーメントについて説明する
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題11
- 第13回 【授業テーマ】 平行軸の定理、直行軸の定理
【内容・方法等】 慣性モーメントの便利な計算方法について説明する
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題12
- 第14回 【授業テーマ】 剛体の平面運動
【内容・方法等】 剛体の一般的な運動について考える
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題13
- 第15回 【授業テーマ】 剛体の力学のまとめ
【内容・方法等】 剛体の運動についてのまとめ
【事前・事後学習課題】

評価方法（基準）

評価は期末試験と小テストにて行う。
定期試験70%、その他30%

教材等

教科書…「やさしい基礎物理」（森北出版）潮秀樹、上村 凌（2520円）：力学Iと共通

参考書…なし

学生へのメッセージ

数学や物理は単に「試験問題」と考えると難しく思われがちですが、自然現象や経験をもとに考えると難しくありません。この授業は、中学や高校における「試験用の物理」とは全く異なる「専門につながる基礎」なので、苦手意識をもたずに授業にのぞんでください。

関連科目

微積分I、線形代数、力学I、物理学実験

担当者の研究室等

8号館2階 物理準備室

力学II
Mechanics II

東 谷 篤 志 (ヒガシヤ アツシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

物理学は近代の科学技術の基礎となっており、力学はこの物理学の基礎柱の一つである。理工学部においてのものづくりにおいてはこの力学が必要不可欠となる。力学2では、質点系についての記述を行った力学1とは異なり、実際の物体を記述する剛体の力学について講義を行う。
到達目標：剛体の取り扱い方を養う。
学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点

教科書とプリントを用いて授業を行う。また理解を深めるため、簡単な実験を行うこともある。プリントは教科書と授業を参照すれば理解できるので最後まであきらめずに考えて解くこと。

科目学習の効果（資格）

理工学の基礎として、専門に出てくる物理量の意味や色々な物理量の相互関係の理解に役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 力学Iの復習
【内容・方法等】 力学Iで取り扱った質点系の力学に関する復習を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント1：力学Iの復習
- 第2回 【授業テーマ】 力のモーメントの基礎
【内容・方法等】 てこの原理と力のモーメントについての説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント2：力のモーメントの基礎
- 第3回 【授業テーマ】 ベクトル積とモーメント
【内容・方法等】 モーメントを記述するためにベクトル積の概念を説明する。
【事前・事後学習課題】 課題プリント3：ベクトル積の基礎
- 第4回 【授業テーマ】 力のモーメントの釣り合い
【内容・方法等】 ベクトル積を用いたモーメントの釣り合いについての説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント4：力のモーメントの釣り合い
- 第5回 【授業テーマ】 重心
【内容・方法等】 重心の定義を理解し、質点系と一般的な物質における重心の求め方を説明する。
【事前・事後学習課題】 課題プリント5：重心1
- 第6回 【授業テーマ】 力のモーメントの並進・回転運動
【内容・方法等】 物体の運動を記述するために必要な重心の運動である並進運動と重心の周りの回転に関する回転運動について説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント6：物体の釣り合い
- 第7回 【授業テーマ】 角度の表記
【内容・方法等】 角度のラジアン表記と角速度と角加速度について説明する。
【事前・事後学習課題】 課題プリント7：ラジアン表記と角速度、そして重心2
- 第8回 【授業テーマ】 角運動量
【内容・方法等】 角運動量についてベクトル積を用いて定義し、その角運動量保存則について説明する。
【事前・事後学習課題】 中間確認プリント
- 第9回 【授業テーマ】 慣性モーメントの基礎
【内容・方法等】 剛体の定義と回転のしにくさを示す慣性モーメントについて説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント8：慣性モーメント
- 第10回 【授業テーマ】 棒の慣性モーメント
【内容・方法等】 線密度を導入し、棒状の慣性モーメントについて説明する。
【事前・事後学習課題】 課題プリント9：棒の慣性モーメント
- 第11回 【授業テーマ】 板の慣性モーメント
【内容・方法等】 面密度を導入し板の慣性モーメントについて説明する。さらに、板の面に対して垂直方向軸と水平方向軸で慣性モーメントが異なる事を示す。
【事前・事後学習課題】 課題プリント10：平面版の慣性モーメント
- 第12回 【授業テーマ】 円盤の慣性モーメント
【内容・方法等】 極座標を用いて円盤に垂直な方向と水平な方向に対する慣性モーメントの導出を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント11：円盤の慣性モーメント
- 第13回 【授業テーマ】 平行軸の定理と直行軸の定理
【内容・方法等】 慣性モーメントに対する平行軸の定理と直行軸の定理について説明を行う。
【事前・事後学習課題】 課題プリント12：平行軸の定理と直行軸の定理

- 第14回** 【授業テーマ】 剛体の平面運動
 【内容・方法 等】 慣性モーメントを用いた剛体の運動についての取り扱い方を説明する。
 【事前・事後学習課題】 課題プリント13: 剛体の平面運動
- 第15回** 【授業テーマ】 剛体の力学のまとめ
 【内容・方法 等】 剛体に対する記述と運動のまとめを行う。
 【事前・事後学習課題】 課題プリント14: 慣性モーメントのまとめ

評価方法 (基準)
 評価は期末試験と小テストにて行う。定期試験 70%、その他 30%

教材等
 教科書…「やさしい基礎物理」(森北出版) 潮秀樹、上村洗 (2520円)
 参考書…

学生へのメッセージ
 力学1では主に質点系の運動を取り扱いましたが、力学2は実際の形ある物体についての運動を記述します。力学2の剛体の力学は日常の様々なところで使用されています。この授業を通して、どのようなところで剛体の力学が使用されているのか考えてみましょう。また、力学1の復習も含めて授業を行いますので、力学1を履修していない人も不安にならずに履修してください。

関連科目
 微積分I、線形代数、物理学実験

担当者の研究室等
 1号館2階 物性物理研究室2

理工学基礎実験
 Basic Experiments in Science and Engineering

池内 淳子 (イケウチ ジュンコ)
 神嶋 修 (カミシマ オサム)
 栗田 功 (アワタ イサオ)
 亀野 晶子 (カメノ アキコ)
 三木 久巳 (ミキ ヒサミ)
 林 和宏 (ハヤシ カズヒロ)
 伊藤 譲 (イトウ ユズル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
 理工学に必要な基礎的計測技術を身につけ、理工学の基礎的な考え方を体験する。さらに、専門分野だけでなく理工学全体の基礎知識に触れることを目的とする。
 到達目標：(1)長さ、重さ、電圧・電流、圧力・温度、pHなどの計測技術を身につける。(2)工学、物理学の基礎的な考え方を学ぶ。学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点
 実験は4グループに別れて行う。グループ内では4~6名のチームで協力して実験を行う。時間内に実験からレポート作成まで行う。なお、17種類の実験テーマ中、15テーマをグループごとに実施する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
 1回目：ガイダンス、歩測
 2~15回目：下記テーマの実験、レポート作成（毎回予習レポートを課す）
 実験テーマ：
 (1) 歩測 自分の歩幅を知り、道の距離を測定する。誰が正確に測れるか？
 (2) 体積と重量 身の回りのさまざまなものの単位体積重量を求める。いろいろな物体の形をはかりスケッチする。
 (3) 浮力 浮力のメカニズムを理解する。
 (4) 平面図形の重心 (図心) 重心を実測と計算により求める。モーメントとはなにか？
 (5) 力の合成 力の合成に関する法則を実証するための実験方法を考え、実験を計画する。実験装置を作り、実験を実施し、測定データをもとに法則を検証する。
 (6) フックの法則 ばねに力が作用するときの変形量をはかる。フックの法則を理解する。
 (7) 重力加速度 重力加速度を計測する。計測精度を評価する。
 (8) 水平投射運動 斜面から球が水平投射されたときの球の位置などを測定する。力学的エネルギー保存則と水平投射による運動を説明する。
 (9) 圧力と温度 圧力と温度をはかる。圧力の作用と空気の状態変化を理解する。
 (10) 仕事と熱エネルギー 人の馬力をはかる。仕事と熱エネルギーを体感する。
 (11) 電流と電圧 簡単な電気回路を作り、テスターの使い方を

知る。オームの法則、直流と交流について調べる。
 (12) 電池の仕組み 金属のイオン傾向を調べ、化学電池(乾電池)の基礎を学ぶ。次世代電池の仕組みを理解する。
 (13) 発電機とリニアモーター 磁石を使って電気をつくり、つくった電気で磁場中の銅線を動かす。(リニアモーターと発電機)
 (14) 光の強さと成分 いろいろな光の強さと色の成分を測定する。
 (15) 空気の対流 空気の対流を作り、対流内の温度差を計測することで仕組みを理解する。
 (16) pHとEC 身近な環境をはかってみる。環境をはかる方法の原理を理解する。
 (17) ピオトープの観察 ピオトープの環境を調べ、生物を観察する。

評価方法・評価基準
 平常点 (50%)、レポート (50%) の総合点で評価する。

教材等
 教科書…「理工学基礎実験」
 参考書…なし

備考
 【その他 (学生へのメッセージ等)】
 建築を学ぶには、物理現象に興味を抱き理解しようとするのが大切です。「理工学基礎実験」を通じて工学や物理学の基礎的な考え方を知り、理解を深めるために役立ててください。

物理学実験
 Experiments in Physics

松尾 康光 (マツオ ヤスミツ)
 亀野 晶子 (カメノ アキコ)
 角本 賢一 (カクモト ケンイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 この実験科目は、自然科学の基本である「物理学」を、実際の測定やデータ解析を通して理解し、さらに物理現象をより深く観察・認識する科目である。よって、いろいろな装置を活用して、一連の内容の基本的演習および計測方法を学ぶ。到達目標：以下の項目の理解を目標とする。1) 国際単位系(SI), 2) 各テーマの物理的内容, 3) 物理計測機器の取り扱い法, 4) 物理測定方法, 5) 誤差の考え方と取り扱い方。
 学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点
 2~3人で1つの班が編成されるが、各班は順番表に従って週に1回(2時限)の実験を行い、レポートを提出する。

科目学習の効果 (資格)
 この科目では、事実・現象・測定等の実体験を通して、すじ道を立てて考える科学的な思考法を養う。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 物理学実験に向けて
 【内容・方法 等】 「実験」に関するガイダンス、および有効数字、誤差についての講義を行う。
 【事前・事後学習課題】
- 第2回** 【授業テーマ】 サールの装置によるヤング率の測定
 【内容・方法 等】 サールの装置を用いて、2本の針金(真ちゅう線・ピアノ線)のヤング率を求める。
 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
- 第3回** 【授業テーマ】 熱の仕事当量Jの測定
 【内容・方法 等】 電流の発熱作用により、熱量計の中の水の温度上昇から熱の仕事当量Jを求める。
 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
- 第4回** 【授業テーマ】 電子の比電荷の測定
 【内容・方法 等】 電子が磁場内で円運動する状態を観察し、電子の比電荷e/mの値を求める。
 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
- 第5回** 【授業テーマ】 分光実験
 【内容・方法 等】 分光計を用いて、葉緑素の光吸収スペクトルを求める。
 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
- 第6回** 【授業テーマ】 プランク定数の測定
 【内容・方法 等】 光電効果の現象を通して、光子の概念を理解し、プランク(Planck)定数hの値を測定する。
 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
- 第7回** 【授業テーマ】 ボルダの振り子による重力加速度の測定
 【内容・方法 等】 ボルダの振り子を用いて、当実験室での重力加速度の値を求める。
 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
- 第8回** 【授業テーマ】 直流回路と交流回路
 【内容・方法 等】 簡単な直流回路と交流回路を通じて、その動作原理を理解し、未知の抵抗の抵抗値を求める。

- 第9回** 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
【授業テーマ】 低温の世界
【内容・方法等】 低温では物質の性質が劇的に変化する。本実験では低温におけるさまざまな現象について体験を通して理解する。
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
【授業テーマ】 光の回折の実験
【内容・方法等】 レーザーと回折格子を用いて、回折格子の間隔と回折角との関係を調べ、回折格子の間隔の値を求める。
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
【授業テーマ】 ねじれ振り子による剛性率の測定
【内容・方法等】 ねじれ振り子の周期、金属製円環のサイズ、ピアノ線の直径等を測定し、これらの測定結果からピアノ線の剛性率を求める。
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
【授業テーマ】 コールラウシュブリッジによる電解質溶液の抵抗測定
【内容・方法等】 コールラウシュブリッジを用い、電気伝導率が既知の電解質溶液から容器定数を求め、未知の電解質溶液の電気伝導率を測定する。
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
【授業テーマ】 電磁波の実験
【内容・方法等】 電磁波に関する種々の基本的測定から、電磁波の周波数や偏向特性を調べる。
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
【授業テーマ】 レンズの焦点距離の測定
【内容・方法等】 凸レンズおよび凹レンズの焦点距離の測定法を学び、レンズの特性を理解する。
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
【授業テーマ】 速度と加速度
【内容・方法等】 ストロボ撮影により、自由落下現象を観察し、速度と加速度を理解し、重力加速度を求める。

評価方法 (基準)

1)実験は講義と異なり、皆出席を前提とする。2)レポートの提出がない場合、実験をしていないものとみなすので必ず提出すること。3)レポートの内容と理解度(50%)、測定態度と試験実験の結果(50%)の総合的な観点から評価する。

教材等

教科書…物理学実験指導書
参考書…潮秀樹、上村洗著「やさしい基礎物理」・原康夫著「第3版 物理学基礎」(学術図書出版)

学生へのメッセージ

1) 実験は自然科学の基本です。この物理学実験でおおいに物理学を実体験して下さい。2) 質問がある場合、担当の先生に遠慮なく質問して下さい。3) 授業時間外の場合は、担当の先生の研究室へ訪ねて下さい。

関連科目

基礎力学演習、物理学Ⅰ・Ⅱ、力学Ⅰ・Ⅱ

担当者の研究室等

8号館2階 共生機能材料科学研究室

情報リテラシー Information Literacy I				
		芝 定 孝 (シバ サダタカ) 趙 ミンジョン (チョウ ミンジョン)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

コンピュータと情報通信ネットワークを利用するために必要な基礎的知識と技術を習得する。Windowsシステムをベースとして、オフィスアプリケーションの基本操作の習得と、電子メールやインターネットの利用技術、さらには数値データの収集・分析に必要な基礎技法を習得する。＜到達目標＞理工学に関連する情報処理の重要性を認識する。コンピュータの基本操作を習得し、理工学の学習・研究においてコンピュータを有効活用できるようにする。
学科の学習・教育目標との対応：[E]

授業方法と留意点

Word、ExcelおよびPowerPointを取り上げ、とくに数学的に考察する能力の向上を図ったデータ収集と分析に関する演習課題を提示し、演習を行う。また、コンピュータと情報通信ネットワークの基礎知識を習得するための資料を配付する。

科目学習の効果 (資格)

基本情報処理技術と技能の向上

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 利用システムの概説

- 【内容・方法等】 ・演習室の概要とシステム
・授業計画と受講留意事項の説明
- 第2回** 【授業テーマ】 Windowsシステム
【内容・方法等】 ・Windowsの基本操作
【事前・事後学習課題】 情報処理室の利用手続きに目を通して
おく。
- 第3回** 【授業テーマ】 電子文書の作成
【内容・方法等】 ・Wordの基本操作、レイアウト
・ファイル入出力
【事前・事後学習課題】 Wordの起動・終了、文書ファイルの
読込・保存方法を理解する。
(2.1~2.4の演習課題)
- 第4回** 【授業テーマ】 電子文書の作成
【内容・方法等】 ・罫線と表作成
・オブジェクト (図) の挿入
【事前・事後学習課題】 罫線の引き方、表と図の作成方法を整
理しておく。
(2.5~2.7の演習課題)
- 第5回** 【授業テーマ】 表計算入門
【内容・方法等】 ・Excelの基本操作
・セルの概念
【事前・事後学習課題】 Excel起動・終了、表計算ファイルの
読込・保存方法を理解する。
(3.1~3.3の演習課題)
- 第6回** 【授業テーマ】 表計算とグラフ
【内容・方法等】 ・グラフの作成
・簡単なデータベース
【事前・事後学習課題】 セルの相対参照と絶対参照の違いを整
理する。
(3.4~3.5の演習課題)
- 第7回** 【授業テーマ】 表計算と関数
【内容・方法等】 ・数学関数
・統計関数
【事前・事後学習課題】 利用する数学関数の使い方を理解する。
(3.6の演習課題)
- 第8回** 【授業テーマ】 演習
【内容・方法等】 ・表計算のまとめ
・理工学系レポート作成の基本
【事前・事後学習課題】 レポート作成要領を理解する
- 第9回** 【授業テーマ】 電子メール
【内容・方法等】 ・電子メールの配信の仕組み
・課題のメール送信
【事前・事後学習課題】 添付ファイルの送信方法を理解する。
(4.1.4.2の練習)
- 第10回** 【授業テーマ】 ネット技術と情報検索
【内容・方法等】 ・情報検索の方法
・HTML入門
【事前・事後学習課題】 インターネットの仕組みを理解する。
(4.3と5.1の練習)
- 第11回** 【授業テーマ】 演習
【内容・方法等】 ・情報検索とHTMLレポートのまとめ方
【事前・事後学習課題】 レポートのまとめ方を整理する。
(演習課題配布)
- 第12回** 【授業テーマ】 プレゼンテーションソフト入門
【内容・方法等】 ・PowerPointの基本操作
【事前・事後学習課題】 PowerPointの起動・終了、ファイル
の読込・保存を理解する。
(6章全般)
- 第13回** 【授業テーマ】 プレゼンテーション資料の作成
【内容・方法等】 ・効果的なデータ提示 (ヒストグラム等)
・資料の作成方法
【事前・事後学習課題】 Word文書の作成との違いを理解する。
(6章全般)
- 第14回** 【授業テーマ】 テクニカル・プレゼンテーション
総合演習(1)
【内容・方法等】 ・プレゼンテーション資料の作成演習
・発表の仕方
【事前・事後学習課題】 総合演習課題
- 第15回** 【授業テーマ】 総合演習(2)
【内容・方法等】 ・演習課題とレポート作成
【事前・事後学習課題】 総合演習課題

評価方法 (基準)

平常点 (30%) と演習レポート (70%) で総合的に評価する。

教材等

教科書…「Office2010で学ぶコンピュータリテラシー」(小野目如快著、実教出版、2,100円)
参考書…必要に応じて参考資料を配付する。

学生へのメッセージ

学業を遂行していく上で必須となる情報処理の基本技術を身に
着けることができます。毎回実施する演習課題を着実にこなして
いくことが重要です。

関連科目

担当者の研究室等
8号館3階 A科共通準備室

情報リテラシーII Information Literacy II				
芝 定 孝 (シバ サダタカ) 趙 ミンジョン (チョウ ミンジョン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標
 情報技術の有効利用の中でも、科学技術分野においてとりわけ重要であるデータの処理と分析のための種々の数学的処理技法を理解する。表計算ソフトを用いて、その特有のデータ処理・分析の操作・手順を学ぶ。
 到達目標>理工学分野で必要となる情報(数値データ)の処理方法と基本的分析方法を習得する。
 学科の学習・教育目標との対応: [E]

授業方法と留意点
 代表的かつ標準的な表計算ソフトであるExcelを対象とする。Excelの多種多様な機能のうち理工系の学生にとって必要なデータの集計・分析に有効利用できる機能に焦点を絞り、表計算を利用した数学的な考察能力の向上を促進するための演習を行う。

科目学習の効果(資格)
 データ処理・分析を中心とした情報処理能力の向上

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 利用システムの説明
 表計算の基本操作(1)
 【内容・方法等】 ・演習室の概要とシステム
 ・授業計画と受講留意事項の説明
 ・ソフトの起動・終了、データ入力
 【事前・事後学習課題】 情報処理室の利用手引きを読む。(第1~3回の課題)
- 第2回** 【授業テーマ】 表計算の基本操作(2)
 効果的なグラフ表現
 【内容・方法等】 ・表の整形、数式入力
 ・式のコピーと貼り付け
 ・グラフの作成
 【事前・事後学習課題】 表のレイアウト設定に関する演習課題の配布(第4~6回の課題)
- 第3回** 【授業テーマ】 関数の利用
 【内容・方法等】 ・数式の書き方
 ・関数ウィザード
 【事前・事後学習課題】 統計基本関数を用いた演習課題の配布(第7回の課題)
- 第4回** 【授業テーマ】 データ集計とセルの参照
 【内容・方法等】 ・セルの相対参照と絶対参照
 ・データの並び替え
 【事前・事後学習課題】 オートフィルタの演習(第8回の課題)
- 第5回** 【授業テーマ】 ヒストグラム
 【内容・方法等】 ・分析ツールの利用
 ・論理関数によるヒストグラムの作成
 【事前・事後学習課題】 ヒストグラム作成の演習(第9回の課題)
- 第6回** 【授業テーマ】 散布図と回帰分析
 【内容・方法等】 ・回帰直線とデータの推測
 【事前・事後学習課題】 散布図の作成と回帰直線によるデータ分析の演習課題(第10回の課題)
- 第7回** 【授業テーマ】 相関係数
 【内容・方法等】 ・相関係数とは
 ・相関係数の求め方
 【事前・事後学習課題】 相関係数を用いたデータ分析の演習課題(第11回の課題)
- 第8回** 【授業テーマ】 統計基礎量(分布の代表値・広がり)
 【内容・方法等】 ・分布の代表値(平均値/中央値/最頻値)
 ・分布の広がり(最大最小/分散/標準偏差)
 【事前・事後学習課題】 データ集計とデータ分布の割合に関する演習課題(第12回の課題)
- 第9回** 【授業テーマ】 正規分布
 【内容・方法等】 ・正規分布とは/標準正規分布
 ・分布データの存在確率
 【事前・事後学習課題】 正規分布関数を用いたデータ分析の演習課題

(第13回の課題)
第10回 【授業テーマ】 データの標準化(平均と標準偏差)
 【内容・方法等】 ・平均が異なるデータの比較/標準偏差の異なるデータの比較
 ・分布の異なるデータの比較/データの標準化
 【事前・事後学習課題】 データの標準化と比較の演習課題(第14回の課題)

第11回 【授業テーマ】 分析ツールによる単回帰分析
 【内容・方法等】 ・散布図による回帰分析
 ・相関係数と決定係数
 ・分析ツールを用いた単回帰分析
 【事前・事後学習課題】 分析ツールを用いた単回帰分析の演習課題(第15回の課題)

第12回 【授業テーマ】 重回帰分析
 【内容・方法等】 ・相関行列/重回帰分析の基本
 ・判別分析
 【事前・事後学習課題】 簡単な判別分析の演習課題(第16回と第17回の課題)

第13回 【授業テーマ】 重回帰分析の応用(数量化理論)
 【内容・方法等】 ・数量化理論の基本
 ・数量化理論による分析方法
 【事前・事後学習課題】 簡単な数量化理論の演習(第18回と第19回の課題)

第14回 【授業テーマ】 乱数とモンテカルロ・シミュレーション
 【内容・方法等】 ・乱数とは
 ・乱数の発生方法
 【事前・事後学習課題】 乱数を用いたシミュレーションデータの作成

第15回 【授業テーマ】 総合演習
 【内容・方法等】 ・まとめ
 【事前・事後学習課題】 データ集計・分析の総合的演習課題

評価方法(基準)
 平常点(60%)と演習レポート(40%)で総合的に評価する。

教材等
 教科書…演習テキストを配布する。
 参考書…必要に応じて関連書籍(アスキー出版、インプレス出版等)を各自用意するとよい。

学生へのメッセージ
 上位学年次の学習や研究で必要となるデータの処理と分析の方法を効率よく学ぶことができます。毎回実施する演習課題にじっくり取り組む姿勢が大切です。

関連科目
 情報リテラシー I
担当者の研究室等
 8号館3階 A科共通準備室

図学 Descriptive Geometry I				
木 多 彩 子 (キタ アヤコ) 佐 野 潤 一 (サノ ジュンイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
 [授業概要・目的]建築は、建築家がイメージした空間(3次元)が客観化・図形化され、その図面(2次元)に従って施工されて、現実の建築(3次元)として完成される。図学Iでは3次元の立体をいかに2次元で表現するか、つまり、いかに図形化するか、そして図形化された形を、いかに空間に結びつけて読み解くかの方法を、点、直線、平面、立体の各正投影法によって学ぶ。
 [到達目標] 1)直線の正投影の考え方と作図方法。2)平面の正投影の考え方と作図方法。3)立体の正投影の考え方と作図方法。4)正投影の陰影。
 学科の学習・教育目標との対応: [E]

授業方法と留意点
 図学Iでは、各授業において教科書を用いた講義と応用演習プリントにより、段階的に図形に対する理解を高め、具体的な図形操作能力と空間把握力を培う。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回** 【授業テーマ】 図学基礎
 【内容・方法等】 図学の概説と授業概要、線の等分、角の等分、楕円による作図作業基礎
 【事前・事後学習課題】 復習課題(1)
- 第2回** 【授業テーマ】 点の正投影1
 【内容・方法等】 投影と正投影、正投影図
 【事前・事後学習課題】 復習課題(2)
- 第3回** 【授業テーマ】 点の正投影2
 【内容・方法等】 点の正投影図と副投影図

- 第4回 【事前・事後学習課題】 復習課題（3）
【授業テーマ】 直線の正投影1
【内容・方法等】 直線の正投影図と跡
- 第5回 【事前・事後学習課題】 復習課題（4）
【授業テーマ】 直線の正投影2
【内容・方法等】 直線の正投影と実長、傾角
【事前・事後学習課題】 復習課題（5）
- 第6回 【授業テーマ】 平面の正投影1
【内容・方法等】 平面の正投影図と傾角
【事前・事後学習課題】 復習課題（6）
- 第7回 【授業テーマ】 平面の正投影2
【内容・方法等】 平面の交線
【事前・事後学習課題】 復習課題（7）
- 第8回 【授業テーマ】 第2回から第7回の復習
【内容・方法等】 第2回から第7回の内容を総括して、ここまでの流れを復習する
【事前・事後学習課題】 第7回までの授業の不明点を明確にする
- 第9回 【授業テーマ】 中間試験
【内容・方法等】 試験範囲を狭め理解を深める
【事前・事後学習課題】 試験対策
- 第10回 【授業テーマ】 平面の正投影3
【内容・方法等】 平面の開角と実形
【事前・事後学習課題】 復習課題（8）
- 第11回 【授業テーマ】 立体の正投影1
【内容・方法等】 正多面体の平面図と立面図
【事前・事後学習課題】 復習（9）
- 第12回 【授業テーマ】 立体の正投影2
【内容・方法等】 立体の切断、断面図
【事前・事後学習課題】 復習課題（10）
- 第13回 【授業テーマ】 陰影1
【内容・方法等】 直線・平面の陰影
【事前・事後学習課題】 復習課題（11）
- 第14回 【授業テーマ】 陰影2
【内容・方法等】 立体の陰影
【事前・事後学習課題】 復習課題（12）
- 第15回 【授業テーマ】 第10回から第14回の復習
【内容・方法等】 第10回から第14回の内容を総括して、ここまでの流れを復習する
【事前・事後学習課題】 第14回までの授業の不明点を明確にする

評価方法（基準）

中間試験(30%)、期末試験(30%)、演習(20%)、復習課題(20%)

教材等

教科書…「建築図学」佐藤平、谷村秀彦、鈴木達巳著 理工学社(2400円)

参考書…別途指示する

学生へのメッセージ

図学Ⅰは必修科目であり、ぜひ1年次で単位を修得してほしいです。欠席せずに、まじめに演習に取り組んでいる学生で、単位が修得できない人はほほいません。予習よりも復習を大切にしてください。

関連科目

図学Ⅱや設計演習のために修得しておくこと。

担当者の研究室等

8号館3階 木多研究室・佐野教授室

図学Ⅱ Descriptive Geometry II				
加 嶋 章 博 (カシマ アキヒロ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

【授業概要・目的】 図学Ⅱでは、主として単面投影を理解し、3次元の立体や空間を2次元の平面に描く図法を学習し、空間表現力ならびに空間把握力を強化する。標高投影、軸測投影、直接法、平行透視図法、2消点法等を学び、様々な形態や空間を軸測投影や透視図法により適切に表現する力を培う。図学Ⅱの到達目標は次の項目を理解することである[到達目標]1) 標高投影、軸測投影の作図方法。2) 透視図の作図方法。3) 透視図における陰影の作図方法。

学科の学習・教育目標との対応：[E]

授業方法と留意点

図学Ⅱでは、各授業において教科書を用いた講義と応用演習プリントにより、軸測投影や透視図法を条件を変化させて段階的に学習し、実践的な図形表現力を養成する。

科目学習の効果（資格）

設計演習のための基礎的な表現手法としても理解を深める。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 単面投影
【内容・方法等】 2次元と3次元、その図表現の違いを理解する
- 第2回 【事前・事後学習課題】 予習課題を行う
【授業テーマ】 軸測投影1
【内容・方法等】 軸測投影の基礎
【事前・事後学習課題】 返却する演習プリントの復習および予習課題を行う
- 第3回 【授業テーマ】 軸測投影2
【内容・方法等】 軸測投影の応用1
【事前・事後学習課題】 返却する演習プリントの復習および予習課題を行う
- 第4回 【授業テーマ】 軸測投影3
【内容・方法等】 軸測投影の応用2
【事前・事後学習課題】 返却する演習プリントの復習および予習課題を行う
- 第5回 【授業テーマ】 標高投影
【内容・方法等】 標高投影図の理解
【事前・事後学習課題】 返却する演習プリントの復習および予習課題を行う
- 第6回 【授業テーマ】 直接法1
【内容・方法等】 直接法による透視図
【事前・事後学習課題】 返却する演習プリントの復習および予習課題を行う
- 第7回 【授業テーマ】 軸測投影と直接法
【内容・方法等】 軸測投影・直説法の応用および中間試験1
【事前・事後学習課題】 返却する演習プリントの復習および予習課題を行う
- 第8回 【授業テーマ】 透視図法1
【内容・方法等】 平行透視図法による室内透視図1
【事前・事後学習課題】 返却する演習プリントの復習および予習課題を行う
- 第9回 【授業テーマ】 透視図法2
【内容・方法等】 平行透視図法による室内透視図2
【事前・事後学習課題】 返却する演習プリントの復習および予習課題を行う
- 第10回 【授業テーマ】 透視図法3
【内容・方法等】 二消点法による直方体の透視図
【事前・事後学習課題】 返却する演習プリントの復習および予習課題を行う
- 第11回 【授業テーマ】 透視図法4
【内容・方法等】 二消点法による複合立体の透視図1
【事前・事後学習課題】 返却する演習プリントの復習および予習課題を行う
- 第12回 【授業テーマ】 透視図法5
【内容・方法等】 二消点法による複合立体の透視図2
【事前・事後学習課題】 返却する演習プリントの復習および予習課題を行う
- 第13回 【授業テーマ】 透視図法6
【内容・方法等】 陰影の表現および中間試験2
【事前・事後学習課題】 返却する演習プリントの復習および予習課題を行う
- 第14回 【授業テーマ】 透視図法7
【内容・方法等】 二消点透視図法による陰影表現1
【事前・事後学習課題】 返却する演習プリントの復習および予習課題を行う
- 第15回 【授業テーマ】 透視図法8
【内容・方法等】 二消点透視図法による陰影表現2
【事前・事後学習課題】 返却する演習プリントの復習

評価方法（基準）

授業への積極的な関与および毎回の演習(20%)、中間試験の合計(40%)、期末試験(40%)

教材等

教科書…図学Ⅰに同じ。

参考書…別途、プリントを配布する。

学生へのメッセージ

必修科目です。ぜひ1年次で単位を修得して下さい。毎回の演習内容は段階的な理解を目指して作成しているため、もし欠席した場合には必ず自己学習をして追いついて下さい。「図形を楽しむ」ということをコンセプトに授業計画を立てています。建築が好きな学生にはぜひ図学も好きになって欲しいと思います。図形作成能力はそのまま空間表現力につながります。

関連科目

図学Ⅰ、設計演習科目。

担当者の研究室等

8号館3階 加嶋准教授室

建築法規 Building Code				
寺 西 興 一 (テラニシ コウイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
 建築基準法が、昭和25年に制定された当時は、在来木造建築がほとんどであり、しかも、戦後の住宅難を背景としていた。その後、建築材料の多様化、又、建築工法の変化に伴い、建築基準法もその都度、改正が行われ、現在では、その内容も多岐にわたっている。又、難解な法律なので、読んでその内容が理解できる能力を養うこと、又、それぞれの法文については、結果のみが記載されるためその本旨を理解することを目標とする。当科目では、主に建築物単体について行う。
 学科の学習・教育目標との対応：[B]

授業方法と留意点
 法律とテキスト(資料等)を用いた講義方式とし、法律の法文そのものを事例等を通じて理解・習得する。

科目学習の効果(資格)
 一級建築士等の資格を取得するのに重要な科目であり、その際、建築関係法令集を持ち込めるので、その対応ができるようにする。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業の進め方、法律の制定及び建築法規の変遷について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第2回 **【授業テーマ】** 建築基準法(目的と構成等)
【内容・方法 等】 法律の構成と目的及び用語の定義等について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第3回 **【授業テーマ】** 建築基準法(単体規定)
【内容・方法 等】 敷地の安全、居室の採光、換気、遮音等について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第4回 **【授業テーマ】** 建築基準法(防火関係)
【内容・方法 等】 建築物の不燃化・耐火化について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第5回 **【授業テーマ】** 建築基準法(避難関係等)
【内容・方法 等】 避難(2方向等)、救助、消火関係について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第6回 **【授業テーマ】** 建築基準法(構造関係)
【内容・方法 等】 固定荷重、積載荷重、風荷重、地震力等について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第7回 **【授業テーマ】** 建築基準法(構造計算)
【内容・方法 等】 構造計算(1次設計、2次設計)について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第8回 **【授業テーマ】** 建築基準法(建築設備)
【内容・方法 等】 電気、避雷針、昇降機、給水、排水等について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第9回 **【授業テーマ】** 建築基準法(集団規定)
【内容・方法 等】 都市計画区域等、用途地域、防火、準防火地域について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第10回 **【授業テーマ】** 建築基準法(面積関係)
【内容・方法 等】 面積の定義と建ぺい率、容積率について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第11回 **【授業テーマ】** 建築基準法(高さ関係)
【内容・方法 等】 高さの定義と道路からの高さ制限について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第12回 **【授業テーマ】** 建築基準法(日影規制等)
【内容・方法 等】 日影規制及び隣地境界からの高さ制限について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第13回 **【授業テーマ】** 建築基準法(まちづくり)
【内容・方法 等】 建築協定、地区計画等について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第14回 **【授業テーマ】** 建築基準法(制度規定)
【内容・方法 等】 確認済証、中間検査、完了検査、用途変更等について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第15回 **【授業テーマ】** 受験対策
【内容・方法 等】 定期テストと1級建築士の受験対策について
【事前・事後学習課題】 なし

評価方法(基準)
 定期試験の成績(70%)と演習問題・レポートの内容(30%)を用いて評価する。

教材等

教科書…建築関係法令集 法令編 平成25年版 (総合資格学院 編)

なお、テーマに合わせて適宜レジュメ・資料等を配布する。

参考書…特になし

学生へのメッセージ
 1970年に大阪府庁に入庁し、35年間建築の技術者として、建築指導行政、再開発事業、住宅の建設・管理の業務に就いた。その後、(財)大阪建築防災センターで建築確認審査業務等の業務や経営に携わった。現在は、文化財建造物の保存と活用に尽力している。

関連科目
 建築設計を行うに当たっては、建築設備としての電気工学や機械工学等の習得が必要である。

担当者の研究室等
 7号館2階 非常勤講師室

建築倫理 Architectural Ethics				
飯 田 匡 (イイダ タダス)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
 建築倫理とは、一言で言えば実務の場で建築技術者が直面するであろう諸問題に、どう対処すべきかを考えるための普遍的な規準である。建築を取り巻く社会環境が大きく変化する中、将来を支える優れた建築技術者は、こうした規準、すなわち専門家としての心構えを身につけることが不可欠である。そこで本講義では、リスク、責任、義務、技術等に関する具体的な事例の分析を通して、これからの建築技術者に求められる倫理的責任を学習する。また、事故や失敗を起こさないためには、どのように考え、行動すべきであるのかといった議論を通して、バランス感覚のとれた建築技術者の育成を図る。
 学科の学習・教育目標との対応：(B)

授業方法と留意点
 建築倫理の基本を学ぶ講義を行うと同時に、建築に限らず様々な工学分野における事故や失敗事例等の紹介を行う。事故・失敗事例に関しては、グループ討議等を通してその原因の分析や対策等について考える。また、さらに理解を深めるために定期的にレポート課題を課す。

科目学習の効果(資格)
 建築倫理は、技術的な知識だけではなく、人間の行動や社会状況に関する知識の活用が重要であることを理解し、良識ある建築技術者として、持てる技術を活かし、社会の要求に応えるために必要な普遍的なバランス感覚を身につける。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** 建築倫理の概要
【内容・方法 等】 イントロダクション: 建築倫理とは何か、なぜ建築倫理を学ぶのか。
【事前・事後学習課題】 レポート課題1
- 第2回 **【授業テーマ】** 倫理と倫理学
【内容・方法 等】 倫理と倫理学の基礎概念を学び、建築の分野でも増加しつつある国際的な交流のために、日本人の倫理観と欧米の専門家の倫理観の違いを理解する。
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第3回 **【授業テーマ】** 事故事例に学ぶ1
【内容・方法 等】 六本木ヒルズ回転扉事故、ジョン・ハンコック・タワーのガラス崩落事故等の事故事例の分析から、事故発生メカニズムを理解する。
【事前・事後学習課題】 レポート課題2
- 第4回 **【授業テーマ】** システムの倫理
【内容・方法 等】 本来、個人の心の問題である倫理と、個人が所属する組織や建築業界といったシステムにおける倫理との関係について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第5回 **【授業テーマ】** リスクマネジメントと安全性
【内容・方法 等】 リスクを組織的に管理し、最小の費用で危険や損失を効果的に回避するリスクマネジメントに関する基本的な概念を学び、安全性を確保する方法について考える。
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第6回 **【授業テーマ】** 事故事例に学ぶ2
【内容・方法 等】 明石花火大会事故ほか、過去に起こった群集事故の事例から、事故発生メカニズムと、取り得る対策を考える。
【事前・事後学習課題】 レポート課題3
- 第7回 **【授業テーマ】** ヒューマンエラー
【内容・方法 等】 人が介在することによって引き起こされるヒューマンエラーの発生メカニズムと、その対策について

- 具体的な事例を参考に分析する。
- 第8回 【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
【授業テーマ】 設計者の社会的責任とデザイン
【内容・方法等】 建築設計者に求められる倫理および社会的責任と、建築デザインが地域や環境に及ぼす影響について考える。
- 第9回 【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
【授業テーマ】 失敗事例に学ぶ1
【内容・方法等】 期待された性能を満たさない「がっかり建築」の事例分析から、建築の評価の難しさと建築技術者の立ち位置について考える。
- 第10回 【事前・事後学習課題】 レポート課題4
【授業テーマ】 施工管理と製造物責任
【内容・方法等】 建築は基本的には一品生産であり、また極めて多種の材料や多くの人が関わるため、複雑ならざるを得ない施工管理の問題点と、製造物責任について学習する。
- 第11回 【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
【授業テーマ】 知的財産権
【内容・方法等】 特許や著作権といった知的財産権の概要と、建築技術に関連する知的財産権の扱いについて具体的な事例から学習する。
- 第12回 【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
【授業テーマ】 失敗事例に学ぶ2
【内容・方法等】 手抜き工事による欠陥住宅等の事例分析から、建築における設計・施工・監理のシステムの問題について考える。
- 第13回 【事前・事後学習課題】 レポート課題5
【授業テーマ】 倫理綱領と法令
【内容・方法等】 建築技術者を対象とする様々な倫理綱領や行動規範を理解し、また、建築基準法その他の建築の設計・施工時に遵守すべき法律の概要と理念を学ぶ。
- 第14回 【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
【授業テーマ】 保険制度による補完
【内容・方法等】 建築に関連する損害賠償制度の概要と、保険事故事例から設計・監理において失敗を誘発する状況について分析を行う。
- 第15回 【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 本講義の総括として、教訓と戒めをまとめる。
- 【事前・事後学習課題】 レポート課題6
- 評価方法 (基準)
期末試験 (70%)、レポート (6回) (30%) により評価する。
- 教材等
教科書…日本建築学会編: 建築倫理用教材、日本建築学会、2003
参考書…齊藤了文、坂下浩司編: はじめての工学倫理 第2版、昭和堂、2005
齊藤了文、テクノロジーテラシーとは何か、講談社選書メチエ、講談社、2005
- 学生へのメッセージ
授業への主体的な参加を望みます。
- 関連科目
特になし
- 担当者の研究室等
8号館3階 (建築学科共通準備室)

造形演習I

Exercises in Formative Art and Design I

井村 良裕 (イムラ ヨシヒロ)
大家 春子 (オオイエ ハルコ)
橋本 紀夫 (ハシモト ミチオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

建築を始めとする全ゆる造形に対し、美を求めるのは、誰しもが抱く基本的欲求の一つです。本演習では広くファインアート(純粋美術)に根ざした立場から、美しい形(特に立体)を具体的に取り扱います。当面は西洋近代の造形理念を足場にして、個人の感性から生み出される形でのトレーニングが有効です。従って学生諸君はこの演習の中で、近代から現代に至る造形の世界を良く知る事、そして、各個人の中に潜んでいる感性を、鋭く目覚めさせる事が目標となります。良く知って、鋭く蘇らせながら形を作り続けるうちに、徐々に美しい形に対する判断力が身に付いて来るでしょう。

又、建築家として必ず求められる素養の一つ、フリーハンドによって正確な形態、明・暗、質感を描く力を身に付ける為、毎授業時に鉛筆ドローイングも行います。さらに、描写の建築

的実践の為学外の演習を1度行います。

学科の学習・教育目標との対応: [F]

授業方法と留意点

実践的な形の課題に取り組む演習が基本です。平行してスライド、配布資料等を用いた講義により、理論及び知識を伝えます。一連の内容と、マン・ツー・マンで行う各学生との対話を通じ、総合的に造形を学びます。用具、材料の忘れ物は時に致命的になるので注意する事。

科目学習の効果(資格)

特別の具体的効果は示し難いが、次第に磨かれる感性と、表現力の向上が期待される。

色彩の体系、調和に関しては、建築士試験の計画として出題される事が有る。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス。
20分ドローイング。
平面・色彩構成 I-1。
【内容・方法等】 授業に対する基本的態度、スケジュールの説明。用具、教材についての解説。「色彩と光」の講義。
- 第2回 【事前・事後学習課題】 材料、用具の手配。
【授業テーマ】 平面・色彩構成 I-2。
20分ドローイング。
【内容・方法等】 「色彩の体系」の講義。小スタディー課題。
【事前・事後学習課題】 事後: 復習問題。
- 第3回 【授業テーマ】 平面・色彩構成 I-3。
20分ドローイング。
【内容・方法等】 「色彩の調和、ムーン・スペンサーの法則」の講義。
【事前・事後学習課題】 事後: 復習問題。
- 第4回 【授業テーマ】 立体構成 I-1。
20分ドローイング。
【内容・方法等】 量的材料(粘土)による造形1。立体に関する講義と課題提示。スタディー小課題。具体的演習及び指導。
【事前・事後学習課題】 事後: スケッチ及び復習レポート。
- 第5回 【授業テーマ】 立体構成 I-2。
20分ドローイング。
【内容・方法等】 量的材料(粘土)による造形2。スタディー小課題。具体的演習及び指導。完成、講評。
【事前・事後学習課題】 事後: スケッチ及び復習レポート。
- 第6回 【授業テーマ】 立体構成 I-3。
20分ドローイング。
【内容・方法等】 量的材料(粘土)による造形3。テーマを持った本課題の提示。スライド等を併用した立体に関する講義。制作及び指導。
【事前・事後学習課題】 事後: スケッチ及び復習レポート。
- 第7回 【授業テーマ】 立体構成 I-4。
20分ドローイング。
【内容・方法等】 量的材料(粘土)による造形4。本課題の制作及び指導。完成。撮影、記録。
【事前・事後学習課題】 事後: スケッチ及び復習レポート。
- 第8回 【授業テーマ】 立体構成 II-1。
20分ドローイング。
【内容・方法等】 線の材料(アルミ線)による造形1。講義及びスタディー小課題の制作及び指導。
【事前・事後学習課題】 事後: スケッチ及び復習レポート。
- 第9回 【授業テーマ】 立体構成 II-2。
20分ドローイング。
【内容・方法等】 線の材料(アルミ線)による造形。スタディー小課題の制作及び指導。完成。講評。
【事前・事後学習課題】 事後: スケッチ及び復習レポート。
- 第10回 【授業テーマ】 立体構成 II-3。
20分ドローイング。
【内容・方法等】 線の材料(アルミ線)による造形。スライドによる講義。テーマを持った本課題の提示。制作及び指導。
【事前・事後学習課題】 事後: スケッチ及び復習レポート。
- 第11回 【授業テーマ】 立体構成 II-4。
20分ドローイング。
【内容・方法等】 線の材料(アルミ線)による造形。制作及び指導。完成。撮影、講評。
【事前・事後学習課題】 事後: スケッチ及び復習レポート。
- 第12回 【授業テーマ】 石膏立像デッサン。
【内容・方法等】 人体デッサンに備え、基礎的、基本的描画法を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 -----
- 第13回 【授業テーマ】 人体デッサン1。
【内容・方法等】 対象を観察によって表現しようとする時、観察がどのように深められ、表現が厳密化されてゆくかを学ぶ為、裸婦をデッサンする。
【事前・事後学習課題】 -----
- 第14回 【授業テーマ】 人体デッサン2。
【内容・方法等】 1に引き続き、習熟度、完成度を高める。講評、提出、記録。

【事前・事後学習課題】 -----
 第15回 【授業テーマ】 造形演習Ⅰ締めくくり。
 【内容・方法等】 教材プリント、スライドを用い、前期のまとめを行う。
 【事前・事後学習課題】 -----
 評価方法 (基準)
 各演習毎の課題(本課題約70%、補助課題約30%)提出作品全ての完成度、質によって評価し可否を判定する。なお、演習教科なので、100%の出席及び課題提出を前提とする。

教材等
 教科書…特に指定しない。
 ◎教材：石塑粘土(「アーティスト・フォルモ」)、キャンソンボード他2000円程度。
 参考書…西洋美術全集(集英社他)
 学生へのメッセージ
 下手だ、センスが無いと身を引くより、実際の課題制作、モードデッサン、学外演習等我々は共に考え、感じ、工夫しながら常に感性に刺激を与え続けます。素直に受け留め、楽しく続けていくうちに、いつの間にか磨かれている自分に気付くはずです。
 関連科目
 設計演習。
 担当者の研究室等
 8号館3階 建築学科造形演習準備室

造形演習II Exercises in Formative Art and Design II				
		井村良裕 (イムラ ヨシヒロ)		
		大家春子 (オオイエ ハルコ)		
		橋本紀夫 (ハシモト ミチオ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
 造形演習Ⅰとは一体のものとして完結するように組み立てられています。Ⅰとは同じ路線上で、同じ目標に至るものですが、現実的な提案、発表(プレゼンテーション)の軸となる平面上での手作業による表現、レイアウト等にもじっくりと取り組む方針です。同時に立体での演習は、課題の提示から、発想、試行、修正、完成までの速度、密度の向上に挑戦してもらい、学生諸君の五感、第六感の、より鋭い覚醒と表現力の熟習を目指します。
 また、広く美術に親しむ為、学外での美術展観覧を行います。
 学科の学習・教育目標との対応：【F】

授業方法と留意点
 基本的には実践的な表現の課題に取り組む。平行してスライド、配布資料等を用いた講義により、理論及び知識を伝え、一連の内容と、マン・ツー・マンで行う各学生との対話を通じ、総合的に造形、表現を学ぶ。用具、材料の忘れ物は時に致命的になるので注意する事。
 科目学習の効果(資格)
 感性の更なる覚醒とともに、形を創造する事に対する厳密な態度や忍耐力の向上が期待される。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス。
 【内容・方法等】 授業に対する基本的態度、スケジュールの説明。用具、教材についての解説。2回目以降の作業に備えた準備手順の指導。
 【事前・事後学習課題】 事後：必要な材料の手配。演習の基本である線トレース。
 第2回 【授業テーマ】 彩色演習1。
 【内容・方法等】 描写について、透明水彩絵の具の扱い方、「基本色」の調色。彩色の進め方の指導及び実践。
 【事前・事後学習課題】 事後：着彩技法の復習(グレースケール)。
 第3回 【授業テーマ】 彩色演習2。
 【内容・方法等】 陰・影の彩色。「基本色」によるうす塗り、重ね塗りの指導及び実践。
 【事前・事後学習課題】 指定段階までの着彩完了。
 第4回 【授業テーマ】 彩色演習3。
 【内容・方法等】 陰・影の彩色。「基本色」によるグレーディング、グラデーション技法の指導及び実践。完了、中間提出。
 【事前・事後学習課題】 事後：未完了者の作業。
 第5回 【授業テーマ】 彩色演習、プレゼンパースの簡易的着彩技法。
 【内容・方法等】 「設計演習」等のプレゼンパースの短時間着彩法。指導及び実践。
 【事前・事後学習課題】 事後：練習問題。
 第6回 【授業テーマ】 立体構成Ⅲ-1
 【内容・方法等】 面的材料(ケント紙)による造形。スタディー小課題の提示、制作及び指導。
 【事前・事後学習課題】 事後：スケッチ及び復習レポート。

第7回 【授業テーマ】 立体構成Ⅲ-2
 【内容・方法等】 面的材料(ケント紙)による造形。スタディー小課題の制作及び指導。完成、講評。
 【事前・事後学習課題】 事後：スケッチ及び復習レポート。
 第8回 【授業テーマ】 立体構成Ⅲ-3
 【内容・方法等】 「近現代造形、表現概念の変遷史」スライド及び資料による講義。
 面的材料(ケント紙)による造形。テーマを持った本課題の提示、制作及び指導。
 【事前・事後学習課題】 事後：スケッチ及び復習レポート。
 第9回 【授業テーマ】 立体構成Ⅲ-4
 【内容・方法等】 面的材料(ケント紙)による造形。テーマを持った本課題の制作及び指導。完成、撮影及び講評。
 彩色演習提出物の添削指導返却。
 【事前・事後学習課題】 事後：スケッチ及び復習レポート。
 第10回 【授業テーマ】 彩色演習4。
 【内容・方法等】 「固有色」彩色の指導、実践。
 【事前・事後学習課題】 事後：指定段階までの彩色完了。
 第11回 【授業テーマ】 彩色演習5。
 【内容・方法等】 「固有色」彩色の指導、実践、完了。
 【事前・事後学習課題】 事後：指定段階までの彩色完了。
 第12回 【授業テーマ】 彩色演習6。
 【内容・方法等】 「最暗部」彩色の指導、実践。
 【事前・事後学習課題】 事後：指定段階までの彩色完了。
 第13回 【授業テーマ】 彩色演習7。
 【内容・方法等】 「最明部」彩色の指導、実践。完了、提出。
 【事前・事後学習課題】 事後：未完了者の作業完了。
 第14回 【授業テーマ】 平面・色彩構成1。
 【内容・方法等】 小課題。課題に基づく「平面の分割と比例」スライド、資料による講義。
 【事前・事後学習課題】 事後：小課題。
 第15回 【授業テーマ】 平面・色彩構成2。
 【内容・方法等】 「平面の分割と比例」スライド、資料による講義。
 造形演習Ⅱのまとめ。
 【事前・事後学習課題】 -----

評価方法 (基準)
 各演習毎の課題(本課題約70%、補助課題約30%)提出作品全ての完成度、質によって評価し可否を判定する。
 教材等
 教科書…◎教材：水彩用具一式、キャンソンボード、ケント紙他2000円程度。
 参考書…西洋美術全集(集英社他)
 学生へのメッセージ
 下手だ、センスが無いと身を引くより、実際の課題制作、学外演習等我々は共に考え、感じ、工夫しながら常に感性に刺激を与え続けます。素直に受け留め、楽しく続けていくうちに、いつの間にか磨かれている自分に気付くはずです。
 関連科目
 設計演習。
 担当者の研究室等
 8号館3階 建築学科造形演習準備室

建築情報処理基礎 Introduction to Architectural Computer Science				
		木多彩子 (キタ アヤコ)		
		小林宏彰 (コバヤシ ヒロアキ)		
		辻井麻衣子 (ツジイ マイコ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
 [授業概要・目的] 建築の設計・施行に際して必要となるコンピュータを用いた製図技術(CAD: Computer Aided Design)の修得を目的とする。本講義では2次元CADはAutoCADを利用し、3次元CADはSketchUpを用いる。本講義は情報処理室で行うが、パソコン台数と作業時間に限りがあるので、3年次学生の履修を優先する。[到達目標] 1)AutoCADで基本的な操作を覚える。2)AutoCADで一般図が作成できる。3)SketchUpでプレゼンテーション図面が作成できる。
 学科の学習・教育目標との対応：【E】
 授業方法と留意点
 授業時間内に作業を進め、完了するためには、無遅刻、無欠席が必須である
 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション、AutoCADの概要
 AutoCAD基本操作と基本コマンド1
 【内容・方法等】 コンピュータ利用上の説明、バックアップ体制の準備、カスタマイズ

- 操作手順、拡大・縮小、入力方法、作成コマンド
- 第2回 【事前・事後学習課題】 配布プリント (参考書p.24からp.55)
【授業テーマ】 Auto CAD基本操作と基本コマンド 2
【内容・方法等】 修正コマンド、文字記入、寸法記入、練習問題
- 第3回 【事前・事後学習課題】 配布プリント (参考書p.56からp.88)
【授業テーマ】 Auto CAD 平面図作成 1
【内容・方法等】 通り芯、寸法の作図
- 第4回 【事前・事後学習課題】 配布プリント (参考書p.90からp.116)
【授業テーマ】 Auto CAD 平面図作成 2
【内容・方法等】 柱、壁の作図
【事前・事後学習課題】 配布プリント (参考書p.117からp.140)
- 第5回 【授業テーマ】 Auto CAD 平面図作成 3
【内容・方法等】 建具、設備の作図
【事前・事後学習課題】 配布プリント (参考書p.141からp.158) ほか
- 第6回 【授業テーマ】 Auto CAD 平面図作成 4
【内容・方法等】 文字入力、印刷出力
【事前・事後学習課題】 配布プリント (参考書p.159からp.186)
- 第7回 【授業テーマ】 中間作業確認
【内容・方法等】 AutoCAD操作修得の確認
【事前・事後学習課題】 配布プリント
- 第8回 【授業テーマ】 SketchUpの概要 基本操作
【内容・方法等】 SketchUp の基本コマンド、基本操作、練習問題
【事前・事後学習課題】 教科書 (p.27からp.70)
- 第9回 【授業テーマ】 SketchUpによる建物のモデリング 1
【内容・方法等】 平面図の読み込みと壁の作成
【事前・事後学習課題】 教科書 (p.71からp.109)
- 第10回 【授業テーマ】 SketchUpによる建物のモデリング 2
【内容・方法等】 建具の作成
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第11回 【授業テーマ】 SketchUpによる建物のモデリング 3
【内容・方法等】 階段の作成
【事前・事後学習課題】 教科書 (p.122からp.147)
- 第12回 【授業テーマ】 SketchUpによる建物のモデリング 4
【内容・方法等】 屋根の作成
【事前・事後学習課題】 教科書 (p.110からp.121)
- 第13回 【授業テーマ】 SketchUpによる建物のモデリング 5
【内容・方法等】 マテリアルの表現
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第14回 【授業テーマ】 SketchUpによる建物のモデリング 6
【内容・方法等】 見せ方の工夫 出力
【事前・事後学習課題】 図面の完成 出力
- 第15回 【授業テーマ】 期末作業確認
【内容・方法等】 SketchUp操作修得の確認
【事前・事後学習課題】 配布資料

評価方法 (基準)
課題点(40%)、中間作業確認 (30%)、期末作業確認 (30%)

教材等
教科書…「Google SketchUp パーフェクトテクニック」 (株) エクснаレッジ 2800円
授業中に適宜プリントを配布
参考書…「やさしく学ぶAuto CAD LT」 (株) エクснаレッジ 2800円
授業中に適宜プリントを配布

学生へのメッセージ
私語を慎み熱心に取り組めば、授業時間内に作業を完了させることが充分にできます。もし、自宅で復習や自習をする場合にはwindowsのコンピュータが必要です。

関連科目
設計演習 I・IIa・II

担当者の研究室等
8号館3階 木多教授室

建築情報処理応用 Architectural Computer Science				
木 多 彩 子 (キタ アヤコ) 柳 沢 学 (ヤナギサワ マナブ) 辻 井 麻衣子 (ツジイ マイコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
[建築学科学習目標] (E) [授業概要・目的] 企画、設計、施工という建設業務の多くでは、文書作成、表計算、プレゼンテーション能力が必要とされている。そのため、Excel、Photoshop、

Illustratorを用いて、報告書の作成、簡易な表計算、プレゼンテーションの手法について実習を中心に学ぶ。そのために必要なデータの統計処理等の数学的手法について学ぶ。 [到達目標] 1) Excelを用いて図表の作成と表計算ができること。 2) Wordを用いて報告書を作成できること。 3) PhotoshopおよびIllustratorを用いてプレゼンテーションボードが作成できること。学科の学習・教育目標との対応: [E]

授業方法と留意点
始めに簡単な説明をしますが、講義の基本は自発的な演習と質問に対しての回答という方法で行ないます。

科目学習の効果 (資格)
将来の実務・現場でのデータ処理やプレゼンテーション能力の基礎となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 基本事項の説明
【内容・方法等】 この講義では、Windows とExcel、Word、Photoshop、Illustrator を使って講義を進めるので、Excel、Word、Photoshop、Illustratorの基本的事項を述べる。

第2回 【事前・事後学習課題】 シラバスを熟読してくること
【授業テーマ】 Excel: その1
【内容・方法等】 Excelの基礎的な使い方を学ぶ。図や表を作成することによって、Excelに親しむ。
統計学の基礎 (平均値、標準偏差、相関係数) について学ぶ。

第3回 【事前・事後学習課題】 本日の課題をマスターしてくること
【授業テーマ】 Excel: その2
【内容・方法等】 構造の研究で得られた実験データを用いて、図表を作成する。

第4回 【事前・事後学習課題】 本日の課題をマスターしてくること
【授業テーマ】 Excel: その3 およびWordの操作
【内容・方法等】 構造の研究で得られた実験データを用いた図表を解説する。
卒業研究の梗概が作成できる程度のスキルを学ぶ。

第5回 【事前・事後学習課題】 本日の課題をマスターしてくること
【授業テーマ】 中間試験
【内容・方法等】 Excel・Wordの使い方についての試験。
【事前・事後学習課題】

第6回 【授業テーマ】 建築写真の加工: その1
【内容・方法等】 色の補正、明るさの補正 (教科書pp70-85)

第7回 【事前・事後学習課題】 本日の課題をマスターしてくること
【授業テーマ】 建築写真の加工: その2
【内容・方法等】 修復、形状の補正 (教科書pp86-102)

第8回 【事前・事後学習課題】 本日の課題をマスターしてくること
【授業テーマ】 建築パースの加工: その1
【内容・方法等】 背景・人物の合成 (教科書pp104-123)

第9回 【事前・事後学習課題】 本日の課題をマスターしてくること
【授業テーマ】 建築パースの加工: その2
【内容・方法等】 光と影の表現 (教科書pp124-142)

第10回 【事前・事後学習課題】 本日の課題をマスターしてくること
【授業テーマ】 建築図面の加工: その1
【内容・方法等】 図面の着色 (教科書pp22-45)

第11回 【事前・事後学習課題】 本日の課題をマスターしてくること
【授業テーマ】 建築図面の加工: その2
【内容・方法等】 素材感、立体感の表現 (教科書pp.46-68)

第12回 【事前・事後学習課題】 本日の課題をマスターしてくること
【授業テーマ】 プレゼンテーションボードの作成: その1
【内容・方法等】 ロゴの作成、画像の取り込み (教科書pp.144-173)

第13回 【事前・事後学習課題】 本日の課題をマスターしてくること
【授業テーマ】 プレゼンテーションボードの作成: その2
【内容・方法等】 テキスト読み込み、レイアウト、印刷 (教科書pp.174-205)

第14回 【事前・事後学習課題】 本日の課題をマスターしてくること
【授業テーマ】 プレゼンテーションボードの作成: その3
【内容・方法等】 プレゼンテーションボードの完成と出力

第15回 【事前・事後学習課題】 本日の課題をマスターしてくること
【授業テーマ】 発表会
【内容・方法等】 各自のプレゼンテーションボードを発表する。
【事前・事後学習課題】

評価方法 (基準)
ExcelとWordの基礎的な使い方を理解しているかについて中間試験(30%)およびプレゼンテーションボード成果品 (30%) 発表態度 (20%) で達成度を判定し、平常作業点 (20%) と合わせて評価する。

教材等
教科書…「建築とインテリアのためのPhotoshop + Illustrator テクニック」 エクснаレッジ 2500円
参考書…未定

学生へのメッセージ
講義に対して積極的に取り組んでください。教科書や参考書の指定はしませんが、個々に合った本を購入して利用するようにしてください。

関連科目

卒業研究
 担当者の研究室等
 8号館3階 柳沢教授室・木多教授室

測量 Surveying				
長岡弘隆(ナガオカ ヒロタカ) 吉住優子(ヨシズミ ユウコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

測量 (Surveying) は、地球表面の異なる点の相対的な位置関係を決定する技術であり、測量学は流域計画、都市計画、建築物・道路等の設計や施工に欠くことのできない基礎的学問である。本講義は測量に関する知識、技術、計算方法および実測方法の修得を目的としている。距離測量、角測量、水準測量を理解し基本事項を説明できること、主な測量器具の原理と構造を理解すること、測量値の情報処理と調整計算ができること、測定結果を効果的に図示および表現することを到達目標とする。学科の学習・教育目標との対応：[E]

授業方法と留意点

講義を中心に授業を進める他、実際に測量器具を用いた演習を、土曜日もしくは日曜日に終日かけて行う。また必要に応じてレポート提出を行い、基準に満たない場合は再提出を求めることがある。講義には関数電卓を持参すること。

科目学習の効果(資格)

さらに残された内容を自習することによって、測量士及び測量士補の国家試験の合格が期待される。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 測量の定義
 【内容・方法 等】 測量の歴史、分類、基準、測量の現場における具体的な事項について
 【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第2回 【授業テーマ】 測量の基準
 【内容・方法 等】 地球の形状、実測点の位置決定法、測定時に生じる誤差について
 【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第3回 【授業テーマ】 基準点(骨組)測量における距離測定1
 【内容・方法 等】 直接距離測定法についての概要、並びに誤差の補正について
 【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第4回 【授業テーマ】 基準点(骨組)測量における距離測定2
 【内容・方法 等】 誤差の精度、光波測定器による直接距離測定について
 【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第5回 【授業テーマ】 基準点(骨組)測量における角測定1
 【内容・方法 等】 測角機器の構造及び種類、原理、水平角の測定法について
 【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第6回 【授業テーマ】 基準点(骨組)測量における角測定2
 【内容・方法 等】 トラバースの概要、種類、作業の進め方について
 【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第7回 【授業テーマ】 基準点(骨組)測量における角測定3
 【内容・方法 等】 トラバース測量の精度、生ずる誤差の処理について
 【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第8回 【授業テーマ】 基準点(骨組)測量における角測定4
 【内容・方法 等】 緯距・経距の計算、閉合誤差・閉合比について
 【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第9回 【授業テーマ】 基準点(骨組)測量における角測定5
 【内容・方法 等】 閉合誤差の調整、座標展開について
 【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第10回 【授業テーマ】 水準測量の方法1
 【内容・方法 等】 水準儀の種類、それら器機の構造について
 【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第11回 【授業テーマ】 水準測量の方法2
 【内容・方法 等】 水準測量の方法、精度・誤差の補正について
 【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第12回 【授業テーマ】 測量演習1
 【内容・方法 等】 踏査選点、造標
 【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第13回 【授業テーマ】 測量演習2
 【内容・方法 等】 水平距離、土地の高低差の測定
 【事前・事後学習課題】 復習・予習

- 第14回 【授業テーマ】 測量演習3
 【内容・方法 等】 水平交角、方位角の測定
 【事前・事後学習課題】 復習・予習
- 第15回 【授業テーマ】 測量演習4
 【内容・方法 等】 座標展開、トラバース完成
 【事前・事後学習課題】 復習・予習

評価方法(基準)

測量演習における計算書・展開図の提出(30%)、授業時の小レポートおよび受講態度(20%)、期末試験(50%)により、評価する。

教材等

教科書…配布プリント
 参考書…「改訂新版基礎測量学」長谷川昌弘・他著 電気書院(3300円)

学生へのメッセージ

地球上の位置を、たとえばあなたが居るその位置を、どのように示すことができるのか、また、どうすれば求められるのかを知ることができます。道で目にする測量器具の扱い方も学ぶことができます。

関連科目

微積分I
 担当者の研究室等
 8号館3階 建築学科共通準備室

地球環境論 Global Environment for Architecture				
宮本征一(ミヤモト セイイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

[授業概要・目的] かつては地球の規模に対して人類の活動規模は小さく、人類の活動が地球環境やエネルギー・資源問題に及ぼす影響は考えられてこなかった。しかし、近年ではCO₂の排出量や資源の浪費については国際的な問題となり、特に、建築業界の非効率性や資源の浪費が問いだされている。地球環境を考えた上での建築のあり方について、エネルギー・資源問題やライフサイクルという概念について講義を行う。[到達目標] 今まで学んできた建築学(環境・計画・構造)の知識を再構築することによって、地球環境と建築との関係を修得。学科の学習・教育目標との対応：[F]

授業方法と留意点

教科書に沿っての講義を主体とします。授業中にどの程度理解できているのかを把握するための要約などを課します。

科目学習の効果(資格)

一級・二級建築士資格取得のために有用である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 地球環境と建築
 【内容・方法 等】 授業の概要・持続可能な社会の構築について
 【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第2回 【授業テーマ】 地球環境建築の基本的視点
 【内容・方法 等】 地球環境建築の2つの視点について・LCAについての要約
 【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第3回 【授業テーマ】 地球環境建築の基本的視点
 【内容・方法 等】 バウビオロギーと地球環境・建築憲章について
 【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第4回 【授業テーマ】 自然環境と地域・都市
 【内容・方法 等】 自然(生態系・風土)と都市との融合について
 【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第5回 【授業テーマ】 地球環境とエネルギー
 【内容・方法 等】 気候風土に適した建築物と都市化によるヒートアイランド現象について
 【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第6回 【授業テーマ】 地球環境とエネルギー
 【内容・方法 等】 住宅省エネルギー基準についての講義・パッシブデザインとアクティブデザインについての要約
 【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第7回 【授業テーマ】 地球環境と資源
 【内容・方法 等】 建築物の寿命・SI建築・資源の循環について

- 【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第8回 【授業テーマ】 安全と健康
【内容・方法等】 建築空間の安全・健康について
【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第9回 【授業テーマ】 地球環境と建築環境工学との関係と中間試験
【内容・方法等】 地球環境と建築環境工学との関係
中間試験
【事前・事後学習課題】 中間試験で解答できなかったところを復習すること。
- 第10回 【授業テーマ】 世代・文化の継承
【内容・方法等】 良き建築文化の継承について
【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第11回 【授業テーマ】 建築・立地環境の評価
【内容・方法等】 気候風土に適した建築計画の評価法について
【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第12回 【授業テーマ】 環境計画の評価
【内容・方法等】 建築環境性能の事前評価・事後評価について
【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第13回 【授業テーマ】 社会の制度と建築専門家の役割など
【内容・方法等】 建築のLCと環境マネジメントなどについて
【事前・事後学習課題】 授業内容の教科書を読み、復習すること。
- 第14回 【授業テーマ】 最近の研究紹介
【内容・方法等】 地球環境に関する研究を紹介し、これから、どのようなことを明らかにしていかなければならないのかを紹介する
【事前・事後学習課題】 建築環境工学の視点からの地球環境に関することのなかで興味があることを調べること。
- 第15回 【授業テーマ】 最近の研究紹介
【内容・方法等】 地球環境に関する研究を紹介し、これから、どのようなことを明らかにしていかなければならないのかを紹介する
【事前・事後学習課題】 建築環境工学の視点からの地球環境に関することのなかで興味があることを調べること。
- 評価方法 (基準)
レポート (20%)・中間試験 (20%)・期末試験 (60%) により総合的に評価する。
- 教材等
教科書…「地球環境建築のすすめ」日本建築学会編 彰国社 (3000円)
参考書…特に無し
- 学生へのメッセージ
地球規模の視点からのエネルギー・資源についての概論です。建築環境工学 (熱環境) の知識を有しているものとして講義を進めますので、熱環境の基礎的知識は事前に得ておいて下さい。
- 関連科目
建築環境工学・建築計画学・建築構造学
- 担当者の研究室等
12号館7階 宮本准教授室

建築計画基礎

Introduction to Architectural Planning

佐野潤一 (サノ ジュンイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

【授業概要・目的】建築の設計・計画の基礎知識と基本的技法等を実例を紹介しつつ講義する。建築士資格相当の設計・計画の基礎的知識・技能を修得することを目的とする。
【到達目標】1)建築計画・原則の理解。2)寸法の知識と表記法の習得。3)各種単位空間の計画知識の獲得。4)規模算定法の習得。5)動線計画の原則の理解。6)各種プランタイプの知識の獲得。7)空間デザイン手法と空間と心理との基本関係の理解。
学科の学習・教育目標との対応：[F]

授業方法と留意点

テキストを用いたノート講義方式。板書、及びスライド等でのビジュアル資料、原則として時間内小課題を実施。復習課題と事前の予習課題を課す。内容、順番など変更される場合があります。

科目学習の効果 (資格)

一級・二級建築士

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 建築とは何か
【内容・方法等】 建築の意味、条件、特徴、仕事、設計と計画
【事前・事後学習課題】 予習課題
- 第2回 【授業テーマ】 建築の図面
【内容・方法等】 各種建築図面、建築図面の線と記号
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第3回 【授業テーマ】 建築の寸法
【内容・方法等】 寸法の種類、表記方法
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第4回 【授業テーマ】 単位空間 (1) 開口部
【内容・方法等】 出入口と窓の種類と特徴、用途
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第5回 【授業テーマ】 単位空間 (2) 廊下、階段
【内容・方法等】 廊下の寸法、階段の計画
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第6回 【授業テーマ】 単位空間 (3) 便所、その他
【内容・方法等】 便所、台所等の計画、椅子の空間の計画
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第7回 【授業テーマ】 エレベータ・躯体の計画
【内容・方法等】 エレベータ、エスカレータの計画、RC造躯体計画
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第8回 【授業テーマ】 中間テスト
【内容・方法等】 前半の内容の習得確認
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第9回 【授業テーマ】 規模計画
【内容・方法等】 建築の規模算定法
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第10回 【授業テーマ】 動線計画
【内容・方法等】 動線の原則と計画、機能図
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第11回 【授業テーマ】 プランタイプ (1) グリッドとアーティキュレーションタイプ
【内容・方法等】 機能と形態、グリッドプラン、アーティキュレーションプランの特徴と用途、美術館
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第12回 【授業テーマ】 プランタイプ (2) コアプラン
【内容・方法等】 コアプランの種類と特徴、オフィスビル
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第13回 【授業テーマ】 プランタイプ (3) 廊下型プラン
【内容・方法等】 各種廊下型の特徴と用途、集合住宅
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第14回 【授業テーマ】 空間デザイン
【内容・方法等】 空間の融合手法、住宅
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第15回 【授業テーマ】 建築空間と人間の心理
【内容・方法等】 空間感情、ヒューマンスケール
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題

評価方法 (基準)

期末試験 (50%)、中間試験 (30%)、小課題 (20%)

教材等

教科書…「コンパクト建築設計資料集成」日本建築学会編、丸善、5040円
参考書…建築雑誌、例えば「新建築」「a+u」

学生へのメッセージ

建築の学習は実物の建物をできるだけ多く知ること、特に見学することが重要です。講義内容を実際の建物で確かめたり、疑問点をみつけることはとても大切です。

関連科目

設計演習I,設計演習IIa,設計演習IIb,設計演習IIIa、設計演習IIIb、建築計画

担当者の研究室等

8号館3階 佐野教授室

都市・地域計画

Urban and Regional Planning

本多友常 (ホンダ トモツネ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

都市デザイン・都市計画に関する基礎的事項を理解させるとともに、計画に関わる諸制度や事業手法等を踏まえ、計画の実現に向けた具体的方法の開発や新しい発想を提案するための手掛かりを論じる。その為に、出来るだけ最近の都市論や環境論およびまちづくりの動向について紹介する。とりわけ具体的なまちづくり事例として、京阪神地区における取組みを紹介するとともに広く国内外の事例についても検討対象として扱っていく

予定である。都市の環境構成や人間の生活環境に関する関心を持ち必要な基礎知識を身につけることを到達目標とする。
 学科の学習・教育目標との対応：[F]

授業方法と留意点

テキストや資料に基づいた具体的な都市計画事例を中心とした講義を行う。毎回、講義テーマに基づいたミニレポート・課題を課す。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 都市とは
 【内容・方法 等】 都市の性格、都市の分類、都市化と都市問題
 【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 21-25、身近な都市問題を考える。
- 第2回** 【授業テーマ】 近代以前の日本の都市形成
 【内容・方法 等】 都市の形態と機能、都市・建築空間の特質、計画主体
 【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 19-20、身近な都市環境の変遷事例を考える。
- 第3回** 【授業テーマ】 近代以前の海外の都市形成
 【内容・方法 等】 都市の形態と機能、都市・建築空間の特質、計画主体
 中世都市の発展、都市ルネッサンス
 【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 15-19、中世の都市形成事例を調べる
- 第4回** 【授業テーマ】 理想都市、計画都市の思潮
 【内容・方法 等】 都市計画の思想、概念・方法のルーツ、田園都市、工業都市、近隣住区理論
 【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 30-38、公衆衛生の視点からの都市計画を考える。
- 第5回** 【授業テーマ】 近代都市計画の発展①
 【内容・方法 等】 欧米諸国における近代都市計画、新たな都市論と都市開発、都市のイメージ
 【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 38-41
- 第6回** 【授業テーマ】 近代都市計画の発展②
 【内容・方法 等】 日本における近代都市計画、都市計画の仕組み、都市計画法の概要
 【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 187-225
- 第7回** 【授業テーマ】 都市計画と都市デザイン
 【内容・方法 等】 都市デザインとは、都市デザインのキーワード、まちづくり、環境デザイン
 【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 170-186
- 第8回** 【授業テーマ】 土地利用計画・地区計画
 【内容・方法 等】 土地利用計画、建築と敷地、都市施設計画、地区計画のデザインプロセス、地区計画の種類
 【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 50-59、p 60、181、地区計画事例を調べる
- 第9回** 【授業テーマ】 市街地の開発デザイン
 【内容・方法 等】 都市更新と都市再生、土地区画整理、再開発、新開発とニュータウン
 【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 40、都市再開発事例を調べる
- 第10回** 【授業テーマ】 都市の交通環境デザイン
 【内容・方法 等】 都市交通、道路とサーキュレーション
 【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 42-49、p 137-151
- 第11回** 【授業テーマ】 都市の自然環境デザイン
 【内容・方法 等】 公園緑地計画、緑とオープンスペース、都市水系計画
 【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 60-68、p 152-164
- 第12回** 【授業テーマ】 都市の景観デザイン
 【内容・方法 等】 都市景観、保全計画、景観法、地域景観と地域特性
 【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 52、景観論争事例、景観法のしくみを調べる
- 第13回** 【授業テーマ】 都市の住環境デザイン
 【内容・方法 等】 都市化と住宅問題、住宅政策、住宅供給計画、住環境デザイン
 【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 85-100
- 第14回** 【授業テーマ】 都市の防災・安全安心
 【内容・方法 等】 都市と災害、都市と火災、都市と公害、都市と犯罪
 【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 104-119、阪神淡路大震災のその後の都市課題を調べる
- 第15回** 【授業テーマ】 都市デザインの課題と展望
 【内容・方法 等】 都市デザインの事例、都市デザインの展望、ユニバーサル社会、環境共生
 【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 170-186

評価方法 (基準)

期末試験 (70%)、レポート課題 (30%) の合計100点満点の60点以上を合格とする。

教材等

教科書…都市計画教育研究会編「都市計画教科書」(彰国社)@3760

参考書…日笠端著「都市計画」(共立出版) @3885

学生へのメッセージ

講義の中では、基礎的な事項の理解だけではなく、身近な都市の問題を取り上げたグループ討議も行い、問題点の抽出や課題の整理、それらを取り巻く多様な要素を踏まえた計画のあり方をいっしょに考えていきたいと思います。

関連科目

基礎科目、専門科目全般であるが、特に卒業研究・設計の導入とする

担当者の研究室等

8号館3階 本多教授室

西洋建築史

History of European Architecture

加 嶋 章 博 (カシマ アキヒロ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

近代の建築の成立に大きな影響を及ぼしたのがヨーロッパ建築であった。また、明治以来「西洋化」を試みて来た日本の現代建築のルーツでもあるのがこのヨーロッパ建築である。「建築」の変遷、そして、現代建築の源泉を辿るという視点から西洋建築史を学習する。

西洋建築史を学習する目的は大きく二つあげられる。第一の目的は、現代は様式建築の時代ではないものの、西洋建築史は今なお世界の建築家共通の発想の源となっている知識体系であるので、建築に携わるものの基本知識としてそれを俯瞰できる目を培う。もう一つの目的は、「建築」という言葉自体がギリシアに由来し、2000年以上にわたってこの概念のもとに建造物について営み続けられてきたのが「西洋」である以上、近世以前については西洋建築史こそが唯一の「建築史」とも言える。この点からも「建築」を志す者にとって、建築の基礎学力として西洋建築史を理解する重要性は高い。

学科の学習・教育目標との対応：[F]

授業方法と留意点

スライドを多用し、視覚的理解に努める。講義は教科書に概ね対応して進めるので、受講前に必ず該当箇所を読んでくること。

科目学習の効果 (資格)

建築に携わる者としての基礎的知識ならびに建築に対する評価眼を養い、設計思想に役立てる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 建築と様式 ~なぜ西洋建築史を学ぶのか~
 【内容・方法 等】 代表的な建築物を紹介し、古代から19世紀までのヨーロッパ建築の大きな流れを把握する。また、時代様式 (固有の建築的特徴) という見方の意味と限界を考える。
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。
- 第2回** 【授業テーマ】 視覚と秩序 ~古代ギリシア建築~
 【内容・方法 等】 神殿建築を通して、その後のヨーロッパ建築の特質の根幹をなす神殿建築の建築美に着目する。建築に対する秩序はどのように獲得されたのかを古代ギリシア建築から読み取る。
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。
- 第3回** 【授業テーマ】 市民社会と建築 ~古代ローマ建築~
 【内容・方法 等】 古代ローマ建築の変遷と代表的建築について学び、古代ローマ建築がどのように使われていたのかを概観する。拡大していった建築のタイポロジーという見方を理解する。
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。
- 第4回** 【授業テーマ】 ラテンクロスとギリシアクロス ~初期キリスト教建築とビザンチン建築~
 【内容・方法 等】 バシリカ式と集中堂式の教会堂とは何か。ローマ世界のキリスト教化とローマ帝国の東西分裂と建築様式の特徴を理解し、初期キリスト教建築とビザンチン建築の変遷と代表的建築について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。
- 第5回** 【授業テーマ】 宗教建築の形と役割 ~プレ・ロマネスク建築~
 【内容・方法 等】 中世の二大様式であるロマネスク様式、ゴシック様式に先立ち、ローマの影響を受けながらキリスト教建築のあり方を模索していたプレ・ロマネスク建築をみる。特にバシリカ式建築の変化の様子を学習する。
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。
- 第6回** 【授業テーマ】 壁とヴォールト ~ロマネスク建築~

【内容・方法等】 ロマネスク建築にヨーロッパ中世建築の一つの完成形を見る。構造、形式、表現の諸側面にわたって、知的に極めて洗練された象徴的な聖なる空間の構造とありようを考える。石と光の造形を見る。

【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。

第7回 【授業テーマ】 カテドラルと民衆 ～ゴシック建築～

【内容・方法等】 ゴシック建築にロマネスクとは全く異なる心性で出来たもう一つの聖なる空間の完成形を見る。極めて感覚的に構造化された民衆のための聖なる空間の構造とありようを考える。

【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。

第8回 【授業テーマ】 中世建築の特質

【内容・方法等】 中世建築が古代建築から何を継承したかを理解する。中間試験を含む。

【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。

第9回 【授業テーマ】 ルネサンス以降の建築

【内容・方法等】 ルネサンス期の建築における特徴について、現代的視点から解釈する。

【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。

第10回 【授業テーマ】 新しい造形原理と建築家 ～ルネサンス建築～

【内容・方法等】 ルネサンス建築における「近代」の心性の萌芽を学ぶ。建築における古代というモデルの意味、古代再生のあり方、そして古典主義建築の創始を、ルネサンスの代表的建築家の考えと代表的作品の中に見る。

【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。

第11回 【授業テーマ】 装飾的意匠と建築の構成 ～バロック建築～

【内容・方法等】 建築が社会状況に反応し、他の芸術と手を組んで一つの政治的、宗教的プロパガンダとして形を変えたバロック建築のありようを理解する。

【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。

第12回 【授業テーマ】 都市と国家戦略 ～古典主義建築～

【内容・方法等】 17～18世紀のフランスの建築に、古典主義洗練の諸相を見る。国家の建築として、如何に古典主義建築が体系化、規範化されて行くかを、代表的建築家の作品を通して見て行く。

【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。

第13回 【授業テーマ】 理性と考古学 ～新古典主義建築～

【内容・方法等】 18～19世紀の新古典主義建築において、ますます考古学的になる古典主義的外観の建築の背後にある近代的建築思考を代表的な建築家の考えや作品を通して学ぶ。

【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。

第14回 【授業テーマ】 歴史主義と折衷主義の建築

【内容・方法等】 精緻化する歴史主義建築や独自の時代様式を持たずに折衷化する建築表現、そして建築の工業化に伴う様式の崩壊を理解し、近代建築が準備される時代の流れを見る。

【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。

第15回 【授業テーマ】 西洋と日本

【内容・方法等】 日本における西洋建築の受容について理解を深める。

【事前・事後学習課題】 西洋建築の流れと日本の近代建築の関係について理解を深める。

評価方法 (基準)

授業への積極的な関与やレポート等の提出物 (30%)、中間試験 (30%)、期末試験 (40%) を総合的に判断する。

教材等

教科書…西田雅嗣 (編) 『ヨーロッパ建築史』昭和堂 (2520円)

参考書…日本建築学会 (編) 『西洋建築史図集』彰国社 (2625円) を購入し参照することを強く勧める。

学生へのメッセージ

建築の未来を考える立場に立って、過去の様々な時代や文化の中で生み出されてきた建築や都市に対するまなざしを自身の判断基準の一部にして欲しいと思います。単なる歴史の暗記ということでは決してなく、自分が評価したい対象を模索するきっかけになると思います。

関連科目

設計演習、近代建築史、建築計画など、計画系科目の学習に資するよう、専門用語の使い方にも留意してください。

担当者の研究室等

8号館3階 加嶋准教授室

建築計画各論

Architectural planning and Building Types

木 多 彩 子 (キタ アヤコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

【授業概要・目的】 建築計画各論は、人間の活動の受け皿としての空間を、その空間の使われ方 (ビルディングタイプ) に応じて知見を整理する講義である。具体的には、利用者と使用者という二つの視点からみた「建物の使われ方」、文化的背景を踏まえた「規模計画」、近年注目されている具体的な事例などをとりあげる。【到達目標】 1)各種ビルディングタイプの特徴の理解 2)規模計画の基本的事項の把握 3)代表的な事例とプランタイプ理解
学科の学習・教育目標との対応: [F]

授業方法と留意点

講義全般において建築計画上の要点をおさえつつ、近年注目される建築事例を紹介し、学生の皆さんも積極的に外に出て、講義で習った事項を実際の場所や空間で実体験するようにしてください。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 建築計画とは何か
【内容・方法等】 建築計画が教えること・教えないこと 建築計画各論の目的 生活圏とコミュニティ施設、プレレスト
- 第2回 【事前・事後学習課題】 予習課題 (1)
【授業テーマ】 居住施設の計画 1
【内容・方法等】 独立住宅の計画と事例
【事前・事後学習課題】 予習課題 (2)
- 第3回 【授業テーマ】 居住施設の計画 2
【内容・方法等】 集合住宅の計画 (かたち、関係、しくみ) と事例
【事前・事後学習課題】 予習課題 (3)
- 第4回 【授業テーマ】 居住施設の計画 3
【内容・方法等】 集合住宅の計画 (住宅地、住宅関連産業) と事例
【事前・事後学習課題】 予習課題 (4)
- 第5回 【授業テーマ】 商業・業務施設の計画 1
【内容・方法等】 店舗・SCの計画と事例
【事前・事後学習課題】 予習課題 (5)
- 第6回 【授業テーマ】 商業・業務施設の計画 2
【内容・方法等】 オフィス・駐車場の計画と事例
【事前・事後学習課題】 予習課題 (6)
- 第7回 【授業テーマ】 商業・業務施設の計画 3
【内容・方法等】 ホテル・宿泊研修施設の計画と事例
【事前・事後学習課題】 予習課題 (7)
- 第8回 【授業テーマ】 中間テスト
【内容・方法等】 第1回から第7回の学習内容習得状況の確認
【事前・事後学習課題】 試験対策
- 第9回 【授業テーマ】 学校・教育施設の計画
【内容・方法等】 幼稚園・小学校の計画と事例
【事前・事後学習課題】 予習課題 (8)
- 第10回 【授業テーマ】 社会・文化施設の計画 1
【内容・方法等】 ホール・劇場の設計と事例
【事前・事後学習課題】 予習課題 (9)
- 第11回 【授業テーマ】 社会・文化施設の計画 2
【内容・方法等】 図書館の設計と事例
【事前・事後学習課題】 予習課題 (10)
- 第12回 【授業テーマ】 社会・文化施設の計画 3
【内容・方法等】 美術館の設計と事例
【事前・事後学習課題】 予習課題 (11)
- 第13回 【授業テーマ】 医療・福祉施設の計画 1
【内容・方法等】 病院の設計と事例
【事前・事後学習課題】 予習課題 (12)
- 第14回 【授業テーマ】 医療・福祉施設の計画 2
【内容・方法等】 高齢者居住施設の設計と事例
【事前・事後学習課題】 予習課題 (13)
- 第15回 【授業テーマ】 多様化するデザイン概念
【内容・方法等】 建物再生、人々によるデザイン、未完成のデザイン
【事前・事後学習課題】 ——
- 評価方法 (基準)
学期末試験成績 (30%)、中間試験 (30%)、復習・予習課題 (40%)
- 教材等
教科書…特になし。
適宜、資料を配布する。
参考書…「かたちのデータファイル」高橋研究室編、彰国社、(2600円)
- 学生へのメッセージ
色々な建物や街の環境を体験し、その場所の良さや価値 (問題

も含めて)が、空間・人・社会・使い方・歴史などによって、どのように成立しているかを考えることが重要です。建築計画で得た知識を元に、各自が体験し、読みとった場所を、復習・予習課題を通じて報告する機会を設けます。

関連科目

「建築計画基礎」、「構造力学・構造基礎」をあらかじめ修得しておくこと。

担当者の研究室等

8号館3階 木多教授室

ユニバーサルデザイン Universal Design				
大谷 由紀子 (オオタニ ユキコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

すべての人にやさしく、安全・快適な生活環境をめざすユニバーサルデザインの基本的な考え方や人間工学や感性工学にもとづく、「モノ」や「空間」のデザインへの適用に関する方法や実践事例を学ぶ。バリアフリーやユニバーサルデザインに関する基本的な概念および技術・デザイン事例の理解を到達目標とする。

学科の学習・教育目標との対応：[G]

授業方法と留意点

デザインの考え方を示す事例等の提示を通じて、あるべきデザインの方向性を確認していくプロセスを重視する。一般的な方法論の理解にとどまらず、実際のユニバーサルデザインへの問題意識を持つことを大切にしたい。

科目学習の効果(資格)

1級・2級建築士・インテリアコーディネーター・インテリアプランナー・福祉住環境コーディネーターなど

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** 生活環境の変化
【内容・方法 等】 超高齢化社会の構造と将来人口、グローバル社会
【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 8-11
- 第2回 **【授業テーマ】** 生活環境に求められる要素
【内容・方法 等】 生活環境の安全性と人間工学
【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 12-14
- 第3回 **【授業テーマ】** バリアフリーとユニバーサルデザイン
【内容・方法 等】 バリアの意味と種類、ユニバーサルデザインの考え方と原則
【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 15-26
- 第4回 **【授業テーマ】** 多様な人間の心身機能と建築デザイン
【内容・方法 等】 子どもの動作、老化や病気による心身機能の変化
【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 28-38
- 第5回 **【授業テーマ】** 居住空間とユニバーサルデザイン
【内容・方法 等】 高齢者の住宅計画
【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 133-162
- 第6回 **【授業テーマ】** 居住空間とユニバーサルデザイン
【内容・方法 等】 障害者の住宅計画
【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 133-162
- 第7回 **【授業テーマ】** 居住空間とユニバーサルデザイン
【内容・方法 等】 子どもの生活空間の計画
【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 89-132
- 第8回 **【授業テーマ】** 公共建築とユニバーサルデザイン
【内容・方法 等】 公共建築の特徴と求められる機能
【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 89-132
- 第9回 **【授業テーマ】** 公共建築とユニバーサルデザイン
【内容・方法 等】 地域福祉施設の計画
【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 89-132
- 第10回 **【授業テーマ】** 公共建築とユニバーサルデザイン
【内容・方法 等】 わかりやすさとサイン計画
【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 55-88
- 第11回 **【授業テーマ】** 外部空間とユニバーサルデザイン
【内容・方法 等】 歩行空間
【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 55-88
- 第12回 **【授業テーマ】** 外部空間とユニバーサルデザイン
【内容・方法 等】 オープンスペース、公園
【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p 55-88
- 第13回 **【授業テーマ】** 交通とユニバーサルデザイン
【内容・方法 等】 交通施設の特徴、駅の計画
【事前・事後学習課題】 (学習課題) 教科書 p.92-97
- 第14回 **【授業テーマ】** 福祉のまちづくり
【内容・方法 等】 多様な人々と生活スタイル、生活圏、人間と環境の関係
【事前・事後学習課題】 (学習課題) 参考書を参照する
- 第15回 **【授業テーマ】** 福祉のまちづくり

【内容・方法 等】 安心して暮らせるまちとは

【事前・事後学習課題】

評価方法(基準)

期末試験(70%)、復習・予習課題(30%)の合計100点満点の60点以上を合格とする。

教材等

教科書…「ユニバーサルデザインー建築・都市環境づくりの提案と実践」 彰国社 @2800

参考書…「福祉住環境コーディネーター2級公式テキスト」(東京商工会議所)

「日本建築学会「コンパクト資料集成バリアフリー」(丸善)

「ユニバーサルサイン」(学芸出版社)@3150

学生へのメッセージ

建築物のみならず、多くの生活環境の事や仕組みに興味を持って、これからの社会システムに関して、具体的に提案したり、様々な計画やデザインに展開していくことを期待します。

関連科目

設計演習Ⅰ、Ⅱa、Ⅱb、Ⅲa、Ⅲb、インテリア概論など

担当者の研究室等

8号館3階 大谷准教授室

建築環境工学 Architectural Environmental Engineering I				
桃井 良尚 (モモイ ヨシヒサ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

[授業概要・目的]省エネルギー問題や地球環境問題の視点から、太陽や風といった自然のエネルギーを建築内に取り組み仕組みが重要視されている。快適な建築空間を構築するには、熱環境・光環境・空気環境・音環境と人間の心理生理反応の概略を理解し、知識を深める必要がある。具体的には、日照の問題、照明計画、換気の必要性、通風計画、音響計画と騒音対策などについて学習する。また、最新の建築環境分野のシミュレーション手法や建築技術の紹介をする。[到達目標]住環境の様々な問題点とそれに対する改善策を考えられる知識を得ることを目標とし、建築環境工学に関する基礎知識を身につける。

学科の学習・教育目標との対応：[G]

授業方法と留意点

授業テーマに関して、日頃から問題意識を持って生活することが望ましい。中間試験(全4回)と期末試験(1回)を行うので、全て受験すること。また、毎回授業に関する小レポートを配布し回収するので授業には毎回必ず出席すること。教科書と配布したプリントは持参すること。

科目学習の効果(資格)

一級・二級建築士資格取得のために必須である。その他、カラーコーディネーター、色彩検定、インテリアコーディネーターなど。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** 建築環境工学の概略
【内容・方法 等】 建築空間をより安全で快適な環境にするために理解しなければならない光・熱・音・空気の各環境の概略について、また、建築環境が空間・時間による多様性を有していることと、その環境を維持するために必要なエネルギーについての講義
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 **【授業テーマ】** 熱環境～太陽の動きを考える
【内容・方法 等】 都市や建築室内の熱環境を左右する太陽の動きについて学習し、地球と太陽の関係及び太陽と建物の関係についての講義
【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどをして復習すること
- 第3回 **【授業テーマ】** 熱環境～熱と湿気の移動を知る
【内容・方法 等】 良好な室内熱環境を計画するにあたって必要な熱と湿気の移動メカニズムを理解するための講義
【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどをして復習すること
- 第4回 **【授業テーマ】** 熱環境～人と熱環境の関係を知る
【内容・方法 等】 住環境における温熱環境について、環境を人がどの様に感じるのかについての講義
【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどをして復習すること
- 第5回 **【授業テーマ】** 光環境～光と視覚の関係を知る
【内容・方法 等】 目の構造と可視光に対する感度や視細胞の働きについての講義
【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどをして復習すること
- 第6回 **【授業テーマ】** 光環境～生活の中のアかりを考える

【内容・方法等】 住環境における光環境について、昼光利用、光による演出、さまざまな照明器具など窓と照明の必要性についての講義

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどをして復習すること

第7回 【授業テーマ】 光環境～色の効果を知る

【内容・方法等】 室内環境を快適で安全にするための、色の表示方法や色の心理的效果などについての講義

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどをして復習すること

第8回 【授業テーマ】 空気環境～換気の必要性を考える

【内容・方法等】 住環境における空気環境について、換気の必要性と換気に関する法的規制についての講義

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどをして復習すること

第9回 【授業テーマ】 空気環境～室内気流と換気を計画する

【内容・方法等】 換気メカニズムや種々の換気方式や機械換気設備、空調方式と室内温度・気流分布の関係についての講義

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどをして復習すること

第10回 【授業テーマ】 空気環境～風を利用する

【内容・方法等】 屋外の風環境と自然風を利用してエネルギーを問わず涼しい室内を実現するための通風計画についての講義

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどをして復習すること

第11回 【授業テーマ】 音環境～聴覚と音の性質を知る

【内容・方法等】 聴覚のしくみと音波の性質を理解した上で、建築と音、人と音との関わりについて基本的な知識や音の表し方に関する基本的な知識についての講義

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどをして復習すること

第12回 【授業テーマ】 音環境～うるさい音をなくす

【内容・方法等】 住環境における音環境について、騒音対策についての講義

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどをして復習すること

第13回 【授業テーマ】 音環境～たのしい音をつくる

【内容・方法等】 住環境における音環境について、室内音響計画についての講義

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどをして復習すること

第14回 【授業テーマ】 建築環境のシミュレーションと最新技術の紹介

【内容・方法等】 建築環境シミュレーション技術と環境配慮建築の紹介

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどをして復習すること

第15回 【授業テーマ】 復習

【内容・方法等】 復習問題を実施し、理解不十分な箇所を補足解説を行う

【事前・事後学習課題】 _____

評価方法 (基準)

期末試験 (60%) の成績と4回の中間試験および小レポート (40%) とで総合的に評価する。

教材等

教科書…「環境工学教科書 第二版」環境工学教科書研究会編著、彰国社 (3,500円税抜)

参考書…なし

学生へのメッセージ

身近な住環境における現象や問題を取り上げながら授業をすすめる。受身の態度でなく、自ら考えながら積極的に授業に参加してください。講義には必ず教科書を持参し、自宅学習でも教科書を用いて予習・復習を心がけてください。わからない点があれば遠慮なく質問してください。

関連科目

建築環境工学Ⅱ・建築環境工学Ⅲ・建築環境工学演習

担当者の研究室等

桃井良尚 (大阪大学大学院工学研究科)

TEL: 06-6879-7645 e-mail: momoi@arch.eng.osaka-u.ac.jp

容を学習する。いずれも人間の生理的・心理的反応に着目しながら、建築計画に際して知っておくべき基本的要件と、解析法・測定法や評価法について理解を深める。[到達目標] 熱環境と空気環境に関して、問題点とそれに対する改善策や設計計画への応用が考えられる知識を得る。

学科の学習・教育目標との対応: [G]

授業方法と留意点

授業中に小レポートなどを行って理解度を確かめながら進めていく。そのため、授業には毎回必ず出席すること。教科書と配布したプリントは持参すること。

科目学習の効果 (資格)

一級・二級建築士資格取得のために必須である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 太陽の動きと日射

【内容・方法等】 太陽が動くことによって建物にどのように日が当たり、その結果、建物内外の環境がどのようになるかを理解し、太陽放射についての基本的な知識を身につける

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること

第2回 【授業テーマ】 建築伝熱の解析手法(1)

【内容・方法等】 熱移動の基本原理解である熱伝導の理論についての基本的な知識を身につける

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること

第3回 【授業テーマ】 建築伝熱の解析手法(2)

【内容・方法等】 熱移動の基本原理解である熱対流の理論についての基本的な知識を身につける

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること

第4回 【授業テーマ】 建築伝熱の解析手法(3)

【内容・方法等】 熱移動の基本原理解である熱放射の理論についての基本的な知識を身につける

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること

第5回 【授業テーマ】 熱負荷計算

【内容・方法等】 室内の快適な熱環境を維持するための冷暖房負荷算定への応用方法および非定常伝熱に関する専門知識を身につける

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること

第6回 【授業テーマ】 水分移動計算(結露の検出)

【内容・方法等】 結露メカニズムと共に簡易な結露判定方法についての基本的な知識を身につけるとともに、結露判定のための水分移動の計算に関する専門知識を身につける

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること

第7回 【授業テーマ】 湿り空気線図

【内容・方法等】 湿り空気線図の各種変量を理解し、空気加熱・冷却、加湿・除湿、混合などの諸現象を理解し、基本的な専門知識を身につける

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること

第8回 【授業テーマ】 人間の熱環境

【内容・方法等】 人間の体温調節機能と熱環境、熱環境を評価するための種々の温冷感指標について成り立ちと特色などの基本的な知識と共に、算出方法に関する専門知識を身につける

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること

第9回 【授業テーマ】 室内汚染質

【内容・方法等】 室内空気に含まれる様々な汚染質について、その発生メカニズム、特性、人体影響についての基本的な知識を身につける

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること

第10回 【授業テーマ】 空気移動解析の基礎

【内容・方法等】 流体力学の基礎式及び換気力学についての基本的な知識を身につける

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること

第11回 【授業テーマ】 重力換気

【内容・方法等】 重力換気の原理について理解するとともに、換気計算手法についての知識を身につける

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること

第12回 【授業テーマ】 風力換気

【内容・方法等】 風力換気の原理について理解するとともに、換気計算手法についての知識を身につける

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること

第13回 【授業テーマ】 汚染質濃度と換気量計算(1)

【内容・方法等】 室内で発生する汚染質濃度の表現法、定常状態における室内汚染質濃度の計算手法について基礎的な

建築環境工学II				
Architectural Environmental Engineering II				
桃井良尚 (モモイ ヨシヒサ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

[授業概要・目的] 熱環境分野、および空気環境分野の専門的

知識を身に付けると共に、必要換気量の概念、各種汚染質濃度に基づく必要換気量の値について基本的な専門知識を身につける

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること

第14回 【授業テーマ】 汚染質濃度と換気量計算(2)

【内容・方法 等】 室内汚染質の微分方程式を基に非定常状態における室内汚染質濃度の変化式の誘導、トレーサーガス法の原理と換気量計算手法について高度な専門知識を身につける。

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること

第15回 【授業テーマ】 復習

【内容・方法 等】 復習問題を実施し、理解不十分な箇所の補足解説を行う

【事前・事後学習課題】 講義内容を教科書を読むなどして復習すること

評価方法 (基準)
期末試験 (60%) と授業中に実施する小レポートなど (40%) とで総合的に評価する。

教材等
教科書…「環境工学教科書 第二版」環境工学教科書研究会編著、彰国社 (3,500円税抜)
参考書…なし
学生へのメッセージ

講義には毎回必ず教科書を持参し、自宅学習でも教科書を用いて予習・復習を心がけてください。わからない点があれば遠慮なく質問してください。

関連科目
建築環境工学 I ・ 建築環境工学演習
担当者の研究室等
桃井良尚 (大阪大学大学院工学研究科)
TEL: 06-6879-7645 e-mail: momoi@arch.eng.osaka-u.ac.jp

建築設備学 Architectural Environmenta				
小林 陽 一 (コバヤシ ヨウイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
授業概要：建築物における建築設備の役割を説明する。給排水衛生設備・空気調和設備・電気設備・昇降機設備の内容を説明する。建築設備計画の実施例について説明する。地球環境負荷の低減に向けての建築設備設計の役割について説明する。
目的：地球環境への配慮した設備計画を提案できる能力を身につけること、またはそれらを理解したうえで建築計画を行なう能力を身につけることを目的とする。
到達目標：上記の内容を理解し、概略の設備計画をまとめることを目標とする。
学習・教育目標との対応：理工学部[G]

授業方法と留意点
毎回配布する資料とパワーポイントによる説明を行い、終了時に理解度を測る小テストを行なう。

科目学習の効果 (資格)
建築設備士、設備設計一級建築士、一級管工事施工管理技士、一級電気工事施工管理技士などの資格を取得するために重要な科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 建築物における建築設備の役割
【内容・方法 等】 事例をあげて建築設備の役割、重要性を配布資料とパワーポイントで説明する。小テストにより理解度を見る。

【事前・事後学習課題】 配布資料と小テストの復習

第2回 【授業テーマ】 給排水衛生設備の概要、給水設備、給湯設備、排水通気設備
【内容・方法 等】 給排水衛生設備の概要、給水設備、給湯設備、排水通気設備について配布資料とパワーポイントで説明する。小テストにより理解度を見る。

【事前・事後学習課題】 配布資料と小テストによる復習

第3回 【授業テーマ】 衛生器具、排水処理設備、ガス設備、特殊設備
【内容・方法 等】 衛生器具、排水処理設備、ガス設備、特殊設備 (プール設備、浴場設備、医療ガス設備) について配布資料とパワーポイントで説明する。小テストにより理解度を見る。

【事前・事後学習課題】 配布資料と小テストによる復習

第4回 【授業テーマ】 空気調和設備の概要、空気線図、熱負荷
【内容・方法 等】 空気調和設備の概要、空気線図、熱負荷について配布資料とパワーポイントで説明する。小テストに

より理解度を見る。

【事前・事後学習課題】 配布資料と小テストによる復習
【授業テーマ】 空調システム、熱源機器、空調機器

【内容・方法 等】 空調システム、熱源機器、空調機器について配布資料とパワーポイントで説明する。小テストにより理解度を見る。

【事前・事後学習課題】 配布資料と小テストによる復習
第6回 【授業テーマ】 個別分散空調システム、配管システム、換気設備

【内容・方法 等】 個別分散空調システム、配管システム、換気設備について配布資料とパワーポイントで説明する。小テストにより理解度を見る。

【事前・事後学習課題】 配布資料と小テストによる復習
第7回 【授業テーマ】 自動制御と省エネルギー

【内容・方法 等】 自動制御と省エネルギーについて配布資料とパワーポイントで説明する。小テストにより理解度を見る。

【事前・事後学習課題】 配布資料と小テストによる復習
第8回 【授業テーマ】 電気設備の概要、受変電設備、予備電源設備

【内容・方法 等】 電気設備の概要、受変電設備、予備電源設備について配布資料とパワーポイントで説明する。小テストにより理解度を見る。

【事前・事後学習課題】 配布資料と小テストによる復習
第9回 【授業テーマ】 幹線設備、動力設備、照明コンセント設備

【内容・方法 等】 幹線設備、動力設備、照明コンセント設備について配布資料とパワーポイントで説明する。小テストにより理解度を見る。

【事前・事後学習課題】 配布資料と小テストによる復習
第10回 【授業テーマ】 弱電設備・避雷設備・昇降機設備

【内容・方法 等】 弱電設備・避雷設備・昇降機設備について配布資料とパワーポイントで説明する。小テストにより理解度を見る。

【事前・事後学習課題】 配布資料と小テストによる復習
第11回 【授業テーマ】 防災システムの設計1

【内容・方法 等】 防災システム設計の基礎知識について配布資料とパワーポイントで説明する。小テストにより理解度を見る。

【事前・事後学習課題】 配布資料と小テストによる復習
第12回 【授業テーマ】 防災システムの設計2

【内容・方法 等】 防災システム設計 (各種消防設備、煙制御システム等) について配布資料とパワーポイントで説明する。小テストにより理解度を見る。

【事前・事後学習課題】 配布資料と小テストによる復習
第13回 【授業テーマ】 環境に配慮した建築・設備1

【内容・方法 等】 環境に配慮した建築・設備の事例を配布資料とパワーポイントで説明する。小テストにより理解度を見る。

【事前・事後学習課題】 配布資料と小テストによる復習
第14回 【授業テーマ】 環境に配慮した建築・設備2

【内容・方法 等】 CASBEEなど環境に配慮した建築・設備の評価方法を配布資料とパワーポイントで説明する。小テストにより理解度を見る。

【事前・事後学習課題】 配布資料と小テストによる復習
第15回 【授業テーマ】 建築設備学総論

【内容・方法 等】 いままでの講義内容を復習するとともに、建築設備計画の進め方について配布資料とパワーポイントで説明する。

【事前・事後学習課題】 いままでの配布資料と小テスト全てによる復習

評価方法 (基準)
毎回の小テスト (50%) および期末試験 (50%) で評価する。

教材等
教科書…教科書… 毎回資料を配布します。
参考書…「空気調和・衛生設備の知識 (改訂3版)」空気調和・衛生工学会編 オーム社 (3,780円)

学生へのメッセージ
建築設備の基本的知識を身につけるために、毎回の講義をしっかり理解する。配布資料と小テストを見直し、復習するとよい。

関連科目
建築に関する専門知識が必要である。

担当者の研究室等
8号館3階建築学科共通準備室

日本建築史 History of Japanese Architecture				
中 川 等 (ナカガワ ヒトシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

[授業概要・目的] 日本の建築の歴史について、有史以前から古代、中世、近世、近代にいたる形成と展開の過程を講述する。各時代の寺院、神社、住宅など代表的な建築を写真と図面により具体的に紹介し、その空間構成と構造技法、意匠材料の特徴と変遷について通史的に解説する。当時の社会的な背景と生活様式、生産技術についても言及し、幅広い視野で総合的に建築を捉えるようにつとめる。あわせて、都市や集落、町並など集住環境の歴史についても考察を加える。[到達目標]建築と集住環境の歴史及びその背景に関する総合的な理解と、歴史に基づく創造的発想の育成である。

学科の学習・教育目標との対応：[F]

授業方法と留意点

授業では、重要項目を板書して解説を行う。毎回、教科書の写真と図面に基づいて説明するので、必ず教科書を持参すること。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 概説
【内容・方法等】 時代区分と基本語彙
【事前・事後学習課題】 説明した基本語彙を習得する。
- 第2回 【授業テーマ】 竪穴住居と高床住居
【内容・方法等】 先史・原史時代を遺跡・遺物から探る
【事前・事後学習課題】 興味をもった遺跡・遺物について写真集等で再確認する。
- 第3回 【授業テーマ】 神社建築の諸相
【内容・方法等】 神社建築の起源と諸形式の特徴
【事前・事後学習課題】 興味をもった神社建築について写真集等で再確認する。
- 第4回 【授業テーマ】 仏教伝来と法隆寺
【内容・方法等】 飛鳥・奈良時代の寺院建築とその展開
【事前・事後学習課題】 興味をもった寺院建築について写真集等で再確認する。
- 第5回 【授業テーマ】 密教と浄土教の建築
【内容・方法等】 平安時代の寺院建築とその展開
【事前・事後学習課題】 興味をもった寺院建築について写真集等で再確認する。
- 第6回 【授業テーマ】 古代の都市と住宅
【内容・方法等】 平城京・平安京の建設と宮殿・住宅
【事前・事後学習課題】 興味をもった遺跡・建築について写真集等で再確認する。
- 第7回 【授業テーマ】 鎌倉仏教と新様式
【内容・方法等】 伝統的な和様と大仏様・禅宗様の展開
【事前・事後学習課題】 興味をもった寺社建築について写真集等で再確認する。
- 第8回 【授業テーマ】 座敷飾りと書院造
【内容・方法等】 寝殿造から書院造が成立した過程
【事前・事後学習課題】 興味をもった住宅建築について写真集等で再確認する。
- 第9回 【授業テーマ】 中世の庶民住宅
【内容・方法等】 中世の都市・農村と庶民の住宅
【事前・事後学習課題】 興味をもった遺跡・絵画・建築について写真集等で再確認する。
- 第10回 【授業テーマ】 城と城下町
【内容・方法等】 近世の寺社・霊廟・城郭建築と城下町
【事前・事後学習課題】 興味をもった建築・都市について写真集等で再確認する。
- 第11回 【授業テーマ】 茶室と数寄屋
【内容・方法等】 茶室と数寄屋の形成とその展開
【事前・事後学習課題】 興味をもった茶室・数寄屋建築について写真集等で再確認する。
- 第12回 【授業テーマ】 近世民家の成立
【内容・方法等】 近世民家の地域分布と成立背景
【事前・事後学習課題】 興味をもった民家建築について写真集等で再確認する。
- 第13回 【授業テーマ】 近代の洋風・和風建築
【内容・方法等】 近代化の進展と洋風・和風建築の展開
【事前・事後学習課題】 興味をもった洋風・和風建築について写真集等で再確認する。
- 第14回 【授業テーマ】 歴史的建造物と都市の現在
【内容・方法等】 文化財保護の現況と課題
【事前・事後学習課題】 歴史的建造物と都市の現況と課題について各自で考察する。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 日本建築の特質
【事前・事後学習課題】 日本建築の特質について各自で考察する。

評価方法（基準）

定期試験の結果により判断する（100%）。定期試験は自筆ノート参照可とするので、講義にしっかり出席して充実したノート作成を心がけること。

教材等

教科書…「日本建築史図集（新訂第三版）」日本建築学会編 彰国社（2625円）
参考書…授業中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

日本建築史を理解するためには、歴史的な建築と環境に実際に

接してその空間を体験することが大切である。京都、奈良、大阪など大学の周辺は史跡と文化財の宝庫であり、各所に伝統文化がいぎづいていて、現地に足を運んで自ら感得することが望ましい。

関連科目

西洋建築史、近代建築史

担当者の研究室等

7号館2階 非常勤講師室

近代建築史 History of Modern Architecture				
加嶋章博(カシマ アキヒロ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

産業革命がもたらした社会の変革は、都市建築の風景をも大きく変えていくことになった。激動の世紀末を迎え、20世紀に入ると現代建築の基礎となる概念が形成されていく。「近代建築」と我々が呼んでいるものとそれを取り巻く環境の変遷を通して、巨匠たちの建築作品がどのような歴史的意義を持ち得たのかを考え、今日の建築につながる問題を考える。(1)建築が今日に至るまでどのような展開をなしたか、(2)どのような建築家がモダニズムの重要な位置を占め、どのような建築を生み出したのか、(3)現代建築のデザインにどのような課題がみえるかを理解する。学科の学習・教育目標との対応：[F]

授業方法と留意点

スライドを多用し、視覚的理解に重点をおく。講義は教科書に概ね対応して進めるので、受講前に必ず該当箇所を読んでくること。

科目学習の効果（資格）

建築に携わる者としての基礎的知識ならびに建築に対する評価眼を養い、設計思想に役立てる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 近代化への布石 近代建築の萌芽
【内容・方法等】 19世紀の工学、理想社会、様式へのまなざしについて解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。
- 第2回 【授業テーマ】 近代建築の曙光 伝統性と近代性の相克
【内容・方法等】 アール・アンド・クラフツ運動、グラスゴー・スタイル、郊外住宅地、近代都市計画を通して19世紀の建築と都市の変遷を概観する。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。
- 第3回 【授業テーマ】 近代への多様な道のり 世紀末ヨーロッパの建築
【内容・方法等】 アールヌーヴォー、ウィーン分離派など世紀転換期の動向や鉄筋コンクリートなど新素材による建築・都市の新たな視点について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。
- 第4回 【授業テーマ】 切斷される「過去」 建築のアヴァンギャルド
【内容・方法等】 20世紀初頭の前衛的な建築思潮について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。
- 第5回 【授業テーマ】 大量生産社会の建築へ 近代建築の実験場としてのドイツ
【内容・方法等】 ドイツ工作連盟、表現主義建築、パウハウス、ジードルンクなど、ドイツにおける建築の近代化について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。
- 第6回 【授業テーマ】 摩天楼と郊外住宅 アメリカにおける近代建築の形成
【内容・方法等】 建築の高層化、アメリカの古典主義、フランク・ロイド・ライトの建築など、アメリカにおける建築の近代化について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。
- 第7回 【授業テーマ】 ル・コルビュジエ 偏在する身体（1）
【内容・方法等】 ル・コルビュジエの建築、都市に対する考え方を理解する。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。
- 第8回 【授業テーマ】 ル・コルビュジエ 偏在する身体（2）
【内容・方法等】 ル・コルビュジエの建築、都市に対する考え方について理解を深める。中間試験を含む。

- 第9回** 【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。
【授業テーマ】 ミース・ファン・デル・ローエ ユートピアなきモダニズム
【内容・方法等】 ミース・ファン・デル・ローエの設計手法および作品の分析を行う。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。
第10回 【授業テーマ】 教義としての近代建築 近代建築の成立と成熟
【内容・方法等】 建築における規格化、機能的都市、インターナショナル・スタイル、建築における空間という視点について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。
第11回 【授業テーマ】 合理性と固有性 近代建築のひろがりと変容
【内容・方法等】 アメリカ近代建築の展開、規格化と構造の表現、風土のなかの建築、イデオロギーと建築について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。
第12回 【授業テーマ】 経験の多様性へ向けて 近代建築への懐疑と超克
【内容・方法等】 CIAMとチーム10、都市の再発見、場所の力、多様性について、近代建築への評価について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。
第13回 【授業テーマ】 建築のポスト・モダン 領域の拡張
【内容・方法等】 モダニズムの相対化、ポスト・モダン建築の多義性、都市のコンテクスト、テクノロジーへの視点、ポスト・モダニズムへの懐疑、建築のディス・プログラミングについて解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。
第14回 【授業テーマ】 テーマ化するモダニティ 21世紀へ
【内容・方法等】 次の建築家たちによる設計姿勢を分析する。レム・コールハース、ヘルツォーク・アンド・ド・ムロン、フランク・O・ゲーリー、妹島和世、西沢立衛
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を通読し、特に作品や思想の特徴についての解釈を試みる。
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 20世紀の建築家の作品分析および模型による再現について解説する。
【事前・事後学習課題】 建築作品の評価姿勢について理解を深める。

評価方法（基準）

授業への積極的な関与やレポート等の提出物（30%）、中間試験（30%）、期末試験（40%）を総合的に判断する。

教材等

教科書…本田昌昭・末包伸吾 編著「テキスト建築の20世紀」学芸出版社（3570円）
参考書…日本建築学会編「近代建築史図集」彰国社(2500円)を購入し参照することを強く勧める。

学生へのメッセージ

建築の未来を考える立場に立って、過去の様々な時代や文化の中で生み出されてきた建築や都市に対するまなざしを自身の判断基準の一部にして欲しいと思います。単なる歴史の暗記ということでは決してなく、自分が評価したい対象を模索するきっかけになるとと思います。

関連科目

西洋建築史、設計演習、卒業研究

担当者の研究室等

8号館3階 加嶋准教授室

建築環境工学III Architectural Environmental Engineering III				
佐藤 隆二 (サトウ リュウジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

【授業概要・目的】 健康で快適な生活を営む上で、重要な役割を果たす様々な環境要因の中で、日照・日射、光環境と音環境に着目して、それらと人間の生理的・心理的反応との関係を理解するとともに、建築計画や設計に際して、承知しておくべき基本的要因と、計画・設計の結果として得られる状況の解析法や評価法についての理解を深める。**【到達目標】**、日照・日射、光環境と音環境について、建築計画や設計においての必要最小限の基礎知識を身につける。
 学科の学習・教育目標との対応：[G]

授業方法と留意点

講義の要点をまとめた資料を配布し、それに沿って講義を行う。入室時刻、受講態度 理解度等についての『受講記録』を各自が作成し、定期試験時にその提出を求める。日常生活で経験する日照・日射、光環境と音環境に関する種々の事柄に関心を持つように心掛ける。

科目学習の効果（資格）

一級、二級建築士の学科試験の受験において、必要不可欠な最低限の知識を習得できる。インテリアコーディネーター、インテリアプランナー、照明士などの資格取得に有効である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 建築環境工学の概要
【内容・方法等】 建築学における建築環境工学の位置づけ、建築環境工学の目標と枠組み
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
第2回 【授業テーマ】 太陽エネルギーと太陽位置
【内容・方法等】 居住環境における太陽エネルギーの効果、太陽の運行と位置の表示と算定法、時刻の表現
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
第3回 【授業テーマ】 日照の検討
【内容・方法等】 日照検討の項目・内容、日影曲線・太陽位置図・日照図表による検討
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
第4回 【授業テーマ】 日射の検討
【内容・方法等】 地表に到達する太陽放射の種類とそれぞれの算定法、日射熱の射入と流入
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
第5回 【授業テーマ】 視環境と人間
【内容・方法等】 視環境の構成、目の構造・機能、明るさ・見やすさ、視野の輝度分布、光の方向性と立体感
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
第6回 【授業テーマ】 視環境の解析 1
【内容・方法等】 光の量、基本測光量、点光源による照度、面光源による照度、立体角投射率
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
第7回 【授業テーマ】 視環境の解析 2
【内容・方法等】 立体角投射率の算定、間接照度の算定、輝度の算定
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
第8回 【授業テーマ】 照明の計画
【内容・方法等】 照明の変遷、光源の特性、発光原理とランプ、照明用光源の特性、人工照明設計の方法、昼光光源の種類と特徴、昼光照度、昼光率、採光計画
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
第9回 【授業テーマ】 音環境と人間
【内容・方法等】 音環境計画の目標、音環境評価の枠組み、聴覚生理、聴覚心理、音環境計画の構成、建物の用途と着眼点
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
第10回 【授業テーマ】 音の基礎
【内容・方法等】 音波とその性質、平面波の伝搬、波動音響と幾何音響、音場解析の基礎量
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
第11回 【授業テーマ】 音の伝搬
【内容・方法等】 音の実用単位、音の伝搬過程、距離減衰、回折減衰、空気吸収減衰
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
第12回 【授業テーマ】 室内音場の解析
【内容・方法等】 室内音場の特徴、入射音と反射音の干渉、矩形室の固有振動、室内音場の波動音響学的特徴、反射音のエネルギー、拡散音場、残響時間
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
第13回 【授業テーマ】 音場の調整
【内容・方法等】 吸音の定義と効果、吸音の機構と吸音特性、遮音の性能表示、遮音の機構と特性、二重構造の遮音性能
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。
第14回 【授業テーマ】 音環境の評価
【内容・方法等】 騒音とは、騒音の基礎評価尺度、環境騒音の評価尺度、室内音場の評価指標
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習し、challengeの解答を試み、キーワードを抽出して、受講記録に記載する。

第15回 【授業テーマ】 まとめ
 【内容・方法 等】 毎回の講義資料に記載した復習課題 (challenge) について、質問に応じて、解説を行う。
 【事前・事後学習課題】 これまでの講義、演習の内容の理解を深める

評価方法 (基準)
 『受講記録』に基づく自己評価結果 (10%)、期末試験 (90%)

教材等
教科書…「建築環境工学教科書第二版」建築環境工学教科書研究会編著、彰国社
参考書…「建築環境工学教材 環境編 (第3版)」日本建築学会、丸善

学生へのメッセージ
 卒業後の人生の幸せの基盤となる、人間力の向上を念頭に置いて、積極的また、貪欲に知識を吸収してほしい。

関連科目
 建築環境工学 I、建築環境工学 II、建築環境工学演習

担当者の研究室等
 なし

建築環境工学演習

Exercises in Architectural Environmental Engineering

佐藤 隆二 (サトウ リュウジ)
 岩田 三千子 (イワタ ミチコ)
 恩村 定幸 (オンムラ サダユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	ロ	前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

〔授業概要・目的〕建築環境工学 I、建築環境工学 II、建築環境工学 III で学んだ知識を基に、実務に沿った状況を想定した課題に取り組むことによって、理論と知識の理解を深める。具体的な数値を用いた演算処理を通して、各種の演算式の意味内容の理解や処理結果の考察などの実務対応能力の向上を図ることを目的とする。〔到達目標〕演習を通して、適正な建築環境の実現、ひいては、合理的な建築計画の実施に資する素養を身に着ける。
 学科の学習・教育目標との対応：〔G〕

授業方法と留意点

毎回、課題と資料を配布し、課題の要点を解説を行った後、課題に取り組み、授業終了時に成果物を提出する。各課題におけるキーワードについての予習と復習を欠かさぬこと。

科目学習の効果 (資格)

建築の環境工学、建築設備の実務において、処理すべきさまざまな課題に対する解決能力が身につく。また、一級、二級建築士の学科試験の取り組みにおいて、学習契機形成や学習意欲の向上を図ることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 日照検討の準備
 【内容・方法 等】 特定地点の冬至の日の太陽位置および、単位長さの棒の先端の日影の座標を算定し、その結果に基づいて、日影曲線および、天球上の太陽軌道を描く。
 【事前・事後学習課題】 キーワード 【赤緯、時角、真太陽時、日影曲線図、太陽位置図】 の理解を深める
- 第2回** 【授業テーマ】 日照の検討
 【内容・方法 等】 日影曲線図を活用して、検討建物の日影図を描き、日影の面積を算定する。また、検討建物の天球上の射影図を描き、太陽位置図を活用して、日影となる時間帯を求める。
 【事前・事後学習課題】 キーワード 【日影の範囲、日影の時間帯】 の理解を深める
- 第3回** 【授業テーマ】 熱移動の基礎
 【内容・方法 等】 伝導、対流、放射による熱移動形態の違いを理解し、壁体の各部位および、壁体全体を流れる熱量の算定式を誘導する。この算定式を活用して、断熱処理の効果を検討する。
 【事前・事後学習課題】 キーワード 【伝導、対流、放射、熱伝導率、熱伝達率、熱貫流率】 の理解を深める
- 第4回** 【授業テーマ】 熱負荷の算定
 【内容・方法 等】 集合住宅の住戸を対象として、屋根、壁 etc. 部位ごとの貫流熱負荷を冬季 (暖房負荷) と夏季 (冷房負荷) のそれぞれについて算定する。冷房負荷においては、日射の効果を加味する。
 【事前・事後学習課題】 キーワード 【暖房負荷、冷房負荷、日射の等価気温】 の理解を深める
- 第5回** 【授業テーマ】 湿り空気線図の使い方
 【内容・方法 等】 湿り空気線図に記載されている各種変量を理解し、空気の加熱・冷却、加湿・除湿、混合などの諸現象を図中に表現する。これらの現象における、エンタルピー、顕熱、潜熱を求める。

- 【事前・事後学習課題】** キーワード 【気温、相対湿度、絶対湿度、エンタルピー、比容積、顕熱、潜熱、顕熱比】 の理解を深める
- 第6回** 【授業テーマ】 結露の検討
 【内容・方法 等】 多層壁体内部の温度および、絶対湿度 (水蒸気分圧) の分布を求め、表面結露、内部結露の判定を試みる。また、断熱材、防湿材の位置と結露の発生の関係を考察する。
 【事前・事後学習課題】 キーワード 【飽和水蒸気分圧、露点温度、表面結露、内部結露】 の理解を深める
- 第7回** 【授業テーマ】 昼光率分布の検討
 【内容・方法 等】 矩形の高窓を持つ室の床面上の検討点における直接昼光率 (立体角照射率) を、計算式及び、計算図表により算定し、床面の格子点の値に基づいて昼光率の分布図を作成する。
 【事前・事後学習課題】 キーワード 【立体角照射率、昼光率】 の理解を深める
- 第8回** 【授業テーマ】 人工照明の設計
 【内容・方法 等】 光の量を表現する諸量の関係を理解した上で、点光源で照らされた紙面の輝度を算定する。また、製図室を蛍光灯器具で照度基準を充足するように照明する場合の器具配置計画を試みる。
 【事前・事後学習課題】 キーワード 【光束、光度、照度、輝度、照度基準、照明率、保守率、室指数】 の理解を深める
- 第9回** 【授業テーマ】 換気の検討の基礎
 【内容・方法 等】 室内汚染質の発生量と換気量を各種の組み合わせ合わせた場合の、汚染質濃度の変化過程を算定する。また、ベルヌーイの式を理解し、開口部の圧力損失と流量の関係を誘導する。
 【事前・事後学習課題】 キーワード 【汚染質濃度、換気量、換気回数、ベルヌーイの式、圧力損失】 の理解を深める
- 第10回** 【授業テーマ】 換気量の検討
 【内容・方法 等】 空気流量の算定式に基づいて、複数開口を持つ室の相当開口面積を算定する。また、重力換気と風力換気が複合する場合について、2つの開口を持つ室の換気量を算定する。
 【事前・事後学習課題】 キーワード 【開口部流量、流量係数、圧力差、重力換気、風力換気】 の理解を深める
- 第11回** 【授業テーマ】 騒音レベルの検討
 【内容・方法 等】 周波数特性が既知の電車騒音の距離減衰と回折減衰を考慮して、住居の窓前における騒音レベルを予測する。
 【事前・事後学習課題】 キーワード 【音圧レベル、周波数帯域、距離減衰、回折減衰、聴感補正、騒音レベル】 の理解を深める
- 第12回** 【授業テーマ】 室内音場の設計
 【内容・方法 等】 電車による窓前騒音の周波数特性を与条件として、目標の室内騒音レベルを充足する、外壁と窓の遮音性能および室内の吸音性能を決定する。
 【事前・事後学習課題】 キーワード 【透過率、吸音率、透過損失、吸音力、遮音、吸音】 の理解を深める
- 第13回** 【授業テーマ】 残響時間の検討
 【内容・方法 等】 内装仕上げの面積と吸音率が既知である、簡単な舞台と平土間の客席を持つ集会室の残響時間を予測する。
 【事前・事後学習課題】 キーワード 【残響時間、吸音率、吸音力】 の理解を深める
- 第14回** 【授業テーマ】 総合問題①
 【内容・方法 等】 二級建築士試験の過去問から抽出した、環境工学及び設備に関する基本問題の解答を試みる。
 【事前・事後学習課題】 これまでの講義、演習の内容の理解を深める
- 第15回** 【授業テーマ】 総合問題②
 【内容・方法 等】 一級建築士試験の過去問から抽出した、環境工学及び設備に関する基本問題の解答を試みる。
 【事前・事後学習課題】 これまでの講義、演習の内容の理解を深める
- 評価方法 (基準)**
 各課題に対する成果物を総合的に評価する。定期試験は実施しない。3回以上欠席の場合は不合格とする。10分以上の遅刻は欠席と扱う。
- 教材等**
教科書…「建築環境工学教科書第二版」建築環境工学教科書研究会編著、彰国社
参考書…「建築環境工学教材 環境編 (第3版)」日本建築学会、丸善
- 学生へのメッセージ**
 受講に際して準備するもの：建築環境工学 I、II、III の授業における教科書、配布資料、ノート、関数機能付き電卓、20cm 程度の三角定規 1 組、A4 判レポート用紙
- 関連科目**
 建築環境工学 I、建築環境工学 II、建築環境工学 III
- 担当者の研究室等**

材料デザイン

Building Texture and Design

伊 熊 昌 治 (イクマ ショウジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

建築を構成する材料の選択は空間やコンセプトの表現として重要な要素である。

また材料の種類と特徴を知り適材適所に材料を選択し劣化を防ぎ快適で安全な居住環境を実現することも重要である。

鉄、アルミといった金属・ガラス・木・コンクリートから建築を構成する様々な材料について紹介し、伝統的な材料から近年開発された新素材まで幅広い材料についての知識と使用にあたっての留意点、デザインの実現のための使用方法についての基礎知識を身につけるとともに、どんなデザイン意思が潜んでいるのかを探る。

材料を使ってデザインすることとデザイン（意思）を実現する為に材料を選択する（デザインする）を学び実際の設計演習課題での作品のイメージの多様性の獲得や設計密度をあげることも目指す。

学科の学習・教育目標との対応：「G」

授業方法と留意点

「材料を知る」「材料を使う」「材料を活かす」という三部構成で授業を行う。

講義時にプリントあるいは資料を配布する。

国内外の事例を中心とした紹介を行うが、ミニレポートとして各自で事例を収集調査することも必要となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス：材料とデザイン
【内容・方法等】 材料を使ってデザインをするのか。デザインを実現する為に材料を使うのか。
【事前・事後学習課題】 工業化にともなう材料の開発と新素材を使用した事例を近代建築史のなかから学び材料（素材）をどのように使用・利用してきたのかの概略を学ぶ
- 第2回 【授業テーマ】 材料とデザイン「材料を知る」1：建物を構成する材料の特性
【内容・方法等】 床・天井・屋根に使われる材料と特徴（雨露に強い材料・風に強い材料）
外壁・内壁等に使われる材料と特徴
圧縮に強い材料・引っぱり強い材料・線で構成される構築物・面で構成される構築物
納まり事例
【事前・事後学習課題】 国内外の事例について興味のある建築での材料をチェックする。
- 第3回 【授業テーマ】 材料とデザイン「材料を知る」2：建物の特性から材料を知る（劇場・福祉施設の事例から）
【内容・方法等】 耐久性・防滑性
断熱性を高める材料・遮音性と吸音性を高める材料・音を反射する材料・防火材料（劇場の事例から）
【事前・事後学習課題】 国内外の事例について興味のある建築での材料をチェックする。
環境工学における日照・音響・熱の項目参照
- 第4回 【授業テーマ】 「材料を使う」1：材料と透明性
【内容・方法等】 透明性実現の為に材料（事例紹介）
ガラスを中心とした透明性・透過材料
虚の透明性と実の透明性
【事前・事後学習課題】 透明性を実現している事例をチェックする。
- 第5回 【授業テーマ】 「材料を使う」2：材料と時間
【内容・方法等】 発酵する材料と腐敗する材料
長寿命の為に材料
経年価値と新しさの価値、歴史的価値と保存価値
【事前・事後学習課題】 時間と共に熟成する材料を探す
- 第6回 【授業テーマ】 「材料を使う」3：材料とテクスチャー
【内容・方法等】 材料のテクスチャーと肌理
距離によるテクスチャーの変化
安全な表面仕上げ
呼吸する材料
【事前・事後学習課題】 距離によってテクスチャーが変化する事例を探す
環境に呼応する材料とはどんなものか。
- 第7回 【授業テーマ】 「材料を使う」4：システムと材料
【内容・方法等】 オープンシステムとクローズドシステム
カーテンウォールと工業化
【事前・事後学習課題】 便利なようで不便なシステムの事例を探す
- 第8回 【授業テーマ】 「材料を使う」5：システムと材料

【内容・方法等】 モジュールとデザイン

プレファブリケーションとデザイン

システムに原則はない

システムは変換

【事前・事後学習課題】 規格品を用いた材料デザインについて考える

第9回 【授業テーマ】 「材料を活かす」1：材料とイメージ・デザインの表現

【内容・方法等】 イメージ・デザインを表現するための材料
材料とディテール

国内外の事例

【事前・事後学習課題】 国内外の事例でイメージを明確に表現している材料を使用している事例を探す

第10回 【授業テーマ】 「材料を活かす」2：意思を実現するための材料デザイン

【内容・方法等】 設計演習での自分のコンセプトをまとめる。
設計演習での自分の作品について自分のコンセプトを表現する材料を選択する。

【事前・事後学習課題】 実際の材料を収集する。

第11回 【授業テーマ】 「材料を活かす」3：軽く見せる・重く見せる、暖かくみせる・冷たく見せる（材料デザインと構法）

【内容・方法等】 屋根・庇を軽く見せる

床・壁を薄くする

天井を軽くする

【事前・事後学習課題】 軽くみえる、重く見える・薄くみえる・厚くみえる事例を探す

第12回 【授業テーマ】 「材料を活かす」4：光をいれる・影をつくる・視線を遮る（材料デザインと構法）

【内容・方法等】 天井から光をいれる

壁から光をいれる

床から光をいれる

影をつくる・影を落とす

【事前・事後学習課題】 光をテーマにした空間の実例を探す

第13回 【授業テーマ】 「材料を活かす」5：材料とコンセプト

【内容・方法等】 コンセプトと使用材料との関係

今までと異なる場所に異なる材料を使う

国内外の事例紹介

【事前・事後学習課題】 国内外の事例でコンセプトを明確に表現している材料を使用している事例を探す

第14回 【授業テーマ】 「材料を活かす」6：意思を実現するための材料デザイン

【内容・方法等】 設計演習での自分の作品について自分のコンセプトを表現する材料を選択する。

【事前・事後学習課題】 実際の材料を収集する。

仕上げ材料表としてパネルにまとめる。

第15回 【授業テーマ】 「材料を活かす」7：意思を実現するための材料デザイン

【内容・方法等】 設計演習での自分の作品について自分のコンセプトを表現する材料を選択しプレゼンテーションを行う。

【事前・事後学習課題】 実際の設計演習課題での作品について各種仕上げ表を作成する

評価方法（基準）

授業中でのミニレポート提出状況30%、最終レポート提出状況30%、評価40%

教材等

教科書…各単元ごとの解説及びプリント配布

参考書…五十嵐太郎著「現代建築に関する16章」講談社現代新書

池邊陽著「デザインの鍵」丸善株式会社

モーセン・ムスタファヴィ、デイヴィッド・レザボロ

著黒石いづみ訳「時間のなかの建築」鹿島出版会

内田祥哉著「現代建築の造られ方」市ヶ谷出版社

隈研吾監修、長井宏憲著「素材の系譜」グラフィック社

野口貴文他著「ベーシック建築材料」彰国社

学生へのメッセージ

建築材料の知識を身につけることで実際の設計演習課題への取り組みも具体性を帯びてきます。

さらに材料から喚起されるデザインからイメージの枠を広げることが出来ます。

関連科目

建築環境工学やデザインと材料は密接な関係にある。

建築基準法でも防火等安全面から多様な材料の指定が記載されている。

国内外の事例から建築家のコンセプトや考えを具現化するための材料の選択についても興味をもつことが必要である。

担当者の研究室等

非常勤講師室

インテリア概論

Introduction to Interior Design

大谷 由紀子 (オオタニ ユキコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

[授業概要・目的] 建築空間を身体、生活、行動、心理、環境などの視点から考える講義である。建築計画におけるインテリアという考え方、および基礎的知識について解説し、具体的事例を参照しながら計画手法を講義する。

[到達目標] 1) インテリアという考え方の理解、2) インテリアの基礎知識の習得、3) インテリアを構成する要素の理解
学科の学習・教育目標との対応：[F]

授業方法と留意点

板書、スライドでのビジュアル資料

授業時間内で確認テスト、および予習・復習課題を課す。

授業で事例を紹介するが、それだけでなく、雑誌やショールームを見たり、実際の建築空間を数多く体験してほしい

科目学習の効果(資格)

設計演習Ⅲa,Ⅲb、および、一級・二級建築士資格試験取得のための重要な科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 インテリアという考え方
【内容・方法等】 インテリアの歴史と考え方
【事前・事後学習課題】 予習課題
- 第2回 【授業テーマ】 身体・寸法
【内容・方法等】 身体スケール、寸法、領域
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第3回 【授業テーマ】 行動・心理
【内容・方法等】 人の動き、心理と空間
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第4回 【授業テーマ】 ライフスタイル
【内容・方法等】 ライフスタイル、コミュニケーションと空間
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第5回 【授業テーマ】 水廻り
【内容・方法等】 キッチン、サニタリー
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第6回 【授業テーマ】 階段・スロープ
【内容・方法等】 フロアの接続、接続のかたち
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第7回 【授業テーマ】 開口部
【内容・方法等】 窓の役割とかたち
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第8回 【授業テーマ】 光と照明
【内容・方法等】 自然光と照明計画
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第9回 【授業テーマ】 内装材1
【内容・方法等】 床、壁、天井の仕上げ
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第10回 【授業テーマ】 内装材2
【内容・方法等】 床、壁、天井の仕上げ、ケーススタディ
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第11回 【授業テーマ】 家具
【内容・方法等】 建築と家具
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第12回 【授業テーマ】 ケーススタディ
【内容・方法等】 住宅
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第13回 【授業テーマ】 ケーススタディ
【内容・方法等】 商業
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第14回 【授業テーマ】 ケーススタディ
【内容・方法等】 オフィス
【事前・事後学習課題】 復習・予習課題
- 第15回 【授業テーマ】 ケーススタディ
【内容・方法等】 コンバージョン、リノベーション
【事前・事後学習課題】 ー

評価方法(基準)

期末試験(70%)、レポートおよび復習課題(30%)

教材等

教科書…教科書・・・世界で一番美しい建築デザインの教科書、エクスナレッジ、@1800

参考書…「コンパクト建築設計資料集成」日本建築学会編、丸善、5040円

「コンパクト建築設計資料集成インテリア」日本建築学会編、丸善、5040円
建築雑誌、例えば「新建築」「A+U」

学生へのメッセージ

様々な建築空間を体験し、そこでの人々のふるまいを観察することが重要です。また、空間の印象、特徴、居心地のよさ、問

題点などが何に依るのか、空間を読み取った結果を、課題を通じて発表の機会を設けます。

関連科目

専門科目全般、特に、建築計画各論・設計演習Ⅱa、Ⅱb、Ⅲa、Ⅲb、建築環境工学

担当者の研究室等

8号館3階 大谷准教授室

空間表現論

Spatial Design

山本 一貴 (ヤマモト カズタカ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

本講義では、現代建築を理解する上で必要となる建築理論について解説する。近代から現代に至る建築理論の変遷、デザインと理論の関係、建築と社会の関係を学ぶことにより、現代建築に対する理解を深め、批評の視点を獲得することを目的とする。また、建築理論の学習を通して、論理的なプレゼンテーション能力を身につけることを目標とする。

学科の学習・教育目標との対応：[F]

授業方法と留意点

スライドを用いる。適宜プリントを配布する。

科目学習の効果(資格)

近現代の建築思潮の変化を説明することができる。現代建築を取り巻く社会的背景を説明することができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法等】 講義内容、進め方、評価方法を説明する
【事前・事後学習課題】 テキストp.4-5
- 第2回 【授業テーマ】 建築の見かた1
【内容・方法等】 「形態」と「機能」を軸に近現代建築を考察する
【事前・事後学習課題】 テキストp.72-73
- 第3回 【授業テーマ】 建築の見かた2
【内容・方法等】 「スタイル(様式)」と「タイプ(型)」を軸に近現代建築を考察する
【事前・事後学習課題】 テキストp.18-19
- 第4回 【授業テーマ】 建築の見かた3
【内容・方法等】 「自然」と「工学」を軸に近現代建築を考察する
【事前・事後学習課題】 テキストp.60-61
- 第5回 【授業テーマ】 建築の見かた4
【内容・方法等】 「場所性」と「地域性」を軸に近現代建築を考察する
【事前・事後学習課題】 テキストp.184-185
レポート課題1(作品論)提出
- 第6回 【授業テーマ】 建築の見かた5
【内容・方法等】 「装飾」と「インテリア」を軸に近現代建築を考察する
【事前・事後学習課題】 テキストp.12-13
- 第7回 【授業テーマ】 建築20世紀1
【内容・方法等】 1950年代～60年代の建築の理論とその背景を考察する(1)
【事前・事後学習課題】 テキストp.122-123
- 第8回 【授業テーマ】 建築20世紀2
【内容・方法等】 1950年代～60年代の建築の理論とその背景を考察する(2)
【事前・事後学習課題】 テキストp.144-145
- 第9回 【授業テーマ】 建築20世紀3
【内容・方法等】 1970年代～80年代の建築の理論とその背景を考察する(1)
【事前・事後学習課題】 テキストp.186-187
- 第10回 【授業テーマ】 建築20世紀4
【内容・方法等】 1970年代～80年代の建築の理論とその背景を考察する(2)
【事前・事後学習課題】 テキストp.192-193
レポート課題2(書評)提出
- 第11回 【授業テーマ】 建築20世紀5
【内容・方法等】 1990年代以降の建築の理論とその背景を考察する(1)
【事前・事後学習課題】 テキストp.204-205
- 第12回 【授業テーマ】 建築20世紀6
【内容・方法等】 1990年代以降の建築の理論とその背景を考察する(2)
【事前・事後学習課題】 参考書p.208-212
- 第13回 【授業テーマ】 現代建築の潮流1
【内容・方法等】 近代建築の保存・再生の理論とその背景を考察する

- 第14回 【事前・事後学習課題】 テキストp.222-223
【授業テーマ】 現代建築の潮流2
【内容・方法等】 現代建築にみる環境意識の変化と情報化の影響を考察する
- 第15回 【事前・事後学習課題】 テキストp.216-217
【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 全体のまとめと今後の展望を考察する
【事前・事後学習課題】 レポート課題3（作家論）提出

評価方法（基準）
レポート課題（3種類）の合計点により評価する。3つすべて提出しなければ単位は認定しない。評価基準は、授業内容の理解度、レポートの完成度、文章表現力とし、レポート1（30%）、レポート2（30%）、レポート3（40%）の内容を総合的に判断する。

教材等
教科書…『20世紀の空間デザイン』矢代真己、田所辰之助、濱崎良実著 彰国社（2400円）
参考書…『建築の20世紀』本田昌昭、末包伸吾編著 学芸出版社（3570円）

学生へのメッセージ
デザインに対する理解力を高めたい人、将来デザイナーを目指す人に向けた講義です。

関連科目
西洋建築史、日本建築史、近代建築史
担当者の研究室等
7号館2階 非常勤講師室

建築企画 Management of Architectural Projects				
生 川 慶 一 郎 (ナルカワ ケイイチロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
【授業概要・目的】
「建築企画」とは「建築に関する事業において、なすべき仕事のイメージを描き、全体的または細部にわたる構想を練って取りまとめた提案およびそれに至る過程」と定義される（出典：建築企画事典）。近年、建築に関する事業は、その計画敷地で完結することなく、周辺地域や都市と関係性が問われており、さまざまな経済活動、まちづくりとの連携も重要となっている。

本講義では、「建築企画」に伴う事業主体のあり方に始まり、継続的な協議体制の確立や多様な財源の確保、事業・取り組みの優先順位やその決定プロセスなど、都市が抱えている課題の解決に資する知見について学習する。

- 【到達目標】
①都市が抱えている多岐にわたる課題に関する包括的な理解を深める。
②具体的な「建築企画」の提案発表を通じて、事業実施に関する実践的な理論・手法・技能について習得する。
学科の学習・教育目標との対応：[F]

授業方法と留意点
検討テーマとして、①景観保全、②空家活用、③まちなか観光、④里山再生、⑤繁華街の安全・安心、⑥団地マネジメント、⑦市街地住宅の再生、以上の7つを取り上げ、実例を通じた課題解説とそれに対する「建築企画」の提案発表を行う。また、参加型のワークショップを実施し、議論を深化させる実践的なアプローチを試みる。

科目学習の効果（資格）
特になし

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 都市再生分野で求められる建築企画
【内容・方法等】 都市再生・まちづくりの経緯と現状 市民参加型のまちづくり
【事前・事後学習課題】 地域まちづくり一般
- 第2回 【授業テーマ】 テーマ1 京都の景観まちづくり①<課題解説
【内容・方法等】 保全再生される京町家、地域で取り組む景観づくり
【事前・事後学習課題】 課題の整理
- 第3回 【授業テーマ】 テーマ1 京都の景観まちづくり②<提案発表
【内容・方法等】 京都における景観まちづくりについて（ワークショップ）
【事前・事後学習課題】 提案内容の作成
- 第4回 【授業テーマ】 テーマ2 地域連携型空家活用流通促進まちづくり①<課題解説
【内容・方法等】 都市部において急増する空家の現状とその発生要因、六原学区における空家活用まちづくり
【事前・事後学習課題】 課題の整理
- 第5回 【授業テーマ】 テーマ2 地域連携型空家活用流通促進まち

- くり②<提案発表
【内容・方法等】 地域と連携した空家の活用および流通促進について（ワークショップ）
- 第6回 【事前・事後学習課題】 提案内容の作成
【授業テーマ】 テーマ3 まちづくり観光によるコミュニティ再生まちづくり①<課題解説
【内容・方法等】 まちづくり観光、長崎さるく博、くらすそ京都の取組
【事前・事後学習課題】 課題の整理
- 第7回 【授業テーマ】 テーマ3 まちづくり観光によるコミュニティ再生まちづくり②<提案発表
【内容・方法等】 まちなか交通戦略、歩いて暮らせるまちづくりについて
【事前・事後学習課題】 提案内容の作成
- 第8回 【授業テーマ】 テーマ4 農ある暮らしによる里山再生①<課題解説
【内容・方法等】 里山再生の現状、木津中央地区におけるニュータウン開発、鹿背山元気プロジェクト
【事前・事後学習課題】 課題の整理
- 第9回 【授業テーマ】 テーマ4 農ある暮らしによる里山再生②<提案発表
【内容・方法等】 農ある暮らしによる郊外型ニュータウンの再生について
【事前・事後学習課題】 提案内容の作成
- 第10回 【授業テーマ】 テーマ5 繁華街における安全・安心まちづくり①<課題解説
【内容・方法等】 繁華街の抱える課題 安全・安心まちづくり、地域まちづくり委員会の取組
【事前・事後学習課題】 課題の整理
- 第11回 【授業テーマ】 テーマ5 繁華街における安全・安心まちづくり②<考察と提案
【内容・方法等】 廃校小学校を活用した繁華街における文化・交流について
【事前・事後学習課題】 提案内容の作成
- 第12回 【授業テーマ】 テーマ6 団地マネジメント①<課題解説
【内容・方法等】 公的住宅の現状と課題、武庫川団地における団地マネジメント
【事前・事後学習課題】 課題の整理
- 第13回 【授業テーマ】 テーマ6 団地マネジメント②<提案発表
【内容・方法等】 行列ができる公的住宅団地について
【事前・事後学習課題】 提案内容の作成
- 第14回 【授業テーマ】 テーマ7 地域まちづくりと連携した公的住宅団地の再生①<課題解説
【内容・方法等】 京都府住宅供給公社堀川団地の再生ビジョン
【事前・事後学習課題】 課題の整理
- 第15回 【授業テーマ】 テーマ7 地域まちづくりと連携した公的住宅団地の再生②<提案発表
【内容・方法等】 公的住宅団地の再生による地域まちづくりについて
【事前・事後学習課題】 提案内容の作成

評価方法（基準）
小課題評価30%、レポート点70%により総合的に評価する。

教材等
教科書…特になし
参考書…特になし

学生へのメッセージ
都市再生・まちづくり分野に興味を持ち、積極的な議論を望む学生を求めます。

担当者の研究室等
特になし

備考
特になし

現代作品論 Issues in Modern Architecture				
竹 内 正 明 (タケウチ マサアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
建築を取り巻く状況は常に大きく変貌し続けている。戦後の日本においても、目まぐるしい社会変動に翻弄されるかのように建築は移り変わってきた。そのなかで建築家たちは、テクノロジーの発展、ライフスタイルの変化など、人びとの価値観を揺るがす「時代の意思」を鋭敏に読み取り、それを建築作品に反映させようと多くの試みをおこなってきた。そして、このような先達の試みは現在第一線で活躍している建築家たちに多くの示唆を与えてきた。
本授業では、現代建築の潮流のなかでターニングポイントとな

った作品やプロジェクト案、コンペティション案を振り返りつつ議論することで現代における建築と建築家のあり方を学ぶ、ということを目指す。

学習・教育目標との対応：【F】

授業方法と留意点

現代建築のターニングポイントとなったトピックスを取り上げ、その象徴となる建築作品について図面や写真などを用いて解説する。また、建築作品について自分で考える能力を養うために、図面を読み込みながらのディスカッションを授業内にて随時おこなう。

活発な議論を展開するために、授業で扱う各トピックスに関連する内容を参考書などで事前に調べてから受講すること。

科目学習の効果（資格）

現代社会における建築や建築家の役割についての理解力を高めるとともに、建築や都市空間に対する批評力を培う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 近代主義建築の継承
 【内容・方法 等】 近代主義建築の巨匠であるル・コルビュジエと彼を師事した日本人建築家たち。彼らの建築作品を検証し、日本における近代主義建築の継承について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 トピックスに関連する建築家や時代背景について、参考書などを活用して基本的事項を受講前に調べておくこと。
- 第2回** 【授業テーマ】 伝統性と建築表現
 【内容・方法 等】 1950年代後半に起こった伝統論争なかで注目された丹下健三や白井晟一。彼らの建築作品を検証し、伝統性の捉え方とその建築表現のあり方について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 トピックスに関連する建築家や時代背景について、参考書などを活用して基本的事項を受講前に調べておくこと。
- 第3回** 【授業テーマ】 モダンリビングという住まい
 【内容・方法 等】 清家清、広瀬鎌二、増沢旬らを中心に模索された戦後日本の小住宅。その革新性の中心となった建築作品を検証し、現代住宅に多大な影響をもたらすモダンリビングという概念について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 トピックスに関連する建築家や時代背景について、参考書などを活用して基本的事項を受講前に調べておくこと。
- 第4回** 【授業テーマ】 未来都市のイメージ
 【内容・方法 等】 1960年代に一世を風靡した建築グループであるアーキグラムやメタボリズムグループ。彼らが描いたプロジェクト案を検証し、未来都市を提起するという可能性とその限界について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 トピックスに関連する建築家や時代背景について、参考書などを活用して基本的事項を受講前に調べておくこと。
- 第5回** 【授業テーマ】 地域主義とヴァナキュラー
 【内容・方法 等】 近代建築への懐疑や環境問題をきっかけに見直された地域主義的な建築。その中心となった建築作品を検証し、地域性を再評価するヴァナキュラーという概念について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 トピックスに関連する建築家や時代背景について、参考書などを活用して基本的事項を受講前に調べておくこと。
- 第6回** 【授業テーマ】 建築の解体という手法
 【内容・方法 等】 1960年代後半に磯崎新が提言した「建築の解体」とは何か。当時の建築作品を検証し、近代主義建築の枠を超える新しい試みとして実践された建築手法について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 トピックスに関連する建築家や時代背景について、参考書などを活用して基本的事項を受講前に調べておくこと。
- 第7回** 【授業テーマ】 野武士と称された建築家たち
 【内容・方法 等】 1970年代に頭角を現した安藤忠雄や伊東豊雄といった革新的な若手建築家たちは「野武士」と称されていた。彼らの初期作品を検証し、現代の日本建築界をリードする建築家たちが若き日に描いた建築について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 トピックスに関連する建築家や時代背景について、参考書などを活用して基本的事項を受講前に調べておくこと。
- 第8回** 【授業テーマ】 ハイテクという建築スタイル
 【内容・方法 等】 1970年代後半から80年代前半にかけて流行したハイテクスタイルの建築。ハイテクスタイルと呼ばれた建築作品を検証し、時代を通して繰り返し現れるテクノロジーの建築表現について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 トピックスに関連する建築家や時代背景について、参考書などを活用して基本的事項を受講前に調べておくこと。
- 第9回** 【授業テーマ】 モダンからポストモダン、そして現代へ
 【内容・方法 等】 これまでの講義で採り上げた建築作品を再検証し、現代建築の礎となった時代の建築について整理する。中間試験を含む。
 【事前・事後学習課題】 トピックスに関連する建築家や時代背景について、参考書などを活用して基本的事項を受講前に

- 調べておくこと。
【授業テーマ】 脱構築からプログラム論へ
【内容・方法 等】 1980年代には脱構築の理論が、1990年代にはプログラム論が建築界を席卷した。これらの理論に基づく建築作品を検証し、既成のプログラムを組み直すことの建築的意義について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 トピックスに関連する建築家や時代背景について、参考書などを活用して基本的事項を受講前に調べておくこと。
- 第11回** 【授業テーマ】 建築表現としてのミニマリズム
 【内容・方法 等】 1990年代に注目され始めた極限まで研ぎすまされたディテールをもつ建築。これを顕著に表す建築作品を検証し、建築表現としてのミニマリズムについて学ぶ。
【事前・事後学習課題】 トピックスに関連する建築家や時代背景について、参考書などを活用して基本的事項を受講前に調べておくこと。
- 第12回** 【授業テーマ】 表層の建築表現
 【内容・方法 等】 環境との関係性のなかで表層的な意匠を重視した建築が生み出された。このような建築作品を検証し、建築が環境に存在するたたずまいのあり方について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 トピックスに関連する建築家や時代背景について、参考書などを活用して基本的事項を受講前に調べておくこと。
- 第13回** 【授業テーマ】 風景としての建築
 【内容・方法 等】 ランドスケープにおけるひとつの要素として風景に溶け込む建築。場所の特性を活かした建築作品を検証し、建築における場所性のあり方について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 トピックスに関連する建築家や時代背景について、参考書などを活用して基本的事項を受講前に調べておくこと。
- 第14回** 【授業テーマ】 建築のスーパーフラット
 【内容・方法 等】 現代美術の領域から広がったスーパーフラットという概念。この概念を踏まえた建築作品を検証し、建築におけるスーパーフラットの捉え方について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 トピックスに関連する建築家や時代背景について、参考書などを活用して基本的事項を受講前に調べておくこと。
- 第15回** 【授業テーマ】 リノベーションという方法
 【内容・方法 等】 建築に新たな役割を与えて生まれ変わらせるリノベーションという手法。リノベーションによる建築作品を検証し、建築ストックの活用という現代社会の重大課題に対する建築的アプローチについて学ぶ。
【事前・事後学習課題】 トピックスに関連する建築家や時代背景について、参考書などを活用して基本的事項を受講前に調べておくこと。

評価方法（基準）
 中間試験(30%)、期末試験(40%)、授業内での発表内容や提出物(30%)によって総合的に評価する。

教材等

- 教科書…なし（必要な資料は授業時に適宜配布する）
 参考書…本田昌昭・末包伸吾（編）『テキスト建築の20世紀』学芸出版社（3570円）
 鈴木博之『現代建築の見かた』王国社（1800円）
 西田雅嗣・矢ヶ崎善太郎(編)『図説 建築の歴史』学芸出版社（2940円）
 尾上亮介・竹内正明・小池志保子『図解 ニッポン住宅建築』学芸出版社（2940円）
 竹内正明『椅子さがし 建築めぐり』学芸出版社（1995円）
 藤森照信『藤森照信の原・現代住宅再見1〜3』TOTO出版（2400円）
 鈴木博之・中川武・藤森照信・隈研吾(監修)『新建築臨時増刊「建築20世紀PART1」』新建築社（5150円）
 鈴木博之・中川武・藤森照信・隈研吾(監修)『新建築臨時増刊「建築20世紀PART2」』新建築社（5150円）

学生へのメッセージ

図面を読み込み、各時代のエッセンスを感じてください。建築家たちの鋭敏な感性は、今という時代を読み解くうえでのヒントになります。

関連科目

西洋建築史、近代建築史、設計演習など

担当者の研究室等

7号館2階 非常勤講師室

建築関連法規 Architectural Regulations and Policy				
笠井 精二 (カサイ セイジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

建築を志した者が、建築業界で活躍するためには建築関係業界の実態を知ることが必要である。そのため最新の建築社会情勢を建築業界毎に整理した情報を提供する。また街づくりの中で重要と考える法令（具体的には「建築基準法」に関連する建築関係法令）を勉強する。目的としては、「一級建築士」の資格試験の「建築法規」を中心に勉強し、「一級建築士」の取得を目指す。学科の学習・教育目標との対応：[F]

授業方法と留意点

法律とテキスト(資料等)を用いた講義方式とし、法律の法文そのものを事例等を通じて理解・習得する。

科目学習の効果(資格)

一級建築士等の資格を取得する際の「建築法規」の一部として建築設計をする上でも重要なものである。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業の進め方、建設業界の最近の動向について
【事前・事後学習課題】 レポート(アンケート調査)
- 第2回** 【授業テーマ】 都市計画法(その1)
【内容・方法 等】 都市計画法設立の経緯および概要について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第3回** 【授業テーマ】 建都市計画法(その2)
【内容・方法 等】 都市計画事業の各種手法について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第4回** 【授業テーマ】 景観行政について
【内容・方法 等】 景観緑3法などの概要について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第5回** 【授業テーマ】 バリアフリー法
【内容・方法 等】 高齢者、障害者等の移動等の円滑化に関する法律の概要
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第6回** 【授業テーマ】 耐震改修促進法
【内容・方法 等】 建築物の耐震改修の促進に関する法律などの概要について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第7回** 【授業テーマ】 消防法(その1)
【内容・方法 等】 消防法の概要について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第8回** 【授業テーマ】 消防法(その2)
【内容・方法 等】 消防法に関する留意事項及び事例紹介について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第9回** 【授業テーマ】 宅地造成等規制法
【内容・方法 等】 宅地造成法の概要および技術的基準について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第10回** 【授業テーマ】 建設業法
【内容・方法 等】 建設業の実態及び建設業法の概要について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第11回** 【授業テーマ】 建築士法
【内容・方法 等】 建築士を取り巻く情勢及び建築士法の概要について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第12回** 【授業テーマ】 住宅関連法(その1) 住宅品質確保法
【内容・方法 等】 住宅業界の実態と住宅の品質確保の促進に関する法律の概要について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第13回** 【授業テーマ】 住宅関連法(その2) 長期優良住宅普及促進法
【内容・方法 等】 長期優良住宅の普及の促進に関する法律などの概要について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第14回** 【授業テーマ】 建築確認対象法令
【内容・方法 等】 各種事業法などの概要について
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめと受験対策
【内容・方法 等】 全体のまとめと1級建築士受験の対策について
【事前・事後学習課題】 レポート(アンケート調査)

評価方法(基準)

学期末テストの成績(70%)と演習問題・レポートの内容(30%)を評価する。

教材等

教科書…『建築関係法令集 法令編』平成25年版(総合資格学院 編)

なお、テーマに合わせて適宜レジュメ・資料等を配布する。

参考書…特になし

学生へのメッセージ

建築関係法規は、建築物を建てる際の絶対条件であり、設計する際にも、その道筋を示すものでもある。しかし、法律は、その正確さを期すことから一読しても理解できないものであるが、その根本を知れば、常識的なものである。そこまでの道筋を知

ってほしい。

関連科目

・建築物は、自然科学はもちろん社会科学の一環としても存在するものであるため、社会の動き、経済の動きを知る必要がある。

担当者の研究室等

7号館2階 非常勤講師室

緑地計画

Landscape Design

高 畑 正 (タカハタ タダシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

緑地計画(造園・ランドスケープ・自然等)に関する基礎的事項を理解させるとともに、緑や自然、まちづくりへの感受性を磨く手がかりを論じる。具体的なみどりのまちづくりや市民活動事例を神戸市を中心に紹介する。

人の生活環境や地域の自然環境に関心を持ち必要な基礎知識を身につけることを到達目標とする。
学科の学習・教育目標との対応：[F]

授業方法と留意点

資料に基づいた具体的な造園・ランドスケープ事例を中心とした講義を行う。身近な緑や自然に関心を深めてもらうため、毎回、講義テーマに基づいたミニレポート・課題を課す。

科目学習の効果(資格)

1・2級造園施工管理技師(国土交通省)、環境再生医(自然環境復元協会)等の資格取得の参考となります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 緑地計画概論
【内容・方法 等】 造園・ランドスケープの対象領域を網羅的に概説。個人庭園から都市公園・自然公園、また街路樹などの都市緑化、里山など森林の保全、ビオトープなど自然環境再生、さらにはみどりのコミュニティデザインやマネージメント等。
【事前・事後学習課題】 緑地・造園・ランドスケープについて考えたうえで、知りたい対象を報告
- 第2回** 【授業テーマ】 都市の自然観察
【内容・方法 等】 住居地やキャンパスなど身近な自然を観察し、季節感や自然の多様性を感じる力を養う
【事前・事後学習課題】 季節を感じる事象の写真を持参
- 第3回** 【授業テーマ】 植物と植栽
【内容・方法 等】 一般の植物の分類、形態、生理、生態等。造園植栽の種類等。
【事前・事後学習課題】 自宅等に植えたい植物とその理由を報告。
- 第4回** 【授業テーマ】 里山・里地の保全
【内容・方法 等】 森林・林業の現状と課題、植生遷移、茅葺民家の保全、里山の保全活動等。
【事前・事後学習課題】 身近な自然樹林の現状調査を報告
- 第5回** 【授業テーマ】 自然環境の再生
【内容・方法 等】 ビオトープ(生物生息空間)、特定外来生物、生物多様性、環境再生医等
【事前・事後学習課題】 近くのビオトープ的な空間を調査し報告。
- 第6回** 【授業テーマ】 わが国の庭園の歴史
【内容・方法 等】 日本庭園(枯山水、池泉回遊式)、庭園材料、近代造園等
【事前・事後学習課題】 一番好きな日本庭園とその理由を報告
- 第7回** 【授業テーマ】 西欧の庭園の歴史
【内容・方法 等】 フランス整形式庭園、イギリス風景式庭園等
【事前・事後学習課題】 好きな洋風庭園とその理由を報告。
- 第8回** 【授業テーマ】 都市公園
【内容・方法 等】 都市公園の種類(国営・総合・地区・近隣・街区・都市緑地等)、公園配置計画、緑の基本計画、都市公園法等
【事前・事後学習課題】 好きな都市公園ベスト3とその理由を報告。
- 第9回** 【授業テーマ】 自然公園
【内容・方法 等】 自然公園の種類(国立・国定・県立)、自然環境保全法、自然公園法等
【事前・事後学習課題】 あなたが体験した国立公園での行動事例報告。
- 第10回** 【授業テーマ】 六甲山森林整備戦略
【内容・方法 等】 六甲山の災害・植林・開発の歴史、六甲山の現状と課題、戦略の展開等
【事前・事後学習課題】 六甲山が神戸のまちづくりのなかでどのような位置づけにすべきか考え報告。
- 第11回** 【授業テーマ】 公園マネージメント

【内容・方法等】 須磨離宮公園での管理運営事例、指定管理者制度、神戸女子大との連携協定等

【事前・事後学習課題】 事前に須磨離宮公園について調査学習を報告

第12回 【授業テーマ】 みどりのコミュニティデザイン（みどりの市民活動）①

【内容・方法等】 阪神・淡路大震災を契機に発展した神戸のみどりの市民活動について（ガレキに花を・ドングリネット神戸等）、緑の果たした役割等。

【事前・事後学習課題】 阪神・淡路大震災について事前学習を報告

第13回 【授業テーマ】 みどりのコミュニティデザイン（みどりの市民活動）②

【内容・方法等】 阪神・淡路大震災を契機に発展した神戸のみどりの市民活動について（学校ビオトープ等）

【事前・事後学習課題】 お近くの学校ビオトープの調査報告を報告

第14回 【授業テーマ】 みどりのコミュニティデザイン（みどりの市民活動）③

【内容・方法等】 阪神・淡路大震災を契機に発展した神戸のみどりの市民活動について（全国トンボ市民サミット神戸大会、農都共生ネットこうべ等）

【事前・事後学習課題】 震災関連等のボランティア活動団体の事例調査を報告

第15回 【授業テーマ】 ハーバルライフ

【内容・方法等】 ハーブの分類・歴史・効能、ハーブのある暮らしの豊かさ等

【事前・事後学習課題】 自宅等で栽培しているハーブ3種類の利用法の報告

評価方法（基準）
期末試験（7割）、レポート課題（3割）の合計100点満点の60点以上を合格とする。

教材等
教科書…特になし。必要資料は配布します。
参考書…講義後に参考図書は紹介します。

学生へのメッセージ
講義のなかでは、造園・ランドスケープの基礎の理解とともに、身近なみどりや地域の自然へ関心を深めるためにグループ討議を行い、建物内やまちで暮らす人々の生活の質（クオリティオブライフ）を一緒に考えていきたいと思います。

関連科目
都市・地域計画等、特に卒業研究・設計の導入とする。

担当者の研究室等
非常勤講師室

構造力学・構造基礎 Introduction to Structural Mechanics				
池内 淳子(イケウチ ジュンコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

■授業概要・目標 建築の空間を自然災害から守り、安全に支えるために必要な要件の概説を行い、構造力学の基礎を学ぶ。また、特に構造力学修得に必要な数学および物理学に対して、高校課程までの学習内容の補足を行うとともに、今後学習する構造系科目との関連付けを学ぶ。

■到達目標 1) 建築における構造の役割と重要性の理解 2) 構造関連科目それぞれが持つ役割の理解 3) 構造力学修得に必要な数学および物理学に関して深く理解する

■学科の学習・教育目標との対応：[F]

授業方法と留意点

講義と演習を組み合わせる授業を行うため、遅刻・欠席をしないこと。

やむを得ず、欠席をした場合には配布プリントの再配布は行わない。また、欠席した場合の授業内容については自己責任において回復すること。

科目学習の効果（資格）

構造力学Iaや構造力学Ibなど構造力学系科目を学ぶ基礎となる。一級・二級建築士資格取得のために必須である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 ガイダンス

建築構造力学とは？
【内容・方法等】 授業の目的と概要、評価基準と注意事項、専門関連科目との関係、建築士試験と構造力学、安全を支える構造力学

【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書1章を読む (事後) 配布資料等授業内容を復習する

第2回 【授業テーマ】 建築構造力学の必要性を理解する

【内容・方法等】 建築構造の種類、建物の安全性を理解、建

物被害事例を学ぶ

【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書3章を読む (事後) 配布資料等授業内容を復習する

第3回 【授業テーマ】 構造力学に必要な基礎知識(1)

【内容・方法等】 計算の基本、微分・積分について理解度を確し、演習を行う。

【事前・事後学習課題】 (事前) 高校課程の復習を行う、教科書付録3、付録4を確認する (事後) 講義中に解いた演習問題を再解答する。

第4回 【授業テーマ】 構造力学に必要な基礎知識(2)

【内容・方法等】 三角比、三角関数、方程式とグラフについて理解度を確し、演習を行う。

【事前・事後学習課題】 (事前) 高校課程の復習を行う (事後) 講義中に解いた演習問題を再解答する。

第5回 【授業テーマ】 構造力学に必要な基礎知識(3)

【内容・方法等】 質量と重量、単位についてこれまでの理解度を確し、演習を行う。

【事前・事後学習課題】 (事前) 高校課程の復習を行う、教科書2章を読む (事後) 講義中に解いた演習問題を再解答する。

第7回 【授業テーマ】 建物に作用する荷重(1)

【内容・方法等】 固定荷重・積載荷重とそのモデル化について学ぶ

【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書1章、3章を読む (事後) 配布プリント等を復習し、講義中に解いた演習問題を再解答する。

第8回 【授業テーマ】 建物に作用する荷重(2)

【内容・方法等】 積雪荷重とそのモデル化について学ぶ

【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書1章、3章を読む (事後) 配布プリント等を復習し、講義中に解いた演習問題を再解答する。

第9回 【授業テーマ】 建物に作用する荷重(3)

【内容・方法等】 風荷重とそのモデル化について学ぶ

【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書1章、3章を読む (事後) 配布プリント等を復習し、講義中に解いた演習問題を再解答する。

第10回 【授業テーマ】 建物に作用する荷重(4)

【内容・方法等】 地震荷重とそのモデル化について学ぶ

【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書1章、3章を読む (事後) 配布プリント等を復習し、講義中に解いた演習問題を再解答する。

第11回 【授業テーマ】 梁から学ぶ構造力学(1)

【内容・方法等】 外力・反力・応力について

【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書3章(3.2)、4章(4.1) (事後) 配布プリント等を復習し、講義中に解いた演習問題を再解答する。

第12回 【授業テーマ】 材料の伸びと縮み

【内容・方法等】 材料特性、引張力、圧縮力

【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書9章(9.1)を読む (事後) 配布プリント等を復習し、講義中に解いた演習問題を再解答する。

第13回 【授業テーマ】 梁から学ぶ構造力学(2)

【内容・方法等】 反力算定(1)

【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書4章を読む (事後) 配布プリント等を復習し、講義中に解いた演習問題を再解答する。

第14回 【授業テーマ】 梁から学ぶ構造力学(3)

【内容・方法等】 反力算定(2)

【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書4章を読む (事後) 配布プリント等を復習し、講義中に解いた演習問題を再解答する。

第15回 【授業テーマ】 総括

【内容・方法等】 授業内容に関する質疑応答および補足、構造力学Iaに向けて

【事前・事後学習課題】 (事前) これまで学んだ事の質問事項や疑問点をまとめる (事後) すべての演習問題を解き直し内容の理解を深める。

評価方法（基準）
復習課題の提出（30％）と期末試験（70％）により総合的に判断する。

教材等
教科書…「図説 構造力学入門」 豊田正敏/鳥村和夫著 2233円
参考書…別途、提示する。

学生へのメッセージ
構造力学系科目の修得には、たゆまぬ努力が必要である。本講義は、これら構造力学系科目の導入に位置づけられており、必要に応じて高校課程までで学習した数学や物理等の補足も行う。

積極的に取り組み、「理解できた喜び」や「解ける喜び」をいち早く感じることが構造力学系科目の修得には近道である。

関連科目

専門関連科目（微積分、線形代数、力学、物理等）、理工学基礎実験、構造力学Ia、構造力学Ib、構造力学II、その他建築構造関係の全科目

担当者の研究室等

8号館3階 池内准教授室

備考

理解できなくなったら、早めに質問に来ること。その際は、自分が解いたノートを持参すると、より理解が深まる。また、教育支援センターでも構造力学の質問は受け付けてもらえるため、積極的に活用すること。

構造力学Ia Structural Mechanics Ia				
原 克 巳 (ハラ カツミ) 加 藤 潤 一 (カトウ ジュンイチ) 高 田 明 伸 (タカダ アキノブ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期(30回)	必修	3

授業概要・目的・到達目標

【授業概要】建築物の構造的安全性を確保するための構造上の基礎的知識を修得する。他の構造関係の科目を学習する上で必要な重要科目である。構造材料の力学的性質、静力学の基礎的事項を述べ、簡単な静定骨組構造の力学的解析法について解説する。静定梁、静定ラーメン、静定トラスなど簡単な構造要素について構造物の支点反力や内部に生ずる断面力を正確に求め、断面力図を描くための演習を行う。

学科の学習・教育目標との対応：[F]

授業方法と留意点

毎回演習をおこなうので、100%の出席を前提とする。欠席した場合の遅れは、自分の努力で回復すること。毎回、即日レポートがある。

科目学習の効果（資格）

構造力学や鋼構造、鉄筋コンクリート構造を学ぶ基礎となる。一級・二級建築士資格取得のための必須科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
建築構造力学の役割
【内容・方法等】 ガイダンス
建築設計と構造力学
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第2回 【授業テーマ】 静力学の基礎(1)
【内容・方法等】 ベクトル、力、合力と分力、力のモーメント
力およびモーメントの合成と分解
【事前・事後学習課題】 第1章 1-1 1-2 1-3
第2章 2-1 2-2
配布資料
- 第3回 【授業テーマ】 静力学の基礎(2)
【内容・方法等】 ベクトル、力、合力と分力、力のモーメント
力およびモーメントの合成と分解力のつり合い条件
【事前・事後学習課題】 第2章 2-3 2-4
配布資料
- 第4回 【授業テーマ】 静力学の基礎(3)
【内容・方法等】 示力図、連力図
【事前・事後学習課題】 第2章 2-3 2-4
配布資料
- 第5回 【授業テーマ】 静力学の基礎(4)
【内容・方法等】 示力図、連力図
【事前・事後学習課題】 第2章 2-3 2-4
配布資料
- 第6回 【授業テーマ】 構造物のモデル化
反力表示と反力算定
【内容・方法等】 支点条件、外力の種類、反力表示と反力算定
【事前・事後学習課題】 第3章 3-1 3-2 3-3
配布資料
- 第7回 【授業テーマ】 構造物のモデル化
反力表示と反力算定
【内容・方法等】 支点条件、外力の種類、反力表示と反力算定
構造物の安定・不安定と静定・不静定応力と符号
【事前・事後学習課題】 第3章 3-1 3-2 3-3
配布資料
- 第8回 【授業テーマ】 静定梁の反力(1)
- 【内容・方法等】 外力と反力、静定梁の反力(1) 片持ち梁
【事前・事後学習課題】 第4章 4-1 4-2
配布資料
- 第9回 【授業テーマ】 静定梁の反力(2)
【内容・方法等】 片持ち梁、単純梁
【事前・事後学習課題】 第4章 4-1 4-2
配布資料
- 第10回 【授業テーマ】 静定梁の反力(3)
【内容・方法等】 単純梁
【事前・事後学習課題】 第4章 4-1 4-2
配布資料
- 第11回 【授業テーマ】 静定ラーメンの反力(1)
【内容・方法等】 静定ラーメンの反力
【事前・事後学習課題】 第4章 4-1 4-2
配布資料
- 第12回 【授業テーマ】 静定ラーメンの反力(2)
【内容・方法等】 静定ラーメンの反力
【事前・事後学習課題】 第4章 4-1 4-2
配布資料
- 第13回 【授業テーマ】 中間試験(1)
【内容・方法等】 -----
【事前・事後学習課題】 -----
- 第14回 【授業テーマ】 静定梁の応力(1)
【内容・方法等】 片持ち梁の応力、応力図
【事前・事後学習課題】 配布資料
第5章 5-1 5-2
- 第15回 【授業テーマ】 静定梁の応力(2)
【内容・方法等】 単純梁の応力、応力図
【事前・事後学習課題】 第5章 5-1 5-2
配布資料
- 第16回 【授業テーマ】 静定梁の応力(3)
【内容・方法等】 単純梁の応力、応力図
【事前・事後学習課題】 第5章 5-2
配布資料
- 第17回 【授業テーマ】 静定梁の応力(4)
【内容・方法等】 さまざまな梁の応力
【事前・事後学習課題】 第5章 5-2
配布資料
- 第18回 【授業テーマ】 静定梁の応力(5)
【内容・方法等】 さまざまな梁の応力
【事前・事後学習課題】 第5章 5-2
配布資料
- 第19回 【授業テーマ】 静定ラーメン(1)
【内容・方法等】 静定ラーメンの応力
【事前・事後学習課題】 第5章 5-3
配布資料
- 第20回 【授業テーマ】 静定ラーメン(2)
【内容・方法等】 静定ラーメンの応力
【事前・事後学習課題】 第5章 5-3
配布資料
- 第21回 【授業テーマ】 静定ラーメン(3)
【内容・方法等】 静定ラーメンの応力
【事前・事後学習課題】 第5章 5-3 5-4
配布資料
- 第22回 【授業テーマ】 静定ラーメン(4)
【内容・方法等】 静定ラーメンの応力、3ヒンジラーメンの応力
【事前・事後学習課題】 第5章 5-3 5-4
配布資料
- 第23回 【授業テーマ】 静定ラーメン(5)
【内容・方法等】 さまざまな静定ラーメンの応力
【事前・事後学習課題】 第5章 5-3 5-4
配布資料
- 第24回 【授業テーマ】 中間試験(2)
【内容・方法等】 -----
【事前・事後学習課題】 -----
- 第25回 【授業テーマ】 静定トラス(1)
【内容・方法等】 トラスとは。
トラスの種類、平行トラスと梁との対応
【事前・事後学習課題】 第6章 6-1 6-2
配布資料
- 第26回 【授業テーマ】 静定トラス(2)
【内容・方法等】 解法の仮定、トラスの解法(節点法-数式解法)、トラスの解法(図式解法)
【事前・事後学習課題】 第6章 6-1 6-2 6-3
配布資料
- 第27回 【授業テーマ】 静定トラス(3)
【内容・方法等】 トラスの解法(切断法)
【事前・事後学習課題】 第6章 6-1 6-2 6-3
配布資料
- 第28回 【授業テーマ】 静定トラス(4)
【内容・方法等】 トラスの解法(切断法)

第29回 【事前・事後学習課題】 配布資料
【授業テーマ】 総括(1)
【内容・方法等】 復習とこれからの発展
【事前・事後学習課題】 配布資料

第30回 【授業テーマ】 総括(2)
評価方法 (基準)
 平常点 (授業態度、即日レポート、課題レポート)・・・ 30%
 中間試験① ・・・ 20%
 中間試験② ・・・ 20%
 期末試験 ・・・ 30%

教材等
教科書…「図説 構造力学入門」豊田正敏、島村和夫共著 東洋書店 (2233円+税)
参考書…配布資料

学生へのメッセージ
 建築の構造安全性を考える上で、重要な基礎科目である。今後の構造力学Ⅱ、鋼構造、鉄筋コンクリート構造等の学習の基礎となる科目である。毎回、演習をおこなう。演習問題は必ず自分で解答し、内容の理解と習熟に努めること。1級建築士試験(構造)に出題される内容も含む。

関連科目
 構造力学Ⅰb、構造力学Ⅱ、構造力学Ⅲ、その他建築構造関係の全科目

担当者の研究室等
 8号館3階 原 教授室

備考
 加藤先生・・・火曜5限担当
 高田先生・・・木曜2限担当

構造力学Ⅰb Structural Mechanics I				
		池内 淳子(イケウチ ジュンコ) 藤井 章 男(フジイ アキオ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期(30回)	必修	3

授業概要・目的・到達目標
【授業概要・目的】 建築物の構造的安全性を確保するための構造上の基礎的知識を修得する。全ての構造系教科を学習する上で必要となる重要科目である。骨組部材の断面力から応力を算定する方法を解説する。また、棒材の伸縮変形、静定梁の曲げ変形の解析手法を解説し、そのための演習を行う。簡単な不静定梁の解析法についても学ぶ。
【到達目標】 1) 骨組部材の断面力から応力を求める。2) 棒材、静定梁の弾性変形の算定手法を理解する。3) 不静定梁の解析法を理解する。
 学科の学習・教育目標との対応：[F]

授業方法と留意点
 講義形式による解説と演習を繰り返しながら進める。よって遅刻・欠席などないようにすること。欠席した場合のプリントの再配布は行わない。また、欠席した場合の授業内容については、自己責任において回復すること。各自構造力学Ⅰb専用のノートを準備し、講義内で説明した演習問題や配布した問題はすべてそのノートに解くこと。ノートを用いての繰り返しの演習が、構造力学修得にとって最も効果的である。

科目学習の効果 (資格)
 一級建築士・二級建築士資格取得のために必須である。また、本講義で作成した専用ノートは卒業後の一級建築士・二級建築士受験時に役立つであろう。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 ガイダンス・断面力算定(1)
【内容・方法等】 授業の目的と概要、評価基準と注意事項、専門関連科目との関係、断面力算定手法の確認・復習(1)
【事前・事後学習課題】 (事前) 構造力学Ⅰaで学んだ断面力算定の復習
 (事後) 本日解いた問題を再解答する

第2回 【授業テーマ】 断面力算定(2)
【内容・方法等】 断面力算定手法の確認・復習(2)
【事前・事後学習課題】 (事前) 構造力学Ⅰaで学んだ断面力算定の復習
 (事後) 本日解いた問題を再解答する

第3回 【授業テーマ】 断面力算定(3)
【内容・方法等】 断面力算定手法の確認・復習(3)
【事前・事後学習課題】 (事前) 構造力学Ⅰaで学んだ断面力算定の復習
 (事後) 本日解いた問題を再解答する

第4回 【授業テーマ】 断面力算定(4)
【内容・方法等】 断面力算定手法の確認・復習(4)
【事前・事後学習課題】 (事前) 構造力学Ⅰaで学んだ断面力算定の復習
 (事後) 本日解いた問題を再解答する

第5回 【授業テーマ】 応力の定義、応力ブロック
【内容・方法等】 断面力と断面力に作用する応力について理解する。
 応力ブロックについて理解する。
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 6.1の該当箇所を読む
 (事後) 本日解いた問題を再解答する

第6回 【授業テーマ】 軸方向力のみを受ける梁要素
【内容・方法等】 軸方向力のみをうける梁要素の応力度算定手法について理解する。
 講義内確認テスト/レポート(1回目)を実施する。
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 6.2の該当箇所を読む
 (事後) 本日解いた問題を再解答する

第7回 【授業テーマ】 断面係数(1)
【内容・方法等】 断面1次モーメント・断面2次モーメントについて理解する。
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 6.3の該当箇所を読む
 (事後) 本日解いた問題を再解答する

第8回 【授業テーマ】 断面係数(2)
【内容・方法等】 断面2次モーメント・断面係数について理解する。
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 6.3の該当箇所を読む
 (事後) 本日解いた問題を再解答する

第9回 【授業テーマ】 断面に作用する応力(1)
【内容・方法等】 軸方向力と曲げモーメントが作用する場合(1)
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 6.3の該当箇所を読む
 (事後) 本日解いた問題を再解答する

第10回 【授業テーマ】 断面に作用する応力(2)
【内容・方法等】 軸方向力と曲げモーメントが作用する場合(2)
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 6.3の該当箇所を読む
 (事後) 本日解いた問題を再解答する

第11回 【授業テーマ】 偏心圧縮柱の応力算定
【内容・方法等】 偏心圧縮柱について理解し、応力を求める。
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 6.3の該当箇所を読む
 (事後) 本日解いた問題を再解答する

第12回 【授業テーマ】 断面に作用する応力(3)
【内容・方法等】 軸方向力と2方向の曲げをうける梁要素を学び、応力を求める。
 講義内確認テスト/レポート(2回目)を実施する。
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 6.4の該当箇所を読む
 (事後) 本日解いた問題を再解答する

第13回 【授業テーマ】 断面に作用する応力(4)
【内容・方法等】 軸方向力と2方向の曲げをうける梁要素を学び、応力を求める。
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 6.4の該当箇所を読む
 (事後) 本日解いた問題を再解答する

第14回 【授業テーマ】 許容応力度設計
【内容・方法等】 梁の構造設計法について学び、応力を求めたのち、断面算定を行う。
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 6.9の該当箇所を読む
 (事後) 本日解いた問題を再解答する

第15回 【授業テーマ】 中間テスト
【内容・方法等】 -----
【事前・事後学習課題】 (事前) これまでの学習内容について総復習する
 (事後) -----

第16回 【授業テーマ】 座標の平行移動(1)
【内容・方法等】 座標変換について学び、梁要素の応力を求める
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 6.5の該当箇所を読む
 (事後) 本日解いた問題を再解答する

第17回 【授業テーマ】 座標の平行移動(2)
【内容・方法等】 座標変換について学び、梁要素の応力を求める
【事前・事後学習課題】 (事前) 教科書 6.5の該当箇所を読む
 (事後) 本日解いた問題を再解答する

- 第18回 【授業テーマ】 曲げを伴うせん断応力(1)
 【内容・方法 等】 曲げをともなうせん断応力を求める。
 講義内確認テスト/レポート(3回目)を実施する。
 【事前・事後学習課題】 (事前)教科書 6.6の該当箇所を読む
 (事後)本日解いた問題を再解答する
- 第19回 【授業テーマ】 曲げを伴うせん断応力(2)
 【内容・方法 等】 曲げをともなうせん断応力を求める。
 【事前・事後学習課題】 (事前)教科書 6.6の該当箇所を読む
 (事後)本日解いた問題を再解答する
- 第20回 【授業テーマ】 モールの応力円と主応力(1)
 【内容・方法 等】 主応力について学び、モールの応力円について学ぶ
 【事前・事後学習課題】 (事前)教科書 6.8の該当箇所を読む
 (事後)本日解いた問題を再解答する
- 第21回 【授業テーマ】 モールの応力円と主応力(2)
 【内容・方法 等】 主応力を算定する。
 【事前・事後学習課題】 (事前)教科書 6.8の該当箇所を読む
 (事後)本日解いた問題を再解答する
- 第22回 【授業テーマ】 部材の弾性変形
 【内容・方法 等】 部材の弾性変形について学び、軸力のみの場合の変形量を算定する。
 【事前・事後学習課題】 (事前)教科書 7.1の該当箇所を読む
 (事後)本日解いた問題を再解答する
- 第23回 【授業テーマ】 弾性部材の曲げ変形とたわみ曲線(1)
 【内容・方法 等】 曲げモーメントと曲率の関係・曲率とたわみ曲線の関係
 【事前・事後学習課題】 (事前)教科書 7.2の該当箇所を読む
 (事後)本日解いた問題を再解答する
- 第24回 【授業テーマ】 弾性部材の曲げ変形とたわみ曲線(2)
 【内容・方法 等】 たわみ曲線を求める。
 講義内確認テスト/レポート(4回目)を実施する。
 【事前・事後学習課題】 (事前)教科書 7.2の該当箇所を読む
 (事後)本日解いた問題を再解答する
- 第25回 【授業テーマ】 モーメント面積定理とモールの定理(1)
 【内容・方法 等】 モールの定理を理解する。
 【事前・事後学習課題】 (事前)教科書 7.3の該当箇所を読む
 (事後)本日解いた問題を再解答する
- 第26回 【授業テーマ】 モーメント面積定理とモールの定理(2)
 【内容・方法 等】 モールの定理を用いて、たわみとたわみ角を求める。
 【事前・事後学習課題】 (事前)教科書 7.3の該当箇所を読む
 (事後)本日解いた問題を再解答する
- 第27回 【授業テーマ】 簡単な不静定梁の解法(1)
 【内容・方法 等】 支点を未知数とする解法について学び、応力図を描く。
 【事前・事後学習課題】 (事前)教科書 8.1の該当箇所を読む
 (事後)本日解いた問題を再解答する
- 第28回 【授業テーマ】 簡単な不静定梁の解法(2)
 【内容・方法 等】 断面力を未知数とする解法について学び、応力図を描く。
 【事前・事後学習課題】 (事前)教科書 8.1の該当箇所を読む
 (事後)本日解いた問題を再解答する
- 第29回 【授業テーマ】 簡単な不静定梁の解法(3)
 【内容・方法 等】 不静定梁の断面力を求める演習
 講義内確認テスト/レポート(5回目)を実施する。
 【事前・事後学習課題】 (事前)27回・28回の内容を再度確認する。
 (事後)本日解いた問題を再解答する
- 第30回 【授業テーマ】 総括
 評価方法(基準)
 講義内に実施する確認テスト(もしくは確認レポート)(30%)と中間試験(1回)および期末試験の成績(70%)を総合し合格を判定する。確認テスト(もしくは確認レポート)は全6回程度であり、テスト形式とするかレポート形式とするかについては講義内で通知する。
- 教材等
 教科書…「図説 構造力学入門」豊田正敏/島村和夫著(2233円)
 参考書…「建築構造力学I図説・演習I」中村恒善編著丸善(3500円)
- 学生へのメッセージ
 建築の構造安全性を考える上で、重要な基礎科目である。この科目を履修するためには、構造力学Iaで履修した知識を必要とする。

する。構造力学Iaの演習問題を必ず自分で解答しなおすなどを行い、構造力学Ibの理解と習熟に努めること。

関連科目
 構造力学Ia、構造力学II他 建築構造関係の全科目

担当者の研究室等
 8号館3階 池内准教授室

構造力学II Structural Mechanics II				
		上 谷 宏 二 (ウエタニ コウジ)		
		林 和 宏 (ハヤシ カズヒロ)		
		鈴木 裕 介 (スズキ ユウスケ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
 建築骨組は一般に不静定構造として設計される。構造力学Iで学んだ静定構造物は力の釣合式だけを用いて応力(断面力)を算出できた。しかし不静定構造物の応力や変形を計算するには、力の釣合式に加えて変位とひずみに関する適合条件式を用いなければならない。この講義では不静定構造物の代表的な解法である、たわみ角法、変位法(剛性法)、モーメント分配法、応力法について学ぶ。
 [到達目標]としては、(1)解法の原理の理解、(2)簡単な骨組について、方程式を立て、応力を計算できる能力の習得。
 学科の学習・教育目標との対応:[H]

授業方法と留意点
 指定教科書「構造力学図説・演習」と配布資料を用い、講義+演習の形式で授業を進める。適宜演習を課す授業なので100%の出席を前提とする。やむを得ず欠席する場合は文書で届け出る。また、欠席した授業内容は自己責任で補充すること。

科目学習の効果(資格)
 一級・二級建築士資格取得のための必須科目である。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 骨組力学の概説
 【内容・方法 等】 この授業の位置付け、進め方の方針、力学理論の構成
 【事前・事後学習課題】 第1章
- 第2回 【授業テーマ】 たわみ角法(1)
 【内容・方法 等】 基本仮定、たわみ角法公式、講義+演習
 【事前・事後学習課題】 第2章 2.1-2.2
- 第3回 【授業テーマ】 たわみ角法(2)
 【内容・方法 等】 変位の適合条件式、節点方程式、講義+演習
 【事前・事後学習課題】 第2章 2.3-2.4
- 第4回 【授業テーマ】 たわみ角法(3)
 【内容・方法 等】 鉛直荷重を受ける長方形ラーメン、講義+演習
 【事前・事後学習課題】 第2章 2.3-2.4
- 第5回 【授業テーマ】 たわみ角法(4)
 【内容・方法 等】 層方程式、多層骨組、講義+演習
 【事前・事後学習課題】 第2章 2.3-2.4
- 第6回 【授業テーマ】 たわみ角法(5)
 【内容・方法 等】 たわみ角法の総合復習、講義+演習
 【事前・事後学習課題】 第2章 全般
- 第7回 【授業テーマ】 中間試験(1)
 【内容・方法 等】 (範囲)たわみ角法
 【事前・事後学習課題】 中間試験準備:たわみ角法の力学原理を良く理解し、演習問題を十分に復習しておくこと
- 第8回 【授業テーマ】 モーメント分配法
 【内容・方法 等】 基本仮定、解法の原理、単純な問題の求解。
 講義+演習
 【事前・事後学習課題】 第3章
- 第9回 【授業テーマ】 変位法<剛性法>(1)
 【内容・方法 等】 トラス部材を直列に繋いだ直線棒モデルを用いて基本仮定、解法の原理を説明。単純な問題の求解手続きを演習する。講義+演習
 【事前・事後学習課題】 第5章 5.1
- 第10回 【授業テーマ】 変位法<剛性法>(2)
 【内容・方法 等】 トラス部材の部材剛性方程式、全体座標系と部材座標系、部材剛性方程式の座標変換、重ね合わせ手続き、講義+演習
 【事前・事後学習課題】 第5章 5.2
- 第11回 【授業テーマ】 変位法<剛性法>(3)
 【内容・方法 等】 曲げ・せん断と軸力を受ける部材の剛性方程式、講義+演習
 【事前・事後学習課題】 第5章 5.3
- 第12回 【授業テーマ】 変位法<剛性法>(4)
 【内容・方法 等】 曲げを受ける部材の剛性行列の座標変換、

中間荷重、骨組解析、講義+演習

第13回 【事前・事後学習課題】 第5章 5.4-5.5
【授業テーマ】 中間試験(2)
【内容・方法等】 (範囲)変位法<剛性法>
【事前・事後学習課題】 中間試験準備:変位法<剛性法>の力学原理を良く理解し、演習問題を十分に復習しておくこと

第14回 【授業テーマ】 応力法(1)
【内容・方法等】 単純モデルによる応力法の考え方の説明、変位法と応力法の対比、適合条件、講義+演習
【事前・事後学習課題】 第8章 8.1

第15回 【授業テーマ】 応力法(2)
【内容・方法等】 一般骨組の応力法、静定基本系、不静定次数と不静定力、適合条件、単位仮想荷重法による変位計算、講義+演習
【事前・事後学習課題】 第8章 8.2, 第6章 6.4

評価方法(基準)
2回の中間試験成績(60%)および期末試験成績(40%)の総計で評価する。

教材等
教科書…建築構造力学 図説・演習Ⅱ
編著:中村恒善
出版:丸善株式会社
参考書…特になし

学生へのメッセージ
必ずしも簡単な内容ではありませんが、授業に毎回出席し、講義にしっかりと耳を傾け、演習課題を納得がいくまで繰り返し反芻すれば、将来役立つ知識や能力を必ず身に付けることができます。

関連科目
常に構造力学Ⅰを復習しながら進むこと。構造力学Ⅱの演習では、解析解を得たら必ず構造力学Ⅰで学んだ方法により断面力図と変形の略図を描くこと。

担当者の研究室等
8号館3階 上谷教授室

建築材料 Building Materials I				
柳 沢 学(ヤナギサワ マナブ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
[授業概要・目的]建築材料には、柱、はり、耐力壁、基礎など建物の骨組を構成する構造材料がある。これらの材料を使用して建築物を設計する時、あらかじめ材料の長所、短所あるいは材質など基礎的知識と応用を熟知し適材を適所に用いる方法を間違えないことが大切である。 [到達目標] 1)建築材料で用いる用語の理解 2)フレッシュコンクリートの性能の理解 3)硬化コンクリートの性能の理解 4)鋼材の性能の理解
学科の学習・教育目標との対応:[H]

授業方法と留意点
教科書を中心とした講義とするが、関連する重要な、あるいは最新の情報をプリントにまとめて講義する場合もある。

科目学習の効果(資格)
一級建築士および二級建築士学科試験の「材料・施工」部門に関係する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 授業内容これから学ぶ建築材料 建築材料の基本的性質
【内容・方法等】 スケジュール、注意事項、評価方法 建築材料学の概説 建築材料学を学ぶ目的 建築材料の分類、性能、性質
物理的性質 力学的性質 機械的性質
【事前・事後学習課題】 シラバス熟読

第2回 【授業テーマ】 コンクリート1 概説 セメント
【内容・方法等】 コンクリートの種類 コンクリートの性質 セメントの分類 諸性質
【事前・事後学習課題】 教科書p57~p70

第3回 【授業テーマ】 コンクリート2 骨材
【内容・方法等】 種類 品質 アルカリ骨材反応 粒度分布 実積率 含水状態と比重
【事前・事後学習課題】 教科書p70~p77

第4回 【授業テーマ】 コンクリート3 フレッシュコンクリートの性質
【内容・方法等】 ワーカビリティ 分離 プリージング レイタンス
【事前・事後学習課題】 教科書p92~p95

第5回 【授業テーマ】 コンクリート4 硬化コンクリートの性質 おさらい演習1

【内容・方法等】 強度に影響する因子 水セメント比 空隙 混練時間 骨材 セメント 養生方法
【事前・事後学習課題】 教科書p96~p100
1回~4回のプリント

第6回 【授業テーマ】 コンクリート5 コンクリート強度
【内容・方法等】 強度試験方法と各種強度 力学的性質
【事前・事後学習課題】 教科書p101~p104

第7回 【授業テーマ】 コンクリート6 強度以外の諸性質
【内容・方法等】 重量 体積変化 火・熱に対する性質 水密生 耐久性
【事前・事後学習課題】 教科書p104~p108

第8回 【授業テーマ】 コンクリート7 軽量コンクリート 混和材料
【内容・方法等】 軽量コンクリートの種類、強度、耐久性 A E剤 減水剤 A E減水剤 混和材
【事前・事後学習課題】 教科書p77~p80

第9回 【授業テーマ】 コンクリート8 コンクリートの調合
【内容・方法等】 調合強度 スランプ値 水セメント比 単位水量 単位セメント量 細骨材率 空気量 混和材料 計画調合の表し方
【事前・事後学習課題】 教科書p82~p91

第10回 【授業テーマ】 コンクリート9 コンクリート製品
【内容・方法等】 コンクリートブロック プレファブコンクリート プレキャストコンクリート プレストレストコンクリート その他の製品
【事前・事後学習課題】 教科書p146~p148
教科書p203
教科書にない情報を提供

第11回 【授業テーマ】 金属1 鉄、鋼類 おさらい演習2
【内容・方法等】 銑鉄と鋼 製造 製鋼 鋼材の性質
【事前・事後学習課題】 教科書p113~p120
5回~10回のプリント

第12回 【授業テーマ】 金属2 鉄・鋼
【内容・方法等】 鋼材の品質 普通鋼 高張力鋼 調質鋼 ステンレス鋼 鋳鉄と鋳鋼
【事前・事後学習課題】 教科書p120~p121

第13回 【授業テーマ】 金属3 非鉄金属
【内容・方法等】 銅とその合金 アルミニウムとその合金 金属の腐食と防食
【事前・事後学習課題】 教科書p127~p130
教科書p121~p122

第14回 【授業テーマ】 金属4 金属製品
【内容・方法等】 圧延鋼材、準構造用鋼材 種類と製品
【事前・事後学習課題】 教科書p122~p127

第15回 【授業テーマ】 おさらい演習3 全体 まとめ
【内容・方法等】 全体的なまとめ
【事前・事後学習課題】 11回~14回プリント

評価方法(基準)
平常点(10%)と、演習・小テスト・レポートなど(30%) 定期試験(60%)の割合で評価する。60%以上を合格とする。平常点では授業への積極的な参加態度を評価する。

教材等
教科書…「建築材料第7版」、菊池雅史・小山明男著、オーム社、(3200円)
参考書…「建築材料用教材」、日本建築学会、(1900円)

学生へのメッセージ
多くの建築材料の特性を知り、その使用用途や使用適正個所への判断を誤らないような知識の習得が重要である。主に構造材料に時間を割いている。はば広く知識を得ることを希望する。授業中は私語を慎み、集中して授業内容の理解に努めて下さい。

関連科目
鉄筋コンクリート構造Ⅰ、Ⅱ
鋼構造Ⅰ、Ⅱ

担当者の研究室等
8号館3階 柳沢教授室

建築施工 Construction Method of Buildings I				
大 島 征二郎(オオシマ セイジロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
学生が卒業後大学で学んだことが、実社会では、役立たなかったと思わせない「実学」をモットーとした講義をおこなう。講義内容は今実際に建設現場で実施されている最も新しい施工管理手法を講義して、将来社会に貢献できる優秀な建築エンジニアの育成を目的とする。
学科の学習・教育目標との対応:[H]

授業方法と留意点

教科書と配布資料を中心に授業を進め、講義内容に関連した「ビデオ」「実物」を示して講義する。

科目学習の効果（資格）

「一級建築士」及び「一級建築施工管理技士」資格取得の為の学力を身につけることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** ・ガイダンス
【内容・方法 等】 ・授業内容、授業の進め方、評価基準等に関して説明する。
【事前・事後学習課題】 _____
 - 第2回 **【授業テーマ】** ・建設業の現状と今後の展望
【内容・方法 等】 ・建設業及び施工技術の変遷を説明する。
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と出題した課題に関するレポート提出。
 - 第3回 **【授業テーマ】** ・請負契約と見積
【内容・方法 等】 ・請負契約内容と見積作成方法に関して説明する。
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と見積作成に関する宿題の回答書提出。
 - 第4回 **【授業テーマ】** ・工事計画・工程管理 1
【内容・方法 等】 ・工事計画及び工程管理手法について説明する。
【事前・事後学習課題】 工程表作成に関する宿題の回答書提出。
 - 第5回 **【授業テーマ】** ・工事計画・工程管理 2
【内容・方法 等】 ・工事計画及び工程管理手法について説明する。
【事前・事後学習課題】 仮設計画図面の提出
 - 第6回 **【授業テーマ】** ・仮設工事
【内容・方法 等】 ・仮設工事計画の基本説明。仮設建物工作物・工事用施設の基本計画方法を説明する。
【事前・事後学習課題】 仮設計画図面を修正して再提出する。
 - 第7回 **【授業テーマ】** ・地盤調査・土工事
【内容・方法 等】 ・地盤調査の必要性和土工事に関する工法説明をする。
【事前・事後学習課題】 地盤調査と土工事に関する練習問題の回答書提出。
 - 第8回 **【授業テーマ】** ・山留工事・基礎工事
【内容・方法 等】 ・山留工事・基礎工事の工法説明をする。
【事前・事後学習課題】 山留工事に関する練習問題の回答書提出。
 - 第9回 **【授業テーマ】** ・鉄筋工事 1
【内容・方法 等】 ・鉄筋工事の施工管理説明をする。
【事前・事後学習課題】 山留工事に関する強度計算書の提出
 - 第10回 **【授業テーマ】** ・鉄筋工事 2
【内容・方法 等】 ・鉄筋工事の施工管理説明をする。
【事前・事後学習課題】 鉄筋工事に関する練習問題の回答書提出。
 - 第11回 **【授業テーマ】** ・型枠工事
【内容・方法 等】 ・型枠工事管理ポイントの説明。型枠・支保工の強度計算方法の解説。
【事前・事後学習課題】 型枠工事に関する練習問題の回答書提出。
 - 第12回 **【授業テーマ】** ・コンクリート工事 1
【内容・方法 等】 ・コンクリート打設方法の解説と管理ポイントの解説。
【事前・事後学習課題】 コンクリート工事に関するレポート提出。
 - 第13回 **【授業テーマ】** ・コンクリート工事 2
【内容・方法 等】 ・コンクリートの品質管理手法の解説。
【事前・事後学習課題】 前回のレポートを訂正して再提出すること。
 - 第14回 **【授業テーマ】** ALC板・Pca板工事
【内容・方法 等】 ・ALC工事の管理方法説明。Pca板の組み立て説明。
【事前・事後学習課題】 ALC板・Pca板の関する練習問題の回答書提出
 - 第15回 **【授業テーマ】** ・講義の総括
【内容・方法 等】 ・授業全体のまとめ ・建築施工管理方法についてのディスカッションを行う。
【事前・事後学習課題】 _____
- 評価方法（基準）**
中間試験と期末試験の成績を評価対象とする。（中間試験50%、期末試験50%を目安とする。）
- 教材等**
教科書…「建築施工テキスト」兼歳 昌直 著 (株)井上書院 (定価 3,465円)
参考書…なし
- 学生へのメッセージ**

「建築施工管理技術力」の優劣が直接建物品質の良否にかかわってくる重要な学問であることを理解し、建物をつくっていく喜びを感じられるようになってほしい。

関連科目

建築施工Ⅱ・Ⅲ 建築材料Ⅰ・Ⅱ その他構造関連科目

担当者の研究室等

7号館2階 非常勤講師室

鉄筋コンクリート構造I

Reinforced Concrete Structures I

柳 沢 学 (ヤナギサワ マナブ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

【授業概要・目的】 鉄筋コンクリート構造は、コンクリートの圧縮強さと、コンクリートが引張り力に弱い欠点のところに、引張り力に強い鉄筋を挿入し、そして、鉄筋が防火性、防錆性に弱い欠点をコンクリートが防ぐという、互いの短所を補い長所を活かした複合構造である。このように全くの異質の材料を一体として設計するところに巧妙な設計法が用いられている。[到達目標]以下の項目の理解。 1)鉄筋コンクリート構造の基礎知識 2)構造形式の理解 3)許容応力度設計法の基礎知識 4)構造物材料と許容応力度の基礎知識 5)梁の曲げ設計の基礎知識 6)柱の曲げ設計の基礎知識 7)梁および柱の実用設計
学科の学習・教育目標との対応：[H]

授業方法と留意点

教科書を中心とした授業です。教科書に出てくる例題や演習をほぼ毎回行います（除中間テスト）。また、授業を受けるにあたり事前の学習が望まれます。授業では講義メモ（ノート）をとってもらい（返却する）、これを重視して受講態度や平常点を考慮します。

科目学習の効果（資格）

一級建築士および二級建築士学科試験の「構造」部門に関係する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** 授業内容 受講注意事項 評価方法
鉄筋コンクリート構造概要
【内容・方法 等】 履修の心構え
鉄筋コンクリートの意義 鉄筋コンクリートの歴史 鉄筋コンクリート構造の利点と欠点
【事前・事後学習課題】 シラバスを熟読してくること
教科書 p.8～
- 第2回 **【授業テーマ】** 鉄筋によるコンクリートの補強
鉄筋とコンクリートの協働作用
【内容・方法 等】 鉄筋とコンクリートの付着力など
【事前・事後学習課題】 教科書 p.8～12
- 第3回 **【授業テーマ】** 鉄筋に対するかぶり厚さ
【内容・方法 等】 かぶり厚さ、鉄筋間隔・あき
【事前・事後学習課題】 教科書 p.12～14
- 第4回 **【授業テーマ】** 材料の力学的特性
【内容・方法 等】 部材の受ける力と抵抗
コンクリート、鉄筋の材料特性、定数
【事前・事後学習課題】 教科書 p.16～24
- 第5回 **【授業テーマ】** 曲げと軸力に対する抵抗
【内容・方法 等】 曲げびび割れモーメント
曲げ終局耐力
【事前・事後学習課題】 教科書 p.24～29
- 第6回 **【授業テーマ】** 設計法と荷重・外力
【内容・方法 等】 許容応力度設計法、地震力
【事前・事後学習課題】 教科書 p.60～78
- 第7回 **【授業テーマ】** 許容応力度設計法に基づく部材の設計
材料の選定と許容応力度
【内容・方法 等】 コンクリートと鉄筋の選定、許容応力度
【事前・事後学習課題】 教科書 p.80～86
- 第8回 **【授業テーマ】** 中間試験
【内容・方法 等】 第1回から第7回までの内容の確認
【事前・事後学習課題】 試験内容を再度復習すること
- 第9回 **【授業テーマ】** 曲げモーメントに対する設計（1）
【内容・方法 等】 基本仮定、軸力のつり合い式、ヤング係数比、許容軸力の算定
【事前・事後学習課題】 教科書 p.86～89
- 第10回 **【授業テーマ】** 曲げモーメントに対する設計（2）
【内容・方法 等】 長方形断面梁の許容曲げモーメント
【事前・事後学習課題】 教科書 p.89～94
- 第11回 **【授業テーマ】** 梁の設計（1）
【内容・方法 等】 梁の実用設計 構造規定 設計法（設計手順） 断面算定
【事前・事後学習課題】 教科書 p.94～97
- 第12回 **【授業テーマ】** 梁の設計（2）
【内容・方法 等】 梁の実用設計、演習

- 第13回 【事前・事後学習課題】 教科書 p.97～101
【授業テーマ】 柱の設計(1)
【内容・方法等】 断面内の力のつり合い 中立軸位置(断面内、断面外) 断面算定 存在応力と許容応力度
- 第14回 【事前・事後学習課題】 教科書 p.109～113
【授業テーマ】 柱の設計(2)
【内容・方法等】 柱の実用設計 構造規定 設計法(設計手順) 演習
- 第15回 【事前・事後学習課題】 教科書 p.113～117
【授業テーマ】 施工を含む全体のまとめ
【内容・方法等】 鉄筋工事 型枠工事 コンクリート工事 全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 今までの総復習をしておくこと

評価方法(基準)

平常点(10%)、演習、レポート等(30%)、中間および期末試験(60%)で評価し60%以上を合格とする。平常点では事前学習や講義メモの見直し、授業への積極的な参加態度を評価する。

教材等

教科書…「鉄筋コンクリート構造の基本と部材の設計」、永坂具也・柳沢学、彰国社(2700円)

参考書…「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」、日本建築学会、(5600円)

学生へのメッセージ

現在、身の回りにある多くの建物が鉄筋コンクリート構造で建設されており、その構造を知ることは建築の意匠・計画にも重要である。構造系希望者はもとより、計画系を希望する学生も本授業を履修することを薦める。
授業中は私語を慎み、授業に集中すること。

関連科目

鉄筋コンクリート構造Ⅱ
建築ゼミⅢ、卒業研究(構造系)、建築施工Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

担当者の研究室等

8号館3階 柳沢教授室

建築材料Ⅱ Building Materials II				
池内 淳子(イケウチ ジュンコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

■授業概要・目的 建築材料には、柱、はり、基礎など建物の骨組を構成する構造材料から、屋根、壁、天井、床など用途に応じた仕上げ材料がある。これら建物部位ごとの要求性能を学び、各々で使用する材料の長所・短所を理解する。

■到達目標 (1) 建築材料で用いる用語の理解 (2) 木構造と木材の長所・短所の理解 (3) 標準的な仕上げ材料の理解と選択

■学科の学習・教育目標との対応：[H]

授業方法と留意点

教科書を中心とした講義とするが、関連する重要な事柄については補足資料を配付し講義する。

科目学習の効果(資格)

一級・二級建築士資格取得のために必須である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 授業の目的と概要、評価基準と注意事項、仕上げ材料とは？
【事前・事後学習課題】 教科書 第1編 第3章
- 第2回 【授業テーマ】 木構造の特徴
【内容・方法等】 木構造の概要と解説、事例紹介
【事前・事後学習課題】 教科書 第2編 第1章
- 第3回 【授業テーマ】 木構造
【内容・方法等】 各部分の名称、構法
【事前・事後学習課題】 教科書 第2編 第1章
- 第4回 【授業テーマ】 木材
【内容・方法等】 分類と主な木材、組織・成分、強度
【事前・事後学習課題】 教科書 第2編 第1章
- 第5回 【授業テーマ】 木構造に関するまとめ
【内容・方法等】 木構造に関するレポート作成
【事前・事後学習課題】 教科書 第2編 第1章
- 第6回 【授業テーマ】 建築物に使用される様々な材料
【内容・方法等】 建築物の使用材料の事例解説
【事前・事後学習課題】 教科書 第3編 第1章
- 第7回 【授業テーマ】 屋根材料
【内容・方法等】 屋根の機能と要求性能、屋根ふき材、屋根勾配、防水材
【事前・事後学習課題】 教科書 第3編 第2章
- 第8回 【授業テーマ】 外壁材料

- 【内容・方法等】 外壁の機能と要求性能、タイル、石、カーテンウォール、塗材
- 第9回 【事前・事後学習課題】 教科書 第3編 第3章
【授業テーマ】 部位別建築材料に関するまとめ(1)
【内容・方法等】 屋根材料および外壁材料に関するレポート作成

- 【事前・事後学習課題】 教科書 第3編 第2、3章
- 第10回 【授業テーマ】 床材料
【内容・方法等】 床の機能と要求性能、石、タイル、木質系床材、畳、カーペット、塗床材
【事前・事後学習課題】 教科書 第3編 第4章

- 第11回 【授業テーマ】 内壁・天井材料
【内容・方法等】 内壁・天井の機能と要求性能、セメント系内壁材、木質系内装材
【事前・事後学習課題】 教科書 第3編 第5章

- 第12回 【授業テーマ】 開口部・接合材料、プラスチック系材料
【内容・方法等】 開口部他の機能と要求性能、ガラス、枠材・面材、シーリング材
【事前・事後学習課題】 教科書 第3編 第6章

- 第13回 【授業テーマ】 部位別建築材料に関するまとめ(2)
【内容・方法等】 床、内壁、天井材料、開口部他に関するレポート作成
【事前・事後学習課題】 教科書 第3編 第4、5、6章

- 第14回 【授業テーマ】 将来の屋根材料・外壁材料
【内容・方法等】 今後ニーズが増加すると予想される屋根材料や外壁材料についてグループ作業により考える
【事前・事後学習課題】 事前学習(教科書 第3編第1、2、3章 事後学習(他人の意見を振り返り自分の考えをまとめる))

- 第15回 【授業テーマ】 環境共生型建設資材・総括
【内容・方法等】 これからの建築材料に求められる環境共生性、授業内容に関する質疑応答および補足
【事前・事後学習課題】 教科書 第1編 第4編

評価方法(基準)

演習・小テスト・レポートなど(15%)と定期試験(85%)により総合的に判断する。

教材等

教科書…「建築材料第7版」菊池雅史・小山明男著 オーム社(3200円)

参考書…「建築材料用教材」日本建築学会(1900円)

学生へのメッセージ

建築物には多くの建築材料が使用されている。これらの特性を知り、その使用用途を学ぶことは、建物に対する理解を深める上で重要である。主に、木造と仕上げ材料に関して学ぶが、建築材料Ⅰの学習内容をよく理解していることが望ましい。

関連科目

設計演習関連科目、建築材料Ⅰ、鉄筋コンクリート構造Ⅰ、鉄筋コンクリート構造Ⅱ、鋼構造Ⅰ、鋼構造Ⅱ

担当者の研究室等

8号館3階 池内准教授室

建築施工Ⅱ Construction Method of Buildings II				
大島 征二郎(オオシマ セイジロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

学生諸氏が社会に巣立ち、「建築施工現場」に立たされた時に「正しい判断で施工管理」ができる。そのような技術者の育成を目的とした講義内容とする。
学科の学習・教育目標との対応：[H]

授業方法と留意点

教科書と配布するサブ資料を中心とした授業を行い、講義内容に関連した「ビデオ」や「実物」を用いて講義する。又建築施工現場の見学会を実施して「施工管理」の重要度を理解する。

科目学習の効果(資格)

将来建築エンジニアとしての基礎知識が養われる。資格取得の為の知識が養われる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ・ガイダンス
【内容・方法等】 ・授業の目的と概要説明。評価基準の説明。
【事前・事後学習課題】 鉄骨工事に関する予習とガイダンスに対するレポート提出。
- 第2回 【授業テーマ】 ・鉄骨工事Ⅰ
【内容・方法等】 ・工場で製作中の鉄骨品質検査方法の解説。
【事前・事後学習課題】 鉄骨工事に関する予習と練習問題の回答書提出。
- 第3回 【授業テーマ】 ・鉄骨工事Ⅱ
【内容・方法等】 ・鉄骨建方計画の作成方法を説明する。建方品質の管理方法説明。

- 【事前・事後学習課題】** 木工事に関する予習と練習問題の回答書提出。
- 第4回** **【授業テーマ】** ・木工事1
【内容・方法等】 ・木構造設計規準の解説。
【事前・事後学習課題】 木造住宅の軸組図面を作成し提出すること。
- 第5回** **【授業テーマ】** ・木工事2
【内容・方法等】 ・施工管理の重点ポイントを解説する。
【事前・事後学習課題】 左官工事に関する予習と練習問題の回答書提出。
- 第6回** **【授業テーマ】** ・左官工事
【内容・方法等】 ・工法説明と施工管理ポイントを解説する。
【事前・事後学習課題】 屋根工事に関する予習と練習問題の回答書提出。
- 第7回** **【授業テーマ】** ・屋根工事
【内容・方法等】 ・材料の種類と施工時の施工管理ポイントの説明。
【事前・事後学習課題】 塗装工事に関する予習と練習問題の回答書提出。
- 第8回** **【授業テーマ】** ・塗装工事・吹き付工事
カーテンウォール工事
【内容・方法等】 ・材料の種類と施工時の施工管理ポイントの説明。
【事前・事後学習課題】 内装・建具・ガラス工事に関する予習と練習問題の回答書提出。
- 第9回** **【授業テーマ】** ・内装工事・建具工事・ガラス工事
【内容・方法等】 ・材料の種類と施工時の施工管理ポイントの説明。
【事前・事後学習課題】 ユニット工事・外構工事に関する予習と練習問題の回答書提出。
- 第10回** **【授業テーマ】** ・ユニット工事・外構工事・付帯設備工事
【内容・方法等】 ・各工事における施工時の施工管理ポイントの説明。
【事前・事後学習課題】 防水工事に関する予習と外構工事に関する図面作成し提出すること。
- 第11回** **【授業テーマ】** ・防水工事
【内容・方法等】 ・防水工事の工法説明。防水施工時の管理ポイントを解説する。
【事前・事後学習課題】 外構に関する図面を修正し再提出すること。
- 第12回** **【授業テーマ】** ・建物維持管理の要点と目的・建物改修工事の要点と目的
【内容・方法等】 ・建物維持管理のための手法について・建物リニューアル手法についての説明。
【事前・事後学習課題】 防水工事に関する図面作成し提出すること。
- 第13回** **【授業テーマ】** ・建築維持管理の要点と目的
【内容・方法等】 ・建物維持管理手法について説明する。
【事前・事後学習課題】 授業中に実施した小テストの回答内容の把握。
- 第14回** **【授業テーマ】** ・建築設計図書の内容を理解する
【内容・方法等】 ・建築設計図から鉄筋、型枠数量を積算する。
【事前・事後学習課題】 授業中に実施した小テストの回答内容の把握。
- 第15回** **【授業テーマ】** ・まとめ
【内容・方法等】 ・授業全般のまとめと建築施工管理に関するディスカッションを行う。
【事前・事後学習課題】 _____
- 評価方法(基準)**
中間試験と期末試験の成績を評価する。(中間試験50%、期末試験50%を目安とする。)
- 教材等**
教科書…「建築施工テキスト」兼歳 昌直 著 (株)井上書院 (定価3,465円)
参考書…なし
- 学生へのメッセージ**
優秀なる建築エンジニアを目指す学生はこの講義から「建築施工管理技術」を学び取って欲しい。
- 関連科目**
建築施工Ⅰ 建築施工Ⅲ 建築材料Ⅰ・Ⅱ その他構造関連科目
- 担当者の研究室等**
7号館2階 非常勤講師室

鉄筋コンクリート構造II Reinforced Concrete Structures II				
柳 沢 学(ヤナギサワ マナブ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
【授業概要・目的】 鉄筋コンクリート構造は、コンクリートの圧縮強さと、コンクリートが引張り力に弱い欠点のところに、引張り力に強い鉄筋を挿入し、そして、鉄筋が防火性、防錆性に弱い欠点をコンクリートが防ぐという、互いの短所を補い長所を活かした複合構造である。このように全くの異質の材料を一体として設計するところに巧妙な設計法が用いられている。[到達目標]以下の項目の理解。 1)鉄筋コンクリート構造せん断設計の基礎知識 2)梁のせん断設計 3)柱のせん断設計 4)鉄筋コンクリート構造基礎の設計 5)床スラブの設計 6)耐震壁の設計
 学科の学習・教育目標との対応：[H]

授業方法と留意点
 教科書を中心とした授業です。教科書に出てくる例題や演習をほぼ毎回行います(除中間テスト)。また、授業を受けるにあたり事前の学習が望まれます。授業では講義メモ(ノート)をとってもらい(返却する)、これを重視して受講態度や平常点を考慮します。

科目学習の効果(資格)
 一級建築士および二級建築士学科試験の「構造」部門に関係する。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** **【授業テーマ】** 講義概要
せん断(1)
せん断力に対する抵抗
【内容・方法等】 受講注意事項、評価方法、耐震設計の概略、耐震設計法、過去の地震被害、破壊機構、せん断抵抗因子
【事前・事後学習課題】 シラバスを熟読していただくこと
教科書p.29~37
- 第2回** **【授業テーマ】** せん断(2)
せん断力に対する抵抗
【内容・方法等】 せん断補強筋の働き
【事前・事後学習課題】 教科書p.29~37
- 第3回** **【授業テーマ】** せん断(3)
部材のせん断ひび割れ耐力とせん断耐力
【内容・方法等】 せん断ひび割れ耐力とせん断ひび割れ耐力算定式
せん断耐力とせん断耐力算定式
【事前・事後学習課題】 教科書p.37~42
- 第4回** **【授業テーマ】** せん断(4)
せん断力に対する設計
【内容・方法等】 梁のせん断設計(あばら筋の算定)
【事前・事後学習課題】 教科書p.101~108
- 第5回** **【授業テーマ】** せん断(5)
せん断力に対する設計
【内容・方法等】 柱のせん断設計(帯筋の算定)
【事前・事後学習課題】 教科書p.117~124
- 第6回** **【授業テーマ】** 中間試験
【内容・方法等】 せん断設計の意義、部材のせん断設計など
【事前・事後学習課題】 1~5回までをよく復習して中間試験に臨むこと
- 第7回** **【授業テーマ】** 床スラブ(1)
【内容・方法等】 床スラブに作用する荷重と応力、変形
【事前・事後学習課題】 教科書p.124~129
- 第8回** **【授業テーマ】** 床スラブ(2)
【内容・方法等】 スラブの設計
【事前・事後学習課題】 教科書p.129~133
- 第9回** **【授業テーマ】** 柱・梁接合部(1)
【内容・方法等】 柱と梁の接合部のせん断抵抗
【事前・事後学習課題】 教科書p.42~45
- 第10回** **【授業テーマ】** 柱・梁接合部(2)
【内容・方法等】 許容せん断力、短期設計用せん断力
【事前・事後学習課題】 教科書p.150~154
- 第11回** **【授業テーマ】** 耐震壁(1)
【内容・方法等】 耐震壁のせん断抵抗
【事前・事後学習課題】 教科書p.45~51
- 第12回** **【授業テーマ】** 耐震壁(2)
【内容・方法等】 耐震壁の設計
【事前・事後学習課題】 教科書p.154~163
- 第13回** **【授業テーマ】** 基礎(1)
【内容・方法等】 直接基礎の設計
【事前・事後学習課題】 教科書p.164~169
- 第14回** **【授業テーマ】** 基礎(2)
【内容・方法等】 杭基礎の設計
【事前・事後学習課題】 教科書p.170~175
- 第15回** **【授業テーマ】** 構造設計
まとめ
【内容・方法等】 構造物に要求されるもの

地震被害よりみた耐震対策
鉄筋の付着、定着 など

【事前・事後学習課題】 今までの総復習をしておくこと

評価方法 (基準)

平常点 (授業への積極態度: 10%)、演習、レポート等 (30%)、中間試験 (30%) および期末試験 (30%) の割合で評価し、到達目標の理解度を含め総合的に判定する。

教材等

教科書…「鉄筋コンクリート構造の基本と部材の設計」、永坂具也・柳沢学、彰国社 (2700円)

参考書…「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」、日本建築学会、(5600円)

学生へのメッセージ

現在、身の回りには多くの建物が鉄筋コンクリート構造で建設されており、その構造を知ることは建築の意匠・計画にも重要である。構造系希望者はもとより、計画系を希望する学生も本授業を履修することを薦める。

授業中は私語を慎み、授業に集中すること。

関連科目

鉄筋コンクリート構造 I 建築ゼミⅢ、卒業研究 (構造系) 建築施工 I、II、III

担当者の研究室等

8号館3階 柳沢教授室

鋼構造 I Steel Structures I				
原 克 巳 (ハラ カツミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

【授業概要・目的】鋼材は強度と変形能力に優れ、大スパン構造や高層骨組に適している。本講では、鉄骨構造物の設計理論の基礎について解説し、演習を行う。(1)鋼構造の歴史 (2)製鉄法 (3)鉄鋼製品 (4)鉄骨構造の現場 (5)許容応力度設計法の基礎知識 (6)ファスナ接合・溶接接合の基礎知識。【到達目標】鋼構造の理解と設計の基本的事項
学科の学習・教育目標との対応:「H」

授業方法と留意点

教科書、配布資料を用いて、スライド (パワーポイント) で講義する。毎回、即日レポートを出す。課題 (宿題) も適宜出題する。

科目学習の効果 (資格)

構造設計、現場技術者、一級建築士、技術士

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス 概論
【内容・方法等】 ガイダンス、概論、鋼構造の歴史
【事前・事後学習課題】 教科書 第1章 1.1 および 配布資料の整理
- 第2回 【授業テーマ】 鋼構造の特徴と鋼材の性質
【内容・方法等】 鋼構造の特徴と鋼材の性質 および 配布資料
【事前・事後学習課題】 教科書 第1章 1.1.3、1.2 および 配布資料の整理
- 第3回 【授業テーマ】 鋼構造設計の基本事項
【内容・方法等】 鋼構造設計の基本事項、構造用鋼材、
【事前・事後学習課題】 教科書 第1章 1.3、1.4、1.5 および 配布資料の整理
- 第4回 【授業テーマ】 製鉄法、鋼製品、設計に用いる材料強度、国際単位
【内容・方法等】 構造用鋼材 製鉄と鉄鋼製品 1)鋼板・棒鋼・平鋼 2)山形鋼・溝形鋼・I形鋼・H形鋼 3)円形鋼管・角形鋼管、4)ボルト
設計に用いる材料強度、国際単位
【事前・事後学習課題】 教科書 第1章 1.6、1.7、1.8、1.9 および 配布資料の整理
- 第5回 【授業テーマ】 部材設計の基本、鋼構造の実際
【内容・方法等】 鉄骨構造の製作と現場建方の実際
【事前・事後学習課題】 配布資料の整理
- 第6回 【授業テーマ】 部材設計の基本 (1)引張材
【内容・方法等】 1)引張材の設計 2)有孔板の有効断面積、演習
【事前・事後学習課題】 教科書 第2章 2.1 および 配布資料の整理
- 第7回 【授業テーマ】 部材設計の基本 (2)圧縮材
【内容・方法等】 1)座屈理論の基礎 2)許容圧縮応力度、演習
【事前・事後学習課題】 教科書 第2章 2.2 および 配布資料の整理
- 第8回 【授業テーマ】 中間試験

- 【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第9回 【授業テーマ】 部材設計の基本 (3)曲げ材
【内容・方法等】 1)曲げ応力 2)横座屈と許容曲げ応力度、
【事前・事後学習課題】 教科書 第2章 2.3 および 配布資料の整理
- 第10回 【授業テーマ】 部材設計の基本 (4)曲げ材
【内容・方法等】 1)曲げ応力 2)横座屈と許容曲げ応力度、演習
【事前・事後学習課題】 教科書 第2章 2.3 および 配布資料の整理
- 第11回 【授業テーマ】 部材設計の基本 (5)幅厚比制限
【内容・方法等】 1)板要素の局部座屈 2)幅厚比制限、演習
【事前・事後学習課題】 教科書 第2章 2.4 および 配布資料の整理
- 第12回 【授業テーマ】 接合の基本 (1)
【内容・方法等】 接合形式
【事前・事後学習課題】 教科書 第3章 3.1 および 配布資料の整理
- 第13回 【授業テーマ】 接合の基本 (2)ボルト接合
【内容・方法等】 1)高力ボルト摩擦接合 2)高力ボルト引張接合 3)普通ボルト支圧接合、
【事前・事後学習課題】 教科書 第3章 3.2 および 配布資料の整理
- 第14回 【授業テーマ】 接合の基本 (3)溶接
【内容・方法等】 1)突き合わせ溶接 2)すみ肉溶接 3)その他、演習
【事前・事後学習課題】 教科書 第3章 3.3 および 配布資料の整理
- 第15回 【授業テーマ】 総括
【内容・方法等】 授業内容の質疑・応答
重要事項の再確認
【事前・事後学習課題】 いままでの予習復習、配布資料の整理

評価方法 (基準)

平常点 (即日レポート、課題等): 50%
中間試験: 20%
期末試験: 30%

教材等

教科書…毎回配布資料がある。(ファイルしておくこと)
「鋼構造 [第2版]」嶋津孝之編 森北出版 (3150円)
参考書…「鋼構造設計規準」日本建築学会 4800円

学生へのメッセージ

鋼構造の長所、短所を理解し、長所をどう生かし、短所をどうカバーしているかを学習し、鋼構造の設計の考え方と鋼構造設計の基本事項を身につける。毎回、資料を配布するのでファイルしておくこと。

関連科目

理工学部学生として最低限の数学的素養を有すること。構造力学 I a, I b, II、鋼構造 II

担当者の研究室等

8号館3階 原教授室

鋼構造 II Steel Structures II				
原 克 巳 (ハラ カツミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

【授業概要・目的】鋼材は強度と変形能力に優れ、大スパン構造や高層骨組に適している。本講では、鉄骨構造物の構造設計の基本的事項を学ぶ。(1)鋼構造の特徴 (2)鉄骨構造の施工 (3)荷重、外力 (4)梁・柱・ブレースの設計 (5)ファスナ接合・溶接接合 (6)柱脚の設計 等である。
【到達目標】鋼構造の理解と設計の基本的事項を習得する。
学科の学習・教育目標との対応:「H」

授業方法と留意点

教科書、配布資料を用いて、スライド (パワーポイント) で講義する。
毎回、即日レポートを出す。課題 (宿題) も適宜出題する。

科目学習の効果 (資格)

構造設計、現場技術者、一級建築士、技術士

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス 概論
【内容・方法等】 ガイダンス、概論、構造設計について
【事前・事後学習課題】 教科書 第4章 4.1 および 配布資料の整理
- 第2回 【授業テーマ】 構造計画について
【内容・方法等】 鋼構造の特徴と構造計画
【事前・事後学習課題】 教科書 第4章 4.1 および 配布資料の整理

- 資料の整理
- 第3回 【授業テーマ】 各部の設計、鉄骨の現場建て方の実際
【内容・方法等】 梁、柱、柱脚、接合部、床、階段等の設計
鉄骨の現場建て方の実際
【事前・事後学習課題】 教科書 第4章 4.2.2 および 配布資料の整理
- 第4回 【授業テーマ】 構造物に加わる荷重、外力 (1)
【内容・方法等】 固定荷重、積載荷重、雪荷重
【事前・事後学習課題】 教科書 第4章 4.3 および 配布資料の整理
- 第5回 【授業テーマ】 構造物に加わる荷重、外力 (2)
【内容・方法等】 風荷重
【事前・事後学習課題】 教科書 第4章 4.3 および 配布資料の整理
- 第6回 【授業テーマ】 構造物に加わる荷重、外力 (3)
【内容・方法等】 地震荷重と耐震設計
【事前・事後学習課題】 教科書 第4章 4.3、4.4、4.5、4.6 および 配布資料の整理
- 第7回 【授業テーマ】 (1) 引張材の設計
(2) 圧縮材の設計
【内容・方法等】 1) 引張材の設計
2) 圧縮材の設計
【事前・事後学習課題】 教科書 第2章 2.1、2.2 および 配布資料の整理
- 第8回 【授業テーマ】 中間試験
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第9回 【授業テーマ】 (3) 梁の設計 (1)
【内容・方法等】 1) 曲げ応力 2) 横座屈と許容曲げ応力度、演習
【事前・事後学習課題】 教科書 第5章 5.1 および 配布資料の整理
- 第10回 【授業テーマ】 (4) 梁の設計 (2)
【内容・方法等】 演習
【事前・事後学習課題】 教科書 第5章 5.1 および 配布資料の整理
- 第11回 【授業テーマ】 (5) 柱の設計 (1)
【内容・方法等】 柱の設計 (1) 座屈
【事前・事後学習課題】 教科書 第5章 5.2 および 配布資料の整理
第7回の圧縮材と第9、10回の曲げ材を復習しておく。
- 第12回 【授業テーマ】 (6) 柱の設計 (2) 演習
【内容・方法等】 軸力と曲げを受ける柱の設計
【事前・事後学習課題】 教科書 第5章 5.2 および 配布資料の整理
第7回の圧縮材と第9、10回の曲げ材を復習しておく。
- 第13回 【授業テーマ】 (7) プレースの設計
【内容・方法等】 プレースの設計
【事前・事後学習課題】 教科書 第5章 5.3 および 配布資料の整理
- 第14回 【授業テーマ】 (8) 梁・柱の継手と仕口
【内容・方法等】 1) 高力ボルト摩擦接合 2) 高力ボルト引張接合 3) 普通ボルト支圧接合
1) 突き合わせ溶接 2) すみ肉溶接 3) その他、仕口の考え方
【事前・事後学習課題】 教科書 第6章 6.1、6.2、6.3 および 配布資料の整理
- 第15回 【授業テーマ】 (9) 柱脚の設計
総括
【内容・方法等】 柱脚の設計
総括
【事前・事後学習課題】 教科書 第6章 6.4 および 配布資料の整理

評価方法 (基準)

平常点 (即日レポート、課題等) : 50%
中間試験 : 20%
期末試験 : 30%

教材等

教科書…毎回配布資料がある。(ファイルしておくこと)
「鋼構造 [第2版]」嶋津孝之編 森北出版 (3150円)
参考書…「鋼構造設計規準」日本建築学会 4800円

学生へのメッセージ

鋼構造の長所、短所を理解し、長所をどう生かし、短所をどうカバーしているかを学習し、鋼構造の設計の考え方と実際の設計法を身につける。毎回、資料を配布するのでファイルしておくこと。

関連科目

理工学部学生として最低限の数学的素養を有すること。 構造力学Ⅰa、Ⅰb、構造力学Ⅱ、鋼構造Ⅰ

担当者の研究室等

8号館3階 原教授室

保存再生論
Building Renovation

大島 征二郎(オオシマ セイジロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

- 授業概要・目的 建築の医学部は建築学科であるという認識に立ち、建物に生じる主な欠陥とその原因、設計・施工プロセスにおける欠陥の予防方法や竣工後の改修方法の概要を講述するとともに、身の周りにおける欠陥の調査を通じて、未然に欠陥を防ぐ意識と技術の研鑽を促す。
- 到達目標 1) 建物に生じる主な欠陥とその原因の理解 2) 主な欠陥の未然防止策や改修方法の理解
- 学科の学習・教育目標との対応 : [H]

授業方法と留意点

講義は建物の欠陥事例を説明する。受講生はその建物欠陥の発生原因を知ることにより「施工管理」の重要ポイントを理解していく。又受講生自身が建物調査を実施し、その建物の欠陥原因を「建物調査報告書」として提出することを講義内容の重点課題とする。

科目学習の効果 (資格)

一級・二級建築士学科試験「施工」部門の各部工事、特に一級建築士学科試験では改修分野の出題に関連する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 授業の目的と概要、評価基準と注意事項、レポート課題説明
【事前・事後学習課題】 ガイダンスに関するレポート提出。
- 第2回 【授業テーマ】 建物調査
【内容・方法等】 摂南大学寝屋川校舎の建物調査を行う
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と建物調査報告書の作成。
- 第3回 【授業テーマ】 漏水対策1
【内容・方法等】 外壁の欠陥と対策 その1
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と建物調査報告書の作成。
- 第4回 【授業テーマ】 漏水対策2
【内容・方法等】 外壁の欠陥と対策その2
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と建物調査報告書の作成。練習問題の回答書提出。
- 第5回 【授業テーマ】 漏水対策3
【内容・方法等】 屋根パラペット、ドレン周りの欠陥と対策
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と建物調査報告書の作成と練習問題の回答書提出。
- 第6回 【授業テーマ】 漏水対策4
【内容・方法等】 屋根防水の欠陥と対策
【事前・事後学習課題】 漏水工事に関する詳細図面提出。
- 第7回 【授業テーマ】 剥離・剥落対策1
【内容・方法等】 外壁タイル、外装塗装の欠陥と対策
【事前・事後学習課題】 漏水工事に関する詳細図面の再提出。
- 第8回 【授業テーマ】 剥離・剥落対策2
【内容・方法等】 コンクリートの欠陥と対策
【事前・事後学習課題】 建物調査報告書の中間提出
- 第9回 【授業テーマ】 剥離・剥落対策3
【内容・方法等】 内装材料の欠陥と対策
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と建物調査報告書の作成。剥離・剥落に関する図面提出
- 第10回 【授業テーマ】 レポート課題の中間報告
【内容・方法等】 提出されたレポート課題に基づく中間報告会
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と建物調査報告書の修正。
- 第11回 【授業テーマ】 沈下・浮き上がり・結露対策
【内容・方法等】 沈下、浮き上がり、結露による欠陥と対策
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と建物調査報告書の修正。
- 第12回 【授業テーマ】 遮音、騒音、汚れ、臭い対策
【内容・方法等】 遮音、騒音、汚れ、臭いによる欠陥と対策
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と建物調査報告書の修正。
- 第13回 【授業テーマ】 その他の欠陥と対策
【内容・方法等】 アルミサッシ、網入りガラス、現場発泡ウレタン、軒天井材の欠陥と対策
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と遮音工事に関する練習問題の回答書提出。
- 第14回 【授業テーマ】 改修工事
【内容・方法等】 建物のリニューアル・耐震改修・建物の用途変更に関する説明
【事前・事後学習課題】 次回授業の予習と木造住宅耐震改修工事に関する図面作成し提出する。
- 第15回 【授業テーマ】 総括

【内容・方法等】「建物調査報告書」の発表会。

【事前・事後学習課題】

評価方法 (基準)

1. 期末試験成績評価
2. 学生各自が作成した「建物調査報告書」の内容評価
上記項目を成績評価の対象とする。
(期末試験成績評価を50%、学生各自が作成した「建物調査報告書」の内容評価を50%の目安とする。)

教材等

教科書…「建築携帯ブック クレーム 第一版」建築業協会施工部会 井上書院 (1700円)
参考書…建築施工 I・II で使用するテキスト
建築材料 I・II で使用するテキスト

学生へのメッセージ

今後の日本の建設需要は新築が減少し、改修のウェイトが増加すると言われている。来るべき時代に備えて、欠陥の予防や改修方法の基本を学修しておくことをすすめる。建築リノベーションやコンバージョンと関連する部分も多い。

関連科目

建築材料 I・II 建築施工 I・II
その他構造関連科目

担当者の研究室等

7号館 2階非常勤講師室

構造力学III Structural Mechanics III				
上 谷 宏 二 (ウエタニ コウジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

【授業概要】 建築構造物の耐震安全性は、構成部材の強さ(耐力)のバランスのとれた配置に左右される。部材や構造物の耐力を支配するのは全塑性耐力と座屈耐力である。本講義では、これらの耐力を算出するための基礎的考え方と方法について学ぶ。
【到達目標】 以下の項目について理解し、具体的な計算能力を身につける。
(1) 梁や柱の弾塑性曲げモーメント-曲率関係と全塑性モーメント (2) 塑性極限解析の上・下界の定理 (3) 簡単なトラスやラーメンの塑性崩壊荷重の計算法 (4) 中心圧縮柱の曲げ座屈、梁の横座屈などの、簡単な骨組の座屈
学科の学習・教育目標との対応：[H]

授業方法と留意点

指定教科書「建築鋼構造-その理論と設計-」と配布資料を用い、講義形式で授業を進める。適宜、演習問題を課す。

科目学習の効果 (資格)

構造設計者・施工管理技術者を目指すものにとって必須の教科である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 この授業内容の位置付け、概説、授業の進め方
【事前・事後学習課題】 第2部 2.1.1
- 第2回 【授業テーマ】 トラスの塑性崩壊
【内容・方法等】 単純なトラスの強さと変形
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第3回 【授業テーマ】 断面の全塑性モーメント(1)
【内容・方法等】 長方形断面、T形断面
【事前・事後学習課題】 第2部 2.2
- 第4回 【授業テーマ】 断面の全塑性モーメント(2)
【内容・方法等】 H型断面、箱形断面
【事前・事後学習課題】 第2部 2.2
- 第5回 【授業テーマ】 断面の全塑性モーメント(3)
【内容・方法等】 軸力の影響
【事前・事後学習課題】 第2部 2.3
- 第6回 【授業テーマ】 中間試験 (1)
【内容・方法等】 (範囲) トラスの塑性崩壊、断面の全塑性モーメント
【事前・事後学習課題】 ここまでの範囲について、演習課題を含めて良く復習すること
- 第7回 【授業テーマ】 梁の塑性崩壊 (1)
【内容・方法等】 静定梁の塑性崩壊： 単純梁、片持梁
【事前・事後学習課題】 第2部 3.1
- 第8回 【授業テーマ】 梁の塑性崩壊 (2)
【内容・方法等】 不静定梁の塑性崩壊： 下界定理による方法
【事前・事後学習課題】 第2部 3.2-3.3
- 第9回 【授業テーマ】 梁の塑性崩壊 (3)
【内容・方法等】 不静定梁の塑性崩壊： 上界定理による方法

- 【事前・事後学習課題】 第2部 3.2-3.3
- 第10回 【授業テーマ】 骨組の塑性崩壊 (1)
【内容・方法等】 1層1スパンの塑性崩壊
【事前・事後学習課題】 第2部 3.4, 5.1-5.3
- 第11回 【授業テーマ】 骨組の塑性崩壊 (2)
【内容・方法等】 2層1スパンの塑性崩壊
【事前・事後学習課題】 第2部 5.1-5.3
- 第12回 【授業テーマ】 中間試験 (2)
【内容・方法等】 (範囲) 梁の塑性崩壊、骨組の塑性崩壊
【事前・事後学習課題】 ここまでの範囲について、演習課題を含めて良く復習すること
- 第13回 【授業テーマ】 部材の座屈 (1)
【内容・方法等】 座屈概説、オイラー座屈
【事前・事後学習課題】 第3部 2.1
- 第14回 【授業テーマ】 部材の座屈 (2)
【内容・方法等】 境界条件の違い、座屈長さ、横座屈、局部座屈、骨組座屈
【事前・事後学習課題】 第3部 2.2, 3.2-3.3, 5.3
- 第15回 【授業テーマ】 復習課題
【内容・方法等】 授業範囲全般
【事前・事後学習課題】 これまでの授業範囲全般を通して、理解が不十分と思うところを、もう一度復習しておくこと。
- 評価方法 (基準)
2回の中間試験成績 (60%) および期末試験成績 (40%) の総計で評価する。

教材等

教科書…「建築鋼構造-その理論と設計-」
著者：井上一朗、吹田啓一郎
出版社：鹿島出版会
参考書…教科書・建築構造力学 図説・演習 I, II
編者：中村恒善
出版：丸善株式会社

学生へのメッセージ

必ずしも簡単な内容ではありませんが、授業に毎回出席し、講義にしっかりと耳を傾け、演習課題を納得がいくまで繰返し反芻すれば、将来役立つ知識や能力を必ず身につけることができます。

関連科目

構造力学 I a, I b 構造力学 II の授業内容をよく理解していること。

担当者の研究室等

8号館3階 上谷教授室

備考

特になし

地盤工学 Geotechnical Engineering				
原 克 巳 (ハラ カツミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

基礎構造物の設計と施工上の問題と基礎的な概念、更に事故例について勉強する。土質力学の基礎的考え方を設計の実例、現場での実際を紹介して理解をふかめる。これらを踏まえて、直接基礎、杭基礎の工法と設計を勉強する。 [到達目標] 1)有効応力、2)モール・クーロン則、3)圧密、4)液状化、5)直接基礎の設計、6)杭の工法と杭の設計、これらの考え方の理解。
学科の学習・教育目標との対応：[H]

授業方法と留意点

教科書、配布資料、スライド (パワーポイント) を用いる。毎回、即日レポートを実施する。これが出欠ともなる。

科目学習の効果 (資格)

構造設計、現場技術者、一級建築士、技術士

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス 概論
【内容・方法等】 ガイダンス 地盤と基礎の工学の概論 事故例
【事前・事後学習課題】 配布資料の整理
- 第2回 【授業テーマ】 土の分類と物理的性質
【内容・方法等】 粒径による土の分類、試験法・相互の関係、砂・粘土の特性
単位体積重量、比重、間隙比等とその相互の関係、演習
【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習、配布資料の整理、演習の点検
- 第3回 【授業テーマ】 全圧力、有効圧、間隙水圧
【内容・方法等】 地盤工学の重要概念である有効圧を中心に上載圧の考え方および基礎設計への応用、演習
【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習、配布資料の整理、演習の点検
- 第4回 【授業テーマ】 水理学の初歩

土の透水性
【内容・方法 等】 地中での水頭差、透水係数、演習
【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習、配布資料の整理、演習の点検

第5回 **【授業テーマ】** 砂地盤の液状化
【内容・方法 等】 液状化について実際例と解説、液状化対策
【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習、配布資料の整理

第6回 **【授業テーマ】** 土の圧密1
【内容・方法 等】 土の変形は、間隙比の変化で説明される。砂の変形、地下水の消散による粘土の圧密について概説。Terzaghiの一次元圧密理論の構成を解説。
【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習、配布資料の整理

第7回 **【授業テーマ】** 中間試験(1)
【内容・方法 等】 中間試験(1)
【事前・事後学習課題】 _____

第8回 **【授業テーマ】** 土の圧密2
【内容・方法 等】 圧密沈下の進行、演習
【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習、配布資料の整理、演習の点検

第9回 **【授業テーマ】** 土のせん断強さ、モールの応力円
【内容・方法 等】 クーロンの式、土のせん断破壊条件、モールの応力円、演習
【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習、配布資料の整理、演習の点検

第10回 **【授業テーマ】** 直接基礎
【内容・方法 等】 直接基礎と支持力
【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習、配布資料の整理、演習の点検

第11回 **【授業テーマ】** 直接基礎の設計
【内容・方法 等】 直接基礎の設計
【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習、配布資料の整理

第12回 **【授業テーマ】** 杭基礎
【内容・方法 等】 杭の種類と工法
【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習、配布資料の整理

第13回 **【授業テーマ】** 中間試験(2)
【内容・方法 等】 中間試験(2)
【事前・事後学習課題】 _____

第14回 **【授業テーマ】** 杭の支持力
【内容・方法 等】 杭の支持力の算定法
【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習、配布資料の整理

第15回 **【授業テーマ】** 主働土圧、受働土圧、静止土圧
【内容・方法 等】 主働土圧、受働土圧、静止土圧とその応用。演習
【事前・事後学習課題】 キーワードの予習復習、配布資料の整理、演習の点検

評価方法(基準)
 平常点(授業態度、即日レポート、レポート課題): 40%
 中間試験(1): 15%
 中間試験(2): 15%
 期末試験: 30%

教材等
教科書…毎回の配布資料により、授業をおこなう。
参考書…①山肩・永井・富永・伊藤 著 「新版・建築基礎工学」(朝倉書店)(3800円)
 ②演習用 近畿高校土木会編 「土質力学」(オーム社)(1900円) 大崎順彦「建築基礎構造」(技報堂出版)
 「基礎と地盤の手ほどき」 建築技術選書 中堀和英 著 日本建築協会

学生へのメッセージ
 この講義から、地盤工学と基礎設計の基本的な知識を身につけ、将来、設計、施工、その他建築関係の技術者になるためにも見識を広げてほしい。

関連科目
 構造力学Ⅰ・Ⅱ 建築施工Ⅰ・Ⅱ、地盤工学Ⅱ

担当者の研究室等
 8号館3階 原教授室

耐震工学 Earthquake-Resistant Structures				
足立博之(アタチ ヒロユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
【授業概要・目的・到達目標】

【授業の目的】 地震国である我が国では、特に1995年の阪神大震災、2011年の東日本大震災以降、地震に対する社会的関心が増加している。授業では地震時における建物の基礎的な動的挙動を把握し、安全確保に必要な耐震設計手法の概要を学習する。また、将来、更に技術を発展・展開させるために基礎となるフーリエ解析などの概要も併せて学習する。
【到達目標】 地震に関する基礎知識、建築構造物の地震時挙動および耐震設計の概要把握
 学科の学習・教育目標との対応: [H]

授業方法と留意点
【授業方法と留意点】
 プリントを主に、教科書を併用して行う。毎回出す宿題では復習に重点を置き、テキスト例題のトレース(自分で理解度を確認しながら作成する)と授業の理解を助けるための課題を行いながら、重要な部分は授業にて補足説明する。

科目学習の効果(資格)
【科目学習の効果(資格)】
 地震時の建物挙動を理解することにより、地震に対する建築物の安全性確保の考え方や設計法を理解できる。建築士資格試験の構造分野の一部である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** **【授業テーマ】** 地震・耐震工学の概要
【内容・方法 等】 地震の発生・伝搬や過去の地震、現在の耐震工学の概要
【事前・事後学習課題】 基礎数学の復習(三角関数・複素数・行列など)
- 第2回** **【授業テーマ】** 1自由度系の振動
【内容・方法 等】 運動方程式の作成、減衰・非減衰自由振動
【事前・事後学習課題】 テキスト例題のトレース
- 第3回** **【授業テーマ】** 1自由度系の振動
【内容・方法 等】 非減衰自由振動・減衰自由振動
【事前・事後学習課題】 テキスト例題のトレース
- 第4回** **【授業テーマ】** 1自由度系の振動
【内容・方法 等】 調和外力応答・調和地動応答
【事前・事後学習課題】 課題(演習問題ほか)
- 第5回** **【授業テーマ】** 1自由度系の振動
【内容・方法 等】 種々の過渡応答(パルス・任意乱応答)・応答スペクトル
【事前・事後学習課題】 課題(演習問題ほか)
- 第6回** **【授業テーマ】** 1自由度系の振動
【内容・方法 等】 振動とエネルギー
【事前・事後学習課題】 テキスト例題のトレース
- 第7回** **【授業テーマ】** 多自由度系の振動
【内容・方法 等】 多自由度系の振動方程式・固有振動の性質
【事前・事後学習課題】 テキスト例題のトレース
- 第8回** **【授業テーマ】** 多自由度系の振動
【内容・方法 等】 非減衰系・減衰系の自由振動
【事前・事後学習課題】 テキスト例題のトレース
- 第9回** **【授業テーマ】** 多自由度系の振動
【内容・方法 等】 減衰系の強制振動
【事前・事後学習課題】 テキスト例題のトレース
- 第10回** **【授業テーマ】** 多自由度系の振動
【内容・方法 等】 多自由度系の例題を通しての確認
【事前・事後学習課題】 課題(演習問題ほか)
- 第11回** **【授業テーマ】** 計算手法(数値計算)
【内容・方法 等】 モーダルアナリシスと時刻歴応答解析(数値計算)
【事前・事後学習課題】 テキスト例題のトレース
- 第12回** **【授業テーマ】** フーリエ解析
【内容・方法 等】 地震波形とフーリエ解析の概要
【事前・事後学習課題】 テキスト例題のトレース
- 第13回** **【授業テーマ】** 統計と確率
【内容・方法 等】 地震発生確率についての概要
【事前・事後学習課題】 課題(演習問題ほか)
- 第14回** **【授業テーマ】** 地盤振動
【内容・方法 等】 地震時の地盤挙動
【事前・事後学習課題】 課題(演習問題ほか)
- 第15回** **【授業テーマ】** 耐震設計法とまとめ
【内容・方法 等】 耐震設計の現状と今後の課題
【事前・事後学習課題】 課題(レポートほか)

評価方法(基準)
【評価方法(基準)】
 期末試験の結果(65%)の他に、宿題の課題やレポート(35%)によって、到達目標の理解度を総合的に判断し合格を判定する

教材等
教科書…【教科書】
 柴田明徳著 最新耐震構造解析、森北出版(¥3,885)
参考書…【参考書】
 特になし

学生へのメッセージ
【学生へのメッセージ】
 地震時の建物の挙動を、物理・数学を通して工学的に理解し、

耐震工学の基礎知識を身につけて、将来、設計や研究に役立てるとともに、更に、更に、制振・免震などの分野へも発展させる動機となることを願っている。同時に、地震に対して人命・財産を守るという社会的使命の理解にも役立てていただきたい。

関連科目

【関連科目】

構造力学、鋼構造、鉄筋コンクリート構造等の構造系科目および基礎数学

担当者の研究室等

非常勤講師室

構造実験 Experiments in Structural Elements				
		柳 沢 学 (ヤナギサワ マナブ)		
		上 谷 宏 二 (ウエタニ コウジ)		
		池 内 淳 子 (イケウチ ジュンコ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

[授業概要・目的]建築物を構成する主要な構造要素・材料の力学的特性および物理・化学的特性の試験・実験法とその特性を下記の実験を通じて学ぶ。ただし、天候等によって、順番、内容を一部変更することもある。

[到達目標] 1)毎回出席して実験を肌で感じる。2)実験で使用する器具や機器を覚える。3)結果を一般解と比較して考察できる。4)コンクリートの調合設計ができること。

学科の学習・教育目標との対応：[H]

授業方法と留意点

每班にまともって作業する。毎回、講義室で実験概要を説明し実験室にて実験する。翌日、観察、養生する場合もある。実験後レポートを作成し提出する。

科目学習の効果(資格)

構造実験は建築士受験資格のある指定学科では必要科目となっている。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス、班分け
【内容・方法 等】 構造実験概要
安全マニュアルの熟読
【事前・事後学習課題】 シラバスを熟読してくること
安全マニュアルの理解
- 第2回 【授業テーマ】 セメント比重試験
【内容・方法 等】 セメントの比重の計測方法を理解し、その比重を市販品の値と比較して評価する。
【事前・事後学習課題】 教科書 p8
- 第3回 【授業テーマ】 セメント凝結試験
【内容・方法 等】 セメントの凝結試験方法を理解し凝結時間を計測し硬化状況を確認する。
【事前・事後学習課題】 教科書 p9
- 第4回 【授業テーマ】 セメント強度試験のための供試体作製
【内容・方法 等】 セメント強度試験のための供試体を作製する。
【事前・事後学習課題】 教科書 p9～p11
- 第5回 【授業テーマ】 骨材比重試験
【内容・方法 等】 細骨材および粗骨材の比重を計測し地域別の値と比較する。
【事前・事後学習課題】 教科書 p18～p21
- 第6回 【授業テーマ】 コンクリート調合設計
【内容・方法 等】 コンクリートの調合設計の仕方を理解し、翌週のコンクリート打設のための調合計画を行う。
【事前・事後学習課題】 教科書 p36～p45
- 第7回 【授業テーマ】 コンクリート強度試験のための供試体作製
【内容・方法 等】 コンクリートを構成する、水、セメント、細骨材、粗骨材および混和剤を計量し、練り混ぜ後、スランプ試験の実施と供試体を3本を作製する。
【事前・事後学習課題】 教科書 p45～p51
- 第8回 【授業テーマ】 骨材粒度分布試験
【内容・方法 等】 コンクリートを構成する骨材のふるい分け試験を行い、f_m値算出と粒度分布曲線を求めJIS規格範囲と比較・検討する。
【事前・事後学習課題】 教科書 p13～p16
- 第9回 【授業テーマ】 セメント強度試験
【内容・方法 等】 セメントの強度試験を行い、曲げ強度および圧縮強度を算出し、評価・検討する。
【事前・事後学習課題】 教科書 p9～p11
- 第10回 【授業テーマ】 細骨材中の有機不純物、塩化物の定量分析
【内容・方法 等】 有機不純物試験方法を理解し、実験を行い評価する。塩化物の定量分析を行いコンクリート用骨材として使用できるかを検討する。

- 【事前・事後学習課題】 教科書 p25～p26
- 第11回 【授業テーマ】 コンクリート強度試験、鋼材引張試験
【内容・方法 等】 コンクリート強度試験(圧縮および割裂)の実施。鋼材の引張試験により、降伏強度、引張強度および伸びを計測し規格値と比較する。
【事前・事後学習課題】 教科書 p51～p54
教科書 p86～p88
- 第12回 【授業テーマ】 鉄骨はりの曲げ実験 試験体製作
【内容・方法 等】 鉄骨はりの曲げ実験を理解し、鉄骨はりの曲げ耐力を推定する。また、翌週実験する試験体にひずみゲージを貼付して実験準備をする。
【事前・事後学習課題】 教科書 p94～p97
- 第13回 【授業テーマ】 鉄骨はりの曲げ実験 実験実施
【内容・方法 等】 鉄骨はりの曲げ実験を行い諸荷重等を計算値と比較する。
【事前・事後学習課題】 教科書 p94～p97
- 第14回 【授業テーマ】 鉄筋コンクリートはりの曲げせん断実験 耐力算定
【内容・方法 等】 鉄筋コンクリートはりの曲げせん断実験を理解し、鉄筋コンクリートはりの諸耐力、諸剛性を算出する。
【事前・事後学習課題】 教科書 p70～p72
- 第15回 【授業テーマ】 鉄筋コンクリートはりの曲げせん断実験 実験実施
【内容・方法 等】 鉄筋コンクリートはりの曲げせん断実験を行い諸荷重等を計算値と比較する。
【事前・事後学習課題】 教科書 p70～p72

評価方法(基準)

実験教科であり、100%の出席を前提とする。レポート点課題(60%)および平常点(40%)の成績を総合し、到達目標の達成度に応じて合否を判定する。平常点は積極的に実験に参加し材料特性や構造性能を理解しようとする態度に基づいて評価する。

教材等

教科書…「建築材料実験用教材」、日本建築学会、(1900円)
参考書…特になし

学生へのメッセージ

原則として実験資材は大学で用意するが、作業服・靴は用意しない。作業服・靴を購入する必要はないが、実験の内容により砂・セメント・油などで衣服が汚れる場合、足が悪い場合がある。授業中は私語を慎み集中して授業内容の理解に努めること。

関連科目

鉄筋コンクリート構造Ⅰ、Ⅱ
鋼構造Ⅰ、Ⅱ

担当者の研究室等

8号館3階 各教授室、准教授室
[共同担当者] 上谷宏二・池内淳子

設計演習I Exercises in Architectural Planning and Drawing I				
		本 多 友 常 (ホンタ トモツネ)		
		三 宅 正 浩 (ミヤケ マサヒロ)		
		杉 山 圭 一 (スギヤマ ケイイチ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	イ	後期	必修	3

授業概要・目的・到達目標

[授業概要・目的] 建築設計の学習は、図面の作成を通して行なう。最初に、建築設計図面がどのようなものかを学ぶため、木造又は鉄筋コンクリート造の一般図と詳細図を模写し、各図面の意味内容や表記法などを理解する。つづいて、小規模な建築設計をとおして、アイデアを如何に表現するのか、表現の種類や方法を学習する。この演習では、①図面に関する知識や技能の修得、②正確な表現方法、③表現の種類と方法の習得、を到達目標とする。

学科の学習・教育目標との対応：[F]

授業方法と留意点

第1課題は製図室で模写するので欠席すると提出期限内に完成できなくなる。第2課題・第3課題の設計は時間外においても製図室と自宅で並行して作業をすすめ、担当教員の個別指導を受ける。また、全員に対し、課題ごとに様々な形で発表と講評の機会を設ける。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 鉄筋コンクリート造の一般図と詳細図の模写(第1回)
【内容・方法 等】 図面の意味と種類の説明、製図道具の説明
課題の説明、グループ分けと作業方法の説明・配置図の作成
【事前・事後学習課題】 教科書 P8-15
- 第2回 【授業テーマ】 鉄筋コンクリート造の一般図と詳細図の模写(第2回)

- 第3回** 【内容・方法等】 平面図の作成、各グループでの指導
【事前・事後学習課題】 教科書 P.60-73
【授業テーマ】 鉄筋コンクリート造の一般図と詳細図の模写(第3回)
【内容・方法等】 立面図と断面図の作成、各グループでの指導
【事前・事後学習課題】 教科書 P.60-79
第4回 【授業テーマ】 鉄筋コンクリート造の一般図と詳細図の模写(第4回)
【内容・方法等】 詳細図の作成、各グループでの指導
【事前・事後学習課題】 教科書 P.60-79
第5回 【授業テーマ】 鉄筋コンクリート造の一般図と詳細図の模写(第5回)
【内容・方法等】 詳細図の作成、2グループ合同講評、全体講評
【事前・事後学習課題】 教科書 P.60-79
第6回 【授業テーマ】 モデリング(第1回) - 表現技法の基礎
【内容・方法等】 課題の説明、モデリングの各グループ個別指導
【事前・事後学習課題】 レタリング
教科書 P.18-39
第7回 【授業テーマ】 モデリング(第2回) - 表現技法の基礎
【内容・方法等】 モデリングの各グループでの個別指導
【事前・事後学習課題】 パース
教科書 P.18-57
第8回 【授業テーマ】 モデリング(第3回) - 表現技法の基礎
【内容・方法等】 モデリングの各グループでの個別指導、全体講評
【事前・事後学習課題】 模型
教科書 P.18-57
第9回 【授業テーマ】 小規模な建築の設計(第1回) - 身体スケールと寸法
【内容・方法等】 課題の説明、各グループでの設計方法の説明
【事前・事後学習課題】 敷地観察レポートの作成
第10回 【授業テーマ】 小規模な建築の設計(第2回) - 身体スケールと寸法
【内容・方法等】 敷地観察結果の発表、エスキス、各グループでの個別指導
【事前・事後学習課題】 建築の計測と作図
第11回 【授業テーマ】 小規模な建築の設計(第3回) - 身体スケールと寸法、小さな立体
【内容・方法等】 事例のレビュー、エスキス、各グループでの個別指導
【事前・事後学習課題】 建築の計測と作図
第12回 【授業テーマ】 小規模な建築の設計(第4回) - 身体スケールと寸法、小さな立体
【内容・方法等】 エスキス、各グループでの個別指導
【事前・事後学習課題】 スタディ模型
第13回 【授業テーマ】 小規模な建築の設計(第5回) - 身体スケールと寸法、小さな立体
【内容・方法等】 2グループ合同中間発表、エスキス、各グループでの個別指導
【事前・事後学習課題】 スタディ模型
第14回 【授業テーマ】 小規模な建築の設計(第6回) - 身体スケールと寸法、小さな立体
【内容・方法等】 各グループでの個別指導、作品の提出
【事前・事後学習課題】 模型
第15回 【授業テーマ】 小規模な建築の設計(第7回) - 身体スケールと寸法、小さな立体
【内容・方法等】 グループ講評、全体講評
【事前・事後学習課題】 模型とパース

評価方法(基準)
各課題ごとに評価を行い、上記達成目標の60%以上を合格とする。

教材等
教科書…建築設計演習 基礎編：図法から空間へ(鹿島出版会) @3200
参考書…日本建築学会編「コンパクト建築設計資料集成」(丸善) @5040

学生へのメッセージ
建築設計はすべての専門科目の学習が反映される重要な分野である。特に設計演習Ⅰはその第一歩であるが、初めて製図を学ぶ学生にとっては厳しい科目と感じるかもしれない。しかし欠席せずにまじめに学習すれば、必ず建築設計が楽しくなると思っています。

関連科目
専門科目全般
担当者の研究室等
8号館3階

設計演習I
Exercises in Architectural Planning and Drawing I

大谷 由紀子(オオタニ ユキコ)
中尾 勝悦(ナカオ カツヨシ)
三木 孝亮(ミキ コウスケ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ロ	後期	必修	3

授業概要・目的・到達目標

【授業概要・目的】 建築設計の学習は、図面の作成を通して行なう。最初に、建築設計図面がどのようなものかを学ぶため、木造又は鉄筋コンクリート造の一般図と詳細図を模写し、各図面の意味内容や表記法などを理解する。つづいて、小規模な建築設計をとおして、アイデアを如何に表現するのか、表現の種類や方法を学習する。この演習では、①図面に関する知識や技能の修得、②正確な表現方法、③表現の種類と方法の習得、を到達目標とする。
学科の学習・教育目標との対応：[F]

授業方法と留意点

第1課題は製図室で模写するので欠席すると提出期限内に完成できなくなる。第2課題・第3課題の設計は時間外においても製図室と自宅と並行して作業をすすめ、担当教員の個別指導を受ける。また、全員に対し、課題ごとに様々な形で発表と講評の機会を設ける。

科目学習の効果(資格)

建築学科での授業内容を総合的に理解することに役立つとともに、将来の建築士試験のために極めて重要である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 第1課題：鉄筋コンクリート造の一般図と詳細図の模写(第1回)
【内容・方法等】 図面の意味と種類の説明、製図道具の説明
課題の説明、グループ分けと作業方法の説明・配置図の作成
【事前・事後学習課題】 教科書 P.6-11
第2回 【授業テーマ】 第1課題：鉄筋コンクリート造の一般図と詳細図の模写(第2回)
【内容・方法等】 平面図の作成、各グループでの指導
【事前・事後学習課題】 教科書 P.12-113
第3回 【授業テーマ】 第1課題：鉄筋コンクリート造の一般図と詳細図の模写(第3回)
【内容・方法等】 立面図と断面図の作成、各グループでの指導
【事前・事後学習課題】 教科書 P.12-113
第4回 【授業テーマ】 第1課題：鉄筋コンクリート造の一般図と詳細図の模写(第4回)
【内容・方法等】 詳細図の作成、各グループでの指導
【事前・事後学習課題】 教科書 P.12-113
第5回 【授業テーマ】 第1課題：鉄筋コンクリート造の一般図と詳細図の模写(第5回)
第2課題：身近な空間(第1回)
【内容・方法等】 2グループ合同講評、全体講評
第2課題の説明、作図
【事前・事後学習課題】 教科書 P.12-113
第6回 【授業テーマ】 第2課題：身近な空間(第2回)
【内容・方法等】 各グループ個別指導
【事前・事後学習課題】 表現方法、プレゼンテーション
教科書 P.12-113
第7回 【授業テーマ】 第2課題：身近な空間(第3回)
第3課題：モデリング(第1回)
【内容・方法等】 第2課題の講評
モデリングの各グループでの個別指導
【事前・事後学習課題】 表現方法、プレゼンテーション
教科書 P.12-113
第8回 【授業テーマ】 第3課題： - モデリング
【内容・方法等】 モデリングの各グループでの個別指導、全体講評
【事前・事後学習課題】 表現方法、プレゼンテーション
教科書 P.12-113
第9回 【授業テーマ】 第4課題：小規模な建築の設計(第1回) - 身体スケールと寸法
【内容・方法等】 課題の説明、各グループでの設計方法の説明
【事前・事後学習課題】 敷地観察レポートの作成
第10回 【授業テーマ】 第4課題：小規模な建築の設計(第2回) - 身体スケールと寸法
【内容・方法等】 敷地観察結果の発表、エスキス、各グループでの個別指導
【事前・事後学習課題】 建築の計測と作図
第11回 【授業テーマ】 第4課題：小規模な建築の設計(第3回) - 身体スケールと寸法、小さな立体
【内容・方法等】 事例のレビュー、エスキス、各グループで

- の個別指導
- 第12回 【事前・事後学習課題】 建築の計測と作図
【授業テーマ】 第4課題：小規模な建築の設計(第4回) - 身体スケールと寸法、小さな立体
【内容・方法等】 エスキス、各グループでの個別指導
- 第13回 【事前・事後学習課題】 スタディ模型、作図
【授業テーマ】 第4課題：小規模な建築の設計(第5回) - 身体スケールと寸法、小さな立体
【内容・方法等】 2グループ合同中間発表、エスキス、各グループでの個別指導
- 第14回 【事前・事後学習課題】 スタディ模型、作図
【授業テーマ】 第4課題：小規模な建築の設計(第6回) - 身体スケールと寸法、小さな立体
【内容・方法等】 各グループでの個別指導、作品の提出
- 第15回 【事前・事後学習課題】 模型、パース
【授業テーマ】 第4課題：小規模な建築の設計(第7回) - 身体スケールと寸法、小さな立体
【内容・方法等】 グループ講評、全体講評
【事前・事後学習課題】 模型とパース

評価方法 (基準) 各課題ごとに評価を行い、上記達成目標の60%以上を合格とする。

教材等
教科書…やさしい建築製図 (エク スナレッジ ムック) @2600
参考書…日本建築学会編「コンパクト建築設計資料集成」(丸善) @5040

学生へのメッセージ
建築設計はすべての専門科目の学習が反映される重要な分野である。特に設計演習Ⅰはその第一歩であるが、初めて製図を学ぶ学生にとっては厳しい科目と感ずるかもしれない。しかし欠席せずにまじめに学習すれば、必ず建築設計が楽しくなると思っています。

関連科目 専門科目全般
担当者の研究室等 8号館3階 本多教授室・大谷准教授室

設計演習Ⅱa Exercises in Architectural Planning and Drawing Ⅱa				
佐野潤一 (サノ ジュンイチ)				
井上久実 (イノウエ クミ)				
奥田泰生 (オクダ ヤスオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	イ	前期	必修	3

授業概要・目的・到達目標
〔授業概要・目的〕 木造住宅一般図の模写課題により、木構造の基礎的知識と図面表記法を学ぶ。次に木造住宅の設計により住宅計画の基礎知識、設計の進め方、図面と模型による表現等を学ぶ。最後に3階建鉄筋コンクリート造大学交流施設の設計においてテーマづくり、多層建築の計画、躯体計画、特に断面図の表記法などを学ぶ。〔到達目標〕 (1) 木造の基本構成と断面表現法の習得 (2) 住宅設計の基礎知識、模型づくりの技法等の修得 (3) 設計条件の設定能力や設計方法の修得、鉄筋コンクリート造の躯体計画技能、断面図の表現法、模型作成や透視図などによる提案方法の習得
学科の学習・教育目標との対応：〔F〕

授業方法と留意点
少人数グループを一人の担当教員が指導し、課題ごとに担当者が替わっていく。住宅の設計、交流施設の設計では授業時間は担当教員から指導を受ける時間であり、各自の設計作業、特に草案づくりは授業時間外にも行う必要がある。課題の内容、順番など変更される場合があります。

科目学習の効果 (資格)
建築学科での授業内容を総合的に理解することに役立つとともに、将来の建築士試験のために極めて重要である。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 木造住宅の一般図の模写 (第1回)
【内容・方法等】 ・課題説明・グループわけおよび作業方法の説明・図面構成の説明など
【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
- 第2回 【授業テーマ】 木造住宅の一般図の模写 (第2回)
【内容・方法等】 ・図面模写作業・グループ別指導
【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
- 第3回 【授業テーマ】 木造住宅の一般図の模写 (第3回)
住宅の設計の課題説明

- 【内容・方法等】 ・図面模写作業・グループ別指導・作品提出
- 第4回 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
【授業テーマ】 住宅の設計 (第1回)
【内容・方法等】 ・課題説明・グループ別指導方針の説明など
- 第5回 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
【授業テーマ】 住宅の設計 (第2回)
【内容・方法等】 ・グループ別指導など
- 第6回 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
【授業テーマ】 住宅の設計 (第3回)
【内容・方法等】 ・エスキス提出・グループ別指導など
- 第7回 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
【授業テーマ】 住宅の設計 (第4回)
【内容・方法等】 ・グループ別指導など
- 第8回 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
【授業テーマ】 住宅の設計講評会 (第5回)
交流会館の設計課題発表
【内容・方法等】 ・作品提出・グループ別講評・全体発表講評など
・課題説明
- 第9回 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
【授業テーマ】 交流会館の設計 (第1回)
【内容・方法等】 ・設計作業方法の説明・グループ別指導方針説明など
- 第10回 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
【授業テーマ】 交流会館の設計 (第2回)
【内容・方法等】 ・グループ別個別指導など
- 第11回 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
【授業テーマ】 交流会館の設計 (第3回)
【内容・方法等】 ・エスキス提出・中間報告・グループ別個別指導
- 第12回 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
【授業テーマ】 交流会館の設計 (第4回)
【内容・方法等】 ・グループ別個別指導
- 第13回 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
【授業テーマ】 交流会館の設計 (第5回)
【内容・方法等】 ・グループ別個別指導
- 第14回 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
【授業テーマ】 交流会館の設計 (第6回)
【内容・方法等】 ・グループ別個別指導
- 第15回 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
【授業テーマ】 交流会館発表講評会
【内容・方法等】 ・発表と講評
【事前・事後学習課題】 図面

評価方法 (基準) それぞれの課題の成果物、つまり提出した作品の到達目標の達成度の合計評価60%以上を合格とする。

教材等
教科書…「建築設計演習Ⅰ、基礎編：図法から空間へ」、峰岸・高砂・本田・寺地著、鹿島出版会、3200円、「第3版コンパクト建築設計資料集成」、日本建築学会編、丸善、5040円
参考書…適宜紹介する

学生へのメッセージ
設計演習は建築学科での学習の総合化であるから、多くの建築事例や文献を研究、見学して、着実に構想力、提案力をつけてください。教員や仲間とのコミュニケーションや意見交換も重要です。

関連科目
建築計画基礎(建築設計・計画基礎)、建築計画各論、建築環境工学Ⅰ、建築環境工学Ⅱ、設計演習Ⅰ、および専門科目全般

担当者の研究室等
8号館3階 佐野教授室・大谷准教授室

設計演習II a Exercises in Architectural Planning and Drawing Iia				
大 谷 由 紀 子 (オオタニ ユキコ) 羽 木 み どり (ハギ ミドリ) 小 野 龍 人 (オノ タツヒト)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	ロ	前期	必修	3

授業概要・目的・到達目標
 [授業概要・目的] 木造住宅一般図の模写課題により、木構造の基礎的知識と図面表記法を学ぶ。次に木造住宅の設計により住宅計画の基礎知識、設計の進め方、図面と模型による表現等を学ぶ。最後に3階建鉄筋コンクリート造大学交流施設の設計においてテーマづくり、多層建築の計画、躯体計画、特に断面図の表記法などを学ぶ。[到達目標] (1) 木造の基本構成と図面表現法の習得 (2) 住宅設計の基礎知識、模型づくりの技法等の修得 (3) 設計条件の設定能力や設計方法の修得、鉄筋コンクリート造の躯体計画技能、断面図の表現法、模型作成や透視図などによる提案方法の習得
 学科の学習・教育目標との対応：[F]

授業方法と留意点
 少人数グループを一人の担当教員が指導し、課題ごとに担当者が替わっていく。住宅の設計、交流施設の設計では授業時間は担当教員から指導を受ける時間であり、各自の設計作業、特に草案づくりは授業時間外にも行う必要がある。

科目学習の効果(資格)
 建築学科での授業内容を総合的に理解することに役立つとともに、将来の建築士試験のために極めて重要である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 木造住宅の一般図の模写 (第1回)
 【内容・方法等】 ・課題説明・グループわけおよび作業方法の説明・図面構成の説明など
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
- 第2回 【授業テーマ】 木造住宅の一般図の模写 (第2回)
 【内容・方法等】 ・図面模写作業・グループ別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
- 第3回 【授業テーマ】 木造住宅の一般図の模写 (第3回)
 住宅の設計の課題説明
 【内容・方法等】 ・図面模写作業・グループ別指導・作品提出
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
- 第4回 【授業テーマ】 住宅の設計 (第1回)
 【内容・方法等】 ・課題説明・グループ別指導方針の説明など
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
- 第5回 【授業テーマ】 住宅の設計 (第2回)
 【内容・方法等】 ・グループ別指導など
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
- 第6回 【授業テーマ】 住宅の設計 (第3回)
 【内容・方法等】 ・エスキス提出・グループ別指導など
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
- 第7回 【授業テーマ】 住宅の設計 (第4回)
 【内容・方法等】 ・グループ別指導など
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
- 第8回 【授業テーマ】 住宅の設計講評会 (第5回)
 課題発表
 【内容・方法等】 ・作品提出・グループ別講評・全体発表講評など
 ・課題説明
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
- 第9回 【授業テーマ】 交流会館の設計 (第1回)
 【内容・方法等】 ・設計作業方法の説明・グループ別指導方針説明など
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
- 第10回 【授業テーマ】 交流会館の設計 (第2回)
 【内容・方法等】 ・グループ別個別指導など
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
- 第11回 【授業テーマ】 交流会館の設計 (第3回)
 【内容・方法等】 ・エスキス提出・中間報告・グループ別個別指導

- 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
- 第12回 【授業テーマ】 交流会館の設計 (第4回)
 【内容・方法等】 ・グループ別個別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
- 第13回 【授業テーマ】 交流会館の設計 (第5回)
 【内容・方法等】 ・グループ別個別指導
 【事前・事後学習課題】 図・作品提出・グループ別講評と全体発表講評など
- 第14回 【授業テーマ】 交流会館の設計 (第6回)
 【内容・方法等】 ・グループ別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
- 第15回 【授業テーマ】 交流会館発表講評会 (第7回)
 【内容・方法等】 ・発表と講評
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
- 評価方法(基準)**
 それぞれの課題の成果物、つまり提出した作品の到達目標の達成度の合計評価60%以上を合格とする。

教材等
教科書…「ステップ・バイ・ステップ」、川北・花田他編著、彰国社、2,746円
 以下は1年で購入済
 「建築設計演習I」機青編：図法から空間へ、鹿島出版会、3,200円
 コンパクト建築設計資料集成、日本建築学会編、丸善、5,040円
参考書…「やさしく学ぶ建築製図」、エクスナレッジムック、2,600円
 他、適宜紹介する

学生へのメッセージ
 設計演習は建築学科での学習の総合化であるから、多くの建築事例や文献を研究、見学して、着実に構想力、提案力をつけてください。教員や仲間とのコミュニケーションや意見交換も重要です。

関連科目
 建築設計・計画基礎、建築計画各論、設計演習I、および専門科目全般

担当者の研究室等
 8号館3階 佐野教室・大谷准教授室

設計演習II b Exercises in Architectural Planning and Drawing Ii				
木 多 彩 子 (キタ アヤコ) 高 橋 俊 介 (タカハシ シュンスケ) 竹 内 正 明 (タケウチ マサアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	イ	後期	必修	3

授業概要・目的・到達目標
 [授業概要・目的] 交流施設の設計では限定された時間内に条件を分析、設計し、それを的確に図面化することを学ぶ。オフィスの設計では実際の建物を調査したり、資料を調べることで計画条件を把握し、設計条件を分析して、建築の設計が建物と敷地、および周辺環境を考えることであることを学ぶ。美術館の設計では利用者や職員、展示物などの動線計画と外観や景観のデザインについて学習する。[到達目標] (1) 平面計画の理解と設計技術、および正確な図面表記の習得 (2) 建物と周辺との関係についての設計技術の習得 (3) 保存も含めた外観デザイン技術の習得
 学科の学習・教育目標との対応：[F]

授業方法と留意点
 少人数グループでの個別指導による。授業時間内は担当教員から指導を受けることを優先し、各自のエスキスや製図作業は時間外にも行う必要がある。また敷地調査や課題に関連する建物の見学や資料(作品集や雑誌など)調査なども積極的に行う。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】 オフィスビルの設計 (第1回)
 【内容・方法等】 課題説明・各グループでの指導方針説明など
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
- 第2回 【授業テーマ】 オフィスビルの設計 (第2回)
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
- 第3回 【授業テーマ】 オフィスビルの設計 (第3回)
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
- 第4回 【授業テーマ】 オフィスビルの設計 (第4回)
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導

- 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第5回 【授業テーマ】 オフィスビルの設計
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第6回 【授業テーマ】 オフィスビルの設計
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第7回 【授業テーマ】 オフィスビルの設計の講評、および美術館の課題説明
 【内容・方法等】 オフィスビルのプレゼンテーション、講評、および美術館の課題説明など
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第8回 【授業テーマ】 美術館の設計
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第9回 【授業テーマ】 美術館の設計
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第10回 【授業テーマ】 美術館の設計
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第11回 【授業テーマ】 美術館の設計
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第12回 【授業テーマ】 美術館の設計
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第13回 【授業テーマ】 美術館の設計
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第14回 【授業テーマ】 美術館の設計
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第15回 【授業テーマ】 美術館のプレゼンテーション、講評、および総括
 【内容・方法等】 課題全体についての講評、および総合的な指導など
 【事前・事後学習課題】 —————

評価方法 (基準)

各課題ごとの最終提出作品の評価の総合60%以上を合格とする。

教材等

教科書…「初めての建築設計ステップ・バイ・ステップ (建築文化シナジー)」2600円

参考書…なし

学生へのメッセージ

本格的な設計課題です。学ぶことはまずはマネルことです。製図室での作業よりは、見学や資料の検索などがより一層重要になります。好きな建築、建築家を見付けることや参考となる作品をどんどん調べて、マネルことから出発し、次第に自分のオリジナリティーを出すように努めてください。

関連科目

設計演習Ⅰ、Ⅱ;a、建築計画基礎、建築計画各論が特に関連するが、専門科目全般が関連科目といえる。

担当者の研究室等

8号館3階 木多教室・大谷准教授室

設計演習Ⅱb Exercises in Architectural Planning and Drawing II				
		本 多 友 常 (ホント トモツネ) 筑 波 幸 一 郎 (チクバ コウイチロウ) 鷹 取 久 (タカトリ ヒサシ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	ロ	後期	必修	3

授業概要・目的・到達目標

〔授業概要・目的〕 交流施設の設計では限定された時間内に条件を分析、設計し、それを的確に図面化することを学ぶ。オフィスビルの設計では実際の建物を調査したり、資料を調べることで計画条件を把握し、設計条件を分析して、建築の設計が建物と敷地、および周辺環境を考慮することであることを学ぶ。美術館の設計では利用者や職員、展示物などの動線計画と外観や景観のデザインについて学習する。〔到達目標〕 (1) 平面計画の理解と設計技術、および正確な図面表記の習得 (2) 建物と周辺との関係についての設計技術の習得 (3) 保存も含めた外観デザイン技術の習得

学科の学習・教育目標との対応：[F]

授業方法と留意点

少人数グループでの個別指導による。授業時間内は担当教員から指導を受けることを優先し、各自のエスキスや製図作業は時

間外にも行う必要がある。また敷地調査や課題に関連する建物の見学や資料 (作品集や雑誌など) 調査なども積極的に行う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オフィスビルの設計
 【内容・方法等】 課題説明・各グループでの指導方針説明など
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第2回 【授業テーマ】 オフィスビルの設計
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第3回 【授業テーマ】 オフィスビルの設計
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第4回 【授業テーマ】 オフィスビルの設計
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第5回 【授業テーマ】 オフィスビルの設計
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第6回 【授業テーマ】 オフィスビルの設計
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導
 【事前・事後学習課題】 オフィスビルの設計
第7回 【授業テーマ】 オフィスビルの設計の講評、および美術館の課題説明
 【内容・方法等】 オフィスビルのプレゼンテーション、講評、および美術館の課題説明など
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第8回 【授業テーマ】 美術館の設計
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第9回 【授業テーマ】 美術館の設計
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第10回 【授業テーマ】 美術館の設計
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第11回 【授業テーマ】 美術館の設計
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第12回 【授業テーマ】 美術館の設計
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第13回 【授業テーマ】 美術館の設計
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第14回 【授業テーマ】 美術館の設計
 【内容・方法等】 各グループでの個別指導
 【事前・事後学習課題】 図面・模型作成
第15回 【授業テーマ】 美術館のプレゼンテーション、講評、および総括
 【内容・方法等】 ・課題全体についての講評、および総合的な指導など
 【事前・事後学習課題】 —————

評価方法 (基準)

各課題ごとの最終提出作品の評価の総合60%以上を合格とする。

教材等

教科書…「初めての建築設計ステップ・バイ・ステップ (建築文化シナジー)」2600円

参考書…なし

学生へのメッセージ

本格的な設計課題です。学ぶことはまずはマネルことです。製図室での作業よりは、見学や資料の検索などがより一層重要になります。好きな建築、建築家を見付けることや参考となる作品をどんどん調べて、マネルことから出発し、次第に自分のオリジナリティーを出せばよい。

関連科目

設計演習Ⅰ、設計演習Ⅱa、建築設計・計画基礎、建築計画各論が特に関連するが、専門科目全般が関連科目といえる。

担当者の研究室等

8号館3階 木多教室・大谷准教授室

設計演習III a Exercises in Architectural Planning and Drawing IIIa				
本多友常 (ホンタ トモツネ) 加嶋章博 (カシマ アキヒロ) 香川貴範 (カガワ タカノリ) 山口尚之 (ヤマグチ ナオユキ) 岩本賀伴 (イワモト ヨシトモ) 長澤浩二 (ナガサワ コウジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	必修	3

授業概要・目的・到達目標
 これまでの設計演習の成果を基に複合的な設計課題に取り組みます。第一課題は集合住宅の設計です。第二課題は、計画内容と表現方法を一定の時間内にまとめる力を訓練します。第三課題は、教育施設の設計です。いずれも、設定された敷地周辺の環境や歴史を読み解いた上で、その場に相応しい建築の有り様を提案します。到達目標は設定テーマについて、必要な構成力を有し、計画内容・アイデア等をわかりやすく美しくプレゼンテーションし、成果物として完成させることです。
 学科の学習・教育目標との対応：[F]

授業方法と留意点
 小人数グループでの個別指導による。演習は製図室でのエスキス、製図に留まらず、見学や調査なども積極的にを行う。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】 集合住宅の設計 (第1回)
 【内容・方法 等】 ・課題説明
 ・グループ分けおよび作業方法の説明
 ・グループ別指導
 【事前・事後学習課題】 調査・図面・模型作成
 集合住宅の事例検討
 - 第2回 【授業テーマ】 集合住宅の設計 (第2回)
 【内容・方法 等】 グループ別個別指導など
 【事前・事後学習課題】 調査・図面・模型作成
 集合住宅の事例検討
 - 第3回 【授業テーマ】 集合住宅の設計 (第3回)
 【内容・方法 等】 グループ別個別指導など
 【事前・事後学習課題】 調査・図面・模型作成
 集合住宅の事例検討
 - 第4回 【授業テーマ】 集合住宅の設計 (第4回)
 【内容・方法 等】 グループ別個別指導など
 【事前・事後学習課題】 調査・図面・模型作成
 集合住宅の事例検討
 - 第5回 【授業テーマ】 集合住宅の設計 (第5回)
 【内容・方法 等】 グループ別個別指導など
 【事前・事後学習課題】 表現手法・図面レイアウトの検討
 - 第6回 【授業テーマ】 集合住宅の設計 (第6回)
 【内容・方法 等】 課題作品の発表と講評
 【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションの方法を検討する。
 - 第7回 【授業テーマ】 集合住宅の設計 (第7回)
 【内容・方法 等】 課題作品に対する提案のあり方についての検討
 【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションの方法を検討する。
 また他者の作品に対する批評を行う。
 - 第8回 【授業テーマ】 一日設計課題
 【内容・方法 等】 ・課題説明
 ・エスキス、設計製図
 ・仕上げ作業
 【事前・事後学習課題】 一日設計課題に必要な検討事項を整理し、自身の設計からプレゼンテーションまでのプロセスを認識する。
 - 第9回 【授業テーマ】 教育施設の設計 (第1回)
 【内容・方法 等】 ・課題説明
 ・グループ分けおよび作業方法の説明
 ・グループ別指導
 【事前・事後学習課題】 調査・図面・模型作成
 教育施設の事例検討
 - 第10回 【授業テーマ】 教育施設の設計 (第2回)
 【内容・方法 等】 グループ別個別指導
 【事前・事後学習課題】 調査・図面・模型作成
 教育施設の事例検討
 - 第11回 【授業テーマ】 教育施設の設計 (第3回)
 【内容・方法 等】 グループ別個別指導
 【事前・事後学習課題】 調査・図面・模型作成
 教育施設の事例検討
 - 第12回 【授業テーマ】 教育施設の設計 (第4回)
 【内容・方法 等】 グループ別個別指導
 【事前・事後学習課題】 調査・図面・模型作成
 教育施設の事例検討
 - 第13回 【授業テーマ】 教育施設の設計 (第5回)

- 第14回 【内容・方法 等】 グループ個別指導
 【事前・事後学習課題】 表現手法・図面レイアウトの検討
 【授業テーマ】 教育施設の設計 (第6回)
 【内容・方法 等】 課題作品の発表と講評
 【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションの方法を検討する。
- 第15回 【授業テーマ】 教育施設の設計 (第7回)
 【内容・方法 等】 課題作品に対する提案のあり方についての検討
 【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションの方法を検討する。
 また他者の作品に対する批評を行う。

評価方法 (基準)
 各課題ごとに作品の評価を行う。到達目標の60点以上を合格とする。

教材等
教科書…川北健雄ほか『初めての建築設計ステップ・バイ・ステップ』彰国社@2600
 日本建築学会編「コンパクト建築設計資料集成」(丸善)@5040
参考書…課題の進捗に応じて適宜紹介する。

学生へのメッセージ
 単体としての建築物のあり方のみならず、地域社会との関係から、いかにより多くの人々に開かれた環境を創造させるかがポイントとなります。

関連科目
 設計演習 I、II a、II b、III b、建築計画系科目が特に関連するが、専門科目全般が関連科目と言える。

担当者の研究室等
 8号館3階 本多教授室・加嶋准教授室

設計演習III b Exercises in Architectural Planning and Drawing IIIb				
佐野潤一 (サノ ジュンイチ) 加嶋章博 (カシマ アキヒロ) 伊熊昌治 (イクマ ショウジ) 今津康夫 (イマツ ヤスオ) 魚谷剛紀 (ウオタニ タケノリ) 畑友洋 (ハタ トモヒロ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択必修	3

授業概要・目的・到達目標
 [授業概要・目的] 一級建築士設計製図試験問題相当のコミュニケーション施設である文化芸術センターの設計では、劇場機能・集会機能の基礎的知識、およびそれらを複合させるための総合的計画技術を学ぶ。次に自由課題では、コンペなどの課題から如何にユニークなコンセプトを考え、その解決策としての斬新なアイデアを発想し、それを如何に図面や模型で魅力的に表現し、さらにはそれを如何にうまくプレゼンテーションするかを学ぶ。
 [到達目標] (1) 劇場の機能・基本構成の習得 (2) 大規模で複雑な内容の施設の総合的計画技術の修得 (3) 課題分析力とコンセプト創出力の習得 (4) デザイン発想力 (5) 図面や模型での表現力の修得 (6) プレゼンテーション力の習得
 学科の学習・教育目標との対応：[F]

授業方法と留意点
 少人数グループを一人の担当教員が指導し、課題ごとに担当者が替わっていく。住宅の設計、交流施設の設計では授業時間は担当教員から指導を受ける時間であり、各自の設計作業、特に草案づくりは授業時間外にも行う必要がある。課題の順番、内容は変更されることがある。

科目学習の効果 (資格)
 建築学科での授業内容を総合的に理解することに役立つとともに、将来の建築士試験のために極めて重要である。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】 文化芸術センターの設計 (第1回)
 【内容・方法 等】 ・課題説明・グループわけおよび作業方法の説明、グループ別指導方針説明など
 【事前・事後学習課題】 ・調査・図面・模型作成
 - 第2回 【授業テーマ】 文化芸術センターの設計 (第2回)
 【内容・方法 等】 ・グループ別個別指導など
 【事前・事後学習課題】 ・調査・図面・模型作成
 - 第3回 【授業テーマ】 文化芸術センターの設計 (第3回)
 【内容・方法 等】 ・グループ別個別指導など
 【事前・事後学習課題】 ・調査・図面・模型作成
 - 第4回 【授業テーマ】 文化芸術センターの設計 (第4回)

- 【内容・方法等】 ・グループ別個別指導など
【事前・事後学習課題】 ・調査・図面・模型作成
【授業テーマ】 文化芸術センターの設計
(第5回)
- 【内容・方法等】 ・グループ別個別指導など
【事前・事後学習課題】 ・調査・図面・模型作成
【授業テーマ】 文化芸術センターの設計
(第6回)
- 【内容・方法等】 ・グループ別個別指導など
【事前・事後学習課題】 ・調査・図面・模型作成
【授業テーマ】 文化芸術センターの設計
(第7回)
- 【内容・方法等】 ・課題の発表と講評
【事前・事後学習課題】 -----
【授業テーマ】 自由課題の設計
(第1回)
- 【内容・方法等】 ・課題説明・グループわけおよび作業方法の説明、グループ別指導方針説明など
【事前・事後学習課題】 ・調査・図面・模型作成
【授業テーマ】 自由課題の設計
(第2回)
- 【内容・方法等】 ・グループ別個別指導など
【事前・事後学習課題】 ・調査・図面・模型作成
【授業テーマ】 自由課題の設計
(第3回)
- 【内容・方法等】 ・グループ別個別指導など
【事前・事後学習課題】 ・調査・図面・模型作成
【授業テーマ】 自由課題の設計
(第4回)
- 【内容・方法等】 ・グループ別個別指導など
【事前・事後学習課題】 ・調査・図面・模型作成
【授業テーマ】 自由課題の設計
(第5回)
- 【内容・方法等】 ・グループ別個別指導など
【事前・事後学習課題】 ・調査・図面・模型作成
【授業テーマ】 自由課題の設計
(第6回)
- 【内容・方法等】 ・グループ別個別指導など
【事前・事後学習課題】 ・調査・図面・模型作成
【授業テーマ】 自由課題の設計
(第7回)
- 【内容・方法等】 ・課題の発表と講評
【事前・事後学習課題】 ---
【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 ・課題全体についての講評と指導
【事前・事後学習課題】 ---
- 評価方法 (基準)**
それぞれの課題の成果物、つまり提出した作品の到達目標の達成度の合計評価60%以上を合格とする。
- 教材等**
教科書…川北健雄ほか『初めての建築設計ステップ・バイ・ステップ』彰国社@2600
日本建築学会編「コンパクト建築設計資料集成」(丸善)@5040
参考書…適宜紹介する
- 学生へのメッセージ**
設計演習は建築学科での学習の総合化であるから、多くの建築事例や文献を研究、見学して、着実に構想力、提案力をつけてください。教員や仲間とのコミュニケーションや意見交換も重要です。
- 関連科目**
建築計画基礎(建築設計・計画基礎)、設計演習I、IIa、IIb、IIIaおよび専門科目全般
- 担当者の研究室等**
8号館3階 佐野教授室・加嶋准教授室

建築ゼミI
Seminar in Architecture I

佐野潤一 (サノ ジュンイチ)
柳沢学 (ヤナギサワ マナブ)
木多彩子 (キタ アヤコ)
上谷宏二 (ウエタニ コウジ)
原克巳 (ハラ カツミ)
本多友常 (ホンタ トモツネ)
加嶋章博 (カシマ アキヒロ)
大谷由紀子 (オオタニ ユキコ)
池内淳子 (イケウチ ジュンコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

建築学は計画・構造系等の広い分野からなり、専任教員の専門分野も多岐にわたる。早期に各教員と身近に接し、建築・都市を計画・設計・生産・維持するために、各分野をどのように学べばよいか、建築学の概要を学び、大学での勉学・調査・研究の仕方を具体例を通して体験する。建築全般について、また学生生活全般にわたって、教員に相談が出来る機会でもある。[到達目標]1) 建築学の概要の把握、2) 大学での勉学の仕方を知る

学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

建築ゼミIでは、各教員に同人数となるようにゼミ分けをする。ここでのゼミ担当者が3年次前期までの担任であり、日常的な質問や相談の窓口になる。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

以下の流れに沿って、各回教員毎の9グループに分かれ、建築・都市に関する課題を模擬的に体験する。

- 〈第1回〉建築学科で学ぶ姿勢について
- 〈第2回〉自分たちの図書館を活用しよう
- 〈第3回〉紙を使って立体を考えよう①
- 〈第4回〉紙を使って立体を考えよう②
- 〈第5回〉地域を歩こう①
- 〈第6回〉地域を歩こう②
- 〈第7回〉模型で考えてみよう①
- 〈第8回〉模型で考えてみよう②
- 〈第9回〉ストローで建築の構造を考えてみよう①
- 〈第10回〉ストローで建築の構造を考えてみよう②
- 〈第11回〉発泡スチロールを用いて梁の性質を考えよう①
- 〈第12回〉発泡スチロールを用いて梁の性質を考えよう②
- 〈第13回〉発泡スチロールを用いて梁の性質を考えよう③
- 〈第14回〉PC環境を活用しよう①
- 〈第15回〉PC環境を活用しよう②

評価方法・評価基準

平常点(75%)、作品・設計・計算書・レポート等の提出物(25%)により判定する。

教材等

教科書…各回の演習教材を配布する。
カッター、カッターマット、カッター定規等を教員の指示に従って用意する。

参考書…必要に応じてプリントを配布、または、資料を紹介する。

備考

【その他(学生へのメッセージ等)】
建築は、古くからの伝統(歴史)、様式、流行、最近の生活習慣、都市問題と法的規制、災害に対する安全性による制約を受けると同時に、その芸術性もまた建築の重要な側面である。社会に貢献する建築家、建築技術者を目指すには、広範に、深く学び、時間をかけて思索する姿勢を培うことが大切である。そのため、のきっかけの場になるものとして、このゼミを位置付けて欲しい。

建築ゼミII
Seminar in Architecture II

佐野潤一 (サノ ジュンイチ)
柳沢学 (ヤナギサワ マナブ)
木多彩子 (キタ アヤコ)
上谷宏二 (ウエタニ コウジ)
原克巳 (ハラ カツミ)
本多友常 (ホンタ トモツネ)
加嶋章博 (カシマ アキヒロ)
大谷由紀子 (オオタニ ユキコ)
池内淳子 (イケウチ ジュンコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

[授業概要・目標] 建築学は計画・環境（*注）・構造・生産など広い分野からなり、それらにつながる職業分野も多岐にわたる。各専任教員が各専門分野の概要などを説明し、関連の演習をおこなうとともに、職業や仕事についても紹介し、社会を知り、技術者のあり方、生き方も併せ考え、キャリアデザインの一助とする。また学内の建物の実測調査、建物各部のスケッチなどにより、建物各部を実感し、スケール感を身につける。さらに調査内容を発表することで、プレゼン能力を高める。これらの作業を通し、担任との、また学生間の交流促進をはかる。

（*注）ゼミIIでは紹介されませんが、環境分野には建築空間にかかわる光・熱・空気・音などの問題を学ぶ建築環境工学と空調などの建築設備学がある。

[到達目標] 1) 建築学の概要を把握する。2) 建築分野における就業イメージを持つ。3) 建物各部の構成とスケール感を身につける。発表能力をつける。

学科の学習・教育目標との対応：(F)

授業方法と留意点

当該担当教員による講義と演習がある。またキャンパス内の建物調査実習、スケッチ、等で建築にとって大切な寸法感覚、仕上げ感覚、空間感覚を養い、合わせて、建物各部の構成等を理解する。

科目学習の効果（資格）

幅広い分野を持つ建築学の各分野の内容を理解できるようになる。同時に、建築の社会がいかなるものか、キャリアデザインの一助になる。建物のスケール感覚、建物各部構成を理解する。一級建築士、二級建築士

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 <学科長・加嶋> ガイダンス、建築・都市史と都市計画
【内容・方法等】 ガイダンス
建築史・都市史・都市計画を学習する行為と建築や都市を創造する行為の関係性について理解を深める。
【事前・事後学習課題】 建築や都市の歴史や計画性について、地域社会における身近な事例に着目してください。
- 第2回** 【授業テーマ】 <木多>図書館で論文探し
【内容・方法等】 図書館を利用し、建築系の学会論文を探し出し、建築系の研究分野を概観する。
【事前・事後学習課題】 日頃から、建築や都市について観察し、不便不満に思う点や疑問に思う点を見つけておく。
- 第3回** 【授業テーマ】 <佐野、本多> 建築意匠分野とキャリアデザイン
【内容・方法等】 建築における意匠の意味、およびその実務における意味や意匠設計プロセスなどについて学ぶ。
【事前・事後学習課題】 建築や都市空間の意匠（デザイン）を実物、雑誌、新聞やネット等で常に関心を持ってみてください。
- 第4回** 【授業テーマ】 <木多、大谷> 建築・住宅計画分野とキャリア・デザイン
【内容・方法等】 *【事前・事後学習】 建築計画は、人間・集団の活動の受け皿としての空間を設計する場合の基礎となる考え方で、デザイン（意匠）や構造・設備と密接な関係にある。よって全ての建築系専門職と、かかわりが深いことを解説する。
*現代の家族や社会の変化を踏まえつつ、住まい手のニーズと住宅供給動向に焦点を当てる。また、それらを取り巻く産業界の最新動向についても学ぶ。
【事前・事後学習課題】 *【事前学習】 日常的に利用している空間で使いやすいさ使いにくさを意識する。
【事後学習】 配布資料から課題を提示する。
*【事前学習】 建築に関する記事や雑誌に目を通す。
【事後学習】 配布資料を再読し、理解を深める。
- 第5回** 【授業テーマ】 <佐野、大谷> 学内建物スケッチ（1）

- 【内容・方法等】 図学における透視図法の基本を踏まえて、キャンパス内の指定された建物(正門)、また各自が選んだ建物をスケッチする。またスケッチをしながら、独自案も考える。なおスケッチ対象の建物、および課題数は変更されることがあります。
- 【事前・事後学習課題】 事前にキャンパスの建物を観察し、描きたい建物や空間のベストアングルとなる場面などを探しておく。
- 第6回** 【授業テーマ】 <佐野、大谷> 学内建物スケッチ（2）
発表会
【内容・方法等】 第5回の建物スケッチなどをベースに、現地で独自のデザインを描く。建物スケッチと独自デザインのスケッチを発表する。
【事前・事後学習課題】 事前にキャンパスの建物を観察し、リニューアルしたい建物を探し、また新たなデザインのために、図書館の資料やネットから資料を探しておく。
- 第7回** 【授業テーマ】 <原> DVD「NHK特集 ピラミッドの謎」を見て感想文作成
【内容・方法等】 古代エジプト文明の技術力とロマンのDVD「NHK特集 ピラミッドの謎」を見て、感想文を書く。
【事前・事後学習課題】 インターネット、図書館などで、関連資料を見る。
- 第8回** 【授業テーマ】 <池内、柳沢> 建築材料・施工分野とキャリア・デザイン
【内容・方法等】 *建材メーカーの動向や取り組みを紹介し、建設業界における位置づけを知る。また、顧客ニーズをとらえる企業戦略を学ぶことで、企業の社会貢献について理解する。
*建物完成までの流れと、建物の施工にかかわる職種や施工管理者の能力などについて学ぶ。
【事前・事後学習課題】 *【事前・事後学習】 新聞等で、建材メーカーの活動事例について目を留め、理解する事。
*【事前学習】 建設会社名を新聞の経済欄（東証、大証）で確認しておく。
【事後学習】 配布資料を再読し、理解を深める。
- 第9回** 【授業テーマ】 <原、加嶋> 建物各部調査（寸法実測、スケッチ）（1）
【内容・方法等】 第1回：キャンパス内建物の調査実習、調査項目は指定箇所を実測調査して、平面図、展開図を作成。また主な寸法、仕上げ材料等を記入する。
教員の指示に従うこと。
【事前・事後学習課題】 建築に関する本や雑誌に目を通し、図面や仕上げの知識を得ておく
- 第10回** 【授業テーマ】 <原、加嶋> 建物各部調査（寸法実測、スケッチ）（2）
発表会
【内容・方法等】 建物各部調査（1）の発表会（学生全員発表）
【事前・事後学習課題】 建築に関する本や雑誌に目を通し、図面や仕上げの知識を得ておく
- 第11回** 【授業テーマ】 <原> 社会と技術者を知るために、DVD「NHKプロジェクトX」を見て、感想文作成
【内容・方法等】 DVD「NHK プロジェクトX」に対する感想文
【事前・事後学習課題】 技術者のありかた、生き方について考える。
- 第12回** 【授業テーマ】 <原、上谷> 構造設計分野とキャリアデザイン
【内容・方法等】 構造分野は建築計画分野とともに建築設計の一翼を担い、建築生産分野においても不可欠な技術分野でもある。この構造分野において構造計画は重要で、構造計画の良し悪しが建築を決定するといっても過言ではない。この視点から古代から現代にいたるまで人間が造ってきた建築物の構造について学ぶ。また、我が国には過去40年の間に2千数百棟にも及ぶ超高層建築が建設されてきた。一方、現在我が国周辺は地震の活動期にあると見られ、建築構造学の視点から、建築構造物の安全性について学ぶ。さらに、構造分野のキャリア・デザインとして、日本における構造設計とそれをとりまく社会について知る。
【事前・事後学習課題】 【事前学習】 建築設計、構造設計とは何かについて自分なりにイメージし考えておくこと。
【事後学習】 配布資料の整理。建築設計、構造設計とは何かについて、もう一度考えること。
- 第13回** 【授業テーマ】 <柳沢、上谷> 構造実験（1） コンクリート試験体製作
【内容・方法等】 コンクリートの基本をなすモルタルを用いて模型梁を製作する。
【事前・事後学習課題】 建築材料Iの「コンクリート」を復習してこること。
- 第14回** 【授業テーマ】 <柳沢、上谷> 構造実験（2） 実験
【内容・方法等】 前に製作したモルタル模型梁に力をかけて力の大きさと壊れ方を確認（観察）する。
【事前・事後学習課題】 構造力学Iaの単純梁の曲げモーメントおよびせん断力を復習してこること。

第15回 【授業テーマ】 <池内、木多> 現在の成績確認とこれからの履修管理
 【内容・方法等】 *建築学科の(成績)達成度状況確認システムの説明と自己確認
 【事前・事後学習課題】 -
評価方法(基準)
 毎回の授業態度等の平常点、課題レポート、および演習の成果物、DVD感想文を総合評価して判定する
 授業に対する姿勢等の平常点・・・・・・・・・・30/180=17%
 学内建物調査、スケッチおよび構造実験等の課題レポートおよび発表プレゼ。・・・・80/180=44%
 講義に対する課題レポート、DVD感想文等・・・・・・・・70/180=39%

教材等

教科書…教材は毎回プリントを配布する。
 その他必要なものは、各教員の指示に従って用意すること。

参考書…授業で紹介

学生へのメッセージ

建築学のさまざまな専門分野を知り、興味を抱くこと、また将来の職業イメージをもつことは日々の学習意欲を高めます。建築ゼミⅡにおいて、担任とのつながりを再確認し、一年間の大学での学習結果などを踏まえて、学習方法や態度を反省するとともにアドバイスなどを受けることも大切です。

関連科目

建築計画、設計演習、鋼構造Ⅰ、Ⅱ、鉄筋コンクリート構造、建築材料Ⅰ

担当者の研究室等

8号館3階 各教員の教授室、准教授室

備考

講義、実習等の順番は変更となる場合がある。その場合は事前に通告するので、掲示等をよく見ること。

建築ゼミⅢ Seminar in Architecture III				
	佐野潤一(サノ ジュンイチ)			
	柳沢学(ヤナギサワ マナブ)			
	木多彩子(キタ アヤコ)			
	上谷宏二(ウエタニ コウジ)			
	原克巳(ハラ カツミ)			
	本多友常(ホンタ トモツネ)			
	加嶋章博(カシマ アキヒロ)			
	大谷由紀子(オオタニ ユキコ)			
	池内淳子(イケウチ ジュンコ)			
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

建築学は、計画・環境・構造系などの分野からなり、9人の専任教員の分野も多岐にわたる。この科目では、4年次の卒業研究を考える第1段階として、専任教員の専門分野に関連する演習にゼミ単位で取り組み、基礎的な知識を修得する。卒業研究に向けた専門分野選択やテーマ選定を行う上で必要な素養を身につけることを到達目標とする。学科の学習・教育目標との対応：[G]

授業方法と留意点

専任教員ごとの9グループ(ゼミ)に分かれ、各教員の専門に関連した演習を行う。従って、ゼミ課題は基本的にゼミごとに異なる。
 ゼミ分けは、およそ各ゼミが同人数とする。その際に本人の希望が優先されるが、1,2年次の成績や修得単位数などを参考に人数調整が行われる場合があるので、日常的な勉学に励むこと。

科目学習の効果(資格)

卒業研究を行うために重要な科目である

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス
 【内容・方法等】 各ゼミで課題や指導方針の説明など
 【事前・事後学習課題】 各ゼミの取り組み方法に合わせた学習課題
- 第2回** 【授業テーマ】 各ゼミの個別課題
 【内容・方法等】 各教員の専門に関連した演習
 【事前・事後学習課題】 各ゼミの取り組み方法に合わせた学習課題
- 第3回** 【授業テーマ】 各ゼミの個別課題
 【内容・方法等】 各教員の専門に関連した演習
 【事前・事後学習課題】 各ゼミの取り組み方法に合わせた学習課題

- 第4回** 【授業テーマ】 各ゼミの個別課題
 【内容・方法等】 各教員の専門に関連した演習
 【事前・事後学習課題】 各ゼミの取り組み方法に合わせた学習課題
- 第5回** 【授業テーマ】 各ゼミの個別課題
 【内容・方法等】 各教員の専門に関連した演習
 【事前・事後学習課題】 各ゼミの取り組み方法に合わせた学習課題
- 第6回** 【授業テーマ】 卒業研究中間発表会の聴講
 【内容・方法等】 4年生の卒業研究中間発表会を聴講し概要を記録する
 【事前・事後学習課題】 卒業研究中間発表会の聴講レポート(ゼミ間共通課題)
- 第7回** 【授業テーマ】 卒業研究中間発表会の聴講
 【内容・方法等】 4年生の卒業研究中間発表会を聴講し概要を記録する
 【事前・事後学習課題】 卒業研究中間発表会の聴講レポート(ゼミ間共通課題)
- 第8回** 【授業テーマ】 各ゼミの個別課題
 【内容・方法等】 各教員の専門に関連した演習
 【事前・事後学習課題】 各ゼミの取り組み方法に合わせた学習課題
- 第9回** 【授業テーマ】 各ゼミの個別課題
 【内容・方法等】 各教員の専門に関連した演習
 【事前・事後学習課題】 各ゼミの取り組み方法に合わせた学習課題
- 第10回** 【授業テーマ】 各ゼミの個別課題
 【内容・方法等】 各教員の専門に関連した演習
 【事前・事後学習課題】 各ゼミの取り組み方法に合わせた学習課題
- 第11回** 【授業テーマ】 各ゼミの個別課題
 【内容・方法等】 各教員の専門に関連した演習
 【事前・事後学習課題】 各ゼミの取り組み方法に合わせた学習課題
- 第12回** 【授業テーマ】 各ゼミの個別課題
 【内容・方法等】 各教員の専門に関連した演習
 【事前・事後学習課題】 各ゼミの取り組み方法に合わせた学習課題
- 第13回** 【授業テーマ】 各ゼミの個別課題
 【内容・方法等】 各教員の専門に関連した演習
 【事前・事後学習課題】 各ゼミの取り組み方法に合わせた学習課題
- 第14回** 【授業テーマ】 卒業研究審査会の聴講
 【内容・方法等】 4年生の卒業研究審査会を聴講し概要を記録する
 【事前・事後学習課題】 卒業研究審査会の聴講レポート(ゼミ間共通課題)
- 第15回** 【授業テーマ】 卒業研究審査会の聴講
 【内容・方法等】 4年生の卒業研究審査会を聴講し概要を記録する
 【事前・事後学習課題】 卒業研究審査会の聴講レポート(ゼミ間共通課題)

評価方法(基準)

平常点30点、ゼミ間共通課題30点、ゼミ課題40点

教材等

教科書…別途、提示する
参考書…別途、提示する

学生へのメッセージ

4年生の卒業研究を考えていく上で、きっかけとなる重要な科目です。

関連科目

建築専門科目全般、一般教養科目、特に人文系、社会科学系

担当者の研究室等

8号館3階 建築学科専任教員(9人)の研究室

備考

4年生の卒業研究中間発表会および卒業研究審査会の日程は、変更の可能性が有る。別途、提示する。

卒業研究 Graduation Thesis				
池内 淳子(イケウチ ジュンコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	6

授業概要・目的・到達目標

建築学は、計画・環境・構造系等の分野からなり、専任教員の専攻も多岐にわたる。摂南大学工学部建築学科で学んできた学習内容を活用し、各々が取り組む課題・テーマを基に研究を行う。到達目標は、各専門分野の基礎知識の習得と課題解決能力の向上である。

学習教育目標との対応：[C][E][G]

授業方法と留意点

専任教員の指導の下、ゼミ方式および個別指導方式とし、中間発表会および卒業論文発表会を実施する。自分のテーマに対し積極的に取り組み、他人のテーマにも関心を持つことで、分析能力や考察能力を向上することが重要である。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【研究テーマ】

自然災害に対する都市の防災力向上に関する研究

【内容】

自然災害に対する都市の防災力向上を目的とし、被害事例や現在実施されている備えに対する調査・分析を行うことで実践的な対策を提案する。

【研究テーマ】

防災教育とその実践に関する研究

【内容】

建築防災に対する普及・啓蒙活動の活発化を目的とし、防災プログラムの開発から実践を通じてコンテンツの評価・検証を行う。

【研究テーマ】

竜巻等突風災害の被害軽減に関する研究

【内容】

過去の竜巻等突風災害に対する人的被害を調査し、その原因追究を通じて被害軽減対策を提案する。

【研究テーマ】

建物周りの流れ場の可視化

【内容】

建物を模擬した模型周りに発生する流れ場の可視化実験を行い、建物形状の違いによる流れ場の違いを明らかにする。

【研究テーマ】

環境共生型社会における建築材料

【内容】

環境共生型社会に適応する建築材料の使用事例を調査・分析し、今後の建築材料のあり方を考察する。

【方法】

各自のテーマにあわせた方法にて行う。

【事前事後学習課題】

各自のテーマ・取り組み方法にあわせた課題を提示する。

評価方法・評価基準

卒業論文および卒業設計の完成度、梗概の完成度、中間発表会および最終発表会に対する評価点を基に総合的に判断する。60点を合格とする。

教材等

教科書…別途、提示する。

参考書…別途、提示する。

備考

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

池内研究室の卒業研究は、構造系からマネージメント・調査計画系にまで広く及びます。最低限、基礎事項である必修科目をきちんと理解する事。また、PCによる解析やGISの操作などが必須なので、情報系科目を履修しておくことが望ましい。

卒業研究 Graduation Thesis				
上 谷 宏 二 (ウエタニ コウジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	6

授業概要・目的・到達目標

建築学は、計画・環境・構造系等の分野からなり、専任教員の専攻も多岐にわたる。摂南大学工学部建築学科で学んできた学習内容を活用し、各々が取り組む課題・テーマを基に研究を行う。到達目標は、各専門分野の基礎知識の習得と課題解決能力の向上である。

学習教育目標との対応：[C][E][G]

授業方法と留意点

専任教員の指導の下、ゼミ方式および個別指導方式とし、中間発表会および卒業論文発表会を実施する。自分のテーマに対し積極的に取り組み、他人のテーマにも関心を持つことで、分析能力や考察能力を向上することが重要である。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【研究テーマ】

構造最適設計法に、生産・施工に関する条件を取り入れるための基礎研究

【内容】

建設に際し生産・施工の現場での作業が円滑に行えなければ、健全な建物を建てることができない。今まで開発してきた構造最適設計法は強力な手段であるが、この点に関して未だ不十分である。この研究では、作業性、施工性に関する条件を調査・分析し、それを最適設計法に取り入れる方法について研究する。

【研究テーマ】

構造最適設計法を組み込んだ対話型設計支援システムの開発に関する基礎研究

【内容】

今まで開発を進めてきた構造最適設計法は、構造設計の実務を強力に支援する能力を備えている。しかし、最適設計法を用いればコンピューターが自動的に優れた設計解を算出してくれるものではない。構造設計者の理念や方針を適切に反映できる機能が必須であり、これを備えた対話型設計支援システムの開発を目指す。この研究では、最適設計法を用いた試設計を実施し、あるべき設計の流れを模索・提案する。

【研究テーマ】

超高層建物の耐震安全性確保に関する研究

【内容】

超高層建物は巨大地震を受けた場合、その下層部に変形が集中する現象（下層部変形集中現象）の生じる可能性がある。下層部変形集中現象を引き起こす原因は「P Δ効果」と呼ばれる幾何学的非線形効果であるが、実務設計の解析でP Δ効果は一切無視されている。本研究では、現存する超高層建物を分類し、典型モデルを作成して解析的検討を加える。また、実行可能な抑止対策を考案・提示する。

【研究テーマ】

コンクリート系構造物の崩壊挙動解析と保有耐力設計への反映に関する研究

【内容】

RC耐震壁は本来優れた耐震要素であり、鉄筋コンクリート構造物の設計での更なる有効利用が期待されている。しかし、RC耐震壁は終局耐力や劣化域挙動の評価が難しいため、実用への障害となっている。本研究では、現在開発中の数値解析プログラムの予測性能を検証し、崩壊挙動解析を行う。その結果を踏まえ、耐震壁付きラーメン架構の保有耐力設計のあり方を考究する。

評価方法・評価基準

卒業論文および卒業設計の完成度、梗概の完成度、中間発表会および最終発表会に対する評価点を基に総合的に判断する。60点を合格とする。

教材等

教科書…別途、提示する。

参考書…別途、提示する。

備考

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

構造系の科目をしっかりと習得していることが望ましい。研究テーマによっては計画系、生産系の基礎知識が求められる場合がある。その他、コンピュータを使いこなす能力が特に求められる。

卒業研究 Graduation Thesis				
大 谷 由 紀 子 (オオタニ ユキコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	6

授業概要・目的・到達目標

建築学は、計画・環境・構造系等の分野からなり、専任教員の専攻も多岐にわたる。摂南大学工学部建築学科で学んできた学習内容を活用し、各々が取り組む課題・テーマを基に研究を行う。到達目標は、各専門分野の基礎知識の習得と課題解決能力の向上である。

学習教育目標との対応：[C][E][G]

授業方法と留意点

専任教員の指導の下、ゼミ方式および個別指導方式とし、中間発表会および卒業論文発表会を実施する。自分のテーマに対し積極的に取り組み、他人のテーマにも関心を持つことで、分析能力や考察能力を向上することが重要である。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【研究テーマ】

人々の生活と空間との関係性について研究

【内容】

都市における人々の生活と諸問題について、空間計画の視点から問題を提起し、安心して暮らせる生活圏のあり方を検討する。具体的には下記のキーワードを中心に、先進的事例や実践事例を取り上げ調査・分析を行うことで諸問題に対する改善策を考察する。

1. 都心居住
2. 住環境計画
3. ライフスタイル
4. まちづくり

評価方法・評価基準

卒業論文および卒業設計の完成度、梗概の完成度、中間発表会および最終発表会に対する評価点を基に総合的に判断する。60点を合格とする。

教材等

教科書…別途、提示する。
参考書…別途、提示する。

備考

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
専門科目全般、教養科目、特に人文・社会関連科目

卒業研究
Graduation Thesis

加 嶋 章 博 (カシマ アキヒロ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	6

授業概要・目的・到達目標

建築学は、計画・環境系、構造・生産系等の分野からなり、専任教員の専攻も多岐にわたる。摂南大学工学部建築学科で学んできた学習内容を活用し、各々が取り組む課題・テーマを基に研究を行う。到達目標は、各専門分野の基礎知識の習得と課題解決能力の向上である。

学習教育目標との対応：[C][E][G]

授業方法と留意点

専任教員の指導の下、ゼミ方式および個別指導方式とし、中間発表会および卒業論文発表会を実施する。自分のテーマに対し積極的に取り組み、他人のテーマにも関心を持つことで、分析能力や考察能力を向上することが重要である。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【研究テーマ】
都市計画遺産・都市計画史・建築遺産・地域資源に関する調査
(内容) 都市計画遺産や都市計画の歴史の変遷ならびに建築遺産、地域の都市建築資源に関する調査および文献研究

【研究テーマ】
都市史、都市形成史、都市社会史、都市観光史に関する研究
(内容) 都市形成、都市拡張、宅地開発、インフラ整備、観光資源、地域資源等に着目した都市の歴史の変遷に関する研究

【研究テーマ】
建築歴史・意匠
(内容) 建築・都市に関する歴史的事例や現存する作品の特徴分析を通して諸問題を考察する。空間造形に対する各自のまなざしを整理・表現する訓練を経て、社会との結びつきを考えながら、地域や利用者にとっての新たな場の提案を探る。課題解決策と表現方法を考察し、図面や模型等によるプレゼンテーションを行う。

評価方法・評価基準

卒業論文および卒業設計の完成度、梗概の完成度、中間発表会および最終発表会に対する評価点を基に総合的に判断する。60点を合格とする。

教材等

教科書…課題に応じて、別途、提示する。
参考書…課題に応じて、別途、提示する。

備考

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
専門科目全般・外国語

卒業研究
Graduation Thesis

木 多 彩 子 (キタ アヤコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	6

授業概要・目的・到達目標

建築学は、計画・環境・構造系等の分野からなり、専任教員の専攻も多岐にわたる。摂南大学工学部建築学科で学んできた学習内容を活用し、各々が取り組む課題・テーマを基に研究を行う。到達目標は、各専門分野の基礎知識の習得と課題解決能力の向上である。

学習教育目標との対応：[C][E][G]

授業方法と留意点

専任教員の指導の下、ゼミ方式および個別指導方式とし、中間発表会および卒業論文発表会を実施する。自分のテーマに対し積極的に取り組み、他人のテーマにも関心を持つことで、分析能力や考察能力を向上することが重要である。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【分野】
建築計画、地域計画
【研究テーマ】
都市における持続的な市街地更新と生活環境形成 他
【内容】

近年の卒業研究タイトルより
○携帯電話の普及による空間利用の変化
○延長保育実施幼稚園における建築計画的整備課題
○中古戸建て住宅の流通実態と地域特性
○須磨ニュータウンにおける地域施設構成の変化と居住者評価
○浴室のインテリアと癒し効果 他

【方法】
各自のテーマにあわせた方法にて行う。
【事前事後学習課題】
各自のテーマ・取り組み方法にあわせた課題を提示する。

評価方法・評価基準

卒業論文および卒業設計の完成度、梗概の完成度、中間発表会および最終発表会に対する評価点を基に総合的に判断する。60点を合格とする。

教材等

教科書…別途、提示する。
参考書…別途、提示する。

備考

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
建築計画・建築設計関連科目

卒業研究
Graduation Thesis

佐 野 潤 一 (サノ ジュンイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	6

授業概要・目的・到達目標

建築学は、計画・環境・構造系等の分野からなり、専任教員の専攻も多岐にわたる。摂南大学工学部建築学科で学んできた学習内容を活用し、各々が取り組む課題・テーマを基に研究を行う。到達目標は、各専門分野の基礎知識の習得と課題解決能力の向上である。

学習教育目標との対応：[C][E][G]

授業方法と留意点

専任教員の指導の下、ゼミ方式および個別指導方式とし、中間発表会および卒業論文発表会を実施する。自分のテーマに対し積極的に取り組み、他人のテーマにも関心を持つことで、分析能力や考察能力を向上することが重要である。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【研究テーマ】
建築計画に関する研究
【内容】
・現代の建築・都市デザインに関する文献(特にサステナブル建築に関する書籍等)の学習
・現代の建築・都市デザインの諸問題を探求、各自テーマを決定する。資料や実例、関連文献を研究の上、課題などを設定。独創的な解決策を考案し表現方法を学習、図面や模型などを作成し、プレゼンテーションする
【事前事後学習課題】
各自のテーマ・取り組み方法にあわせた課題を提示する。

評価方法・評価基準

卒業論文および卒業設計の完成度、梗概の完成度、中間発表会、および最終発表会に対する主査・副査の評価点を基に総合的に判断する。60点を合格とする。

教材等

教科書…別途、提示する。
参考書…別途、提示する。

備考

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
造形演習・計画関連科目・建築史・設計演習科目など

卒業研究
Graduation Thesis

原 克 巳 (ハラ カツミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	6

授業概要・目的・到達目標

建築学は、計画・環境・構造系等の分野からなり、専任教員の専攻も多岐にわたる。摂南大学工学部建築学科で学んできた学習内容を活用し、各々が取り組む課題・テーマを基に研究を行う。到達目標は、各専門分野の基礎知識の習得と課題解決能力の向上である。

学習教育目標との対応：[C][E][G]

授業方法と留意点

専任教員の指導の下、ゼミ方式および個別指導方式とし、中間発表会および卒業論文発表会を実施する。自分のテーマに対し積極的に取り組み、他人のテーマにも関心を持つことで、分析能力や考察能力を向上することが重要である。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【研究テーマ】
空間構造の形態と力の流れ
【内容】

本研究室のテーマはドーム、アーチ、トラス構造、シェル構造、折板構造などの「かたち」と「力の流れ」に関する研究である。自分なりに興味ある形態の空間構造を考え、または採りあげ、その「かたち」と「力の流れ」を構造解析的に把握し、その特徴を明らかにすること。「かたち」と「力の流れ」を研究することで、建築のかたちに対して構造合理性を判別し理解できるようになること。そして構造計画の重要性に触れること。ドームやスペースフレーム等の建築の大空間を覆う空間構造は、その形態と境界構造（境界条件）が力の流れを決定的にする。一方、建築デザインの面でも、構造形態と境界構造は、建築形態を決めるうえで決定的な役割を担っている。これらについて、研究を行う。

授業方法はゼミ方式。概略のスケジュールは次の通り。
卒研生は4月5月6月の期間：①共通課題に取り組む。②自分のテーマを見出す。7月8月9月の期間：自分のテーマを追求し中間報告をまとめる。

10月：学科の中間発表。11月12月1月の期間：卒研成果品にまとめる。2月：最終発表、最終評価

なお、担当教員（原）と個人面談を適宜行う。（2回程度/月）卒研ゼミの時間帯（4時限/週）は必ず出席のこと。やむを得ず欠席の場合は、事前に連絡のこと。

基本的には自分で積極的に卒研を進めること。
留意点：構造解析は解析プログラムを使用するので、解析理論の勉強と使い方に早く精通すること。解析の前処理、後処理、および構造断面の検討は自分でエクセルを組んで行うので、エクセルに早く精通すること。

卒研ゼミでは頻繁に個人発表を行うが、その時はパワーポイント（PPT）で行う。

評価方法・評価基準

卒業論文および卒業設計の完成度、梗概の完成度、中間発表会および最終発表会に対する評価点を基に総合的に判断する。60点を合格とする。

教材等

教科書…卒研ゼミで、適宜配布する資料。
参考書…卒研ゼミで、適宜配布する資料。および適宜指示する。

備考

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
構造力学Ⅰa、Ⅰb、Ⅱa、Ⅱc、鋼構造Ⅰ、Ⅱ、構造デザイン入門、建築施工Ⅰ、Ⅱ 鉄筋コンクリート構造Ⅰ、Ⅱ

卒業研究 Graduation Thesis				
柳 沢 学 (ヤナギサワ マナブ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	6

授業概要・目的・到達目標

建築学は、計画・環境・構造系等の分野からなり、専任教員の専攻も多岐にわたる。摂南大学工学部建築学科で学んできた学習内容を活用し、各々が取り組む課題・テーマを基に研究を行う。到達目標は、各専門分野の基礎知識の習得と課題解決能力の向上である。
学習教育目標との対応：[C][E][G]

授業方法と留意点

専任教員の指導の下、ゼミ方式および個別指導方式とし、中間発表会および卒業論文発表会を実施する。自分のテーマに対し積極的に取り組み、他人のテーマにも関心を持つことで、分析能力や考察能力を向上することが重要である。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【研究テーマ】
現場生産性向上のための鉄筋コンクリート造建物構成部材（主に、柱、はり、耐震壁）の構造性能に関する実験的研究
【内容】

特に、プレキャスト部材に関する構造性能を確認する実験研究を行う。

【研究テーマ】
構造材料に関する材料特性調査研究
【内容】

新しい構造材料の調査を行う基礎的研究。

【研究テーマ】
建物の耐震補強方法に関する調査研究
【内容】

できるだけ簡便な単身補強方法の提案を行い、実験的に構造性能を確認する。

【方法】
各自のテーマにあわせた方法にて行う。
【事前事後学習課題】
各自のテーマ・取り組み方法にあわせた課題を提示する。

評価方法・評価基準

卒業論文および卒業設計の完成度、梗概の完成度、中間発表会および最終発表会に対する評価点を基に総合的に判断する。60点を合格とする。

教材等

教科書…鉄筋コンクリート構造Ⅰ、Ⅱの教科書
建築材料Ⅰの教科書
鋼構造Ⅰ、Ⅱの教科書
構造実験の教科書

参考書…日本建築学会「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」その他、指示する。

備考

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
建築材料Ⅰ・Ⅱ
鉄筋コンクリート構造Ⅰ・Ⅱ
鋼構造Ⅰ・Ⅱ
構造実験
構造関連科目

卒業研究 Graduation Thesis				
本 多 友 常 (ホント トモツネ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	6

授業概要・目的・到達目標

建築学は、計画・環境・構造系等の分野からなり、専任教員の専攻も多岐にわたる。摂南大学理工学部建築学科で学んできた学習内容を活用し、各々が取り組む課題・テーマを基に研究を行う。到達目標は、各専門分野の基礎知識の習得と課題解決能力の向上である。
学習教育目標との対応：[C][E][G]

授業方法と留意点

専任教員の指導の下、ゼミ方式および個別指導方式とし、中間発表会および卒業論文発表会を実施する。自分のテーマに対し積極的に取り組み、他人のテーマにも関心を持つことで、分析能力や考察能力を向上することが重要である。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【研究テーマ】
自然発生的建築の持続性
医療・福祉施設計画
建築空間デザイン実践論

【内容】
過疎高齢化集落の環境調査
民家実測調査・提案
応急仮設住宅の構造開発
木造建築デザインの設計提案

【方法】
木造建築実測調査
各自のテーマに合わせた設計競技への参加
地域環境特性把握のための環境カルテ作成

【事前事後学習課題】
ゼミにおける各自の研究テーマの発表資料を作成すること

評価方法・評価基準

卒業論文および卒業設計の完成度、梗概の完成度、中間発表会および最終発表会に対する評価点を基に総合的に判断する。60点を合格とする。

教材等

教科書…別途、提示する。
参考書…別途、提示する。

備考

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
建築史関連科目、構造力学・構造基礎、計画関連科目

古典文学から学ぶ
Classic Literature

細川 知佐子 (ホソカワ チサコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この講義では『百人一首』を読んでいきます。まず、文学作品としての位置づけを行ったうえで、和歌の鑑賞を通して、我々現代人が忘れてしまった自然と共生する力や方法、また今も昔も変わらない心情などを学びましょう。古典作品は断絶した遠い過去の遺物ではありません。自ら作品に近づき親しむことにより、現代の文学作品と同様に多くの知見や感動を得ることができます。和歌の断片的な知識ではなく、作品としての総合的な理解が目標です。

学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

講義形式です。不定期に小テストを行い、平常点（出席点）とします。

科目学習の効果（資格）

大学生として必要最低限の「古典文学」の知識を身につけることができます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 授業の目的、方法の説明
【事前・事後学習課題】 『百人一首』を読む
- 第2回 【授業テーマ】 作品としての『百人一首』1
【内容・方法 等】 『百人一首』の成立と謎
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第3回 【授業テーマ】 作品としての『百人一首』2
【内容・方法 等】 江戸時代を中心にした『百人一首』の後世の受容
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第4回 【授業テーマ】 作品としての『百人一首』3
【内容・方法 等】 『百人一首』の構成と和歌を読むための基礎知識
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第5回 【授業テーマ】 四季歌を読む 春1
【内容・方法 等】 春の歌を読みます
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第6回 【授業テーマ】 四季歌を読む 春2
【内容・方法 等】 桜の歌を読みます
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第7回 【授業テーマ】 四季歌を読む 夏
【内容・方法 等】 夏の歌を読みます
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第8回 【授業テーマ】 四季歌を読む 秋1
【内容・方法 等】 秋の歌を読みます
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第9回 【授業テーマ】 四季歌を読む 秋2
【内容・方法 等】 秋の月歌を読みます
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第10回 【授業テーマ】 四季歌を読む 冬
【内容・方法 等】 冬の歌を読みます
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第11回 【授業テーマ】 恋歌1
【内容・方法 等】 月を用いた恋歌を読みます
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第12回 【授業テーマ】 恋歌2
【内容・方法 等】 名所（歌枕）を用いた恋歌を読みます
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第13回 【授業テーマ】 雑歌2
【内容・方法 等】 友情をテーマにした歌を読みます
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第14回 【授業テーマ】 雑歌2
【内容・方法 等】 人生をテーマにした歌を読みます
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第15回 【授業テーマ】 授業の総括
【内容・方法 等】 『百人一首』の意義と他の文学作品との関わり
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む

評価方法（基準）

平常点（主に小テスト）と試験によって、総合的に評価します。（平常点30%、定期試験70%）

教材等

教科書…資料を配付します。

参考書…適宜、講義のなかで紹介します。

学生へのメッセージ

和歌が持つ美しいリズムを味わい、千年前の人々からのメッセージを受け取りましょう。

関連科目

日本語読解

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

近代文学から学ぶ
Modern Literature

細川 知佐子 (ホソカワ チサコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この講義では明治以降現代までの新聞小説を、朝日新聞を中心に読んでいきます。時代順に読むことにより、新聞小説が持つ役割の変化を考えましょう。時代の中における文学としての役割、新聞紙上での役割など、複数の視点で捉えるようになることが目標です。

学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

講義形式ですが、不定期に小テストを行います。小テストが平常点となります。

科目学習の効果（資格）

大学生として最低限の教養を身につけることができます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 本講義に臨むための基本姿勢と注意点について説明します
【事前・事後学習課題】 特になし
- 第2回 【授業テーマ】 新聞小説とは何か
【内容・方法 等】 新聞小説の歴史について学びます
【事前・事後学習課題】 配布資料を読む
- 第3回 【授業テーマ】 明治時代の新聞小説1
【内容・方法 等】 黎明期（明治30年まで）の新聞小説について
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第4回 【授業テーマ】 明治時代の新聞小説2
【内容・方法 等】 明治31年以降の新聞小説を読みます
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第5回 【授業テーマ】 明治時代の新聞小説3
【内容・方法 等】 夏目漱石を中心に読みます
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第6回 【授業テーマ】 大正時代の新聞小説1
【内容・方法 等】 大正時代の新聞小説の特色
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第7回 【授業テーマ】 大正時代の新聞小説2
【内容・方法 等】 島崎藤村、谷崎潤一郎などを読みます
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第8回 【授業テーマ】 昭和初期の新聞小説1
【内容・方法 等】 昭和初期の新聞小説の特色
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第9回 【授業テーマ】 昭和初期の新聞小説2
【内容・方法 等】 武者小路実篤、菊池寛などを読みます。
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第10回 【授業テーマ】 戦前の新聞小説
【内容・方法 等】 戦前の新聞小説の特色を考え、作品を読みます。
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第11回 【授業テーマ】 戦後の新聞小説1
【内容・方法 等】 戦後の新聞小説の特色と作品を読みます
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第12回 【授業テーマ】 戦後の新聞小説2
【内容・方法 等】 太宰治、石坂洋二郎、三島由紀夫などを読みます
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第13回 【授業テーマ】 現代の新聞小説1
【内容・方法 等】 現代の新聞小説の特色と作品を読みます
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第14回 【授業テーマ】 現代の新聞小説2
【内容・方法 等】 有吉佐和子、司馬遼太郎、松本清張などを讀みます
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第15回 【授業テーマ】 現代の新聞小説3とまとめ
【内容・方法 等】 宮部みゆき、重松清などを讀み、新聞小説の役割について考えます
【事前・事後学習課題】 配布資料を読む

評価方法（基準）

平常点と試験によって、総合的に評価します。（平常点30%、定期試験70%）

教材等

教科書…資料を配付します。

参考書…適宜、講義のなかで紹介します。

学生へのメッセージ

新聞小説というジャンルを認識することで、社会と文学との関わりを考えてみましょう。また、授業で学んだ作品を少なくとも一冊は読むこと。

関連科目

日本語読解

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

日本語読解
Japanese Reading

松尾 佳津子 (マツオ カヅコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

日々、何を読んでいますか？ また、日々、何をしていますか？ 何を学ぶにせよ、また学生であれ社会人であれ、「文章を読む」ということを避けて通るわけにはいきません。仲間内でだけ通じる会話や話し言葉でなく、書き言葉を通じてしか手に入らないものがあります。それをぜひ身につけてほしいと願っています。さまざまなジャンルの文章を素材として語句や表現を学び、自分なりの感想を持ちそれを発信する、というトレーニングを積んでみましょう。

語句の知識を増やして定着させること、表現に着目した読解トレーニングを積むこと、読解した内容に対して自分なりの考えを表現できること。この三つの力を磨くことを目標とします。学科の学習・教育目標との対応：「C」

授業方法と留意点

◇毎回、語句チェックを通じて語彙力を磨きます（授業前半）。また毎回、素材となる文章を配布し、プリント形式で読解授業を進めます（授業後半）。

◇授業中に随時課題を提示しますので、それらに取り組むことで積極的な取り組みをあなたに要求します。友人の回答の引き写しなど、課題に取り組む態度に不備のある場合は、出席と認めません。

科目学習の効果（資格）

「日本語文章能力検定」などの公的資格もありますが、自分のことばに自覚的である感性を養うことが何よりの学習効果です。文章を味読し、自分の考えを文章化し、他者に発信するトレーニングは、積極的に取り組むことで、日々のレポート作成や、就職活動のための種々の文章作成の下地作りにもなるでしょう。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** エッセイ（1）
【内容・方法 等】 叙情的、軽妙洒脱など、さまざまなタイプの作品に触れる。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第2回 **【授業テーマ】** エッセイ（2）
【内容・方法 等】 叙情的、軽妙洒脱など、さまざまなタイプの作品に触れる。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第3回 **【授業テーマ】** エッセイ（3）
【内容・方法 等】 叙情的、軽妙洒脱など、さまざまなタイプの作品に触れる。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第4回 **【授業テーマ】** 文語的な文章（1）
【内容・方法 等】 やや古めかしい言い回しに触れて独特の雰囲気を楽しむ。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第5回 **【授業テーマ】** 文語的な文章（2）
【内容・方法 等】 やや古めかしい言い回しに触れて独特の雰囲気を楽しむ。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第6回 **【授業テーマ】** 文語的な文章（3）
【内容・方法 等】 やや古めかしい言い回しに触れて独特の雰囲気を楽しむ。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第7回 **【授業テーマ】** 近代の小説（1）
【内容・方法 等】 有名作品の一部を読み、梗概や時代背景に触れる。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第8回 **【授業テーマ】** 近代の小説（2）
【内容・方法 等】 有名作品の一部を読み、梗概や時代背景に触れる。

【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

- 第9回 **【授業テーマ】** 近代の小説（3）
【内容・方法 等】 有名作品の一部を読み、梗概や時代背景に触れる。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第10回 **【授業テーマ】** 実用的な文章（1）
【内容・方法 等】 手紙文やビジネス文書を「読解」してみる。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第11回 **【授業テーマ】** 実用的な文章（2）
【内容・方法 等】 手紙文やビジネス文書を「読解」してみる。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第12回 **【授業テーマ】** 実用的な文章（3）
【内容・方法 等】 手紙文やビジネス文書を「読解」してみる。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第13回 **【授業テーマ】** 韻文（1）
【内容・方法 等】 身近な歌の「歌詞」を作品として「読解」してみる。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第14回 **【授業テーマ】** 韻文（2）
【内容・方法 等】 身近な歌の「歌詞」を作品として「読解」してみる。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第15回 **【授業テーマ】** 韻文（3）
【内容・方法 等】 身近な歌の「歌詞」を作品として「読解」してみる。
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

評価方法（基準）

◇講義中に作成する小レポートが出席確認を兼ねます。近年散見する代筆提出については、代筆者・被代筆者共、成績処理時に大幅減点します。

◇最終成績は、定期試験の結果7割と小レポートの回答状況3割とを合わせて判断します。

◇私語・飲食・頻繁な離席・他授業の課題作成・居眠りなど、受講態度の著しく悪い学生には退室を指示して当日の出席は無効とし、さらに状況に応じてマイナス評価を下します。また、回収した小レポートの回答状況が著しく悪い場合も、当日の出席は無効とします。

◇出席不良者は、原則として成績評価を行いません。

教材等

教科書…プリント授業です。

参考書…毎回のプリントの中で提示していきます。

学生へのメッセージ

「本を読むのはキライ」という気持ちを捨てて講義に臨んで下さい。私があなたに求めているのは「今までの知識の積み重ね」ではなく、「自分のことばに自覚的になること、自分のことばで考えること」です。正解のない世界で「自分の答え」を手探りしてみましょう。

関連科目

こういった方面に興味のある人は、他に「文学から学ぶ」や「日本語表現」などを学ぶことで、より理解を深めることができるでしょう。

担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

日本語表現
Japanese Representation

松繁 弘之 (マツシゲ ヒロユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

授業の内容は小論文の読解と作成です。表記法と文章構成法を基礎から学ぶとともに、小論文の要約や作成の練習をします。それによって、正確な表記と的確な表現ができるようになることが目標です。また、常用漢字の復習も行います。

学科の学習・教育目標との対応：「C」

授業方法と留意点

講義と演習によって行います。

科目学習の効果（資格）

公的な表現（レポートや就職活動での小論文）での文章表現に不安がなくなります。また、漢検2級の漢字が習得できます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 導入
【内容・方法等】 授業についての説明
【事前・事後学習課題】 教科書の前書きと目次を読む
- 第2回 【授業テーマ】 表記法
【内容・方法等】 文字・記号・空白について
【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第3回 【授業テーマ】 文体(1)
【内容・方法等】 文体の種類について
【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第4回 【授業テーマ】 文体(2)
【内容・方法等】 普通体について
【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第5回 【授業テーマ】 書き言葉(1)
【内容・方法等】 書き言葉と話し言葉について
【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第6回 【授業テーマ】 書き言葉(2)
【内容・方法等】 書き言葉に特有の語彙について
【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第7回 【授業テーマ】 正しい構造の文(1)
【内容・方法等】 主語・述語について
【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第8回 【授業テーマ】 正しい構造の文(2)
【内容・方法等】 修飾語について
【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第9回 【授業テーマ】 文のつながり(1)
【内容・方法等】 文と文の関係について
【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第10回 【授業テーマ】 文のつながり(2)
【内容・方法等】 接続詞について
【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第11回 【授業テーマ】 小論文によく使われる表現
【内容・方法等】 小論文に特有な語句について
【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第12回 【授業テーマ】 段落(1)
【内容・方法等】 中心文と支持文について
【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第13回 【授業テーマ】 段落(2)
【内容・方法等】 段落の構成について
【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第14回 【授業テーマ】 要約文(1)
【内容・方法等】 要約文の作成法について
【事前・事後学習課題】 漢字の復習
- 第15回 【授業テーマ】 要約文(2)
【内容・方法等】 中心段落と支持段落について
【事前・事後学習課題】 漢字の復習

評価方法(基準)

漢字練習(40%)、提出課題(50%)、授業態度(10%)

教材等

教科書…友松悦子『小論文への12のステップ』スリーエーネットワーク(1,600円+税)

参考書…必要に応じて授業で紹介します。

学生へのメッセージ

何事も練習しなければ上達しません。

関連科目

日本語読解

担当者の研究室等

7号館2階 非常勤講師室

人間力と心理 Human Capability and Psychology				
毛 新 華 (モウ シンカ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

心理学は、人間の行動を予測することを究極的な目標としている。私たちは、これまでに得られた心理学的知見を学ぶことで、自己と他者、そして自分の周囲を取り巻く社会を科学的な視点から見直すことができる。

到達目標：以下の項目の理解を目標とする。

- 1) 心理学という学問に対する理解
- 2) 情報を捉えるメカニズム
- 3) 自己を探求するための手がかり

学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

講義方式で適宜資料を配布する。講義中には、視聴覚教材やデモンストレーションなども取り入れる。また心理学的知見を実際に体感するため、心理実験や調査も行う予定にしているため、積極的に参加すること。

科目学習の効果(資格)

講義を通して自己理解・他者理解を深め、自分と社会との関わり

りを考えるきっかけを得ることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法等】 授業概要、目的、内容、授業の進め方、授業のルール、評価基準について説明します。
【事前・事後学習課題】 身の回りで起きているさまざまなことについて心理学的に考える習慣をつけましょう。
- 第2回 【授業テーマ】 心理学概論
【内容・方法等】 心理学の歴史、発展、学派、研究対象、研究方法、研究分野について概説します。
【事前・事後学習課題】 心理学に対するこれまでのイメージと比較しながら、新たに認識した心理学を考えましょう。
- 第3回 【授業テーマ】 心と脳
【内容・方法等】 心と脳、脳と行動、脳の特徴・構造、部位の損傷と症状、脳波と自律系反応、睡眠と夢、記憶と脳、発達と脳について解説します。
【事前・事後学習課題】 脳に関する写真・ビデオなどを図書館などで見つけ、授業内容を映像で理解してください。
- 第4回 【授業テーマ】 知覚のプロセス(1)
【内容・方法等】 感覚(視覚・聴覚・味覚・嗅覚・皮膚感覚)の種類と特性、感覚の役割・相互作用・基本特性について解説します。
【事前・事後学習課題】 教科書の第2章を事前に予習しましょう。
- 第5回 【授業テーマ】 知覚のプロセス(2)
【内容・方法等】 知覚の体系化、知覚の恒常性、距離・奥行き・動きの知覚、知覚から認知へについて解説します。
【事前・事後学習課題】 関連する映像資料を紹介するので、視聴してください。
- 第6回 【授業テーマ】 学習理論
【内容・方法等】 学習とは、学習の方法、古典的条件づけ、オペラント条件づけ、二つの条件づけの違いについて解説します。
【事前・事後学習課題】 例を挙げながら、二つの条件づけの違いについてA4用紙にまとめて提出してください。
- 第7回 【授業テーマ】 心の構造
【内容・方法等】 精神分析理論、局所論、構造論、エディプス・コンプレックスについて解説します。
【事前・事後学習課題】 教科書の第8章を事前に予習しましょう。
- 第8回 【授業テーマ】 パーソナリティ
【内容・方法等】 精神分析学とパーソナリティ、外見とパーソナリティ、類型論、特性論、血液型とパーソナリティについて解説します。
【事前・事後学習課題】 教科書の第6章を読んで、要約をA4用紙にまとめて、提出してください。
- 第9回 【授業テーマ】 自己の形成
【内容・方法等】 自己概念の形成、他者の評価、自己知覚、上方比較、下方比較について解説します。
【事前・事後学習課題】 例を挙げながら、自己概念はどのように作り上げたかを説明するレポートを作成してください。
- 第10回 【授業テーマ】 自尊感情(1)
【内容・方法等】 自尊感情とは、自尊感情を脅かすもの(可能自己・理想自己・当為自己・セルフ・ディスクレパンシー)、ソシオメーター理論について解説します。
【事前・事後学習課題】 自尊感情の心理テストを答え、配布する関係資料と照らし合わせ、自分の自尊心を測定します。
- 第11回 【授業テーマ】 自尊感情(2)
【内容・方法等】 自尊感情の維持と高揚(利己的帰属・セルフ・ハンディキャッピング・防衛的悲観主義・栄光浴)自尊感情の文化比較(自己高揚・自己卑下)、自尊感情の存在意義について解説します。
【事前・事後学習課題】 紹介する文献を読んで、感想文をまとめて、提出してください。
- 第12回 【授業テーマ】 自己表現
【内容・方法等】 自己制御(客体的自覚状態・没個性化状態・公的自己・私的自己)、自己表現(自己開示・自己呈示・ジョハリの窓について)について解説します。
【事前・事後学習課題】 第7章の後半部分を事前に予習してください。
- 第13回 【授業テーマ】 印象形成
【内容・方法等】 中心特性と周辺特性説、初頭効果と新近効果説、ステレオタイプ、第一印象について解説します。
【事前・事後学習課題】 紹介する関連文献リストから一冊を選び、読んでおきましょう。
- 第14回 【授業テーマ】 健康と適応
【内容・方法等】 心の健康と身体の健康、ストレスと健康、心の健康と適応
【事前・事後学習課題】 自分なりに、半期の内容からもっとも関心深いテーマを選び、レポートにまとめてください。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 授業後、教科書およびこれまで配布したプリントに基づき、すべての内容を復習してください。

評価方法 (基準)

原則として出席率80%以上の学生のみを成績評価の対象とする。小レポート、学期末試験の結果を総合し、到達目標の理解度によって可否を判定する。

【定期試験60%、レポート20%、小テスト20%】

教材等

教科書…大坊郁夫編『わたしそしてわれわれ ミレニアムバージョン』

北大路書房 (¥2,500+税)

参考書…講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

心理学は、みなさんが想像しているよりもはるかに幅広い領域を扱っており、人間の社会生活の全てを研究対象としていると言っても過言ではありません。講義を通じ、自分を取り巻く社会と結びつけて考えることによって理解を深めて下さい。

関連科目

「心理と社会」も併せて履修することが望ましい。

担当者の研究室等

11号館6階 経営学部事務室

心理と社会 Psychology and Society				
牧野幸志 (マキノ コウジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

心理学は、心と行動の科学であるといわれる。人間の心と行動との関係について、知覚、認知、教育、社会など多側面から考えていく。「心理と社会」では特に現代社会や社会情勢と人の行動との関わりについて解説していく。到達目標：1)社会が個人に与える影響を理解する。2)個人が社会に与える影響を理解する。3)社会の中のコミュニケーションについて理解を深める。学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

パワーポイントによるプレゼンテーション形式で講義を行う。第1回授業で授業ルールなどについて説明するので必ず参加すること。

科目学習の効果 (資格)

社会変化が個人と集団の心理や行動にどのような影響を及ぼすのかを理解し、それにどのように対応すべきかなどの能力を身につける。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 授業内容、授業方法について説明します。社会と心理との関係
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習
- 第2回 【授業テーマ】 社会と心理学
【内容・方法 等】 社会心理学の歴史と課題
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習
- 第3回 【授業テーマ】 社会的認知と集団心理
【内容・方法 等】 原因帰属
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習
- 第4回 【授業テーマ】 自己の社会化と動機づけ
【内容・方法 等】 自己知覚理論
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習
- 第5回 【授業テーマ】 態度と態度変容
【内容・方法 等】 説得と態度変化
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習
- 第6回 【授業テーマ】 対人行動
【内容・方法 等】 攻撃と援助行動
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習
- 第7回 【授業テーマ】 社会の中の対人関係
【内容・方法 等】 印象形成、関係維持、関係崩壊
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習
- 第8回 【授業テーマ】 対人関係と健康
【内容・方法 等】 ストレッサーとコーピング
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習
- 第9回 【授業テーマ】 対人関係と幸福
【内容・方法 等】 ソーシャル・サポート
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習
- 第10回 【授業テーマ】 社会的影響

【内容・方法 等】 同調と服従

【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習

第11回 【授業テーマ】 集団の影響

【内容・方法 等】 社会的促進と社会的手抜き
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習

第12回 【授業テーマ】 集団過程

【内容・方法 等】 集団における意思決定
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習

第13回 【授業テーマ】 集合と群衆

【内容・方法 等】 群衆行動の生起メカニズム
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習

第14回 【授業テーマ】 流言と流行

【内容・方法 等】 噂の心理、流行の心理
【事前・事後学習課題】 教科書該当箇所の予習
授業内容の復習

第15回 【授業テーマ】 小テスト

【内容・方法 等】 小テストの実施
【事前・事後学習課題】

評価方法 (基準)

授業に出す課題レポート(上限20%)、小テスト(80%)により判断します。

教材等

教科書…「ミニマムエッセンス社会心理学」和田実編著 北大路書房(1900円)

参考書…講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

人は社会の中で生きています。人は集団に流されたり、社会に踊らされたりします。そのようなときにどのような心理が働いているのかを解説していきます。

関連科目

「人間力と心理」と関連する。「人間力と心理」を受講した後に本授業を受けて欲しい。

担当者の研究室等

11号館7階 牧野(幸)准教授室

備考

他人に迷惑となる行為(遅刻、私語、居眠り、内職、スマホ・携帯電話の使用など)を禁止します。

実践の思想 Ideas for Practice				
島田喜行 (シマダ ヨシユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本講義では、現代の日本人が持っている行動規範の源流を辿り直すことから、専門技術者を目指す者が身につけておくべき職業観と倫理観を学ぶ。具体的には、今日の産業社会を考える際のキーワードの一つである「持続可能性sustainability」について、江戸時代の森林保護思想(熊沢蕃山と安藤昌益)を通じて理解する。また、柳宗悦の「民藝」思想を通じて職人の手仕事、匠の技の卓越性と工芸の用と美に触れる。さらに、三木清の「技術哲学」から「技術」の思想とその理論的背景を理解し、自然と人間とがより善く共生できる社会の実現を目指す技術者のマナーと倫理を学ぶ。到達目標：以下の項目の理解を到達目標とする。1.sustainabilityと技術 2.民藝思想にみる職人の技と矜持 3.自然との共生を目指す技術者倫理
学科の学習と教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

ノート講義形式

科目学習の効果 (資格)

日本の伝統的な職業観と思想に触れることから、現代の技術者が身につけるべきことは何か、見習うべきことは何かという問いに対して自主的に取り組めるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 講義の説明
【事前・事後学習課題】 とくになし
- 第2回 【授業テーマ】 科学技術について (1)
【内容・方法 等】 手塚治虫の鉄腕アトムが問いかけるもの
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第3回 【授業テーマ】 科学技術について (2)
【内容・方法 等】 科学技術の起源、科学技術と進歩思想
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第4回 【授業テーマ】 自然と技術

- 【内容・方法等】 自然と技術の関係
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
【授業テーマ】 江戸時代の森林保護思想 (1)
【内容・方法等】 sustainabilityとは何か、環境破壊と人間性の問題
- 第5回
- 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
【授業テーマ】 江戸時代の森林保護思想 (2)
【内容・方法等】 熊沢蕃山思想
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
【授業テーマ】 江戸時代の森林保護思想 (3)
【内容・方法等】 安藤昌益思想
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
【授業テーマ】 柳宗悦思想 (1)
【内容・方法等】 現代社会と道具
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
【授業テーマ】 柳宗悦思想 (2)
【内容・方法等】 民藝と手仕事、匠の技と品物の性質
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
【授業テーマ】 柳宗悦思想 (3)
【内容・方法等】 工藝文化について
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
【授業テーマ】 社会と技術
【内容・方法等】 技術者にとって技術とは何か
【事前・事後学習課題】 予習 「技術者倫理綱領」の解説を読む
- 第6回
- 第7回
- 第8回
- 第9回
- 第10回
- 第11回
- 第12回
- 第13回
- 第14回
- 第15回

評価方法 (基準)
 定期試験60%、平常点 (コメントペーパー、受講態度、出席状況) 40%の割合で総合的に評価する。

教材等
教科書…公益社団法人日本技術士会のホームページにある「技術者倫理綱領」の解説をダウンロードしておくこと
参考書…加藤尚武『技術と人間の倫理』NHKライブラリー、1996年。
 柳宗悦『民藝とは何か』講談社学術文庫、2006年。その他、講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
 日本の伝統的な「ものの見方」と「立ち居振る舞い方」に触れ、現代社会を主体的に生きていくためのヒントを発見してください。
 私語、携帯電話の使用等で講義を妨害する行為を行った者は、平常点評価をゼロとする。大学生にふさわしい態度で講義に臨むことを求めます。

関連科目
 哲学から学ぶ
担当者の研究室等
 非常勤講師室

実践の思想 Ideas for Practice				
島田喜行 (シマダ ヨシユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 本講義では、現代の日本人が持っている行動規範の源流を辿り直すことから、専門技術者を目指す者が身につけておくべき職業観と倫理観を学ぶ。
 具体的には、今日の産業社会を考える際のキーワードの一つである「持続可能性sustainability」について、江戸時代の森林保護思想 (熊沢蕃山と安藤昌益) を通じて理解する。また、柳宗悦の「民藝」思想を通じて職人の手仕事、匠の技の卓越性と工藝の用と美に触れる。さらに、三木清の「技術哲学」から「技術」の思想とその理論的背景を理解し、自然と人間とがより善く共生できる社会の実現を目指す技術者のマナーと倫理を学ぶ。
到達目標：以下の項目の理解を到達目標とする。1.sustainabilityと技術 2.民藝思想にみる職人の技と矜持 3.自然との共生を目指す技術者倫理
 学科の学習と教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点
 ノート講義形式
科目学習の効果 (資格)
 日本の伝統的な職業観と思想に触れることから、現代の技術者が身につけるべきことは何か、見習うべきことは何かという問いに対して自主的に取り組めるようになる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 **【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容・方法等】 講義の説明
【事前・事後学習課題】 とくになし
- 第2回 **【授業テーマ】** 科学技術について (1)
【内容・方法等】 手塚治虫の鉄腕アトムが問いかけるもの
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第3回 **【授業テーマ】** 科学技術について (2)
【内容・方法等】 科学技術の起源、科学技術と進歩思想
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第4回 **【授業テーマ】** 自然と技術
【内容・方法等】 自然と技術の関係
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第5回 **【授業テーマ】** 江戸時代の森林保護思想 (1)
【内容・方法等】 sustainabilityとは何か、環境破壊と人間性の問題
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第6回 **【授業テーマ】** 江戸時代の森林保護思想 (2)
【内容・方法等】 熊沢蕃山思想
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第7回 **【授業テーマ】** 江戸時代の森林保護思想 (3)
【内容・方法等】 安藤昌益思想
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第8回 **【授業テーマ】** 柳宗悦思想 (1)
【内容・方法等】 現代社会と道具
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第9回 **【授業テーマ】** 柳宗悦思想 (2)
【内容・方法等】 民藝と手仕事、匠の技と品物の性質
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第10回 **【授業テーマ】** 柳宗悦思想 (3)
【内容・方法等】 工藝文化について
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第11回 **【授業テーマ】** 社会と技術
【内容・方法等】 技術者にとって技術とは何か
【事前・事後学習課題】 予習 「技術者倫理綱領」の解説を読む
- 第12回 **【授業テーマ】** 三木清思想 (1)
【内容・方法等】 技術の本質
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第13回 **【授業テーマ】** 三木清思想 (2)
【内容・方法等】 技術の社会的・道徳的問題 (1)
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第14回 **【授業テーマ】** 三木清思想 (3)
【内容・方法等】 技術の社会的・道徳的問題 (2)
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法等】 講義のふりかえり
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

評価方法 (基準)
 定期試験60%、平常点 (コメントペーパー、受講態度、出席状況) 40%の割合で総合的に評価する。

教材等
教科書…公益社団法人日本技術士会のホームページにある「技術者倫理綱領」の解説をダウンロードしておくこと
参考書…加藤尚武『技術と人間の倫理』NHKライブラリー、1996年。
 柳宗悦『民藝とは何か』講談社学術文庫、2006年。その他、講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
 日本の伝統的な「ものの見方」と「立ち居振る舞い方」に触れ、現代社会を主体的に生きていくためのヒントを発見してください。
 私語、携帯電話の使用等で講義を妨害する行為を行った者は、平常点評価をゼロとする。大学生にふさわしい態度で講義に臨むことを求めます。

関連科目
 哲学から学ぶ
担当者の研究室等
 非常勤講師室

哲学から学ぶ Philosophy				
島田喜行(シマダ ヨシユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 わたしたちは環境としての世界のなかで、できるだけ善く生きるために、あるいはできるだけ有効に活動するために、世界のあり方を知ろうとする。こうしたわたしたちの世界を知ろうとする努力が哲学という営為の根本にある。本講義では、世界を知ろうとする哲学の起源である古代哲学を通じて「世界の見方」を学び直すことで常識を突破する知的興奮を学ぶ。そのなかで、どのような仕方であらうか、という問いについて考えてみたい。
 到達目標：哲学の源流であるギリシア・ローマの思想を学ぶことから、社会人にとって必要な教養と多角的視点を身につけることができる。
 学科の学習と教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点
 ノート講義方式
科目学習の効果（資格）
 古典哲学に触れることから、哲学的思考の基礎を学び、現代の社会構造や現代人の生き方を新たな視点から捉え直す能力が獲得できる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
 【内容・方法等】 講義の説明
 【事前・事後学習課題】 とくになし
 - 第2回 【授業テーマ】 哲学とは何か
 【内容・方法等】 エイリアンとしての哲学者、非常に「非常識な」人たちの話
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
 - 第3回 【授業テーマ】 タレスの思想 (1)
 【内容・方法等】 古代神話における神の死と哲学の始まり
 【事前・事後学習課題】 予習 タレスについて調べる。
 - 第4回 【授業テーマ】 タレスの思想 (2)
 【内容・方法等】 水の哲学
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
 - 第5回 【授業テーマ】 ヘラクレイトスの思想 (1)
 【内容・方法等】 二分法と火の哲学
 【事前・事後学習課題】 予習 ヘラクレイトスについて調べる。
 - 第6回 【授業テーマ】 ヘラクレイトスの思想 (2)
 【内容・方法等】 逆理論法
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
 - 第7回 【授業テーマ】 パルメニデスの思想 (1)
 【内容・方法等】 存在の謎
 【事前・事後学習課題】 予習 パルメニデスについて調べる。
 - 第8回 【授業テーマ】 パルメニデスの思想 (2)
 【内容・方法等】 存在と永遠
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
 - 第9回 【授業テーマ】 ソクラテスの思想 (1)
 【内容・方法等】 エレンコス
 【事前・事後学習課題】 予習 ソクラテスについて調べる。
 - 第10回 【授業テーマ】 ソクラテスの思想 (2)
 【内容・方法等】 非知、あるいは無知について
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
 - 第11回 【授業テーマ】 プラトンの思想 (1)
 【内容・方法等】 身体とミ(身)の哲学
 【事前・事後学習課題】 予習 プラトンについて調べる。
 - 第12回 【授業テーマ】 プラトンの思想 (2)
 【内容・方法等】 アイデア論と隠された教説
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
 - 第13回 【授業テーマ】 M.アウレリウスの思想 (1)
 【内容・方法等】 ストイックな生き方
 【事前・事後学習課題】 予習 M.アウレリウスについて調べる。
 - 第14回 【授業テーマ】 M.アウレリウスの思想 (2)
 【内容・方法等】 悪を無化する技法
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
 - 第15回 【授業テーマ】 まとめ
 【内容・方法等】 これまでの講義のふりかえり
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

評価方法（基準）
 定期試験60%、平常点（コメントペーパー、受講態度、出席状況）40%の割合で総合的に評価する。

教材等
 教科書…なし
 参考書…藤澤令夫『哲学の課題』岩波書店、1989年。
 古東哲明『現代思想としてのギリシア哲学』講談社、1998年。その他は、授業中に適宜指示する。

学生へのメッセージ
 一見、現代の生活スタイルには関係ないと思われる古典哲

学の知見が、実は身近なところで生き続けているということを目で確かめてください。
 私語、携帯電話の使用等で講義を妨害する行為を行った者は、平常点評価をゼロとする。大学生にふさわしい態度で講義に臨むことを求めます。

関連科目
 実践の思想
担当者の研究室等
 非常勤講師室

哲学から学ぶ Philosophy				
島田喜行(シマダ ヨシユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 わたしたちは環境としての世界のなかで、できるだけ善く生きるために、あるいはできるだけ有効に活動するために、世界のあり方を知ろうとする。こうしたわたしたちの世界を知ろうとする努力が哲学という営為の根本にある。本講義では、世界を知ろうとする哲学の起源である古代哲学を通じて「世界の見方」を学び直すことで常識を突破する知的興奮を学ぶ。そのなかで、どのような仕方であらうか、という問いについて考えてみたい。
 到達目標：哲学の源流であるギリシア・ローマの思想を学ぶことから、社会人にとって必要な教養と多角的視点を身につけることができる。
 学科の学習と教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点
 ノート講義方式
科目学習の効果（資格）
 古典哲学に触れることから、哲学的思考の基礎を学び、現代の社会構造や現代人の生き方を新たな視点から捉え直す能力が獲得できる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
 【内容・方法等】 講義の説明
 【事前・事後学習課題】 とくになし
 - 第2回 【授業テーマ】 哲学とは何か
 【内容・方法等】 エイリアンとしての哲学者、非常に「非常識な」人たちの話
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
 - 第3回 【授業テーマ】 タレスの思想 (1)
 【内容・方法等】 古代神話における神の死と哲学の始まり
 【事前・事後学習課題】 予習 タレスについて調べる。
 - 第4回 【授業テーマ】 タレスの思想 (2)
 【内容・方法等】 水の哲学
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
 - 第5回 【授業テーマ】 ヘラクレイトスの思想 (1)
 【内容・方法等】 二分法と火の哲学
 【事前・事後学習課題】 予習 ヘラクレイトスについて調べる。
 - 第6回 【授業テーマ】 ヘラクレイトスの思想 (2)
 【内容・方法等】 逆理論法
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
 - 第7回 【授業テーマ】 パルメニデスの思想 (1)
 【内容・方法等】 存在の謎
 【事前・事後学習課題】 予習 パルメニデスについて調べる。
 - 第8回 【授業テーマ】 パルメニデスの思想 (2)
 【内容・方法等】 存在と永遠
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
 - 第9回 【授業テーマ】 ソクラテスの思想 (1)
 【内容・方法等】 エレンコス
 【事前・事後学習課題】 予習 ソクラテスについて調べる。
 - 第10回 【授業テーマ】 ソクラテスの思想 (2)
 【内容・方法等】 非知、あるいは無知について
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
 - 第11回 【授業テーマ】 プラトンの思想 (1)
 【内容・方法等】 身体とミ(身)の哲学
 【事前・事後学習課題】 予習 プラトンについて調べる。
 - 第12回 【授業テーマ】 プラトンの思想 (2)
 【内容・方法等】 アイデア論と隠された教説
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
 - 第13回 【授業テーマ】 M.アウレリウスの思想 (1)
 【内容・方法等】 ストイックな生き方
 【事前・事後学習課題】 予習 M.アウレリウスについて調べる。
 - 第14回 【授業テーマ】 M.アウレリウスの思想 (2)
 【内容・方法等】 悪を無化する技法
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
 - 第15回 【授業テーマ】 まとめ

【内容・方法等】 これまでの講義のふりかえり
 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
評価方法（基準）
 定期試験60%、平常点（コメントペーパー、受講態度、出席状況）40%の割合で総合的に評価する。

教材等
 教科書…なし
 参考書…藤澤令夫『哲学の課題』岩波書店、1989年。
 古東哲明『現代思想としてのギリシア哲学』講談社、1998年。その他は、授業中に適宜指示する。

学生へのメッセージ
 一見、現代の生活スタイルには関係ないと思われる古典哲学の知見が、実は身近なところで生き続けているということをも自分の目で確かめてください。
 私語、携帯電話の使用等で講義を妨害する行為を行った者は、平常点評価をゼロとする。大学生にふさわしい態度で講義に臨むことを求めます。

関連科目
 実践の思想
担当者の研究室等
 非常勤講師室

歴史に学ぶ History				
村上 司 樹 (ムラカミ モトキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 歴史は暗記科目ではない。過去に生きた人びとの具体的経験から思考力を培う営みである。理工学部を対象とするこの授業では、中世ヨーロッパの歴史を、自然と技術の2つの視点から読み直す。具体的には(1)機械による労働、(2)建築家と技術者、(3)自然学の社会的利用が誕生した状況を知ることができる。理学と工学のいずれにとっても大きな転換点であった中世ヨーロッパについて、具体的に中味のある基礎知識を身につけよう。
 学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点
 毎回プリントを配布し、図像資料も交えながら授業を進める。宿題は毎回のプリントを、①授業の当日、②次回授業の前日の、最低2回読み返すこと。つまり復習。なぜならこの授業では、毎回の授業開始時に、「前回どのような話をしたか」語ることは一切しないから。前回とその回の授業内容のつながり、話の流れを追うことは自分でする必要がある。そのため2度の読み返し。そもそも勉強とは復習である。

科目学習の効果（資格）
 文化という視点を得て、理学・工学をより深く、より幅広く理解するための教養を培う。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】 はじめに
 【内容・方法等】 授業のルール・方針・全体計画
 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
 - 第2回 【授業テーマ】 機械からみた中世 I
 【内容・方法等】 中世の産業革命
 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
 - 第3回 【授業テーマ】 機械からみた中世 I I
 【内容・方法等】 中世の産業革命（続）
 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
 - 第4回 【授業テーマ】 機械からみた中世 I I I
 【内容・方法等】 領主と農民のエネルギー利用
 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
 - 第5回 【授業テーマ】 機械からみた中世 I V
 【内容・方法等】 領主と農民のエネルギー利用（続）
 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
 - 第6回 【授業テーマ】 機械からみた中世 V
 【内容・方法等】 教会と技術
 【事前・事後学習課題】 小レポート
 - 第7回 【授業テーマ】 建築からみた中世 I
 【内容・方法等】 教会と建築
 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
 - 第8回 【授業テーマ】 建築からみた中世 I I
 【内容・方法等】 教会と建築（続）
 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
 - 第9回 【授業テーマ】 建築からみた中世 I I I
 【内容・方法等】 教会と建築（続々）
 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
 - 第10回 【授業テーマ】 建築からみた中世 I V
 【内容・方法等】 修道院と石造り
 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
 - 第11回 【授業テーマ】 建築からみた中世 I V

- 【内容・方法等】 修道院と石造り（続）
 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
 【授業テーマ】 建築からみた中世 V
- 第12回 【内容・方法等】 大聖堂と石造り
 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
 【授業テーマ】 自然からみた中世 I
- 第13回 【内容・方法等】 奇蹟と魔術の自然学
 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
 【授業テーマ】 自然からみた中世 I I
- 第14回 【内容・方法等】 奇蹟と魔術の自然学（続）
 【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
 【授業テーマ】 自然からみた中世 I I I
- 第15回 【内容・方法等】 奇蹟と魔術の自然学（続々）
 【事前・事後学習課題】 テストの準備

評価方法（基準）
 暗記は必要ない。減点主義もとらない。具体的には、①定期試験（40%）、②小レポート（30%）、③レスポンスペーパー（30%）の3つで評価する。①～③すべてに共通する評価基準は、「具体的に書けているかどうか」である。

教材等
 教科書…参考資料を適宜配布する。
 参考書…授業中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
 一方通行にならない授業、集中しやすい授業を心がけています。レスポンス・ペーパー、小レポート、そして試験答案を書いてもらいますが、「やるが多い」とネガティブに考えず、「単位取得のチャンスが多い」とポジティブに捉えることをお勧めします。それにものごとを説明したり、説得的な文章を作成する経験と能力は、他のあらゆる学問にも、さらに大学卒業後の長い人生にも欠かせません。積極的に取り組んで、「単位以上のもの」を得てほしいと思います。

担当者の研究室等
 7号館2階（非常勤講師室）

歴史に学ぶ History				
佐伯 智 広 (サエキ トモヒロ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 目的・到達目標：近代日本の成立についての歴史的な基礎知識を身に付け、その特質を理解する。
 概要：私たちは、日本という「国」に暮らしていることを、当たり前のごとく・自然なことだと思っています。ですが、もしもそれが「自然ではないこと」だと言われたら…ちょっと「えっ？」と思いませんか？
 現在の私たちが暮らす「国」とは何なのか。それが誰によって、何のために、どのように作られたのか。この講義では、そうした国の成り立ちの歴史について学びます。それは、単なる歴史ではなく、現代社会について理解することにつながるでしょう。
 学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点
 板書講義形式です。プリントを利用します。教科書はありません。参考図書は講義内で適宜示します。

科目学習の効果（資格）
 近代日本という国の起源・変遷・特色についての、歴史的な基礎知識と、それを説明する能力を身につけることができます。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション 「国」とは何か
 【内容・方法等】 私たちが現在暮らす「国」とは何なのかについて説明します。
 【事前・事後学習課題】 なし
 - 第2回 【授業テーマ】 開国
 【内容・方法等】 幕末の開国について、江戸時代の鎖国と比較して考えます。
 【事前・事後学習課題】 予習として、「開国」という語について辞書的な意味を調べる。
 - 第3回 【授業テーマ】 廃藩置県
 【内容・方法等】 廃藩置県について、江戸時代の幕藩体制と比較して考えます。
 【事前・事後学習課題】 予習として、「廃藩置県」という語について辞書的な意味を調べる。
 - 第4回 【授業テーマ】 徴兵令
 【内容・方法等】 徴兵令について、江戸時代の武士と比較して考えます。
 【事前・事後学習課題】 予習として、「徴兵令」という語について辞書的な意味を調べる。
 - 第5回 【授業テーマ】 文明開化
 【内容・方法等】 文明開化について、江戸時代の蘭学・国学

と比較して考えます。

【事前・事後学習課題】 予習として、「文明開化」という語について辞書的な意味を調べる。

第6回 【授業テーマ】 自由民権運動

【内容・方法 等】 自由民権運動について、現代の政治制度と比較して考えます。

【事前・事後学習課題】 予習として、「自由民権運動」という語について辞書的な意味を調べる。

第7回 【授業テーマ】 大日本帝国憲法

【内容・方法 等】 大日本帝国憲法について、日本国憲法と比較して考えます。

【事前・事後学習課題】 予習として、「大日本帝国憲法」という語について辞書的な意味を調べる。

第8回 【授業テーマ】 条約改正

【内容・方法 等】 不平等条約の改正について考えます。

【事前・事後学習課題】 予習として、「条約改正」という語について辞書的な意味を調べる。

第9回 【授業テーマ】 日清戦争・日露戦争

【内容・方法 等】 日清戦争・日露戦争について、前後の時代の戦争と比較して考えます。

【事前・事後学習課題】 予習として、「日清戦争」「日露戦争」という語について辞書的な意味を調べる。

第10回 【授業テーマ】 第一次世界大戦

【内容・方法 等】 第一次世界大戦について、前後の時代の戦争と比較して考えます。

【事前・事後学習課題】 予習として、「第一次世界大戦」という語について辞書的な意味を調べる。

第11回 【授業テーマ】 ワシントン体制

【内容・方法 等】 ワシントン体制について、現代の戦争問題と比較して考えます。

【事前・事後学習課題】 予習として、「ワシントン体制」という語について辞書的な意味を調べる。

第12回 【授業テーマ】 大正デモクラシー

【内容・方法 等】 大正デモクラシーについて、現代の政治制度と比較して考えます。

【事前・事後学習課題】 予習として、「大正デモクラシー」という語について辞書的な意味を調べる。

第13回 【授業テーマ】 世界恐慌

【内容・方法 等】 世界恐慌について、現代の経済問題と比較して考えます。

【事前・事後学習課題】 予習として、「世界恐慌」という語について辞書的な意味を調べる。

第14回 【授業テーマ】 第二次世界大戦

【内容・方法 等】 第二次世界大戦について、前後の時代の戦争と比較して考えます。

【事前・事後学習課題】 予習として、「第二次世界大戦」という語について辞書的な意味を調べる。

第15回 【授業テーマ】 そして現代へ

【内容・方法 等】 第二次世界大戦後の日本について、現代と比較して考えます。

【事前・事後学習課題】 予習として、「日本国憲法」という語について辞書的な意味を調べる。

評価方法 (基準)

予習シート30%、定期試験70%

教材等

教科書…ありません。

参考書…講義内で適宜示します。

学生へのメッセージ

教科書で勉強する高校の日本史とは違って、大学での講義はきょうくつな枠組みはありません。ただ過去の歴史を追うのではなく、現在に残る遺跡・遺物・建築・美術工芸品などを紹介したり、歴史を題材にした文学作品・マンガを取り上げたりしながら、現代の私達にとって歴史が持つ意味についても、自由に考えていきましょう！

また、最新の学説なども紹介していくので、研究の最先端で教科書が書き換わっていく面白さも知ってもらいたいと考えています。

関連科目

ありません。

担当者の研究室等

7号館2階非常勤講師室

病は増加の一途をたどっている。この要因は食生活・運動・喫煙・飲酒・休養・ストレス等のライフスタイルに強く関連している。本講義では以上を踏まえて受講者が生涯にわたって自ら健康づくりを実践できる方途を具体的に論述する。(到達目標) ①ライフスタイルの重要性について理解する。②生活習慣病について理解する。③健康づくりのための運動処方について理解する。④疾病について理解する。

学科の学習・教育目標との対応:「A」

授業方法と留意点

講義形式で授業を進める。

科目学習の効果 (資格)

本人が自覚して健康維持・増進を図ることの出来る能力を身につけ、生活の内容を豊かにすることを願う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 健康論とは

【内容・方法 等】 ・ガイダンス

・現代の健康についての概念

【事前・事後学習課題】 ・筆記用具の準備

第2回 【授業テーマ】 薬物と健康

【内容・方法 等】 ・違法薬物とは ・薬物中毒 ・薬物の内容・弊害

【事前・事後学習課題】 ・違法薬物に対する理解

第3回 【授業テーマ】 喫煙と健康

【内容・方法 等】 ・煙草の種類 ・喫煙のリスク

・喫煙の弊害

【事前・事後学習課題】 ・喫煙のリスク、

健康への害に対する理解

第4回 【授業テーマ】 飲酒と健康

【内容・方法 等】 ・飲酒と健康

・飲酒の弊害

【事前・事後学習課題】 ・アルコールの知識を理解を深める

第5回 【授業テーマ】 思春期と性

【内容・方法 等】 ・身体の変化

・性とは

【事前・事後学習課題】 ・性に対する理解を深める

・小テスト

第6回 【授業テーマ】 妊娠・出産 (前半)

【内容・方法 等】 ・妊娠とは

・妊娠初期について ・妊娠中期について

【事前・事後学習課題】 ・妊娠初期、中期の理解

第7回 【授業テーマ】 妊娠・出産 (後半)

【内容・方法 等】 ・妊娠後期について

・産じょく期について

【事前・事後学習課題】 ・妊娠後期、産褥期の理解

第8回 【授業テーマ】 性感染症

【内容・方法 等】 ・性感染症とは

・現代の性感染症 ・予防方法

【事前・事後学習課題】 ・現代の性感染症の確認と理解

・小テスト

第9回 【授業テーマ】 エイズ1

【内容・方法 等】 ・エイズを知る

・現代のエイズ状況

【事前・事後学習課題】 ・世界の現状を理解

第10回 【授業テーマ】 エイズ2

【内容・方法 等】 ・HIVとAIDS

・感染経路

【事前・事後学習課題】 ・エイズの感染経路の確認と理解

第11回 【授業テーマ】 エイズ3

【内容・方法 等】 ・エイズの予防対策

【事前・事後学習課題】 ・エイズの予防の確認と理解

・小テスト

第12回 【授業テーマ】 応急手当①

【内容・方法 等】 ・日常の応急手当

【事前・事後学習課題】 ・日常生活の応急処置の方法

第13回 【授業テーマ】 応急手当②

【内容・方法 等】 ・救急処置法

・救急処置の実際

【事前・事後学習課題】 ・事故などに関する応急処置の方法

第14回 【授業テーマ】 食事と睡眠・心身相関

【内容・方法 等】 ・健康な食事と睡眠 ・心身の関係性

【事前・事後学習課題】 ・正しい食事、睡眠の確認と理解

・小テスト

第15回 【授業テーマ】 欲求と適応規制

【内容・方法 等】 ・欲求と欲求不満 ・適応規制

【事前・事後学習課題】 ・欲求のメカニズムの理解

・適応規制の理解

評価方法 (基準)

定期試験・レポート及び平常態度等を考慮して、総合的に評価する。

配分は、定期テスト70%、平常態度30%

教材等

教科書…教科書の指定はしない。

参考書…なし

学生へのメッセージ

健康論 Theory of Health				
横山 喬之 (ヨコヤマ タカユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

現代社会では、健康問題が最大の関心事である。特に生活習慣

質問等がある場合は、研究室あるいは総合体育館事務室に来て下さい。

関連科目

スポーツ科学実習1・2
生涯スポーツ実習

担当者の研究室等

総合体育館1階 横山助教室

健康論 Theory of Health				
横山 喬之(ヨコヤマ タカユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

現代社会では、健康問題が最大の関心事である。特に生活習慣病は増加の一途をたどっている。この要因は食生活・運動・喫煙・飲酒・休養・ストレス等のライフスタイルに強く関連している。本講義では以上を踏まえて受講者が生涯にわたって自ら健康づくりを実践できる方途を具体的に論述する。(到達目標)ライフスタイルの重要性について理解する。生活習慣病について理解する。健康づくりのための運動処方について理解する。疾病について理解する。
学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

講義形式で授業を進める。

科目学習の効果(資格)

本人が自覚して健康維持・増進を図ることの出来る能力を身につけ、生活の内容を豊かにすることを願う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 健康論とは
【内容・方法等】 ・ガイダンス
・現代の健康についての概念
【事前・事後学習課題】 ・筆記用具の準備
- 第2回 【授業テーマ】 薬物と健康
【内容・方法等】 ・違法薬物とは ・薬物中毒
【事前・事後学習課題】 ・薬物の内容・弊害・違法薬物に対する理解
- 第3回 【授業テーマ】 喫煙と健康
【内容・方法等】 ・煙草の種類 ・喫煙のリスク
・喫煙の弊害
【事前・事後学習課題】 ・喫煙のリスク、健康への害に対する理解
- 第4回 【授業テーマ】 飲酒と健康
【内容・方法等】 ・飲酒と健康
【事前・事後学習課題】 ・飲酒の弊害・アルコールの知識を理解を深める
- 第5回 【授業テーマ】 思春期と性
【内容・方法等】 ・身体の変化
【事前・事後学習課題】 ・性とは ・性に対する理解を深める
・小テスト
- 第6回 【授業テーマ】 妊娠・出産(前半)
【内容・方法等】 ・妊娠とは
・妊娠初期について
【事前・事後学習課題】 ・妊娠中期について・妊娠初期、中期の理解
- 第7回 【授業テーマ】 妊娠・出産(後半)
【内容・方法等】 ・妊娠後期について
・産じょく期について
【事前・事後学習課題】 ・妊娠後期、産褥期の理解
- 第8回 【授業テーマ】 性感染症
【内容・方法等】 ・性感染症とは
・現代の性感染症
【事前・事後学習課題】 ・予防方法・現代の性感染症の確認と理解
・小テスト
- 第9回 【授業テーマ】 エイズ1
【内容・方法等】 ・エイズを知る
・現代のエイズ状況
【事前・事後学習課題】 ・世界の現状を理解
- 第10回 【授業テーマ】 エイズ2
【内容・方法等】 ・HIVとAIDS
・感染経路
【事前・事後学習課題】 ・エイズの感染経路の確認と理解
- 第11回 【授業テーマ】 エイズ3
【内容・方法等】 ・エイズの予防対策
【事前・事後学習課題】 ・エイズの予防の確認と理解
・小テスト
- 第12回 【授業テーマ】 応急手当1
【内容・方法等】 ・日常の応急手当

- 第13回 【事前・事後学習課題】 ・日常生活の応急処置の方法
【授業テーマ】 応急手当2
【内容・方法等】 ・救急処置法
・救急処置の実際
- 第14回 【事前・事後学習課題】 ・事故などに関する応急処置の方法
【授業テーマ】 食事と睡眠・心身相関
【内容・方法等】 ・健康な食事と睡眠
【事前・事後学習課題】 ・心身の関係性・正しい食事、睡眠の確認と理解
・小テスト
- 第15回 【授業テーマ】 欲求と適応規制
【内容・方法等】 ・欲求と欲求不満
【事前・事後学習課題】 ・適応規制・欲求のメカニズムの理解
・適応規制の理解

評価方法(基準)

定期試験・レポート及び平常態度等を考慮して、総合的に評価する。
配分は、定期テスト70%、平常態度30%

教材等

教科書…教科書の指定はしない。
参考書…なし

学生へのメッセージ

質問等がある場合は、研究室あるいは総合体育館事務室に来て下さい。

関連科目

スポーツ科学実習1・2
生涯スポーツ実習

担当者の研究室等

総合体育館1階 横山助教室

スポーツ科学実習 Practicum in Sports Science I				
河瀬 泰治(カワセ ヤスハル)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

スポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体能力を実践する能力を育成することを目的とする。本授業では、数種目の競技のルール・技術を身につけさらにグループの中でゲーム進行などコミュニケーション能力を向上させる。

《到達目標》

- ①運動技術の向上
 - ②競技ルールの理解
 - ③学生相互のコミュニケーション能力の向上
- 学科の学習・教育目標との対応：「C」

授業方法と留意点

実技形式で行う。(雨天の場合、講義形式を行う場合がある。) ※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。原則として、スポーツ科学実習IとIIで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果(資格)

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 ガイダンス(履修上の注意やコース種目分け)
【事前・事後学習課題】 ルールの理解
- 第2回 【授業テーマ】 体力測定①
【内容・方法等】 屋外種目
【事前・事後学習課題】 測定記録評価
- 第3回 【授業テーマ】 体力測定②
【内容・方法等】 屋内種目
【事前・事後学習課題】 測定記録評価
- 第4回 【授業テーマ】 バレー
【内容・方法等】 基本技術(パス)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回 【授業テーマ】 バレー
【内容・方法等】 基本技術(トス)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 バレー
【内容・方法等】 応用練習(ミニゲーム)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 バレー
【内容・方法等】 応用練習(ミニゲーム)

- 第8回 **【事前・事後学習課題】** 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バトミントン
【内容・方法 等】 基本技術（レシーブ）
- 第9回 **【事前・事後学習課題】** 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バトミントン
【内容・方法 等】 基本技術（スマッシュ）
- 第10回 **【事前・事後学習課題】** 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バトミントン
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）
- 第11回 **【事前・事後学習課題】** 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バトミントン
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）
- 第12回 **【事前・事後学習課題】** 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バスケットボール
【内容・方法 等】 基本技術（ドリブル）
- 第13回 **【事前・事後学習課題】** 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バスケットボール
【内容・方法 等】 基本技術（パス）
- 第14回 **【事前・事後学習課題】** 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バスケットボール
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）
- 第15回 **【事前・事後学習課題】** 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バスケットボール
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）

評価方法（基準）
平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

教材等
教科書…使用しません
参考書…使用しません

学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室にきてください。

関連科目
生涯スポーツ実習・健康論

担当者の研究室等
総合体育館 河瀬研究室

スポーツ科学実習I Practicum in Sports Science I				
内部 昭彦 (ウチベ アキヒコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
タグラグビーを通じて、体力や運動能力の維持、増進を図ることで、健康についての知識を深める。タグラグビーは、通常のラグビーと違いタックルなどの身体接触がなく、複雑なルールや高度な技術を必要としない為、運動能力の個人差や男女差が顕在化しない特徴をもっている。また、鬼遊びの要素を持ったゲームで、スポーツの楽しさと、チームプレーによるコミュニケーション能力を養うことができ、学生間の交流や、社会での適応力を高めることを到達目標とする。
学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点
実技形式で行う。（雨天の場合、講義形式を行う場合がある）
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。
原則として、スポーツ科学実習ⅠとⅡで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果（資格）
個人としての基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得、及び団体競技における協調性を養う。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 **【授業テーマ】** ガイダンス
【内容・方法 等】 ガイダンス（履修上の注意やコース種目分け）
【事前・事後学習課題】 ルールの理解
 - 第2回 **【授業テーマ】** 体力測定①
【内容・方法 等】 屋外種目
【事前・事後学習課題】 測定記録評価
 - 第3回 **【授業テーマ】** 体力測定②
【内容・方法 等】 屋内種目
【事前・事後学習課題】 測定記録評価
 - 第4回 **【授業テーマ】** タグラグビー
【内容・方法 等】 競技説明（ルールの説明）及び基本技術（ランニング・パス）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

- 第5回 **【授業テーマ】** タグラグビー
【内容・方法 等】 基本技術（タグを使用して、基本的なアタック&ディフェンス練習）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 **【授業テーマ】** タグラグビー
【内容・方法 等】 基本技術（タグを使用して、基本的なアタック&ディフェンス練習）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 **【授業テーマ】** タグラグビー
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習（タグを使った簡易ゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第8回 **【授業テーマ】** タグラグビー
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習（タグを使った簡易ゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第9回 **【授業テーマ】** タグラグビー
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習（タグを使った簡易ゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回 **【授業テーマ】** タグラグビー
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習、ミニゲーム（実際の試合のルールに慣れる）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回 **【授業テーマ】** タグラグビー
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習、ミニゲーム（実際の試合のルールに慣れる）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第12回 **【授業テーマ】** タグラグビー
【内容・方法 等】 試合（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第13回 **【授業テーマ】** タグラグビー
【内容・方法 等】 試合（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第14回 **【授業テーマ】** タグラグビー
【内容・方法 等】 試合（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第15回 **【授業テーマ】** タグラグビー
【内容・方法 等】 試合（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法（基準）
平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

教材等
教科書…特になし
参考書…特になし

学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室に来ること。
実施場所は、第1グラウンド（人工芝）で行う。
服装はスポーツウェア及びスポーツシューズを準備すること。

関連科目
スポーツ指導者論・生涯スポーツ実習

担当者の研究室等
体育館1F 内部助教室
セミナー室

スポーツ科学実習II Practicum in Sports Science II				
河瀬 泰治 (カワセ ヤスハル)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
スポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体能力を実践する能力を育成することを目的とする。本授業では、数種目の競技のルール・技術を身につけさらにグループの中でゲーム進行などコミュニケーション能力を向上させる。
《到達目標》
①運動技術の向上
②競技ルールの理解
③学生相互のコミュニケーション能力の向上
学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点
実技形式で行う。（雨天の場合、講義形式を行う場合がある。）
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

原則として、スポーツ科学実習ⅠとⅡで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果（資格）

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 ガイダンス（履修上の注意やコース種目分け）
【事前・事後学習課題】 ルールの理解
- 第2回 【授業テーマ】 バレー
【内容・方法 等】 基本技術（パス）
【事前・事後学習課題】 測定記録評価
- 第3回 【授業テーマ】 バレー
【内容・方法 等】 基本技術（トス）
【事前・事後学習課題】 測定記録評価
- 第4回 【授業テーマ】 バレー
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回 【授業テーマ】 バレー
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 バレー
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 基本技術（レシーブ）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第8回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 基本技術（スマッシュ）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第9回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第12回 【授業テーマ】 バスケットボール
【内容・方法 等】 基本技術（ドリブル）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第13回 【授業テーマ】 バスケットボール
【内容・方法 等】 基本技術（パス）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第14回 【授業テーマ】 バスケットボール
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第15回 【授業テーマ】 バスケットボール
【内容・方法 等】 応用練習（ミニゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法（基準）

平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

教材等

教科書…使用しません
参考書…使用しません

学生へのメッセージ

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室にきてください。

関連科目

生涯スポーツ実習・健康論

担当者の研究室等

総合体育館 河瀬研究室

適応力を高めることを到達目標とする。

学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点

実技形式で行う。（雨天の場合、講義形式を行う場合がある）
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

原則として、スポーツ科学実習ⅠとⅡで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果（資格）

個人としての基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得、及び団体競技における協調性を養う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 ガイダンス（履修上の注意やコース種目分け）
【事前・事後学習課題】 ルールの理解
- 第2回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 競技説明（ルールの説明）及び基本技術（ランニング・パス）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第3回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 基本技術（タグを使用して、基本的なアタック&ディフェンス練習）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第4回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 基本技術（タグを使用して、基本的なアタック&ディフェンス練習）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習（タグを使った簡易ゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習（タグを使った簡易ゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習（タグを使った簡易ゲーム）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第8回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習、ミニゲーム（実際の試合のルールに慣れる）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第9回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習、ミニゲーム（実際の試合のルールに慣れる）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習、ミニゲーム（実際の試合のルールに慣れる）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 試合（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第12回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 試合（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第13回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 試合（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第14回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 試合（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第15回 【授業テーマ】 タグラグビー
【内容・方法 等】 試合（成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法（基準）

平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

教材等

教科書…特になし
参考書…特になし

学生へのメッセージ

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室に来ること。
実施場所は、第1グラウンド（人工芝）で行う。
服装はスポーツウェア及びスポーツシューズを準備すること。

関連科目

生涯スポーツ実習

担当者の研究室等

体育館1F 内部助教室
セミナー室

スポーツ科学実習Ⅱ Practicum in Sports Science II				
内部 昭彦 (ウチベ アキヒコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

タグラグビーを通じて、体力や運動能力の維持、増進を図ることと、健康についての知識を深める。タグラグビーは、通常のラグビーと違いタックルなどの身体接触がなく、複雑なルールや高度な技術を必要としない為、運動能力の個人差や男女差が顕在化しない特徴をもっている。また、鬼遊びの要素を持ったゲームで、スポーツの楽しさと、チームプレーによるコミュニケーション能力を養うことができ、学生間の交流や、社会での

生涯スポーツ実習
Lifetime Sports

河瀬 泰治 (カワセ ヤスハル)
近藤 潤 (コンドウ ジュン)
藤林 真美 (フジバヤシ マミ)
横山 喬之 (ヨコヤマ タカユキ)
内 部 昭彦 (ウチベ アキヒコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

スポーツ科学実習で習得した基礎知識をベースにより応用的な内容に発展させ、スポーツライフの形成の大切さを学び、スポーツ活動の楽しさや身体活動の必要性を自覚すると共に、生涯スポーツ参加への意識向上と自信を深めることを目的とする。

《到達目標》

- ①運動技術の向上
 - ②競技ルール理解
 - ③学生相互のコミュニケーション能力の向上
- 学科の学習・教育目標との対応：「C」

授業方法と留意点

【授業内容】

授業での開講種目は下記のとおりである。コース分けについては第1回目の授業ガイダンスの中で行う。

前期 ①サッカー、②テニス、③ソフトボール、④バドミントン、⑤卓球

後期 ①バドミントン、②テニス、③サッカー、④卓球、⑤ゴルフ(集中授業・シラバスは別途)を開講する。

※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

科目学習の効果(資格)

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 ガイダンス(履修上の注意事項の説明)
コース種目分け
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第2回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 競技の概要説明、基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第3回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第4回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 審法、戦術の解説、攻防技術練習、ゲームの解説
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合、解説とゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第8回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第9回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第12回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第13回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第14回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第15回 【授業テーマ】 各コース別実技

【内容・方法等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法(基準)

平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

教材等

教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室にきてください。

関連科目

スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ 健康論

担当者の研究室等

体育館1F 体育館事務室

備考

【準備物】

トレーニングウェア、スポーツシューズ(コースに適したもの)

生涯スポーツ実習
Lifetime Sports

近藤 潤 (コンドウ ジュン)
菅生 貴之 (スゴウ タカユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

ゴルフというスポーツを通して生涯スポーツへの参加意識向上と自信を深めることを目的とする。

《到達目標》

- 運動技術の向上
 - 競技ルール理解
 - 学生相互のコミュニケーション能力の向上
- 学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

事前ガイダンスと集中授業4日間合わせて5日間で行う。

後期の生涯スポーツ実習が履修できること。

5日間すべて受講できること。

事前の申し込みが受け付けられることが必要。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

- テーマ 学習内容 場所
- 1回目 : 事前ガイダンス 目的、日程、準備する物、ゴルフについて 総合体育館
- 2回目 AM: ゴルフの基礎知識 ゴルフのルール・マナーについて 総合体育館
PM: 基礎技術 グリップ・スウィング・バター 多目的グラウンドおよび第1グラウンド
- 3回目 AM: 基礎技術 打球練習場での練習 打球練習場
PM: 基礎技術 アプローチ、バター練習 第1グラウンド
- 4回目 AM: 基礎技術 打球練習場での練習 打球練習場
PM: 基礎技術 アプローチ、バター練習 第1グラウンド
- 5回目 PM: 応用編 ラウンド(9H) 京阪ゴルフ場

評価方法・評価基準

平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

教材等

教科書…指定なし
参考書…使用しない

備考

ラウンド時の服装は襟付きポロシャツ、スラックス(半ズボン)の場合はハイソックス着用、運動靴(スパイク類は禁止)

生涯スポーツ実習
Lifetime Sports

河瀬 泰治 (カワセ ヤスハル)
近藤 潤 (コンドウ ジュン)
藤林 真美 (フジバヤシ マミ)
内 部 昭彦 (ウチベ アキヒコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

スポーツ科学実習で習得した基礎知識をベースにより応用的な内容に発展させ、スポーツライフの形成の大切さを学び、スポーツ活動の楽しさや身体活動の必要性を自覚すると共に、生涯

スポーツ参加への意識向上と自信を深めることを目的とする。

《到達目標》

- ①運動技術の向上
 - ②競技ルールの理解
 - ③学生相互のコミュニケーション能力の向上
- 学科の学習・教育目標との対応：「C」

授業方法と留意点

【授業内容】

授業での開講種目は下記のとおりである。コース分けについては第1回目の授業ガイダンスの中で行う。

前期 ①サッカー、②テニス、③ソフトボール、④バドミントン、⑤卓球

後期 ①バドミントン、②テニス、③サッカー、④卓球、⑤ゴルフ(集中授業・シラバスは別途)を開講する。

※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

科目学習の効果(資格)

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 ガイダンス(履修上の注意事項の説明)
コース種目分け
【事前・事後学習課題】 ルールの理解
- 第2回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 競技の概要説明、基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第3回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第4回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 審判の解説、攻防技術練習、ゲームの解説
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 基礎技術練習・簡易試合、解説とゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 基礎技術練習・簡易試合
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 基礎技術練習・簡易試合
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第8回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第9回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第12回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第13回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第14回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第15回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム(ブルーピンク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法(基準)

平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

教材等

教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室にきてください。

関連科目

スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ 健康論

担当者の研究室等

体育館1F体育館事務室

備考

【準備物】

トレーニングウェア、スポーツシューズ(コースに適したもの)

基礎英語Ia
Basic English Ia

ジェフリー ロバート ベル

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業は英会話の基礎的スキルの向上を目的としている。授業では、日常生活や身のまわりにあるトピックを用いて、それらについて英語で意見を述べたり、自身の体験を表現する。
学科の学習・教育目標との対応：「D」

授業方法と留意点

授業を欠席しないことと積極的な授業参加、これら2点が合格に要求される。授業は全て英語で行う。

科目学習の効果(資格)

TOEIC、英検、英会話能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 Introduction(自己紹介)
【内容・方法 等】 オリエンテーションと自己紹介
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。
The 1500 Core Vocabulary p.2-p.3
- 第2回 【授業テーマ】 Textbook Unit 1: Introductions. (ユニット1: 自己紹介)
【内容・方法 等】 挨拶や自身の情報を相手に伝える会話練習を行う。文法やリスニングも行う。
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。
The 1500 Core Vocabulary p.4-p.5
- 第3回 【授業テーマ】 Unit 1 cont'd. (ユニット1を引き続き行う)
【内容・方法 等】 ユニット1のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。
The 1500 Core Vocabulary p.6-p.7
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 2. Focus on Daily Routine/Student Life. (ユニット2: 日常生活、学生生活について)
【内容・方法 等】 what, whenなどのwhを用いた疑問文表現の練習。日常生活で使う語彙を学び、それらの語彙を用いて大学生活について話す。
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。
The 1500 Core Vocabulary p.8-p.9
- 第5回 【授業テーマ】 Unit 2 cont'd. (ユニット2を引き続き行う)
【内容・方法 等】 ユニット2のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。
The 1500 Core Vocabulary p.10-p.11
- 第6回 【授業テーマ】 Unit 3. Social Life & Leisure Activities. (ソーシャルライフや娯楽について)
【内容・方法 等】 可能表現(Can/Can't)とlike+動詞の使い方の練習。スポーツに関する語彙を学び、会話する。
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。
The 1500 Core Vocabulary p.12-p.13
- 第7回 【授業テーマ】 Unit 3 cont'd. (ユニット3を引き続き行う)
【内容・方法 等】 ユニット3のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。
The 1500 Core Vocabulary p.14-p.15
- 第8回 【授業テーマ】 Units 1-3 Review Game. (ユニット1~3のレビュー)
Unit 4 Hometowns & Neighborhoods. (ユニット4: ホームタウン&近所)
【内容・方法 等】 リスニングと言葉のチェック。形容詞の使い方を学ぶ。スピーキングの練習を行う。
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。
The 1500 Core Vocabulary p.16-p.17
- 第9回 【授業テーマ】 Unit 4 cont'd. (ユニット4を引き続き行う)
【内容・方法 等】 ユニット4のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。
The 1500 Core Vocabulary p.18-p.19
- 第10回 【授業テーマ】 Unit 5. Getting Around Town. (町を移動する)

教養科目

【内容・方法 等】 道を尋ねる、教える方法を学ぶ。お店に関する語彙を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。
 The 1500 Core Vocabulary p.20 -p.21

第11回 **【授業テーマ】** Unit 5 cont'd. (ユニット5を引き続き行う)
【内容・方法 等】 ユニット5のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。
 The 1500 Core Vocabulary p.22 -p.23

第12回 **【授業テーマ】** Unit 6. Shopping. (ショッピング)
【内容・方法 等】 値段を調べる方法を学ぶ (How much is...?), お店に関する質問 (How do you spend your money?)
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。
 The 1500 Core Vocabulary p.24 -p.25

第13回 **【授業テーマ】** Unit 6 cont'd. (ユニット6を引き続き行う)
【内容・方法 等】 ユニット6のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。
 The 1500 Core Vocabulary p.26 -p.27

第14回 **【授業テーマ】** Units 4-6 Review Game. (ユニット4～6のレビュー)
【内容・方法 等】 リスニングとスピーキングのチェック。最終授業で行うテストの準備
【事前・事後学習課題】 授業に向けて語彙と文法を勉強しておくこと。

第15回 **【授業テーマ】** Test of units 1 - 6 (ユニット1～6のテスト)
【内容・方法 等】 Test of units 1 - 6 (ユニット1～6のテスト)
【事前・事後学習課題】 前期末テストの勉強

評価方法 (基準)
 TOEIC20%、単語試験10%、定期試験や平常点70%

教材等
 教科書…Breakthrough: Success With English (Macmillan) ISBN 978-4-7773-6128-1
 参考書…辞書

学生へのメッセージ
 この授業は日常生活で英語を使うことができる手助けとなるでしょう。

関連科目
 なし

担当者の研究室等
 7号館2階 非常勤講師室

基礎英語I a Basic English I a				
ベティ ラウ				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
 基本的な英語を使用して、日常会話表現を中心としたロールプレイやダイアログを通して、「話す」ことと「聞くこと」の勉強をします。常用語彙、文法、英会話に必要な聴解力など総合的な学習であるため、より高いTOEICスコアにもつながります。
 学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点
 英語を実践的に応用し、今よりも自信をもって、自分の意見でコミュニケーションをとれるようにすることを目的としますので、まずは焦らず英語をアクティブに楽しむことです。

科目学習の効果 (資格)
 教材を常に復習し、応用力を向上させれば、TOEICの成績もアップします。
 積極的な姿勢で授業に参加してみてください。世界中でつかわれている英語がより身近なものになります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** Personal profile
【内容・方法 等】 Students will practice asking questions about personal information
【事前・事後学習課題】 Handouts to be distributed

第2回 **【授業テーマ】** Asking for information(I)
【内容・方法 等】 Speaking tasks on how to obtain information in train stations, etc.

【事前・事後学習課題】 Text : pg. 5-7
【授業テーマ】 Asking for information(II)
【内容・方法 等】 _____

第3回

第4回 **【事前・事後学習課題】** Text : pg. 7-9
【授業テーマ】 Describing things(I)
【内容・方法 等】 Learn how to describe items in detail : games
【事前・事後学習課題】 Text : pg. 10-12

第5回 **【授業テーマ】** Describing things(II) / Making requests(I)
【内容・方法 等】 Practice how to ask others for help politely
【事前・事後学習課題】 Text : pg. 13-16

第6回 **【授業テーマ】** Making requests(II)
【内容・方法 等】 Group work and language game
【事前・事後学習課題】 Text : pg. 17-19

第7回 **【授業テーマ】** Review and consolidation game
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____

第8回 **【授業テーマ】** Giving instructions(I)
【内容・方法 等】 Plenty of practices on how to describe a working process step-by-step
【事前・事後学習課題】 Text : pg. 21-23

第9回 **【授業テーマ】** Giving instructions(II)
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 Text : pg. 24-26

第10回 **【授業テーマ】** Asking for permission(I)
【内容・方法 等】 How to ask for, give & refuse permission
【事前・事後学習課題】 Text : pg. 32-34

第11回 **【授業テーマ】** Asking for permission(II)
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 Text : pg. 35-37

第12回 **【授業テーマ】** Making excuses & giving reasons(I)
【内容・方法 等】 Learn how to explain yourself when in trouble
【事前・事後学習課題】 Text : pg. 38-40

第13回 **【授業テーマ】** Making excuses & giving reasons(II)
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 Text : pg.41-42

第14回 **【授業テーマ】** Review and Summary(I)
【内容・方法 等】 Review the contents of this semester(1)
【事前・事後学習課題】 Students should study the content of the day's lesson

第15回 **【授業テーマ】** Review and Summary(II)
【内容・方法 等】 Review the contents of this semester(2)
【事前・事後学習課題】 Students should study the content of the day's lesson

評価方法 (基準)
 1) 定期試験 (45%) 2) 授業中の発表 (二人の会話演習など) (15%) 3) 毎回の授業への参加態度 (10%)
 4) TOEICブリッジ (20%) 5) 統一英語単語テスト (10%) の割合で総合的に評価する

教材等
 教科書…Fifty-Fifty (book 2), Longman
 The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test (成美堂,1700円)
 参考書…

学生へのメッセージ
 英語力は、一気に身につく物ではありません。正しい学習法を理解することで、勉強の効率を上げ、楽しくなります。まずは常に大声を出してよむこと、そして集中してよく発音をきく、何回も復習し、書くことがコツでしょう。
 1) e-learning教材の使用 2) 音声機器を使った学習 3) TOEIC受験の勧め

基礎英語I b Basic English I b				
小林 雄一郎(コバヤシ ユウイチロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
 この授業は、英語にあまり自信のない学生を対象とし、基本的な英文法の復習をすると同時に、大学生に求められる英単語を獲得していくことを目的とする。
 学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点

教科書の内容を教員が説明したあと、ランダムに受講生を指名し、様々な課題を与えるため、必ず予習をしてくる。また、音読や板書をしてもらう場合もある。

科目学習の効果（資格）

文法と語彙を中心とした英語力の向上

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 授業の進め方や評価方法について
【事前・事後学習課題】 次回の予習
- 第2回 【授業テーマ】 be動詞（現在形）
【内容・方法 等】 テキスト読解、授業開始時と終了前的小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第3回 【授業テーマ】 一般動詞（現在形）
【内容・方法 等】 テキスト読解、授業開始時と終了前的小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第4回 【授業テーマ】 be動詞（過去形）
【内容・方法 等】 テキスト読解、授業開始時と終了前的小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第5回 【授業テーマ】 一般動詞（過去形、規則変化）
【内容・方法 等】 テキスト読解、授業開始時と終了前的小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第6回 【授業テーマ】 一般動詞（過去形、不規則変化）
【内容・方法 等】 テキスト読解、授業開始時と終了前的小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第7回 【授業テーマ】 命令文、There is [are]～、itの特別用法
【内容・方法 等】 テキスト読解、授業開始時と終了前的小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第8回 【授業テーマ】 中間テスト/まとめ（講義）
【内容・方法 等】 授業内で指示
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第9回 【授業テーマ】 中間テストのまとめ
【内容・方法 等】 授業内で指示
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第10回 【授業テーマ】 注意すべき疑問文
【内容・方法 等】 テキスト読解、授業開始時と終了前的小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第11回 【授業テーマ】 進行形
【内容・方法 等】 テキスト読解、授業開始時と終了前的小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第12回 【授業テーマ】 未来形
【内容・方法 等】 テキスト読解、授業開始時と終了前的小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第13回 【授業テーマ】 助動詞(1)
【内容・方法 等】 テキスト読解、授業開始時と終了前的小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第14回 【授業テーマ】 助動詞(2)
【内容・方法 等】 テキスト読解、授業開始時と終了前的小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第15回 【授業テーマ】 名詞・冠詞
【内容・方法 等】 テキスト読解、授業開始時と終了前的小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習

評価方法（基準）

平常点（20%）、中間テスト（30%）、学期末テスト(30%)、TOEIC Bridge（20%）。いかなる理由（大学による正式な証明が可能な運動部の公欠、伝染病による登校不許可を除く）であったとしても、3回以上欠席した者には単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回とみなす。予習をしてきていない者、授業中に私語、居眠り、途中退室、その他の授業に関係のない作業をした者は、欠席扱いとする。

教材等

教科書…『大学生のためのコミュニケーション英文法 <改訂版>』(Everyday English Grammar) 南雲堂
「学校語彙で学ぶTOEICテスト【単語集】The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; WORD BOOK 西谷恒志著 発行所(株)成美堂 ¥1,700)

参考書…必要に応じて、授業内で指示する。

学生へのメッセージ

授業に出席しても、ただ座っているだけでは、英語力はつかない。予習・復習を欠かさず、積極的な授業参加を心がけること。また、毎回の授業には、英和辞典と和英辞典（紙の辞書でも電子辞書でも構わないが、携帯の辞書機能および単語帳は不可）を持参すること。

関連科目

基礎英語II

担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

基礎英語I b
Basic English I

平尾 秀実 (ヒラオ ヒデミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

英語の4技能のうち3技能（Listening, Reading, Writing）の基礎力をつけることを目標に、テキストに沿って練習問題をこなしていく。毎回問題に出た文のうち4～5文を暗記して、小テストします。
学科の学習・教育目標との対応：「C」

授業方法と留意点

テキストとカセット・テープを用いた「学生参加型」授業。出席重視。予習前提。私語厳禁。メール厳禁。飲食厳禁。熟睡厳禁。脱帽。

科目学習の効果（資格）

TOEICアップ

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 英文読解：Hello I'm Pete.
【内容・方法 等】 内容把握、設問解答
【事前・事後学習課題】 本文・設問予習
【授業テーマ】 文法：現在時制
【内容・方法 等】 文法・作文演習
【事前・事後学習課題】 予習と復習
- 第2回 【授業テーマ】 文法：現在時制
【内容・方法 等】 文法・作文演習
【事前・事後学習課題】 予習と復習
- 第3回 【授業テーマ】 読解練習：London
【内容・方法 等】 内容把握と設問解答
【事前・事後学習課題】 本文・設問予習
- 第4回 【授業テーマ】 文法：名詞・代名詞
【内容・方法 等】 文法。作文演習
【事前・事後学習課題】 本文・設問予習
- 第5回 【授業テーマ】 英文読解：Dave
【内容・方法 等】 内容把握、設問解答
【事前・事後学習課題】 本文・設問の予習と復習
- 第6回 【授業テーマ】 文法：過去時制
【内容・方法 等】 文法・作文演習
【事前・事後学習課題】 本文・設問予習・復習
- 第7回 【授業テーマ】 英文読解：Hi! My name is Kate.
【内容・方法 等】 内容把握、設問解答
【事前・事後学習課題】 本文・設問復習と予習
- 第8回 【授業テーマ】 文法：現在完了
【内容・方法 等】 文法・作文演習
【事前・事後学習課題】 本文・設問復習と予習
- 第9回 【授業テーマ】 英文読解：My Family
【内容・方法 等】 内容把握と設問解答
【事前・事後学習課題】 本文・設問予習と復習
- 第10回 【授業テーマ】 文法：進行形
【内容・方法 等】 文法・作文演習
【事前・事後学習課題】 本文・設問予習と復習
課題テスト準備
- 第11回 【授業テーマ】 課題テストと解説
【内容・方法 等】 ペーパーテスト
【事前・事後学習課題】 本文・設問予習と復習
- 第12回 【授業テーマ】 英文読解：Peter's Job
【内容・方法 等】 内容把握、設問解答
【事前・事後学習課題】 本文・設問予習と復習
- 第13回 【授業テーマ】 文法：副詞
【内容・方法 等】 文法・作文演習
【事前・事後学習課題】 本文・設問予習と復習
- 第14回 【授業テーマ】 英文読解：Touble at Work
【内容・方法 等】 内容把握と設問解答
【事前・事後学習課題】 本文・設問予習と復習
- 第15回 【授業テーマ】 文法：使役動詞
【内容・方法 等】 文法・作文演習
【事前・事後学習課題】 本文・設問復習と定期テスト準備

評価方法（基準）

定期試験、小テスト・課題などに基づいて判定する。平常評価においては、予習完成度、授業参加度を重視する。共通試験30%（TOEICブリッジ20%、共通単語試験10%）。定期試験を実施する40%、小テスト10%、レポート20%

教材等

教科書…Pete and Kate（南雲堂）
The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test（成美堂） 1,700円（税別）

参考書…適宜指示する。

学生へのメッセージ

授業を4回以上以上欠席した学生は、本授業の単位を取得できない。予習を完成していない学生は、退室しなければならない。なお、授業への積極的な参加は成績評価の対象になるので、留意すること。

関連科目

すべての英語の授業

担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

基礎英語II a Basic English Ila				
ジェフリー ロバート ベル				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業で、学生は英語で効果的にコミュニケーションを取るために必要な文法や語彙の基礎的なスキルを向上させる。学生は、ペア（2人1組）や小さなグループの中で、日常的にあるトピックを用いて、英語の使い方を練習する。学科の学習・教育目標との対応：「D」

授業方法と留意点

欠席をしないこと、積極的に授業に参加すること、これら2つが合格に要求される。授業は全て英語で行う。

科目学習の効果（資格）

TOEIC、英検、英会話能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 Introduction（自己紹介）
【内容・方法 等】 自己紹介
【事前・事後学習課題】 授業に向けて、語彙や文法を勉強しておくこと。
The 1500 Core Vocabulary p.50 -p.51
- 第2回 【授業テーマ】 Unit 7 Everyday Tasks.（日常の仕事）
【内容・方法 等】 「家事」をトピックにWhat are you doing now/these days?の表現を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 授業に向けて、語彙や文法を勉強しておくこと。
The 1500 Core Vocabulary p.52 -p.53
- 第3回 【授業テーマ】 Unit 7 cont'd.（ユニット7を引き続き行う）
【内容・方法 等】 ユニット7のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。
【事前・事後学習課題】 授業に向けて、語彙や文法を勉強しておくこと。
The 1500 Core Vocabulary p.54 -p.55
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 8 Describing People.（人に関する表現方法）
【内容・方法 等】 What does s/he look like?を用いた会話
【事前・事後学習課題】 授業に向けて、語彙や文法を勉強しておくこと。
The 1500 Core Vocabulary p.56 -p.57
- 第5回 【授業テーマ】 Unit 8 cont'd.（ユニット8を引き続き行う）
【内容・方法 等】 ユニット8のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。
【事前・事後学習課題】 授業に向けて、語彙や文法を勉強しておくこと。
The 1500 Core Vocabulary p.58 -p.59
- 第6回 【授業テーマ】 Unit 9 Social Arrangements（ソーシャルアレンジメント）
【内容・方法 等】 「人を招待する、予定を立てる」をトピックに英語を学ぶ
【事前・事後学習課題】 授業に向けて、語彙や文法を勉強しておくこと。
The 1500 Core Vocabulary p.60 -p.61
- 第7回 【授業テーマ】 Unit 9 cont'd.（ユニット9を引き続き行う）
【内容・方法 等】 ユニット9のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。
【事前・事後学習課題】 授業に向けて、語彙や文法を勉強しておくこと。
The 1500 Core Vocabulary p.62 -p.63
- 第8回 【授業テーマ】 Units 7-9 Review Game.（ユニット7～9のレビュー）
Unit 10 Talking about Vacations.（休暇について話す）
【内容・方法 等】 リスニングとスピーキングのチェック。
Where did you go? What did you do there?の使い方を学ぶ。

【事前・事後学習課題】 授業に向けて、語彙や文法を勉強しておくこと。

- 第9回 【授業テーマ】 Unit 10 cont'd.（ユニット10を引き続き行う）
【内容・方法 等】 ユニット10のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。
【事前・事後学習課題】 授業に向けて、語彙や文法を勉強しておくこと。
The 1500 Core Vocabulary p.64 -p.65
- 第10回 【授業テーマ】 Unit 11 Life Stories and Important Personal Events.（人生や個人的な大切なパーソナルイベントについて）
【内容・方法 等】 幼少時代について話す。
【事前・事後学習課題】 授業に向けて、語彙や文法を勉強しておくこと。
The 1500 Core Vocabulary p.66 -p.67
- 第11回 【授業テーマ】 Unit 11 cont'd.（ユニット11を引き続き行う）
【内容・方法 等】 ユニット11のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。
【事前・事後学習課題】 授業に向けて、語彙や文法を勉強しておくこと。
The 1500 Core Vocabulary p.68 -p.69
- 第12回 【授業テーマ】 Unit 12 Hopes, Intentions & Personal Ambitions.（目標・夢）
【内容・方法 等】 What are you going to do with your life?の使い方を学ぶ。人生の目標について話す。
【事前・事後学習課題】 授業に向けて、語彙や文法を勉強しておくこと。
The 1500 Core Vocabulary p.70 -p.71
- 第13回 【授業テーマ】 Unit 12 cont'd.（ユニット12を引き続き行う）
【内容・方法 等】 ユニット12のレビューを通じて、スピーキングだけでなく、リスニング・語彙力・読解力・ライティングスキルの向上を図る。
【事前・事後学習課題】 授業に向けて、語彙や文法を勉強しておくこと。
The 1500 Core Vocabulary p.72 -p.73
- 第14回 【授業テーマ】 Units 10-12 Review Game.（ユニット10～12のレビュー）
【内容・方法 等】 リスニングとスピーキングのチェック。最終授業に行うテストの準備。
【事前・事後学習課題】 授業に向けて、語彙や文法を勉強しておくこと。
The 1500 Core Vocabulary p.74 -p.75
- 第15回 【授業テーマ】 Test of units 7 - 12（ユニット7～12のテスト）
【内容・方法 等】 Test of units 7 - 12（ユニット7～12のテスト）
【事前・事後学習課題】 テストに向けて勉強しておくこと。
- 評価方法（基準）
単語試験20%、定期試験やクイズ・平常点80%
- 教材等
教科書…Breakthrough: Success With English (Macmillan) ISBN 978-4-7773-6128-1
参考書…辞書
- 学生へのメッセージ
…
- 関連科目
なし
- 担当者の研究室等
7号館2階 非常勤講師室

基礎英語II a Basic English Ila				
ベティ ラウ				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

基本的な英語を使用して、日常会話表現を中心としたロールプレイやダイアログを通して、「話す」ことと「聞くこと」の勉強をします。常用語彙、文法、英会話に必要な聴解力など総合的な学習であるため、より高いTOEICスコアにもつながります。

学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点

英語を実践的に応用し、今よりも自信をもって、自分の意見でコミュニケーションをとれるようにすることを目的としますので、まずは焦らず英語をアクティブに楽しむことです。

科目学習の効果（資格）

教材を常に復習し、応用力を向上させれば、TOEICの成績もアップします。

積極的な姿勢で授業に参加してみてください。世界中でつかわれている英語がより身近なものになります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 Personal profile
【内容・方法等】 Students will practice asking questions about personal information
【事前・事後学習課題】 Handouts to be distributed
- 第2回 【授業テーマ】 Asking for information(I)
【内容・方法等】 Speaking tasks on how to obtain information in train stations, etc.
【事前・事後学習課題】 Text : pg. 5-7
- 第3回 【授業テーマ】 Asking for information(II)
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 Text : pg. 7-9
- 第4回 【授業テーマ】 Describing things(I)
【内容・方法等】 Learn how to describe items in detail : games
【事前・事後学習課題】 Text : pg. 10-12
- 第5回 【授業テーマ】 Describing things(II) / Making requests(I)
【内容・方法等】 Practice how to ask others for help politely
【事前・事後学習課題】 Text : pg. 13-16
- 第6回 【授業テーマ】 Making requests(II)
【内容・方法等】 Group work and language game
【事前・事後学習課題】 Text : pg. 17-19
- 第7回 【授業テーマ】 Review and consolidation game
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第8回 【授業テーマ】 Giving instructions(I)
【内容・方法等】 Plenty of practices on how to describe a working process step-by-step
【事前・事後学習課題】 Text : pg. 21-23
- 第9回 【授業テーマ】 Giving instructions(II)
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 Text : pg. 24-26
- 第10回 【授業テーマ】 Asking for permission(I)
【内容・方法等】 How to ask for, give & refuse permission
【事前・事後学習課題】 Text : pg. 32-34
- 第11回 【授業テーマ】 Asking for permission(II)
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 Text : pg. 35-37
- 第12回 【授業テーマ】 Making excuses & giving reasons(I)
【内容・方法等】 Learn how to explain yourself when in trouble
【事前・事後学習課題】 Text : pg. 38-40
- 第13回 【授業テーマ】 Making excuses & giving reasons(II)
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 Text : pg.41-42
- 第14回 【授業テーマ】 Review and Summary(I)
【内容・方法等】 Review the contents of this semester(1)
【事前・事後学習課題】 Students should study the content of the day's lesson
- 第15回 【授業テーマ】 Review and Summary(II)
【内容・方法等】 Review the contents of this semester(2)
【事前・事後学習課題】 Students should study the content of the day's lesson

評価方法 (基準)

- 1) 定期試験 (55%) 2) 統一英語単語テスト (20%)
3) 授業中の発表 (二人の会話演習など) (15%) 4) 毎回の授業への参加態度 (10%) の割合で総合的に評価する

教材等

教科書…Fifty-Fifty (book 2), Longman
The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test (成美堂,1700円)

参考書…

学生へのメッセージ

英語力は、一気に身につく物ではありません。正しい学習法を理解することで、勉強の効率を上げ、楽しくなります。まずは常に大声を出してよむこと、そして集中してよく発音をきく、何回も復唱し、書くことがコツでしょう。

- 1) e-learning教材の使用 2) 音声機器を使った学習 3) TOEIC受験の勧め

関連科目

…

担当者の研究室等

7号館2階 (非常勤講師室)

基礎英語II b
Basic English II

小林 雄一郎(コバヤシ ユウイチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業は、英語にあまり自信のない学生を対象とし、基本的な英文法の復習をすると同時に、大学生に求められる英単語を獲得していくことを目的とする。
学科の学習・教育目標との対応：「C」

授業方法と留意点

教科書の内容を教員が説明したあと、ランダムに受講生を指名し、様々な課題を与えるため、必ず予習をしてくること。また、音読や板書をしてもらう場合もある。

科目学習の効果 (資格)

文法と語彙を中心とした英語力の向上

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 授業の進め方や評価方法について
【事前・事後学習課題】 次回の予習
- 第2回 【授業テーマ】 代名詞
【内容・方法等】 テキスト読解、授業開始時と終了前の小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第3回 【授業テーマ】 前置詞
【内容・方法等】 テキスト読解、授業開始時と終了前の小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第4回 【授業テーマ】 形容詞
【内容・方法等】 テキスト読解、授業開始時と終了前の小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第5回 【授業テーマ】 副詞
【内容・方法等】 テキスト読解、授業開始時と終了前の小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第6回 【授業テーマ】 比較 (1)
【内容・方法等】 テキスト読解、授業開始時と終了前の小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第7回 【授業テーマ】 比較 (2)
【内容・方法等】 テキスト読解、授業開始時と終了前の小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第8回 【授業テーマ】 中間テスト/まとめ (講義)
【内容・方法等】 授業内で指示
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第9回 【授業テーマ】 中間テストのまとめ
【内容・方法等】 授業内で指示
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第10回 【授業テーマ】 接続詞
【内容・方法等】 テキスト読解、授業開始時と終了前の小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第11回 【授業テーマ】 受け身 (受動態)
【内容・方法等】 テキスト読解、授業開始時と終了前の小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第12回 【授業テーマ】 不定詞
【内容・方法等】 テキスト読解、授業開始時と終了前の小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第13回 【授業テーマ】 動名詞
【内容・方法等】 テキスト読解、授業開始時と終了前の小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第14回 【授業テーマ】 分詞
【内容・方法等】 テキスト読解、授業開始時と終了前の小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習、次回の予習
- 第15回 【授業テーマ】 現在完了
【内容・方法等】 テキスト読解、授業開始時と終了前の小テスト
【事前・事後学習課題】 今回の復習

評価方法 (基準)

平常点 (20%)、中間テスト (30%)、学期末テスト (30%)、TOEIC Bridge (20%)。いかなる理由 (大学による正式な証明が可能な運動部の公欠、伝染病による登校不許可を除く) であったとしても、3回以上欠席した者には単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回とみなす。予習をしてきていない者、授業中に私語、居眠り、途中退席、その他の授業に関係のない作業をした者は、

欠席扱いとする。

教材等

教科書…『大学生のためのコミュニケーション英文法 <改訂版>』(Everyday English Grammar) 南雲堂
「学校語彙で学ぶTOEICテスト【単語集】The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; WORD BOOK 西谷恒志著 発行所(株)成美堂 ¥1,700)

参考書…必要に応じて、授業内で指示する。

学生へのメッセージ

授業に出席しても、ただ座っているだけでは、英語力はつかない。予習・復習を欠かさず、積極的な授業参加を心がけること。また、毎回の授業には、英和辞典と和英辞典(紙の辞書でも電子辞書でも構わないが、携帯の辞書機能および単語帳は不可)を持参すること。

関連科目

基礎英語I

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

基礎英語II b Basic English II				
平尾 秀実(ヒラオ ヒデミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

英語の3技能[Listening, Reading, Writing]の基礎力をつけることを目標に、テキストに沿って練習問題をこなしていく。毎回、問題に出た文のうち4~5文を暗記して、小テストします。
学科の学習・教育目標との対応:「C」

授業方法と留意点

テキストとカセット・テープを用いた「学生参加型」授業。出席重視。予習前提。私語厳禁。メール厳禁。飲食厳禁。熟睡厳禁。脱帽。

科目学習の効果(資格)

TOEICスコアアップ

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 英文読解: Unemployed
【内容・方法等】 内容把握と設問解答
【事前・事後学習課題】 本文・設問予習と復習
- 第2回 【授業テーマ】 文法: 助動詞
【内容・方法等】 文法・作文演習
【事前・事後学習課題】 本文・設問予習と復習
- 第3回 【授業テーマ】 英文読解: An Interview
【内容・方法等】 内容把握と設問解答
【事前・事後学習課題】 本文・設問予習と復習
- 第4回 【授業テーマ】 文法: 形容詞
【内容・方法等】 文法・作文演習
【事前・事後学習課題】 本文・設問
- 第5回 【授業テーマ】 英文読解: Kate is actually going to Japan!
【内容・方法等】 内容把握と設問解答
【事前・事後学習課題】 本文・設問予習と復習
- 第6回 【授業テーマ】 文法: 前置詞
【内容・方法等】 内容把握と設問解答
【事前・事後学習課題】 本文・設問予習と復習
- 第7回 【授業テーマ】 英文読解: Arrival!
【内容・方法等】 内容把握と設問解答
【事前・事後学習課題】 本文・設問予習と復習
課題テストの準備
- 第8回 【授業テーマ】 課題テストと解説
【内容・方法等】 ペーパーテスト
【事前・事後学習課題】 本文・設問予習と復習
- 第9回 【授業テーマ】 文法: 接続詞
【内容・方法等】 文法・作文演習
【事前・事後学習課題】 本文・設問予習と復習
- 第10回 【授業テーマ】 英文読解: First Impressions
【内容・方法等】 内容把握と設問解答
【事前・事後学習課題】 本文・設問予習と復習
- 第11回 【授業テーマ】 文法: 不定詞
【内容・方法等】 文法・作文演習
【事前・事後学習課題】 本文・設問復習と予習
- 第12回 【授業テーマ】 英文読解: So this is Japan.
【内容・方法等】 内容把握と設問解答
【事前・事後学習課題】 本文・設問復習と予習
- 第13回 【授業テーマ】 文法: 未来時制
【内容・方法等】 文法・作文演習
【事前・事後学習課題】 本文・設問復習と予習

第14回 【授業テーマ】 英文読解: More about Japan

【内容・方法等】 内容把握と設問解答
【事前・事後学習課題】 本文・設問復習と予習

第15回

【授業テーマ】 文法: 比較級
【内容・方法等】 文法・作文演習
【事前・事後学習課題】 本文・設問復習
定期テストの準備

評価方法(基準)

定期試験、小テスト・課題などに基づいて判定する。平常評価においては、予習完成度、授業参加度を重視する。共通単語試験(20%)。定期試験を実施する40%、小テスト20%、レポート20%

教材等

教科書…Pete and Kate (南雲堂)
The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test (成美堂) 1,700円(税別)

参考書…適宜指示する。

学生へのメッセージ

授業を4回以上以上欠席した学生は、本授業の単位を取得できない。予習を完成していない学生は、退室しなければならない。なお、授業への積極的な参加は成績評価の対象になるので、留意すること。

関連科目

基礎英語I b

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

実践英語入門 Introduction to Practical English				
西谷 継治(ニシタニ ケイジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

TOEICブリッジの試験対策講座として、前期末のTOEICブリッジでのスコアアップを目指す。
学科の学習・教育目標との対応:「D」

授業方法と留意点

授業の進め方は毎回指名により学生諸君に発表してもらうのでそのつもりで授業に望んでもらいたい。予習として、必ず本文に目を通し、わからない単語や表現をチェックしておくことが大切である。練習問題には各自必ず答えを出しておくこと。

科目学習の効果(資格)

TOEIC Testの得点アップにつなげる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 Introduction
【内容・方法等】 授業内容の詳しい解説
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 Unit 1 最重要単語(1)と品詞・文型
【内容・方法等】 Listening and Reading
【事前・事後学習課題】 単語小テストNo.0601-0613 及び教科書 P.1-6
- 第3回 【授業テーマ】 Unit 2 最重要単語(2)と動詞
【内容・方法等】 Listening and Reading
【事前・事後学習課題】 単語小テストNo.0614-0626 及び教科書 P.7-12
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 3 ビジネス関連語(1)と名詞
【内容・方法等】 Listening and Reading
【事前・事後学習課題】 単語小テストNo.0627-0639 及び教科書 P.13-18
- 第5回 【授業テーマ】 Unit 4 ビジネス関連語(2)と決定詞
【内容・方法等】 Listening and Reading
【事前・事後学習課題】 単語小テストNo.0640-0652 及び教科書 P.19-24
- 第6回 【授業テーマ】 Unit 5 日常生活の単語と形容詞・副詞
【内容・方法等】 Listening and Reading
【事前・事後学習課題】 単語小テストNo.0653-0665 及び教科書 P.25-30
- 第7回 【授業テーマ】 Unit 1-5 復習
【内容・方法等】 Unit 1-5 復習
【事前・事後学習課題】 単語小テストNo.0666-0678
- 第8回 【授業テーマ】 臨時試験
【内容・方法等】 Review Test 1 [Unit 1 ~ Unit 5]
【事前・事後学習課題】 ……
- 第9回 【授業テーマ】 臨時試験評価
【内容・方法等】 臨時試験の解説及び評
【事前・事後学習課題】 ……
- 第10回 【授業テーマ】 Unit 6 富・価値・優劣を表す単語(1)と代名詞

- 【内容・方法等】 Listening and Reading
 【事前・事後学習課題】 単語小テストNo.0679-0691 及び教科書 P.31-36
- 第11回 【授業テーマ】 Unit 7 富・価値・優劣を表す単語(2)と時制
 【内容・方法等】 Listening and Reading
 【事前・事後学習課題】 単語小テストNo.0692-0704 及び教科書 P.37-42
- 第12回 【授業テーマ】 Unit 8 行動・動作・所有を表す単語と助動詞
 【内容・方法等】 Listening and Reading
 【事前・事後学習課題】 単語小テストNo.0705-0717 及び教科書 P.43-48
- 第13回 【授業テーマ】 Unit 9 時間・空間を表す単語と接続詞
 【内容・方法等】 Listening and Reading
 【事前・事後学習課題】 単語小テストNo.0718-0730 及び教科書 P.49-54
- 第14回 【授業テーマ】 Unit 10 表現に関連した単語と前置詞
 【内容・方法等】 Listening and Reading
 【事前・事後学習課題】 単語小テストNo.0731-0740 及び教科書 P.55-60
- 第15回 【授業テーマ】 Unit6-10 復習
 【内容・方法等】 Unit6-10 復習
 【事前・事後学習課題】 単語小テストNo.0741-0750

評価方法 (基準)
 共通試験30% (TOEICブリッジ20% 単語試験10%) 定期試験40%、小テスト20%、授業態度(発表など)10%の割合で総合的に評価する。

教材等
 教科書…Mark Your Goal Vocabulary and Grammar Tactics for the TOEIC test, Mark D. Stafford/中田達也/水本 篤 著、金星堂
 The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test (成美堂)

参考書…Dictionaries
 学生へのメッセージ
 図書館やPC等を利用し日頃から英語に親しんでください。

関連科目
 TOEIC, 英検ほか、英語関連の資格一般

担当者の研究室等
 7号館2階 (非常勤講師室)

備考
 . . .

- 【事前・事後学習課題】 単語帳の指定された単語
 第4回 【授業テーマ】 Unit 2
 指示と説明
 【内容・方法等】 文法解説とリスニング
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 単語帳の指定された単語
 第5回 【授業テーマ】 Unit 2
 指示と説明
 【内容・方法等】 リーディング
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 単語帳の指定された単語
 第6回 【授業テーマ】 Unit 3
 飲食
 【内容・方法等】 文法解説とリスニング
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 単語帳の指定された単語
 第7回 【授業テーマ】 Unit 3
 飲食
 【内容・方法等】 リーディング
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 単語帳の指定された単語
 第8回 【授業テーマ】 Unit 4
 ビジネス
 【内容・方法等】 文法解説とリスニング
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 単語帳の指定された単語
 第9回 【授業テーマ】 Unit 4
 ビジネス
 【内容・方法等】 リーディング
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 単語帳の指定された単語
 第10回 【授業テーマ】 Unit 5
 通信・コミュニケーション
 【内容・方法等】 文法解説とリスニング
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 単語帳の指定された単語
 第11回 【授業テーマ】 Unit 5
 通信・コミュニケーション
 【内容・方法等】 リーディング
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 単語帳の指定された単語
 第12回 【授業テーマ】 Unit 6
 社交
 【内容・方法等】 文法解説とリスニング
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 単語帳の指定された単語
 第13回 【授業テーマ】 Unit 6
 社交
 【内容・方法等】 リーディング
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 ポイント
 単語帳の指定された単語
 第14回 【授業テーマ】 Unit 7
 招待・案内
 【内容・方法等】 文法解説とリスニング
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 単語帳の指定された単語
 第15回 【授業テーマ】 Unit 7
 招待・案内
 【内容・方法等】 リーディング
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 テキスト・サブテキスト総復習

評価方法 (基準)
 定期試験を実施50%、さらに共通評価試験30% (TOEICブリッジ20%、単語試験10%)、小テスト20%で、授業態度は減点方式とし、総合的に評価する。

教材等
 教科書…Nagaki Kitayama, Bill Benfield 編 著 「Start-up Course for the TOEIC Test」成美堂 (2000円+税)
 西谷 恒志 著 「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test: WORD BOOK」 成美堂 (1700円+税)

参考書…英和辞書
 学生へのメッセージ
 テキストの各ユニットは、語彙も含めて予習・復習をすること。

関連科目
 実践英語中級、TOEIC関連科目

担当者の研究室等
 7号館2階 非常勤講師室

備考
 予習・復習を欠かさず、積極的な学習態度で授業に参加することを要求する。

実践英語入門 Introduction to Practical English				
芝原 妙子 (シバハラ タエコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	B	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
 高校までに学習した英単語と英文法の基本を復習しながら、ユニットごとにTOEICテスト頻出のテーマを学習し、無理なくTOEICテストに慣れ親しみ、得点アップを目指す。副教材の「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test WORD BOOK」を併用することでより確実な語彙力を身につけることができる。
 学科の学習・教育目標との対応：「C」

授業方法と留意点
 初めに板書講義で重要事項を説明した後、練習問題を解く。知識の定着を図るために、毎回小テストを行う。授業の最後に質疑応答時間を設け、授業日に疑問点などの解決を図る。英和辞書は必ず持参すること。

科目学習の効果 (資格)
 TOEICや英検など資格試験の得点アップ「使える英語」の獲得につながる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
 【内容・方法等】 内容、授業の進め方、成績評価の説明
 【事前・事後学習課題】 教科書全体に目を通しておくこと
 指定された単語
 辞書の使い方を練習する。
- 第2回 【授業テーマ】 Unit 1
 交通と情報案内
 【内容・方法等】 文法解説とリスニング
 単語テスト
 辞書の使い方練習
 【事前・事後学習課題】 単語帳の指定された単語
- 第3回 【授業テーマ】 Unit 1
 交通と情報案内
 【内容・方法等】 リーディング
 単語テスト

実践英語初級 Practical English for Beginners				
平尾 秀実 (ヒラオ ヒデミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
TOEICテストを意識して読解、文法、文章作成の能力向上を図る。
学科の学習・教育目標との対応：「C」

授業方法と留意点
1回の授業で1 chapterずつ進む。
丹念に辞書を引き、必ず予習をしてきてください。

科目学習の効果(資格)
TOEICの語彙、文法、読解力の向上

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 ガイダンスおよび文法の簡単な確認テスト
【内容・方法等】 ・授業方針、評価方法の説明。
・テキスト Chapter1を少し進める。品詞の違い。

第2回 【授業テーマ】 Listening 練習(人物の動作や状態)中心
【内容・方法等】 Listening 問題の練習
【事前・事後学習課題】 予習： 代名詞
復習：重要項目、フレーズの整理

第3回 【授業テーマ】 代名詞の形と使い方
【内容・方法等】 語彙、読解、文法、writingの練習
【事前・事後学習課題】 予習： Yes/No 疑問文
復習：重要項目、フレーズの整理

第4回 【授業テーマ】 Listening 問題(Yes/No 疑問文)
【内容・方法等】 Listening 問題の練習
【事前・事後学習課題】 予習： 広告文
復習：重要項目、フレーズの整理

第5回 【授業テーマ】 動詞の変化形
【内容・方法等】 語彙、読解、文法、writingの練習
【事前・事後学習課題】 予習： Unit 3のWarmup-1
の語句の意味調べ
復習：重要項目、フレーズの整理

第6回 【授業テーマ】 Listening 問題の練習
【内容・方法等】 語彙、読解、文法、Listening
【事前・事後学習課題】 予習： 動詞の変化
復習：重要項目、フレーズの整理

第7回 【授業テーマ】 動詞の変化形
【内容・方法等】 語彙、読解、文法、writingの練習
【事前・事後学習課題】 予習： 毛筆テストの勉強
復習：重要項目、フレーズの整理

第8回 【授業テーマ】 課題テストと解説
【内容・方法等】 前半の学習の総復習と課題テストと解説
【事前・事後学習課題】 課題試験問題の復習
Unit 4nのVocabularyの意味調べ

第9回 【授業テーマ】 Listening 練習
【内容・方法等】 語彙、読解、文法、Listening
【事前・事後学習課題】 予習： 請求書・領収書の読み方
復習：重要項目、フレーズの整理

第10回 【授業テーマ】 請求書・領収書の読み方
【内容・方法等】 語彙、読解、文法、writingの練習
【事前・事後学習課題】 予習： Unit 5のVocabularyの意味調べ
復習：重要項目、フレーズの整理

第11回 【授業テーマ】 Listening 練習(疑問詞を使う疑問文)
【内容・方法等】 語彙、読解、文法、Listening
【事前・事後学習課題】 予習： 同じ単語の変化形
復習：重要項目、フレーズの整理

第12回 【授業テーマ】 同じ単語の変化形
【内容・方法等】 語彙、読解、文法、writingの練習
【事前・事後学習課題】 予習： Unit 6のVocabularyの意味調べ
復習：重要項目、フレーズの整理

第13回 【授業テーマ】 Listening 練習(話題を問う)
【内容・方法等】 語彙、読解、文法、Listening
【事前・事後学習課題】 予習： 図表・一覧表の読み方
復習：重要項目、フレーズの整理

第14回 【授業テーマ】 Technology
【内容・方法等】 語彙、読解、文法、writingの練習
【事前・事後学習課題】 予習： Chapter 12
復習：重要項目、フレーズの整理

第15回 【授業テーマ】 図表・一覧表の読み方
【内容・方法等】 語彙、読解、文法、writingの練習
【事前・事後学習課題】 定期試験勉強
復習：重要項目、フレーズの整理

評価方法(基準)
共通試験 30% (TOEIC Bridge 20%、単語試験 10%)、定期試験を実施 40%、小テスト 10%、

レポート 20%
教材等
教科書… TOEIC Bridge: First Steps to Success (南雲堂)1,900円+税
・ The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC
参考書… 特になし

学生へのメッセージ
各自の予習が不可欠です。授業での積極的な参加を求めます。
辞書は毎回必携のこと

関連科目
他の英語関連科目
担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

備考
授業計画は進度によって変わる場合がある。

実践英語初級 Practical English for Beginners				
金原 真由美 (カネハラ マユミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	B	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
TOEICの試験の形式に慣れスコアを上げるために必要な力をつけることを到達目標とする。内容の連動した教科書を2冊用い、文法、読解、リスニング、スピーキングの練習を通して英語の総合的な力をつけていく。

また毎回授業の始めにTOEICのための単語小テストを行う。
学科の学習・教育目標との対応：「C」

授業方法と留意点
授業では2冊の教科書の解答と解説を中心に進めていく。予習していないと授業に参加できない、家庭での予習や日々の学習が不可欠です。教科書付属のCDとスマートフォンアプリ対応機能を十分に活用してもらいたい。

科目学習の効果(資格)
TOEICテストに有効な英語の総合的な力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 授業のorientation、自己紹介
Reading 1を少し進める。
【内容・方法等】 授業方針、評価方法、出欠の扱いなどの説明
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習しておく。

第2回 【授業テーマ】 座席を決める。
1 Disaster: Into the Future
【内容・方法等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習
TOEIC単語小テスト： pp.126-129
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第3回 【授業テーマ】 2 Inspiring Women: Yoko Ono
【内容・方法等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習
TOEIC単語小テスト： pp.130-133
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第4回 【授業テーマ】 3 Fashion: Levi Strauss and Company
【内容・方法等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習
TOEIC単語小テスト： pp.134-137
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第5回 【授業テーマ】 4 Politics: Tea Party
【内容・方法等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習
TOEIC単語小テスト： pp.138-141
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第6回 【授業テーマ】 5 Animals: The Panda
【内容・方法等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習
TOEIC単語小テスト： pp.142-145
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

第7回 【授業テーマ】 6 The Environment: Things are Heating up
【内容・方法等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習
TOEIC単語小テスト： pp.146-149
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

- 第8回** 【授業テーマ】 7 Social Issues: Artist and Activist
 臨時テスト
 【内容・方法 等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習
 前半のまとめ
 TOEIC単語小テスト：pp.150-151 / 126-127
 【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。
- 第9回** 【授業テーマ】 7 Social Issues: Artist and Activist
 【内容・方法 等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習
 TOEIC単語小テスト：pp.128-131
 【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。
- 第10回** 【授業テーマ】 8 Sports: Nadeshiko Japan
 【内容・方法 等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習
 TOEIC単語小テスト：pp.132-135
 【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。
- 第11回** 【授業テーマ】 9 The Human Body: Pain
 【内容・方法 等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習
 TOEIC単語小テスト：pp.136-139
 【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。
- 第12回** 【授業テーマ】 10 Global Economy: Open for Business
 【内容・方法 等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習
 TOEIC単語小テスト：pp.140-143
 【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。
- 第13回** 【授業テーマ】 11 Space: Yuri Gagarin---the First Man in Space
 【内容・方法 等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習
 TOEIC単語小テスト：pp.144-147
 【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。
- 第14回** 【授業テーマ】 12 Food for Thought: A Hungry Planet
 【内容・方法 等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習
 TOEIC単語小テスト：pp.148-151
 【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。
- 第15回** 【授業テーマ】 13 The Globalization: The EU
 【内容・方法 等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習
 TOEIC単語小テスト：総復習
 【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。
- 評価方法 (基準)**
 共通試験30%(TOEICブリッジ20%、単語試験10%)、中間テストと定期試験50%、平常点 (発表、小テスト、授業態度) 20%とし総合的に評価する。
- 教材等**
教科書…教科書は全部で3冊となります。
 ・ Interactive English Book for the TOEIC Test Book 2、内田雅克 他2名、松柏社 (1580円)
 ・ Interactive English Book for Reading Book 2、内田雅克 他3名、松柏社(1800円)
 ・【単語集】 The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; Word Book西谷恒志著 成美堂
- 参考書**…特になし
- 学生へのメッセージ**
 受講者全員にできるだけ多く発表してもらうので、一人一人がきちんと予習してくることを。
- 関連科目**
 他の英語関連科目
- 担当者の研究室等**
 7号館2階 (非常勤講師室)

- 語力の底上げを行う。
 学科の学習・教育目標との対応：「C」
- 授業方法と留意点**
 授業の進め方は毎回指名により学生諸君に発表してもらうのでそのつもりで授業に望んでもらいたい。予習として、必ず本文に目を通し、わからない単語や表現をチェックしておくことが大切である。練習問題には各自必ず答えを出しておくこと。
- 科目学習の効果 (資格)**
 理工系英語の基本を固め、専門英語とTOEIC Testの得点アップにつなげる。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 Introduction
 【内容・方法 等】 授業内容の詳しい解説
 【事前・事後学習課題】
- 第2回** 【授業テーマ】 読解、文法、語彙
 【内容・方法 等】 TOEIC文法・読解演習
 【事前・事後学習課題】 単語小テストP.150-154
- 第3回** 【授業テーマ】 読解、文法、語彙
 【内容・方法 等】 TOEIC文法・読解演習
 【事前・事後学習課題】 単語小テストP.155-159
- 第4回** 【授業テーマ】 読解、文法、語彙
 【内容・方法 等】 TOEIC文法・読解演習
 【事前・事後学習課題】 単語小テストP.160-164
- 第5回** 【授業テーマ】 読解、文法、語彙
 【内容・方法 等】 TOEIC文法・読解演習
 【事前・事後学習課題】 単語小テストP.165-169
- 第6回** 【授業テーマ】 読解、文法、語彙
 【内容・方法 等】 TOEIC文法・読解演習
 【事前・事後学習課題】 単語小テストP.170-174
- 第7回** 【授業テーマ】 Review
 【内容・方法 等】 前半の復習
 【事前・事後学習課題】 ……
- 第8回** 【授業テーマ】 前半臨時試験
 【内容・方法 等】 前半臨時試験
 【事前・事後学習課題】 ……
- 第9回** 【授業テーマ】 前半試験返却及び解説
 【内容・方法 等】 前半試験返却及び解説
 【事前・事後学習課題】 ……
- 第10回** 【授業テーマ】 読解、文法、語彙
 【内容・方法 等】 TOEIC文法・読解演習
 【事前・事後学習課題】 単語小テストP.175-179
- 第11回** 【授業テーマ】 読解、文法、語彙
 【内容・方法 等】 TOEIC文法・読解演習
 【事前・事後学習課題】 単語小テストP.180-184
- 第12回** 【授業テーマ】 読解、文法、語彙
 【内容・方法 等】 TOEIC文法・読解演習
 【事前・事後学習課題】 単語小テストP.185-188
- 第13回** 【授業テーマ】 読解、文法、語彙
 【内容・方法 等】 TOEIC文法・読解演習
 【事前・事後学習課題】 単語小テストP.189-195
- 第14回** 【授業テーマ】 読解、文法、語彙
 【内容・方法 等】 TOEIC文法・読解演習
 【事前・事後学習課題】 単語小テストP.196-201
- 第15回** 【授業テーマ】 Review
 【内容・方法 等】 後半復習
 【事前・事後学習課題】 ……
- 評価方法 (基準)**
 共通試験20% (単語試験20%) 定期試験50% 小テスト20%
 授業態度 (発表など) 10%
 の割合で総合的に評価する。
- 教材等**
教科書…New Steps to Success in the TOEIC Test Grammar & Reading 450, David E. Bramley & 中井弘一、松柏社
 「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test」成美堂 (1700円+税金)
- 参考書**…Dictionaries
- 学生へのメッセージ**
 図書館やPC等を利用し日頃から英語に親しんでください。
- 関連科目**
 TOEIC、英検ほか、英語関連の資格一般
- 担当者の研究室等**
 7号館2階 (非常勤講師室)
- 備考**
 ……

実践英語中級 Practical English for Intermediates				
西谷 継治 (ニシタニ ケイジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
 TOEIC 400点の実力を目指し、文法、読解、語彙など広く英

実践英語中級 Practical English for Intermediates				
芝原 妙子 (シバハラ タエコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	B	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

2年生前期まで習得した英語力を、語彙、文法、読解、聴解、の点でさらに底上げしてTOEIC 400点(TOEICブリッジ140点程度)の取得を目指す。
 学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点

テキスト・サブテキストを用い、文法・単語・熟語・構文の理解をすすめる、リスニング・リーディングの問題を解く。

科目学習の効果（資格）

TOEICテストのスコアアップ

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 Orientation
 【内容・方法 等】 講義内容、授業の進め方、成績評価の説明
 【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
- 第2回 【授業テーマ】 Unit 8
 医療・保健
 【内容・方法 等】 文法解説とリスニング
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
- 第3回 【授業テーマ】 Unit 8
 医療・保健
 【内容・方法 等】 リーディング
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 9
 文化・娯楽
 【内容・方法 等】 文法解説とリスニング
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
- 第5回 【授業テーマ】 Unit 9
 文化・娯楽
 【内容・方法 等】 リーディング
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
- 第6回 【授業テーマ】 Unit 10
 買い物
 【内容・方法 等】 文法解説とリスニング
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
- 第7回 【授業テーマ】 Unit 10
 買い物
 【内容・方法 等】 リーディング
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
- 第8回 【授業テーマ】 Unit 11
 運動・フィットネス
 【内容・方法 等】 文法解説とリスニング
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
- 第9回 【授業テーマ】 Unit 11
 運動・フィットネス
 【内容・方法 等】 リーディング
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
- 第10回 【授業テーマ】 Unit 12
 トラブル・申請
 【内容・方法 等】 文法解説とリスニング
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
- 第11回 【授業テーマ】 Unit 12
 トラブル・申請
 【内容・方法 等】 リーディング
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
- 第12回 【授業テーマ】 Extra Test 1
 【内容・方法 等】 Extra Test 1-1
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
- 第13回 【授業テーマ】 Extra Test 1
 【内容・方法 等】 Extra Test 1-2
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
- 第14回 【授業テーマ】 Extra Test 2
 【内容・方法 等】 Extra Test 2-1
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 単語テスト準備
- 第15回 【授業テーマ】 Extra Test 2
 【内容・方法 等】 Extra Test 2-2
 単語テスト
 【事前・事後学習課題】 定期試験に向けての勉強

評価方法（基準）

- (1) 共通単語試験 (20%)
- (2) 定期試験 (60%)
- (3) 単語小テストなど (20%)

教材等

- 教科書**…(1) Start-up Course for the TOEIC Test (成美堂)
 (2) The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test (成美堂)

参考書…授業中に指示する。

学生へのメッセージ

教科書(2)の単語帳は、音声データが利用できるものでこれを最大限利用し、目・耳・口を使い英語を練習しよう。英語・日本語のメディアを用い、社会・文化・政治・経済に関する理解を深めよう。

関連科目

実践英語入門、実践英語上級

担当者の研究室等

非常勤講師控え室

実践英語上級

Practical English for the Advanced

金原 真由美 (カネハラ マユミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

アメリカの科学雑誌「Science」から取り出した多彩なトピックを通して英語の読解力を養うことを目的とする。明確な論旨で成り立つ科学記事だが語彙も豊富である。受講生は丹念に正確に読むことで科学英語の運用力を身につけていける筈である。
 毎回授業の始めに前回学習の範囲から単語をテストする。
 学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点

各Unitはwords & definition, idiom, reading, exercise, opinionのパートから成っている。本文を読み最後には自分の意見を発表することも重視する。授業では質問への解答を何度も求めることになるので、一人一人が辞書を引き調べて臨むことが大切である。

科目学習の効果（資格）

TOEICのスコアアップ、英検のレベルアップ

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 コースの概要説明、教科書の進め方の説明、席決めをする
 教科書Unit 11に少し入る。
 【内容・方法 等】 ・授業方針、評価方法、テストや出席の扱いなどの説明
 【事前・事後学習課題】 予習Unit 1の単語
- 第2回 【授業テーマ】 1 Why Diets Fail
 【内容・方法 等】 単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise
 【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第3回 【授業テーマ】 2 Dance Moves Are Irresistible
 【内容・方法 等】 単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise
 【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第4回 【授業テーマ】 3 The Origins of Tidiness
 【内容・方法 等】 単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise
 【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第5回 【授業テーマ】 4 Malagasy Spiders Spin the World's Toughest Biological Material
 【内容・方法 等】 単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise
 【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第6回 【授業テーマ】 5 Say Goodbye to Sunspots?
 【内容・方法 等】 単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise
 【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第7回 【授業テーマ】 6 Folklore Confirmed: The Moon's Phase Affects Rainfall
 【内容・方法 等】 単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise
 【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第8回 【授業テーマ】 7 Safe Passage for Salmon?
 臨時テスト（中間テスト）
 【内容・方法 等】 単語とイディオムの意味確認
 前半のまとめ
 【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、テスト

- 範囲の復習
予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第9回 【授業テーマ】 7 Safe Passage for Salmon?
【内容・方法 等】 単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise
【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第10回 【授業テーマ】 8 Face to Face with Human Mobility Research
【内容・方法 等】 単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise
【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第11回 【授業テーマ】 9 Alien Gases in Our Atmosphere
【内容・方法 等】 単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise
【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第12回 【授業テーマ】 10 'Altitude Doping' Has Its Limits
【内容・方法 等】 単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise
【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第13回 【授業テーマ】 11 When Pigeons Flock, Who's in Command?
【内容・方法 等】 単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise
【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第14回 【授業テーマ】 12 Japanese Guts Are Made for Sushi
【内容・方法 等】 単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise
【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第15回 【授業テーマ】 13 Cats' Tongues Employ Tricky Physics
【内容・方法 等】 単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise
【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、英文の音読

評価方法 (基準)
中間テストと定期試験60%、平常点 (発表、小テスト、授業態度) 40%とし総合的に評価する。

教材等
教科書・・・Science Fair 野崎嘉信 他著 南雲堂 (1900円+税)

参考書・・・特になし

学生へのメッセージ
丹念に辞書を引きつけて授業に臨むこと。英文の概略を掴み、声に出して読んでおくこと。
授業には辞書必携。

関連科目
他の英語関連科目

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

備考
授業計画は進度によって多少変更する場合がある。

英語基礎会話 a				
Basic English Conversation a				
		ジェフリー ロバート ベル		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では、楽しく、人を引きつけるような話し方を学ぶ。
学科の学習・教育目標との対応：「D」

授業方法と留意点
教員による指導の下、教科書の内容に沿って授業を進める。様々な表現を使い、ペアワーク (2人1組) で会話を練習する。

科目学習の効果 (資格)
この授業の目的は、学生がスピーキングに対する自信をつけ、より上手に英語を扱えるレベルに到達することである。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 Class introductions. (クラス紹介)
【内容・方法 等】 Introduction Game. (ゲームを通じて自己紹介を行う)
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第2回 【授業テーマ】 Greeting People (挨拶)
【内容・方法 等】 初めて会う人に趣味などを通じて簡単な挨拶をする。また、クラスメートへのインタビューを行う。

- 【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第3回 【授業テーマ】 Describing Clothing (衣服に関する表現)
【内容・方法 等】 服装について話す。色やパターンに関する語彙を身につけ、自分の好みの服について話す。
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第4回 【授業テーマ】 How do you stay healthy (どのようにして健康を保つか)
【内容・方法 等】 健康的な生活習慣 (ジムに通う等) について話す。幸せについてのアドバイスを与える。
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第5回 【授業テーマ】 How do I get there(どうやってそこに行くか)
【内容・方法 等】 地図を使って、道を尋ねる、教える、の練習。自分の住む町について話す。
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第6回 【授業テーマ】 What's that? (それは何)
【内容・方法 等】 物やギフトを表現する方法を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第7回 【授業テーマ】 What's your dream (あなたの夢は何ですか)
【内容・方法 等】 将来の夢や目標について話す。
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第8回 【授業テーマ】 Talking about the past (過去について話す)
【内容・方法 等】 動詞の過去形を使って、自分の過去について話す。
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第9回 【授業テーマ】 How much do you know? (どれくらい知っている)
【内容・方法 等】 動物や自然について話す。自分の飼うペットについて話し合う。
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第10回 【授業テーマ】 She can really sing.(彼女は本当に歌がうまい)
【内容・方法 等】 人の能力を現す動詞を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第11回 【授業テーマ】 What do you like to do? (何がしたい?)
【内容・方法 等】 「好き」「嫌い」の表現を学ぶ。遊びに誘う表現を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第12回 【授業テーマ】 Talking about rules (規則について話す)
【内容・方法 等】 規則、規則を表す助詞 (can, will, shall等) について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第13回 【授業テーマ】 What happened next? (次に何が起こる?)
【内容・方法 等】 ストーリーを聞く、話す。映画について自分の意見を述べる。
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第14回 【授業テーマ】 Contents Review and Comprehension games (全体レビューと理解度チェックゲーム)
【内容・方法 等】 全体レビューと理解度チェックゲーム。
【事前・事後学習課題】 教科書に出てくる単語レビューと難しい表現については辞書を使って事前に調べてくること。
- 第15回 【授業テーマ】 Final Test (テスト)
【内容・方法 等】 テストはこれまでに学んだことから出題、学生のスピーキング能力を測るものである。
【事前・事後学習課題】 テスト勉強しておくこと。

評価方法 (基準)
平常点 (授業参加意欲等) 70%、臨時試験30%

教材等
教科書・・・English Firsthand "Success" by Pearson Longman. ISBN 978-988-00-3058-1

参考書・・・辞書

学生へのメッセージ
オーラルコミュニケーションについて学ぶ。楽しく、積極的に授業に参加してください。

関連科目
なし

担当者の研究室等
7号館2階 (非常勤講師室)

英語基礎会話 b
Basic English Conversation

スティーブ トマシェフスキー

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

コースは基本的な英語に必要なコミュニケーション機能を実行するための、新しい文法、アプリケーション、発音やイントネーションをご紹介します。これは、材料やコミュニケーション機能が正常に完了したに焦点を当てる活動の使用によって達成されます。学生は、単一のパートナーと情報を交換するために、クラスで扱う情報を強化するように設計や読書や研究活動を行うことが期待されます。このクラスは、すべて英語で行われます。学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点

学生主導の授業である。ペアワークなど、躊躇することなく積極的に参加すること。

科目学習の効果（資格）

英語を使っているコミュニケーション能力が付き、今後遭遇すると思われるさまざまなシチュエーションで役に立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 夏休みレビュー
【内容・方法等】 夏の活動を説明する
【事前・事後学習課題】 単語と文法の予習
- 第2回 【授業テーマ】 食品
【内容・方法等】 ネーミング別の食品
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第3回 【授業テーマ】 食品
【内容・方法等】 優先条件を記載
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第4回 【授業テーマ】 日用の製品に名前を付ける
【内容・方法等】 記述オブジェクト
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第5回 【授業テーマ】 機械的機能の議論
【内容・方法等】 何かがどのように動作するか尋ねる
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第6回 【授業テーマ】 物理的
【内容・方法等】 説明を与える記述人
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第7回 【授業テーマ】 会話のクイズ/ジョブの記述
【内容・方法等】 理由とステートメントをサポート
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第8回 【授業テーマ】 ネーミング議論ジョブは
【内容・方法等】 ジョブを記述する
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第9回 【授業テーマ】 将来の仕事の説明
【内容・方法等】 意見を申し出ること、評価
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第10回 【授業テーマ】 パートナーの記述
【内容・方法等】 個人的な話をして
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第11回 【授業テーマ】 個人的な質問
【内容・方法等】 Wh-質問をする
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第12回 【授業テーマ】 身体的特徴を記述する
【内容・方法等】 著名人に名前を付ける
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第13回 【授業テーマ】 地理的特徴を記述する
【内容・方法等】 有名な場所に名前を付ける
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第14回 【授業テーマ】 場所を記述する 簡単道案内
【内容・方法等】 There, go, there is, の使い方
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第15回 【授業テーマ】 スピーキングテスト
【内容・方法等】 知られている都市のうち4分間のプレゼンテーション
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習

評価方法（基準）

出席は必ずすること。3週間ごとにスピーキングクイズを行う。授業前の準備（単語・文法の使い方）も、評価に反映する。やる気があるかどうかをみていきます。評価割合は「授業前準備20%、授業態度30%、スピーキングクイズやテスト50%」とします。

教材等

参考書…なし

学生へのメッセージ

私は、このクラスの生徒のすべてが、真剣に英語でのコミュニケーションスキルを向上することを願っています。私は、学生のクラスでの最善の努力を見てみたい。

関連科目

特になし

担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

海外語学研修

Overseas Language Training

齋藤 安以子（サイトウ アイコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この研修は、語学力（英語力）の向上と研修地の歴史・文化およびそこで生活する人々に触れ、国際的な知識と理解を深め、広範囲な国の人々と協力し合える国際感覚を身につけることを目的とする。研修先での授業は、月曜日から金曜日に実施し、語学力別に分けたクラス内で行われる。宿泊はホームステイ形式である。費用は約35～40万円程度を予定（為替レートにより変動の可能性あり）。*詳細は、3月～4月の募集ガイダンスで周知する。学科の学習・教育目標との対応：「C」

授業方法と留意点

研修前に3回の事前ガイダンスを行う（6月～8月）
研修先では、語学学習を中心とした授業を受講する。授業を担当する先生やホームステイ先の家族を含め、授業内外を問わず現地の人と交流する積極的な行動が求められる。2週間、3週間という短い滞在期間を有意義に過ごすためにも、研修計画を前もって立て、事前学習を怠らないことが大切である。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

- 3月上旬～4月下旬
募集ガイダンス（日時等の詳細はポータルおよび掲示で連絡する）、事前学習としては事前のガイダンス出席が義務づけられている。また、事後には成果報告およびレポート提出を要請されている。
- 5月
申込書の提出
- 5月下旬
派遣学生の決定および履修申請
- 6月～8月
事前ガイダンスを実施（全3回）
- 8月上旬
結団式
研修スケジュール>
[2週間コース]
8月中旬～8月下旬（予定）
[3週間コース]
8月中旬～9月上旬（予定）
- 9月
成果報告書の提出
9月中旬
成果報告会

評価方法・評価基準

帰国後に提出する成果報告書（20%）および研修先での成績（80%）を基に評価する。

教材等

教科書…事前ガイダンスでは、その都度プリントを配布。研修先では受入大学が指定するもの。
参考書…研修先の国、地域の観光局等のホームページ
・そのほか、ガイダンスや事前研修授業で紹介されるもの

備考

- ①参加学生は事前ガイダンスに必ず出席すること。欠席の場合は、事前に国際交流センターへ連絡すること。
- ②事前に参加申込みをし、参加許可を得た者に限り履修申請をすることができる。通常の履修申請とは方法が異なるので注意すること。

日本の政治

Japanese Politics

松永 信一（マツナガ シンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

現代日本政治の政治制度や政治過程・政策過程の基本的な知識の習得を目指す。そのことによって、メディアによって流される日々の政治情報を把握し、成熟した市民社会の一員にふさわしい形で政治について語り、政治に参加できる社会人になること

とを目標としたい。
 学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

講述形式を中心にしていく。プリントを毎時間配布。質問やディスカッションの時間もできる限り設けたい。

科目学習の効果（資格）

成熟した近代社会における市民としての常識的知識の獲得。適性試験における「一般常識問題」に対応。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 はじめに
 【内容・方法 等】 授業のやり方と受け方。成績評価の基準。授業内容の概要。政治知識についてのアンケート調査。
 【事前・事後学習課題】 高校の現代社会、日本史、政経の教科書の政治関連部分を読み直す。
- 第2回** 【授業テーマ】 近代国家について
 【内容・方法 等】 国民国家とは何か。象徴天皇制について。国際社会の中の日本。
 【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄については質問すること。
- 第3回** 【授業テーマ】 様々な政治制度
 【内容・方法 等】 支配の3つの形態－君主政、貴族政、民主政－
 【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄については質問すること。
- 第4回** 【授業テーマ】 近代における様々な政治制度
 【内容・方法 等】 民主的な政治体制と非民主的な政治体制。議院内閣制と大統領制。連邦制。二院制。
 【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄については質問すること。
- 第5回** 【授業テーマ】 立法過程 その1
 【内容・方法 等】 政策過程と立法過程。国会の役割。
 【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄については質問すること。
- 第6回** 【授業テーマ】 立法過程 その2
 【内容・方法 等】 官僚と官僚組織。諮問機関。
 【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄については質問すること。
- 第7回** 【授業テーマ】 立法過程 その3
 【内容・方法 等】 与党審査。利益団体。下位政府。
 【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄については質問すること。
- 第8回** 【授業テーマ】 立法過程 その4
 【内容・方法 等】 首相のリーダーシップ。
 【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄については質問すること。
- 第9回** 【授業テーマ】 選挙について その1
 【内容・方法 等】 選挙の役割。選挙制度の比較。
 【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄については質問すること。
- 第10回** 【授業テーマ】 選挙について その2
 【内容・方法 等】 有権者の投票行動。政治に参加すること。
 【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない点は質問すること。
- 第11回** 【授業テーマ】 選挙について その3
 【内容・方法 等】 誰が候補者になるのか。政治家という職業。
 【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない点は質問すること。
- 第12回** 【授業テーマ】 選挙について その4
 【内容・方法 等】 候補者と政党。
 【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない点は質問すること。
- 第13回** 【授業テーマ】 地方政治について その1
 【内容・方法 等】 地方自治の仕組み。地方自治の抱える諸問題。
 【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない点は質問すること。
- 第14回** 【授業テーマ】 地方政治について その2
 【内容・方法 等】 地方分権に行方。政治の新しいスタイル。
 【事前・事後学習課題】 プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない点は質問すること。
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめと定期試験について

【内容・方法 等】 授業を振り返る。試験対策について。
 【事前・事後学習課題】 プリントを読み返し、不明な点についての質問がないかどうかを確かめる。

評価方法（基準）

試験成績（90%）と平常点＝「授業での対応」（10%）による。

教材等

教科書…授業の中で指示する。
 参考書…五十嵐仁『現代日本政治』（八潮社）、伊藤光利『ポリティカルサイエンス事始め』（有斐閣ブックス）、甲斐祥子『現代政治のナビゲーター』（北樹出版）

学生へのメッセージ

連絡をとりたい人、授業内容について質問のある人などは以下にメールを送って下さい。

matunaga@law.setsunan.ac.jp

関連科目

社会科学系科目

担当者の研究室等

11号館10階 松永研究室

現代と地理学

Geography in Modern Age

笠原俊則(カサハラ トシノリ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

『環境』ということばはいろいろの分野でよく使われているが、地理学では最も重要な術語の一つである。そして近年人間活動にともなってこの環境に著しい変化が生じている。本講義では、最近の地理的環境問題の例をいくつか取り上げて説明し、受講生諸君が現代社会について考える一助にしてもらいたいと考えている。最終的には、受講者全員が現代の環境問題について興味を持ち、理解し、考え方を確立してくれることを期待している。これら3点をクリアできれば、この科目を受講した事が諸君の今後の人生に大いに役立つであろう。

学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

講義形式で行う。テキストに掲載されている図表だけでは不足するような場合、講義中に適宜プリントを配布する。

科目学習の効果（資格）

人間活動が、我々を取り巻く環境にいかなる影響を与えているかを、身近に感じ取ることができるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 地理学とは？
 【内容・方法 等】 ・地理学の歴史
 ・地理学の定義
 【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。
- 第2回** 【授業テーマ】 地理学と環境
 【内容・方法 等】 ・人類による環境への働きかけの歴史（過去から現在まで）
 【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第3回** 【授業テーマ】 生活の舞台としての地形－その1－
 【内容・方法 等】 ・扇状地の地形と土地利用
 ・台地の発達と土地利用
 【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第4回** 【授業テーマ】 生活の舞台としての地形－その2－
 【内容・方法 等】 ・自然堤防帯における生活と土地利用
 【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第5回** 【授業テーマ】 ため池の多面的機能
 【内容・方法 等】 ・ため池の持つ多面的な機能とその活用
 【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第6回** 【授業テーマ】 ダムの歴史
 【内容・方法 等】 ・世界のダムと日本のダムの歴史
 ・日本におけるダム建設の歩み
 【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第7回** 【授業テーマ】 ダム上流における環境の変化
 【内容・方法 等】 ・ダム堆砂
 ・ダム上流における河床上昇とその影響
 【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第8回** 【授業テーマ】 ダム下流における環境の変化
 【内容・方法 等】 ・ダム下流における河床の低下
 ・日本における海岸侵食の状況
 【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。

- い。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第9回** 【授業テーマ】都市化にともなう水文環境の変化
【内容・方法等】・都市化にともなう流出および水質の変化
【事前・事後学習課題】指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第10回** 【授業テーマ】都市化にともなう水災害の変化
【内容・方法等】・都市化地域における水害と下水道整備
・農業地域における都市化と中小河川の変化
【事前・事後学習課題】指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第11回** 【授業テーマ】干拓地の自然的特性
【内容・方法等】・干拓地の地形
・干拓地の水環境
【事前・事後学習課題】指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第12回** 【授業テーマ】すみわけられた都市社会空間
【内容・方法等】・エスニックマイノリティ社会
・インナーシティ問題
【事前・事後学習課題】指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第13回** 【授業テーマ】ニュータウンの高齢化
【内容・方法等】・日本におけるニュータウンの成立
・千里ニュータウンの高齢化
【事前・事後学習課題】指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第14回** 【授業テーマ】都市商業の盛衰と多様化
【内容・方法等】・都市商業の発展と社会環境の変化
・都市中心部の空洞化と都市商業の変化
【事前・事後学習課題】指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第15回** 【授業テーマ】伝統工業の地域構成
【内容・方法等】・伝統工業の発展とその系譜
【事前・事後学習課題】指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

評価方法 (基準)

定期試験を実施する。さらに前期中頃に小テストも実施する。評価の割合は、定期試験70%、小テスト30%である。

教材等

- 教科書…「人間活動と環境変化」吉越昭久編、古今書院 (2400円+税)
参考書…「ダムと日本 (岩波新書716)」天野礼子、岩波書店 (700円+税)
「川と国土の危機 水害と社会 (岩波新書1387)」高橋裕、岩波書店 (700円+税)

学生へのメッセージ

地理学には地図が付きものである。講義中に出てくる地名を地図帳で確認すれば、内容がより理解しやすくなるであろう。最近の高校教育では地理が選択になっているため、履修していない人もいと思われるが、もし高校時代に使用した地図帳があれば、講義中に持参して欲しい。

関連科目

「環境関連科目」等

担当者の研究室等

7号館2階 非常勤講師室

現代と地理学 Geography in Modern Age				
笠原俊則 (カサハラ トシノリ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

「環境」ということばはいろいろの分野でよく使われているが、地理学では最も重要な術語の一つである。そして近年人間活動にともなうこの環境に著しい変化が生じている。本講義では、最近の地理的環境問題の例をいくつか取り上げて説明し、受講生諸君が現代社会について考える一助にしてもらいたいと考えている。最終的には、受講者全員が現代の環境問題について興味を持ち、理解し、考え方を確立してくれることを期待している。これら3点をクリアできれば、この科目を受講した事が諸君の今後の人生に大いに役立つであろう。

学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

講義形式で行う。テキストに掲載されている図表だけでは不足するような場合、講義中に適宜プリントを配布する。

科目学習の効果 (資格)

人間活動が、我々を取り巻く環境にいかなる影響を与えているかを、身近に感じ取ることができるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】地理学とは？

【内容・方法等】・地理学の歴史

・地理学の定義

【事前・事後学習課題】指定テキストに目を通しておいて下さい。

- 第2回** 【授業テーマ】地理学と環境

【内容・方法等】・人類による環境への働きかけの歴史 (過去から現在まで)

【事前・事後学習課題】指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

- 第3回** 【授業テーマ】生活の舞台としての地形—その1—

【内容・方法等】・扇状地の地形と土地利用

・台地の発達と土地利用

【事前・事後学習課題】配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

- 第4回** 【授業テーマ】生活の舞台としての地形—その2—

【内容・方法等】・自然堤防帯における生活と土地利用

【事前・事後学習課題】配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

- 第5回** 【授業テーマ】ため池の多面的機能

【内容・方法等】・ため池の持つ多面的な機能とその活用

【事前・事後学習課題】指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

- 第6回** 【授業テーマ】ダムの歴史

【内容・方法等】・世界のダムと日本のダムの歴史

・日本におけるダム建設の歩み

【事前・事後学習課題】指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

- 第7回** 【授業テーマ】ダム上流における環境の変化

【内容・方法等】・ダム堆砂

・ダム上流における河床上昇とその影響

【事前・事後学習課題】指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

- 第8回** 【授業テーマ】ダム下流における環境の変化

【内容・方法等】・ダム下流における河床の低下

・日本における海岸侵食の状況

【事前・事後学習課題】指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

- 第9回** 【授業テーマ】都市化にともなう水文環境の変化

【内容・方法等】・都市化にともなう流出および水質の変化

【事前・事後学習課題】指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

- 第10回** 【授業テーマ】都市化にともなう水災害の変化

【内容・方法等】・都市化地域における水害と下水道整備

・農業地域における都市化と中小河川の変化

【事前・事後学習課題】指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

- 第11回** 【授業テーマ】干拓地の自然的特性

【内容・方法等】・干拓地の地形

・干拓地の水環境

【事前・事後学習課題】指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

- 第12回** 【授業テーマ】すみわけられた都市社会空間

【内容・方法等】・エスニックマイノリティ社会

・インナーシティ問題

【事前・事後学習課題】指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

- 第13回** 【授業テーマ】ニュータウンの高齢化

【内容・方法等】・日本におけるニュータウンの成立

・千里ニュータウンの高齢化

【事前・事後学習課題】指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

- 第14回** 【授業テーマ】都市商業の盛衰と多様化

【内容・方法等】・都市商業の発展と社会環境の変化

・都市中心部の空洞化と都市商業の変化

【事前・事後学習課題】指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

- 第15回** 【授業テーマ】伝統工業の地域構成

【内容・方法等】・伝統工業の発展とその系譜

【事前・事後学習課題】指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

評価方法 (基準)

定期試験を実施する。さらに前期中頃に小テストも実施する。評価の割合は、定期試験70%、小テスト30%である。

教材等

- 教科書…「人間活動と環境変化」吉越昭久編、古今書院 (2400円+税)
参考書…「ダムと日本 (岩波新書716)」天野礼子、岩波書店 (700円+税)
「川と国土の危機 水害と社会 (岩波新書1387)」高橋裕、岩波書店 (700円+税)

学生へのメッセージ

地理学には地図が付きものである。講義中に出てくる地名を地図帳で確認すれば、内容がより理解しやすくなるであろう。最近の高校教育では地理が選択になっているため、履修していな

い人もいると思われるが、もし高校時代に使用した地図帳があれば、講義中に持参して欲しい。

関連科目

「環境関連科目」等

担当者の研究室等

7号館2階 非常勤講師室

法学入門 Jurisprudence				
福 嶋 由 里 子 (フクシマ ユリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

授業概要：日本の法システムの根幹を成す憲法・民法・刑法・民事訴訟法・刑事訴訟法の基礎を、現代的なトピックをあげながら解説する。特に民法に関する事例を扱う。そして、法律問題について考えたり、調べたりするトレーニングの機会を提供する。目的：必要最低限の法律の知識を身につけること。到達目標：今後の研究や社会生活において有益となる法律知識の取得。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

教科書は用いず、講義の概要プリントを配布する。

科目学習の効果（資格）

各種公的資格試験の法学科目の基礎知識の取得。後期の日本国憲法の準備科目となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** 法律を学ぶこととは
【内容・方法 等】 私たちの生活に、法律はどのように関わっているのか。
【事前・事後学習課題】 新聞等を通じて、国内外の法律に関する情報を幅広く入手する習慣をつけてください。
- 第2回 **【授業テーマ】** 現代日本の法制度
【内容・方法 等】 日本の法制度の基本や法律の種類、国際法との関係について。
【事前・事後学習課題】 日常生活や、自分の専門分野に関係する法律を調べておく。
- 第3回 **【授業テーマ】** 憲法（1）
【内容・方法 等】 憲法の役割とは。憲法の基本原理や立憲主義の成り立ち。
【事前・事後学習課題】 日本国憲法を読み、関心のある条文を選び、それに関するニュースや事件を調べる。
- 第4回 **【授業テーマ】** 憲法（2）
【内容・方法 等】 憲法で守られるべき権利とは。社会の中の憲法問題。
【事前・事後学習課題】 前回の課題についてまとめ、提出する。
- 第5回 **【授業テーマ】** 憲法（3）
【内容・方法 等】 基本的人権とは。国内外の人権問題や国際人権法について。
【事前・事後学習課題】 国際的な人権問題や他国の人権問題に関する記事に目を通しておく。
- 第6回 **【授業テーマ】** 民法（1）
【内容・方法 等】 民法の基本的仕組み。暮らしと民法の関わりについて。
【事前・事後学習課題】 民法に関するニュースや事件に関する記事に目を通しておく。
- 第7回 **【授業テーマ】** 民法（2）
【内容・方法 等】 日常生活の中の契約と、さまざまなトラブル（消費者契約、交通事故等）。
【事前・事後学習課題】 前回の課題についてまとめ、提出する。
- 第8回 **【授業テーマ】** 民法（3）
【内容・方法 等】 労働に関する問題と民法
【事前・事後学習課題】 就職時、または就職後に起こりうると考えられる問題を列挙し提出する。
- 第9回 **【授業テーマ】** 民法（4）
【内容・方法 等】 結婚、離婚、親子関係と民法
【事前・事後学習課題】 結婚、離婚、親子関係に関するニュースや事件を1つ選び、それについて調べる。
- 第10回 **【授業テーマ】** 民法（5）
【内容・方法 等】 相続法の基本について。
【事前・事後学習課題】 前回の課題についてまとめ、提出する。
- 第11回 **【授業テーマ】** 民事訴訟法
【内容・方法 等】 民事訴訟法の役割。いかに民事紛争を解決していくのか。
【事前・事後学習課題】 授業で課した問題を提出する。
- 第12回 **【授業テーマ】** 刑法
【内容・方法 等】 刑法の仕組みや基本的な考え方について。
【事前・事後学習課題】 最近の刑事事件に関する記事に目を通しておく。

- 第13回 **【授業テーマ】** 刑事訴訟法
【内容・方法 等】 刑事訴訟法の基本的な内容について。刑事事件をいかに裁くのか。
【事前・事後学習課題】 授業で課した問題を提出する。
 - 第14回 **【授業テーマ】** 裁判員制度について
【内容・方法 等】 もし裁判員に選ばれたら。裁判員の仕事と役割。
【事前・事後学習課題】 最近の裁判員裁判に関する記事に目を通しておく。
 - 第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法 等】 授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 授業で課した問題を提出する。
- 評価方法（基準）**
定期試験40%、レポート40%、毎回の授業での提出物20%の割合で総合的に評価する。

教材等

教科書…指定しない。
参考書…指定しない。

学生へのメッセージ

法律は難しく近寄り難い存在と捉えられがちですが、実は私たちの生活の中に、さまざまな形で法律は潜んでいます。この授業を通して、いかに法律が私たちの身近な存在かを実感し、社会問題に対する洞察力を身につけてください。

関連科目

日本国憲法

担当者の研究室等

11号館6階 法学部事務室

日本国憲法 The Japanese Constitutional Law				
福 嶋 由 里 子 (フクシマ ユリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

概要：日本国憲法の基本的な内容を、身近な問題や裁判例などを通して説明する。また憲法の中核を成す基本的人権の問題について、幅広い視野で考える機会を提供する。目的：憲法の基本原理や重要判例を学び、憲法が社会において、特に人権保障という点において、どのような役割を果たしているか理解する。到達目標：憲法の基本原理を理解し、人権や法的利益が衝突したときに生じる問題に対して、憲法の視点に立って考察できる力を養う。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

教科書は用いず、講義の概要プリントを配布する。

科目学習の効果（資格）

各種公的資格試験の法学科目の基礎知識の取得。前期の法学入門の応用。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** 日本国憲法とは
【内容・方法 等】 憲法とは何か。立憲主義とは何か。憲法が私たちの暮らしにどのように関わっているのか。
【事前・事後学習課題】 新聞等を読み、日々のニュースと憲法が、どのようにつながっているか考察する。
- 第2回 **【授業テーマ】** 日本国憲法史（1）
【内容・方法 等】 大日本帝国憲法と日本国憲法の特徴や違い、立憲主義の歴史的背景について解説する。
【事前・事後学習課題】 立憲主義の発展の歴史について、高校等の教科書を用いて復習しておく。
- 第3回 **【授業テーマ】** 日本国憲法の基本原理（1）
【内容・方法 等】 民主主義の原理について解説する。
【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
- 第4回 **【授業テーマ】** 日本国憲法の基本原理（2）
【内容・方法 等】 平和主義の原理や、憲法9条に関する様々な見解、判例について解説する。
【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
- 第5回 **【授業テーマ】** 日本国憲法の基本原理（3）
【内容・方法 等】 基本的人権の原理と人権の種類について解説する。
【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
- 第6回 **【授業テーマ】** 権利の保障（1）
【内容・方法 等】 基本的人権の限界、公共の福祉等について解説する。
【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
- 第7回 **【授業テーマ】** 権利の保障（2）

教 養 科 目

- 第8回** 【内容・方法等】幸福追求権と法の下の平等について解説する（人格権、名誉権、プライバシー権、自己決定権等）。
【事前・事後学習課題】判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
【授業テーマ】権利の保障（3）
【内容・方法等】精神的自由権（内心の自由）について解説する（思想・良心の自由、信教の自由、学問の自由等）。
【事前・事後学習課題】判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
- 第9回** 【授業テーマ】権利の保障（4）
【内容・方法等】精神的自由権（表現の自由）について解説する（報道の自由、性表現・名誉棄損の表現、表現の自由の限界等）。
【事前・事後学習課題】判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
- 第10回** 【授業テーマ】権利の保障（5）
【内容・方法等】経済的自由権について解説する（職業選択の自由、居住・移転の自由、財産権等）。
【事前・事後学習課題】判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
- 第11回** 【授業テーマ】権利の保障（6）
【内容・方法等】人身の自由について解説する（奴隷的拘束からの自由、意に反する苦役からの自由、被疑者・被告人の権利等）。
【事前・事後学習課題】判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
- 第12回** 【授業テーマ】権利の保障（7）
【内容・方法等】社会権について解説する（生存権、教育を受ける権利、勤労の自由、勤労基本権等）。
【事前・事後学習課題】判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
- 第13回** 【授業テーマ】統治機構
【内容・方法等】権力分離の原理について解説する。
【事前・事後学習課題】判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
- 第14回** 【授業テーマ】憲法改正について
【内容・方法等】硬性憲法の意義や、憲法改正の手続き、国民投票制度について解説する。
【事前・事後学習課題】憲法改正に関する国民投票制度について調べておく。
- 第15回** 【授業テーマ】まとめ
【内容・方法等】授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】授業で課した問題を提出する。

評価方法（基準）
定期試験40%、レポート40%、毎回の授業での提出物20%の割合で総合的に評価する。

教材等
教科書…指定しない。
参考書…指定しない。

学生へのメッセージ
憲法は、人権とは切っても切り離せない存在です。そこで、本授業の基本的な人権を扱う授業では、憲法だけを扱うのではなく、少し視野を広げ、国内外の人権問題やその解決を目指す条約や法律、市民の取り組みなどを、映像等の資料を用いて紹介し、人権感覚を磨く機会を設けます。

関連科目
法学入門
担当者の研究室等
11号館6階 法学部事務室

日本国憲法 The Japanese Constitutional Law				
福嶋 由里子 (フクシマ ユリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	0	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
概要：日本国憲法の基本的な内容を、身近な問題や裁判例などを通して説明する。また憲法の中核を成す基本的人権の問題について、幅広い視野で考える機会を提供する。目的：憲法の基本原理や重要判例を学び、憲法が社会において、特に人権保障という点において、どのような役割を果たしているか理解する。到達目標：憲法の基本原理を理解し、人権や法的利益が衝突したときに生じる問題に対して、憲法の視点に立って考察できる力を養う。
学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点
教科書は用いず、講義の概要プリントを配布する。

科目学習の効果（資格）
各種公的資格試験の法学科目の基礎知識の取得。前期の法入学

門の応用。
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】日本国憲法とは
【内容・方法等】憲法とは何か。立憲主義とは何か。憲法が私たちの暮らしにどのように関わっているのか。
【事前・事後学習課題】新聞等を読み、日々のニュースと憲法が、どのようにつながっているかを考察する。

第2回 【授業テーマ】日本国憲法史（1）
【内容・方法等】大日本帝国憲法と日本国憲法の特色や違い、立憲主義の歴史的背景について解説する。
【事前・事後学習課題】立憲主義の発展の歴史について、高校等の教科書を用いて復習しておく。

第3回 【授業テーマ】日本国憲法の基本原理（1）
【内容・方法等】国民主権の原理について解説する。
【事前・事後学習課題】判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。

第4回 【授業テーマ】日本国憲法の基本原理（2）
【内容・方法等】平和主義の原理や、憲法9条に関する様々な見解、判例について解説する。
【事前・事後学習課題】判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。

第5回 【授業テーマ】日本国憲法の基本原理（3）
【内容・方法等】基本的人権の原理と人権の種類について解説する。
【事前・事後学習課題】判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。

第6回 【授業テーマ】権利の保障（1）
【内容・方法等】基本的人権の限界、公共の福祉等について解説する。
【事前・事後学習課題】判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。

第7回 【授業テーマ】権利の保障（2）
【内容・方法等】幸福追求権と法の下での平等について解説する（人格権、名誉権、プライバシー権、自己決定権等）。
【事前・事後学習課題】判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。

第8回 【授業テーマ】権利の保障（3）
【内容・方法等】精神的自由権（内心の自由）について解説する（思想・良心の自由、信教の自由、学問の自由等）。
【事前・事後学習課題】判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。

第9回 【授業テーマ】権利の保障（4）
【内容・方法等】精神的自由権（表現の自由）について解説する（報道の自由、性表現・名誉棄損の表現、表現の自由の限界等）。
【事前・事後学習課題】判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。

第10回 【授業テーマ】権利の保障（5）
【内容・方法等】経済的自由権について解説する（職業選択の自由、居住・移転の自由、財産権等）。
【事前・事後学習課題】判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。

第11回 【授業テーマ】権利の保障（6）
【内容・方法等】人身の自由について解説する（奴隷的拘束からの自由、意に反する苦役からの自由、被疑者・被告人の権利等）。
【事前・事後学習課題】判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。

第12回 【授業テーマ】権利の保障（7）
【内容・方法等】社会権について解説する（生存権、教育を受ける権利、勤労の自由、勤労基本権等）。
【事前・事後学習課題】判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。

第13回 【授業テーマ】統治機構
【内容・方法等】権力分離の原理について解説する。
【事前・事後学習課題】判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。

第14回 【授業テーマ】憲法改正について
【内容・方法等】硬性憲法の意義や、憲法改正の手続き、国民投票制度について解説する。
【事前・事後学習課題】憲法改正に関する国民投票制度について調べておく。

第15回 【授業テーマ】まとめ
【内容・方法等】授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】授業で課した問題を提出する。

評価方法（基準）
定期試験40%、レポート40%、毎回の授業での提出物20%の割合で総合的に評価する。

教材等
教科書…指定しない。
参考書…指定しない。

学生へのメッセージ
憲法は、人権とは切っても切り離せない存在です。そこで、本授業の基本的な人権を扱う授業では、憲法だけを扱うのではなく、

少し視野を広げ、国内外の人権問題やその解決を目指す条約や法律、市民の取り組みなどを、映像等の資料を用いて紹介し、人権感覚を磨く機会を設けます。

関連科目

法学入門

担当者の研究室等

11号館6階 法学部事務室

マクロ経済学入門 Introduction to Macroeconomics				
伊藤 正純 (イトウ マサズミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

授業の到達目標は工学部・理工学部の学生諸君にとっても、新聞の経済記事が少しは理解できるようにすることである。そのため、新聞によく登場するマクロ経済学（その中心は国民所得）およびミクロ経済学（その中心は市場）の基礎概念（基本用語）をできるだけわかりやすく解説する。ただし、一般常識の範囲である。
学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

主としてプリントと板書を用いて講義する。授業の最後で授業の感想を書いてもらう。それを読んで次の授業のやり方を工夫する。

科目学習の効果（資格）

マクロ経済学の諸概念を学び、経済新聞の記事における経済専門用語を理解できるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 経済主体と経済循環
【内容・方法 等】 経済主体（家計、企業、政府）。生産と支出（消費+投資）の経済循環。
マクロ経済学とミクロ経済学との関係。
【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。
- 第2回** 【授業テーマ】 生産物市場 市場とは何か(1)
【内容・方法 等】 需要・供給・価格決定論。財貨・サービスの市場。
【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。
- 第3回** 【授業テーマ】 労働市場 その1 市場とは何か(2)
【内容・方法 等】 労働需要と労働供給。賃金の決定と失業の発生。雇用慣行。就職。
【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。
- 第4回** 【授業テーマ】 労働市場 その2 市場とは何か(2)続
【内容・方法 等】 雇用形態の流動化。正規雇用と非正規雇用。労働者派遣法の変遷と雇用状況の変化。総額人件費抑制と「春闘」の形骸化。
【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。
- 第5回** 【授業テーマ】 金融市場、株式市場 市場とは何か(3)
【内容・方法 等】 直接金融と間接金融。自己資本と他人資本。株式会社とは何か。株価。
【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。
- 第6回** 【授業テーマ】 国民所得と経済成長率
【内容・方法 等】 フローとストックの違い。国民所得とは何か。GNP(国民総生産)とGDP(国内総生産)の違い。経済成長率(GDP増加率)。名目成長率。実質成長率。
【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。
- 第7回** 【授業テーマ】 円高・円安 為替レート
【内容・方法 等】 ドルを基準に考える。円高と円安はどちらが得? 実効為替レート。
【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。
- 第8回** 【授業テーマ】 国際収支
【内容・方法 等】 輸出、輸入。経常収支(貿易収支、貿易外収支)、資本収支など。
【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。
- 第9回** 【授業テーマ】 インフレ・デフレ
【内容・方法 等】 物価上昇、物価下落。消費者物価指数、企業物価指数。賃金デフレ。
【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。
- 第10回** 【授業テーマ】 好況・不況
【内容・方法 等】 景気循環、有効需要。政府による景気対策。

【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。

第11回 【授業テーマ】 貯蓄・投資バランス
【内容・方法 等】 所得=消費+貯蓄、所得=消費+投資、ゆえに、貯蓄=投資。
家計と企業と政府の動向。家計の貯蓄減少(賃金デフレと高齢化)。貯蓄し投資しない企業。政府の財政赤字。

【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。

第12回 【授業テーマ】 国民負担率と政府の役割
【内容・方法 等】 租税負担率+社会保障負担率。大きな政府か小さな政府か。消費税増税による「税と社会保障の一体改革」。所得再分配機能。
【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。

第13回 【授業テーマ】 デフレの罨
【内容・方法 等】 グローバリゼーションと総額人件費抑制策。価格破壊と賃下げ。労働分配率の低下。経済格差と貧困。消費不況の長期化。
【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。

第14回 【授業テーマ】 超低金利政策
【内容・方法 等】 なぜ超低金利政策なのか? 円キャリートレードと世界の過剰流動性。見えない成長戦略。
【事前・事後学習課題】 全体の復讐をし、疑問点があれば次回質問すること。

第15回 【授業テーマ】 成長戦略は? まとめと復習
【内容・方法 等】 先決事項は、賃金デフレ解消と企業投資の復活、そのための政府の役割。
【事前・事後学習課題】 小テストで答えられなかった点をもう一度復讐すること。

評価方法（基準）

定期試験(筆記試験)50%、小テスト40%、毎回の授業での提出物10%。無断欠席が4回以上ある場合は成績評価をしない。

教材等

教科書…なし

参考書…野口旭『ゼロからわかる経済の基本』講談社現代新書、700円+税。

吉本佳生『日本経済の奇妙な常識』講談社現代新書、740円+税。

学生へのメッセージ

ちょっと難しいが、吉本佳生さんの本の第2章を事前に読んでおいてほしい。そうすれば、日本経済が置かれている状況がイメージしやすくなり、授業中に説明する経済学の基礎用語の意味が理解しやすくなる。

関連科目

なし

担当者の研究室等

非常勤講師室(7号館2階)

マクロ経済学入門 Introduction to Macroeconomics				
内田 勝巳 (ウチダ カツミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本授業は、経済学の知識がない学生が、マクロ経済学の基礎理論を身につけることを目的とする。株式市場、外国為替、国民所得、デフレ・インフレ、生産物市場等、主要な経済用語を理解し、新聞の経済記事を読めるようになることを到達目標とする。入社試験・公務員試験・資格試験にも役立つように、毎回、演習問題(課題)を提示する。
学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

授業は、基本的に、前回の課題の解説(復讐)、本日の授業テーマの解説、授業内容に対応する課題の提示の順序で進めていく。

科目学習の効果（資格）

マクロ経済学の基礎概念を学び、新聞記事の経済基礎用語を理解できるようになる。入社試験・公務員試験・資格試験に役立つ知識が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 イントログダクション
【内容・方法 等】 マクロ経済学とはどのような学問かについて解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、アンケートの実施
- 第2回** 【授業テーマ】 国民経済計算
【内容・方法 等】 付加価値、GDPとGNPの相違、三面等価の原則、名目値と実質値(GDPデフレーター)について解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出

- 第3回** 【授業テーマ】 生産物市場
【内容・方法 等】 消費と貯蓄の理論（ケインズ型消費関数と貯蓄関数）について解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出
- 第4回** 【授業テーマ】 生産物市場(II)
【内容・方法 等】 投資の理論（ケインズの限界効率理論）について解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出
- 第5回** 【授業テーマ】 国民所得の決定理論
【内容・方法 等】 有効需要と乗数理論について解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出
- 第6回** 【授業テーマ】 金融市場
【内容・方法 等】 貨幣の役割、株式市場における株価について解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出
- 第7回** 【授業テーマ】 中央銀行と金融政策
【内容・方法 等】 流動性選好理論（利率の決定）と中央銀行の役割について解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出
- 第8回** 【授業テーマ】 財政金融政策の有効性
【内容・方法 等】 IS-LM分析と経済政策の有効性について解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出
- 第9回** 【授業テーマ】 まとめと中間試験
【内容・方法 等】 8回までの講義のまとめを行ったうえで、中間試験を実施する。
【事前・事後学習課題】 事前に、8回までの内容を復習すること
- 第10回** 【授業テーマ】 デフレとインフレ
【内容・方法 等】 物価の変動を考慮した分析とデフレ・インフレの発生要因を解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出
- 第11回** 【授業テーマ】 労働市場
【内容・方法 等】 失業とフィリップス曲線について解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出
- 第12回** 【授業テーマ】 国際マクロ経済
【内容・方法 等】 貿易と国際収支について解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出
- 第13回** 【授業テーマ】 国際マクロ経済(II)
【内容・方法 等】 外国為替レートについて解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出
- 第14回** 【授業テーマ】 国際マクロ経済(III)
【内容・方法 等】 経常収支の決定理論について解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出
- 第15回** 【授業テーマ】 経済成長
【内容・方法 等】 経済成長理論について解説する。
【事前・事後学習課題】 授業後、課題の提出

評価方法（基準）

中間試験30%、期末試験50%、授業での課題提出及び授業態度20%の割合で総合的に評価する。ただし、無断欠席が4回以上ある場合には、成績評価しない。

教材等

教科書…特に指定しない。適時、レジュメを配布する。

参考書…福田 慎一、照山 博司『演習式 マクロ経済学・入門』有斐閣 (2,500円+税)

ヨラム・パウマン、グレディ・クライン／山形浩生訳『この世で一番おもしろいマクロ経済学。みんながもっと豊かになれるかもしれない16講』ダイヤモンド社 (1,500円+税)

学生へのメッセージ

工学部・理工学部の学生にとって、マクロ経済学で使用するグラフの読み方は決して難しいものではないと思います。本授業を通じて、一般教養としてのマクロ経済学の基礎知識を習得しましょう。

関連科目

特になし

担当者の研究室等

1号館7階 郭講師室（経済学部）

企業経営 Corporate Management / Business Management				
北尾 隆夫 (キタオ タカオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

大学での学業を終えられた学生諸氏は、社会人として必ず企業との関わりを持たれます。就職する会社や、自らが経営する会社が、何を目指し、何に悩み、何に生き甲斐を求めているのかを、事例を通じ理解を深めて戴きます。ステークホルダ

一との関わりの中で、企業が果たすべき役割りを考えると共に、企業経営者に求められる素養や判断すべき内容、企業組織の在り方、更にはCSRで代表される企業の社会的責任に言及します。

産業資本主義と金融資本主義との狭間で揺れ動く企業経営の実態と今後の企業経営の展望を一緒に考える授業です。

<到達目標>

- ①会社形態、組織形態とその運営への理解
- ②ビジネスの目的と意義への理解
- ③アントレプレナーの目的や意義の理解
- ④起業の方法や留意事項への理解
- ⑤株式会社が生み出す経済活動と社会的責任への理解

学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参画方式の授業のため、レポートや発表を多く取り入れたものになります。授業全体を通じ、その時々々の社会情勢を中心に、プリントやパワーポイントにより新しい動向を紹介し、全員で考えながら授業を進めます。

科目学習の効果（資格）

企業経営の観点だけでなく、企業での就業の意味や目的を、更には自らの起業や経営の在り方について、経営的観点から理解を深めていただく効果を期待します。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 はじめに - 企業のはじまりの歴史の意味 -
【内容・方法 等】 ・講師自己紹介、授業ガイダンス
・企業（株式会社）の発祥の歴史経緯や社会的意味、意義を解説します。
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んできてください。
- 第2回** 【授業テーマ】 「法人」の定義 と 「起業」の意義・目的
【内容・方法 等】 企業や団体が「法人」と定義される意味と、その形態を分類整理します。また、企業が事業目的を遂行するために必要とする業務内容とその相互の関連性について解説すると共に、事業を起こすこと（起業）の目的や意義を、企業業務に関連づけて説明します。
【事前・事後学習課題】 法人という定義を事前に調べてください。
- 第3回** 【授業テーマ】 企業の経済活動
【内容・方法 等】 企業は、消費財の提供に伴う経済活動だけでなく、資本や資金の調達、利益の配分などの複雑な経済活動を行っています。その経済活動の種類や目的について解説します。
【事前・事後学習課題】 株式などの有価証券の意味を事前に学習してください。
- 第4回** 【授業テーマ】 企業とステークホルダーの関係とその活動
【内容・方法 等】 企業は消費財を提供することによる消費者との関係だけでなく、種々の社会構造や社会機能との関わりを持っています。企業の社会との関わりについて解説し、身近な事象についての討議を行います。
【事前・事後学習課題】 ステークホルダーの意味を調べておいてください。
- 第5回** 【授業テーマ】 企業の活動目標と組織運営
【内容・方法 等】 企業は、その活動目標を達成するために組織を形成し、役割分担や責任体制を明確化しています。企業における組織の在り方と目標設定の意義について解説します。
【事前・事後学習課題】 企業が持つべき業務機能について考えておいてください。
- 第6回** 【授業テーマ】 分業の意義と問題点
【内容・方法 等】 目的を共有する複数の人が集まり、組織を形成することにより発生する分業について解説し、分業が持つ効果と問題点を整理します。また、ディスカッションにより、具体的な認識を高めていただきます。
【事前・事後学習課題】 分業という言葉の定義を調べておいてください。
- 第7回** 【授業テーマ】 経済情勢と企業経営の方向性
= 新たなビジネスの探索 =
【内容・方法 等】 リーマンショック以降の世界的経済情勢の変化に触れ、「モノづくり」中心の日本産業の直面する課題を整理し、その打開策や学生諸氏と共に考え、これからの企業の在り方の探索や起業分野を考える一助に供します。
【事前・事後学習課題】 2008年に発生した世界的な経済問題であるリーマンショックについて、その概要を調べておいてください。
- 第8回** 【授業テーマ】 情報化社会の意味と我々の生活
【内容・方法 等】 あらゆる局面で「情報化社会」という言葉が使われているが、その定義と我々の生活に与える変化、また我々が対応すべき事柄などを解説します。
【事前・事後学習課題】 情報化社会に関連する新聞記事やインターネット情報を事前に調べ、持参してください。
- 第9回** 【授業テーマ】 企業戦略とそのアプローチ方法 I
【内容・方法 等】 企業は自らの目的を達成するために、事前に調査、分析、戦略立案を行います。その経営戦略の枠組みと、経営資源とは何かを論理的に解説します。
【事前・事後学習課題】 どのような企業でも、持っている目的と

は何かを事前に考えておいてください。

第10回 【授業テーマ】 企業戦略とそのアプローチ方法 II
 【内容・方法 等】 企業は自らの目的を達成するため行う事前の調査、分析、戦略立案のアプローチ方法を整理し、それぞれ適用ケースを解説します。また、経営者が持つべき戦略的思考についても併せて解説します。

【事前・事後学習課題】 松下幸之助の経営哲学に関する情報を事前に学習してください。

第11回 【授業テーマ】 企業活動における情報活用の目的
 【内容・方法 等】 企業経営においては、物理的な資源以外に「情報」というものの経営資源としての価値が取り上げられ、その活用方法が企業戦略の命運を左右すると言われていす。その理由や背景を判り易く解説します。

【事前・事後学習課題】 企業経営が必要とする「情報」を事前に考えてみてください。

第12回 【授業テーマ】 経営意思決定とそのアプローチ
 = 「起業趣旨」と「起業手続き」を踏まえて =
 【内容・方法 等】 経営意思決定は、経営者の独断に依存するのではなく、戦略要因の定量的分析と取捨選択的的確性により支えられます。「起業の趣旨」を幹に据えた意思決定アプローチについて、「起業の手続き」を交えて、具体的に解説します。

【事前・事後学習課題】 経営意思決定の成功例を事前に調査してください。

第13回 【授業テーマ】 CSR - 企業の社会的責任 - I
 【内容・方法 等】 企業は、消費財の供給だけでなく、企業活動が及ぼす社会的影響が問題視されています。企業が活動を行う上で、考慮しなければならない側面を解説すると同時に、皆さんの考えを整理して載せます。

【事前・事後学習課題】 環境問題などの事例を調査してください。

第14回 【授業テーマ】 CSR - 企業の社会的責任 - II
 【内容・方法 等】 企業の社会的責任の中でも、経営資源としても挙げられる「情報」の取り扱いを、情報セキュリティの観点から解説します。企業だけでなく、我々に日常生活に於ける情報漏洩などの問題点も併せて説明します。

【事前・事後学習課題】 情報漏洩事件などのニュースを事前に調べておいてください。

第15回 【授業テーマ】 授業全体のまとめ
 【内容・方法 等】 「企業経営」の講義についてのまとめと感想。授業の要点と重要なポイントをレビューし、質問等にお答えします。

【事前・事後学習課題】 「企業経営」の講義の全体を復習しておいてください。質問等を事前に準備しておいてください。

評価方法 (基準)

全体評価は、平常評価 (35%) と学期末試験評価 (65%) により行います。
 平常評価は、課題レポートまたは小テスト、授業ごとの感想レポートにより行い、学期末試験評価は、文章力向上、自己表現力向上の目的も兼ねて論述中心の試験を実施し評価します。また、レポート課題および学期末試験の設問は、到達目標に纏わる内容とし、その結果で達成評価を行います。

教材等

教科書…特段、教科書の設定は行いません。授業は配布プリントとパワーポイントによるプレゼンテーションにより進めます。

参考書…参考資料も、毎回の授業のテーマに沿って必要なものを配布します。

また、授業の参考になる書籍、ビジネス雑誌、更にはインターネット情報を紹介し、授業の一助に供します。

学生へのメッセージ

- ・ 毎回出席をとります [連絡カード配付]。遅刻をしないようにしてください。
- ・ 座席は前から詰めて着席してください [座席は指定しません]。
- ・ 授業中の私語は謹んでください [真面目な受講者の弊害となる場合は退場戴く場合もあります]。

関連科目

経営、経済、組織、社会学などに関連する授業などが、本授業の参考になり、理解を深めて戴く一助になります。

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室、講師控え室)

授業概要・目的・到達目標

大学での学業を終えられた学生諸氏は、社会人として必ず企業との関わりを持たれます。就職する会社や、自らが経営する会社が、何を指し、何に悩み、何に生き甲斐を求めているのかを、事例を通じ理解を深めて戴きます。ステークホルダーとの関わりの中で、企業が果たすべき役割を考えると共に、企業経営者に求められる素養や判断すべき内容、企業組織の在り方、更にはCSRで代表される企業の社会的責任に言及します。

産業資本主義と金融資本主義との狭間で揺れ動く企業経営の実態と今後の企業経営の展望と一緒に考える授業です。

<到達目標>

- ①会社形態、組織形態とその運営への理解
- ②ビジネスの目的と意義への理解
- ③アントレプレナーの目的や意義の理解
- ④起業の方法や留意事項への理解
- ⑤株式会社が生み出す経済活動と社会的責任への理解

学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参加方式の授業のため、レポートや発表を多く取り入れたものにします。授業全体を通じ、その時々社会情勢を中心に、プリントやパワーポイントにより新しい動向を紹介し、全員で考えながら授業を進めます。

科目学習の効果 (資格)

企業経営の観点だけでなく、企業での就業の意味や目的を、更には自らの起業や経営の在り方について、経営的観点から理解を深めていただく効果を期待します。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 はじめに - 企業のはじまりの歴史の意味 -
 【内容・方法 等】 ・講師自己紹介、授業ガイダンス
 ・企業(株式会社)の発祥の歴史の経緯や社会的意味、意義を解説します。

【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んでみてください。

第2回 【授業テーマ】 「法人」の定義と「起業」の意義・目的
 【内容・方法 等】 企業や団体が「法人」と定義される意味と、その形態を分類整理します。また、企業が事業目的を遂行するために必要とする業務内容とその相互の関連性について解説すると共に、事業を起こすこと(起業)の目的や意義を、企業業務に関連づけて説明します。

【事前・事後学習課題】 法人という定義を事前に調べてください。

第3回 【授業テーマ】 企業の経済活動
 【内容・方法 等】 企業は、消費財の提供に伴う経済活動だけでなく、資本や資金の調達、利益の配分などの複雑な経済活動を行っています。その経済活動の種類や目的について解説します。

【事前・事後学習課題】 株式などの有価証券の意味を事前に学習してください。

第4回 【授業テーマ】 企業とステークホルダーの関係とその活動
 【内容・方法 等】 企業は消費財を提供することによる消費者との関係だけでなく、種々の社会構造や社会機能との関わりを持っています。企業の社会との関わりについて解説し、身近な事象についての討議を行います。

【事前・事後学習課題】 ステークホルダーの意味を調べておいてください。

第5回 【授業テーマ】 企業の活動目標と組織運営
 【内容・方法 等】 企業は、その活動目標を達成するために組織を形成し、役割分担や責任体制を明確化しています。企業における組織の在り方と目標設定の意義について解説します。

【事前・事後学習課題】 企業が持つべき業務機能について考えておいてください。

第6回 【授業テーマ】 分業の意義と問題点
 【内容・方法 等】 目的を共有する複数の人が集まり、組織を形成することにより発生する分業について解説し、分業が持つ効果と問題点を整理します。また、ディスカッションにより、具体的な認識を高めていただきます。

【事前・事後学習課題】 分業という言葉の定義を調べておいてください。

第7回 【授業テーマ】 経済情勢と企業経営の方向性
 = 新たなビジネスの探索 =

【内容・方法 等】 リーマンショック以降の世界的経済情勢の変化に触れ、「モノづくり」中心の日本産業の直面する課題を整理し、その打開策を学生諸氏と共に考え、これからの企業の在り方の探索や起業分野を考える一助に供します。

【事前・事後学習課題】 2008年に発生した世界的な経済問題であるリーマンショックについて、その概要を調べておいてください。

第8回 【授業テーマ】 情報化社会の意味と我々の生活
 【内容・方法 等】 あらゆる局面で「情報化社会」という言葉が使われているが、その定義と我々の生活に与える変化、また我々が対応すべき事柄などを解説します。

【事前・事後学習課題】 情報化社会に関連する新聞記事やインターネット情報を事前に調べ、持参してください。

企業経営 Corporate Management / Business Management				
北尾 隆夫 (キタオ タカオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

- 第9回** 【授業テーマ】 企業戦略とそのアプローチ方法 I
 【内容・方法 等】 企業は自らの目的を達成するために、事前に調査、分析、戦略立案を行います。その経営戦略の枠組みと、経営資源とは何かを論理的に解説します。
 【事前・事後学習課題】 どのような企業でも、持っている目的とは何かを事前に考えてみてください。
- 第10回** 【授業テーマ】 企業戦略とそのアプローチ方法 II
 【内容・方法 等】 企業は自らの目的を達成するため行う事前の調査、分析、戦略立案のアプローチ方法を整理し、それぞれの適用ケースを解説します。また、経営者が持つべき戦略的思考についても併せて解説します。
 【事前・事後学習課題】 松下幸之助の経営哲学に関する情報を事前に学習してください。
- 第11回** 【授業テーマ】 企業活動における情報活用の目的
 【内容・方法 等】 企業経営においては、物理的な資源以外に「情報」というものの経営資源としての価値が取り上げられ、その活用方法が企業戦略の命運を左右すると言われていす。その理由や背景を判り易く解説します。
 【事前・事後学習課題】 企業経営が必要とする「情報」を事前に考えてみてください。
- 第12回** 【授業テーマ】 経営意思決定とそのアプローチ
 = 「起業趣旨」と「起業手続き」を踏まえて =
 【内容・方法 等】 経営意思決定は、経営者の独断に依存するのではなく、戦略要因の定量的分析と取捨選択の的確性により支えられます。「起業の趣旨」を幹に据えた意思決定アプローチについて、「起業の手続き」を交えて、具体的に解説します。
 【事前・事後学習課題】 経営意思決定の成功例を事前に調査してください。
- 第13回** 【授業テーマ】 CSR - 企業の社会的責任 - I
 【内容・方法 等】 企業は、消費財の供給だけでなく、企業活動が及ぼす社会的影響が問題視されています。企業が活動を行う上で、考慮しなければならない側面を解説すると同時に、皆さんの考えを整理して載きます。
 【事前・事後学習課題】 環境問題などの事例を調査してください。
- 第14回** 【授業テーマ】 CSR - 企業の社会的責任 - II
 【内容・方法 等】 企業の社会的責任の中でも、経営資源としても挙げられる「情報」の取り扱いを、情報セキュリティの観点から解説します。企業だけでなく、我々に日常生活に於ける情報漏洩などの問題点も併せて説明します。
 【事前・事後学習課題】 情報漏洩事件などのニュースを事前に調べてみてください。
- 第15回** 【授業テーマ】 授業全体のまとめ
 【内容・方法 等】 「企業経営」の講義についてのまとめと感想。
 授業の要点と重要なポイントをレビューし、質問等にお答えします。
 【事前・事後学習課題】 「企業経営」の講義の全体を復習しておいてください。
 質問等を事前に準備しておいてください。

評価方法 (基準)

全体評価は、平常評価 (35%) と学期末試験評価 (65%) により行います。
 平常評価は、課題レポートまたは小テスト、授業ごとの感想レポートにより行い、学期末試験評価は、文章力向上、自己表現力向上の目的も兼ねて論述中心の試験を実施し評価します。
 また、レポート課題および学期末試験の設問は、到達目標に纏わる内容とし、その結果で達成評価を行います。

教材等

教科書…特段、教科書の設定は行いません。授業は配布プリントとパワーポイントによるプレゼンテーションにより進めます。

参考書…参考資料も、毎回の授業のテーマに沿って必要なものを配布します。

また、授業の参考になる書籍、ビジネス雑誌、更にはインターネット情報を紹介し、授業の一助に供します。

学生へのメッセージ

- ・ 毎回出席をとります [連絡カード配付]。遅刻をしないようにしてください。
- ・ 座席は前から詰めて着席してください [座席は指定しません]。
- ・ 授業中の私語は謹んでください [真面目な受講者の弊害となる場合は退場戴く場合もあります]。

関連科目

経営、経済、組織、社会学などに関連する授業などが、本授業の参考になり、理解を深めて戴く一助になります。

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室、講師控え室)

社会の仕組み

Structure of Society

金 政 芸 (キム ジョンウン)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本講義の目標は、私たちの生きる社会の仕組みを理解することである。社会の仕組みを知ることで、自分の行動や自分の経験するさまざまな出来事の原因が何を理解することができる。本講義では、まず社会の仕組みを理解するための学問である社会学の概要と、家族、地域、国家、国際社会の構造とそれぞれの社会のかかえる諸問題について紹介する。

授業方法と留意点

基本的には講義形式の授業がおこなわれる。講義では、理解を深めるために具体的な研究を紹介していく。

科目学習の効果 (資格)

日々の個人的な経験を、社会の構造やその変化から把握する能力を身につけることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 講義を始めるにあたって
 【内容・方法 等】 オリエンテーション
 【事前・事後学習課題】 授業の流れについて理解する。
- 第2回** 【授業テーマ】 社会学とは何か I
 【内容・方法 等】 社会学の定義と歴史について。
 【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。
- 第3回** 【授業テーマ】 社会学とは何か II
 【内容・方法 等】 社会学の古典的研究の紹介。
 【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。
- 第4回** 【授業テーマ】 他者と自己
 【内容・方法 等】 他者との関係のなかで形成される自己意識について。
 【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。
- 第5回** 【授業テーマ】 集団と個人
 【内容・方法 等】 単なる個人の集合体を超えた存在としての社会集団の特徴について。
 【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。
- 第6回** 【授業テーマ】 家族の社会学 I
 【内容・方法 等】 近代的家族の出現とその変容について。
 【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。
- 第7回** 【授業テーマ】 家族の社会学 II
 【内容・方法 等】 現代の家族のかかえるさまざまな問題について。
 【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。
- 第8回** 【授業テーマ】 地域の社会学 I
 【内容・方法 等】 現代都市の特徴について。
 【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。
- 第9回** 【授業テーマ】 地域の社会学 II
 【内容・方法 等】 現代の都市のかかえるさまざまな問題について。
 【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。

- 第10回** 【授業テーマ】 ネーションとエスニシティ I
 【内容・方法 等】 ネーションの概念整理と、その実在にかかわる諸議論について。
 【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。

- 第11回** 【授業テーマ】 ネーションとエスニシティ II
 【内容・方法 等】 移民とエスニック・マイノリティ、ナショナリズムについて。
 【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。

- 第12回** 【授業テーマ】 グローバリゼーション
 【内容・方法 等】 グローバリゼーションとは何か。
 【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。

- 第13回** 【授業テーマ】 階層と格差 I
 【内容・方法 等】 階級と階層、そこに存在する格差という問題について。
 【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。

- 第14回** 【授業テーマ】 階層と格差 II
 【内容・方法 等】 格差はどのように再生産されるのか。
 【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。

- 第15回** 【授業テーマ】 講義を終えるにあたって
 【内容・方法 等】 総括
 【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。

評価方法 (基準)

授業態度、中間レポート、期末試験で評価する。

教材等

教科書…レジュメを配布。
参考書…授業中に適宜指示する。

学生へのメッセージ

馴染みのない理論や概念がたくさん出てきますが、講義に集中すれば十分に理解できると思います。紹介された理論を身近な経験に適用していけばより理解が深まるでしょう。

関連科目

社会の仕組み Structure of Society				
谷口裕久(タニグチ ヤスヒサ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

人は文化のなかに生まれ、そこで社会を形成して生きる存在である。人は単独では生きてはゆけず、常に周囲に依存し影響を受けながら生きてゆく。この授業では、社会学の重厚な論題の中から、「社会の仕組み」を選び、それを身近な課題と結びつけることによって、わかりやすい授業の展開を志したい。授業の具体的な内容は授業計画を参照いただきたいが、社会における諸事象を各回のトピックとして取り上げ、解説を進めてゆく。授業は1回から3回程度で完結するオムニバス形式で行う。これらの諸課題の学習(受講とその後の復習など)を通じて、受講者諸項目の社会的な意味づけを理解させながら、社会全体への豊かな視点も養成できればと考えている。
学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

講義形式が中心。授業内容に即した映像を副次的に教材として利用することがある。積極的にノートをとることが肝要。

科目学習の効果(資格)

工学諸分野と協同すべき社会の諸問題をめぐり、社会学の枠組や考え方に則して、問題の理解と解決方法の考察を行うことができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 授業の進め方・「コモنزの悲劇」を考える。
【内容・方法 等】 「コモنزの悲劇」の事例から、共同参画する社会への認識を深める。
【事前・事後学習課題】 「コモنزの悲劇」について説明できること。
- 第2回 【授業テーマ】 社会と文化
【内容・方法 等】 社会や文化に対する認識を深める。
【事前・事後学習課題】 社会と文化に対する概念について説明できること。
- 第3回 【授業テーマ】 親とは誰か? 家族とは何か?
【内容・方法 等】 多様な親や家族の概念について教授する。
【事前・事後学習課題】 親や家族の概念について説明できること。
- 第4回 【授業テーマ】 家族の区分
【内容・方法 等】 形態論だけではなく、生き方としての家族の区分について検討する。
【事前・事後学習課題】 家族の多様性について理解を進めること。
- 第5回 【授業テーマ】 都市社会とは何か?
【内容・方法 等】 都市へ転換構造と都市をとりまく諸問題について考える。
【事前・事後学習課題】 都市問題について一定の認識を持つこと。
- 第6回 【授業テーマ】 国民国家とは何か?
【内容・方法 等】 国民国家の概念やナショナリズムについて検討する。
【事前・事後学習課題】 国民国家やナショナリズムについて説明ができること。
- 第7回 【授業テーマ】 「人種」概念の無効性
【内容・方法 等】 流通する「人種」概念と、その無効性について検討する。
【事前・事後学習課題】 「人種」概念の無効性について、一定の説明をすることができること。
- 第8回 【授業テーマ】 「民族」とは何か?
【内容・方法 等】 日頃意識しない「民族」の概念について検討する。
【事前・事後学習課題】 「民族」の概念について、具体的に検討できること。
- 第9回 【授業テーマ】 情報をめぐる不可思議
【内容・方法 等】 情報のありさまをめぐる問題について検討する。
【事前・事後学習課題】 情報と消費の関係性について、意見を呈示することができる。
- 第10回 【授業テーマ】 IT化と社会
【内容・方法 等】 IT(Information Technology)化が進行する中での社会の動態について検討する。
【事前・事後学習課題】 IT化と社会について、関連性を見いだ

- すことができる。
- 第11回 【授業テーマ】 「犯罪」とは何か?
【内容・方法 等】 「犯罪」とはどのような事象を指すのか検討し、その主体についても検討する。
【事前・事後学習課題】 社会学的な「犯罪」の概念を呈示できること。
- 第12回 【授業テーマ】 安全とは何か?
【内容・方法 等】 社会における安全への取り組みや、安全に対する認識を深める。
【事前・事後学習課題】 安全の考え方について、一定の認識を持てること。
- 第13回 【授業テーマ】 人間と誤謬
【内容・方法 等】 人は誤りを犯す動物だが、社会におけるその具体例を検討する。
【事前・事後学習課題】 誤謬による事故の予防などについて、意見を呈示できること。
- 第14回 【授業テーマ】 遺伝子組み換えの論理と倫理
【内容・方法 等】 遺伝子組み換えの考え方とその倫理的側面について講じる。
【事前・事後学習課題】 遺伝子組み換えの理論とその倫理的側面について、意見を呈示することができる。
- 第15回 【授業テーマ】 科学と技術の融合
【内容・方法 等】 科学(Science)とは何か、またそれとの技術的な融合は社会に何を生み出すのかについて考える。
【事前・事後学習課題】 科学と技術の融合論について、一定の論理展開ができること。

評価方法(基準)

レポート60%、授業参加度(質問・感想等)40%の割合で総合的に評価する。

教材等

教科書…とくに使用しない。
参考書…授業中に適宜指示する。

学生へのメッセージ

授業の内容の中に自分の将来に役に立つ知識を積極的に探そうと努力すること。授業中の私語と携帯電話の使用は厳禁である。パワーポイントのスライドを授業時に使用するため、積極的にノートをとることが肝要。

関連科目

なし。

担当者の研究室等

11号館6階、経営学部事務室

マーケティング Marketing				
樋口友紀(ヒグチ ユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

近年、ビジネスにおいてマーケティングは欠かすことのできないツールとなった。商品を生産すれば売れた時代とは違い、現在では多様化する消費者ニーズに的確に対応することが、企業にとって市場で生き残っていくためのカギとなっている。本講義では、マーケティングの基本について学習する。なぜマーケティングが必要であるのか、どのように行えば良いのか、その手法と実際を紹介する。
学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

教員からの講義の他に、講義内容に関連した実際の問題について学生自身にも考え、発表してもらう。これは、学生の発想力と創造性を伸ばすためでもある。

科目学習の効果(資格)

マーケティングの基礎知識を学習し、現実の問題について考えることで、世の中で行われているマーケティング手法について身近に理解できるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 マーケティングとは何か、基本的な用語について
【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
- 第2回 【授業テーマ】 マーケティングの基礎
【内容・方法 等】 マーケティングの歴史、4P、様々な分析手法について
【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
- 第3回 【授業テーマ】 マーケティング戦略1
【内容・方法 等】 製品戦略について
【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
- 第4回 【授業テーマ】 マーケティング戦略2
【内容・方法 等】 価格戦略について

- 第5回** 【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
【授業テーマ】 マーケティング戦略3
【内容・方法等】 チャネル戦略について
- 第6回** 【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
【授業テーマ】 マーケティング戦略4
【内容・方法等】 プロモーションについて
- 第7回** 【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
【授業テーマ】 マーケティング戦略5
【内容・方法等】 インターネット戦略について
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
【授業テーマ】 マーケティング戦略6
【内容・方法等】 各種の戦略や、現実の事例について
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
【授業テーマ】 マーケティング戦略7
【内容・方法等】 サービス・マーケティングについて
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
【授業テーマ】 マーケティング戦略8
【内容・方法等】 ブランドとは何かを学ぶ
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
【授業テーマ】 マーケティング戦略9
【内容・方法等】 ブランド戦略について
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
【授業テーマ】 ニュービジネス設計(1)
【内容・方法等】 これまでの講義内容をふまえ、実際にニュービジネスの設計を行ってもらいます。
【事前・事後学習課題】 ニュービジネスについてアイデアが出せるよう、書籍、新聞やインターネットから情報収集をしてください。
- 第13回** 【授業テーマ】 ニュービジネス設計(2)
【内容・方法等】 これまでの講義内容をふまえ、実際にニュービジネスの設計を行ってもらいます。
【事前・事後学習課題】 考案したニュービジネスについて、プレゼンテーションができるように掘り下げて考えて下さい。
- 第14回** 【授業テーマ】 ニュービジネス設計およびプレゼンテーション
【内容・方法等】 ニュービジネスの設計を完成させます。設計したニュービジネスを発表資料としてまとめ、発表もしくは提出してもらいます。また、他の学生の考案したニュービジネスについて分析を加えます。
【事前・事後学習課題】 ビジネスについて書籍、新聞やインターネットから情報収集をしてください。
- 第15回** 【授業テーマ】 講義まとめ
【内容・方法等】 授業に関する質問に回答します。
【事前・事後学習課題】 半年間の復習をしておいてください。

評価方法 (基準)

講義内課題70%、期末試験30%

教材等

教科書…教科書：現代マーケティング-ICT時代の新しいコミュニケーション/竹安和博・石井康夫・樋口友紀

参考書…講義中に適宜指示する。

学生へのメッセージ

日ごろ自分達がどのように考え、どういった商品を購入しているのかを思い浮かべつつ、講義に臨んでもらいたい。

関連科目

特になし

担当者の研究室等

樋口研究室

備考

学生の理解度や使用教室などによって、適宜講義内容を変更する場合があります。

産業社会と知的財産 Industrial Society and Intellectual Property				
杉山 典正 (スギヤマ)				
箱田 聖二 (ハコダ セイジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

企業において、アイデアを財産権とした「知的財産権」の活用は当然となっている。さらに、企業のグローバル化に伴い、知的財産をめぐる戦略的な活動が、より要求されるようになってきた。そこで本講義では、産業社会において、知的財産がどのようなものなのか、そして現代産業社会においていかに機能しているのか、その役割を理解する目的で講義を実施する。本講義を開講するにあたり、到達目標は下記のとおり設定する。

- 1.特許、意匠、商標、著作権の基本が理解できている。
- 2.知的財産が産業・文化にどのような影響をもたらすのかを理解

できている。
3.企業の営業活動において、知的財産がどのように活用されているかを理解できている。
4.知的財産法の体系が理解でき、国際的な関係も理解できている。学生は、上記を達成することで、グローバル企業における知的財産戦略の重要性を理解し、知的財産活用を含めたビジネスアイデアを考えられるようになる。
学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

資料を配布し、講義形式で進行する。学生は、配布された資料に適宜メモをすること。
また、学習の確認のために小テストやレポート課題を実施する。

科目学習の効果 (資格)

本講義で学ぶ内容は、企業（特に製造業）で製品・サービスの国際競争力を高めるアイデアを生み出す基礎知識となる。また、国家資格である「知的財産管理技能検定」の受験に役立つことができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 知的財産の概要
【内容・方法等】 知的財産法の全体像を概説するとともに、その保護対象について近年の事例をもとに例示する。そして、保護によって産業社会にどのような影響をもたらすコンセプトなのかを理解する。
【事前・事後学習課題】 事前：特になし。知的財産に関する記事などをインターネットで見しておくこと。
事後：講義内容と関連するニュースをチェックしておく。
- 第2回** 【授業テーマ】 特許網の形成と活用
【内容・方法等】 特許の保護要件・期間・手続などについて概説する。さらに企業が形成する特許網の役割、活用について考える。
【事前・事後学習課題】 事前：特になし。
事後：企業が特許を取得するのはなぜか。その理由を考える。
- 第3回** 【授業テーマ】 インダストリアルデザインと意匠保護
【内容・方法等】 インダストリアルデザインが担う役割を踏まえ、意匠の保護要件・期間・手続などについて概説する。そして、意匠登録を企業利益につなげる戦略について考える。
【事前・事後学習課題】 事前：身の回りの工業デザインを発見しておく。
事後：製品にデザインを施す理由は何か、意匠を保護する意匠法は、企業でどのように活用されているか考える。
- 第4回** 【授業テーマ】 ブランドイメージ向上と商標保護
【内容・方法等】 ブランドイメージ向上と商標保護が、企業においてどのような意味を持つのかを踏まえ、商標の保護要件・期間・手続などについて概説する。さらに、保護対象拡大の流れについて解説する。
【事前・事後学習課題】 事前：一般的に言われる「ブランド」とは何かを考えておく。
事後：商標の有無によって、商品の購買にどのような影響がでるのかを考える。商標が今度どのように変わっていくのかを把握しておく。
- 第5回** 【授業テーマ】 著作権の体系と権利の主体
【内容・方法等】 著作物の保護要件・期間などについて概説する。著作権の体系について示し、財産権、人格権、隣接権の位置づけについて理解する。
【事前・事後学習課題】 事前：著作権が問題となったニュースを2,3調べておく。
事後：著作権法の体系を整理しておく。
- 第6回** 【授業テーマ】 ITと知的財産
【内容・方法等】 ITの発達が知的財産にもたらした影響について考える。特にデジタルコンテンツ、ソフトウェアの取扱いに関して問題となった事例を紹介し、その内容を理解する。
【事前・事後学習課題】 事前：インターネット上でコンテンツがどのように活用されているか、調べておく。
事後：どうすれば、コンテンツやソフトウェアを適切に保護できるのか復習しておく。
- 第7回** 【授業テーマ】 知的財産の保護と共有
【内容・方法等】 知的財産の共有に関する話題を紹介する。クリエイティブ・コモンズ、標準化技術、フリーソフトウェアについて概説し、保護と共有のバランスについて考える。
【事前・事後学習課題】 事前：身の回りにある規格にどのようなものがあるか、調べておく。
事後：紹介した各々の事例において、何を目的として考え出されたコンセプトなのか、理解しておく。
- 第8回** 【授業テーマ】 医薬品開発と特許 (前半)
【内容・方法等】 医薬品の開発から上市までの流れおよび上市後の企業戦略について特許と絡めつつ、また、医薬品と機械・電気系との特許に対する違いを比べながら解説する。
【事前・事後学習課題】 事前：特になし。
事後：医薬品と機械・電気製品とは、何が異なるのか。保護する際に留意すべきことは何か、復習しておく。
- 第9回** 【授業テーマ】 医薬品開発と特許 (後半)

【内容・方法 等】 同上

【事前・事後学習課題】 事前：前回の講義内容のポイントを押さえておく。

事後：医薬品特許の特性、取得するために必要な知識、抱えている問題、について把握する。

第10回 【授業テーマ】 Patent Portfolio Management (前半)

【内容・方法 等】 医薬品産業はglobal化が進んでおり、開発品・製品に関する特許のglobalなmanagementが重要になっている。開発品・製品に関する特許群を資産(portfolio)と捉え、外国出願戦略を含めたmanagementの考え方および手法について解説する。

【事前・事後学習課題】 事前：企業における知財活用事例について調べておく。

事後：講義内容のポイントをまとめておく。

第11回 【授業テーマ】 Patent Portfolio Management (後半)

【内容・方法 等】 同上

【事前・事後学習課題】 事前：前回の講義内容のポイントを押さえておく。

事後：知財マネジメントの目的は何か、グローバルな知財戦略において必要とされる知識は何かを把握しておく。

第12回 【授業テーマ】 医薬品と国際的課題

【内容・方法 等】 先進国での医薬品市場の伸びは頭打ちになり、新興国でのビジネスが重要になっている。しかし、新興国でのビジネスでは「医薬品アクセス問題」という課題があり、特許も大きく関係している。(例. インドでの強制実施権等) これらの課題について解説する。

【事前・事後学習課題】 事前：先進国における医薬品ビジネスに関するニュースを調べておく。

事後：講義内で解説された事例について、問題点、課題についてまとめておく。

第13回 【授業テーマ】 特許と訴訟 (前半)

【内容・方法 等】 企業間で行われる特許訴訟に関して、最近の事例(医薬品、電気機械、食品等)を挙げて解説する。

【事前・事後学習課題】 事前：特許の基本的な知識を復習しておく。

事後：講義内で解説された事例について、インターネットで検索し、改めて理解しておく。

第14回 【授業テーマ】 特許と訴訟 (後半)

【内容・方法 等】 同上

【事前・事後学習課題】 事前：前回の講義内容のポイントを押さえておく。

事後：講義内で解説された事例について、インターネットで検索し、改めて理解する。

第15回 【授業テーマ】 まとめ

【内容・方法 等】 総まとめとして、演習問題を実施する。

【事前・事後学習課題】 事前：14回の講義で学んだ内容とポイントを整理しておくこと。

事後：技術者であっても「知的財産」を意識しておかなくてはならない。本講義で学んだ知識を将来に役立てるよう、ニュースなどで知的財産の話題を見かけた際には、積極的に理解すること。

評価方法 (基準)

小テスト・レポート課題(小テスト1回、レポート1回実施予定)を50%、15回目に実施する最終課題を50%として総合評価とする。

教材等

教科書…なし

参考書…特許庁監修「知的財産標準テキスト」

学生へのメッセージ

工学を学ぶ者にとって、知的財産の知識は必須である。興味深い内容の授業とするべく工夫するので、必ず出席をし、積極的に講義に参加することが望まれる。

関連科目

なし

担当者の研究室等

大阪工業大学 1号館 10階 杉山講師室

連絡先：sugiyama@ip.oit.ac.jp

備考

なし

国際理解概論 International Cooperation				
劉		洋 (リュウ ヨウ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

第二次世界大戦以降、世界では貿易および多国籍企業の規模が拡大し、世界レベルの市場および競争もそれに伴って、拡張してきました。いまや、先進工業国に住んでいる私達は自分の家

のなかで、世界中からの商品を手に入れることができるようになり、まさに世界の多くの国に広がっている巨大企業が私達の周りにあります。しかし、この現象は自然に、そして急に起きたものではありません。では、こうした国際産業はどのような特徴があり、どのように働いているのか。また、私達および他の国の人々の暮らしとどのような関係があるのか。この科目は、個別産業に焦点をあてながらグローバルなネットワークの形成とそのガバナンスの実態を明らかにし、現在のグローバル経済の現実を考察します。グローバル化をめぐる議論を理解することおよびグローバル化と日本との関係を理解することがこの授業の到達目標です。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

主に講義形式で授業は行われますが、授業内容に対する学生の積極的な議論も期待しています。また、場合によっては授業内容に即した映像を副教材として利用します。講師の指示に従って、事前・事後学習をするのは学生の責任です。

科目学習の効果 (資格)

日本の立場を国際的な視野から見ます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 産業、社会と、変動する世界

【内容・方法 等】 講座の全体的流れを認識し、経済および文化のグローバル化の実例について考えます。

【事前・事後学習課題】 講師の指示に従って次回への展開。

第2回 【授業テーマ】 グローバル化とは何か

【内容・方法 等】 グローバル化の概念を考察します。

【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。

第3回 【授業テーマ】 グローバル化をめぐる理論 (1)。

【内容・方法 等】 グローバル化をめぐる理論を考察します。

【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。

第4回 【授業テーマ】 グローバル化をめぐる理論 (2)

【内容・方法 等】 グローバル化をめぐる理論を考察します。

【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。

第5回 【授業テーマ】 経済のグローバル化

【内容・方法 等】 経済のグローバル化をめぐる議論を考察します。

【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。

第6回 【授業テーマ】 自動車産業のグローバル化

【内容・方法 等】 産業のグローバル化において自動車産業の重要性を理解し、日本産業の位置づけについて考えます。

【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。

第7回 【授業テーマ】 繊維産業・衣料産業のグローバル化 (1)

【内容・方法 等】 国際繊維産業・衣服産業の現状を理解し、日本産業および日本市場の位置づけについて考えます。

【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。

第8回 【授業テーマ】 繊維産業・衣料産業のグローバル化 (2)

【内容・方法 等】 国際繊維産業・衣服産業の現状を理解し、日本産業および日本市場の位置づけについて考えます。

【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。

第9回 【授業テーマ】 グローバル化と環境破壊

【内容・方法 等】 グローバル化と世界の環境問題との関係を考察します。

【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。

第10回 【授業テーマ】 世界の労働とグローバル化 (1)

【内容・方法 等】 国際労働の現状と、グローバル化の影響を考察します。

【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。

第11回 【授業テーマ】 世界の労働とグローバル化 (2)

【内容・方法 等】 国際労働の現状と、グローバル化の影響を考察します。

【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。

第12回 【授業テーマ】 政治のグローバル化 (1)

【内容・方法 等】 国際機関、政府やNPOによって世界市場における企業行動などのガバナンスの現状と可能性を考察します。

【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。

第13回 【授業テーマ】 政治のグローバル化 (2)

【内容・方法 等】 国際機関、政府やNPOによって世界市場における企業行動などのガバナンスの現状と可能性を考察します。

【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。

第14回 【授業テーマ】 文化のグローバル化 (1)

【内容・方法 等】 文化のグローバル化の現状および文化のグローバル化をめぐる議論を考察します。

【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。

第15回 【授業テーマ】 文化のグローバル化（2）
まとめ

【内容・方法 等】 文化のグローバル化の現状および文化のグローバル化をめぐる議論を考察します。
全体を復習し、14回の授業のそれぞれの関連を考える上で、1回目の授業における課題をもう一度考察します。

【事前・事後学習課題】 前回の復習。

評価方法（基準）

定期試験と小テストを主とし、授業参加率・態度等を総合評価します。
（定期試験 50%、小テスト30%、授業参加率、態度等を 20%の割合で総合的に評価する。）

教材等

教科書…無し。

参考書…デヴィッド・ヘルド（編）『グローバル化とは何か：文化・経済・政治』、京都：法律文化社、2002年。

Peter Dicken (2010) "Global Shift". New York, London: The Guilford Press.

学生へのメッセージ

授業の内容を丸暗記するのではなく、積極的に考えて理解すること。

授業中に私語などマナー違反がある場合は、退室を命じます。

関連科目

特にありません。

担当者の研究室等

非常勤講師ですので研究室はありません。その代わりに、授業中に質問の時間を設ける予定です。

インターンシップ Internship I					
		水 野	武 (ミズノ タケシ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数	
3	イ	前期	選択	2	

授業概要・目的・到達目標

インターンシップの目的は、実際の仕事現場の一員として業務を担当させていただくことで社会人の方々がどのような考え方で働かれているのか、特に①仕事の社会における役割 ②仕事の成果とは ③仕事の責任と充実感 を肌で感じてもらうことです。

インターンシップ I では、インターンシップへ意欲的に自信を持って参加できるようになることを目標とします。

学科の学習と教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

グループワークやプレゼンテーションなどを行う参加型の授業です。

実際のインターンシップにつながる講義ですので、能動的に、真摯に参加することを求めます。

科目学習の効果（資格）

インターンシップへ行く目的を理解し、準備ができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 インターンシップとは
【内容・方法 等】 授業オリエンテーション
インターンシップとアルバイトの違い
インターンシップの狙い
【事前・事後学習課題】 インターンシップとはどのようなものかを調べておいて下さい。

第2回 【授業テーマ】 学びと社会のつながり
【内容・方法 等】 大学での学びは、社会とどうつながるのかを考える。
【事前・事後学習課題】 自分の専攻分野と社会のかかわりを考えてください。

第3回 【授業テーマ】 実習参加企業について
【内容・方法 等】 産業の分類を知る。
業種、内容、実施時期等、実習参加企業について知る。
【事前・事後学習課題】 インターン受入企業リストに目を通して下さい。

第4回 【授業テーマ】 インターンシップの目的
【内容・方法 等】 社会人と学生の違いを知る。
志望動機とインターンシップでの目標を設定する。
【事前・事後学習課題】 授業内で提示した課題を実施してください。

第5回 【授業テーマ】 効果的なプレゼンテーションとは
【内容・方法 等】 効果的なプレゼンテーションの仕方、注意点などを知る。
【事前・事後学習課題】 第4回目の課題について、プレゼンテ

ーションの準備をして下さい。

第6回 【授業テーマ】 課題のプレゼンテーション
【内容・方法 等】 第4回目の課題をプレゼンテーションする。
【事前・事後学習課題】 第4回目の課題について、プレゼンテーションの準備をして下さい。

第7回 【授業テーマ】 社会人のマナー①
【内容・方法 等】 社会人としての心構えを知る。
【事前・事後学習課題】 マナーが何故大切なのかを考えて下さい。

第8回 【授業テーマ】 社会人のマナー②
【内容・方法 等】 電話のかけ方、指示の受け方、ハウレンソウについて
【事前・事後学習課題】 授業以降は丁寧な電話の受け答えを心がけてください。

第9回 【授業テーマ】 社会人のマナー③
【内容・方法 等】 御礼状の書き方、メールの書き方について
【事前・事後学習課題】 マナーの大切さを再度考えて下さい。

第10回 【授業テーマ】 事前訪問について
【内容・方法 等】 事前訪問のマナーと準備について
【事前・事後学習課題】 インターン先の企業のことをもう一度調べて下さい。

第11回 【授業テーマ】 コミュニケーションの基本
【内容・方法 等】 聴く力、相手を尊重したコミュニケーションの方法について
【事前・事後学習課題】 授業後は相手を尊重したコミュニケーションを意識してください

第12回 【授業テーマ】 グループワーク①
【内容・方法 等】 掲示された課題について、チームで情報を集約、検証、プレゼンテーションを行う。
【事前・事後学習課題】 グループ内の自分の役割を考えて下さい。

第13回 【授業テーマ】 グループワーク②
【内容・方法 等】 掲示された課題について、チームで情報を集約、検証、プレゼンテーションを行う。
【事前・事後学習課題】 グループの最大の力を出すために、自分に何ができるかを考え、プレゼンテーションの準備をして下さい。

第14回 【授業テーマ】 PDCAサイクル・トラブル対応
【内容・方法 等】 PDCAサイクルについて
トラブル対応について
【事前・事後学習課題】 PDCAとは何か、を調べて下さい。

第15回 【授業テーマ】 振り返りとまとめ
【内容・方法 等】 授業を振り返る。
インターンシップの目的を再考する。
【事前・事後学習課題】 インターンシップで何を身につけたいかをもう一度考えて下さい。

評価方法（基準）

発表（30%）、提出物（30%）、授業態度（40%）による総合評価とします。

教材等

教科書…必要に応じてレジュメを配布

参考書…必要に応じて推薦図書を提示

学生へのメッセージ

インターンシップの流れ ※4月下旬にリスト公開→5月上旬に希望事業所の絞り込み→5月下旬に就職部から受け入れ可否の回答→6月末頃に事前訪問→8月上旬から実習（予定）

関連科目

インターンシップⅡ（企業での就業体験実習）を希望する学生は、必ずこの科目を同時履修すること

担当者の研究室等

3号館4階 キャリア教育推進室

インターンシップ Internship I					
		伊 藤	譲 (イトウ ユズル)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数	
3	ロ・ニ	前期	選択	2	

授業概要・目的・到達目標

これから就職活動を始める学生（大学3年）を対象に、社会人として必要とされる一般的なマナー・基礎知識の学生時代での習得を目的として、社会人・組織人としての社会的役割および責任、仕事への情熱、創造的態度、能力向上意欲を喚起させる。到達目標は、次のとおりである。

(1)社会人としてのマナーを身につける。(2)仕事の基本に関する知識を修得する。(3)環境問題/意識についての体験をする。(4)企業における品質問題を体験する。(5)原価管理の基礎知識を修得する。(6)PDCAサイクルによる課題解決を体験する。
学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

パナソニック(株)より社外講師を招き、企業人・社会人としての基礎となる知識と心がまえについて、講義に加えて具体事例演習を通じて体得させる。なお、1~5回目までは120分授業(途中5分程度の休憩)とする。

科目学習の効果(資格)

将来の職業選択意識を高めるとともに、社会人・企業人として適切な行動が取れるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは①
 【内容・方法 等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
 【事前・事後学習課題】 企業・製造業・仕事に基本①の講義終了後、レポートを提出のこと(書式は別途)
- 第2回** 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは②
 【内容・方法 等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
 【事前・事後学習課題】 ー
- 第3回** 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは③
 【内容・方法 等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
 【事前・事後学習課題】 企業・製造業・仕事の基本②~③の講義終了後、レポートを提出のこと(書式は別途)
- 第4回** 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは④
 【内容・方法 等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
 【事前・事後学習課題】 ー
- 第5回** 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは⑤
 【内容・方法 等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
 【事前・事後学習課題】 企業・製造業・仕事の基本④~⑤の講義終了後、レポートを提出のこと(書式は別途)
- 第6回** 【授業テーマ】 品質教育①
 【内容・方法 等】 企業活動の命運をにぎる品質問題について、品質管理の基礎からQC7つ道具の活用・具体実習等により、品質の重要性を体得する(座学と実習)
 【事前・事後学習課題】 ー
- 第7回** 【授業テーマ】 品質教育②
 【内容・方法 等】 企業活動の命運をにぎる品質問題について、品質管理の基礎からQC7つ道具の活用・具体実習等により、品質の重要性を体得する(座学と実習)
 【事前・事後学習課題】 ー
- 第8回** 【授業テーマ】 品質教育③
 【内容・方法 等】 企業活動の命運をにぎる品質問題について、品質管理の基礎からQC7つ道具の活用・具体実習等により、品質の重要性を体得する(座学と実習)
 【事前・事後学習課題】 品質教育①~③の講義終了後、レポートを提出する(書式は別途)
- 第9回** 【授業テーマ】 原価・コスト教育①
 【内容・方法 等】 企業活動の根幹を成す原価についての基礎概念と原価管理の基礎知識を習得する
 【事前・事後学習課題】 ー
- 第10回** 【授業テーマ】 原価・コスト教育②
 【内容・方法 等】 企業活動の根幹を成す原価についての基礎概念と原価管理の基礎知識を習得する
 【事前・事後学習課題】 ー
- 第11回** 【授業テーマ】 原価・コスト教育③
 【内容・方法 等】 企業活動の根幹を成す原価についての基礎概念と原価管理の基礎知識を習得する
 【事前・事後学習課題】 原価・コスト教育①~③の講義終了後、レポートを提出する(書式は別途)
- 第12回** 【授業テーマ】 課題解決教育①
 【内容・方法 等】 PDCAサイクルを回すことの重要性の習得により、課題形成力・問題解決力を強化する
 【事前・事後学習課題】 ー
- 第13回** 【授業テーマ】 課題解決教育②
 【内容・方法 等】 PDCAサイクルを回すことの重要性の習得により、課題形成力・問題解決力を強化する
 【事前・事後学習課題】 ー
- 第14回** 【授業テーマ】 課題解決教育③
 【内容・方法 等】 PDCAサイクルを回すことの重要性の習得により、課題形成力・問題解決力を強化する
 【事前・事後学習課題】 課題解決教育①~③の講義終了後、レポートを提出のこと(書式は別途)
 また、14回目までの講義を総括して、最終回での質問事項を考えておくこと
- 第15回** 【授業テーマ】 全体討議・質疑応答
 【内容・方法 等】 14回の講義を総括しての討議・質疑応答を実施する
 【事前・事後学習課題】 最終報告として受講レポートを提出す

評価方法(基準)

課題レポート(6回)40%、授業態度(積極性)20%、受講レポート10%、全体討議(プレゼンテーション)10%、期末試験20%とした総合評価を行う。

教材等

教科書…資料を配布する。

学生へのメッセージ

日本を代表する企業と共同で実施する研修を体験して、企業は学生に何を求めているのかを知り、職業人としての基礎知識を身につけるとともに社会人になるための意識転換をして下さい。

関連科目

『インターンシップⅡ』(ロ組)と理工学部海外インターンシップを履修する学生は、必ずこの科目を同時履修すること。

担当者の研究室等

1号館3階 伊藤教授室

備考

【担当者】
 摂南大学:石田講師、榊講師、加嶋准教授、川野教授、横田講師、奥野准教授、熊谷教授、田中講師
 パナソニック講師:佐藤哲志、山下秀行、福田祥一、高岡清

インターンシップII Internship II				
水野 武(ミスノ タケシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	I	前期非終講	選択	2

授業概要・目的・到達目標

インターンシップの目的は、実際の仕事現場の一員として業務を担当させていただくことで社会人の方々がどのような考え方で働かれているのか、特に社会における仕事の役割、仕事の成果、仕事に対する責任と充実感を肌で感じてもらうことです。インターンシップⅡでは、インターンシップ実習の機会を最大限に活用し、自分や社会をより理解し、将来の選択肢や可能性を広げることを目標とします。

授業方法と留意点

事前指導→インターンシップ実習→事後指導
 実習中は、大学の代表、そして実習先の一員としての意識を持って参加してください。

科目学習の効果(資格)

就職活動や将来を考えるうえでの貴重な出会いや気づきを得ることが出来ます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 直前教育①
 6月22日(土) 3限目
 【内容・方法 等】 インターンシップの心構え
 今後のスケジュールの確認
 【事前・事後学習課題】 社会人を意識したスーツ着用
- 第2回** 【授業テーマ】 直前教育②
 6月22日(土) 4限目
 【内容・方法 等】 報告書の書き方、注意点/マナー・身だしなみの最終確認
 【事前・事後学習課題】 マナーについて考えて下さい。
- 第3回** 【授業テーマ】 直前教育③
 6月29日(土) 3限目
 【内容・方法 等】 プレゼンテーション①
 【事前・事後学習課題】 他者に何かを伝える際に気を付けることを考えて下さい。
- 第4回** 【授業テーマ】 直前教育④
 6月29日(土) 4限目
 【内容・方法 等】 プレゼンテーション②
 【事前・事後学習課題】 インターンシップで何を学びたいのかを考えて下さい。
- 第5回** 【授業テーマ】 インターンシップ実習
 【内容・方法 等】 夏季休暇中に二週間以上
 【事前・事後学習課題】 実習中は毎日日誌をつけること。
- 第6回** 【授業テーマ】 インターンシップ実習
 【内容・方法 等】 夏季休暇中に二週間以上
 【事前・事後学習課題】 事前に立てた目標を意識して参加してください。
- 第7回** 【授業テーマ】 体験報告書の作成・提出・指導
 【内容・方法 等】 報告書提出/ゼミ教員・インターンシップ担当教員における報告書のチェックと指導
 (担当教員への提出と教務課へ電子データを提出)
 【事前・事後学習課題】 事前指導の通りに報告書を作成する。提出前に必ず推敲を行うこと。
- 第8回** 【授業テーマ】 事後指導①
 9月28日(土) 3限目
 【内容・方法 等】 体験報告会に向けたプレゼン指導及び個人

- 発表
【事前・事後学習課題】 個人発表用のレジュメを準備し、プレゼンテーションができるようにして下さい。
- 第9回 **【授業テーマ】** 事後指導②
 9月28日(土) 4限目
【内容・方法等】 体験報告会に向けたプレゼン指導及び個人発表
【事前・事後学習課題】 個人発表用のレジュメを準備し、プレゼンテーションができるようにして下さい。
- 第10回 **【授業テーマ】** 事後指導③
 10月19日(土) 3限目
【内容・方法等】 体験報告会に向けたプレゼン指導及び個人発表
【事前・事後学習課題】 代表者はスライドを作成し、プレゼンテーションの準備をして下さい。
- 第11回 **【授業テーマ】** 事後指導④
 10月19日(土) 4限目
【内容・方法等】 体験報告会に向けたプレゼン指導及び個人発表
【事前・事後学習課題】 代表者はスライドを作成し、プレゼンテーションの準備をして下さい。
- 第12回 **【授業テーマ】** 事後指導⑤
 10月26日(土) 3限目
【内容・方法等】 インターンシップを振り返る
 (実習記録簿の提出)
【事前・事後学習課題】 実習記録簿を見直して来てください。
- 第13回 **【授業テーマ】** 事後指導⑥
 10月26日(土) 4限目
【内容・方法等】 インターンシップを振り返る
【事前・事後学習課題】 実習記録簿を見直して来てください。
- 第14回 **【授業テーマ】** 事後指導⑦
 11月9日(土) 1限目
【内容・方法等】 全体報告会
 学生代表者の発表
【事前・事後学習課題】 学生代表者はパワーポイントで10分で報告ができるように準備して下さい。
- 第15回 **【授業テーマ】** 事後指導⑧
 11月9日(土) 2限目
【内容・方法等】 全体報告会
 受け入れ企業管理者の講演とまとめ
【事前・事後学習課題】 全員スーツ着用
- 評価方法(基準)**
 企業による報告書:20%、体験報告書等提出物:40%、発表・授業態度:40%
- 教材等**
教科書…必要に応じてレジュメ配布
参考書…必要に応じて推薦図書を提示
- 学生へのメッセージ**
 インターンシップIを必ず履修してください。
 インターンシップIの履修には、3月のガイダンスに出席し履修申し込み書を提出する必要があります。
 履修希望者が多い場合は、選考することがあります。
- 関連科目**
 インターンシップI
- 担当者の研究室等**
 3号館4階 キャリア教育推進室

インターンシップII Internship II				
伊 藤 譲 (イトウ ユズル)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	ロ	前期非終講	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**
 『インターンシップI』(ロ組)の実践コースとして、『インターンシップI』(ロ組)で学んだ内容をパナソニックのモノづくり現場で具体実習・実践することにより、更なる理解を進め、自らの武器として習得することを目的とする。到達目標は以下のとおりである。
 (1)生産革新・改善を体験する。(2)製造業の成り立ち・仕組みを体験する。(3)チームワーク・QCD問題を体験する。(4)パナソニックの工場を見学する。(5)研修成果を発表する。
 学科の学習・教育目標との対応:[A]
- 授業方法と留意点**
 パナソニック(株) 枚方 人材開発カンパニーで、計7日間の現場実習を行なう。事前指導としてインターンシップIのまとめを行い、事後指導として実習で得られた成果の定着をはかる。
- 授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**
 直前指導
 ・1回目 インターンシップIのまとめ、インターンシップIIの

- 準備 7/11(木)6限目
 ・2回目 インターンシップI全体討議プレゼンテーション指導
 7/18(木)6限目
 宿泊実習(パナソニック人材開発カンパニー)
 ・1~3日目
【授業テーマ】
 生産革新演習
【内容・方法等】
 1個流しセル生産のロールプレイを通じて、生産革新実践・方法等を体得する。(グループ演習)
【事前・事後学習課題】
 演習終了後、レポートを提出のこと
 ・4~5日目
【授業テーマ】
 モノづくりシミュレーション演習
【内容・方法等】
 四角錐製作を通じて、製造業の成り立ち・しくみを習得(設計~生産)し、目標達成のためのチームワーク・QCD問題意識の重要性を体得する。(グループ演習)
【事前・事後学習課題】
 演習終了後、レポートを提出のこと
 ・6日目
【授業テーマ】
 工場見学
【内容・方法等】
 パナソニックのモノづくりを工場見学を通じて体得する。(2工場)
【事前・事後学習課題】
 見学終了後、レポートを提出のこと
 ・7日目
【授業テーマ】
 研修成果報告会
【内容・方法等】
 研修成果報告会の実施。(グループ単位)
【事前・事後学習課題】
 グループ単位でPPに報告資料をまとめておくこと
 実習中指導
 ・8月31日(土) 2~5限目 プレゼンテーション指導
 実習後指導
 ・1回目 体験報告書の添削指導
 ・2回目 研修成果報告会(2回目)に向けたプレゼンテーション指導
 ・3回目 研修成果報告会(2回目)に向けたプレゼンテーション指導
 ・4回目 研修成果報告会(2回目)
 ・5回目 全体報告会 学生代表者の発表・質疑
 ・6回目 全体報告会 企業管理者の講演と講評

評価方法・評価基準
 実習成果40%、研修成果報告会(2回)20%、実習最終レポート10%、体験報告書10%、実習・授業態度20%とした総合評価を行なう。

教材等
教科書…未決定
参考書…なし

- 備考**
【注意事項】
 期間:2013年8月26日(月)~8月30日(金)、9月2日(月)~9月3日(火) パナソニック(株)人材開発カンパニーでの宿泊研修です。その間、パナソニック(株)社員の、朝礼、ランニングにも参加します。ジーンズ、スリッパは禁止。ランニングできる履物、着替えが必要です。宿泊費・食費の一部は別途徴収します。
【担当者】
 摂南大学:川崎教授、宮本准教授、加嶋准教授、山崎講師、片田准教授、瀬良准教授
 パナソニック講師:山北剛、佐藤哲志、高岡清、熊本義久

インターンシップI I Internship II				
川 野 常 夫 (カノ ツネオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	ニ	前期非終講	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**
 日本の企業がますますグローバル化する中で、国際的視野と素養を身に付けた人材はますます重要となる。本科目は、「ものづくり海外インターンシップ」と呼び、世界展開をしている「ものづくり企業」の海外工場において具体的に実習体験をすることにより、グローバル企業の現状を理解するとともに、自らの視野と経験を広げることを目的とする。研修先はとりわけ東南アジアの日系企業とする。

到達目標は以下のとおりである。

(1)グローバル企業の現状が理解できる。(2)海外でのものづくりの工程を体験できる。(3)チームワークを体験できる。(4)国際的視野を広げられる。(5)研修成果が発表できる。

授業方法と留意点

東南アジアの日系企業において、本学の夏休み中に往復を含めて計10日間の現場実習を行う。事前指導としてインターンシップIのまとめを行い、事後指導として実習で得られた成果の定着をはかる。

「ものづくり企業」での研修であるが、専門知識は特に必要としないので、参加学生は専門分野も、文系・理系も問わない。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

直前指導

・1回目 インターンシップIのまとめ、インターンシップIIの準備 7/11(木) 6限目

・2回目 全体報告会に向けたプレゼンテーション指導 7/18(木) 6限目

・3回目 海外で実習するための事前指導

海外実習

・1~2日目

【授業テーマ】

移動、オリエンテーション

【内容・方法等】

研修先企業の概要、オリエンテーション、語学(英語)研修

【事前・事後学習課題】

実習終了後、レポートを提出のこと

・3日目

【授業テーマ】

企画・設計部門実習

【内容・方法等】

ものづくり工程の川上である企画・設計部門において、その役割、重要性などを体得する。(グループ演習)

【事前・事後学習】

実習終了後、レポートを提出のこと

・4~5日目

【授業テーマ】

工場見学会、交流会

【内容・方法等】

関連工場の見学、現地従業員との交流会に参加する。交流会では、英語によるコミュニケーションを行う。

【事前・事後学習課題】

交流会終了後、レポートを提出のこと

・6~8日目

【授業テーマ】

金型・加工・プレス部門、組立部門、検査・品質管理・出荷部門実習

【内容・方法等】

ものづくり工程の中流、下流である製造、組立、検査部門について、その役割、重要性などを体得する。(グループ演習)

【事前・事後学習課題】

実習終了後、レポートを提出のこと

・9~10日目

【授業テーマ】

研修成果報告会、移動

【内容・方法等】

グループ単位でPPTでプレゼン

【事前・事後学習課題】

実習終了後、最終レポートを提出のこと

実習後指導

・1回目 最終レポート(体験報告書)の添削指導

・2回目 研修成果報告会(2回目)に向けたプレゼンテーション指導

・3回目 全体報告会 学生代表者の発表・質疑

・4回目 全体報告会 企業管理者の講演と講評

評価方法・評価基準

実習成果40%、研修成果報告会(2回)20%、実習最終レポート10%、体験報告書10%、実習・授業態度20%とした総合評価を行う。

教材等

教科書…必要時にプリント等を配布する。

参考書…内永ゆか子:日本企業が欲しい「グローバル人材」の必須スキル、朝日新聞出版(2011/9/7)

備考

【注意事項】

研修予定期間:2013年8月21日(水)~8月30日(金)(研修先の都合により変更する場合があります。)航空運賃、宿泊費、保険代などは自己負担となります。

【共同担当者】熊谷樹一郎教授

コミュニケーションI

Communication I

櫻井清華(サクライ キョカ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

現代社会に生きるわれわれは、他者とのかわりなしに生きてゆくことはできない。その「なかだち」がコミュニケーションである。特に日本語によるコミュニケーションには、日本語を母語とする人々の関心の持ち方、考え方、感じ方が反映されている。これらを分析的に学びながら、本講義では日本語の音声言語(話し言葉)に焦点を当て、実践的な日本語によるコミュニケーションを学ぶ。あわせて場の認識の仕方・待遇表現・言語行動と非言語と副言語の関係等の言語技術を修得することが目標である。

学科の学習・教育目標との対応:[C]

授業方法と留意点

講義と実践(グループワーク)

科目学習の効果(資格)

特になし

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】オリエンテーション

【内容・方法等】コミュニケーションとはどのような現象か

【事前・事後学習課題】習得事項の日常実践

第2回 【授業テーマ】コミュニケーションのメッセージモデル

【内容・方法等】情報伝達の回路と機能をまなぶ

【事前・事後学習課題】メッセージの発生と循環を日常会話をもとに考えてください。

第3回 【授業テーマ】言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション(1)

【内容・方法等】言語と非言語の認識と効果

【事前・事後学習課題】とくに非言語のパリエーションについて、日常生活の中でみずから発見してください。

第4回 【授業テーマ】言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション(2)

【内容・方法等】言語と非言語の認識と効果

【事前・事後学習課題】非言語の国際的差異を身近なところで発見してください。

第5回 【授業テーマ】言語が獲得される過程

【内容・方法等】母語話者として成長する過程をまなぶ

【事前・事後学習課題】母語話者として成長する過程を自身のうけた義務教育から反芻してください。

第6回 【授業テーマ】メッセージの送り手と受け手の関係

【内容・方法等】会話における送信者と受信者の関係についてまなぶ

【事前・事後学習課題】習得事項を日常会話において実践してください。

第7回 【授業テーマ】情報伝達の優先順位

【内容・方法等】情報を有効に伝達する方法をまなぶ

【事前・事後学習課題】多くの事柄を一度に伝えるとき、何が有効な方法かを実践、あるいは反省的に振り返ってみてください。

第8回 【授業テーマ】言葉と記号の関係

【内容・方法等】マスメディアと消費者の関係をまなぶ

【事前・事後学習課題】なぜ消費意欲が煽られるのかを考えてください。

第9回 【授業テーマ】言葉の働き

【内容・方法等】おなじ言葉が状況次第でどのように変化させられるかをまなぶ

【事前・事後学習課題】言葉がコンテキストによってどのように意味と意義を変容させるかを考えてください。

第10回 【授業テーマ】スキーマとスクリプト

【内容・方法等】「おきまり」の話し型をまなぶ

【事前・事後学習課題】「おきまり」の話し型とはなにかをドラマや漫画で考えてください。

第11回 【授業テーマ】非言語コミュニケーションと言語コミュニケーションの相互関係(1)

【内容・方法等】非言語コミュニケーションと言語コミュニケーションの相互関係をまなぶ

【事前・事後学習課題】習得事項を日常会話において実践してください。

第12回 【授業テーマ】非言語コミュニケーションと言語コミュニケーションの相互関係(1)

【内容・方法等】非言語コミュニケーションと言語コミュニケーションの相互関係をまなぶ

【事前・事後学習課題】習得事項を日常会話において実践してください。

第13回 【授業テーマ】非言語コミュニケーションの影響

【内容・方法等】非言語の特色と効果についてまなぶ

【事前・事後学習課題】非言語の有効性と危険性を考えてください。

- 第14回** 【授業テーマ】 非言語と言語の生得性
 【内容・方法 等】 しぐさと言葉、いずれが生得的なのかをまなぶ
 【事前・事後学習課題】 言葉の前にまずなにがあるかを考えてください。
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ
 【内容・方法 等】 前期項目の総括
 【事前・事後学習課題】 習得事項の日常実践、そして社会人としての自覚生成
- 評価方法 (基準)**
 平常点30%、定期試験70%
- 教材等**
 教科書…なし
 参考書…特になし
- 学生へのメッセージ**
 意欲的な参加を求めます。
- 関連科目**
 国語学、言語学、日本語学、社会学、コミュニケーション学、コミュニケーションI I など
- 担当者の研究室等**
 7号館2階(講師控室)

コミュニケーションII Communication II				
櫻井清華 (サクライ キョウカ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**
 本講義では、音声言語(話し言葉)のみならず、文字言語(書き言葉)によるコミュニケーションも射程に入れ、「コミュニケーションI」で修得した言語技術をさらに深めさせることを目指す。挨拶・紹介・説明(研究発表を含む)・報告(調査報告を含む)・依頼・勧誘・質疑応答・議論・話し合い・見舞い・詫び・感謝・賞賛といった目的別の言語行動を想定し、より実践的な言語運用能力を修得することを目標とする。
 学科の学習・教育目標との対応：[II]
- 授業方法と留意点**
 講義と実践(グループワーク)
- 科目学習の効果 (資格)**
 特になし。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
 【内容・方法 等】 講義と実践(グループワーク)
 【事前・事後学習課題】 コミュニケーションとはどのような現象かを考えてください
- 第2回** 【授業テーマ】 「うわさ」の構造
 【内容・方法 等】 うわさが持つ波及力をまなぶ
 【事前・事後学習課題】 うわさの実際を日常から考えてください
- 第3回** 【授業テーマ】 メディアの戦略
 【内容・方法 等】 あらゆるメディアの戦略についてまなぶ
 【事前・事後学習課題】 情報そのものに敏感になろう
- 第4回** 【授業テーマ】 会話の技術(挨拶)
 【内容・方法 等】 立ち位置、目線、言葉の総合行為をまなぶ
 【事前・事後学習課題】 日頃の行動を振り返ってみよう
- 第5回** 【授業テーマ】 会話の技術(説明と報告)
 【内容・方法 等】 有益な説明と報告のコツをまなぶ
 【事前・事後学習課題】 就職活動に有益な文書作成をまなぶ
- 第6回** 【授業テーマ】 会話の技術(依頼と勧誘)
 【内容・方法 等】 繰る心理と繰られる心理をまなぶ
 【事前・事後学習課題】 習得事項の日常実践
- 第7回** 【授業テーマ】 会話の技術(謝罪と感謝、賞賛)
 【内容・方法 等】 言葉の力を認識することをまなぶ
 【事前・事後学習課題】 習得事項の日常実践
- 第8回** 【授業テーマ】 方言と共通語の利用法
 【内容・方法 等】 関西弁と多言語の文化関係をまなぶ
 【事前・事後学習課題】 メディアで利用される方言戦略を知ろう
- 第9回** 【授業テーマ】 敬語表現
 【内容・方法 等】 敬語の基礎をまなぶ
 【事前・事後学習課題】 習得事項を社会で実践できるようになろう
- 第10回** 【授業テーマ】 敬語表現
 【内容・方法 等】 敬語の応用をまなぶ
 【事前・事後学習課題】 習得事項を社会で実践できるようになろう
- 第11回** 【授業テーマ】 敬語表現
 【内容・方法 等】 日常生活で遭遇する「妙な敬語」を正しくすることをまなぶ

- 【事前・事後学習課題】** 習得事項を社会で実践できるようになろう
- 第12回** 【授業テーマ】 若者言葉とはなにか
 【内容・方法 等】 流行語の生成過程をまなぶ
 【事前・事後学習課題】 若者言葉を日常生活でさがしてみよう
- 第13回** 【授業テーマ】 言葉のジェンダー
 【内容・方法 等】 なぜ男言葉と女言葉があるのかをまなぶ
 【事前・事後学習課題】 多言語の男言葉・女言葉とはどのようなものを調べよう
- 第14回** 【授業テーマ】 よい聞き手になるために
 【内容・方法 等】 よい話者とは、最上の聞き手であるという極意
 【事前・事後学習課題】 習得事項の日常実践
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ
 【内容・方法 等】 後期総括
 【事前・事後学習課題】 習得事項の日常および社会生活での実践
- 評価方法 (基準)**
 平常点30%、定期試験70%
- 教材等**
 教科書…なし
 参考書…特になし。
- 学生へのメッセージ**
 意欲的な参加を求めます。
- 関連科目**
 国語学、言語学、日本語学、社会学、コミュニケーション論、コミュニケーションI など
- 担当者の研究室等**
 7号館2階(非常勤講師室)

技術英語 Engineering English				
村上幸太郎 (ムラカミ コウタロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**
 アカデミックの世界では、どの分野においても英語は不可欠なスキルの一つです。多くの大学院入試でも英語は必須科目となっております。そこで、本講義では、科学的な文章の読解を通じてリーディング能力を、図やグラフの説明を英語で行うことによってライティング能力を高めていきます。同時に英単語も毎回覚え、総合的な英語力を身につけてもらいます。
 学科の学習・教育目標との対応：[C]
- 授業方法と留意点**
 毎回、クラスのほぼ全員に答えてもらうので、予習を欠かさないこと。
- 科目学習の効果 (資格)**
 科学的な文章の論理の進め方や専門用語などに慣れ、読めるようになります。また、見本を参考にすることで図やグラフを英語で説明できるようになります。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス
 【内容・方法 等】 講義の進め方、評価方法などを説明。
 【事前・事後学習課題】 教科書・英和辞典を持参すること。
 The 1500 Core Vocabulary 601-10
- 第2回** 【授業テーマ】 原子の構造
 【内容・方法 等】 主語と動詞の関係
 【事前・事後学習課題】 The 1500 Core Vocabulary 611-20
- 第3回** 【授業テーマ】 機械エネルギー
 【内容・方法 等】 動詞のパターン
 【事前・事後学習課題】 The 1500 Core Vocabulary 621-30
- 第4回** 【授業テーマ】 エネルギー貯蔵の問題
 【内容・方法 等】 名詞(1)単数・複数
 【事前・事後学習課題】 The 1500 Core Vocabulary 631-40
- 第5回** 【授業テーマ】 温度
 【内容・方法 等】 名詞(2)名詞と冠詞
 【事前・事後学習課題】 The 1500 Core Vocabulary 641-50
- 第6回** 【授業テーマ】 摩擦
 【内容・方法 等】 名詞(3)不定冠詞
 【事前・事後学習課題】 The 1500 Core Vocabulary 651-60
- 第7回** 【授業テーマ】 温度と分子
 【内容・方法 等】 名詞(4)定冠詞
 【事前・事後学習課題】 The 1500 Core Vocabulary 661-70
- 第8回** 【授業テーマ】 ドップラー効果
 【内容・方法 等】 名詞(5)冠詞の省略
 【事前・事後学習課題】 中間テストの予習
- 第9回** 【授業テーマ】 前半のまとめ(講義)、中間テスト
 【内容・方法 等】 これまでの学習内容の総復習および中間テスト

- 第10回 【事前・事後学習課題】 The 1500 Core Vocabulary 681-90
【授業テーマ】ねじ
【内容・方法等】現在時制
- 第11回 【事前・事後学習課題】 The 1500 Core Vocabulary
【授業テーマ】ギヤ
【内容・方法等】修飾語句の位置
- 第12回 【事前・事後学習課題】 The 1500 Core Vocabulary 691-700
【授業テーマ】クラッチの型
【内容・方法等】前置詞(1)
- 第13回 【事前・事後学習課題】 The 1500 Core Vocabulary 701-710
【授業テーマ】内燃機関
【内容・方法等】前置詞(2)
- 第14回 【事前・事後学習課題】 The 1500 Core Vocabulary 711-730
【授業テーマ】自動車・養沢品から必需品
【内容・方法等】前置詞(3)
- 第15回 【事前・事後学習課題】 The 1500 Core Vocabulary 731-750
【授業テーマ】前期のまとめ
【内容・方法等】前期の内容の総復習

【事前・事後学習課題】 定期試験に向けて勉強
評価方法(基準)
 平常点を20%、単語テストを10%、中間試験と定期試験の平均を70%の割合とする。

教材等
 教科書…「科学技術英語の入門」 南雲堂
 「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test」成美堂
 参考書…

学生へのメッセージ
 読解は予め訳す人を当てますので、必ず該当箇所の訳を作ってから授業に臨んでください。

関連科目
 英語III
担当者の研究室等
 7号館2階(非常勤講師室)
備考

科学英語 Scientific English				
村上 幸太郎(ムラカミ コウタロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 アカデミックの世界では、どの分野においても英語は不可欠なスキルの一つです。多くの大学院入試でも英語は必須科目となっています。そこで、本講義では、主に科学的な文章の読解を通じてリーディング能力を高めていきます。同時に英単語も毎回覚え、総合的な英語力を身につけてもらいます。
 学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点
 毎回、クラスのほぼ全員に答えてもらうので、予習を欠かさないうこと。

科目学習の効果(資格)
 科学的な文章の論理の進め方や専門用語などに慣れ、読めるようになります。また、それらの文章を読み進めることによって科学に対してさらに関心が深まります。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】ガイダンス
【内容・方法等】講義の進め方、評価方法などを説明。
【事前・事後学習課題】教科書・英和辞典を持参すること。
The 1500 Core Vocabulary 901-20
 - 第2回 【授業テーマ】大量生産
【内容・方法等】前置詞(4)
【事前・事後学習課題】The 1500 Core Vocabulary 921-40
 - 第3回 【授業テーマ】自転車の部品
【内容・方法等】前置詞(5)
【事前・事後学習課題】The 1500 Core Vocabulary 941-60
 - 第4回 【授業テーマ】テレビジョン
【内容・方法等】前置詞(6)
【事前・事後学習課題】The 1500 Core Vocabulary 961-80
 - 第5回 【授業テーマ】サーモスタット
【内容・方法等】前置詞(7)
【事前・事後学習課題】The 1500 Core Vocabulary 981-1000
 - 第6回 【授業テーマ】はんだの付け方
【内容・方法等】前置詞(8)
【事前・事後学習課題】The 1500 Core Vocabulary 1001-20
 - 第7回 【授業テーマ】セントラル真空掃除機
【内容・方法等】前置詞(9)
【事前・事後学習課題】The 1500 Core Vocabulary 1021-40

- 第8回 【授業テーマ】コンピュータ
【内容・方法等】前置詞(10)
【事前・事後学習課題】中間テストの予習
- 第9回 【授業テーマ】これまでのまとめ(講義)、中間テスト
【内容・方法等】前半の内容の総復習および中間テスト
【事前・事後学習課題】The 1500 Core Vocabulary 1041-60
- 第10回 【授業テーマ】ダム建造の問題点
【内容・方法等】前置詞(11)
【事前・事後学習課題】The 1500 Core Vocabulary 1061-80
- 第11回 【授業テーマ】コンクリート建築
【内容・方法等】前置詞(12)
【事前・事後学習課題】The 1500 Core Vocabulary 1081-1100
- 第12回 【授業テーマ】アメリカのプレハブ
【内容・方法等】-s' と of 句(1)
【事前・事後学習課題】The 1500 Core Vocabulary 1101-20
- 第13回 【授業テーマ】実用的で楽しいA型の家
【内容・方法等】-s' と of 句(2)
【事前・事後学習課題】The 1500 Core Vocabulary 1121-40
- 第14回 【授業テーマ】危険なガス
【内容・方法等】否定
【事前・事後学習課題】The 1500 Core Vocabulary 1141-76
- 第15回 【授業テーマ】後期のまとめ
【内容・方法等】後期の内容の総復習
【事前・事後学習課題】定期試験に向けて勉強

評価方法(基準)
 平常点を20%、単語テストを10%、中間試験と定期試験の平均を70%の割合とする。

教材等
 教科書…「科学技術英語の入門」 南雲堂
 「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test」成美堂
 参考書…

学生へのメッセージ
 読解は予め訳す人を当てますので、必ず該当箇所の訳を作ってから授業に臨んでください。

関連科目
 英語III
担当者の研究室等
 7号館2階(非常勤講師室)
備考

産業技術史 History of Industrial Technology				
照元 弘行(テルモト ヒロユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 様々な産業で用いられる技術を「産業技術」という。この「産業技術」は、どのような経路をたどりながら、何を原動力として発展してきたかという問題について考える。本講義では、様々な「産業技術」の変遷を体系的に捉え、地球規模での産業技術の役割について考え、これまでに築かれてきた技術を学習・理解することで、今後、独創的な技術を生み出していく手がかりを提供する。
 到達目標：幅広い教養と地球的視野をもった技術者の育成。具体的には、それぞれの産業技術の歴史を学習・理解することで、技術者として幅広い教養を、また、情報社会の世界情勢や地球環境問題を学ぶことで、物事を地球的視点から多面的に捉える能力と素養を身につけることができる。
 学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点
 授業形式は、視聴覚教材を多用する「プレゼンテーション授業」である。
 講義中心の授業となるが、産業技術をできるだけわかりやすく理解してもらうために、視聴覚教材および資料集などの図を用いて解説する。

科目学習の効果(資格)
 現在の産業技術社会は、膨大な情報と知識の専門化が進んでおり、この産業技術の世界を系統的に学ぶ機会は、一般教養科目を学ぶ以外の時期には少なくなる傾向にあり、他分野の知識の吸収には、自分自身で常に努力していく必要がある。それゆえ、できるだけ早い時期に産業技術の源を学んでおくことは、多くの分野に興味をもつための一助になると考えている。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
 第1回 【授業テーマ】産業技術史を学ぶにあたって/特許から見た産業発展史
 【内容・方法等】産業技術史を学ぶ意味を考える。

明治時代の近代日本創生から現代のプロパテント時代まで、日本の産業発展に特許制度が果たした役割を理解し、我が国の歴史から産業発展と特許制度の関係を学ぶ。

- 第2回** 【事前・事後学習課題】 課題レポート提出①
 【授業テーマ】 製鉄・鉄鋼産業の技術史①
 【内容・方法 等】 金属材料について学ぶ。
 伝統の日本製鉄法「たたら」について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。
 課題レポート提出②
- 第3回** 【授業テーマ】 製鉄・鉄鋼産業の技術史②
 【内容・方法 等】 製鉄・鉄鋼産業の技術発展史とその公害・環境対策について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。
 課題レポート提出③
- 第4回** 【授業テーマ】 製鉄・鉄鋼産業の技術史③
 【内容・方法 等】 製鉄所のシンボルである高炉について学ぶ。
 国産技術で育てた画期的な次世代の鉄「超鉄鋼」について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。
 課題レポート提出④
- 第5回** 【授業テーマ】 情報技術産業の歴史①
 【内容・方法 等】 今日、日常的に利用しているワープロの歴史とその技術について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。
 課題レポート提出⑤
- 第6回** 【授業テーマ】 情報技術産業の歴史②
 【内容・方法 等】 これからの携帯電話技術の「デファクトスタンダード」をめぐる激しい争いを事例にして、これらの技術について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。
 課題レポート提出⑥
- 第7回** 【授業テーマ】 自動車産業の歴史①
 【内容・方法 等】 国産自動車トヨタAA型の開発を事例にして、日本の自動車産業を学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。
 課題レポート提出⑦
- 第8回** 【授業テーマ】 自動車産業の歴史②
 【内容・方法 等】 自動車産業の公害・環境問題について学ぶ。
 ここでは、低公害エンジン「CVCC」を事例にして学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。
 課題レポート提出⑧
- 第9回** 【授業テーマ】 自動車産業の歴史③
 【内容・方法 等】 自動車産業の公害・環境問題について学ぶ。
 ここでは、「ハイブリッドカー」を事例にして学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。
 課題レポート提出⑨
- 第10回** 【授業テーマ】 自動車産業の歴史④
 【内容・方法 等】 自動車産業の公害・環境問題について学ぶ。
 ここでは、燃料電池の技術と「究極のエコカー」である燃料電池自動車について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。
 課題レポート提出⑩
- 第11回** 【授業テーマ】 鉄道産業の歴史①
 【内容・方法 等】 国と地方の問題から「新幹線問題」について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。
 課題レポート提出⑪
- 第12回** 【授業テーマ】 鉄道産業の歴史②
 【内容・方法 等】 高速鉄道「新幹線」の開発の歴史とその主要技術について学ぶ。
 新幹線を作る様々な技術（町工場がもつアナログ的な技術）を学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。
 課題レポート提出⑫
- 第13回** 【授業テーマ】 鉄道産業の歴史③
 【内容・方法 等】 未来の高速鉄道「リニアモーターカー」について学ぶ。
 また、これからの鉄道の公害・環境対策技術、安全対策について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。
 課題レポート提出⑬
- 第14回** 【授業テーマ】 公害・環境対策の技術史
 【内容・方法 等】 産業競争力強化の重要な柱の1つである「ISO14001」の認証取得の事例を解説する。
 【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。
 課題レポート提出⑭
- 第15回** 【授業テーマ】 世界の産業技術
 【内容・方法 等】 産業技術の未来への取り組みについて、子どもたちへの活動を通して考える。
 【事前・事後学習課題】 資料集を事前に読んでおくこと。
 課題レポート提出⑮

評価方法（基準）

各授業毎の課題レポート（50点配分）と定期試験（50点配分）で総合的（合計100点）に評価する。なお、合格基準は、レ

ポートおよび定期試験がそれぞれ30点以上、総合評価で60点以上を合格とする。

教材等

教科書…特に、教科書は、指定しないが、資料集などを配布する予定である。

参考書…参考書は、講義の中で適宜、紹介していく予定である。

学生へのメッセージ

1時間目の授業ではありますが、遅刻せずに毎回出席することが望ましい。授業中は私語を慎み、集中して授業に臨み、理解した授業の内容を整理できるように心がけて下さい。

関連科目

産業技術史は、多面的で複合的な科目であることから、大学において、できるだけ数多くの科目を習得すれば、必ず役立つと思います。

担当者の研究室等

第1回目の講義時にお知らせします。

備考

講義のキーワードとして、「特許」、「公害・環境問題」、「アナログ的な技術・デジタル的な技術」などを示しておく。

科学技術教養V1

Scientific and Technological Literacy V1

西村	仁	(ニシムラ ヒトシ)
芳本	忠	(ヨシモト タダシ)
松川	通	(マツカワ トオル)
川崎	勝己	(カワサキ カツミ)
尾山	廣	(オヤマ ヒロシ)
船越	英資	(フナコシ エイシ)
中嶋	義隆	(ナカジマ ヨシタカ)
居場	嘉教	(イバ ヨシノリ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

新聞やテレビが病気・くすりについてのニュースを取り上げることは珍しくないが、その内容を理解することは容易ではない。本講義では、病気・くすりの発見や原因解明の歴史、生命現象との関係などを個体レベルから遺伝子レベルにわたって幅広く平易に概説する。この講義の到達目標は、病気・くすりに関する知識を習得し、新聞やテレビのニュースを理解できるようになることである。また、病気の原因解明や治療法・くすりの開発における生命科学の意義を理解できるようになることを目指す。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

一話完結型のオムニバス形式で講義を行い、配付する資料とパワーポイントを用いて解説する。講義ごとに講義メモの提出を求める。その他、レポート、小論文、演習問題などの課題を課す。

科目学習の効果（資格）

新聞やテレビで見聞きする病気やくすりについてのニュースが理解できる。また、病気の原因解明やくすりの開発における生命科学の意義を知ることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 病気とくすりの歴史。
 【内容・方法 等】 人類の発生から現在まで、人々は病気に悩まされてきた。病気の克服、戦傷などで傷ついた体を癒す目的で自然界のいろいろな物質を試行錯誤で用いてきた。その過程で伝統的な薬を見出し、近年になり生命科学の技術により組換え医薬品へ発展してきた創薬技術の歴史を追う。
 【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
- 第2回** 【授業テーマ】 病気と遺伝子。
 【内容・方法 等】 内容：生物のDNAは常に外界の危険因子によって傷（変異）を受けているが、生物の体内には傷を発見して治療する安全システムが存在している。この安全システムはどのように作動して、また不具合が生じた場合にどうなるのか？また身近に存在する危険因子や疾患の代表例について考える。
 【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
- 第3回** 【授業テーマ】 脳・神経の病気のおしくみ。
 【内容・方法 等】 脳や神経の病気は難病と言われているものが多く、治療、快復が困難な現状である。まず難病のいくつかを紹介し、それらの治療のためにどのようなことがなされているかを概説する。
 【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
- 第4回** 【授業テーマ】 免疫が引き起こす病気のおしくみ。
 【内容・方法 等】 外敵や内なる敵から自らを守るためにつく

られた免疫システムの概要と、がん、ウイルス感染(インフルエンザ, HIV, 肝炎), アレルギー疾患などとの関連について紹介する。

第5回
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 がんの発生とその予防法。
【内容・方法 等】 死因別死亡率のトップはがんであり、約3人に1人ががんで亡くなっている。自分の意思で調節可能なはずの危険因子である喫煙が、がんの原因の30%を占めており、単因子要因としては最大である。本講義では、がんの発生機序やその予防法について説明する。

第6回
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 不妊のしくみ。
【内容・方法 等】 日本人夫婦(カップル)は10組のうち1組は不妊と言われており、実際に治療を受けている人が多い。しかし、なぜ不妊になるのかははっきりしない場合も多い。本講義では受精の仕組みから考えられる不妊の原因と現在の治療法について概説する。

第7回
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 くすりりと遺伝子工学。
【内容・方法 等】 ある生物から分離した遺伝子を別の細胞または生物体に導入して、遺伝子産物(タンパク質)を生産したり、新しい形質を作り出すなど、遺伝子を人工的に操作する技術、遺伝子工学について紹介する。

第8回
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 くすりりと組換え生物。
【内容・方法 等】 8年ほど前にヒトのすべてのDNA配列が解読されて、ヒトには約2万2千の遺伝子があることが明らかにされた。ポストゲノム研究では、マウスやラットなどを用いた「遺伝子組み換え生物」が作製され、再生医療や疾患の新しい治療法を開発するための重要なツールとして利用されていることに加え、バイオ医薬品の作製などにも役立っている。遺伝子組み換え生物の作成と応用について考える。

第9回
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 くすりりとバイオインフォマティクス。
【内容・方法 等】 遺伝子やタンパク質の配列情報を例にバイオインフォマティクスの概要について説明し、病気と遺伝子、ゲノム創薬への応用について述べる。

第10回
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 くすりりとタンパク質のかたち。
【内容・方法 等】 タンパク質構造決定の意義と構造決定法のひとつであるX線結晶構造解析の概要から、インフルエンザ治療薬を例に医薬品開発への応用について述べる。

第11回
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 くすりりとゲノム。
【内容・方法 等】 ゲノムとは、創薬とは、遺伝子診断などを解説し、生命倫理、歴史的な背景や将来の課題と発展方向をさぐる。

第12回
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 薬物乱用と依存性薬物。
【内容・方法 等】 社会のルールからはずれた方法や目的で、薬物を使うことを薬物乱用という。薬物依存という、その人の性格や人格の問題と思われがちであるが、脳内報酬系の異常という生物学的基盤があることを理解する必要がある。本講義では、薬物依存の形成機構および各種の依存性薬物について説明する。

第13回
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 遺伝子治療の最前線。
【内容・方法 等】 遺伝子により治療はできるか、遺伝性疾患、科学・技術の概要、基本的な原理、を解説。生命倫理や関連した話題のトピックについても触れる。

第14回
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 神経再生治療の最前線。
【内容・方法 等】 ヒトの中枢神経は損傷から回復できない。また、抹消神経であっても神経細胞そのものがダメージを受けるとやはり回復は難しい。ヒトの神経及び神経細胞の損傷からの回復を目指して様々な努力が行われている。それらの研究をわかりやすく概説する。

第15回
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 iPS細胞研究の最前線。
【内容・方法 等】 京都大学の山中伸弥教授によって作り出されたiPS細胞の基礎・臨床研究は今や国家プロジェクトであり、新聞やテレビでもたびたび登場する。本講義でiPS細胞の発見から現在までの研究状況を概説する。

評価方法(基準)
 授業態度20%、講義メモ40%、およびレポート・小論文・演習問題などの課題40%の総合点で評価する。

教材等
 教科書…特になし。
 参考書…配布資料。

学生へのメッセージ
 病気がくすりりはみなさんの身近な問題で、関心も大きいと思います。本講義では病気がくすりりについて、生命科学の観点から

具体例を挙げて分かりやすく解説します。
関連科目
 特になし。
担当者の研究室等
 1号館9階(芳本, 松川, 川崎, 尾山, 西村, 船越, 中嶋, 居場) 研究室。
備考
 欠席・遅刻の扱いは理工学部の規則に従って処理します。

科学技術教養V2 Scientific and Technological Literacy V2				
	青 笹	治 (アオザサ オサム)		
	芳 本	忠 (ヨシモト タダシ)		
	八 木	俊 策 (ヤギ シュンサク)		
	中 室	克 彦 (ナカムロ カツヒコ)		
	西 矢	芳 昭 (ニシヤ ヨシアキ)		
	松 尾	康 光 (マツオ ヤスミツ)		
	石 田	裕 子 (イシダ ユウコ)		
	長 田	武 (ナガタ タケシ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 本講義では、微生物の単離・殺菌技術や化粧品の開発、繊維加工に利用されている遺伝子組換え技術など、我々の暮らしを豊かにするバイオテクノロジーから、水資源の利用や環境リスクの評価など、ヒトの健康を守る知識や技術まで、生命科学の分野における最新の研究事例を取り上げ、幅広く解説する。本講義の到達目標は、醗酵・腐敗の歴史、遺伝子組換え技術、バイオエネルギー、機能性食品および自然再生技術など、我々の健康と暮らしを支えている生命科学についての知識を習得することを目的とする。
 学科の学習・教育目標との対応:「A」

授業方法と留意点
 講義内容について資料を配付し、パワーポイントを用いて解説する。講義ごとに受講メモの提出を求める。その他、レポート、小論文、演習問題などの課題を課す。

科目学習の効果(資格)
 遺伝子組換え技術などのバイオテクノロジーと、我々のくらしや健康との関わりが理解できる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** 発酵・腐敗とバイオテクノロジー
【内容・方法 等】 古代よりアルコール発酵がおこなわれてきたが、自然発酵によっていたため、度々腐敗となったであろう。安定した生産を求めたことが微生物の単離、殺菌技術の開発、そして現在の遺伝子組換え技術など生命科学の発展をもたらした。この歴史を学ぶ。

第2回 **【事前・事後学習課題】** 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 化粧品とバイオテクノロジー
【内容・方法 等】 バイオテクノロジーを化粧品開発に応用した事例を紹介し、実際の商品をとり上げてバイオテクノロジーのメリットを解説する。

第3回 **【事前・事後学習課題】** 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 繊維とバイオテクノロジー
【内容・方法 等】 繊維に反応する酵素を紹介し、これらを用いた繊維加工の応用例および今後の可能性について解説する。

第4回 **【事前・事後学習課題】** 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 遺伝子組換え植物とその将来
【内容・方法 等】 代表的な遺伝子組換え植物の創生方法について簡単に紹介し、世界における遺伝子組換え植物の実際、遺伝子組換え作物の環境への影響、また、日本における組換え作物の安全審査について説明する。さらに、遺伝子組換え賛成派と反対派の主な意見についても触れる。

第5回 **【事前・事後学習課題】** 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 バイオレメディエーションの可能性
【内容・方法 等】 過去、日本であった重金属汚染について簡単に復習し、特に水銀に焦点を合わせて水銀浄化法を説明する。物理化学的浄化法と微生物を用いた生物学的浄化法を対比しながら、適宜遺伝子組換え技術について補足を加え概説し、植物を用いた生物学的浄化法についても説明する。

第6回 **【事前・事後学習課題】** 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 最先端のバイオエネルギー技術
【内容・方法 等】 21世紀に入り、エネルギー枯渇問題、環境負荷低減の要請から、生物の持つエネルギーを新しい代替エネルギーとして利用する試みが急速に発展している。本

講義では、バイオエネルギーの概要から最先端のバイオエネルギー技術まで、現在のエネルギーとの比較や生態系・環境との共生の立場から解説する。

【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 新規エネルギーの創生と生物・環境に及ぼす影響

【内容・方法等】 近年、エネルギーの枯渇化問題や生物とこれを取りまく環境との共生の問題を解決する新規エネルギーの創生が強く望まれている。本講義では、これまでに使用されてきたエネルギーから最先端のエネルギーまでの特徴を、生物と環境へ及ぼす影響といった観点から解説する。

【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 機能性食品などの新しい食品の形態

【内容・方法等】 食品の一次機能(栄養素)、二次機能(味、触感など)および三次機能(生体機能の調節などの新規機能)について解説し、保健機能食品制度、特定保健用食品、栄養機能食品など新しい食品の形態を講述する。

【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 食品の健康障害リスクと対策
【内容・方法等】 微生物、アレルギー性物質、残留農薬などの食品に存在するヒトの健康障害リスクについて具体的な事例を取り上げ、解説する。

【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 地球規模の環境破壊と人体への影響
【内容・方法等】 主にオゾン層の破壊、地球の温暖化および酸性雨に関して発生原因、発生機構、人への影響およびその防止対策に関して述べる。

【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 ヒトの健康と暮らしを支える水資源
【内容・方法等】 水循環、水利用、上水道と高度浄水処理、下水道と高度下水処理など、ヒトの健康と暮らしを支える水資源について解説する。

【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 生物多様性の必要性と保全のための国内外の動き

【内容・方法等】 持続可能な地球環境を保全していくためには、生物多様性が不可欠である。この講義では、生態系や生物多様性のしくみを理解し、生物多様性保全のための国内外の動きについて解説する。

【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 自然の再生に利用されるビオトープ
【内容・方法等】 河川管理は、治水・利水の視点は持ちつつ生態系や自然環境をも考慮していくことが求められている。そのため、全国の河川で自然再生事業が広がってきている。この講義では、そういった全国の事例紹介をし、講義担当者が研究に取り組んでいる生態系保全のための河川管理の考え方について解説する。また、摂南大学で取り組んでいるビオトープを使った自然再生について紹介する。

【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 環境リスクの評価方法
【内容・方法等】 環境汚染物質や食品添加物などの合成化学物質などのヒトに対する安全性評価すなわちリスクアセスメントの考え方を講述し、水道水質基準や環境基準の策定に関する基本的な考え方を述べる。

【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
【授業テーマ】 環境マネジメントの国際規格と支援技術
【内容・方法等】 環境管理の国際規格であるISO14000シリーズを中心として、環境マネジメントシステム、環境ラベル、ライフサイクルアセスメントなどについて解説する。また環境効率、ゼロ・エミッション、MIPSなどの考え方についても紹介する。

【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
【評価方法(基準)】 授業態度20%、受講メモ40%およびレポート、小論文、演習問題などの課題40%の総合点で評価する。

教材等
 教科書…配布プリント
 参考書…適宜、講義中に紹介する。

学生へのメッセージ
 遺伝子組換え技術、バイオエネルギー、機能性食品および自然再生技術など、我々の健康と暮らしを支えている生命科学について、具体的な事例を取り上げ、分かりやすく解説します。

関連科目
 科学技術教養V1

担当者の研究室等
 1号館8階 環境分析学研究室(青笹)

備考
 出席および遅刻・欠席の扱いは、理工学部専門科目の出席および遅刻・欠席と同じ扱いとする。

科学技術教養 R 1
 Scientific and Technological Literacy R1

岩田 三千子 (イワタ ミチコ)
 川上 比奈子 (カワカミ ヒナコ)
 森山 正和 (モリヤマ マサカズ)
 宮本 征一 (ミヤモト セイイチ)
 稲地 秀介 (イナチ シュウスケ)
 榊 愛 (サカキ アイ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

古来より人間は、自然の力をかりてこの地球上に暮らしてきたが、祖先が自然と共生するために凝らしたさまざまな工夫は、それぞれの場所での気候風土、地形、材料を活用したものであり、そこには多くの知恵と技術の歴史を見ることができる。このような背景にもとづく、住環境の成り立ちについて、さまざまな事例を紹介しながら講義する。また、それらを踏まえて、具体的な空間やもののデザインに応用するための工夫や実践につながる技術、手法を学ぶ。

到達目標: 住環境の成り立ち、空間やもののデザインの実践的な技法を理解し、建築都市インテリアなどの空間を対象とする住環境デザイン全般の基礎知識を習得する。

学科の学習・教育目標との対応: [A]

授業方法と留意点

パワーポイントや板書による講義を行う。
 講義の内容に沿った課題を毎回提出させる。講義を集中して聴く態度が求められる。

科目学習の効果(資格)

身近な住まいと暮らし、環境に関するデザインの知識と手法が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 (オリエンテーション)
 自然の力をかりた住宅デザイン
【内容・方法等】 (科目の内容、授業の進め方、評価基準等を説明する。)
 古代より人間は自然と共生するためにさまざまな工夫をこらした。世界各地におけるそれらの住まいの事例を学ぶ。

【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう

第2回 【授業テーマ】 エコ技術と住宅デザイン-近代の住宅事例
【内容・方法等】 新しい素材、技術、理論の進展に伴い、エコ技術を駆使した近代の住宅デザイン例を学ぶ。

【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう

第3回 【授業テーマ】 エコ技術と住宅デザイン-現代の住宅事例
【内容・方法等】 自然の力をかりるといった古来の知恵を、最新の科学によって融合させた現代の住宅デザイン例を学ぶ。

【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう

第4回 【授業テーマ】 都市デザインにおけるエコ技術
【内容・方法等】 ヒートアイランド対策をはじめとする、都市デザインにおけるエコ技術について学ぶ。

【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう

第5回 【授業テーマ】 安全・快適な温熱環境
【内容・方法等】 温熱環境6要素(気温・湿度・気流・放射温度・着衣量・代謝量)による、安全・快適な温熱環境のデザイン手法について学ぶ。

【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう

第6回 【授業テーマ】 安心・安全な照明環境
【内容・方法等】 照明環境のユニバーサルデザイン手法について、基礎的な知識と、最近の調査、デザイン事例を学ぶ。

【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう

第7回 【授業テーマ】 いのちを守る明かりとサイン
【内容・方法等】 大規模災害時に避難・誘導を助けるあかりやサインの存在を知り、その有用性とデザイン上の注意点を学ぶ。

【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう

第8回 【授業テーマ】 暮らしの中のさまざまなす法
【内容・方法等】 身近なモノのす法がどの様に決められているかを知り、住まいや暮らしをより豊かにするデザインの視点を学ぶ。

【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう

- 第9回** 【授業テーマ】 家具のデザイン
 【内容・方法 等】 生活に必要な道具というだけの意味合いを超えた、近代以降の、時代を象徴する家具デザインについて学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第10回** 【授業テーマ】 学びと遊びの環境デザイン
 【内容・方法 等】 発達段階にある子どもたちが多くの時間を過ごす学校の新しいデザイン事例を知り、人と空間との密接な関係を学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第11回** 【授業テーマ】 CGと空間デザイン
 【内容・方法 等】 インテリアや住宅デザインで用いられるCGのしくみと基本知識、その有用性について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第12回** 【授業テーマ】 アニメーションと空間デザイン
 【内容・方法 等】 アニメーションを用いて空間を表現した事例を紹介し、そのしくみと効果について説明する。
 【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第13回** 【授業テーマ】 かたちとデザイン
 【内容・方法 等】 身の周りにおける家具や住宅などのかたちをコンピュータを用いて表現する方法について説明する。
 【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第14回** 【授業テーマ】 住空間を描く
 【内容・方法 等】 住空間を写実的に描くために必要な素材・光をコンピュータで表現するしくみと手法について説明する。
 【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第15回** 【授業テーマ】 記憶される時間と空間デザイン
 【内容・方法 等】 記憶に残る曖昧で不正確な時間と空間の特性について、幾つかの調査事例を通して学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう

評価方法 (基準)
 講義中における受講態度20%、講義メモ・課題・小テストなどを合わせ80%で評価する。
 期末試験は行わない。

教材等
 教科書…配布資料
 参考書…適宜プリントなどを配布する

学生へのメッセージ
 受講希望者数が定数を越えた場合は、成績などで選択順位を決めることがある。

関連科目
 なし

担当者の研究室等
 12号館 7階

備考
 理工学部の出席規定を遵守すること

法を習得する。
 学科の学習・教育目標との対応:「A」

授業方法と留意点
 パワーポイントや板書による講義を行う。
 講義の内容に沿った課題を毎回提出させる。講義を集中して聴く態度が求められる。

科目学習の効果 (資格)
 身近な住まいと暮らし、環境に関するデザインの知識と手法が身につく。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 (オリエンテーション)
 住まいと生活
 【内容・方法 等】 (科目の内容、授業の進め方、評価基準等を説明する。)
 住まいと何か。家庭生活や社会生活が複雑に多様化する中での住まいの本来の機能や役割について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第2回** 【授業テーマ】 日本の住まいの地域性
 【内容・方法 等】 気候風土や歴史、文化などを背景に、地方色豊かな伝統的住宅について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第3回** 【授業テーマ】 住宅とまちの関係
 【内容・方法 等】 地区の文脈を継承しつつ持続的に変容していく住まいとまち。これを新たにつくり、継承することについて学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第4回** 【授業テーマ】 町家と町並み
 【内容・方法 等】 奈良県今井町を題材として、歴史的な町家と町並みの保存とその意義について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第5回** 【授業テーマ】 社会の変化と集住形式
 【内容・方法 等】 コーポラティブ住宅、コレクティブハウスなどの新しい集住形式を学び、その将来性について考える。
 【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第6回** 【授業テーマ】 冷暖房システムのエコ技術
 【内容・方法 等】 日本の気候風土と冷暖房システムの現状を再考し、今後の暮らしのあり方について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第7回** 【授業テーマ】 健康的に夏を暮らすための温熱環境
 【内容・方法 等】 エネルギー消費を抑えつつ、健康的に快適に夏の暮らしができる工夫について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第8回** 【授業テーマ】 健康的に冬を暮らすための温熱環境
 【内容・方法 等】 日本古来の、火鉢・炬燵などによる採暖を鑑みて、健康的に快適に冬の暮らしができる工夫について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第9回** 【授業テーマ】 高齢者のための生活空間
 【内容・方法 等】 高齢者の心身機能の特性を踏まえて、高齢者をめぐる住宅行政や、様々な高齢者居住について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第10回** 【授業テーマ】 高齢者の生活環境の広がりと支援
 【内容・方法 等】 高齢者の外出行動、生活環境の広がり、求められる支援の仕組みについて事例を通して学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第11回** 【授業テーマ】 様々な人に配慮した住宅・施設設備
 【内容・方法 等】 ユニバーサルデザインの観点からの住宅設備や施設設備について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第12回** 【授業テーマ】 暮らしにかかわる化学物質と材料
 【内容・方法 等】 日常生活で使用する様々な化学物質や材料の特性を知り、環境問題とのかかわりを学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第13回** 【授業テーマ】 暮らしと環境汚染・ごみ・水
 【内容・方法 等】 暮らしに欠かせない水と、ごみの循環のしくみを知り、環境汚染へのつながりを学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第14回** 【授業テーマ】 暮らしと地球温暖化
 【内容・方法 等】 利便性を求めるライフスタイルと、地球温暖化との関連性について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な

科学技術教養 R2				
Scientific and Technological Literacy R2				
			岩田 三千子 (イワタ ミチコ)	
			平田 陽子 (ヒラタ ヨウコ)	
			杉山 茂一 (スギヤマ シゲカズ)	
			宮本 征一 (ミヤモト セイイチ)	
			森山 正和 (モリヤマ マサカズ)	
			稲地 秀介 (イナチ シュウスケ)	
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 日本の伝統的な住宅は、気候風土、地形、材料などに影響を受けて地方色が豊かであり、歴史的、文化的な相違からも地域性が認められる。現代の住まいや暮らしはそれらの影響を受けて、さまざまな技術の発達、社会の変化とともに、かつての住まいや暮らしの形は変容しつつある。このような身近な住まい、まち、暮らしについての知識を得継承して、さらに持続可能な社会を創造するためのまちづくり、住宅建築、環境、エコロジーなどに活かす手法を学ぶ。
 到達目標：建築都市インテリアなどの空間における歴史的文化的背景による地域性を理解し、持続可能な社会を創造するための街づくりや住宅建築など、住環境の未来に向けたデザイン手

場面からそれらを見つけて評価してみよう
第15回 【授業テーマ】 暮らしの中の太陽エネルギー利用
 【内容・方法 等】 太陽光発電システムと太陽熱利用システムをとりあげ、暮らしの中の太陽エネルギー利用について学ぶ。
 【事前・事後学習課題】 講義で知り得た内容について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう

評価方法 (基準)

講義中における受講態度20%、講義メモ・課題・小テストなどを合わせ80%で評価する。
 期末試験は行わない。

教材等

教科書…配布資料
 参考書…適宜プリントなどを配布する

学生へのメッセージ

受講希望者数が定数を越えた場合は、成績などで選択順位を決めることがある。

関連科目

なし

担当者の研究室等

12号館 7階

備考

出席および遅刻・欠席の扱いは、理工学部専門科目の出席および遅刻・欠席と同じ扱いとする。

科学技術教養M1

Scientific and Technological Literacy M1

辻野良二 (ツジノ リョウジ)
 久保司郎 (クボ シロウ)
 森脇俊道 (モリワキ トシミチ)
 横田祥 (ヨコタ ショウ)
 橋本正治 (ハシモト マサル)
 一色美博 (イツシキ ヨシヒロ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

機械工学は、ヒトが活動する上での効率化、合理化、さらには自動化を図るモノヤコトの技術・学問の体系である。本講義では、ヒトはなぜモノを作ろうとするのか、何を用いてモノを作ってきたのか、どのようにモノを作るのかに注目し、その上で日本が世界に誇ると言われる「モノづくり」の諸技術を学ぶ。モノの材料から道具を作ること、さらには産業の発展に役立ってきたさまざまな機械とその諸技術について学ぶ。
 到達目標：機械技術およびものづくり技術全般の基礎知識を身につけ、機械工学と社会・生活との関わりを理解する。
 学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

・各テーマごとにその歴史、基本原理、最先端の話題を2回もしくは3回にわたって提供する。
 ・スライドを中心にビデオを用いた講義形式を取る。講義の終盤に講義内容のメモ（ノート）を提出するため、講義の内容をよく聞き、ノートにしていねいにまとめていくことが大事。

科目学習の効果 (資格)

世の中に存在する工業製品、人力を越えた能力を備える機械など人工物・人工物システムの役割・仕組み・機能に関する幅広い知識を得て、知見を広めることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 機械工学とは？
 【内容・方法 等】 ・機械工学の発展の歴史を概観する。
 ・「機械工学曼荼羅」を用いて、機械工学の役割、範囲、応用を紹介する。
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第2回** 【授業テーマ】 道具を作る(1) - ヒトと道具
 【内容・方法 等】 ・道具の歴史：ヒトの手の動作を補う道具から労働としての道具へ
 ・農具 漁具 大工道具 手動工具 電動工具
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第3回** 【授業テーマ】 道具を作る(2) - 作り方
 【内容・方法 等】 ・鋳造、塑性加工、粉末冶金、材料加工、生産加工
 ・刀鍛冶、セラミックス、溶接・切断
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第4回** 【授業テーマ】 モノの材料を知る(1) - 金属材料
 【内容・方法 等】 ・金属材料はなぜ素材たり得るか？
 ・鉄鋼の製造方法
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第5回** 【授業テーマ】 モノの材料を知る(2) - セラミックス・ポリマ

【内容・方法 等】 ・セラミックス・ポリマーの構造（金属と何が異なるか？）
 ・高強度・機能性材料の話

- 第6回** 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
 【授業テーマ】 モノの材料を知る(3) - 新素材
 【内容・方法 等】 ・新素材と高度産業化社会
 ・形状記憶、超伝導、ナノ材料
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第7回** 【授業テーマ】 ものづくり(1) - 母なる機械
 【内容・方法 等】 ・機械部品を作る機械（工作機械の歴史）
 ・機械時計、工具と運動、機械部品
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第8回** 【授業テーマ】 ものづくり(2) - 精密に加工する
 【内容・方法 等】 ・精度を追求する（コンピュータと工作機械）
 ・精密加工、マシニングセル、ナノ加工
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第9回** 【授業テーマ】 ものづくり(3) - 工場（ファクトリー）
 【内容・方法 等】 ・世界が学ぶ・日本が誇る製造システム
 ・無人化工場、デジタル屋台、トヨタ生産方式
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第10回** 【授業テーマ】 大きな力を得る(1) - 車輪
 【内容・方法 等】 ・作業を補助する機械の歴史
 ・車輪、滑車、てこ、歯車
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第11回** 【授業テーマ】 大きな力を得る(2) - 建設運搬機械
 【内容・方法 等】 ・巨大な力を得るためのアクチュエータ
 ・油圧・水圧・空気圧機器、電動機
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第12回** 【授業テーマ】 大きな力を得る(3) - パワーアシスト
 【内容・方法 等】 ・アクチュエータの知能化とパワーアシスト
 ・パワードスーツ、電動アシスト自転車、人工筋肉
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第13回** 【授業テーマ】 ミクロの機械(1) - 精密機械
 【内容・方法 等】 ・小さくなることで変わる使い方
 ・時計、携帯電話、計算機、テレビカメラ、情報機器
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第14回** 【授業テーマ】 ミクロの機械(2) - 小さく作る
 【内容・方法 等】 ・小さくすることで変わる物理の法則、加工法・アクチュエータ
 ・微細加工、ナノテク、半導体製造、カーボンナノチューブ、微細気泡
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第15回** 【授業テーマ】 ミクロの機械(3) - 小さくて広大な世界
 【内容・方法 等】 ・半導体製造技術を用いた微細構造を持つ機械
 ・カプセル内視鏡、鞭毛モーター
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。

評価方法 (基準)

毎回、講義メモとレポートを提出する。
 受講態度 (20%)、講義メモ (40%)、レポート (40%) を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし
 参考書…配布資料

学生へのメッセージ

機械工学が関わる製品や技術を、大きなスケールで幅広く知ることができます。また、道具はどうやって進化してきたのか？日本の「ものづくり」がなぜ優れているのか？近未来にどのような乗り物が実現されているのか？等々、工業製品にまつわる歴史や最新のトピックを紹介します。本講義を受講し、就職活動や職業観の涵養に役立てましょう。

関連科目

産業技術史

担当者の研究室等

担当教員の居室 [1号館の3階・4階・5階]

科学技術教養M2

Scientific and Technological Literacy M2

倉田 光雄 (クラタ ミツオ)
池田 博一 (イケタ ヒロカズ)
岸本 直子 (キシモト ナオコ)
橋本 正治 (ハシモト マサハル)
山崎 達志 (ヤマサキ タツシ)
川野 常夫 (カワノ ツネオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

機械工学は、ヒトが活動する上での効率化、合理化、さらには自動化を図るモノやコトの技術・学問体系である。本講義では、ヒトはなぜモノを作ろうとするのか、何を用いてモノを作ってきたのか、どのようにモノを作るのかに注目し、その上で日本が世界に誇ると言われる「モノづくり」の諸技術を学ぶ。モノの材料から道具を作ること、さらには産業の発展に役立ってきたさまざまな機械とその諸技術について学ぶ。

到達目標：人の活動に貢献し生活を豊かにする機械技術を理解するとともに、機械システムと社会や経済活動、生活・生命との関わりを理解する。

学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

・各テーマごとに、歴史、基本原理、最先端の話題を2回もしくは3回にわたって提供する。

・スライドを中心にビデオを用いた講義形式を取る。講義の終盤に講義内容のメモ（ノート）を提出するため、講義の内容をよく聞き、ノートにしていねいにまとめることが大事。

科目学習の効果（資格）

世の中に存在する工業製品、人力を越えた能力を備える機械など人工物・人工物システムの役割・仕組み・機能に関する幅広い知識を得て、知見を広めることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 機械工学とは？
【内容・方法 等】 ・機械工学の発展の歴史を概観する。
・「機械工学曼荼羅」を用いて、機械工学の役割、範囲、応用を紹介する。
【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと
- 第2回** 【授業テーマ】 活動の源(1) - 動力・エネルギーの世界
【内容・方法 等】 ・身近なエネルギー利用と動力の歴史
・人力、蓄力、水力、風力、蒸気力
【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと
- 第3回** 【授業テーマ】 活動の源(2) - 発電
【内容・方法 等】 ・エネルギー利用と発電
・水力、風力、火力、地熱、原子力発電
【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと
- 第4回** 【授業テーマ】 乗り物(1) - エンジン
【内容・方法 等】 ・熱工学とエンジンシステム
・種々のエンジン（ガソリン等）、電気モータ
【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと
- 第5回** 【授業テーマ】 乗り物(2) - 輸送する
【内容・方法 等】 ・交通と物流
・自動車交通、船舶、鉄道
【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと
- 第6回** 【授業テーマ】 空間を移動する(1) - 空を飛ぶ
【内容・方法 等】 ・空を飛ぶことができる機械の機能、種類、歴史と原理
・飛行機、ヘリコプター、飛行船、揚力
【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと
- 第7回** 【授業テーマ】 空間を移動する(2) - 高速移動
【内容・方法 等】 ・深海に潜ることができる機械の機能、種類、歴史と原理
・しんかい6500、深海探査、水圧、チタン合金、生命維持システム
【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと
- 第8回** 【授業テーマ】 空間を移動する(3) - 宇宙へ飛び立つ
【内容・方法 等】 ・宇宙空間に飛んでいける機械の機能、種類、歴史と原理
・ロケット、スペースシャトル、宇宙ステーション、高真空、ロケットエンジン
【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと
- 第9回** 【授業テーマ】 物を測る
【内容・方法 等】 ・測り方を共通にすることで広がる世界
・度量衡と政治の関係、原器、ものさし、機械的測定
【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと
- 第10回** 【授業テーマ】 センサで測る
【内容・方法 等】 ・センサの発達と誤差との戦い
・センサ、センシング技術、計測と誤差
【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと

- 第11回** 【授業テーマ】 制御する
【内容・方法 等】 ・制御の成り立ちと発展、自動制御とは？
・调速機、結果を見て制御する（フィードバック）
【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと
- 第12回** 【授業テーマ】 操る・抑える
【内容・方法 等】 ・サーボ機構とプロセス制御
・ロボットアーム、ロケット、原子力発電、鉄鋼プラント
【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと
- 第13回** 【授業テーマ】 生命・生体に倣う機械(1) バイオエンジニアリング
【内容・方法 等】 ・バイオエンジニアリング、生体工学の世界
・生体の模倣と設計、鳥と飛行機、ハコフグと低燃費自動車、サソリと多足ロボット
【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと
- 第14回** 【授業テーマ】 生命・生体に倣う機械(2) - 医療と健康
【内容・方法 等】 ・人間を援ける医用工学、人間を癒す福祉工学の世界
・人工臓器、福祉機器、健康機器、スポーツ機器
【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと
- 第15回** 【授業テーマ】 生命・生体に倣う機械(3) - ヒューマノイド
【内容・方法 等】 ・人間を測る、診る、まねる世界
・生体計測、生体力学、医用診断装置、ヒューマノイドロボット
【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと

評価方法（基準）

毎回、講義メモとレポートを提出する。
受講態度（20%）、講義メモ（40%）、レポート（40%）を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし
参考書…配布資料

学生へのメッセージ

機械工学が関わる製品や技術を、大きなスケールで幅広く知ることが出来ます。また、道具はどうやって進化してきたのか？日本の「ものづくり」がなぜ優れているのか？近未来にどういう乗り物が実現されているか？等々、工業製品にまつわる歴史や最新のトピックを紹介します。本講義を受講し、就職活動や職業観の涵養に役立てましょう。

関連科目

産業技術史

担当者の研究室等

担当教員の居室〔1号館の3階・4階・5階〕

備考

出席および遅刻・欠席の扱いは、理工学部専門科目の出席および遅刻・欠席と同じ扱いとする。

科学技術教養E1

Scientific and Technological Literacy E1

田口 俊弘 (タグチ トシヒロ)
小川 英一 (オガワ エイチ)
大家 重明 (オオケ シゲアキ)
山本 淳治 (ヤマモト ジュンジ)
山本 啓三 (ヤマモト ケイゾウ)
井上 雅彦 (イノウエ マサヒコ)
高瀬 冬人 (タカセ フクト)
堀内 利一 (ホリウチ トシカズ)
奥野 竜平 (オクノ リウウヘイ)
片田 喜章 (カタダ ヨシアキ)
鹿間 信介 (シカマ シンスケ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

電気は我々の生活になくならないものである。この講義では電気の簡単な基礎理論を紹介しながら、身の回りにある電気製品を題材として電気電子工学から通信情報分野までの多岐にわたる応用技術を学習させることを目的とする。電気を作る電池の話や電気を力に変えるモータ、半導体や太陽電池の構造、携帯電話やパソコン、インターネットの仕組みまで、電気を使った最新技術がどのような仕組みで暮らしの中で活用されているかを理解させることを到達目標とする。

学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

授業はスライドを用いて行い、授業中にメモを取らせて授業後

に回収する。
講義は1話完結であるが、相互につながりがある。電気を用いた科学技術の全体像を理解するように努めよう。

科目学習の効果（資格）

計測装置・電気設備など電気工学以外の方野でも電気を使った機器はいたるところで使われている。これらの原理や特性を知ること、その性能をフルに引き出すことができる。また、身近な電気製品の仕組みを知ること、より有効活用することができる。国家資格で電気の基礎の出題がある場合には、その基礎勉強にもなる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 電気の歴史と電気回路の基礎
【内容・方法等】 電磁気学の歴史、電気回路の基礎、抵抗と電気エネルギーの利用、消費電力、交流と直流
【事前・事後学習課題】 電気に関するニュースに注意する
- 第2回** 【授業テーマ】 電池の構造と応用技術
【内容・方法等】 磁石と力、電磁石、直流モータと交流モータ
【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
- 第3回** 【授業テーマ】 モータの仕組みと応用
【内容・方法等】 磁石と力、電磁石、直流モータと交流モータ
【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
- 第4回** 【授業テーマ】 半導体のお話
【内容・方法等】 半導体とは何か、p形とn形大規模集積回路、LED照明とは
【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
- 第5回** 【授業テーマ】 太陽電池の構造と家庭での利用
【内容・方法等】 半導体で光エネルギーを電気に変換する売電の仕組み
【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
- 第6回** 【授業テーマ】 様々な電子回路
【内容・方法等】 電子回路の歴史、真空管と半導体・集積回路、代表的なアナログ電子回路
【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
- 第7回** 【授業テーマ】 電波応用技術の変遷
【内容・方法等】 電波と光、マクスウェル理論とヘルツの実験、変調方式、ラジオとテレビ
【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
- 第8回** 【授業テーマ】 モールス通信から携帯電話へ
【内容・方法等】 モールス電信からベルの電話へ、電話機と交換機の仕組み、アナログからデジタルへ、携帯電話とネットワークの仕組み
【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
- 第9回** 【授業テーマ】 アナログからデジタルへ
【内容・方法等】 アナログとデジタル、2進数とは、論理回路入門
【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
- 第10回** 【授業テーマ】 パソコンの内部構造
【内容・方法等】 真空管計算機ENIAC、電子回路で論理計算をするハードウェアとソフトウェア、CPUとメモリ、ハードディスクとSSD
【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
- 第11回** 【授業テーマ】 マイコンで制御される家電製品
【内容・方法等】 電気制御の重要性、温度制御、圧力制御電子レンジやIHの仕組み
【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
- 第12回** 【授業テーマ】 AV機器の仕組み
【内容・方法等】 マイクとスピーカ、デジタルカメラ、ビデオカメラ、光で記録する、CD、DVDの仕組み、ブルーレイ
【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
- 第13回** 【授業テーマ】 画像表示の仕組み
【内容・方法等】 画像表示の歴史と原理、各種表示デバイスの仕組み、立体映像表示の原理と実例
【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
- 第14回** 【授業テーマ】 インターネットのつながり方
【内容・方法等】 インターネットの仕組み、ルータとハブ無線LAN、ネットワークセキュリティ
【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
- 第15回** 【授業テーマ】 医療分野への貢献
【内容・方法等】 ガルバノの実験、義手の制御、電気工学の医療への応用
【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する

評価方法（基準）

受講態度20%、受講メモ40%、小テスト40%の総合点で評価する

教材等

教科書…資料を配付する
参考書…特になし

学生へのメッセージ

身の回りの電気製品は日々進化しています。これらを便利な道具としてブラックボックス的に使うのではなく、その仕組みを知って使うことでさらに活用することができます。そういった仕組みに興味を持って受講して下さい。

関連科目

特になし

担当者の研究室等

1号館4階・5階の電気電子工学教員室

科学技術教養E2

Scientific and Technological Literacy E2

田口俊弘	(タグチ トシヒロ)
小川英一	(オガワ エイチ)
大家重明	(オオケ シゲアキ)
山本淳治	(ヤマモト ジュンジ)
山本啓三	(ヤマモト ケイゾウ)
井上雅彦	(イノウエ マサヒコ)
高瀬冬人	(タカセ フユト)
堀内利一	(ホリウチ トシカズ)
奥野竜平	(オクノ リュウヘイ)
片田喜章	(カタダ ヨシアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

電気は我々の生活になくてはならないものである。この講義では電気の歴史と簡単な基礎理論を説明した後、電気を発生する発電の仕組みとその方法を手始めに、現代社会において応用されている電気電子工学、通信情報工学の最新科学技術について講述する。電車の仕組みや放送技術、携帯電話やレーザー光線の原理、最新の計算機事情やロボット工学、また宇宙規模の電気の話などもあり、最終的には電気を使った科学技術がどのような仕組みで我々の暮らしに関わっているかを理解させることを到達目標とする。

学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

授業はスライドを用いて行い、授業中にメモを取らせて授業後に回収する。

講義は1話完結であるが、相互につながりがある。電気を用いた科学技術の全体像を理解するように努めよう。

科目学習の効果（資格）

現代社会を支えている電気エネルギーとその応用について総合的に学ぶことにより、電気への理解を深め、これにより原子力発電も含めた電力供給系と節電に対する正しい考え方を身につけることができる。また、携帯電話やスマートフォンでもどこでも通信ができる社会の仕組み等も知る事ができる。国家資格で電気の基礎の出題がある場合には、その基礎勉強にもなる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 電気の歴史
【内容・方法等】 琥珀はエレクトロン、磁石の利用、クーロンの法則、アンペールの法則、ファラデーの電磁誘導、マクスウェル理論と電磁波の予言
【事前・事後学習課題】 電気に関するニュースに注意する
- 第2回** 【授業テーマ】 発電の原理と発電所
【内容・方法等】 電気エネルギーを発生させる仕組み、発電機、水力、火力、交流発生か直流か、50Hzと60Hz
【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
- 第3回** 【授業テーマ】 原子力発電
【内容・方法等】 核エネルギーの発生、原子力発電のしくみ、事故と防災対策、放射線の性質と測定
【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
- 第4回** 【授業テーマ】 再生可能エネルギー
【内容・方法等】 太陽光発電、風力発電、地熱発電、海洋エネルギー、宇宙発電、エネルギー効率
【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
- 第5回** 【授業テーマ】 送電・配電
【内容・方法等】 電気を安定に送る、交流送電か直流送電、周波数変換、送電電圧と家庭電圧への変換、スマートグリッド
【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
- 第6回** 【授業テーマ】 モータの仕組みと電車
【内容・方法等】 磁石と電流による力の発生、モータの仕組み

- 電車、リニア新幹線、電気ブレーキと電力回生
- 第7回** 【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
【授業テーマ】 電波と放送
【内容・方法等】 電波の利用と電波法、初期のラジオ放送、電波に映像を載せる
テレビ放送の開始からカラーテレビへ、デジタル化と双方向テレビ
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
【授業テーマ】 衛星の利用
【内容・方法等】 無線通信と電波の伝わり方、衛星による電波の中継、静止衛星と周回衛星、衛星通信から衛星放送へ、GPSなどへの応用
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
【授業テーマ】 携帯電話の仕組み
【内容・方法等】 有線電話から無線へ、無線基地局と無線ゾーン、携帯電話がつながる仕組み、メールやWebへの応用、携帯電話のこれから
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
【授業テーマ】 レーザーの発明
【内容・方法等】 物質からの光放射、線スペクトルと誘導放射
レーザーからレーザーへ、レーザーの特徴
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
【授業テーマ】 電気通信から光通信へ
【内容・方法等】 電気信号と光信号の変換、光で通信する光ファイバと高速・大容量化、光で測る
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
【授業テーマ】 半導体による電算機の高速度と小型化
【内容・方法等】 GBとGHzを実現する半導体技術、超並列への発展
一番を目指すコンピュータ、光コンピュータへ
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
【授業テーマ】 プログラマブル高速計算機の発達
【内容・方法等】 チューリング機械、手回し計算機と計算尺、最初の電算機ENIAC
弾道ミサイルの計算、金融計算から天気予報まで
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
【授業テーマ】 最新ロボット工学
【内容・方法等】 ロボット工学の過去・現在・未来
ハードとソフト（人工知能）はどこまでできているのか
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
【授業テーマ】 電気と宇宙
【内容・方法等】 プラズマ物理の発展と核融合への道、雷と太陽の関係
オーロラは蛍光灯、宇宙天気予報
- 【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する
- 評価方法** (基準)
受講態度20%、受講メモ40%、小テスト40%の総合点で評価する
- 教材等**
教科書…資料を配付する
参考書…特になし
- 学生へのメッセージ**
我々の暮らしに電気は不可欠です。しかも原子力発電の問題が出てきて、エネルギー問題への関心は節電対策も含め高まっています。しかし、単純に噂などを鵜呑みにするのではなく、電気の発生から伝達までの仕組みを詳しく知れば、風評に惑わされることなく、対策を考えることができます。常に様々な電気関連のニュースに注意を払いながら受講して下さい。
- 関連科目**
特になし
- 担当者の研究室等**
1号館4階・5階電気電子工学科教員室
- 備考**
出席および遅刻・欠席の扱いは、理工学部専門科目の出席および遅刻・欠席と同じ扱いとする。

科学技術教養C1
Scientific and Technological Literacy C1

頭	井	洋	(ズイ ヒロシ)
伊	藤	讓	(イトウ ユズル)
道	廣	一	利(ミチヒロ カズトシ)
熊	野	知	司(クマノ トモジ)
澤	井	健	二(サワイ ケンジ)
海	老	瀬	潜(エビセ センイチ)
熊	谷	樹	一郎(クマガイ キイチロウ)
瀬	良	昌	憲(セラ マサノリ)
片	桐	信	(カタギリ シン)
田	中	賢	太郎(タナカ ケンタロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
授業の目的は、受講者に私たちの生活を支える土木技術に対する興味を持たせることと技術の基本原則を知ってもらうことである。第1回目の授業では、身の回りの土木技術の例を取り上げ、それらが技術者によってどのように守られているのかを説明する。第2・3回目は現在にまでつながる国土開発の歴史をそれに従事した人々にも注目して講義する。第4～7回は「土木」の由来となる基本的な材料、第8～11回は設計方法、第12～15回は計画と環境問題について講義する。
到達目標：土木技術全般の基礎知識を身につけ、土木技術と社会や経済活動、生活との関りを理解する。
学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点
・基本的にパワーポイントを用いた講義形式。授業中はメモを取らせ授業終了時もしくは終了後に提出する。
・歴史と人物と基本原則をセットとして取り扱う。第4回以降は材料や設計の基本原則を扱う。基本的に古くからの基礎的な技術と現在の技術をセットで取り扱う。
・講義だけではイメージを伝えることが困難な場合には、サンプルや簡単な実験を併用する。

科目学習の効果(資格)
産業・経済活動や私たちの生活を支える道路・鉄道・上下水道などの社会基盤施設に関する基礎的な知識が得られ、安全安心な社会システム構築への興味関心が深まる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 私たちの日常生活と土木技術
【内容・方法等】 私たちの身の回りの土木技術：・鉄道・道路網、上下水道、エネルギー施設、防災施設、憩い、・私たちの生活にどう関わっているのか？・技術を支える人たち(建設会社、設計コンサルタント、公務員、メーカー・・・)
【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
- 第2回** 【授業テーマ】 国土は先人たちによってどのように形作られてきたのか①
【内容・方法等】 国土建設の歴史
・古墳時代～江戸時代
・明治～第二次大戦、敗戦以降
【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
- 第3回** 【授業テーマ】 国土は先人たちによってどのように形作られてきたのか②
【内容・方法等】 国土建設を行った人々
・古墳時代～江戸時代
・明治～第二次大戦、敗戦以降
【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
- 第4回** 【授業テーマ】 都市をつくる材料の話①
-土木技術は土から始まった-
【内容・方法等】 最も古い材料、土と人類、土と木
締固めて使う、事例1(古くからの技術)、事例2(近代以降の技術)
【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
- 第5回** 【授業テーマ】 都市をつくる材料の話②
-セメントコンクリートの発明-
【内容・方法等】 セメントの発見・発明
耐久性、品質管理
【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
- 第6回** 【授業テーマ】 都市をつくる材料の話③
-鋼は文明を支える-
【内容・方法等】 産業革命による鉄利用の拡大
鋼構造
【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
- 第7回** 【授業テーマ】 都市をつくる材料の話④
-循環型社会と土木材料-
【内容・方法等】 新材料、リサイクル材料
産業廃棄物の利用

- 第8回** 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
【授業テーマ】 国土を測る方法
【内容・方法等】 広い国土をどうやって測るのか、歩測からGPSまで、原理、応用
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
【授業テーマ】 都市の造り方①
 -橋を設計する-
【内容・方法等】 橋はなぜ必要か？橋はどうやって重力に抵抗しているのか、構造力学の基礎
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
【授業テーマ】 都市の造り方②
 -川を設計する-
【内容・方法等】 治水は国を治める、水と波の力を計算する。川、ダムと港の設計へ、水理学の基礎
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
【授業テーマ】 都市の造り方③
 -地盤とトンネルを設計する-
【内容・方法等】 都市を支える地盤の役割、地下空間、地盤力学の基礎
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
【授業テーマ】 安全で安心な都市へ①
 -未来の都市を計画する-
【内容・方法等】 都市地域計画（計画学の基礎）
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
【授業テーマ】 安全で安心な都市へ②
 -命の水を守る-
【内容・方法等】 衛生工学（上下水道学の基礎）
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
【授業テーマ】 安全で安心な都市へ③
 -持続可能な都市を-
【内容・方法等】 地球規模環境問題、循環型社会、（環境工学）
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
【授業テーマ】 安全で安心な都市へ④
 -都市の生命線-
【内容・方法等】 ライフラインと防災
【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習

評価方法（基準）

受講態度20%、受講メモ40%、レポート・小論文40%の総合点で評価する。※レポート・小論文は、授業のまとめとして毎回あるいは2～3回に一回程度実施する予定。期末試験は行わない。

教材等

教科書…配布資料
 参考書…特になし

学生へのメッセージ

豊かな自然に恵まれた日本は世界で最も厳しい自然災害にさらされる国土でもあります。この講義を通じて、自然災害の防災・減災や産業・経済活動を支える社会基盤施設に関する基礎知識を身につけていただければ幸いです。

関連科目

特になし

担当者の研究室等

講義担当者居室 1号館3階および4階

科学技術教養C2

Scientific and Technological Literacy C2

頭井洋	(スイ ヒロシ)
伊藤讓	(イトウ ユズル)
道廣一利	(ミチヒロ カストシ)
熊野知司	(クマノ トモジ)
澤井健二	(サワイ ケンジ)
海老瀬潜一	(エビセ センイチ)
熊谷樹一郎	(クマガイ キイチロウ)
瀬良昌憲	(セラ マサノリ)
片桐信	(カタギリ シン)
田中賢太郎	(タナカ ケンタロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

概要：いくつかのプロジェクトを例に、建設事業の流れに沿って、社会的な位置づけ、市民生活との関わりを解説する。第1回目の

授業では、事業主体別にプロジェクトの流れを説明する。第2～3回目は、高速道路建設を例に地形の調査・土質の調査、環境の調査を解説する。第4～7回は高速道路を構成する橋、トンネル、道路の設計と施工の考え方を解説する。第8～15回は、安全で潤いのある社会を築く観点からダム・堰、堤防、浸水対策、ライフライン、公園・まちづくり、地震防災など身近なテーマを概説する。

到達目標：土木構造物の計画から施工管理までの流れの概要を理解し土木構造物と社会や経済活動、生活との関わりを理解する。学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

授業はパワーポイントを用いた講義形式とする。私たちの生活を支える社会基盤がどのようにして計画され、設計・施工されているかを事業の流れに沿って解説する。代表的な構造物や身近なテーマを取り上げ、安全で安心な社会を築くため、何が重要かを理解できるように講義を進める。

科目学習の効果（資格）

産業・経済活動や私たちの生活を支える道路・鉄道・上下水道などの社会基盤施設がどのように計画設計され施工されているなどの知識が得られ、安全安心な社会システム構築への興味関心が深まる

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 社会基盤をつくる建設事業の流れ
【内容・方法等】 国家プロジェクト、地域プロジェクト、民間主導プロジェクトなど事業主体別の建設の流れ、計画（意思決定）～調査～設計～施工の概要
- 第2回** 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
【授業テーマ】 高速道路建設の計画・調査・設計
【内容・方法等】 国土開発や都市計画・地域計画との関連、一般道路や鉄道との関連、需要予測、予算、資本回収の考え方
- 第3回** 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
【授業テーマ】 建設に必要な調査①（地形の調査・土質の調査）
【内容・方法等】 道路線形（山を迂回するかトンネルにするかなどの路線の決定）、トンネル、橋、盛土形式と高架形式、測量計測技術、地盤の調査
- 第4回** 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
【授業テーマ】 建設に必要な調査②（環境の調査）
【内容・方法等】 生態系・環境への影響、負荷の軽減策、排ガス規制と大気汚染など環境アセスメント
- 第5回** 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
【授業テーマ】 橋の設計と施工
【内容・方法等】 コンクリート橋と鋼橋、橋の形式と適用支間長、景観設計、施工法
- 第6回** 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
【授業テーマ】 トンネル、半地下開削工法
【内容・方法等】 山岳トンネル・都市地下トンネルの設計と施工、地山の強度と工法、半地下開削工法
- 第7回** 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
【授業テーマ】 道路の設計と施工
【内容・方法等】 盛土形式と高架形式、道路の構造、道路舗装
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
【授業テーマ】 ダム・堰の計画と施工
【内容・方法等】 洪水への備え（治水、防災）、発電・灌漑・上水などの多目的ダム、ダムの構造と種類
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
【授業テーマ】 堰・堤防の計画と設計・施工
【内容・方法等】 洪水・土砂災害への備え（治山・治水、防災）、計画雨量、遊水池、親水施設
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
【授業テーマ】 都市型洪水への備え
【内容・方法等】 透水性舗装、都市大型地下貯槽、屋上緑化、排水と下水道設計、地下道・地下鉄の浸水対策
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
【授業テーマ】 市民の日常生活を支えるライフライン
【内容・方法等】 上下水道、水質管理、水質浄化、下水処理、電気、通信設備
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
【授業テーマ】 市民の生活に潤いを与える公園・まちづくり
【内容・方法等】 まちづくりとは、実現するものは、人とのかわり、技術とのかかわり
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
【授業テーマ】 市民の生活環境を守る
【内容・方法等】 地球環境と生態系、人口増加と都市化・食糧生産、自然エネルギーの問題点、火力発電所と大気汚染・温暖化、原子力発電と放射能問題、温排水問題
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
【授業テーマ】 震災から市民を守る
【内容・方法等】 地震の種類と特性、地震に備える構造とは？制震構造と免震構造、ライフラインの耐震、避難体制、緊急地震速報
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
【授業テーマ】 津波や台風・高潮から市民を守る

【内容・方法等】 港湾施設・防波堤、津波、避難施設、避難誘導

【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習

評価方法 (基準)

受講態度20%、受講メモ40%、レポート・小論文40%の総合点で評価する。※レポート・小論文は、授業のまとめとして毎回あるいは2~3回に一回程度実施する予定。期末試験は行わない。

教材等

教科書…配布資料
参考書…特になし

学生へのメッセージ

豊かな自然に恵まれた日本は世界で最も厳しい自然災害にさらされる国土でもあります。この講義を通じて、自然災害の防災・減災や産業・経済活動を支える社会基盤施設がどのように計画設計され施工されているか知り理解を深めていただければ幸いです。

関連科目

特になし

担当者の研究室等

講義担当者居室 1号館3階および4階

備考

出席および遅刻・欠席の扱いは、理工学部専門科目の出席および遅刻・欠席と同じ扱いとする。

日本事情 F I

Japanese Culture and Society FI

門 脇 薫 (カドワキ カオル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

日本文化・社会について、日本映画を視聴して観察したり考察したりします。また、映画の台詞や使われている場面から日本語の文法や表現についても学びます。日本文化・社会について観察し、自国の文化・社会及び他の受講生の国の文化・社会と比較考察し、様々なテーマについて日本語で自分の考えが表現できることを目標とします。

授業方法と留意点

各映画について次のように進めます。(1) 映画についての情報・その他背景知識について説明 (2) 映画の場面をいくつか視聴：内容理解・練習問題・その他の各種タスク問題 (3) テーマについてディスカッション (4) 「書く」練習

科目学習の効果 (資格)

自然な日本語の表現・文法事項の習得、異文化についての理解

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス・日本語レベルのチェック
【内容・方法等】 授業の概要・進め方について・スピーチ
【事前・事後学習課題】 テキスト予習
- 第2回 【授業テーマ】 映画1：テーマ「教育」
【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第3回 【授業テーマ】 映画1：テーマ「教育」
【内容・方法等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第4回 【授業テーマ】 映画1：テーマ「教育」
【内容・方法等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
- 第5回 【授業テーマ】 映画2：テーマ「家族」
【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第6回 【授業テーマ】 映画2：テーマ「家族」
【内容・方法等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第7回 【授業テーマ】 映画2：テーマ「家族」
【内容・方法等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 プrintの課題、発表準備
- 第8回 【授業テーマ】 テーマ1・2に関する発表
【内容・方法等】 発表、質疑応答、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマについてレポート
- 第9回 【授業テーマ】 映画3：テーマ「言葉」
【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第10回 【授業テーマ】 映画3：テーマ「言葉」
【内容・方法等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第11回 【授業テーマ】 映画3：テーマ「言葉」
【内容・方法等】 タスク、ディスカッション

【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート

第12回 【授業テーマ】 映画4：「民族」

【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備

第13回 【授業テーマ】 映画4：「民族」

【内容・方法等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備

第14回 【授業テーマ】 映画4：「民族」

【内容・方法等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 プrintの課題、発表準備

第15回 【授業テーマ】 テーマ3・4に関する発表

【内容・方法等】 発表、質疑応答、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマについてレポート

評価方法 (基準)

各課題、授業への参加度、レポート等により総合的に評価します。

教材等

教科書…『映画で日本文化を学ぶ人のために』世界思想社 (2,415円)
参考書…授業時に指示します。

学生へのメッセージ

映画を見ながら楽しく日本語・日本文化について学びましょう！

関連科目

国際文化概論、世界の文化の比較、日本の歴史、芸能と文化、多文化の共生

担当者の研究室等

7号館4階(門脇研究室)

日本事情 F II

Japanese Culture and Society FII

門 脇 薫 (カドワキ カオル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

日本文化・社会について、日本映画を視聴して観察したり考察したりします。また、映画の台詞や使われている場面から日本語の文法や表現についても学びます。日本文化・社会について観察し、自国の文化・社会及び他の受講生の国の文化・社会と比較考察し、様々なテーマについて日本語で自分の考えが表現できることを目標とします。

授業方法と留意点

各映画について次のように進めます。(1) 映画についての情報・その他背景知識について説明 (2) 映画の場面をいくつか視聴：内容理解・練習問題・その他の各種タスク問題 (3) テーマについてディスカッション (4) 「書く」練習

科目学習の効果 (資格)

自然な日本語の表現・文法事項の習得、異文化についての理解

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス・日本語レベルチェック
【内容・方法等】 授業の概要・進め方について・スピーチ
【事前・事後学習課題】 テキスト予習
- 第2回 【授業テーマ】 映画1：テーマ「職業」
【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第3回 【授業テーマ】 映画1：テーマ「職業」
【内容・方法等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第4回 【授業テーマ】 映画1：テーマ「職業」
【内容・方法等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
- 第5回 【授業テーマ】 映画2：テーマ「高齢化社会」
【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第6回 【授業テーマ】 映画2：テーマ「高齢化社会」
【内容・方法等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第7回 【授業テーマ】 映画2：テーマ「高齢化社会」
【内容・方法等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 プrintの課題、発表準備
- 第8回 【授業テーマ】 テーマ1・2に関する発表
【内容・方法等】 発表、質疑応答、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマについてレポート
- 第9回 【授業テーマ】 映画3：テーマ「大学生活」

第10回 【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
【授業テーマ】 映画3：「大学生活」
【内容・方法等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題

第11回 【授業テーマ】 映画3：テーマ「大学生活」
【内容・方法等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート

第12回 【授業テーマ】 映画4：「ジェンダー」
【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備

第13回 【授業テーマ】 映画4：「ジェンダー」
【内容・方法等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備

第14回 【授業テーマ】 映画4：「ジェンダー」
【内容・方法等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 プリントの課題、発表準備

第15回 【授業テーマ】 テーマ3・4に関する発表
【内容・方法等】 発表、質疑応答、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマについてレポート

評価方法（基準）
各課題、授業への参加度、レポート等により総合的に評価します。

教材等
教科書…『映画で日本文化を学ぶ人のために』世界思想社（2,415円）
参考書…授業時に指示します。

学生へのメッセージ
映画を見ながら楽しく日本語・日本文化について学びましょう！

関連科目
国際文化概論、世界の文化の比較、日本の歴史、芸能と文化、多文化の共生

担当者の研究室等
7号館4階(門脇研究室)

日本語読解F I Japanese Reading F I				
赤城 永里子 (アカギ エリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では、日本人向けに書かれた一般書を読みます。知識や教養を深めるための文章を読み、自分なりに咀嚼して文章にまとめ、口頭で説明できるようになることを目指します。

授業方法と留意点
授業では、まず受講者が各自で文章を読み、ワークシートを完成させます。その後、教員による解説を行います。授業の最後に、受講者の理解度を確認するため、ミニレポートを書いてもらうこともあります。また、授業中、単語テストも行います。

科目学習の効果（資格）
大学の授業に必要な読解能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 授業の進め方の説明
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んで理解する

第2回 【授業テーマ】 「科学」の定義1
【内容・方法等】 読解、内容理解
【事前・事後学習課題】 復習

第3回 【授業テーマ】 「科学」の定義2
【内容・方法等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習

第4回 【授業テーマ】 現代の若者のマナー1
【内容・方法等】 読解、内容理解
【事前・事後学習課題】 復習

第5回 【授業テーマ】 現代の若者のマナー2
【内容・方法等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習

第6回 【授業テーマ】 親高校な男の子1
【内容・方法等】 読解、内容理解
【事前・事後学習課題】 復習

第7回 【授業テーマ】 親高校な男の子2
【内容・方法等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習

第8回 【授業テーマ】 ゲーム依存症（上）1
【内容・方法等】 読解、内容理解
【事前・事後学習課題】 復習

第9回 【授業テーマ】 ゲーム依存症（上）2
【内容・方法等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習

第10回 【授業テーマ】 ゲーム依存症（下）1
【内容・方法等】 読解、内容理解
【事前・事後学習課題】 復習

第11回 【授業テーマ】 ゲーム依存症（下）2
【内容・方法等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習

第12回 【授業テーマ】 総復習1
【内容・方法等】 今学期扱ったテーマに関連する新聞記事などを読む
【事前・事後学習課題】 復習

第13回 【授業テーマ】 総復習2
【内容・方法等】 今学期扱ったテーマに関連する新聞記事などを読む
【事前・事後学習課題】 復習

第14回 【授業テーマ】 確認テスト
【内容・方法等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習

第15回 【授業テーマ】 総まとめ
【内容・方法等】 テスト解説
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法（基準）
単語テスト、ミニレポート、確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に提示します。

学生へのメッセージ
さまざまな分野の文章を読み、クラスで意見を共有しましょう。

関連科目
日本語文法 I

担当者の研究室等
7号館2階（非常勤講師室）

日本語読解F II Japanese Reading F II				
赤城 永里子 (アカギ エリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では、日本人向けに書かれた一般書を読みます。知識や教養を深めるための文章を読み、自分なりに咀嚼して文章にまとめ、口頭で説明できるようになることを目指します。

授業方法と留意点
授業では、まず受講者が各自で文章を読み、ワークシートを完成させます。その後、教員による解説を行います。授業の最後に、受講者の理解度を確認するため、ミニレポートを書いてもらうこともあります。また、授業中、単語テストも行います。

科目学習の効果（資格）
大学の授業に必要な読解能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 授業の進め方の説明
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んで理解する

第2回 【授業テーマ】 金融教育1
【内容・方法等】 読解、内容理解
【事前・事後学習課題】 復習

第3回 【授業テーマ】 金融教育2
【内容・方法等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習

第4回 【授業テーマ】 言語と文化1
【内容・方法等】 読解、内容理解
【事前・事後学習課題】 復習

第5回 【授業テーマ】 言語と文化2
【内容・方法等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習

第6回 【授業テーマ】 ローソクの進化1
【内容・方法等】 読解、内容理解
【事前・事後学習課題】 復習

第7回 【授業テーマ】 ローソクの進化2
【内容・方法等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習

第8回 【授業テーマ】 「割り勘」は当然？ 1
【内容・方法等】 読解、内容理解
【事前・事後学習課題】 復習

第9回 【授業テーマ】 「割り勘」は当然？ 2
【内容・方法等】 単語テスト、タスク、書く

第10回	【事前・事後学習課題】 復習 【授業テーマ】 統計と数学1 【内容・方法等】 読解, 内容理解
第11回	【事前・事後学習課題】 復習 【授業テーマ】 統計と数学2 【内容・方法等】 単語テスト、タスク、書く
第12回	【事前・事後学習課題】 復習 【授業テーマ】 総復習1 【内容・方法等】 今学期扱ったテーマに関連する新聞記事などを読む
第13回	【事前・事後学習課題】 復習 【授業テーマ】 総復習2 【内容・方法等】 今学期扱ったテーマに関連する新聞記事などを読む
第14回	【事前・事後学習課題】 復習 【授業テーマ】 確認テスト 【内容・方法等】 確認テスト
第15回	【事前・事後学習課題】 復習 【授業テーマ】 総まとめ 【内容・方法等】 テスト解説
評価方法 (基準)	【事前・事後学習課題】 復習
評価方法 (基準)	単語テスト、ミニレポート、確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。
教材等	教科書…プリントを配布します。 参考書…授業中に提示します。
学生へのメッセージ	さまざまな分野の文章を読み、クラスで意見を共有しましょう。
関連科目	日本語文法Ⅱ
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)

日本語文法FⅠ Japanese Grammar FⅠ				
赤城 永里子 (アカギ エリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では、中上級の文法項目を取り上げ、用法を確認し、実際にその文法項目が使われている会話を聞いたり、その文法項目を使って会話することを通して、適切な場面で使えるようになることを目指します。

授業方法と留意点
授業では、練習問題と教員による解説を繰り返します。

科目学習の効果 (資格)
高度な日本語運用能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回	【授業テーマ】 オリエンテーション 【内容・方法等】 授業の進め方の説明 【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んで理解する
第2回	【授業テーマ】 「科学」の定義1 【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ 【事前・事後学習課題】 復習
第3回	【授業テーマ】 「科学」の定義2 【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ 【事前・事後学習課題】 復習
第4回	【授業テーマ】 現代の若者のマナー1 【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ 【事前・事後学習課題】 復習
第5回	【授業テーマ】 現代の若者のマナー2 【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ 【事前・事後学習課題】 復習
第6回	【授業テーマ】 親高校な男の子1 【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ 【事前・事後学習課題】 復習
第7回	【授業テーマ】 親高校な男の子2 【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ 【事前・事後学習課題】 復習
第8回	【授業テーマ】 ゲーム依存症 (上) 1 【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ 【事前・事後学習課題】 復習
第9回	【授業テーマ】 ゲーム依存症 (上) 2 【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ 【事前・事後学習課題】 復習
第10回	【授業テーマ】 ゲーム依存症 (下) 1 【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ 【事前・事後学習課題】 復習

第11回	【授業テーマ】 ゲーム依存症 (下) 2 【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ 【事前・事後学習課題】 復習
第12回	【授業テーマ】 総復習1 【内容・方法等】 今学期扱った文法事項の復習 【事前・事後学習課題】 復習
第13回	【授業テーマ】 総復習2 【内容・方法等】 今学期扱った文法事項の復習 【事前・事後学習課題】 復習
第14回	【授業テーマ】 確認テスト 【内容・方法等】 確認テスト 【事前・事後学習課題】 復習
第15回	【授業テーマ】 総まとめ 【内容・方法等】 テスト解説 【事前・事後学習課題】 復習
評価方法 (基準)	確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。
教材等	教科書…プリントを配布します。 参考書…授業中に提示します。
学生へのメッセージ	場面やタスクに合わせて、適切な文法項目を使って会話ができるように、一緒に勉強しましょう。
関連科目	日本語読解Ⅰ
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)

日本語文法FⅡ Japanese Grammar FⅡ				
赤城 永里子 (アカギ エリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では、中上級の文法項目を取り上げ、用法を確認し、実際にその文法項目が使われている会話を聞いたり、その文法項目を使って会話することを通して、適切な場面で使えるようになることを目指します。

授業方法と留意点
授業では、練習問題と教員による解説を繰り返します。

科目学習の効果 (資格)
高度な日本語運用能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回	【授業テーマ】 オリエンテーション 【内容・方法等】 授業の進め方の説明 【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んで理解する
第2回	【授業テーマ】 金融教育1 【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ 【事前・事後学習課題】 復習
第3回	【授業テーマ】 金融教育2 【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ 【事前・事後学習課題】 復習
第4回	【授業テーマ】 言語と文化1 【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ 【事前・事後学習課題】 復習
第5回	【授業テーマ】 言語と文化2 【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ 【事前・事後学習課題】 復習
第6回	【授業テーマ】 ローソクの進化1 【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ 【事前・事後学習課題】 復習
第7回	【授業テーマ】 ローソクの進化2 【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ 【事前・事後学習課題】 復習
第8回	【授業テーマ】 「割り勘」は当然? 1 【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ 【事前・事後学習課題】 復習
第9回	【授業テーマ】 「割り勘」は当然? 2 【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ 【事前・事後学習課題】 復習
第10回	【授業テーマ】 統計と数学1 【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ 【事前・事後学習課題】 復習
第11回	【授業テーマ】 統計と数学2 【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ 【事前・事後学習課題】 復習
第12回	【授業テーマ】 総復習1 【内容・方法等】 今学期扱った文法項目の復習 【事前・事後学習課題】 復習

- 第13回 【授業テーマ】 総復習2
【内容・方法等】 今学期扱った文法項目の復習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 確認テスト
【内容・方法等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習
- 第15回 【授業テーマ】 総まとめ
【内容・方法等】 テスト解説
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法 (基準)
確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に提示します。

学生へのメッセージ
場面やタスクに合わせて、適切な文法項目を使って会話ができるように、一緒に勉強しましょう。

関連科目
日本語読解Ⅱ

担当者の研究室等
7号館2階 (非常勤講師室)

日本語表現作文F I Japanese Reading and Writing FI				
赤城 永里子 (アカギ エリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業は、授業でレポートや論文を書くための基礎を学びます。レポートや論文の構成、適した表現、書き方のルールを身につけることを目指します。

授業方法と留意点
授業では、教師による解説と練習問題を行います。

科目学習の効果 (資格)
大学で求められるレポートや論文を書く力の基礎を築く

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 授業についての説明
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 基礎編1 よく使われる文の形
【内容・方法等】 レポート、論文で使われる文の形について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 基礎編2 よく使われる語と表現
【内容・方法等】 レポート、論文で使われる語と表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 基礎編3 引用
【内容・方法等】 引用の仕方について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 基礎編4 句読点
【内容・方法等】 句読点の使い方を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 基礎編5 表記規則
【内容・方法等】 表記規則について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 【授業テーマ】 基礎編6 まとめ方の練習
【内容・方法等】 これまで学んだことのまとめ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの? 1 論文とは
【内容・方法等】 レポート、論文を書くときに気をつけることを学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの? 2 論文の構成
【内容・方法等】 論文の構成について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの? 3 構成の作り方
【内容・方法等】 論文の作り方について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの? 4 本論のまとめ方
【内容・方法等】 本論のまとめ方について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの? 5 書いてみよう①
【内容・方法等】 論文の構成を書いてみる

- 【事前・事後学習課題】 復習
- 第13回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの? 6 3種類の文
【内容・方法等】 読者に伝わる書き方について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの? 7 書いてみよう②
【内容・方法等】 読者に伝わる書き方で書いてみる
【事前・事後学習課題】 復習

第15回 【授業テーマ】 総復習
【内容・方法等】 今学期学んだことのまとめ
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法 (基準)
課題、レポート、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等
教科書…毎回プリントを配付します。
参考書…授業で指示します。

学生へのメッセージ
レポートや論文の書き方を一緒に勉強しましょう!

関連科目
他の日本語関連の科目

担当者の研究室等
7号館2階 (非常勤講師室)

日本語表現作文F II Japanese Reading and Writing FII				
赤城 永里子 (アカギ エリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業は、授業でレポートや論文を書くための基礎を学びます。レポートや論文の構成、適した表現、書き方のルールを身につけることを目指します。

授業方法と留意点
授業では、教師による解説と練習問題を行います。

科目学習の効果 (資格)
大学で求められるレポートや論文を書く力の基礎を築く

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 授業についての説明
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 資料編 I 場面別表現集1 図表に関する表現①
【内容・方法等】 図表に関する表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 資料編 I 場面別表現集1 図表に関する表現②
【内容・方法等】 図表に関する表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 資料編 I 場面別表現集2 資料に関する表現
【内容・方法等】 資料に関する表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 資料編 I 場面別表現集3 調査・実験に関する表現
【内容・方法等】 調査・実験に関する表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 資料編 II 展開の技術1 例を挙げる
【内容・方法等】 例を挙げる表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 【授業テーマ】 資料編 II 展開の技術2 対比する
【内容・方法等】 対比する表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 【授業テーマ】 資料編 II 展開の技術3 注目させる
【内容・方法等】 注目させる表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 【授業テーマ】 資料編 II 展開の技術4 推論を示す
【内容・方法等】 推論を示す表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 【授業テーマ】 資料編 II 展開の技術5 結論の補強
【内容・方法等】 結論を補強する表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 【授業テーマ】 資料編 III 卒業論文、学術論文のために1 論文の付属要素
【内容・方法等】 論文の付属要素について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 【授業テーマ】 資料編 III 卒業論文、学術論文のために2 書いてみよう
【内容・方法等】 論文の付属要素を書いてみる

第13回	【事前・事後学習課題】 復習 【授業テーマ】 レポート作成① 【内容・方法等】 レポートを作成する
第14回	【事前・事後学習課題】 復習 【授業テーマ】 レポート作成② 【内容・方法等】 レポートを作成する
第15回	【事前・事後学習課題】 復習 【授業テーマ】 総復習 【内容・方法等】 今学期学んだことのまとめ 【事前・事後学習課題】 復習
評価方法 (基準)	課題、レポート、授業への参加態度を総合的に評価します。
教材等	教科書…毎回プリントを配付します。 参考書…授業で指示します。
学生へのメッセージ	レポートや論文の書き方を一緒に勉強しましょう！
関連科目	他の日本語関連の科目
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)

日本語上級読解 F I Advanced Japanese Reading F I				
古川 由理子 (フルカワ ユリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では次の3点を目標にします。
①まとまった内容の文章から必要な情報を読み取る
②まとまった内容の文章の大意を把握する
③できるだけ速く①と②をできるようにする
なお、JLPTのN1に合格していない学習者が多い場合、その対策も行ないます。

授業方法と留意点

この授業では、実際に日本社会で使用されている生教材を使って、速読を行ないます。テキストを一字一句、正確にしていねいに読むのではなく、できるだけ速く、自分に必要な情報を読み取る練習をします。そのため、次のような手順で授業を進めます。
1. キーワード・キーセンテンスを探す
2. 接続詞に注意する
3. テキストの流れに注意する
4. 予測して読む
5. テキストをまとめる

科目学習の効果 (資格)

・日常あふれている数々の日本語の文章の中から、自分に必要な情報をより早く取り入れることができる。
・必要ではない情報を捨て、ポイントはどこかを把握できるようにする。
・その成果を専門の文章の読解に応用する。
(・JPT N1を持っていないものは取得を目指す。)

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回	【授業テーマ】 ガイダンス 【内容・方法等】 授業の概要説明 プレースメントテスト 【事前・事後学習課題】 復習
第2回	【授業テーマ】 指示語に注意する 【内容・方法等】 練習問題をこなす 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
第3回	【授業テーマ】 キーワードに注意する 【内容・方法等】 穴埋め問題をこなす 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
第4回	【授業テーマ】 文章の内容を予測する 【内容・方法等】 並べ替えの問題 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
第5回	【授業テーマ】 キーセンテンスを探す (1) 【内容・方法等】 練習問題をこなす 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
第6回	【授業テーマ】 キーセンテンスを探す (2) 【内容・方法等】 練習問題をこなす 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
第7回	【授業テーマ】 要約をする 【内容・方法等】 全体を問う問題をこなす 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
第8回	【授業テーマ】 説明文を読む (1) 【内容・方法等】 2~3の説明文を読み、問題を解く 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
第9回	【授業テーマ】 説明文を読む (2) 【内容・方法等】 2~3の説明文を読み、問題を解く

第10回	【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する 【授業テーマ】 論説文を読む (1) 【内容・方法等】 2~3の論説文を読み、問題を解く
第11回	【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する 【授業テーマ】 論説文を読む (2) 【内容・方法等】 2~3の論説文を読み、問題を解く
第12回	【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する 【授業テーマ】 随筆を読む 【内容・方法等】 2~3の随筆を読み、問題を解く
第13回	【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する 【授業テーマ】 小説を読む (1) 【内容・方法等】 2~3の小説を読み、問題を解く
第14回	【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する 【授業テーマ】 小説を読む (2) 【内容・方法等】 2~3の小説を読み、問題を解く
第15回	【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する 【授業テーマ】 期末テスト 【内容・方法等】 授業中に指示する
評価方法 (基準)	定期試験を実施 (試験の形式については授業中に説明する) 出席・授業態度 + 期末テスト = 100% 50% 50%
教材等	教科書…授業中プリントを配布する 参考書…授業中に指示する
学生へのメッセージ	受講者のニーズにより、授業内容を大幅に変更することがあります。 出席を重視します。できるだけ出席をしないようにしてください。
関連科目	日本語表現作文
担当者の研究室等	外国語学部非常勤講師室 (7号館2階)
備考	受講者が少人数である場合は、受講者のリクエストを優先します。

日本語上級読解 F II Advanced Japanese Reading F II				
古川 由理子 (フルカワ ユリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では次の3点を目標にします。
①まとまった内容の文章から必要な情報を読み取る
②まとまった内容の文章の大意を把握する
③できるだけ速く①と②をできるようにする
なお、JLPTのN1に合格していない学習者が多い場合、その対策も行ないます。

授業方法と留意点

この授業では、実際に日本社会で使用されている生教材を使って、速読を行ないます。テキストを一字一句、正確にしていねいに読むのではなく、できるだけ速く、自分に必要な情報を読み取る練習をします。そのため、次のような手順で授業を進めます。
1. キーワード・キーセンテンスを探す
2. 接続詞に注意する
3. テキストの流れに注意する
4. 予測して読む
5. テキストをまとめる

科目学習の効果 (資格)

・日常あふれている数々の日本語の文章の中から、自分に必要な情報をより早く取り入れることができる。
・必要ではない情報を捨て、ポイントはどこかを把握できるようにする。
・その成果を専門の文章の読解に応用する。
(・JPT N1を持っていないものは取得を目指す。)

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回	【授業テーマ】 ガイダンス 【内容・方法等】 授業の概要説明 プレースメントテスト 【事前・事後学習課題】 復習
第2回	【授業テーマ】 指示語に注意する 【内容・方法等】 練習問題をこなす 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
第3回	【授業テーマ】 キーワードに注意する 【内容・方法等】 穴埋め問題をこなす 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
第4回	【授業テーマ】 文章の内容を予測する 【内容・方法等】 並べ替えの問題

第5回 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
【授業テーマ】 キーセンテンスを探す (1)
【内容・方法 等】 練習問題をこなす

第6回 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
【授業テーマ】 キーセンテンスを探す (2)
【内容・方法 等】 練習問題をこなす

第7回 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
【授業テーマ】 要約をする
【内容・方法 等】 全体を問う問題をこなす

第8回 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
【授業テーマ】 説明文を読む (1)
【内容・方法 等】 2~3の説明文を読み、問題を解く

第9回 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
【授業テーマ】 説明文を読む (2)
【内容・方法 等】 2~3の説明文を読み、問題を解く

第10回 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
【授業テーマ】 論説文を読む (1)
【内容・方法 等】 2~3の論説文を読み、問題を解く

第11回 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
【授業テーマ】 論説文を読む (2)
【内容・方法 等】 2~3の論説文を読み、問題を解く

第12回 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
【授業テーマ】 随筆を読む
【内容・方法 等】 2~3の随筆を読み、問題を解く

第13回 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
【授業テーマ】 小説を読む (1)
【内容・方法 等】 2~3の小説を読み、問題を解く

第14回 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
【授業テーマ】 小説を読む (2)
【内容・方法 等】 2~3の小説を読み、問題を解く

第15回 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
【授業テーマ】 期末テスト
【内容・方法 等】 授業中に指示する

評価方法 (基準)
定期試験を実施 (試験の形式については授業中に説明する)
出席・授業態度 + 期末テスト = 100%
50% 50%

教材等
教科書…授業中プリントを配布する
参考書…授業中に指示する

学生へのメッセージ
受講者のニーズにより、授業内容を大幅に変更することがあります。
出席を重視します。できるだけ欠席をしないようにしてください。

関連科目
日本語表現作文

担当者の研究室等
外国語学部非常勤講師室 (7号館2階)

備考
受講者が少人数である場合は、受講者のリクエストを優先します。

日本語上級作文 F I Advanced Japanese Writing F I				
赤城 永里子 (アカギ エリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
相手との関係や文を書く目的を考慮し、媒体に応じて適切な文が書けるようになる。

授業方法と留意点
授業は、説明と実践が中心である。

科目学習の効果 (資格)
媒体、内容、読み手との関係を考慮した、適切な文章が書けるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業の説明
【事前・事後学習課題】

第2回 【授業テーマ】 自己アピール1
【内容・方法 等】 奨学金に応募する1
【事前・事後学習課題】 復習

第3回 【授業テーマ】 自己アピール2
【内容・方法 等】 奨学金に応募する2
【事前・事後学習課題】 第2・3回の授業を踏まえて、清書する

第4回 【授業テーマ】 自己アピール3
【内容・方法 等】 履歴書を書く
【事前・事後学習課題】 復習

第5回 【授業テーマ】 自己アピール4
【内容・方法 等】 就職活動のためのエントリーシートを書く1

第6回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 自己アピール5
【内容・方法 等】 就職活動のためのエントリーシートを書く2

第7回 【事前・事後学習課題】 第5・6回の授業を踏まえて、清書する
【授業テーマ】 Eメール1
【内容・方法 等】 会社に関心を持たせる

第8回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 Eメール2
【内容・方法 等】 面接の機会をもらう

第9回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 Eメール3
【内容・方法 等】 ゼミ会・クラス会のお誘いメールを書く

第10回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 Eメール4
【内容・方法 等】 ゼミ会・クラス会のお誘いメールに返信する

第11回 【事前・事後学習課題】 第9・10回の授業を踏まえて、実際に受講生間でメールの交換をする
【授業テーマ】 Eメール5
【内容・方法 等】 ゼミ会・クラス会に先生をお誘いするメールを書く

第12回 【事前・事後学習課題】 実際に先生を誘う
【授業テーマ】 Eメール6
【内容・方法 等】 ゼミ会・クラス会の事前リマインドメールを書く

第13回 【事前・事後学習課題】 実際にリマインドのメールを送る。
【授業テーマ】 掲示物1
【内容・方法 等】 外国語学習者募集の貼り紙を作る

第14回 【事前・事後学習課題】 実際に先生を誘う
【授業テーマ】 掲示物2
【内容・方法 等】 不要な家具・家電譲渡の貼り紙を作る

第15回 【事前・事後学習課題】 第13・14回の授業を踏まえ、掲示物を作成する
【授業テーマ】 総合復習
【内容・方法 等】 総合的なフィードバック
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法 (基準)
課題や授業への参加態度などを総合的に評価する。

教材等
教科書…授業中にプリントを配布する
参考書…授業中に指示する

学生へのメッセージ
適切な文、相手に伝わる効果的な文を勉強して、近将来の就職活動に役立てましょう。

関連科目
日本語上級読解、日本語上級会話

担当者の研究室等
7号館2階 (非常勤講師室)

日本語上級作文 F II Advanced Japanese Writing F II				
赤城 永里子 (アカギ エリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
ビジネス場面でのどのようなメールを交換しているのかを説明しながら、状況・目的に応じて適切なビジネスメールが書けるようになる。

授業方法と留意点
授業は、講義と実践が中心である。

科目学習の効果 (資格)
ビジネスメールが目的に応じて適切に書けるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業の説明
【事前・事後学習課題】

第2回 【授業テーマ】 ビジネスメール1
【内容・方法 等】 面識を持った人に挨拶のメール
【事前・事後学習課題】 復習

第3回 【授業テーマ】 ビジネスメール2
【内容・方法 等】 アポイントを取る (1)
【事前・事後学習課題】 復習

第4回 【授業テーマ】 ビジネスメール3
【内容・方法 等】 アポイントを取る (2)

- 第5回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 ビジネスメール4
【内容・方法等】 アポイントの確約をする
- 第6回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 ビジネスメール5
【内容・方法等】 お問い合わせメール（1）
- 第7回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 ビジネスメール6
【内容・方法等】 お問い合わせメール（2）
- 第8回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 ビジネスメール7
【内容・方法等】 報告をする
- 第9回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 ビジネスメール8
【内容・方法等】 お願いをする（1）
- 第10回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 ビジネスメール9
【内容・方法等】 お願いをする（2）
- 第11回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 ビジネスメール10
【内容・方法等】 催促をする（1）
- 第12回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 ビジネスメール11
【内容・方法等】 催促をする（2）
- 第13回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 ビジネスメール12
【内容・方法等】 お礼のメール
- 第14回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 ビジネスメール13
【内容・方法等】 お詫のメール
- 第15回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 総合復習
【内容・方法等】 学習したビジネスメールの振り返り
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法（基準）

課題や授業への参加態度などを総合的に評価する。

教材等

教科書…授業中にプリントを配布する
参考書…授業中に指示する

学生へのメッセージ

就職後、日系の会社あるいは日本国内の会社で働く際に必要なビジネスメールの書き方を一緒に勉強して、就職後に戸惑わないように練習しましょう。

関連科目

日本語上級読解、日本語上級会話

担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

日本語上級会話 F I

Advanced Japanese Speaking FI

高井美穂（タカイ ミホ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

ビジネス日本語能力テスト（BJT）において出題される聴解問題、聴読解問題の練習を行う。また、相手や場面、状況に応じた話し方ができるようになることを目指す。

授業方法と留意点

聴解練習を行い、同様の状況を想定したロールプレイを行う。また、適宜、語彙の小テストを実施する。

科目学習の効果（資格）

就職に役立つ日本語会話能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 敬語
【内容・方法等】 敬語の復習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第2回 【授業テーマ】 上司の指示を理解する
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 上司の指示を理解する
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 同僚の指示を理解する
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 同僚の指示を理解する
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 社内（部外）の人と話す

- 【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
- 第7回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 社内（部外）の人と話す
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
- 第8回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 社外の人と話す
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
- 第9回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 社外の人と話す
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
- 第10回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 メモの内容に応じて行動する
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
- 第11回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 メモの内容に応じて行動する
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
- 第12回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 会議・プレゼンの内容を理解する
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
- 第13回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 会議・プレゼンの内容を理解する
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
- 第14回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 復習
【内容・方法等】 語彙・表現の復習、実践練習
- 第15回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法（基準）

授業への取り組み、語彙テスト、確認テストから総合的に判断する。

教材等

教科書…適宜プリントを配布する。
参考書…特になし

学生へのメッセージ

ビジネス日本語能力テストは、ビジネス場面で必要とされるコミュニケーション能力を測る試験です。2年生のうちから準備を始め、就職に役立つ日本語会話能力を身につけましょう。

関連科目

日本語上級作文、日本語上級読解

担当者の研究室等

国際交流センター

日本語上級会話 F II

Advanced Japanese Speaking FII

高井美穂（タカイ ミホ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

前期に引き続き、ビジネス日本語能力テスト（BJT）において出題される聴解問題、聴読解問題の対策を行う。また、相手や場面、状況に応じた話し方ができるようになることを目指す。

授業方法と留意点

聴解練習を行い、同様の状況を想定したロールプレイを行う。また、適宜、語彙の小テストを実施する。

科目学習の効果（資格）

就職に役立つ日本語会話能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 敬語
【内容・方法等】 敬語の復習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第2回 【授業テーマ】 上司と話す
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 上司と話す
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 同僚と話す
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 同僚と話す
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 社内（部外）の人と話す
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
- 第7回 【授業テーマ】 社内（部外）の人と話す
【内容・方法等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習

- 第8回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 社外の人と話す
【内容・方法 等】 聴解練習, 語彙・表現の学習, 実践練習
- 第9回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 社外の人と話す
【内容・方法 等】 聴解練習, 語彙・表現の学習, 実践練習
- 第10回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 メモの内容に応じて行動する
【内容・方法 等】 聴解練習, 語彙・表現の学習, 実践練習
- 第11回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 メモの内容に応じて行動する
【内容・方法 等】 聴解練習, 語彙・表現の学習, 実践練習
- 第12回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 会議・プレゼン
【内容・方法 等】 聴解練習, 語彙・表現の学習, 実践練習
- 第13回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 会議・プレゼン
【内容・方法 等】 聴解練習, 語彙・表現の学習, 実践練習
- 第14回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 復習
【内容・方法 等】 語彙・表現の復習, 実践練習
- 第15回 【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法 (基準)

授業への取り組み、語彙テスト、確認テストから総合的に判断する。

教材等

教科書…適宜プリントを配布する。
参考書…特になし

学生へのメッセージ

ビジネス日本語能力テスト (BJT) は、ビジネス場面において必要とされる日本語コミュニケーション能力を測定する試験です。2年生のうちから準備を始め、就職に役立つ日本語会話能力を身につけましょう。

関連科目

日本語上級作文、日本語上級読解

担当者の研究室等

国際交流センター

- 第4回 【授業テーマ】 女性と人権
【内容・方法 等】 女性差別の現状と構造(林田・橋本担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習
- 第5回 【授業テーマ】 指紋あるいは遺伝子情報と人権
【内容・方法 等】 個人識別とプライバシーの保護について(石崎・橋本担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習
- 第6回 【授業テーマ】 警察と人権
【内容・方法 等】 民事不介入の原則について(林田・石崎担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習
- 第7回 【授業テーマ】 国際問題としての人権
【内容・方法 等】 貧困や難民問題と人権の問題について(石崎・橋本担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習
- 第8回 【授業テーマ】 日本における人権問題
【内容・方法 等】 同和問題の歴史と現状(橋本・石崎担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習
- 第9回 【授業テーマ】 教育と人権
【内容・方法 等】 人権問題と教育の役割(林田・橋本担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習
- 第10回 【授業テーマ】 監獄と人権
【内容・方法 等】 一室監獄 (パノプティコン) と見えない権力(林田・石崎担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習
- 第11回 【授業テーマ】 情報化社会における人権問題
【内容・方法 等】 身体障害と表現(橋本・林田担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習
- 第12回 【授業テーマ】 マスメディアとネット社会の人権問題
【内容・方法 等】 マスコミによる人権侵害と報道の自由について(橋本・石崎担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習
- 第13回 【授業テーマ】 人権問題の全体を再考する
【内容・方法 等】 具体的な経験を語り合うことを通して(林田・石崎担当)
【事前・事後学習課題】 これまでのまとめを行っておく
- 第14回 【授業テーマ】 人権についての考えをまとめる
【内容・方法 等】 これまでの講義をまとめてレポートを作成する(石崎・橋本・林田担当)
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
- 第15回 【授業テーマ】 総括と展望
【内容・方法 等】 纏めた文章の相互批評と評価(石崎・橋本・林田担当)
【事前・事後学習課題】 レポートを読み返しておく

評価方法 (基準)

授業中における意見の表明など授業参加点と授業中に行う論文形式の小テストにより総合的に評価する。

教材等

教科書…とくになし。必要に応じてプリントを配付する。
参考書…とくになし。

学生へのメッセージ

人権がわたしたちの日常にきわめて深くかかわっている事柄であることを理解できるような講義を目指す。複数の教員が同一テーマについて同じ時間内に講義するという他に例のない授業形式の醍醐味に触れて欲しい。

関連科目

法学、歴史学、日本史学、哲学、日本文学

担当者の研究室等

7号館4階(石崎・橋本・林田研究室)

教養特別講義I~V 「社会と人権」

Human rights and Society

石 崎 嘉 彦 (イシザキ ヨシヒコ)
林 田 敏 子 (ハヤシダ トシコ)
橋 本 正 俊 (ハシモト マサトシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本科目は、人間が人間として尊重されるということの意味を、具体的な生活や行動と関わらせて考えること、またそのような思索の成果を実際の生活や行動に反映させることを目的とし、そのための知識や見方・考え方を受講生に提示する。具体的には「現実生活と人権」および「人権の歴史」の二つをテーマとして、担当者がそれぞれ専門的な見地から講義するとともに、教員間、教員と学生間の討議を通して人権に対する総合的な理解の獲得をめざす。授業においては、毎回二人以上の教員が出席し担当する。

学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

毎回、二名以上の教員が同一テーマについて、異なる立場と視点から講義する。

科目学習の効果 (資格)

人権問題について、印象論ではなく、正確な知識に基づいた理解を得ることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業の進め方について(林田・橋本・石崎担当)
【事前・事後学習課題】 なし
- 第2回 【授業テーマ】 人権とは何か
【内容・方法 等】 人権という考え方の基本について(石崎・林田担当)
【事前・事後学習課題】 資料の予習
- 第3回 【授業テーマ】 人権の歴史
【内容・方法 等】 人権という考え方の歴史について(林田・橋本担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習

教養特別講義I~V 「応用倫理学入門」

Introduction to Applied Ethics

石 崎 嘉 彦 (イシザキ ヨシヒコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

応用倫理学は、環境、生命、情報、経済、政治など生活世界の諸問題を「倫理的パラダイム」の視点から総合的に読み解こうとする試みであるが、この講義では、その中でも特に「グローバル化」とともに持ち上がってくる諸問題に焦点を合わせて考えていこうと思う。そこから、科学とは区別される仕方でも生命、環境、テクノロジーなどの諸問題に対して対処する道があることを確認していく。

学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

石崎嘉彦他著『グローバル世界と倫理』(ナカニシヤ出版)をテキストに用いた講義である。とりわけ今年度は、グローバル・エシックスに焦点を合わせた議論となる。

科目学習の効果 (資格)

近代的思考法を超える新しい思考法の獲得に繋がる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法等】 授業の進め方、評価の仕方、倫理について
【事前・事後学習課題】 なし
- 第2回 【授業テーマ】 グローバル世界の倫理と人間論
【内容・方法等】 人間論としての倫理学、いわゆる肉眼で見ることの復権について
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第3回 【授業テーマ】 グローバル化とグローバル世界
【内容・方法等】 経済のグローバル化と政治のグローバル化
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第4回 【授業テーマ】 倫理と自然法について
【内容・方法等】 力の世界と野蛮化の可能性について
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第5回 【授業テーマ】 グローバル世界と帝国
【内容・方法等】 普遍同質的国家と新たな帝国の出現に対処するために
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第6回 【授業テーマ】 人権とヒューマンズムのために
【内容・方法等】 歓待の倫理—共同への欲求と親密圏について
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第7回 【授業テーマ】 テクノロジーの専制
【内容・方法等】 総動員体制にどう応えるか—技術とナショナリズムに抗して
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第8回 【授業テーマ】 南北問題と環境の倫理学
【内容・方法等】 全体論は悪い—自国の利益よりも世界全体の利益を優先させるために
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第9回 【授業テーマ】 管理社会から福祉社会へ
【内容・方法等】 グローバル化による管理社会の到来に立ち向かうために
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第10回 【授業テーマ】 帝国主義でも全体主義的帝国でもなく
【内容・方法等】 徳と教養の帝国、愛郷主義の帝国は可能か
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第11回 【授業テーマ】 男女と貧富の平等について
【内容・方法等】 差異を超える論理はありうるのか
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第12回 【授業テーマ】 大衆・メディア・コミュニケーション
【内容・方法等】 情報技術とメディアの横暴を押し止めるために
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第13回 【授業テーマ】 平和の問題と倫理
【内容・方法等】 戦争をこの世からなくすことについて—グローバリズムを越えて
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第14回 【授業テーマ】 共生のために—まとめにかえて
【内容・方法等】 コスモポリタニズムと共生
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第15回 【授業テーマ】 到達度の点検と確認
【内容・方法等】 レポート作成とその評価
【事前・事後学習課題】 教科書全体に目を通す

評価方法 (基準)

講義への熱意、議論への参加の度合い、レポートにより判定

教材等

- 教科書…石崎嘉彦著『グローバル世界と倫理』(ナカニシヤ出版)
参考書…石崎嘉彦著『ポストモダンの人間論』(ナカニシヤ出版)
石崎嘉彦著『ポストモダン時代の倫理』(ナカニシヤ出版)

学生へのメッセージ

これからの時代を生きていくためのキーワードは「倫理」と「正義」だよ

関連科目

哲学、エコロジー、環境倫理学、技術者倫理、情報倫理など

担当者の研究室等

7号館4階(石崎研究室)

便性や収益機会が得られるようになりました。その一方で、私たちには金融取引において、自身の判断と責任において行うべきとする「自己責任」が求められる時代になっています。

自分で考え、行動することが求められるなか、「自立した個人」となるための素養・能力を養うことが今、必要とされています。これから社会人となる学生諸君も、金融・経済やマーケットの仕組みを理解する知識を身に付けていくことは、とても大切です。これらは、さまざまな金銭・金融トラブルから私たちの身を守るのに役立つばかりでなく、今後の豊かな人生の実現に欠かせないものだからです。

本講義は、個人のライフステージのさまざまな局面で自立的な意思決定や適切な判断を行うのに役立つ、金融リテラシー(知力)を養成することを目指しています。

授業方法と留意点

講義形式で、時事的な問題も適宜取り上げながら、基礎的内容から実務の入り口まで解説を行い、実践的な知識の習得を図ります。

科目学習の効果(資格)

ファイナンシャル・プランナー資格(民間資格)、ファイナンシャル・プランニング技能検定(国家資格)

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 金融知力の必要性
【内容・方法等】 ガイダンス
金融リテラシー(知力)の必要性について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第2回 【授業テーマ】 金融・経済の基礎知識(1)
【内容・方法等】 GDPや景気動向、経済指標等について学習する。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第3回 【授業テーマ】 金融・経済の基礎知識(2)
【内容・方法等】 金利、金融政策、景気対策等について学習する。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第4回 【授業テーマ】 ライフプランニング(1)
【内容・方法等】 私たちの将来設計と資金計画について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第5回 【授業テーマ】 ライフプランニング(2)
【内容・方法等】 私たちの将来設計と資金計画、人生の三大資金について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
課題レポート：自分の将来設計をする/キャッシュフロー表の作成
- 第6回 【授業テーマ】 貯蓄型商品
【内容・方法等】 預貯金や金利計算について学習する。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第7回 【授業テーマ】 リスクとリターン
【内容・方法等】 金融取引に関わるリスクとリターン、およびリスクを分散する方法について入門的に学ぶ。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第8回 【授業テーマ】 投資信託
【内容・方法等】 投資信託の特徴やその仕組みについて学習する。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)とレジュメをよく読み復習する。
- 第9回 【授業テーマ】 アセットクラスの基礎知識、株式(1)
【内容・方法等】 株式の基礎知識、株価変動の要因、経済と株式市場の関係等について入門的に学ぶ。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第10回 【授業テーマ】 アセットクラスの基礎知識、株式(2)
【内容・方法等】 株式指標や投資指標等について学習する。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第11回 【授業テーマ】 アセットクラスの基礎知識、債券(1)
【内容・方法等】 債券投資の特徴とリスク、利回り等について学習する。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関

教養特別講義I~V「役立つ金融知力」

Useful Financial Literacy

東 浩 規 (ヒガシ ヒロキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

金融の自由化が進展し、多様な金融商品やサービスが登場するなど、消費者の選択肢が大きく広がり、これまでも増して利

心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。

- 第12回** 【授業テーマ】 アセットクラスの基礎知識、債券(2)
【内容・方法 等】 債券の格付け、金利と債券価格、日本の財政等について入門的に学ぶ。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第13回** 【授業テーマ】 外貨建て商品、証券化
【内容・方法 等】 外貨建て商品や為替の基本的な仕組み、証券化について入門的に学ぶ。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第14回** 【授業テーマ】 セーフティネット
【内容・方法 等】 セーフティネットについて学習する。
【事前・事後学習課題】 日頃、経済や金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめと定期試験対策
【内容・方法 等】 これまでの学習のまとめ、試験の想定問題とその対策。
【事前・事後学習課題】 教科書とこれまで配布されたレジュメをよく読んで、総復習する。試験の準備。

評価方法（基準）

学期末試験期間中に実施する筆記試験70%、課題レポート30%を基本に、理解度を確認する<まとめ問題>や授業への取り組み姿勢等を総合的に評価。なお、試験は持ち込み不可。

教材等

教科書…『ファイナンス基礎（第四版）』発行：NPO法人金融知力普及協会

（一般の書店では購入できないので注意して下さい）
教科書は授業では使用しません。レジュメ・資料を、毎回配布します。

参考書…特定ものは指定しません

学生へのメッセージ

経済や金融をより身近に感じてもらうためにも、新聞・ニュースには必ず目を通す習慣を身に付け、今世の中で何が起きているのか常に関心を持つようにしてください。事後学習として、テキスト(授業の該当ページ)と配布されたレジュメをよく読んで復習しておくこと、またとつきにくい話であっても自分自身で考える、わからないところは調べてみる姿勢が望ましい。
社会人としてしっかり生きていける素養を磨くことを目標とします。授業に積極的で、私語をしない学生の参加を歓迎します。

関連科目

「ビジネスマナー」「就職実践基礎」

担当者の研究室等

11号館1階（教務課）

備考

この授業は、日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社による「寄附講座」です。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「地域連携教育活動Ⅰ」 Community-Based Education Support ActivitiesⅠ				
浅野 英一 (アサノ エイイチ)				
浦野 崇央 (ウラノ タカオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本授業はサービスラーニングの授業であり、実践型学習プログラムである。大学近隣の幼稚園・小学校・中学校で教育現場の教育補助、課外活動を幅広く体験し、自己の適正を把握する機会を持ち、人間的成長や社会意識の向上を目指す。活動内容は、授業運営補助、「総合的な学習」の補助、学校行事運営補助、クラブ・サークル活動の補助、図書室運営の補助、放課後学習の補助などを組み合わせ年間を通じた活動を大学授業の空き時間を利用して週1回90分行う。

授業方法と留意点

原則として、履修申請が可能な学生は、本年1月に行なわれた特別事前履修相談会で受け入れ校の校長・教頭・園長との相談結果によって受け入れ許可を得た学生で、「地域連携教育活動Ⅰ」を初めて履修する学生を対象とする。

科目学習の効果（資格）

活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 事前教育－1（授業説明を4月12日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。）

- 第2回** 【内容・方法 等】 活動についての心構え、内容の徹底周知、年間活動計画作成準備
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
【授業テーマ】 事前教育－2
【内容・方法 等】 マナー講座・小中学校の教育現場について（学外講師を含む）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第3回** 【授業テーマ】 事前教育－3
【内容・方法 等】 「守秘義務」の意味とその内容について（教育委員会からの学外講師）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第4回** 【授業テーマ】 活動準備
【内容・方法 等】 受け入れ校と協議し、年間活動計画を作成する
【事前・事後学習課題】 年間計画（案）の作成
- 第5回** 【授業テーマ】 活動－1
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動開始
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第6回** 【授業テーマ】 活動－2
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第7回** 【授業テーマ】 活動－3
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第8回** 【授業テーマ】 活動－4
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書①の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 第9回** 【授業テーマ】 活動－5
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第10回** 【授業テーマ】 活動－6
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第11回** 【授業テーマ】 活動－7
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第12回** 【授業テーマ】 活動－8
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成発表準備
- 第13回** 【授業テーマ】 活動－9
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書②の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 第14回** 【授業テーマ】 活動－10
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第15回** 【授業テーマ】 活動－11
【内容・方法 等】 活動業務日報・活動時間票の作成
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第16回** 【授業テーマ】 活動－12
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第17回** 【授業テーマ】 活動－13
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第18回** 【授業テーマ】 活動－14
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第19回** 【授業テーマ】 活動－15
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書③の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 第20回** 【授業テーマ】 活動－16
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第21回** 【授業テーマ】 活動－17
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動

- 活動業務日報・活動時間票の提出
- 第22回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－1 8
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第23回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－1 9
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第24回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－2 0
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第25回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－2 1
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第26回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－2 2
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第27回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－2 3
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第28回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－2 4
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第29回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－2 5
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票
- 第30回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－2 6・最終報告会
- 評価方法 (基準)
- ①年間活動計画書 ②活動業務日報・活動時間数(出席数)票 ③活動進捗状況報告書 ④最終活動報告書の全てを提出し、発表会で活動報告した場合のみ、それらを総合的に判断して評価する。

教材等

教科書…使用しない
参考書…適宜紹介する

学生へのメッセージ

大学の授業と授業の合間を有効利用して、大学近隣の幼稚園、小・中学校の教育現場の教師をサポートしながら、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。

関連科目

教職課程を履修していない学生でもこの科目を履修することができる。

担当者の研究室等

7号館5階 (浅野研究室)
7号館4階 (浦野研究室)

備考

授業説明を4月12日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 事前教育－1 (授業説明を4月12日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。)
【内容・方法等】 活動についての心構え、内容の徹底周知、年間活動計画作成準備
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第2回 【授業テーマ】 事前教育－2
【内容・方法等】 マナー講座・小中学校の教育現場について(学外講師を含む)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第3回 【授業テーマ】 事前教育－3
【内容・方法等】 「守秘義務」の意味とその内容について(教育委員会からの学外講師)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第4回 【授業テーマ】 活動準備
【内容・方法等】 受け入れ校と協議し、年間活動計画を作成する
【事前・事後学習課題】 年間計画(案)の作成
- 第5回 【授業テーマ】 活動－1
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動開始
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第6回 【授業テーマ】 活動－2
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第7回 【授業テーマ】 活動－3
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第8回 【授業テーマ】 活動－4
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書①の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 第9回 【授業テーマ】 活動－5
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第10回 【授業テーマ】 活動－6
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第11回 【授業テーマ】 活動－7
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第12回 【授業テーマ】 活動－8
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成発表準備
- 第13回 【授業テーマ】 活動－9
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書②の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 第14回 【授業テーマ】 活動－1 0
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第15回 【授業テーマ】 活動－1 1
【内容・方法等】 活動業務日報・活動時間票の作成
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第16回 【授業テーマ】 活動－1 2
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第17回 【授業テーマ】 活動－1 3
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第18回 【授業テーマ】 活動－1 4
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第19回 【授業テーマ】 活動－1 5
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書③の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 第20回 【授業テーマ】 活動－1 6

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「地域連携教育活動Ⅱ」 Community-Based Education Support ActivitiesⅡ				
浅野 英一 (アサノ エイイチ)				
浦野 崇央 (ウラノ タカオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本授業はサービスマーケティングの授業であり、実践型学習プログラムである。大学近隣の幼稚園・小学校・中学校で教育現場の教育補助、課外活動を幅広く体験し、自己の適正を把握する機会を持ち、人間的成長や社会意識の向上を目指す。活動内容は、授業運営補助、「総合的な学習」の補助、学校行事運営補助、クラブ・サークル活動の補助、図書室運営の補助、放課後学習の補助などを組み合わせ年間を通じた活動を大学授業の空き時間を利用して週1回90分行う。

授業方法と留意点

原則として、履修申請が可能な学生は、本年1月に行われた特別事前履修相談会で受け入れ校の校長・教頭・園長との相談結果によって受入れ許可を得た学生で、昨年度「地域連携教育活動Ⅰ」を履修した学生のみが登録できる。

科目学習の効果(資格)

- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第21回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-17
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第22回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-18
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第23回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-19
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第24回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-20
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第25回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-21
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第26回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-22
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第27回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-23
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第28回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-24
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第29回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-25
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票
- 第30回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動-26・最終報告会

評価方法 (基準)

①年間活動計画書 ②活動業務日報・活動時間数 (出席数) 票 ③活動進捗状況報告書 ④最終活動報告書の全てを提出し、発表会で活動報告した場合のみ、それらを総合的に判断して評価する。

教材等

教科書…使用しない
参考書…適宜紹介する

学生へのメッセージ

大学の授業と授業の合間を有効利用して、大学近隣の幼稚園、小・中学校の教育現場の教師をサポートしながら、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえない財産形成を行ってください。

関連科目

教職課程を履修していない学生でもこの科目を履修することができる。

担当者の研究室等

7号館5階 (浅野研究室)
7号館4階 (浦野研究室)

備考

授業説明を4月12日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

**教養特別講義 I～V 「キャリアデザイン(BASIC)」
Career Planning I(Basic)**

津村 英二 (ツムラ エイジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

社会に出て活躍するために大学時代に何をなすべきなのか、早い段階で目的意識を持ち、4年間のキャンパスライフを有意義に送るための授業です。
この講義を通して、自己理解を深める、コミュニケーション力がアップする、社会(企業)の変化を知る、大学生活および人生設計ができるようになる、ことを到達目標とします。
学科の学習・教育目標との対応:「A」

授業方法と留意点

講義だけでなくグループワークなどを織り交ぜて進めますので積極的な態度で受講して下さい。

科目学習の効果 (資格)

社会と自分の接点を考えるきっかけとなります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 フレッシュな自分を確認しよう
【内容・方法等】 ・キャリアデザインとは?何故必要なのか?
【事前・事後学習課題】 自分にとって“キャリアデザイン”とは何か?を考えておいて下さい
- 第2回 【授業テーマ】 摂大学
【内容・方法等】 ・摂南大学の建学の精神と教育理念を理解する ・授業の活用術を知る ・学生生活において“目標とするもの”を考える
【事前・事後学習課題】 テキストP11～P17を熟読して下さい。
- 第3回 【授業テーマ】 社会は君を待っている
【内容・方法等】 ・進路についてのイメージづくり ・20代の内に身につけたい力を知る ・未来予想図を描く
【事前・事後学習課題】 テキストP19～P26を熟読して下さい。
- 第4回 【授業テーマ】 社会で活躍するOB・OG
【内容・方法等】 ・進路の多様性 (進学(院・専門学校)、資格、公務員、企業、海外等)を知る
【事前・事後学習課題】 卒業後の進路について考えておいて下さい。
テキストP39～P44を熟読して下さい。
- 第5回 【授業テーマ】 グループ課題の設定
【内容・方法等】 与えられた課題をグループで取り組む
【事前・事後学習課題】 チームの中で「自分はどんな役割を果たしたいか」を考えておいて下さい
- 第6回 【授業テーマ】 社会の仕組み
【内容・方法等】 ・GDPから見る社会の仕組み ・税金の種類と役割 ・業種/職種を知る
【事前・事後学習課題】 テキストP27～P37を熟読して下さい。
- 第7回 【授業テーマ】 お金の話
【内容・方法等】 ・正社員とフリーターの違いを考える
【事前・事後学習課題】 自分が“欲しいモノを3つ”考えておいて下さい。
テキストP53～P57を熟読して下さい。
- 第8回 【授業テーマ】 自己分析から自分づくりへ①
【内容・方法等】 ・自分の関心事柄を知る ・性格、適性、能力を考える ・自分の大事にしているモノ(価値観)を整理する
【事前・事後学習課題】 自分の長所や短所について考え、周囲の人にも聞いておいて下さい。
テキストP59～P69を熟読して下さい。
- 第9回 【授業テーマ】 自己分析から自分づくりへ②
【内容・方法等】 ・キャリア理論を知り、自分の関心事、性格、適性や能力の喚起へと繋げる
【事前・事後学習課題】 テキストP59～P69を熟読して下さい。
- 第10回 【授業テーマ】 スケジュールリング術
【内容・方法等】 ・社会人基礎力を理解する ・PDCAサイクルを身につける ・問題解決の思考法を身につける
【事前・事後学習課題】 テキストに目を通しておいて下さい。
テキストP79～P88を熟読して下さい。
- 第11回 【授業テーマ】 グループ課題のプレゼンテーション
【内容・方法等】 ・グループで取り組んだ内容をプレゼンテーションしていただきます
【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションの準備を行ってください
- 第12回 【授業テーマ】 グループワークに取り組む
【内容・方法等】 グループで課題に取り組む
【事前・事後学習課題】 グループでプランを作成してください
- 第13回 【授業テーマ】 グループ課題のプレゼンテーション
【内容・方法等】 グループごとにプレゼンテーションを行う
【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションの準備を行ってください
- 第14回 【授業テーマ】 グループ活動の振り返り
【内容・方法等】 グループ活動の振り返りから「コミュニケーション、ホスピタリティ、マナー」等を再認識する
【事前・事後学習課題】 グループ活動の経緯を振り返っておいて下さい
- 第15回 【授業テーマ】 未来予想図/講義のおさらい
【内容・方法等】 ・大学1年生の夏休みから何を始めるか?を考え、グループ内で発表する
【事前・事後学習課題】 夏休み以降の大学生生活の目標を考えておいて下さい

評価方法 (基準)

平常点 (30%)、グループ活動 (20%)、レポート (50%)で総合評価をします。

教材等

教科書…キャリアデザイン I
参考書…必要に応じて授業内でレジュメを配布します

学生へのメッセージ

自分の将来を考える授業ですので、能動的に参加して下さい。

関連科目

キャリアデザイン II、インターンシップ I・II

担当者の研究室等

教養特別講義Ⅰ～Ⅶ「青少年育成ファシリテーター養成講座」
Facilitator Training Program

浅野 英一 (アサノ エイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本授業は、サービスマナーの授業であり、青少年育成ファシリテーターとして、知識・野外活動の方法を習得し実習を通して学びと成長を得ることができる実践型学習プログラムである。実践は単なる擬似的体験ではなく、人々のために役立ったという現実的な体験を得ることを目的とし、到達目標として自己の振り返りと自己発見、責任感、価値観・技能や知識の獲得、リスクマネジメント、社会問題の理解を果たす体験を同時に果たすことができるものとする。活動受入機関は、寝屋川市教育委員会関連団体、共学センター、寝屋川青年会議所主催事業、交野市役所。

学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

大学の授業後や、授業の無い日を利用して学外活動を行います。週に1度、90分の活動が基本ですが、夏休みなど長期の休み期間中に集中して活動することも可能です。

科目学習の効果（資格）

実習や活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 事前教育-1 (授業説明を4月9日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。)
【内容・方法 等】 活動についての心構え、授業内容の徹底周知、ファシリテーターについて
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「活動についての心構え」
- 第2回 【授業テーマ】 事前教育-2
【内容・方法 等】 守秘義務：活動に伴って知った情報を漏らしてはならない義務を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「守秘義務について」
- 第3回 【授業テーマ】 事前教育-3
【内容・方法 等】 安全管理スキル：活動に伴って発生しうる事故を未然に防ぐ方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「安全管理スキルについて」
- 第4回 【授業テーマ】 事前教育-4
【内容・方法 等】 救命救護スキル：命の大切さ、命を助ける方法、AEDの使用法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「救命救護スキルについて」
- 第5回 【授業テーマ】 事前教育-5
【内容・方法 等】 安全対策スキル：安全。衛生管理、危険予知、責任について学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「安全対策スキルについて」
- 第6回 【授業テーマ】 事前教育-6
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル①：対象者理解、人とのかわり方を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「人とのかわり方について」
- 第7回 【授業テーマ】 事前教育-7
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル②：報告、連絡、相談（ホウ・レン・ソウ）の重要性を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「報告、連絡、相談について」
- 第8回 【授業テーマ】 事前教育-8
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル③：アイスブレイキング手法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「アイスブレイキング手法について」
- 第9回 【授業テーマ】 事前教育-9
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル④：指導者のあるべき姿、リーダーシップの取り方
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「指導者のあるべき姿、リーダーシップの取り方について」
- 第10回 【授業テーマ】 事前教育-10
【内容・方法 等】 活動プログラミング・スキル：課題設定・企画立案・実施・評価方法
【事前・事後学習課題】 活動計画（案）を作成する
【授業テーマ】 実践活動-1
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践①

- 第12回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-2
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践②
- 第13回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-3
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践③
- 第14回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-4
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践④
- 第15回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-5
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑤
- 第16回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-6
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑥
- 第17回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-7
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑦
- 第18回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-8
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑧
- 第19回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-9
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑨
- 第20回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-10
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑩
- 第21回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-11
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑪
- 第22回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-12
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑫
- 第23回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-13
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑬
- 第24回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-14
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑭
- 第25回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-15
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑮
- 第26回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-16
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑯
- 第27回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-17
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑰
- 第28回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-18
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑱
- 第29回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-19
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑲
- 第30回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 最終報告（後期分）

評価方法（基準）

①参加日数、②実習報告書、③最終報告書、④受入機関からの調査、以上の4点を総合的に判断して評価する。

教材等

教科書…使用しない
参考書…適宜紹介する

学生へのメッセージ

青少年育成活動を通して、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。

担当者の研究室等
7号館5階 (浅野研究室)

備考
授業説明を4月9日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「就職実践基礎」
Preparation Program for Employment Examination

松田 剛典 (マツダ タケノリ)
亀田 峻宣 (カメダ タカノブ)
西座 由紀 (ニシザ ユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

就職活動時の筆記試験対策(算数・数学)について学び、筆記試験を通過する実力をつけることを目標とする授業です。この講義では、3回生で実際の出題レベルの対策を行うために必要な、算数・数学の基礎を固めるための授業です。就職活動では、筆記試験で算数・数学に苦勞する学生がとても多いですので、早めに対策をしておくこと後々有利です。算数・数学が苦手な学生や、大学に入って(もしくはそれ以前から)算数・数学に触れていない学生は特にお勧めします。
学科の学習・教育目標との対応：[II]

授業方法と留意点

授業は実践形式で行います。問題を解き、解説するという流れになります。講義の中で都度プリントを配布して講義を行います。また、教科書から課題を出します。就職活動の筆記試験を通過する実力をつけることが目的です。講義に集中して参加し、毎回の講義問題や教科書の復習を行うことが必要になります。

科目学習の効果(資格)

就職活動に必要な数学力のうち、特に基礎的な部分を身につける

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 講義概要説明、模擬試験の実施
【事前・事後学習課題】 シラバス熟読
- 第2回 【授業テーマ】 数と計算①
【内容・方法等】 四則演算①・分数①
【事前・事後学習課題】 四則演算を復習しておくこと
- 第3回 【授業テーマ】 数と計算②
【内容・方法等】 四則演算②・分数②・方程式①
【事前・事後学習課題】 四則演算・方程式を復習しておくこと
- 第4回 【授業テーマ】 数と計算③
【内容・方法等】 方程式②
【事前・事後学習課題】 方程式を復習しておくこと
- 第5回 【授業テーマ】 割合①
【内容・方法等】 割合①
【事前・事後学習課題】 割合について復習しておくこと
- 第6回 【授業テーマ】 割合②
【内容・方法等】 割合②・濃度算
【事前・事後学習課題】 文章題による割合・濃度算について復習しておくこと
- 第7回 【授業テーマ】 割合③
【内容・方法等】 割合③・仕事算
【事前・事後学習課題】 文章題による割合・仕事算について復習しておくこと
- 第8回 【授業テーマ】 講義の振り返り①
【内容・方法等】 中テスト
【事前・事後学習課題】 2～7回目の範囲を事前に勉強しておくこと
- 第9回 【授業テーマ】 金銭問題①
【内容・方法等】 損益算
【事前・事後学習課題】 文章題による損益算を復習しておくこと
- 第10回 【授業テーマ】 金銭問題②
【内容・方法等】 分割払い
【事前・事後学習課題】 文章題による分割払いを復習しておくこと
- 第11回 【授業テーマ】 速度算①
【内容・方法等】 速さの考え方
【事前・事後学習課題】 文章題による速度算を復習しておくこと
- 第12回 【授業テーマ】 速度算②
【内容・方法等】 2人の出会い・追いつき
【事前・事後学習課題】 文章題による速度算を復習しておくこと

- 第13回 【授業テーマ】 場合の数・確率①
【内容・方法等】 場合の数
【事前・事後学習課題】 文章題による場合の数を復習しておくこと
- 第14回 【授業テーマ】 場合の数・確率②
【内容・方法等】 確率
【事前・事後学習課題】 文章題による確率を復習しておくこと
- 第15回 【授業テーマ】 講義の振り返り②
【内容・方法等】 最終テスト
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと
- 評価方法(基準)
テスト、小テスト、課題の提出状況などを総合的に評価します。

教材等

教科書…オリジナル教材を使用します。
また適宜Smart SPIの活用を指示します。
参考書…算数・数学に関する本を読んでおくこと参考になります。
(例：「小学校6年間の算数が6時間でわかる本」PHP研究所)

学生へのメッセージ

7～8割の企業が就職活動で筆記試験を課すと言われています。早めの対策をしておくこと、受けることのできる会社が広がります。その一方、毎年多くの3回生が秋・冬から筆記試験対策を始め、他の就職活動が忙しく時間を勉強できないままです。早めに対策をしておきましょう。
受講する以上は、講義に集中し、毎回復習して確実に問題を解けるようになってください。

関連科目

キャリアデザインⅡ、インターンシップⅠ・Ⅱ

担当者の研究室等

3号館4階 キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「就職実践基礎」
Preparation Program for Employment Examination

松田 剛典 (マツダ タケノリ)
亀田 峻宣 (カメダ タカノブ)
西座 由紀 (ニシザ ユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

就職活動時の筆記試験対策(算数・数学)について学び、筆記試験を通過する実力をつけることを目標とする授業です。この講義では、3回生で実際の出題レベルの対策を行うために必要な、算数・数学の基礎を固めるための授業です。就職活動では、筆記試験で算数・数学に苦勞する学生がとても多いですので、早めに対策をしておくこと後々有利です。算数・数学が苦手な学生や、大学に入って(もしくはそれ以前から)算数・数学に触れていない学生は特にお勧めします。
学科の学習・教育目標との対応：[II]

授業方法と留意点

授業は実践形式で行います。問題を解き、解説するという流れになります。講義の中で都度プリントを配布して講義を行います。また、教科書から課題を出します。就職活動の筆記試験を通過する実力をつけることが目的です。講義に集中して参加し、毎回の講義問題や教科書の復習を行うことが必要になります。

科目学習の効果(資格)

就職活動に必要な数学力のうち、特に基礎的な部分を身につける

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 講義概要説明、模擬試験の実施
【事前・事後学習課題】 シラバス熟読
- 第2回 【授業テーマ】 数と計算①
【内容・方法等】 四則演算①・分数①
【事前・事後学習課題】 四則演算を復習しておくこと
- 第3回 【授業テーマ】 数と計算②
【内容・方法等】 四則演算②・分数②・方程式①
【事前・事後学習課題】 四則演算・方程式を復習しておくこと
- 第4回 【授業テーマ】 数と計算③
【内容・方法等】 方程式②
【事前・事後学習課題】 方程式を復習しておくこと
- 第5回 【授業テーマ】 割合①
【内容・方法等】 割合①
【事前・事後学習課題】 割合について復習しておくこと
- 第6回 【授業テーマ】 割合②
【内容・方法等】 割合②・濃度算
【事前・事後学習課題】 文章題による割合・濃度算について復習しておくこと

- 習しておくこと
- 第7回 【授業テーマ】 割合③
【内容・方法等】 割合③・仕事算
【事前・事後学習課題】 文章題による割合・仕事算について復習しておくこと
- 第8回 【授業テーマ】 講義の振り返り①
【内容・方法等】 中テスト
【事前・事後学習課題】 2～7回目の範囲を事前に勉強しておくこと
- 第9回 【授業テーマ】 金銭問題①
【内容・方法等】 損益算
【事前・事後学習課題】 文章題による損益算を復習しておくこと
- 第10回 【授業テーマ】 金銭問題②
【内容・方法等】 分割払い
【事前・事後学習課題】 文章題による分割払いを復習しておくこと
- 第11回 【授業テーマ】 速度算①
【内容・方法等】 速さの考え方
【事前・事後学習課題】 文章題による速度算を復習しておくこと
- 第12回 【授業テーマ】 速度算②
【内容・方法等】 2人の出会い・追いつき
【事前・事後学習課題】 文章題による速度算を復習しておくこと
- 第13回 【授業テーマ】 場合の数・確率①
【内容・方法等】 場合の数
【事前・事後学習課題】 文章題による場合の数を復習しておくこと
- 第14回 【授業テーマ】 場合の数・確率②
【内容・方法等】 確率
【事前・事後学習課題】 文章題による確率を復習しておくこと
- 第15回 【授業テーマ】 講義の振り返り②
【内容・方法等】 最終テスト
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと

評価方法 (基準)
テスト、小テスト、課題の提出状況などを総合的に評価します。

教材等
教科書…オリジナル教材を使用します。
また適宜Smart SPIの活用を指示します。
参考書…算数・数学に関する本を読んでおくことと参考になります。
(例:「小学校6年間の算数が6時間でわかる本」PHP研究所)

学生へのメッセージ
7～8割の企業が就職活動で筆記試験を課すと言われていています。早めの対策しておくこと、受けることのできる会社が広がります。その一方、毎年多くの3回生が秋・冬から筆記試験対策を始め、他の就職活動が忙しく時間を勉強できないままです。早めに対策をおこなってください。
受講する以上は、講義に集中し、毎回復習して確実に問題を解けるようになってください。

関連科目
キャリアデザインⅡ、インターンシップⅠ・Ⅱ
担当者の研究室等
3号館4階 キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「キャリアデザインⅡ(ADVANCE)」 Career Planning II(Advanced)				
津村 英二 (ツムラ エイジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
将来、社会で活躍できる人になるために、1回生時からの成長を加速させます。そのために授業では社会を起点に物事を考え、自らの活かし方、伸ばすべきポイントについて考えて頂きます。

授業の到達目標は将来、何になりたいか、そのために何をすべきかを言えるようになることです。
学科の学習・教育目標との対応:「A」

授業方法と留意点
講義だけでなくグループワークや個人で考えるワークを織り交ぜて進行しますので能動的な態度で受講して下さい。

科目学習の効果 (資格)
来るべき就職活動に向けて自分は何を伸ばさなければならないのか?等を考えられるようになります

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 ・講義の目的・内容の解説
・評価の方法

- ・アセスメントの実施
【事前・事後学習課題】 大学生生活1年目で経験したことを思い出しておいて下さい
 - 第2回 【授業テーマ】 就活体験①
【内容・方法等】 特性と心がけ、自己PRの組み立て方を学ぶ
【事前・事後学習課題】 キャリアデザインⅡのテキストP33～P41を熟読して下さい
 - 第3回 【授業テーマ】 就活体験②
【内容・方法等】 ・学生生活を振り返る
・講師より学生生活で自分を高めるための提案
【事前・事後学習課題】 キャリアデザインⅡのテキストP42～P44を熟読して下さい
 - 第4回 【授業テーマ】 自分を高める①
【内容・方法等】 ・今までの習慣を見直し自分を高めることを考える
【事前・事後学習課題】 講義を踏まえ、これからの大学生生活内で何に取り組むかを考えて下さい
 - 第5回 【授業テーマ】 自分を高める②
【内容・方法等】 ・講義④を踏まえプレゼンテーション
【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションの準備をして下さい
 - 第6回 【授業テーマ】 自分を高める③
【内容・方法等】 ・リーダーシップ開発
・リーダーのタイプを知る
・リーダーシップコミュニケーションを学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義の内容を日常生活で実践して下さい
 - 第7回 【授業テーマ】 社会を知る①
【内容・方法等】 ・なぜ仕事をするのか?
・仕事観について考える
・仕事の成果とは他者への貢献を学ぶ
【事前・事後学習課題】 キャリアデザインⅡテキストのP9～P17を熟読して下さい。
 - 第8回 【授業テーマ】 社会を知る②
【内容・方法等】 ・人生のイベントを考える
・他者受容力を磨く
・人生のイベントにかかる費用を考える
【事前・事後学習課題】 キャリアデザインⅡのテキストP45～P55を熟読して下さい。
 - 第9回 【授業テーマ】 社会を知る③
【内容・方法等】 ・講義⑦課題プレゼンテーション
【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションの準備をして下さい
 - 第10回 【授業テーマ】 社会を知る④
【内容・方法等】 ・業種・職種概念を理解する
・川上～川下の概念の理解
・付加価値について考える
【事前・事後学習課題】 キャリアデザインⅡのテキストP59～P79を熟読して下さい
 - 第11回 【授業テーマ】 社会を知る⑤
【内容・方法等】 ・視点/視座/視野の使い方事例を知る
・会社・業種・職種の発見の仕方を学ぶ
【事前・事後学習課題】 キャリアデザインⅡのテキストP59～P79を熟読して下さい
 - 第12回 【授業テーマ】 社会を知る⑥
【内容・方法等】 ・ニッポンの課題について考える
・未来の働き方を考える
【事前・事後学習課題】 キャリアデザインⅡのテキストP55を熟読して下さい
 - 第13回 【授業テーマ】 社会を知る⑦
【内容・方法等】 ・グループプレゼンテーション
【事前・事後学習課題】 グループにおける役割を考えて下さい
 - 第14回 【授業テーマ】 おさらい①
【内容・方法等】 ・講義②～③より自分がどれだけ成長したのかを確認する
【事前・事後学習課題】 ここまでの講義を振り返って下さい
 - 第15回 【授業テーマ】 おさらい②
【内容・方法等】 講義のおさらいと期末レポートの振り返り
【事前・事後学習課題】 未提出レポート等がないか確認して下さい
- 評価方法 (基準)**
授業態度30%、グループワーク20%、レポート50%で総合評価します。
- 教材等**
教科書…キャリアデザインⅡ (授業内で配布)
参考書…必要に応じて推薦図書を提示
- 学生へのメッセージ**
来るべき、就職活動、そして卒業後の自分自身のために積極的に参加して下さい。
- 関連科目**
キャリアデザインⅠ・Ⅲ、インターンシップⅠ・Ⅱ
担当者の研究室等
3号館4階 キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ビジネスマナー」 Business Manners				
水野 武 (ミズノ タケシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 授業概要： マナーとは何か、社会とはどういうところか、社会人になるには何が必要かが、体験を通して理解できる。
 目的： 社会生活におけるマナーの重要性を理解し、社会人になる心の準備をすることを目的とする。
 到達目標： 社会人になるために必要な態度を理解し、学んだマナーを就職活動や社会で実践できることを目標とする。

授業方法と留意点
 ロールプレイやグループワークを多く取り入れるため、学生の積極的な参加が求められる。

科目学習の効果（資格）
 就職活動でも社会に出ても、必須のビジネスマナーが身に付く。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 ビジネスマナーとは何か
 【内容・方法 等】 授業のオリエンテーション
 ビジネスマナーの必要性
 ビジネスにおける最低限のルール
 【事前・事後学習課題】 ビジネスマナーで大切な事を考えておいて下さい。
- 第2回** 【授業テーマ】 第一印象
 【内容・方法 等】 第一印象の重要性
 第一印象をよくする方法
 【事前・事後学習課題】 今後考えられる初対面のシーンを考えて下さい。
- 第3回** 【授業テーマ】 身だしなみ
 【内容・方法 等】 身だしなみと態度
 【事前・事後学習課題】 身だしなみが何故大切なかを考えて下さい。
- 第4回** 【授業テーマ】 言葉づかい
 【内容・方法 等】 敬語の仕組みと使い方
 【事前・事後学習課題】 尊敬語と謙譲語について調べてきてください。
- 第5回** 【授業テーマ】 電子メールのマナー
 【内容・方法 等】 電子メールのルールと書き方
 【事前・事後学習課題】 メールを送る時に気をつけている事を考えてきてください。
- 第6回** 【授業テーマ】 ビジネス文書のマナー
 【内容・方法 等】 ビジネス文書の書き方
 【事前・事後学習課題】 日常でどんな文書を見たことがあるか考えてください。
- 第7回** 【授業テーマ】 電話のマナー
 【内容・方法 等】 電話の受け方とかけ方
 【事前・事後学習課題】 電話をかけるときに気をつける事を考えて下さい。
- 第8回** 【授業テーマ】 訪問のマナー
 【内容・方法 等】 訪問のマナーと接遇
 【事前・事後学習課題】 自分が訪問を受けた時にどんな人が印象に残るのかを考えて下さい。
- 第9回** 【授業テーマ】 ホウレンソウ
 【内容・方法 等】 報告・連絡・相談の仕方
 【事前・事後学習課題】 報告と連絡の違いを考えて来て下さい。
- 第10回** 【授業テーマ】 指示の受け方
 【内容・方法 等】 指示の受け方
 【事前・事後学習課題】 自分が人に指示した経験を思い出してください。
- 第11回** 【授業テーマ】 名刺交換のマナー
 【内容・方法 等】 名刺交換の仕方
 【事前・事後学習課題】 名刺の役割について考えてください。
- 第12回** 【授業テーマ】 会社説明会でのマナー
 【内容・方法 等】 会社説明会で何をすればいいのか
 【事前・事後学習課題】 会社説明会でのマナーについて、疑問点を挙げて来て下さい。
- 第13回** 【授業テーマ】 面接でのマナー
 【内容・方法 等】 面接の種類と面接官の狙いについて
 面接での基本的な振る舞い方
 【事前・事後学習課題】 面接でのマナーについて、疑問点を挙げて来て下さい。
- 第14回** 【授業テーマ】 グループディスカッションのマナー
 【内容・方法 等】 グループディスカッションの特徴
 グループディスカッションの注意点
 【事前・事後学習課題】 これまでを振り返って、グループにおける自分の役割を考えてください。
- 第15回** 【授業テーマ】 振り返りとまとめ
 【内容・方法 等】 授業の振り返り・まとめ
 【事前・事後学習課題】 未提出のレポート等がないか確認をし

て下さい。
評価方法（基準）
 平常点30%、グループ貢献度20%、レポート50%で総合評価する。

教材等
 教科書…レジュメ配布
 参考書…必要に応じて参考図書を紹介

学生へのメッセージ
 マナーを身に付けることは社会人に仲間入りする第一歩です。何のためにそれをするのかを考え、積極的に参加してください。また、必要になってすぐできるものではありません。日頃から実践するように意識してください。

関連科目
 キャリアデザインⅠ・Ⅱ、インターンシップⅠ・Ⅱ

担当者の研究室等
 3号館4階 キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学とこの地域を学ぶー北河内学ー」 Introduction to University and Kitakawachi Region				
福 田 市 朗 (フクダ イチロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 【授業概要】 学部共通の入門科目として、摂南大学と大学が立地する「北河内地域」の地歴・環境・文化・産業や同地域内にある地方自治体の現状と課題、また、同地域に関係する各分野で活躍している団体や機関の人びとの活動を広範囲にわたって紹介する。【目的】 摂南大学の学生として大学や地域に愛着を持てるようになり、学生生活の中で自分自身を見つける機会とする。また、地域貢献活動や地域社会での実践教育の動機付けとする。【到達目標】 摂南大学と北河内地域についての理解を深め、地域の一員としての意識向上と地域貢献活動への参画意識向上が図れる。

授業方法と留意点
 摂南大学地域連携センター関係教員のほか、北河内地域（寝屋川市・枚方市・交野市・門真市）に関係する各分野で活躍している団体や機関の人びとが学外講師として参画し、オムニバス（リレー）形式による講義を行う。各時間内に質疑応答の時間を設け、毎回、時間内に小レポートを提出。

科目学習の効果（資格）
 自分自身が学ぶ摂南大学の歴史を知り、また、地域で活躍する人びとの人生観に触れ、大学と地域に愛着を持ち学生生活の中で自分自身を見つける機会となり地域貢献活動への関心が高まり活動への動機付けが図られる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 摂南大学とこの地域を学ぶ「北河内学」
 【内容・方法 等】 本講義のねらいと学び方について解説した後、摂南大学と本学を設置する常翔学園の歴史を紹介し、併せて摂南大学の教育の理念を紹介する。また、本学と地域社会との関わり合いについての概要を説明する。
 【事前・事後学習課題】 事後学習：摂南大学の自校史集やホームページ、図書館を活用して、大学の歴史や教育の理念などについて理解を深めること。
- 第2回** 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ（1）
 【内容・方法 等】 北河内地域の地理・歴史や文化について講義する。地元の研究家が講義を担当する。
 【事前・事後学習課題】 事後学習：北河内地域の全域と7つの市の特色を、各市のホームページなどを活用して調べ、北河内に関する理解を深めること。
- 第3回** 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ（2）
 【内容・方法 等】 淀川とその流域の北河内地域の地理・歴史や文化について講義する。地元の研究家が講義を担当する。
 【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、図書館を活用するなど淀川とその流域の地理・歴史や文化について理解を深めること。
- 第4回** 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ（3）
 【内容・方法 等】 都市（寝屋川市）と地方（和歌山県すさみ町）の連携をはかる取り組みを紹介し、両者が共存共栄するための考え方と具体的な施策について地元の方が解説する。
 【事前・事後学習課題】 事後学習：寝屋川市と協定を結んでいる和歌山県すさみ町との協働事業について、それぞれのホームページを参照し、調べてみる。
- 第5回** 【授業テーマ】 北河内のすがたを知る（1）寝屋川市
 【内容・方法 等】 寝屋川市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
 【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と寝屋川市を見比べるほか、図書館を活用するなど寝屋川市の現状と課題について

- 理解を深めること。
- 第6回** 【授業テーマ】北河内のすがたを知る（2）枚方市
 【内容・方法等】枚方市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
 【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と枚方市を見比べるほか、図書館を活用するなど枚方市の現状と課題について理解を深めること。
- 第7回** 【授業テーマ】北河内のすがたを知る（3）交野市
 【内容・方法等】交野市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
 【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と交野市を見比べるほか、図書館を活用するなど交野市の現状と課題について理解を深めること。
- 第8回** 【授業テーマ】北河内のすがたを知る（4）門真市
 【内容・方法等】門真市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
 【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と門真市を見比べるほか、図書館を活用するなど門真市の現状と課題について理解を深めること。
- 第9回** 【授業テーマ】北河内で活躍する人びとや団体を知る（1）
 【内容・方法等】本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
 【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第10回** 【授業テーマ】北河内で活躍する人びとや団体を知る（2）
 【内容・方法等】本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
 【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第11回** 【授業テーマ】北河内で活躍する人びとや団体を知る（3）
 【内容・方法等】本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
 【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第12回** 【授業テーマ】北河内で活躍する人びとや団体を知る（4）
 【内容・方法等】本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
 【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第13回** 【授業テーマ】北河内で活躍する人びとや団体を知る（5）
 【内容・方法等】本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
 【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第14回** 【授業テーマ】北河内で活躍する人びとや団体を知る（6）
 【内容・方法等】本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
 【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第15回** 【授業テーマ】北河内の産業を知る
 【内容・方法等】北河内地域での産業活動の具体例について講義する。地元の北大阪商工会議所や寝屋川市工業会の役員が講義を担当する。
 【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、関係するホームページや図書館を活用するなどして産業活動を再確認し理解を深めること。

評価方法（基準）
 毎回の講義の最後に行う小テスト・レポート（75%）に加えて、講義全体に関して課せられるレポート課題（25%）を総合して評価する。

教材等
 教科書…必要に応じてハンドアウト（プリントされた講義資料）を配付する。
 参考書…摂南大学の自校史集。
 毎回の講義ごとに適切な書籍を指示するので、興味がある内容のものを購入して読んでほしい。

学生へのメッセージ
 毎回必ず出席してください。地域で活躍されている各分野のいろいろな人の話を聞くことで、摂南大学と地域が密接につながっていること、そして自分もこの地域とのつながりを大切にすることの意義がわかるようになります。自信を持って本学での勉学に励むことができるようになります。
 なお、本講義は地域で活躍されている方々の協力のもとに行われます。講師に対する礼を逸することなく、私語を慎み、遅刻しないように心がけてください。

関連科目
 地理、歴史、文化、経済、産業などに関する教養科目
担当者の研究室等
 11号館7階 福田教授室

備考
 学外講師の事情により、授業計画の順序を変更することがあります。
 学外講師の関係者が聴講することがあります。
 また、授業の様子をカメラ・ビデオで撮影することがあります。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「簿記の話」				
Talk on Bookkeeping				
紙 博文(カミ ヒロフミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 この講義では、仕訳帳の記入から始まり精算表の作成を経て、損益計算書・貸借対照表を作成する簿記手続きの全体像、すなわち、簿記の基本構造を理解する。簿記の授業という計算技術的なものとなることが多いが、「教養特別講義」でもありそうした講義は避け、簿記の役割、企業内でよく使用される、手形・小切手、試算表、勘定、取引、売上、利益等の意味について説明する。また、簿記の精緻な構造から、これを生み出した人類の知恵を知る。

授業方法と留意点
 講義中心に行うが計算プリントも配布する。解答は板書きして説明する。ゆっくりとした進度で授業を進める。

科目学習の効果（資格）
 日本商工会議所簿記検定等

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】簿記の基本 1
 【内容・方法等】簿記とは
 【事前・事後学習課題】教科書 p.11～p.13
 必要に応じて練習問題を配布、以降同様
- 第2回** 【授業テーマ】簿記の基本 2
 【内容・方法等】貸借対照表、損益計算書（資産、負債、純資産、収益、費用）
 【事前・事後学習課題】教科書 p.11～p.13
- 第3回** 【授業テーマ】簿記の基本 3
 【内容・方法等】簿記の一巡（取引から決算までの概要）
 【事前・事後学習課題】教科書 p.15
- 第4回** 【授業テーマ】簿記の基本 4
 【内容・方法等】取引、仕訳、勘定、勘定科目
 【事前・事後学習課題】教科書 p.15
- 第5回** 【授業テーマ】簿記の基本 5
 【内容・方法等】仕訳の演習
 【事前・事後学習課題】教科書 p.21
- 第6回** 【授業テーマ】簿記の基本 6
 【内容・方法等】転記、試算表の作成、決算
 【事前・事後学習課題】教科書 p.24～p.28
- 第7回** 【授業テーマ】簿記の実際 1
 【内容・方法等】現金、現金過不足、当座預金、当座借越、小口現金
 【事前・事後学習課題】教科書 p.38～p.43
- 第8回** 【授業テーマ】簿記の実際 2
 【内容・方法等】有価証券、手形の処理
 【事前・事後学習課題】教科書 p.44～p.54
- 第9回** 【授業テーマ】簿記の実際 3
 【内容・方法等】3分法、売掛金と買掛金
 【事前・事後学習課題】教科書 p.55～p.61
- 第10回** 【授業テーマ】簿記の実際 4
 【内容・方法等】固定資産
 【事前・事後学習課題】教科書 p.69
- 第11回** 【授業テーマ】簿記の実際 5
 【内容・方法等】決算修正事項と精算表
 【事前・事後学習課題】教科書 p.76～p.87
- 第12回** 【授業テーマ】まとめと確認 1
 【内容・方法等】計算問題（プリント配布）を解く
 【事前・事後学習課題】計算プリントの復習
- 第13回** 【授業テーマ】まとめと確認 2

- 第14回 【内容・方法等】 計算問題（プリント配布）を解く
【事前・事後学習課題】 計算プリントの復習
【授業テーマ】 簿記の面白さ 1
- 第15回 【内容・方法等】 簿記の成立
【事前・事後学習課題】 教科書p.129～p.131
【授業テーマ】 簿記の面白さ 2
【内容・方法等】 簿記生成史から学ぶこと
【事前・事後学習課題】 教科書p.132～p.143

評価方法（基準）

学期末試験の結果により評価する。なお、授業中の態度によってはマイナス点も有り、また、積極的に授業に参加する学生にはプラス点も有る。

教材等

教科書…紙博文著『簿記読本第2版』大学教育出版（1890円）
参考書…授業中指示する

学生へのメッセージ

簿記は習うよりも慣れる、すなわち実際に自分で問題を解いて体得することが重要です。しかし、本講義は、教養科目という性格上、講義中心で計算問題演習の時間は少ないと思う。足りない分は各自で問題を解いてみることを。簿記の面白さがわかってきます。

関連科目

財務会計論、国際会計論（経営学部開講科目）

担当者の研究室等

11号館8階（紙教室）

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ポストモダン時代の国際政治経済」 Postmodern Political Economy				
石 崎 嘉 彦 (イシザキ ヨシヒコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

グローバル化したポストモダンの世界は、アレクサンドル・コジェーヴの用語でいえば「普遍同質的国家」と呼ばれる。この講義ではそのような国家(あるいは状態)の動向を理解し、それによる生活世界の破壊に対処する途を模索する。特に「グローバル化」とともに持ち上がってくる環境破壊、科学技術と生産、経済発展と格差社会などの諸問題を取り上げ、それらの問題にいかに対処すべきかを考えてみる。

学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

石崎嘉彦著『政治哲学と対話の弁証法—ヘーゲルとレオ・シュトラウス』（晃洋書房）をテキストに用い、講義形式で行われる授業である。

科目学習の効果（資格）

世界の政治経済的動向とその原理を理解し、そこから近代的思考法を超える新しい思考法を獲得していきたい。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法等】 授業の進め方、評価の仕方、政治哲学について
【事前・事後学習課題】 なし
- 第2回 【授業テーマ】 グローバル世界と人間論の課題
【内容・方法等】 モダンの終焉とポストモダンの「末人」世界の出現
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第3回 【授業テーマ】 グローバル化は普遍同質的国家を可能にするか？
【内容・方法等】 まずは経済の領域から始まった運動は政治の世界をもグローバル化しうるか？
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第4回 【授業テーマ】 分業と交易社会の出現
【内容・方法等】 交易と商品生産社会の出現の意義を歴史から見てとる
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第5回 【授業テーマ】 相互承認と等価交換
【内容・方法等】 承認をめぐる闘いから生み出されるものが自己意識ではなく物=商品となる世界であることについて
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第6回 【授業テーマ】 商品生産と経済的価値の問題
【内容・方法等】 労働価値説と剰余価値の生産の問題を考える
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第7回 【授業テーマ】 精神なき専門家と心情なき享楽人たちの棲むところ
【内容・方法等】 私はどこにもいなくなって、ただ商品だけが存在する世界について
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第8回 【授業テーマ】 物象化された世界の出現

- 第9回 【内容・方法等】 コミュニケーション的世界が記号の象徴交換となることについて
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
【授業テーマ】 グローバル世界は「帝国」の再来である
【内容・方法等】 普遍同質的国家と新たな帝国の出現に対処するために
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第10回 【授業テーマ】 テクノロジーと生産のメカニズム—技術社会論
【内容・方法等】 総駆り立て体制の出現にどう応えるか—テクノロジーと僭主政治
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第11回 【授業テーマ】 南北問題と人口問題
【内容・方法等】 自国の利益よりも世界全体の利益を優先させることは美德か
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第12回 【授業テーマ】 現代のコミュニズムとしての国家独占資本主義
【内容・方法等】 グローバル化による管理社会の到来によせて
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第13回 【授業テーマ】 管理社会から福祉社会への通路は存在するか
【内容・方法等】 差異を超える論理はありうるのか—EUとユーロ圏の失敗を反面教師として
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第14回 【授業テーマ】 来るべき時代の共同性を展望する—メディア全体主義に抗して
【内容・方法等】 これからの情報社会と人類の共生のために
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第15回 【授業テーマ】 到達度の点検と確認
【内容・方法等】 レポート作成とその評価
【事前・事後学習課題】 教科書全体に目を通す

評価方法（基準）

講義への熱意、議論への参加の度合い、レポートにより判定

教材等

教科書…石崎嘉彦著『政治哲学と対話の弁証法—ヘーゲルとレオ・シュトラウス』（晃洋書房）
参考書…石崎嘉彦著『ポストモダンの人間論』（ナカニシヤ出版）
石崎嘉彦他著『ポストモダン時代の倫理』『グローバル世界と倫理』（ナカニシヤ出版）

学生へのメッセージ

講義の根底にある「正義」の概念こそ、これからの時代を生きていくためのキーワードだ

関連科目

政治学、経済学、エコロジー、応用倫理学、技術者倫理、情報倫理など

担当者の研究室等

7号館4階（石崎研究室）

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「感染症の歴史・病原体・治療と予防」 Infectious Diseases				
渡 部 一 仁 (ワタベ カズヒト)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

人類生存の歴史は感染症との戦いであった。ヒトを襲った感染症について、その恐ろしい歴史と、感染症との戦いから生き残るため学んだヒトの知恵を縦糸にして、また、感染症の原因となる微生物の基礎を横糸にして、感染症を学ぶ。具体的には、古くは天然痘から新しくは新型インフルエンザについて、それらの発生の歴史的な背景、病原体本体、治療法と予防法、国際的な規模でのリスクマネージメント体制の構築について学習する。

学科の学習・教育目標との対応：「II」

授業方法と留意点

感染症の基礎とその予防について多彩なスライドを併用して授業を行う。特に、スライドは要点をまとめつつ、文学や絵画で取り上げられてきた題材を含めて説明する。教科書は特に定めず、毎回講義レジュメを配布する。毎回の授業終了時に理解度確認のレポート提出を科す。

科目学習の効果（資格）

感染症を具体例として、歴史的背景や病原体、社会防衛と公衆衛生学、地球規模での対策などを学ぶことにより、それぞれの専門分野での学習に有意義な知識と情報が得られる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 感染症と現代人
【内容・方法等】 文明が築かれてから現代まで、約5000年の歴史をたどりながら、人類がどのように感染症と戦い、それを克服してきたかを紹介する。また、現代の我々が直面

- している感染症についても紹介する。
- 【事前・事後学習課題】** 1回目の講義内容の要点及び本講義の履修動機をまとめたレポートを提出すること。(レポートは第1回授業終了時に回収)
- 第2回** **【授業テーマ】** 感染症対策の歴史
【内容・方法 等】 感染症の原因となる病原微生物や媒介生物の発見、薬やワクチンの発見、各国の感染症対策について概説する。
【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第3回** **【授業テーマ】** 感染症をおこす病原微生物
【内容・方法 等】 感染症の原因となる寄生虫、細菌、ウイルスの基礎について修得する。
【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第4回** **【授業テーマ】** 現代社会と感染症
【内容・方法 等】 感染症対策は医療体制の整備や発生時の的確な対応、法制度などの整備による事前対応型対策の展開、国際協力などの政策が必要である。また、対策を講じるにあたり関係者や国民の理解の促進も不可欠である。ここでは、国民に脅威を及ぼしてきた感染症の変遷、その対応の変化を講義する。
【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第5回** **【授業テーマ】** 新興・再興感染症
【内容・方法 等】 20世紀後半の一時期に人類は感染症を征服したと思われた時期もあった。しかし、それは誤りであり、まったく新たな感染症(新興感染症)やいったん制圧したかに見えた感染症(再興感染症)が見られている。これらの感染症の歴史的考察から大規模感染症の成立過程や原因微生物と感染経路の解明、撲滅への対策について講義する。
【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第6回** **【授業テーマ】** ウイルス感染症を主とする新興・再興感染症(1)
【内容・方法 等】 ウイルスが原因となる感染症の内、近年特に話題となった重症急性呼吸器感染症(SARS)と高病原性トリ・インフルエンザについて紹介する。
【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第7回** **【授業テーマ】** ウイルス感染症を主とする新興・再興感染症(2)
【内容・方法 等】 ウイルスが原因となる感染症の内、エボラ出血熱、ノロウイルス感染症、狂犬病、麻しん、ウエストナイル熱/脳炎などについて紹介する。
【事前・事後学習課題】 2回～7回目の講義内容について、要点をまとめたレポートを作成すること。(提出期限：次回授業終了時)
- 第8回** **【授業テーマ】** 病原体の飛沫や環境汚染による感染症
【内容・方法 等】 後進国なみに患者発生の高いわが国の結核に関して、ヒトとの関わり合いから見た結核感染症の歴史を述べ、さらに、結核感染症の基本的な知識を習得する。
【事前・事後学習課題】 事前に、2回～7回目の講義内容について、要点をまとめたレポートを作成し、授業終了時に提出のこと。
- 第9回** **【授業テーマ】** 人的行為でおきた感染症(1)
【内容・方法 等】 人的行為が主な原因となる感染症の内、感染者数が約4千万人といわれ地球規模の流行(パンデミック)に達しているエイズ・HIV感染症と院内感染として医療の現場で注目されているMRSA感染症について解説する。
【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第10回** **【授業テーマ】** 人的行為でおきた感染症(2)
【内容・方法 等】 人的行為が主な原因となる感染症の内、B型肝炎とC型肝炎、VRE感染症、在郷軍人感染症、カリニ肺炎について紹介する。
【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第11回** **【授業テーマ】** 飲食物を介しておきる感染症
【内容・方法 等】 飲食物を介しておきる感染症の内、1973年に大阪府堺市や岡山県原島久町の学校給食が原因となった集団下痢症のO157感染症、昨年ドイツを中心として発生した腸管出血性大腸菌感染症、2011年4月頃から「ユッケ」を原因とした腸管出血性大腸菌O111による集団食中毒などを紹介する。また、従来の病因物質とは全く異質のタイプであるプリオン病についても講義する。
【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第12回** **【授業テーマ】** 感染症の制御と免疫システム
【内容・方法 等】 ギリシャの昔からヒトは一度かかった病気には二度とかからないことを知っていた。それを実際に医療に応用したのは約200年前のジェンナーの種痘である。ここでは、生体防御機構として「免疫」が働いている。免疫とはどのような身体の働きなのかを講義する。また、免疫に

- よる感染症の予防に対処も解説する。
- 【事前・事後学習課題】** 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第13回** **【授業テーマ】** 話題になった感染症
【内容・方法 等】 近年特に話題となった感染症の中で、エボラ出血熱、マールブルグ出血熱、人食いバクテリア感染症、肺炎球菌感染症について紹介する。
【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第14回** **【授業テーマ】** 予防接種により今我々が命を守ることが出来る
【内容・方法 等】 多くの感染症はワクチンによる予防接種で発症が抑えられており、その成功例としては天然痘の撲滅やポリオの征圧がある。一方、予防接種率の低や副作用の危惧から十分な予防接種が実施されていない感染症もある。今回は、いま我々が予防接種により命を守ることが出来る感染症の具体例(ヒブワクチン、子宮頸がんなど)を取り上げて説明する。
【事前・事後学習課題】 8回～14回目の授業内容について、要点をまとめたレポートを作成すること。(提出期限：次回授業終了時)
- 第15回** **【授業テーマ】** 感染症のいまと私たちの暮らし
【内容・方法 等】 現代に生きる私たちにとって、感染症をどう位置づけ、個人及び社会全体として感染症から我々を守るために必要な処置や知恵について考える。感染症とバイオテロについて、日本と米国での事件例を概説し、その対策を紹介する。
【事前・事後学習課題】 授業開始までに1回～14回の講義内容を事前に見直し、それまでに配布した資料を授業時に持参すること。
- 評価方法(基準)**
 定期試験(記述問題、正誤問題、総合問題)で評価する。理解度確認レポートの内容も評価の対象とする。100点満点中60点以上で合格。
- 教材等**
教科書…特に定めず
参考書…「感染症と生体防御」河原和夫他著、放送大学教育振興会(2800円)；「感染症とたたかう」岡田春恵他著、岩波書店(740円)；「現代の感染症」相川正道他著、岩波書店(630円)；「人類vs感染症」岡田春恵著、岩波書店(800円)；「Disease 人類を襲った30の病魔」小林力訳、医学書院(3990円)；「現代免疫物語」岸本忠三他著、講談社(940円)
- 学生へのメッセージ**
 文系、理系を問わず感染症に興味のある学生の受講を勧めます。感染症の歴史と原因物質の解説のみならず、その感染症の発生した歴史的背景や時代背景、そこで取り上げられた文学を絵画についても紹介する。
- 関連科目**
 生物学
- 担当者の研究室等**
 薬学部1号館5階、E-mail: ag193101@bca.bai.ne.jp

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「健康科学」				
Health Science				
藤 林 真 美 (フジバヤシ マミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**
 我が国では、交通手段の発達や家事の自動化等により身体活動量が著しく低下しており、さらに食生活の欧米化等も影響して、生活習慣病にかかる人口は増加の一途をたどっている。一方で、うつ病等にかかる人口も激増しており、メンタルヘルスの保持増進も重要課題となっている。
 本講義では、学生諸君が在学中のみならず生涯にわたり心身の健康を維持・増進するため、健康に関して科学的な裏付けに基づいた知識を幅広く身につけ、講義内容を実践できる能力を身につけることを目的とする。
 学科の学習・教育目標との対応：「A」
- 授業方法と留意点**
 レジュメを配布する。
- 科目学習の効果(資格)**
 健康に関する基礎知識を理解し、実生活に応用することができる。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** **【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容・方法 等】 日本人の健康に関する現状を把握し、本講義の意義について述べる。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第2回** **【授業テーマ】** 健康づくりの三本柱

【内容・方法 等】 健康づくりのための三本柱とされている「運動」「栄養」「休養」と、その相互作用について解説する。学生諸君は自身の生活について振り返り、改善すべき点があるか検討する。

第3回
【事前・事後学習課題】 配布資料
【授業テーマ】 身体の生理機能
【内容・方法 等】 食べたものはどこへいくか？吸った酸素はどこでどんな作用をするか？生体の生理について復習する。

第4回
【事前・事後学習課題】 配布資料
【授業テーマ】 運動トレーニングが肥満対策になる所以
【内容・方法 等】 メタボリック症候群の定義、その温床にある内臓肥満について解説する。また肥満、糖尿病、脂質異常症など生活習慣病について解説し、その予防になぜ運動トレーニングが効果的なのか、最新の知見と関連させて解説する。

第5回
【事前・事後学習課題】 配布資料
【授業テーマ】 運動トレーニングで何がかわるか？
【内容・方法 等】 運動トレーニングにより、筋力増強、持久力向上、骨代謝、エネルギー代謝などが改善される。それらのメカニズムについて解説する。

第6回
【事前・事後学習課題】 配布資料
【授業テーマ】 どんな運動（種類・時間・頻度）が健康によいのか？
【内容・方法 等】 第5回で解説した運動トレーニングの効果は、運動方法によってその作用が異なる。肥満解消、筋力増大、骨の増強など目的に応じたトレーニング方法について解説する。

第7回
【事前・事後学習課題】 配布資料
【授業テーマ】 基礎栄養学
【内容・方法 等】 各栄養素の種類や機能について解説する。日ごろの食生活を振り返り、改善すべき点があるか否か検討する。

第8回
【事前・事後学習課題】 配布資料
【授業テーマ】 食生活と健康
【内容・方法 等】 前回の内容を踏まえ、望ましい食事について「食事バランスガイド」に基づいて解説する。

第9回
【事前・事後学習課題】 配布資料
【授業テーマ】 ダイエット計画
【内容・方法 等】 近年、性別や年齢による身体の見え方や中身（体重や体脂肪率など）の違いが明らかになっている。この違いを理解したうえで、望ましいダイエット方法について解説する。

第10回
【事前・事後学習課題】 配布資料
【授業テーマ】 女性の健康・男性の健康
【内容・方法 等】 性別による身体的特徴と性ホルモンの作用、さらに男女それぞれの加齢変化も踏まえて解説する。

第11回
【事前・事後学習課題】 配布資料
【授業テーマ】 ストレスマネジメント
【内容・方法 等】 近年増加しているうつ病について概説し、うつ病やメンタルヘルス、ストレス対策として運動が有効なのか、最新の知見を紹介しながら解説する。また他の精神障害についても概説する。

第12回
【事前・事後学習課題】 配布資料
【授業テーマ】 睡眠
【内容・方法 等】 睡眠がどのような役割を果たしているか解説する。日ごろの睡眠について振り返り、改善すべき点があるか否か検討する。

第13回
【事前・事後学習課題】 配布資料
【授業テーマ】 アルコールと喫煙、薬物、性感染症
【内容・方法 等】 アルコールやタバコ、薬物が身体にどのように影響を及ぼすか解説する。またHIVなど性感染症についても解説する。

第14回
【事前・事後学習課題】 配布資料
【授業テーマ】 高齢者の介護予防と運動
【内容・方法 等】 わが国は超高齢化社会となり、今後さらに高齢者人口が増大することが見込まれている。運動がなぜ介護予防に効果的なのか、解剖学・生理学の立場から解説する。

第15回
【事前・事後学習課題】 配布資料
【授業テーマ】 総括
【内容・方法 等】 本講義の総括と、健康に関する諸問題について考える。
【事前・事後学習課題】 配布資料

評価方法（基準）
 主に定期試験により評価する。ただしレポート提出を求める場合がある。その場合は定期試験の成績に加味して評価する。

教材等
教科書…特に指定しない
参考書…スポーツサイエンス入門、田口貞善編著、丸善

学生へのメッセージ
 皆さんが将来、知的職業人として社会で活躍するためには、まず心身の健康の保持増進が大切です。健康科学の基本を理解して、心身のセルフマネジメントができるようになることを希求します。

す。
関連科目
 スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ、生涯スポーツ実習
担当者の研究室等
 総合体育館1階 藤林研究室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「マーケティングと企業成長」 Marketing and Growth of business				
武居 奈緒子 (タケエ ナオコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 この講義では、マーケティングに関する基本的知識を習得することを目的としています。マーケティングとは、企業の対市場活動であり、市場競争の活動のことをさします。マーケティングの基本は、企業が、消費者のニーズを把握して、それに適合する商品・サービスを提供することです。この基本にそって、マーケティングについての理解を深めてもらうとともに、マーケティングの発想で考える能力を養ってもらえればと思います。

授業方法と留意点
 講義が中心ですが、ビデオも活用し、企業の実態にそったマーケティングを理解していきます。

科目学習の効果（資格）
 マーケティング的発想で社会を見る眼が養えます。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス
 【内容・方法 等】 マーケティングの全体像を示します。
 【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
 - 第2回** 【授業テーマ】 マーケティング志向
 【内容・方法 等】 マーケティングの原点であるマーケティング志向について考えます。
 【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
 - 第3回** 【授業テーマ】 製品政策
 【内容・方法 等】 ヒット商品はどのようにして作られるのかについて考えます。
 【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
 - 第4回** 【授業テーマ】 価格政策
 【内容・方法 等】 価格の設定方法について考えます。
 【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
 - 第5回** 【授業テーマ】 流通チャネル政策
 【内容・方法 等】 商品はどのような経路をたどって販売されるのかについて考えます。
 【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
 - 第6回** 【授業テーマ】 販売促進政策
 【内容・方法 等】 商品のアピールの仕方について考えます。
 【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
 - 第7回** 【授業テーマ】 マーケティングのSTPアプローチ
 【内容・方法 等】 市場細分化、製品ライフサイクルについて考えます。
 【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
 - 第8回** 【授業テーマ】 消費行動
 【内容・方法 等】 消費者の購買意思決定過程について考えます。
 【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
 - 第9回** 【授業テーマ】 マーケティング概念の拡張
 【内容・方法 等】 大学のマーケティング、地方公共団体のマーケティングについて考えます。
 【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
 - 第10回** 【授業テーマ】 マーケティング・リサーチ（1）
 【内容・方法 等】 マーケティング・リサーチの意義と方法について解説します。
 【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
 - 第11回** 【授業テーマ】 マーケティング・リサーチ（2）
 【内容・方法 等】 質問票を作成していきます。
 【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
 - 第12回** 【授業テーマ】 戦略分析（1）
 【内容・方法 等】 競争の3角形、企業の成長戦略、企業の資金配分の仕方について解説します。

- 【事前・事後学習課題】** 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第13回** **【授業テーマ】** 戦略分析(2)
【内容・方法等】 ポーターの競争の戦略、企業の地位別戦略について学習していきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第14回** **【授業テーマ】** 戦略分析(3)
【内容・方法等】 バリュチェーン分析、SWOT分析について学習していきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第15回** **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法等】 全体のまとめをします。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。

評価方法(基準)

期末テストの成績70%、授業内課題30%

教材等

教科書…講義時に指示します。
 参考書…その都度、指示します。

学生へのメッセージ

授業で提示される問題・課題に真摯に取り組ましよう。

関連科目

マーケティング論

担当者の研究室等

武居教授室

【内容・方法等】 パット・セイン(Pat Thane) 編者 老人のを文献にヨーロッパを中心に年老いた人々はどのようにみられ、扱われ、生きてきたかについて紹介する。

【事前・事後学習課題】 参考文献
 老人の歴史 パット・セイン(Pat Thane) 編者 4800円

第5回 **【授業テーマ】** 日本における高齢者の歴史
 橋山節考に見る高齢者
【内容・方法等】 日本における高齢者の歴史 講義
 橋山節考に見る高齢者 DVD鑑賞

【事前・事後学習課題】 日本の歴史 2013.1月号事後課題：私の老いについてレポートしなさい

第6回 **【授業テーマ】** 日本における高齢者の歴史
 橋山節考に見る高齢者
【内容・方法等】 橋山節考に見る高齢者像 DVD 鑑賞
【事前・事後学習課題】 橋山節考 深沢七郎 新潮文庫 4200円

第7回 **【授業テーマ】** 高齢者の不安
 お年寄りの願い 「びんびんころり」
【内容・方法等】 健康高齢者の実態
 認知症について
 認知症を持つ人を支える
 要介護高齢者 講義中心
【事前・事後学習課題】 事前学習：認知症について 症状・問題点について調べておく

第8回 **【授業テーマ】** 高齢者と家族
【内容・方法等】 家族とは
 要介護者と家族の実態
【事前・事後学習課題】 事前学習
 介護保険とは

第9回 **【授業テーマ】** 地域で支える支援
 地域包括支援センター
 介護保険サービス
【内容・方法等】 フォーマルサービスと地域支援システムについて 講義
【事前・事後学習課題】 講義終了時に提示します

第10回 **【授業テーマ】** 高齢者を理解する -高齢者体験-
【内容・方法等】 高齢者模擬体験
【事前・事後学習課題】 事後：高齢者体験の感想

第11回 **【授業テーマ】** 人生の終わりを考える
 「終わりよければすべてよし」
【内容・方法等】 「終わりよければすべてよし」DVD鑑賞
【事前・事後学習課題】 DVDを見た感想をレポートしてください

第12回 **【授業テーマ】** 人生の終わりを考える
 「終わりよければすべてよし」
【内容・方法等】 「終わりよければすべてよし」DVD鑑賞
【事前・事後学習課題】 DVDを見た感想をレポートしてください

第13回 **【授業テーマ】** 高齢者の孤独について
【内容・方法等】 高齢者の孤独の著書(25人の高齢者の孤独の語り) 抜粋文献から
 高齢者理解：講義
【事前・事後学習課題】 文献紹介：高齢者の孤独 ビアギド・マスン&ピーター・オーレスン編 1890円

第14回 **【授業テーマ】** 老いの近未来学
【内容・方法等】 老いをどう創めるか 日野原重明 文献より
【事前・事後学習課題】 事後課題：私の老いについてレポートする

第15回 **【授業テーマ】** 我が国の世代間関係について
【内容・方法等】 世代間関係と交流の実際について：講義
【事前・事後学習課題】 事前課題：テーマ「高齢社会日本における私の役割について」レポート

評価方法(基準)

適宜、実施するレポート課題を持って評価。

教材等

教科書…購入不要
 参考書…講義中に紹介。

学生へのメッセージ

みなさんは、老年期から考えると人生の2/3地点で、まさに青春を謳歌できる「時」ときです。この土台を作ってくれた先人のことを考えてみましょう。若いときは一瞬です。そして、ライフステージは、逆戻りができません。人生の最終段階を生きるとはどういうことか、いずれ私たちも足を踏み入れるステージです。高齢社会と聞くと先行きが暗いと思うかも知れませんが、そうだろうか？と考える時間にしましよう。

関連科目

担当者の研究室等

摂南大学 枚方校 7号館 3階 第9教室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「高齢者の生活とケア」 Promotion of QOL of the Elderly				
石橋文枝(イシバシ フミエ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

我が国は、少子高齢社会、特に高齢社会は、高齢化率20%を超える超高齢社会です。人のライフステージの最終段階は老年期その先は死です。誰もが必ず迎える未来です。人は日々成長・発達をしていきます。老年期に入っても同様です。この講座では、高齢者理解を目的としています。老年期を生きること、老いとは何かをさまざまな視点で考えます。そして、超高齢社会を生きる高齢者の「生活実態・生活の質」に必要な支援方法について学ぶ。

授業方法と留意点

授業計画に沿って、進めていきます。講義を中心に進めていきますが、高齢者に対する制度、政策の理解も重要ですが、まず、視聴覚教材(DVD)や高齢者疑似体験などを取り入れ、老年期を生きることの理解と個人の老人観を描ける時間にしていきます。講義前後にレポート課題を出しますので、欠席をしないよう出席をしてください。1時間限目の講義ですので、遅刻のないよう1日のタイムスケジュールを立て取り組んでください。

科目学習の効果(資格)

若者のAgeismの払拭と高齢者支援に必要な「私にできること」の自覚を持つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** 老いとは
【内容・方法等】 「老いとはどういうことか」講義と学生個々の発表を通して高齢者像を明確にする。
 我が国の高齢者人口と今後の推計から考えられること……… 講義
 ライフステージの老年期について

【事前・事後学習課題】 事前課題：老いについて 1.身体的 2.精神的 3.社会的にどのような変化が生じるかレポートする。
 事後課題：次回テーマの参考文献の配布資料を読んでくる

第2回 **【授業テーマ】** 老いとは
【内容・方法等】 老い排除と差別：今村仁司 老いの明暗：山折哲雄 老いる身体：栗原彬
 3文献をもとに老いについて講義する
【事前・事後学習課題】 事後課題：私の老いについてレポートする

第3回 **【授業テーマ】** 老人の歴史
【内容・方法等】 パット・セイン(Pat Thane) 編者 老人のを文献にヨーロッパを中心に年老いた人々はどのようにみられ、扱われ、生きてきたかについて紹介する。
【事前・事後学習課題】 参考文献
 老人の歴史 パット・セイン(Pat Thane) 編者 4800円

第4回 **【授業テーマ】** 老人の歴史

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「武道論」

Theory of Budo

横山 喬之(ヨコヤマ タカユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

「武道とは何か」、「なぜ今武道なのか」等、現代における武道の特性などを概説し、現状と課題について検討していく。また、武道の特性が理解でき、日本人の行動様式やものの考え方についても知ることができることを一般的な目標とする。

授業方法と留意点

講義形式で授業を進める。

科目学習の効果(資格)

武道の特性を理解することができる。また、伝統的な行動様式を学ぶ中から現代にない思考力が育まれることを期待する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 授業内容の説明と武道について
【事前・事後学習課題】 武道について調べてくる
- 第2回 【授業テーマ】 武道とは何か
【内容・方法等】 武道の意味や限後について概説する
【事前・事後学習課題】 武道にはどのような種目があるのか調べる
- 第3回 【授業テーマ】 武道の特性1
【内容・方法等】 武道のわざとかたの捉え方について
【事前・事後学習課題】 「かた」について調べてくる
- 第4回 【授業テーマ】 武道の特性2
【内容・方法等】 武道の文化論と人間教育について
【事前・事後学習課題】 武道から得たことについて考えをまとめる
- 第5回 【授業テーマ】 武道の身体技法1
【内容・方法等】 武道特有の身体技法について
【事前・事後学習課題】 どのような動きがあるのかを調べる
- 第6回 【授業テーマ】 武道の身体技法2
【内容・方法等】 身体技法を実践する(総合体育館)
【事前・事後学習課題】 日常の動きとどのように違うかを実際に感じる
- 第7回 【授業テーマ】 武道とスポーツ1
【内容・方法等】 武道とスポーツの相違点について
【事前・事後学習課題】 スポーツについて調べてくる
- 第8回 【授業テーマ】 武道とスポーツ2
【内容・方法等】 武道の歴史の変遷について
【事前・事後学習課題】 どのような歴史があるかを考える
- 第9回 【授業テーマ】 柔道の創始1
【内容・方法等】 嘉納治五郎について
【事前・事後学習課題】 嘉納治五郎について調べてくる
- 第10回 【授業テーマ】 柔道の創始2
【内容・方法等】 嘉納治五郎と講道館柔道について
【事前・事後学習課題】 講道館柔道について調べてくる
- 第11回 【授業テーマ】 柔道における教育的価値1
【内容・方法等】 体育・勝負・修身の目的について
【事前・事後学習課題】 練習と稽古の違いについて調べてくる
- 第12回 【授業テーマ】 柔道における教育的価値2
【内容・方法等】 乱取と形について
【事前・事後学習課題】 修行の目的について調べてくる
- 第13回 【授業テーマ】 武道とスポーツ3
【内容・方法等】 武道の国際化について
【事前・事後学習課題】 どのように武道が世界に広まったかを調べてくる
- 第14回 【授業テーマ】 武道とスポーツ4
【内容・方法等】 柔道の歴史の変遷とオリンピックについて
【事前・事後学習課題】 柔道とオリンピックの関係について調べてくる
- 第15回 【授業テーマ】 教育現場における武道
【内容・方法等】 教育現場における武道の位置づけについて
【事前・事後学習課題】 自分が行ってきた武道について考えてくる

評価方法(基準)

試験・小テスト・レポート及び平常態度等を考慮して、総合的に評価する。
テスト60%、平常態度40%で評価を行う。

教材等

教科書…特に指定はしない。

参考書…中村民雄 『今、なぜ武道か』 日本武道館 2007
藤堂良明 『柔道の歴史と文化』 不味堂出版 2007
村田直樹 『柔道の国際化《その歴史と課題》』 日本武道館 2012
『嘉納治五郎』 筑波大学出版会 2011

学生へのメッセージ

質問等がある場合には、横山助教室に来てください。

関連科目

スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ

生涯スポーツ実習

健康論

保健論

担当者の研究室等

総合体育館1F横山助教室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトI」

Project Based Learning!

澤井 健二(サワイ ケンジ)

石田 裕子(イシダ ユウコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

概要：摂南大学に近い寝屋川市立池の里市民交流センターでは、主に子どもたちを対象とした環境学習を行っている。これに学生が参加・協力することで、市民ボランティアと子どもをつなぐ架け橋となるよう目指す。また、淀川水系を中心とした流域連携活動を行うことで、地域の水辺環境の保全や親水活動の普及に努める。

学科の学習・教育目標との対応：「A」

目的：摂南大学の学内及び隣接する寝屋川第4水路ならびに近隣の小学校である寝屋川市立桜小学校に隣接する水路においてビオトープを整備する。池の里市民交流センターの活動に関わり、淀川水系での流域連携を向上させる。

達成目標：学生は地域の子どものための環境学習支援プログラムの企画・実践の手法を体得する。また、流域連携活動を通じて、淀川水系の環境保全について問題を理解するとともに、その解決策について考察する。

授業方法と留意点

連携内容・方法：寝屋川市立池の里市民交流センターにおける環境学習支援・活動に参加しプログラムを企画、実践する。淀川愛好会の流域連携活動に参加し、自分たちの活動内容について発表する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業テーマ：寝屋川市における環境学習支援と淀川水系を中心とした流域連携プロジェクト

内容：

1. 寝屋川市立池の里市民交流センターにおける環境学習支援
2. 寝屋川市内の河川と水路の現状把握および水路を活かしたビオトープ整備の意義の理解
3. 地域との協働によるビオトープ整備の実践
4. ビオトープ整備による、生物環境と住民の関心の向上の検証
5. 淀川水系を中心とした流域連携イベントの企画・実践
6. いい川・いい川づくりワークショップでの発表

方法：授業のうち半分(月1回)は原則として平常授業期間内の土曜日2・3限に行い、主として午前中は学内のゼミ室において、澤井・石田が資料を用いて講義をし、午後は池の里市民交流センターにおける自然体験学習室の活動に参加して、地域ボランティアおよび子どもたちと接して、必要な知識・技術を習得する。

9月に予定している子ども教室において、自分たちで企画した環境学習プログラムを実施する。他の半分(月1回)は、学外の流域連携イベントに参加し、流域問題について学習する。学外発表の場として、近畿水環境交流会(7月)、いい川・いい川づくりワークショップ(9月)を予定し、各活動段階における成果発表を行い、自己評価および外部評価を受けることで活動内容を振り返り、次の活動に向けてステップアップを図る。作業の実施に当たっては、理工学部生命科学科生態環境学研究室、都市環境工学科水辺環境創出研究室、および文化会エコシビル部の協力を得る。また、本学園OBである、大阪理化学株式会社社長、前田富久児氏の指導も受ける予定である。授業および活動スケジュールは、学校行事等の関係で受講者と相談の上、変更することがある。

事前事後学習課題：内容ごとに参考資料を配布するので、熟読しておくこと。また、前期・後期末にレポートを作成し、年度末にプレゼンテーションを課す。

評価方法・評価基準

授業(イベントを含む)に積極的に参加し、水辺環境の再生活動に加わること。(60%)
水辺再生の意義を正しく理解し、それを他者に伝えられること。(40%)

教材等

教科書…特になし

参考書…特になし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」
Project Based LearningⅠ

宮本 征一 (ミヤモト セイイチ)
榊 愛 (サカキ アイ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

プロジェクト名称 『居住空間リノベーションの温熱環境アセスメント』

近年の居住空間は、建設技術の発展やエネルギーに支えられて、新しく造り出される居住空間は快適で健康的な空間が造り出されつつあります。しかし、現存している居住空間には、暑い・寒いなどの温熱的不快を感じる空間もあり、リノベーション(リフォーム)が必要な空間も多くあります。その際の温熱環境について事前評価(アセスメント)することは、有用な手法です。また、CADやCGなどを用いて対策案をプレゼンテーションすることで、対策後の空間を事前に伝え、共有することができます。連携する設計事務所と共同で事前評価を行い対策を考え、プレゼンテーションし、実際に施工することを目的とします。

学科の学習・教育目標との対応：[II]

授業方法と留意点

温熱環境の測定勉強会および実習を、4月から6月の間に10回程度行い、建築環境測定の基礎知識とプレゼンテーション技術を習得してもらいます。

その後、連携する設計事務所等から依頼された居住空間で測定および分析を行います。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

4月から6月の放課後：温熱環境の測定に関する勉強会および実習(週1回程度)

温熱環境について(1回)、測定機器について(2回)、データ処理・分析について(5回)、温熱環境の実習(2回)

6月以降：実際の居住空間におけるの測定および分析

評価方法・評価基準

積極的にプロジェクトに参加しているかどうか。

自発的な行動ができてきているかどうか。

参加点 80点

成果点 20点

教材等

教科書…室内温熱環境測定規準・同解説(日本建築学会) 定価1500円

参考書…特になし。

備考

自発性を重んじますので、積極的に行動できる人を望みます。学外での測定のための交通費などが多少かかります。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」
Project Based LearningⅠ

橋本 正治 (ハシモト マサハル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

テーマ：過疎地域におけるグリーンエネルギー活用プロジェクト

概要・目的：グリーンエネルギーを利用した過疎地域自立活性化に利用出来るマイクロ水力発電装置や太陽光利用温水設備などを過疎地域(和歌山県すさみ町)の住民・行政に提案し、試作した装置の稼働実験を行い、過疎地域における生活環境の改善について評価を行う。地域住民と協働して装置の設置・運用などをおこなない、得られたエネルギーは、地域住民との鳥獣被害対策のために利用されている電気柵など地域に特有なものや、災害時の支援設備としての利用をはかる。

達成目標：製品の必要性にはじまり、実際に使う人達から評価を受けるまでの「ものづくり」を体験する

ことで、座学では得られない問題点や拘束条件に対応する能力を育む。加えて地域の人々と関わり、協働し、使い手の顔がみえる製作体験を通じて、ものづくりに関わる技術者としての社会的な責務を体験・修得する

学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

学内活動：通年 週1回程度ミーティングを行いグループごとに活動内容を報告する

現地活動：年5回程度 週末および夏期休業期間など

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業計画：

1 グリーンエネルギーの必要性と現状について過疎地域を調査し、対象とする地域の活性化に資するエネルギーシステムの

概要を決定する。

2 設計・試作を行う。

3 地域住民と協働し設置作業を行い、性能評価・問題点の抽出を行う。(評価などは関連する地域団体と共に行い、利用者の視点を意識する)

4 改善方法の提案と製品の改良を行い、総合的な評価を行う。プロジェクトは5人程度の小グループに分け実施する

評価方法・評価基準

活動への参加が最低限の条件となる

活動状況を総合的に判断して評価する

教材等

教科書…なし

参考書…なし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」
Project Based LearningⅠ

池田 博一 (イケダ ヒロカズ)

一色 美博 (イツシキ ヨシヒロ)

小川 直樹 (オガワ ナオキ)

丸山 隆三 (マルヤマ リュウゾウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

【授業概要・目的】

ミニ鉄道プロジェクトとして、レール幅3.5、5インチのミニ鉄道を製作し、運転会などの運営を行う。

蒸気機関車、電気機関車や客車の製作に加えて、軌道、鉄橋、駅舎なども製作し、イベント会場や小学校などで運転会を催す。また、運転会では製作過程や駆動原理などの展示も加え、参加者のものづくりへの関心を高める。ただし、今年度は蒸気機関車などのものづくりに重点を置く。

【到達目標】

蒸気機関車などのものづくり技術を能動的に習得すること。

学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

週1回のミーティングで今後の計画や進捗状況の報告を行います。加えて、皆さんが決定する時間割にしたがってテクノセンターで製作や技術の習得を行います。

この科目では、能動的に活動できる能力を培うことが大きな狙いです。与えられた課題に対して全貌を把握した上で計画を作り、その計画を確実に実行する姿勢を学んでください。与えられた環境、条件のもとで、工夫して自律的に課題を達成できる能力は社会人として必須の力です。この授業で「指示待ち」から「自ら行動する」姿勢を学んでください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

本年度はレール幅5インチの蒸気機関車の製作を継続する。

1. 教員の指導の下に目標と計画を作る。
2. 計画に従って、技術指導を受けながら蒸気機関車を製作する。
3. 計画からの遅れには対策を講じる。
4. 製作時に利用する金属材料、工作機械、工作方法などについては図書館で調べ知識を確かなものとする。
5. 計画、進捗状況、調査結果等をミーティングで報告する。

評価方法・評価基準

プロジェクトの実施計画や進捗状況の把握程度、プロジェクト推進に対する貢献度および製作技術習得時の能動的態度について、ミーティングでの報告や作業時の態度で評価する。

教材等

教科書…なし

参考書…なし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」
Project Based LearningⅠ

池内 淳子 (イケウチ ジュンコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

【プロジェクトテーマ】

すさみ町における津波避難対策プロジェクト2013=人的被害軽減を目的として=

【授業概要と目的】

東日本大震災は、東北地方沿岸部に津波による壊滅的被害をもたらせた。和歌山県すさみ町は、紀伊半島の先端に位置し、過去の東海地震においても津波被害に遭遇した経験を持つ。本プ

プロジェクトでは、昨年・一昨年と、すさみ町すさみ地区および江住地区において津波災害に対する人的被害軽減策を模索する活動を実施してきた。成果については、1年目はすさみ町役場職員と活動地区の代表者のみに対し報告したが、2年目は役場からの地区住民に対し広く案内され、多くの住民に参加して頂き活発な意見交換を頂いた。本プロジェクトの目標は、履修者が自然災害における人的被害を理解すること、フィールドワークを通じてコミュニケーション能力を向上し、生活者に寄り添った対策案を考案することであり、これらを通じてすさみ町の津波災害に対する人的被害低減に貢献したいと考える。このためには、防災に関する啓蒙・普及活動としてのアウトリーチ活動が重要であり、これらの活動を通じて履修者のチームワーク力を向上することを目標とする。

【到達目標】

自然災害における人的被害を理解し、現地調査を通じて企画立案能力を育成する。また、町民との対話を通じて社会ニーズを理解し、コミュニケーション能力の向上を図る。さらに、アウトリーチ活動ではチームワーク力の向上を図る。

学科の学習・教育目標との対応：[II]

授業方法と留意点

- ・大学内においては、東日本大震災や他の自然災害事例について調べ学習を行うことで、自然災害による被害状況の理解し、被害が与える地域社会への影響について学ぶ。
- ・長期休暇中および学校休校日にすさみ町の現地調査を実施し、町民との意見交換会に参加する。
- ・防災教育活動（アウトリーチ活動）は、大学周辺地域やすさみ町等で実施する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

- (1)2011年度の調査結果および津波避難対策の理解
- (2)東日本大震災による津波被害に関する学び
- (3)今年度活動テーマの決定（すさみ町における町民との対話を通じた避難対策の考案方法）
- (4)2012年和歌山県津波避難訓練への参加 ※すさみ町との協議による
- (5)すさみ町の津波に対する人的被害軽減策の考案
- (6)すさみ町における発表会 ※すさみ町との協議による
- (7)防災教育活動準備と実施 ※時期は適宜

評価方法・評価基準

目標達成までのプロセスを重視し、活動への積極性と貢献度を評価する。

教材等

教科書…別途配布する
参考書…別途配布する

備考

・本プロジェクトは、すさみ町役場およびすさみ町住民の皆さんのご協力のもと遂行される。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」
Project Based Learning!

浅野 英一 (アサノ エイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

- ①調査：地域で予定されているプロジェクトを調査し、実現可能を探る。
 - ②企画：具体案を立て、評価（実現可能性、コスト、実施期間、有効性）を行い、詳細な実施計画を立てる。
 - ③関連する団体に企画をプレゼンテーションし、プロジェクトの妥当性を評価する。
 - ④実施：実施計画に従いプロジェクトを実施する。途中に実施状況を関連機関に報告し計画の修正を行う
 - ⑤結果報告：プロジェクトの終了時に関連機関に実施結果と次年度以降でのプロジェクトの展開について報告を行う。
- 学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

プロジェクトの実施地は、和歌山県西牟婁郡すさみ町です。活動にかかる交通手段は、バスを大学でチャーターして移動します。宿泊は、摂南大学すさみ町活動拠点（廃校になった小学校の校舎）を使うため宿泊費用は発生しません。プロジェクト実施については、調査状況に基づき事前に学内で協議して現地活動を行います。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

- ①すさみ町の過疎地域活性について、①農業分野のキャベツ・プロジェクト、②畜産分野のイノブタソーセージ・プロジェクト、③観光分野の自然体験学習型キャンプの3つを同時に行います。

評価方法・評価基準

レポート、参加態度を総合的に評価する。

教材等

教科書…特に無し。

参考書…特に無し。

備考

履修登録をする前に、必ず、活動内容を問い合わせ、相談してから履修して下さい。問い合わせ・相談をせずに履修登録をした場合、登録を取り消すことがありますので注意してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」
Project Based Learning!

佐井 英子 (サイ ヒデコ)
栢木 紀哉 (カヤキ ノリヤ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

摂南大学近隣の小学生を対象に、北大阪商工会議所青年部と共同で、「子供株式会社プロジェクト」を実施する。このプロジェクトでは、子供達が、起業・会社経営の体験を通じて社会や経済・経営の仕組みを学ぶことを目的としているが、同時に学生も小学生の指導を通して、自ら考え、解決する能力、すなわち、マネジメント能力、コミュニケーション能力、指導力、行動力、協調性、責任感や市役所や商工会議所等との折衝力及び交渉力の実践力を培うことを目標とする。

学科の学習・教育目標との対応：[II]

授業方法と留意点

北大阪商工会議所青年部との共同により、交野市、寝屋川市、枚方市の小学生を対象に子供株式会社を設立し、商工会議所のイベントに参加する。主に小学生に対する指導は学生が担当し、実践のためのイベントの会場提供・設定等は、商工会議所が主体となるが、小学生への指導等は、一部の作業は学生が責任をもって担当するので、セミナーやイベントには、必ず出席すること。また、実際の経営、生産の現場を体感するために、上記3市の会社見学会を実施する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業テーマ：子供株式会社の設立と経営
内容：

- I 経営、マネジメント、経営戦略、会計等に関する基礎的な知識を学ぶ。
- II 実際の経営、生産の現場を体感するために、会社見学会を実施する。
- III 小学生に指導する。
 1. 名刺をつくらう
 2. 株式会社って何だろう
 3. 株式会社をつくらう
 4. 商売って何だろう。儲けてなんだろう
 5. 経営計画をたてよう
 6. マーケティングをしよう
 7. 商品企画書の作成しよう
 8. 銀行にお金を借りよう
 9. 実際に販売してみよう
 10. 帳簿をつけて決算書をつくらう
 11. 税金を納めよう
 12. 決算書を作成しよう
 13. 経営報告会をしよう。どの会社が一番儲かったのかな。

講義方法：子供達に指導する前に、まず自分たちで上記のテーマを演習形式で学習し、その後グループに分かれ小学生に対して指導する。

事前事後学習課題：上記テーマ、イベントの結果報告等レポートを作成、提出する。

評価方法・評価基準

授業（イベントを含む）に必ず参加すること。会社の設立、経営、決算報告等の一連のプロセスを理解し、小学生に対してきちんと説明できる知識を修得すること。

教材等

教科書…特になし
参考書…必要に応じて適宜指定します。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」
Project Based Learning!

八木 紀一郎 (ヤギ キイチロウ)
牧野 邦昭 (マキノ クニアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

都市と地方をむすぶツーリズム（観光と地域振興）

大都市圏住民の観光ニーズと潜在的な観光資源をもつ過疎地域を結びつけるエコツーリズム、グリーンツーリズムの可能性をさぐります。

到達目標：ポスト・マストゥリズムとして、都市と地方を結ぶツーリズムの可能性をさぐり、またそれが地域振興にどのように結びつくかを知り、現実に応じた企画提案ができるようになることです。一般的にいえば、就業力、つまり創造的な仕事を企画・実施する社会的能力（コミュニケーション、責任感、整理・記録・総括・反省）を身につけることが目標です。

授業方法と留意点

寝屋川市および摂南大学と連携協定をもつ和歌山県すさみ町をフィールドとして、すさみ町と寝屋川市の交流実績に留意しつつ、ツーリズム研究をおこないます。

すさみ町の観光資源・観光客受け入れ体制の調査と寝屋川市などの住民のニーズ調査をおこない、それを結びつけるあり方を考えます。

学生たち自身で主体的に取り組むために、旅行の企画・実施・ニーズ調査・広告を行う「旅行社」を創設すると考えて、責任を分担し、記録を取りながら取り組みましょう。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

年間スケジュールとしては以下のようなようになります。

4月：前年度本プロジェクトの総括/エコツーリズムの学習

5月連休：参加可能な人は1回目のすさみ体験

6月・7月：すさみ町および南紀を目的地にした学生ツアーの企画・準備

9月：学生向けパイロットツアー実施

10月～11月：中間報告、すさみ物産フェアへの協力、都市住民の観光ニーズ調査

12月：現地調査をふまえた宣伝・企画の提案

1～3月：冬・春のツアープラン

火曜の昼休みに経済学部の演習室（1号館7階）でランチ持参の打ち合わせ会をもち、課題に応じて随時、時間を設定して作業ミーティングを行います。

評価方法・評価基準

活動への実質的参加を前提にした、地域と観光への認識の深まり、活動におけるリーダーシップと創意工夫の評価（60%）、活動の成果をまとめたレポートの評価（40%）。

教材等

教科書…なし

参考書…なし

備考

すさみ町、および同町のNGO、寝屋川市などの関係機関団体と協力して実施します。

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」
Project Based LearningⅠ**

富岡直美（トミオカ ナオミ）

水野武（ミズノ タケシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

●授業概要：様々な人との交流を通して自らを取り巻く社会についての理解を深め、課題を発見し、解決策を考える。また、自主的に活動をし、実際に社会貢献をすることで、自律的職業人を目指す。

●目的：社会で活躍できる人になるために、社会貢献活動を通して自分自身をより理解するとともに、新たな可能性を見出す。

●到達目標：役割意識や自己効力感を育むために、仲間と協働しながら社会に貢献する喜びを体験する。

学科の学習・教育目標との対応：[II]

授業方法と留意点

- ①絵本や紙芝居について学ぶ。（外部講師）
- ②読み聞かせや紙芝居を練習する。
- ③社会と接するためのマナーについて学ぶ。
- ④学生同士のピアラーニング。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

●テーマ：紙芝居ボランティアを通じた社会貢献

●内容：学生の関心事について取材し、そこで得た知見を通じて紙芝居を作成する。寝屋川市内の小中学校などを訪問し、紙芝居上演を中心としたイベントを実施する。

●方法：（月2回程度）

1. 役割分担をし、様々な立場の人にインタビューをする。
2. インタビュー内容を学生間で共有し、疑問点を調べる。
3. 自分の考えを表現するための紙芝居を作成する。
4. 紙芝居を用いたイベントを企画する。
5. 各種施設などに協力依頼をする。
6. 紙芝居ボランティアを実行する。

7. 振り返りを行い、改善する。

他に、地域や企業様とのコラボレーション、新たな商品開発など、参加学生のアイディアを取り入れ、様々な社会貢献の方法を模索します。

評価方法・評価基準

参加態度・貢献度（50%）、報告書（20%）、成果物（30%）による総合評価

教材等

参考書…余郷裕次（2010）『絵本のひみつ』南日本新聞社

備考

●活動は、役割を分担し自主的に運営するため、学部に関係なくそれぞれの得意分野を発揮できる。

●絵本や紙芝居について（構成、読み聞かせなど）、専門的な知識を身につけることができるため、表現力（プレゼン能力）の向上が期待される。

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」
Project Based LearningⅠ**

羽石寛寿（ハネイシ カンジユ）

黒澤敏朗（クロザワ トシロウ）

山本圭三（ヤマモト ケイゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

目的：「交野市の活性化」のプランを創ります。

概要：休耕田を利用した「そば」栽培の体験などをもとに、交野市の特産品創出、休耕地の活用計画を策定します。あわせて、交野市体験ツアーの企画も行います。

到達目標：独自の計画案作成のプロセスを通じて、多くの人々とのコミュニケーションや、各自のもつ知識の活用ができるようになることです。

授業方法と留意点

1. 連携先の関係者・グループとの意見交換を通じて、課題を明確にします。

2. 交野市の住民や観光客へのヒアリングとアンケート調査を行います。

3. 他の地域の活性化プロジェクトの現状を調査します。

4. 独自の計画案の作成に取り組み、市民にも公表します。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

1. 集団意思決定のための技術の習得

KJ法をはじめとする各種の意思決定、創造性開発の技法の演習を授業期間中に学内で行います。

2. アンケート調査の方法の習得

経営情報学科で開講する「市場調査」に関わる科目を受講します（他学科の学生も同様）。

3. 農業産品とその加工、販売方法（6次産業化）に関する知識の習得

夏休みを利用して、先進的な地域・プロジェクトの見学を行い、知識の拡大を図ります。

4. 観光ツアーに関する知識・情報の収集

夏休みなどを利用して、先進的な地域の着地型観光ツアーに参加し、その経験を生かせるようにします。

評価方法・評価基準

グループ作業が中心となるため、個人ごとの評価は簡単ではありませんが、諸活動への「参加度（回数、活動意欲、結果への貢献度、など）」をもとに評価します。

教材等

教科書…とくに指定しません。

参考書…入門書として役立つ、数冊の新書を紹介します。

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」
Project Based LearningⅠ**

久保貞也（クボ サダヤ）

針尾大嗣（ハリオ ダイジ）

牧野幸志（マキノ コウシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

大学周辺地域の自治体、公的団体から地域の特徴や課題を学び、学生自らが地域の課題を探るための調査を企画、実施し、新たな課題を発見する。そして、その課題の解決に向けた学びへの興味を持ち、実践的な課題解決と総合的な学びを行いながら、社会に貢献できる学生の活動をj目指す。

学科の学習・教育目標との対応：工学部[A]、理工学部 [II]

授業方法と留意点

「地域を知る」
自治体の観光担当部署や統計調査部門、商工会議所などから講演者を招き、地域の強みや魅力、現在注目されている取り組みなどを知る。また、地域におけるこれからの課題や期待される進展の方向性などを知る。
「地域を調べる」
インターネット上で行われている各地域の広報宣伝の実態を調査したり、実際に地域を訪れてフィールドワークを行ったり、現場の担当者の声を聞くなどして、今、地域で行われていること、起こっていることを調べる。
「地域を変えていく」
本プロジェクトで明らかになった地域の課題や現状に対して、改善や解決の提案を行い、その実施計画について検討を行う。そして、その実現に向けて自分たちが何をできるかを考え、次のアクションへと進む。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

テーマ：「地域を知り、地域を調べ、地域を変えていく」
内容：

- (1) 地域の魅力や課題を知る講演会
- (2) インタビューやアンケート調査
- (3) 先行事例や既存データの分析
- (4) 現地視察や見学
- (5) 今後についての検討

方法：月2、3回程度、平日の5時限以降に行なう。また、その他に講演会や発表会などを年1、2回予定している（開催は土曜日や特別教育期間など）。主な活動場所は、情報処理教室、教員の研究室、ゼミ室、および、地域の公共施設である。

評価方法・評価基準

参加による気づき、活動への姿勢、成果などを総合的に評価する

教材等

教科書…特になし
参考書…適宜指定する（プロジェクト予算などで購入）

備考

地域の実践的な課題解決を目指すため、各学部のさまざまな知識と意欲ある学生の参加を求めています。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」
Project Based Learning!

太田 義器 (オオタ ヨシキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

テーマ：ピース・ツーリズム——学生が企画する学生対象の平和学習旅行プラン——

【授業概要・目的】

エコ・ツーリズムは環境学習を盛り込んだ旅行企画として世界的に定着している。同様に平和学習を盛り込んだ旅行プランとしてのピース・ツーリズムを開発することで、平和に対する関心を高めるといふ社会要請とともに旅行業の商品種の拡大という産業ニーズにも応えることを目指す。

【学生の到達目標】

共同作業に自分から参加する仕方、新しいことに取り組む姿勢、困難を前にしてあきらめずに解決方法を模索する力の成長。

受講生各自がまずそれぞれの成長目標を設定します。

理工学部各学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

次のようなことが予定されています。

- ① 旅行商品プランのつくり方についての基本を、提携先企業様から教えていただく
- ② 学生の旅行ニーズについてアンケート調査を実施する
- ③ 平和学習の仕方について外部講師から基礎的知識の提供をうける
- ④ PDCAについて、本学キャリア担当教員から教えていただく

受講生は、会社内のプロジェクト組織に模した組織体を構成し、全員で業務分担してプロジェクト実行プランに基づいて活動します。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【プロジェクトの達成目標】 学生対象の平和学習旅行プランの商品化

おおよそ次のようなスケジュールを予定しています。

商品概要の設計(4～7月)→商品採用検討先企業開拓営業(7～10月)→トレードフェア参加(11月)

営業先企業様からの意見への対応策の検討(7～10月)

現地調査(8月)

→採用検討先企業様でのプレゼン(12月)

評価方法・評価基準

プロジェクト活動への参加について観察による評価(60%)、自己の活動についての振り返り報告レポートによる評価(40%)に基づき総合的に評価します。

教材等

教科書…なし
参考書…適宜、指導します。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」
Project Based Learning!

内田 勝巳 (ウチダ カツミ)
田中 鮎夢 (タナカ アユム)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

モンゴルにおける環境保全を念頭に置いた地域開発の可能性を探る。モンゴルに関わりの深い個人や国際協力NGO等に対するインタビュー等を学生自ら企画し、モンゴル事情に関する理解を深める。次年度も継続できれば、モンゴルの環境NGOプロジェクトへの協力に発展させたい。

授業方法と留意点

学生が主体となり全員で協議しながらプロジェクト作りを進めていく。プロジェクトを開始するに当たり、そもそもプロジェクトとは何かについての説明（期間、予算、人的制約の下での目標設定）、援助機関が行っているプロジェクト形成手法（PCM）を紹介すること等により、学生が効率的に議論を行いプロジェクト形成ができるような基礎知識をあてる。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

- (1) モンゴルの自然・社会・経済・文化の情報収集
- (2) モンゴルの社会開発等に携わってきた日本国内の個人・団体へのアンケートあるいはインタビューの実施と連携先のNGO事業の視察・打合せ
- (3) 情報を整理・分析し、次年度の調査設計にフィードバックする

評価方法・評価基準

活動におけるリーダーシップおよび協議への参加（60%）、活動成果のプレゼンテーションとレポート作成（40%）

教材等

教科書…なし
参考書…なし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」
Project Based Learning!

太田 義器 (オオタ ヨシキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

ミュージカルをしよう！—棋大生と市民でつくるミュージカル・プロジェクト—

これは、学生提案によるPBL授業です。

【目的】 大学近隣の市民の方の参加を募り、ミュージカル公演を実現します。

【学生の到達目標】 共同作業をする力、困難を乗り越えるために考える力、新しい課題にとりくむ姿勢の向上を目指します。理工学部の各学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

ミュージカル公演を実現するためには、たんに役者が練習するだけではなく、そのほかにもさまざまな共同作業が必要になります。

ミュージカル公演実現に必要なほとんどすべての活動を、学生のみで運営します。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

おおよそ次のようなスケジュールが考えられます。

4月 履修者による組織のたちあげ（役割分担、演目決定、年間スケジュールの作成）

5月 市民参加の呼びかけ

6月 練習スタート

10月 公演広報の開始

12月 公演実施

役者の他に、たとえば音響や照明スタッフ、連絡・調整を行うマネージャー、広報担当など参加の仕方はさまざまです。

評価方法・評価基準

プロジェクト活動への参加について観察による評価(60%)、自己の活動についての振り返り報告レポートによる評価(40%)に基づ

き総合的に評価します
教材等
教科書…なし
参考書…みんなで探します。

教師論
Teacher Education

朝日素明 (アサヒ モトアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

教職に関する理解を深め、自己の適性を見つめ直し、最終的に教職をめざすことについて主体的な進路選択を行うための判断材料を提供します。学生は、「教職の意義とは何か」「教師の役割や責任は何か」「教師の職務とはどのようなものか」「教師として生きるとはどのようなことか」などについて基礎的な知識を獲得し、「自分は教師に向いているのか」「自分はどのような教師をめざすのか」などの意思決定ができるようになります。

授業方法と留意点

講義を中心に、グループワーク等も織り交ぜて授業を進めます。また適宜、レポートを課します。「未来ポートフォリオ」を通じて資料配布、課題・レポートの提示・提出、ディスカッションをします。「事前・事後学習課題」はすべて事前課題です。事後課題については別途、指示します。

科目学習の効果（資格）

教員免許取得上必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教職の意義等に関する科目
各科目に含める必要事項：教職の意義及び教員の役割・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む）・進路選択に資する各種の機会の提供等

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
教職への道
【内容・方法等】 科目概要・「未来ポートフォリオ」の使用について説明
自らの学校・生徒体験、心に残る教師等についてのふりかえり
教職課程の履修動機
教師になることの意味
【事前・事後学習課題】 「未来ポートフォリオのリマインダ設定」
本科目のシラバスの熟読
- 第2回 【授業テーマ】 教職の成立とその意義
【内容・方法等】 公教育の成立
教職の誕生
戦前の教員養成
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章
- 第3回 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性（1）
【内容・方法等】 教員への道
戦後教員養成の原則と制度
教員免許制度の確立
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章
- 第4回 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性（2）
【内容・方法等】 教員免許制度の新たな展開
教員採用の動向と採用試験
【事前・事後学習課題】 テキスト第4章・第12章
- 第5回 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性（3）
【内容・方法等】 教員の研修の意義
教員の研修の種類と体系
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章
- 第6回 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性（4）
【内容・方法等】 法定研修
教員の自己研修
【事前・事後学習課題】 教員研修体系に関する配布資料
テキスト第11章
- 第7回 【授業テーマ】 さまざまな教師像（1）
【内容・方法等】 戦前・戦後の教師像
憧れの教師
【事前・事後学習課題】 テキスト第2章・終章
- 第8回 【授業テーマ】 さまざまな教師像（2）
【内容・方法等】 「不良教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）
【事前・事後学習課題】 「不良教師」に関する配布資料
- 第9回 【授業テーマ】 さまざまな教師像（3）
【内容・方法等】 「熱血教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）
【事前・事後学習課題】 「熱血教師」に関する配布資料
- 第10回 【授業テーマ】 さまざまな教師像（4）
【内容・方法等】 「人間教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）
【事前・事後学習課題】 「人間教師」に関する配布資料
- 第11回 【授業テーマ】 さまざまな教師像（5）
【内容・方法等】 「プロ教師」（文献・映像に基づく教師像

の探究)

- 第12回 【事前・事後学習課題】 「プロ教師」に関する配布資料
【授業テーマ】 教員の役割・職務（1）
【内容・方法等】 教室における指導者の視点からみた教員の役割・職務
【事前・事後学習課題】 テキスト第5章・第8章
- 第13回 【授業テーマ】 教員の役割・職務（2）
【内容・方法等】 学校組織の構成員の視点からみた教員の役割・職務
【事前・事後学習課題】 テキスト第7章
教職員の構成と校務分掌に関する配布資料
- 第14回 【授業テーマ】 教員の役割・職務（3）
【内容・方法等】 教員の任用と身分
教員の服務と身分保障
教員の勤務条件
【事前・事後学習課題】 教員の任用・服務等に関する配布資料
- 第15回 【授業テーマ】 教員の役割・職務（4）
【内容・方法等】 教員のメンタルヘルス、バーンアウト
教育改革と教員
【事前・事後学習課題】 テキスト第9章

評価方法（基準）

定期試験を実施します。その他、レポートの内容、受講に係る積極的態度も成績判定の資料とします。

教材等

教科書…佐島群巳・小池俊夫『新版 教職論』学文社（1,600円＋税）
参考書…授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ

教職について考えることは教育について考えることであり、「教え」「学び」「育ち」を含む「生き方」について考えることとなります。教養をもとに、広い視野で物事を捉える習慣を身につけましょう。
遅刻・早退等は厳禁です。教師を目指す者としての資質が問われます。

関連科目

教科科目全般、とりわけ「教育原理」「教育経営論」「教育課程論」「教育方法論」「生徒指導論」に関連する事柄を含みます。

担当者の研究室等

7号館3階 朝日研究室

備考

「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するように設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしておきましょう。

教育原理

Educational Principles

村田俊明 (ムラタ トシアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

人間形成は、自立を促すプロセスである。人間の発達は誕生と同時に始まるが、保護と養育、しつけと教育という意図的な営為のうちに、教育の意義が認められる。もし教育がなされなければ、どうなるかは野性児の記録が示す通りであり、教育によってのみ人間になれるのである。人間にとっての教育の必要性和可能性について検討していく。また、教育がめざすものは何か。のぞましい人間とはどのような人間かなどについて考えていく。その他教育がめざしてきた人間像や教育基本法などについて考えていく。

授業方法と留意点

初めて教育学を学ぶ教職履修学生に、教育の諸原理を講述する形で進めるが、可能な限り、受講生の意見や感想、あるいは質問に答えていきたい。

科目学習の効果（資格）

（1）高等学校教諭1種免許状（2）中学校教諭1種免許状の取得（3）学芸員資格の取得に必要です。
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育の基礎理論に関する科目
各項目に含める必要事項：教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 教育とは何かを考える
【内容・方法等】（1）オリエンテーション-教職課程と履修動機-（2）教育の意味-自らの経験に学ぶ-（3）「学ぶ」立場から「教える」立場へ
【事前・事後学習課題】 予習：自分にとって「教育とは何か」について考えておく。
- 第2回 【授業テーマ】 人間形成のしくみを考える

- 【内容・方法 等】** (1) 教育の必要性と可能性 (2) 野生児の記録
- 【事前・事後学習課題】** 予習：もし教育を受けることがなかったなら、どのようになるかについて考え、まとめておく。
- 第3回** **【授業テーマ】** 人間形成のしくみを考える
- 【内容・方法 等】** (1) 教育・教化・形成 (2) 人間形成と発達課題 (3) からだと心の教育 (4) ことばと文化の学習
- 【事前・事後学習課題】** 予習：現代の発達課題について考え、まとめる。
- 第4回** **【授業テーマ】** わが国における教育としつけを考える
- 【内容・方法 等】** (1) 子どもの社会化 (2) しつけと教育
- 【事前・事後学習課題】** 予習：しつけのいまと昔についてまとめておく。
- 第5回** **【授業テーマ】** 教育の思想－教育はどう考えられてきたか－(1)
- 【内容・方法 等】** ソクラテスの産婆術とソフィストの講演、暗記と体罰の教育、コメニウスの感覚主義的教育と「世界図絵」について知る。
- 【事前・事後学習課題】** 予習：教科書「教育の思想－教育はどう考えられてきたか－」を読んでおく。
- 第6回** **【授業テーマ】** 教育の思想－教育はどう考えられてきたか－(2)
- 【内容・方法 等】** ロック、ルソー、ペスタロッチ、フレーベルからデューイに至る教育思想の系譜をたどる。ヘルバルト、オーエン、ケルシェンシュタイナーなど、近代教育思想の礎となった教育思想家に学ぶ。
- 【事前・事後学習課題】** 復習：近代の教育思想と教育思想家の業績をまとめる。
- 第7回** **【授業テーマ】** 教育の思想－わが国の近代化と教育の関係を学ぶ。
- 【内容・方法 等】** 福沢諭吉と「学問のすずめ」、森有礼と「学校令」、澤柳政太郎と開智学校など、わが国教育の近代化につくした教育家の思想と業績を知る。(NHKスペシャル「明治第一集 ゆとりか、学力か」視聴)
- 【事前・事後学習課題】** 復習：近代の教育思想と教育思想家について感想をまとめて提出する。
- 第8回** **【授業テーマ】** 教育の理念と目的について考える (1)
- 【内容・方法 等】** (1)「学制」と「被仰出書」 (2) 教育勅語
- 【事前・事後学習課題】** 予習：予習：わが国近代教育の理念を確認する。
- 第9回** **【授業テーマ】** 教育の理念と目的について考える (2)
- 【内容・方法 等】** (1) 憲法の教育規定 (2) 教育基本法を学ぶ－旧法・新法の比較を通して－ (3) 学校教育法と教育の機会均等
- 【事前・事後学習課題】** 予習：現行教育基本法の内容を確認する。
- 第10回** **【授業テーマ】** 学校の歴史的な意味と課題を考える
- 【内容・方法 等】** (1) 学校とは何か (2) 学校の発達 (3) 学校教育の展開と二つの歴史のエポック
- 【事前・事後学習課題】** 予習：学校制度の発展について、何が分かったかをまとめる。
- 第11回** **【授業テーマ】** 教育の再生と学校改革
- 【内容・方法 等】** (1) 教育改革の系譜 (2) 自律的学校の創造 (3)「生きる力」と学力向上
- 【事前・事後学習課題】** 予習：現代学校改革の課題についてレポートする。
- 第12回** **【授業テーマ】** 「教えること」と「学ぶこと」について考える
- 【内容・方法 等】** (1) 教える・学ぶの成立条件 (2)「学ぶ力」と「生きる力」
- 【事前・事後学習課題】** 予習：「教えること」と「学ぶこと」についての体験をまとめておく。
- 第13回** **【授業テーマ】** 授業とは何かを考える
- 【内容・方法 等】** (1) 授業をつくる (2) 授業と教材 (3) 授業の形態と技術 (4) 授業と評価 (5) 教育評価の意味を考える
- 【事前・事後学習課題】** 予習：理想的な授業の条件についてまとめておく。
- 第14回** **【授業テーマ】** 教師のしごとについて考える
- 【内容・方法 等】** (1) 教師のしごと (2) 子どもとの信頼関係 (3) 教育公務員としての教師 (4) 教師の成長と同僚
- 【事前・事後学習課題】** 予習：教師のしごとにとって大事なことは何であるかをまとめておく。
- 第15回** **【授業テーマ】** 討論と反省
- 【内容・方法 等】** 討論 教育原理を学んで得た新たな知見について
- 【事前・事後学習課題】** 復習：二年度以降の教育学学習の課題を明確にする。
- 評価方法 (基準)**
定期試験成績、レポートの成績による総合評価を行う。

教材等

- 教科書…村田俊明 橋本はる美『教育探求の基礎』(税務経理協会)、2012年、2940円
- 参考書…J.A.L.シング『狼に育てられた子』(福村出版) 1470円
平沢茂編著『教育の方法と技術』(図書文化) 2000円
小林恵『学習指導要領』の現在』(学文社) 2800円

学生へのメッセージ

- ①自分の学習体験等を思い出してほしい。②教育関係の新聞報道等に常に関心を持ってほしい。③講義中に紹介する本も読んでほしい。

関連科目

「教育原理」「教育社会学」「道徳教育の研究」「教育心理学」「生徒指導論」「教育相談」「教育経営論」「教職総合演習」「各教科教育法」

担当者の研究室等

7号館3階(村田研究室)

教育心理学

Educational Psychology

吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

学校での教育活動において、教師の果たす役割は大きい。学習の質を高めるために、教師が学習者を理解し、様々な形で援助していくためにはどうすればよいのか、それを考えていくにあたって必要な、基本的な知識を身につけることを目標とする。本科目では、特に以下の3点に焦点を当てて議論していく。すなわち、教育について考える際に、ある意味基本となる「発達と学習」、学習者が主体的に学ぶための「学習意欲」、学校を学習の場としてとらえたときの「人間関係」である。また、「個に応じた教育」について、個人差の理解、障害の理解と特別支援教育についても考える。

授業方法と留意点

講義形式で行う。

科目学習の効果 (資格)

教員免許状取得上必修。免許法施行規則に定められた「教育の基礎理論に関する科目」6単位のうち2単位を充足。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育の基礎理論に関する科目

各科目に含める必要事項：幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 (障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む)。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** **【授業テーマ】** ガイダンス
【内容・方法 等】 授業内容、授業の進め方、評価基準等について。教育に対して心理学ができること
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回** **【授業テーマ】** 教育を支える認知発達1
【内容・方法 等】 言語……言語とは何か、言語の機能、言語の発達
【事前・事後学習課題】 テキスト第11章を読む
- 第3回** **【授業テーマ】** 教育を支える認知発達2
【内容・方法 等】 思考……人間の思考の特徴、思考の発達
【事前・事後学習課題】 テキスト第8章、第9章を読む
- 第4回** **【授業テーマ】** 教育を支える認知発達3
【内容・方法 等】 記憶……記憶のメカニズム、記憶の発達
【事前・事後学習課題】 テキスト第4章、第5章を読む
- 第5回** **【授業テーマ】** こどもの学び1
【内容・方法 等】 様々な学習……学習とは何か、条件づけ、観察学習
【事前・事後学習課題】 テキスト第0章の3、テキスト第1章を読む
- 第6回** **【授業テーマ】** こどもの学び2
【内容・方法 等】 学ぶ方法いろいろ……メタ認知、学習観
【事前・事後学習課題】 テキスト第7章を読む
- 第7回** **【授業テーマ】** 学習を支える動機づけ1
【内容・方法 等】 意欲とは何か……動機づけ過程、期待×価値理論、学習性無力感
【事前・事後学習課題】 教科書第2章、第3章を読む
- 第8回** **【授業テーマ】** 学習を支える動機づけ2
【内容・方法 等】 さまざまな学習意欲 (1)……外発的動機づけ
【事前・事後学習課題】 教科書第2章、第3章を読む
- 第9回** **【授業テーマ】** 学習を支える動機づけ3
【内容・方法 等】 さまざまな学習意欲 (2)……内発的動機づけ
【事前・事後学習課題】 教科書第2章、第3章を読む

第10回 【授業テーマ】 学習を支える動機づけ4
 【内容・方法 等】 学習意欲を育むために……報酬と罰、評価、目標
【事前・事後学習課題】 教科書第2章、第3章を読む

第11回 【授業テーマ】 学習を支える人間関係1
 【内容・方法 等】 教師と生徒との関係……教師のモノサシ、教師期待効果、リーダーシップ
【事前・事後学習課題】 テキスト第0章の2を読む

第12回 【授業テーマ】 学習を支える人間関係2
 【内容・方法 等】 生徒同士の関係……仲間の意味、仲間関係の発達
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章、12章を読む

第13回 【授業テーマ】 個に応じた教育1
 【内容・方法 等】 個人差の理解と教育……ATI、学習方略
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章の3、テキスト第6章を読む

第14回 【授業テーマ】 個に応じた教育2
 【内容・方法 等】 「障害」の理解と特別支援教育
【事前・事後学習課題】 テキスト第13章を読む

第15回 【授業テーマ】 まとめ
 【内容・方法 等】 授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 _____

評価方法 (基準)
 小テスト30% 期末試験70%

教材等
 教科書…「絶対役立つ教育心理学～実践の理論、理論を实践～」藤田哲也 (編著) ミネルヴァ書房 (2800円)
 参考書…授業の中で随時紹介する。

学生へのメッセージ
 これまで受けてきた教育を思い出してください。また心理学の用語の中には、日常的に遣われているのとやや異なる意味で用いられるものがあることに留意してください。

関連科目
 心理学

担当者の研究室等
 7号館3階 (吉田研究室)

教育社会学 Sociology of Education				
村田俊明 (ムラタ トシアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	教免取得上 選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
 教育社会学は、社会的事実としての教育の営みを社会的に研究する学問である。まず教科書をもとに基礎的知識について説明する。受講生には意見発表等を求めるので、教科書を予習し、各章の問題点や意見を明らかにしておく。さらに現代教育改革、とりわけ教員養成改革を例に、具体的データの収集と分析を通して教育社会学の研究視点と方法を理解する。

授業方法と留意点
 教育社会学を「基礎」と「応用」から構成し、教育社会学の基本的概念や予備知識について講述する。「基礎」「応用」ともに、パソコンを活用してデータの検索や分析等を行い、グループ等による発表を行う。

科目学習の効果 (資格)
 (1) 高等学校教諭1種免許状 (2) 中学校教諭1種免許状の取得に必要です。
【免許法施行規則に定める科目区分】
 科目：教育の基礎理論に関する科目
 各科目に含める必要事項：教育に関する社会的、制度的又は経営的事項

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 基礎 教育社会学とは何か
 【内容・方法 等】 教育社会学の課題と方法を知る
 社会化の意味と課題を知る
【事前・事後学習課題】 事前：教科書 (1 - 教育社会学とは) 「14 - 教育社会学の技法」を読んでくる。

第2回 【授業テーマ】 基礎 現代社会と学校
 【内容・方法 等】 学校化の進展と構造について考える
【事前・事後学習課題】 事前：教科書 (6 - 学校制度の社会学) を読んでレポートを書いてくる。

第3回 【授業テーマ】 基礎 現代社会の変貌と教育
 【内容・方法 等】 情報社会の教育と社会化について考える
【事前・事後学習課題】 事前：教科書 (3 - 社会化環境の構造変容) を読んでレポートを書いてくる。

第4回 【授業テーマ】 基礎 子どもと学校
 【内容・方法 等】 カリキュラムと教育的知識について考える
 学校の文化と教育空間の意味を考える

組織としての学校を考える

【事前・事後学習課題】 事前：教科書 (7 - 教室空間・学校空間と教育過程) : 「8 - カリキュラムと教育的知識」 : 「9 - 学校の組織と文化」) を読んで、レポートを書いてくる。

第5回 【授業テーマ】 基礎 階層・学歴・職業
 【内容・方法 等】 学歴社会と高等教育の発展について考える
【事前・事後学習課題】 事前：教科書 (「10 - 学校の社会的機能」「11 - 高等教育の社会学」「12 - 階層・学歴・職業」) を読んで、レポートを書いてくる。

第6回 【授業テーマ】 基礎 教育改革の動向と課題
 【内容・方法 等】 わが国の教育改革がめざしてきたものについて考える
【事前・事後学習課題】 事前：教科書 (13 - 教育改革と学習社会) を読んで、レポートを書いてくる。

第7回 【授業テーマ】 基礎 教員問題の鳥瞰図
 【内容・方法 等】 教員問題の系譜と現在を知る
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データから、わかったことをレポートする。

第8回 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する (1)
 【内容・方法 等】 日本の教師集団を検討する
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。

第9回 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する (2)
 【内容・方法 等】 教師像と養成の理念を考える
 教員の需給関係を考える
【事前・事後学習課題】 事前課題 求められる教師について事前レポートを書いてくる。
 事後課題 配布データからわかることをレポートする。

第10回 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する (3)
 【内容・方法 等】 教師と学校改善を考える
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。

第11回 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する (4)
 【内容・方法 等】 学校改善と学校評価を考える (1)
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。

第12回 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する (5)
 【内容・方法 等】 学校改善と学校評価を考える (2)
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。

第13回 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する (6)
 【内容・方法 等】 教員評価制度を考える (1)
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。

第14回 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する (7)
 【内容・方法 等】 教員評価制度を考える (2)
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。

第15回 【授業テーマ】 総括 教員問題の検証と教育社会学
 【内容・方法 等】 教師のライフコース、学校・教員の評価、教師としての「成長」などについて、総合的な討論を行う。
【事前・事後学習課題】 事後課題 「基礎・応用」を通じて関心をもったこと・わかったことをレポートをまとめる。

評価方法 (基準)
 定期試験成績、課題発表、レポートの成績による評価を行う。

教材等
 教科書…天野郁夫、藤田英典、荻谷剛彦『教育社会学』(放送大学教育振興会)、1998年、2310円
 参考書…文部科学省『学校教員統計調査報告書 (平成22年度)』国立印刷局、6000円
 小林恵『学習指導要領の現在』(学文社) 2800円

学生へのメッセージ
 文部科学省のホームページ、新聞等の教育関係の報道に関心を持つ。レポートの提出、発表を求める。

関連科目
 「教育原理」「教育社会学」「道徳教育の研究」「教育心理学」「生徒指導論」「教育相談」「教育経営論」「教職総合演習」「各教科教育法」

担当者の研究室等
 7号館3階(村田研究室)

備考
 共同担当者 橋本はる美

教育経営論 Studies of Educational Administration				
朝日素明 (アサヒ モトアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	教免取得上 選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
 本科目では、公教育システムに関してなじみの深い事例を参照し、そこから政策や法制、機構、理論や論争、現実や実態を明らかにし、検討していきます。これを通して、私たちにとってはあたりまえで意識することもないような、学校教育を中心とした公教育システムのしくみやはたらきについて理解します。具体

的には、例えば「何をどう教えるのか」という内容的・技術的な事柄も、実はさまざまな制度やその運用の仕方などによって決められている様子がわかります。

授業方法と留意点

プレゼンテーションソフトを用いた講義のほか、テキスト・資料の事前学習に基づくディスカッション (LTD; Learning Through Discussion) 等のグループワークも織り交ぜて授業を進めます。事前学習は必須です。「未来ポートフォリオ」を通して資料配布、課題・レポートの提示・提出のほか、ディスカッションもします。「事前・事後学習課題」はすべて事前学習課題です。事後学習課題については別途、指示します。

科目学習の効果 (資格)

教員免許取得上選択必修であり、可能な限り修得することが望ましい科目

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育の基礎理論に関する科目

各科目に含める必要事項：教育に関する社会的、制度的又は経営的事項

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
 公教育とは
 【内容・方法 等】 授業概要、方法としてのLTD、「未来ポートフォリオ」の使用について説明
 公教育の成立前史
 教育における「公」と「私」
 【事前・事後学習課題】 「未来ポートフォリオ」のリマインダを設定しておく。
- 第2回 【授業テーマ】 教育権の構造
 【内容・方法 等】 「教育をする権利」「教育を受ける権利」「学習する権利」
 教育権論争について簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第3章1節を読んでくる。
- 第3回 【授業テーマ】 教育を受ける権利の保障
 【内容・方法 等】 教育の制度原理
 「義務制」「無償制」にかかわって簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第3章2節を読んでくる。
- 第4回 【授業テーマ】 学校体系のしくみ
 【内容・方法 等】 段階性、系統性
 学校体系の類型
 学校の種類と設置者
 【事前・事後学習課題】 テキスト第7章1・2節を読んでくる。
- 第5回 【授業テーマ】 学校体系の現代的課題
 【内容・方法 等】 選別・分離と接続・統合
 「選抜・選別」について簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第3章3節を読んでくる。
 学校の機能に関する配布資料を読んでくる。
- 第6回 【授業テーマ】 教育条件整備の法制度と新しい動向
 【内容・方法 等】 公教育を支える諸条件とは
 条件整備はどのようになされるか
 学校の「適正規模」「適正配置」にかかわって簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第7章2・3節を読んでくる。
 学校統廃合に関する配布資料を読んでくる。
- 第7回 【授業テーマ】 学校の組織管理
 【内容・方法 等】 教職員配置と組織編制
 【事前・事後学習課題】 テキスト第4章1・2節を読んでくる。
- 第8回 【授業テーマ】 学校経営の新しい動向
 【内容・方法 等】 「開かれた学校」
 学校評議員制度、学校運営協議会制度
 地域運営学校について簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第4章3・4節を読んでくる。
 コミュニティスクールまたは学校参加に関する配布資料を読んでくる。
- 第9回 【授業テーマ】 教育課程経営
 【内容・方法 等】 学習指導要領の性質と特徴の変遷
 学力論争と教育評価論
 学力低下論争をめぐって簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第10章1・2節を読んでくる。
 学力低下論争に関する配布資料を読んでくる。
- 第10回 【授業テーマ】 教科書制度と指導行政
 【内容・方法 等】 教科書検定
 教科書採択
 制度をめぐって簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第10章3・4節を読んでくる。
 教科書検定または教科書採択制度に関する配布資料を読んでくる。
- 第11回 【授業テーマ】 社会教育行政
 【内容・方法 等】 社会教育と生涯学習
 社会教育の理念と展開
 【事前・事後学習課題】 テキスト第8章1・2節を読んでくる。
- 第12回 【授業テーマ】 生涯学習社会への移行と生涯学習振興

【内容・方法 等】 社会教育行政の運営原則

社会教育の諸制度

社会教育不要論をめぐって簡単なグループワーク

【事前・事後学習課題】 テキスト第8章3・4節を読んでくる。
 社会教育不要論に関する配布資料を読んでくる。

第13回 【授業テーマ】 教育行政のはたらきと地方教育行政組織

【内容・方法 等】 教育行政の原則

教育委員会のしくみとはたらき

教育委員会制度論の新動向に関して簡単なグループワーク

【事前・事後学習課題】 テキスト第2章1節を読んでくる。

教育委員会制度の動向に関する配布資料を読んでくる。

第14回 【授業テーマ】 国の教育行政と地方との関係

【内容・方法 等】 国の教育行政を動かす組織のしくみとはたらき

教育行政関係の新しい動向

【事前・事後学習課題】 テキスト第2章2・3節を読んでくる。

第15回 【授業テーマ】 教育費と教育財政

【内容・方法 等】 教育財政の考え方

国・地方の教育費と教育財政

義務教育費国庫負担制度とその改革

学校財務

【事前・事後学習課題】 テキスト第6章を読んでくる。

評価方法 (基準)

定期試験を実施します。その他、レポートの内容、受講に係る積極的態度も成績判定の資料とします。

教材等

教科書…勝野正章・藤本典裕『教育行政学 改訂版』学文社 (1,800円+税)

参考書…授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ

教員採用試験で頻出の教育法規については授業中に折に触れ解説しますが、採用試験ではそれを基本としてさらに幅広い知識、深い理解と応用力が要求されます。本科目は採用試験対策のための講義ではありませんので、各自が自主的に採用試験受験準備に取り組んでください。遅刻・早退等は厳禁です。専門職業人・教師としての資質が問われます。

関連科目

教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教育社会学」「教師論」「教育課程論」に関連する事項を含みます。

担当者の研究室等

7号館3階 朝日研究室

備考

「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するように設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしておきましょう。

教育課程論

Studies of Curriculum Development

深川 八郎 (フカガワ ハチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

- (1) 教育課程(カリキュラム)とは何かについて考える。教育課程(カリキュラム)はどのような目的から、どのような内容で作成されていったかの歴史的経緯を考察する。また、それと学校システムとの関わりから、その意義や役割を理解する。
- (2) わが国における学習指導要領の変遷や戦前・戦後のカリキュラムの実践的開発を知ると共に、これからのカリキュラム開発の課題について考える。

授業方法と留意点

テキストを中心にプリント教材等を用いた講義を中心に授業を進める。各自が取得する免許教科の中学校・高等学校の教科書を複数概観することが望ましい。

科目学習の効果 (資格)

教員免許 (中学校・高等学校) 取得上必修科目である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項：教育課程の意義及び編成の方法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 教師と教育課程論
 【内容・方法 等】 ・教育課程の現代的課題
 【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp15-16
- 第2回 【授業テーマ】 教師と教育課程論
 【内容・方法 等】 ・国際的な教育調査で問われている「学力」
 【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp16-17
- 第3回 【授業テーマ】 教師と教育課程論
 【内容・方法 等】 ・教育課程編成の課題

- 第4回** 【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp18-19
【授業テーマ】 教育課程（カリキュラム）の概念と構造
【内容・方法等】 ・教育課程・学習指導要領とは何か
- 第5回** 【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp21-22
【授業テーマ】 教育課程（カリキュラム）の概念と構造
【内容・方法等】 ・潜在的カリキュラム
- 第6回** 【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp23-25
【授業テーマ】 日本における教育課程の変遷
【内容・方法等】 ・戦後教育の「振り子」と現在の課題
- 第7回** 【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp85
【授業テーマ】 日本における教育課程の変遷
【内容・方法等】 ・試案としての学習指導要領と経験主義
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp85-87
【授業テーマ】 日本における教育課程の変遷
【内容・方法等】 ・新教育批判と系統学習論、学習指導要領の「法的拘束力」
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp88-90
【授業テーマ】 日本における教育課程の変遷
【内容・方法等】 ・文部省の2つの現代化－能力主義をめぐる
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp91-93
【授業テーマ】 日本における教育課程の変遷
【内容・方法等】 ・学習指導要領の大綱化・弾力化・「ゆとり」
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp95-97
【授業テーマ】 欧米社会における教育課程の系譜
【内容・方法等】 ・近代以前の教育課程
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp70-74
【授業テーマ】 欧米社会における教育課程の系譜
【内容・方法等】 ・近代の学校教育と教育課程論
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp74-78
【授業テーマ】 欧米社会における教育課程の系譜
【内容・方法等】 ・「新教育」と現代の教育課程論
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.78-84
【授業テーマ】 教育課程をめぐる諸問題
【内容・方法等】 ・総合的な学習と教育課程
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.140-146
【授業テーマ】 教育課程をめぐる諸問題
【内容・方法等】 インクルージョンと教育課程
- 【事前・事後学習課題】 課題 テキストPP.158-164

評価方法（基準）
定期試験、レポート及び授業態度によって総合評価を行う。

教材等
教科書…メインテキスト『教育課程』山崎 準二著 学文社(1800円)サブテキスト「中学校 学習指導要領」文部科学省(244円)
「高等学校 学習指導要領」文部科学省(520円)
参考書…『カリキュラムの批評』世織書房(5040円) その他、授業時に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
教職科目の特質をよく理解し、実践的理解を深めることが大切である。そのため、各自の中学校・高等学校での体験を省察し、学ぶことの視点に立った、計画的学習を考えること。また「教育実習」を視野に入れた授業計画を考えることが重要。

関連科目
教職科目全般と関連がある。他の教職科目と重なる所や特徴点を整理していくことが重要。

担当者の研究室等
7号館3階(深川研究室)

備考
2009年度以前入学生は、(高校) 教免取得上選択

道徳教育の研究 Studies of Moral Education				
村田 俊明 (ムラタ トシアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	教免取得上 必修(中免のみ)	2

授業概要・目的・到達目標
道徳教育は、報酬と罰を上手にやれば、それで済むというものではない。一定の価値を伴う行動様式と生活態度を子どもの中に育む営みである。道徳教育の歴史を学び、わが国において道徳教育がどう展開されてきたかを知る。また子どもの道徳性はいかに発達するか。なぜいま道徳教育が必要なのか。学習指導要領「道徳」の内容を授業で、どう展開するかを考え、道徳授業の指導案づくりを行う。

授業方法と留意点
教科書に基づいて道徳教育の歴史や道徳性の発達等について講述するほか、DVD等を視聴し、道徳教育のあり方について考え、理解を深める。さらに受講生が、実際に「道徳」授業の指導構

- 想(指導案)」を作成し、その発表と検討を行う。
- 科目学習の効果(資格)**
中学校教諭1種免許状の取得に必要です。
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育課程及び指導法に関する科目
各項目に含める必要事項：道徳の指導法
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 道徳教育と人間形成
【内容・方法等】 (1) 道徳教育がめざすもの(2) 道徳教育の現状と課題 (3) なぜ、いま道徳教育なのか－DVD「崩壊?日本人のモラル」視聴
【事前・事後学習課題】 予習：教科書「まえがき」「第3章」
- 第2回** 【授業テーマ】 道徳教育の歴史－明治期－
【内容・方法等】 (1) 学制と「修身科」(2)「教学聖旨」「教育議」論争(3)教育勅語の成立と修身科教育
【事前・事後学習課題】 予習：教科書(9頁～14頁)
- 第3回** 【授業テーマ】 道徳教育の歴史－大正・昭和前期－
【内容・方法等】 (1) 大正新教育と修身科 (2) 総力戦体制下の教育と修身科
【事前・事後学習課題】 予習：教科書(14～19頁)
- 第4回** 【授業テーマ】 道徳教育の歴史－戦後から現在－
【内容・方法等】 (1) 修身科の廃止と教育勅語の取り扱い(2) 社会科と新しい道徳教育(3) 道徳教育の振興と特設道徳
【事前・事後学習課題】 予習：教科書(19頁～38頁)
- 第5回** 【授業テーマ】 学習指導要領「道徳」の目的と内容
【内容・方法等】 (1) 学習指導要領「道徳」の目的 (2) 「道徳」の内容分析 (3) 指導上の留意点
【事前・事後学習課題】 予習：配付資料の課題をしておく。教科書135頁～149頁を読んでおく。
- 第6回** 【授業テーマ】 道徳性の発達と教育方法
【内容・方法等】 (1) 他律道徳から自律道徳へ (2) ビアジェとコールバーグの発達段階論 (3) 道徳的葛藤とシミュレーションの創造
【事前・事後学習課題】 予習：教科書(39頁～76頁)
- 第7回** 【授業テーマ】 学校道徳教育の計画・運営・実施について
【内容・方法等】 (1)「道徳」の時間と指導計画 (2) 各教科・特別活動・総合学習の時間との関係 (3)「道徳」の実施状況について
【事前・事後学習課題】 予習：出身中学校における「道徳教育計画」をHP等で調べておく。
- 第8回** 【授業テーマ】 道徳授業の基礎(1)
【内容・方法等】 (1) 子どもの価値意識－「実態調査」から検討する－ (2) 道徳の授業と教材 (3) 道徳教育の方法と技術
【事前・事後学習課題】 予習：配付Excel Data の検討及び教科書(77頁～99頁)を読んでおく。
- 第9回** 【授業テーマ】 道徳授業の応用(2)
【内容・方法等】 (1) 実感ある「道徳」授業の創造 (2) DVD視聴「特別授業 差別を知る－カナダのある小学校の試み」
【事前・事後学習課題】 DVD視聴の感想文提出
- 第10回** 【授業テーマ】 道徳教育の指導案(1)
【内容・方法等】 (1) 道徳指導案づくり「スタート台のわたし」 (2) 学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】 予習：配布教材に基づいた指導案の作成
- 第11回** 【授業テーマ】 道徳教育の指導案(2)
【内容・方法等】 (1) 道徳指導案づくり「じいちゃん長生きして」 (2) 学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】 予習：配付資料に基づいた指導案の作成
- 第12回** 【授業テーマ】 道徳教育の指導案(3)
【内容・方法等】 (1) 道徳指導案づくり「アイバンク」 (2) 学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】 予習：配付資料に基づいた指導案の作成
- 第13回** 【授業テーマ】 道徳教育の指導案(4)
【内容・方法等】 (1) 道徳指導案づくり「蜘蛛の糸」 (2) 学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】 予習：配付資料に基づいた指導案の作成
- 第14回** 【授業テーマ】 道徳教育の指導案(5)
【内容・方法等】 (1) 道徳指導案づくり「ぼくの名前呼んで」 (2) 学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】 予習：配付資料に基づいた指導案の作成
- 第15回** 【授業テーマ】 討論 現代社会と道徳教育
【内容・方法等】 (1) 意見発表「道徳教育の研究を学んで」 (2) 質疑応答と課題の発見
【事前・事後学習課題】 討論資料の作成・準備

評価方法（基準）

定期試験成績、レポートの成績による評価を行う。

教材等

教科書…柴田義松編著『道徳の指導』（学文社）1890円
文部科学省『中学校学習指導要領』平成20年、国立印刷局、273円

参考書…L. コールバーグ、永野重史監訳『道徳性の形成』新曜社

学生へのメッセージ

中学校時代の「道徳」の時間における学習体験を思いおこすことよ。道徳の教材を取り扱うが、その教材をよく読み、中学生に何を伝えたらよいかを考えてほしい。

関連科目

教職科目全般と関連があるので、これまで学習した内容について、復習し整理しておくことが大切である。

担当者の研究室等

7号館3階(村田研究室)

備考

共同担当者 橋本はる美

特別活動の理論と方法

Theories and Methods for Special Activities

深川 八郎 (フカガワ ハチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

(1) 人間関係の希薄化が指摘される社会にあって、子ども達の社会力不足が学校教育の大きな課題の一つになっている。そのことから発達に沿った集団体験活動を目的とする特別活動は益々その重要性が増してきている。具体的には、学級（ホームルーム）活動、生徒会活動、学校行事の3本柱それぞれの特質、内容、指導課題について考えていく。(2) 中学校、高等学校の特別活動について、具体的な事例を交えてグループ・ワークを行う。また、学校におけるガイダンス機能の充実のため、カウンセリング・マインドとは何かについて考える。

授業方法と留意点

テキストを中心にプリント教材等を用いて理解を深める。また、レポートや各自の中学校・高等学校時代の経験発表などにより、プレゼンテーションの力、まとめる力をつける。

科目学習の効果（資格）

教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項：特別活動の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 特別活動の目標
【内容・方法等】 ・学校教育の現状と課題
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.7-12
- 第2回 【授業テーマ】 特別活動の基本的な性格と教育的意義
【内容・方法等】 ・家庭や地域社会での子どもたちの生活体験や社会体験の実態と特別活動
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.13-15
- 第3回 【授業テーマ】 特別活動の基本的な性格と教育的意義
【内容・方法等】 ・特別活動の教育的意義
【事前・事後学習課題】 課題 テキストp15
- 第4回 【授業テーマ】 特別活動の基本的な性格と教育的意義
【内容・方法等】 ・特別活動の内容相互の関連
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.16-24
- 第5回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法等】 ・学級活動
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.25-43
- 第6回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法等】 ・学級活動の指導計画
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.44-50
- 第7回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法等】 ・生徒会活動の目標と内容
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.58-61
- 第8回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法等】 ・生徒会活動と学校行事・ボランティア活動
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.62-63
- 第9回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法等】 ・学校行事の目標と内容

【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.74-76

第10回 【授業テーマ】 学校行事
【内容・方法等】 ・儀式的行事・文化的行事のねらいと具体的な取り組み

【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.76-78

第11回 【授業テーマ】 学校行事
【内容・方法等】 ・健康安全・体育的行事、旅行・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行儀のねらいと具体的な取り組み

【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.78-82

第12回 【授業テーマ】 特別活動の指導計画と留意事項
【内容・方法等】 ・特色ある学級活動・生徒会活動・学校行事の創意工夫(ビデオ教材を使った計画の実際)

【事前・事後学習課題】 課題 ビデオ感想のまとめ

第13回 【授業テーマ】 特別活動の課題
【内容・方法等】 ・中央教育審議会答申と特別活動の課題

【事前・事後学習課題】 課題 テキストp92

第14回 【授業テーマ】 特別活動指導計画と配慮事項
【内容・方法等】 ・特別活動の全体計画と各活動・学校行事の年間指導計画について

【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.93-99

第15回 【授業テーマ】 特別活動指導計画と配慮事項
【内容・方法等】 ・ガイダンス機能(ビデオ「教師の行なうカウンセリング」)

【事前・事後学習課題】 課題 ビデオ感想のまとめ

評価方法（基準）

定期試験、レポート等及び授業態度によって総合評価を行う。

教材等

教科書…テキスト『中学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省(115円)サブテキスト『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省 (210円)

参考書…必要に応じて資料を配布

学生へのメッセージ

教職科目の特質をよく理解し、実践的理解を深めること。特に生徒の話を「聞くこと」など、カウンセリングの基礎への理解が大切である。そのため、自己の中学校・高等学校での体験を踏まえ、具体的に理解し、「教育実習」を視野に入れて自分のノートを整理していくことが望まれる。

関連科目

全教職科目と関連するが、特に「教育課程論」、「生徒指導論」、「教師論」、「教育心理学」などと関連して理解することが大切である。

担当者の研究室等

7号館3階(深川研究室)

教育方法論

Studies of Educational Method

深川 八郎 (フカガワ ハチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

(1) 学校教育の中心は日々の授業活動である。そのことを踏まえ、「授業とは何か」「学びとは何か」を問い直し、授業というものを基本から考え、捉えることが大切である。(2) そのため、教育方法の歴史的な考察、特に日本の戦後教育の歩みを辿り、その目的と方法を考えていく。また、現在の教育方法の課題となっている情報機器・視聴覚教材を活用した授業の原理、構成、方法について学ぶ。

授業方法と留意点

"テキストを中心にプリント、視聴覚教材等を用いた講義方式で進める。また、各自の中学校・高等学校時代の経験発表などにより理解を深める。"

科目学習の効果（資格）

教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各項目に含める必要事項：教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 教育方法と教育実践
【内容・方法等】 ・「学ぶこと」と「教えること」を見つめ直すことから、授業や学習の原理について考える・授業のガイダンス。
【事前・事後学習課題】 課題 大阪府教委資料「学校現場が求める教師像」をまとめる
- 第2回 【授業テーマ】 教育方法と学びの指導
【内容・方法等】 ・「学力とは何か」を問い直し、そのことから、学びと学力を考察する。その上に立って、授業のあり方を考えていく。

- 【事前・事後学習課題】** 課題 志水宏吉著『学力を考える』岩波新書を読んでおく
- 第3回** **【授業テーマ】** 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・近代以前の教育方法
- 第4回** **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp7-8
【授業テーマ】 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・中世の教会と大学の教育
 ・宗教革命と印刷術の発明
- 第5回** **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp8-9
【授業テーマ】 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・教育学の成立—コメニウス
- 第6回** **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp10-12
【授業テーマ】 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・合自然の教育学—ペスタロッチ
- 第7回** **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp12-14
【授業テーマ】 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・国民国家の教育学—ヘルバルトとヘルバルト主義
- 第8回** **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp14-18
【授業テーマ】 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・子ども中心の教育と学びの共同体—デュローイ
- 第9回** **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp18-20
【授業テーマ】 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・効率主義の教育学—ポピットとチャーターズ
- 第10回** **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp20-22
【授業テーマ】 日本の授業と授業研究(日本教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・授業の成立と制度化
 ・戦後の新教育
- 第11回** **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp33-35
 課題 テキストpp38-40
【授業テーマ】 授業の構想と計画(1)
【内容・方法等】 ・構想と計画の基本的視点
 ・指導案と教材研究
 ・教育における情報機器の活用
- 第12回** **【事前・事後学習課題】** 課題 指導案の作成(1)
【授業テーマ】 授業の構想と計画(2)
【内容・方法等】 ・授業と教授メディア
 ・コンピューターの利用(情報機器とその教材活用)
- 第13回** **【事前・事後学習課題】** 課題 指導案の作成(2)
【授業テーマ】 授業の構想と計画(3)
【内容・方法等】 ・コンピュータを活用した授業デザイン
 ・授業改善の評価と方法
- 第14回** **【事前・事後学習課題】** 課題 コンピュータを活用した授業評価の集計と活用のまとめ
【授業テーマ】 日本の授業と授業研究(戦後教育における校内研修を中心に)
- 第15回** **【内容・方法等】** ・授業研究と教職研修
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp40-46
【授業テーマ】 教職の専門性とは何か
【内容・方法等】 ・教師像の探究と実践的見識をめぐって
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp135-157

評価方法(基準)
 定期試験、レポート等によって総合評価を行う。

教材等
教科書…「教育方法学」佐藤 学著 岩波書店(2060円)
参考書…「教育の方法・技術」松平信久 横須賀薫編 教育出版(2000円)
 その他授業時に、適宜紹介する。

学生へのメッセージ
 教師を目指す第一歩は、自己体験を通じて、「学ぶとは何か」を自分で捉え直すことが大切である。そのことを通じて、「教えるとは何か」に向けたイメージ化に近づくことが出来る。「教育実習」を視野に入れた具体的な授業構想やそのための研究と思考の努力が大切である。

関連科目
 教職科目全般と関連がある。特に、「教師論」「教育原理」などと関連し理解することが大切である。

担当者の研究室等
 7号館3階(深川研究室)

生徒指導論(進路指導を含む) Studies of Guidance and Counseling				
朝日素明(アサヒ モトアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標
 生徒指導、進路指導は、学校教育をすすめるうえで重要な役割を占めています。非行、いじめ、不登校、学級崩壊、受験競争、進路のミスマッチなど、生徒指導・進路指導上の諸問題については、その解決の重要性が認識されています。本科目をとおして学生は、このような生徒指導、進路指導の意義や指導の方法に関する基本的な事柄について必要最低限の知識を獲得します。

授業方法と留意点
 プレゼンテーションソフトを用いて講義をしたうえで、内容をめぐってディスカッション等も織り交ぜて授業を進めます。また時折、レポートを課します。
 「未来ポートフォリオ」を通じて資料配布、課題・レポートの提示・提出、ディスカッションをします。
 「事前・事後学習課題」はすべて事前課題です。事後課題については別途、指示します。

科目学習の効果(資格)
 教員免許取得上必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
 科目：生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目
 各科目に含める必要事項：生徒指導の理論及び方法、進路指導の理論及び方法

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** **【授業テーマ】** オリエンテーション
 生徒指導の目標と意義
【内容・方法等】 科目概要・「未来ポートフォリオ」の使用について説明
 自分の生徒指導上の体験のふりかえり
 生徒指導の目標と意義
【事前・事後学習課題】 「未来ポートフォリオ」のリマインダ設定
 テキストpp.3-10
- 第2回** **【授業テーマ】** 生徒指導の実践
【内容・方法等】 生徒指導の実践課題と領域
【事前・事後学習課題】 テキストpp.10-24
- 第3回** **【授業テーマ】** 生徒指導の理論(1)
【内容・方法等】 理論の重要性
 発達に関する理論
【事前・事後学習課題】 テキストpp.32-39
- 第4回** **【授業テーマ】** 生徒指導の理論(2)
【内容・方法等】 生徒指導における治療的支援に関する理論
 相談理論など
【事前・事後学習課題】 テキストpp.39-42
- 第5回** **【授業テーマ】** 生徒理解の進め方(1)
【内容・方法等】 生徒理解の意義と目的
【事前・事後学習課題】 テキストpp.43-46
- 第6回** **【授業テーマ】** 生徒理解の進め方(2)
【内容・方法等】 生徒理解の方法
 生徒の自己理解の支援
【事前・事後学習課題】 テキストpp.46-56
- 第7回** **【授業テーマ】** 生徒理解の進め方(3)
【内容・方法等】 教師の生徒認知のありよう
【事前・事後学習課題】 テキストpp.56-61
- 第8回** **【授業テーマ】** 中間試験
【内容・方法等】 これまでの授業内容についての試験
【事前・事後学習課題】 前回までの復習
- 第9回** **【授業テーマ】** 学級経営の進め方(1)
【内容・方法等】 学級経営の意義
 学級集団の役割・機能
【事前・事後学習課題】 テキストpp.63-68
- 第10回** **【授業テーマ】** 学級経営の進め方(2)
【内容・方法等】 学級集団の力学
 学級経営の方法
【事前・事後学習課題】 テキストpp.68-74
- 第11回** **【授業テーマ】** 学級経営の進め方(3)
【内容・方法等】 教師のリーダーシップ
【事前・事後学習課題】 テキストpp.74-79
- 第12回** **【授業テーマ】** 生徒指導上の諸問題の理解と対応
【内容・方法等】 生徒指導上の諸問題とは
 最近の諸問題の動向
 諸問題にどう対応するか
【事前・事後学習課題】 生徒指導上の諸問題に関する配布資料
- 第13回** **【授業テーマ】** 進路指導の意義と課題
【内容・方法等】 進路指導の意義と課題
 進路指導に関する諸理論
【事前・事後学習課題】 テキストpp.135-159
- 第14回** **【授業テーマ】** 勤労観・職業観の形成と変容
【内容・方法等】 青少年の勤労観・職業観
 勤労観・職業観の形成と変容
【事前・事後学習課題】 テキストpp.176-195
- 第15回** **【授業テーマ】** 学校教育における進路指導の実践展開
【内容・方法等】 進路指導における「ガイダンスの機能」
 進路指導実践の展開モデル
【事前・事後学習課題】 テキストpp.215-234
- 評価方法(基準)**

定期試験を実施します。その他、中間試験の得点、レポートの内容、受講に係る積極的態度も成績判定の資料とします。

教材等

教科書…高橋超・石井眞治・熊谷信順『生徒指導・進路指導』ミネルヴァ書房 (2,500円+税)
参考書…授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ

生徒指導、進路指導を学ぶ原資になる自らの体験は大事です。さらに自らの体験を対象化して考える習慣をつけましょう。そのために、基礎的な知識をしっかりと身につけてください。授業への遅刻、無断欠席・早退等は厳禁です。生徒指導を行うおとする者としての適格性が問われます。

関連科目

教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教師論」「教育心理学」「特別活動の理論と方法」「教育経営論」に関連する事柄を含みます。

担当者の研究室等

7号館3階 朝日研究室

備考

「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するよう設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしましょう。

教育相談 (カウンセリングの基礎を含む) School Counseling				
吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

教育相談の考え方や進め方についての理解を深め、生徒が成長する過程に生じるさまざまな課題や問題に対処するための援助の考え方や実際、カウンセリングの基礎知識と教育相談の技法を身につけることを目標とする。学校における教育相談に焦点を当て、教師が行う教育相談活動の基本的な考え方や教育相談に必要なスキルを身につけるために、教育相談のもつ今日的な意義を解説し、カウンセリングの基礎知識およびその実践的な手法を紹介する。併せて、「問題」に悩む児童・生徒への実践的な取り組み方を考える。

授業方法と留意点

講義と演習を組み合わせで行う。

科目学習の効果 (資格)

教員免許状取得上必修、免許法施行規則に定められた「生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目」4単位のうち2単位を充足。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目
各科目に含める必要事項：教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 授業内容、授業の進め方、評価基準等について
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 【授業テーマ】 教育相談とは何か
【内容・方法 等】 学校における教育相談とカウンセリング、基本的な考え方、教師としての立場、カウンセリングマインド
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章、第2章を読む
- 第3回 【授業テーマ】 教育相談とスクールカウンセラーの役割の違い
【内容・方法 等】 教育相談とカウンセリングとの違い、教師とカウンセラーとの違い
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章、第2章を読む
- 第4回 【授業テーマ】 カウンセリングの理論と実際
【内容・方法 等】 カウンセリングの基礎、技法、実際
【事前・事後学習課題】 テキスト第2章を読む
- 第5回 【授業テーマ】 さまざまなカウンセリング
【内容・方法 等】 カウンセリングを学校教育に活かすための考え方
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章を読む
- 第6回 【授業テーマ】 校内での協力体制、他機関との連携
【内容・方法 等】 校内での役割分担と協力体制、専門機関との連携とその方法
【事前・事後学習課題】 テキスト第12章、第13章を読む
- 第7回 【授業テーマ】 こころの発達と危機
【内容・方法 等】 発達段階と危機、特に青年期について。
【事前・事後学習課題】 _____
- 第8回 【授業テーマ】 問題の理解と対応
【内容・方法 等】 問題とは何か、その原因・背景と対応
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章を読む

- 第9回 【授業テーマ】 相談援助活動の実際 (1)
【内容・方法 等】 不登校……その理解と対応 (学生グループ発表)
【事前・事後学習課題】 テキスト第5章を読む
- 第10回 【授業テーマ】 相談援助活動の実際 (2)
【内容・方法 等】 いじめ……その理解と対応 (学生グループ発表)
【事前・事後学習課題】 テキスト第6章を読む
- 第11回 【授業テーマ】 相談援助活動の実際 (3)
【内容・方法 等】 学級崩壊……その理解と対応 (学生グループ発表)
【事前・事後学習課題】 テキスト第7章を読む
- 第12回 【授業テーマ】 相談援助活動の実際 (4)
【内容・方法 等】 反社会的行動……その理解と対応 (学生グループ発表)
【事前・事後学習課題】 テキスト第8章を読む
- 第13回 【授業テーマ】 保護者への援助
【内容・方法 等】 「家族」という考え方、保護者への対応、親子関係
【事前・事後学習課題】 テキスト第11章を読む
- 第14回 【授業テーマ】 教員のメンタル・ヘルス
【内容・方法 等】 教員自身が健康であるために、教員への対応
【事前・事後学習課題】 テキスト第14章を読む
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 _____

評価方法 (基準)

グループ発表50% 期末試験50%

教材等

教科書…「学校教育相談」一丸藤太郎・菅野信夫 (編著) ミネルヴァ書房 (2200円)
参考書…授業の中で随時紹介する。

学生へのメッセージ

これまでの学校での「困った」経験を思い出してみてください。

関連科目

教育方法論、生徒指導論、教育心理学、教育社会学など。

担当者の研究室等

7号館3階 (吉田研究室)

教育実習 I Teaching Practice I				
吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	教免取得上 必修	1

授業概要・目的・到達目標

- (1) 教育実習校における実習 (教育実習ⅡまたはⅢ) に必要な教育実践の基本を理解し、教科指導、生徒指導等の実際について有効な指導計画を立案し、授業が効果的に展開できるようにする。(2) 教育実習の実際についての情報を提供する。また、受講者は課題の報告・発表を行う。これらに基づき討議する。
- (3) 教育実習の現状と課題についての認識を深めるとともに、教育実習生としての基本的心がまえについての理解を深める。

授業方法と留意点

演習形式で行う。

科目学習の効果 (資格)

教員免許状取得上必修、免許法施行規則に定められた「教育実習」5単位あるいは3単位のうち1単位を充足。
【免許法施行規則に定める科目区分】
教育実習

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 教育実習の意義
【内容・方法 等】 教育実習の目的と意義、免許制度の概要について
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
- 第2回 【授業テーマ】 教育実習の内容と形態等
【内容・方法 等】 事前準備の必要性、教育実習の心がまえと教育実習の基本となる事項について
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
- 第3回 【授業テーマ】 実習中の勤務の要領
【内容・方法 等】 学校の日、一週間の流れ、学校の組織と運営の概要について
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
- 第4回 【授業テーマ】 授業の記録と評価
【内容・方法 等】 授業と授業研究、評価の観点について
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
- 第5回 【授業テーマ】 授業の方法と技術
【内容・方法 等】 学習指導と教材研究について

- 第6回** 【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
【授業テーマ】 学習指導案の作成（1）
【内容・方法 等】 授業の準備と配慮事項、学習指導案の書き方、教科指導の学習指導案の作成、板書計画
- 第7回** 【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
【授業テーマ】 学習指導案の作成（2）
【内容・方法 等】 学級（ホームルーム）活動等の指導案について。授業の評価とその観点
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
【授業テーマ】 授業分析
【内容・方法 等】 授業分析の意義と方法について
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
【授業テーマ】 模擬授業（1）
【内容・方法 等】 作成した学習指導案に沿った模擬授業、意見交換
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
【授業テーマ】 模擬授業（2）
【内容・方法 等】 作成した学習指導案に沿った模擬授業、意見交換
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
【授業テーマ】 模擬授業（3）
【内容・方法 等】 作成した学習指導案に沿った模擬授業、意見交換
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
【授業テーマ】 模擬授業（4）
【内容・方法 等】 作成した学習指導案に沿った模擬授業、意見交換
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
【授業テーマ】 学校における人権教育
【内容・方法 等】 人権教育の現状と課題について、学校保健と安全指導について
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
【授業テーマ】 特別支援教育の現状と課題
【内容・方法 等】 障害の種類と配慮事項、障害児理解と交流教育について
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____

評価方法（基準）
 課題の提出状況とその内容、模擬授業、期末レポート等によって総合評価を行う。

教材等
教科書…特に指定しない。
参考書…授業の中で随時紹介する。

学生へのメッセージ
 教育実習は、これまで学んできたことの総まとめです。よい実習ができるように、十分に準備してください。

関連科目
 これまで学んだすべての科目

担当者の研究室等
 7号館3階（吉田研究室）

教育実習II Teaching Practice II				
		深川 八郎 (フカガワ ハチロウ)		
		村田 俊明 (ムラタ トシアキ)		
		朝日 素明 (アサヒ モトアキ)		
		吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	教免取得上 選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
 「教育実習II」では、教育実習校において2週間以上の実習を行う。(1)教育実習校において、教科、特別活動、生徒指導などの実習を行う。大学において事前及び事後の指導を行う。(2)事前指導では、教育実習講義と個別指導を行う。(3)教育実習は所定期間内に実習校の指導教諭の下で行う。(4)事後指導では、教育実習体験報告及び反省を行い、指導のまとめとして、総括を行う。
 これらにより学生は、学校教育の実情を理解し、教職に対する自らの適性に気づき、適切な進路を選択できるようになる。

授業方法と留意点
 (1)教育実習校での実習を行う。(2)大学での事前・事後指導は「教育実習IIB」「教育実習III」と合同で行う。(3)事前指導等への積極的参加をもって実習を許可する。実習を許可されない場合があることに留意すること。

科目学習の効果（資格）

- 教員免許取得上選択必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
 教育実習
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 教育実習特別個人指導（4月）
【内容・方法 等】 教育実習予定者のうち、教育実習の履修に特に努力を要すると判断される履修者について行う。
【事前・事後学習課題】 個別の呼び出しに速やかに応じること
- 第2回** 【授業テーマ】 教育実習事前指導（4月～5月）
【内容・方法 等】 教育実習上の心がまえ・諸注意
 教育実習ビデオの視聴
 先輩教師の体験談
 教師の仕事と責任について講義・討論
- 第3回** 【事前・事後学習課題】 申請書類等の記入・提出
【授業テーマ】 教育実習個人指導（4月～5月）
【内容・方法 等】 教科書、教材、指導案の作成などについて、個別の質問にこたえ指導する。
【事前・事後学習課題】 教材・学習指導案を作成して提出（必要者のみ）
- 第4回** 【授業テーマ】 前期教育実習開始（5月～6月）
【内容・方法 等】 実習校において授業を行ったり、クラブ活動の指導を担当するなど、教育活動に携わる。
 実習中、本学教員による訪問指導を行う。
- 第5回** 【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
【授業テーマ】 教育実習体験発表会（6月～7月）
【内容・方法 等】 教育実習終了後、体験発表を行う。発表方法の詳細は、掲示による。
【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出
 使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
- 第6回** 【授業テーマ】 後期教育実習開始（9月～10月）
【内容・方法 等】 後期教育実習予定者の実習を行う。実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
- 第7回** 【授業テーマ】 教育実習体験発表会（10月）
【内容・方法 等】 後期教育実習生について、体験発表を行う。発表方法の詳細については、掲示による。
【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出
 使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
- 第8回** 【授業テーマ】 教育実習総括講義（10月）
【内容・方法 等】 教育実習のまとめとして、その意義を確認する。
【事前・事後学習課題】 教育実習記録の提出
- 第9回** 【授業テーマ】 教育実践指導（1月～3月）
【内容・方法 等】 教員採用選考試験合格者に対する指導を行う。
【事前・事後学習課題】 指示された課題
- 第10回** 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第16回** 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第17回** 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第18回** 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第19回** 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第20回** 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第21回** 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第22回** 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____

- 第23回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第24回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第25回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第26回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第27回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第28回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第29回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第30回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____

評価方法 (基準)

事前指導ならびに事後指導への積極的参加、事後指導における体験発表、実習校での実習成績、及び各種提出物による総合評価を行う。いずれか不十分なものがある場合は、単位を認定しない。

教材等

教科書…撰南大学『教育実習記録』
参考書…中学校・高等学校『学習指導要領』およびその『解説』ほか

学生へのメッセージ

『学生便覧』『教職課程履修ガイド』を必読、その指示を十分に理解しておくこと。

関連科目

教職関連科目全般

担当者の研究室等

7号館3階

備考

中学校教諭免許状取得希望者には、別途、介護等体験が義務化されている。

- 【内容・方法 等】 教育実習上の心がまえ・諸注意
教育実習ビデオの視聴
先輩教師の体験談
教師の仕事と責任について講義・討論
- 第3回 【事前・事後学習課題】 申請書類等の記入・提出
【授業テーマ】 教育実習個人指導 (4月～5月)
【内容・方法 等】 教科書、教材、指導案の作成などについて、個別の質問にこたえ指導する。
【事前・事後学習課題】 教材・学習指導案を作成して提出 (必要な者のみ)
- 第4回 【授業テーマ】 前期教育実習開始 (5月～6月)
【内容・方法 等】 実習校において授業を行ったり、クラブ活動の指導を担当するなど、教育活動に携わる。実習中、本学教員による訪問指導を行う。
- 第5回 【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
【授業テーマ】 教育実習体験発表会 (6月～7月)
【内容・方法 等】 教育実習終了後、体験発表を行う。発表方法の詳細は、掲示による。
- 第6回 【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
【授業テーマ】 後期教育実習開始 (9月～10月)
【内容・方法 等】 後期教育実習予定者の実習を行う。実習中、本学教員による訪問指導を行う。
- 第7回 【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
【授業テーマ】 教育実習体験発表会 (10月)
【内容・方法 等】 後期教育実習生について、体験発表を行う。発表方法の詳細については、掲示による。
- 第8回 【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
【授業テーマ】 教育実習総括講義 (10月)
【内容・方法 等】 教育実習のまとめとして、その意義を確認する。
- 第9回 【事前・事後学習課題】 教育実習記録の提出
【授業テーマ】 教育実践指導 (1月～3月)
【内容・方法 等】 教員採用選考試験合格者に対する指導を行う。
- 【事前・事後学習課題】 指示された課題
- 第10回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第11回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第12回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第13回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第14回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第15回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第16回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第17回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第18回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第19回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第20回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第21回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第22回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第23回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第24回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第25回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____

教育実習III
Teaching Practice III

深 川 八 郎 (フカガワ ハチロウ)
村 田 俊 明 (ムラタ トシアキ)
朝 日 素 明 (アサヒ モトアキ)
吉 田 佐 治 子 (ヨシダ サチコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	教免取得上 選択必修(中 免は必修)	4

授業概要・目的・到達目標

「教育実習Ⅲ」では、教育実習校において4週間以上の実習を行う。(1)教育実習校において、教科、特別活動、生徒指導などの実習を行う。大学において事前及び事後の指導を行う。(2)事前指導では、教育実習講義と個別指導を行う。(3)教育実習は所定期間内に実習校の指導教諭の下で行う。(4)事後指導では、教育実習体験報告及び反省を行い、指導のまとめとして、総括を行う。

これらにより学生は、学校教育の実情を理解し、教職に対する自らの適性に気づき、適切な進路を選択できるようになる。

授業方法と留意点

(1)教育実習校での実習を行う。(2)大学での事前・事後指導は「教育実習Ⅱ」「教育実習ⅡB」と合同で行う。(3)事前指導等への積極的参加をもって実習を許可する。実習を許可されない場合があることに留意すること。

科目学習の効果 (資格)

教員免許取得上選択必修

【免許法施行規則に定める科目区分】

教育実習

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 教育実習特別個人指導 (4月)
【内容・方法 等】 教育実習予定者のうち、教育実習の履修に特に努力を要すると判断される履修者について行う。
【事前・事後学習課題】 個別の呼び出しに速やかに応じること
- 第2回 【授業テーマ】 教育実習事前指導 (4月～5月)

- 第26回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第27回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第28回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第29回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第30回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____

評価方法 (基準)
事前指導ならびに事後指導への積極的参加、事後指導における体験発表、実習校での実習成績、及び各種提出物による総合評価を行う。いずれか不十分なものは、単位を認定しない。

教材等
教科書… 摂南大学『教育実習記録』
参考書… 中学校・高等学校『学習指導要領』およびその「解説」ほか

学生へのメッセージ
『学生便覧』『教職課程履修ガイド』を必読、その指示を十分に理解しておくこと。

関連科目
教職関連科目全般

担当者の研究室等
7号館3階

備考
中学校教諭免許状取得希望者には、別途、介護等体験が義務化されている。

- 第6回 **【事前・事後学習課題】** 課題レポート
【授業テーマ】 生きる力(1)
【内容・方法 等】 近接校種等の総合的な学習の時間における教育のあり方を学び、先進的な実践校の内容と、その分析をおこなう。
- 第7回 **【事前・事後学習課題】** 課題レポート
【授業テーマ】 生きる力(2)
【内容・方法 等】 教授法・学習理論をメタ学習・数学教育の観点から教育の現場で役立つ力とする。
- 第8回 **【事前・事後学習課題】** 課題レポート
【授業テーマ】 学級崩壊・学力崩壊
【内容・方法 等】 近接校種の教育の現場の状況を知り、各自の目指す校種に至るまでの現状を知る。特に小学校低学年における学級崩壊の実状を考察して、各自の教育観をたてる。

- 第9回 **【事前・事後学習課題】** 課題レポート
【授業テーマ】 学習指導要領(1)
【内容・方法 等】 学習指導要領制定の経緯、変遷の経過に、それぞれの時代の求められた教育観がいかに反映されたかを学ぶ。

- 第10回 **【事前・事後学習課題】** 課題レポート
【授業テーマ】 学習指導要領(2)
【内容・方法 等】 高等学校の学習指導要領について学び、その目標や内容について知り、教科書の分析法や、授業・指導の組織化の方法について学ぶ。

- 第11回 **【事前・事後学習課題】** 課題レポート
【授業テーマ】 数学科教授計画
【内容・方法 等】 授業の設計法を体系的に学ぶ。目標の分析法や、授業・指導の組織化の方法について学び、その知識を援用して学習指導案にまとめる。

- 第12回 **【事前・事後学習課題】** 課題レポート
【授業テーマ】 マイクロティーチングの方法
【内容・方法 等】 教育機器と教授メディア、教授メディアの発展と現状、チャート・カード・OHPなどの活用

- 第13回 **【事前・事後学習課題】** 課題レポート
【授業テーマ】 マイクロティーチング(プレゼンテーション)・グループ学習(1)
【内容・方法 等】 各自の求める数学教育について、「15分間のマイクロティーチング」にまとめ、実践する。

- 第14回 **【事前・事後学習課題】** 課題レポート
【授業テーマ】 マイクロティーチング(プレゼンテーション)・グループ学習(2)
【内容・方法 等】 グループ員各々のマイクロティーチングを「学ぶものの立場」、「同僚(教えるもの)としての立場」で相互評価し、「教えるもの」としての自己評価を加えて総合的にまとめる。

- 第15回 **【事前・事後学習課題】** 課題レポート
【授業テーマ】 マイクロティーチング(プレゼンテーション)・グループ学習(3)
【内容・方法 等】 マイクロティーチングの相互評価と自己評価の発表と検討により、自己の教育力・評価力育成のための方法を体得する。

【事前・事後学習課題】 課題レポート

評価方法 (基準)
バズ式セッションを中心に展開(グループ員との連携が必須・特に欠席時)。マイクロティーチング(模擬授業)は必須。レポートの提出を求める。マイクロティーチングと評価のまとめで50%、レポートと日常学習状況(出席状況を含む)の評価が50%とする。

教材等
教科書… 中学校学習指導要領解説-数学編、高等学校学習指導要領解説-総則編、高等学校学習指導要領解説-数学編・理数編各200円程度

学生へのメッセージ
将来教員をめざす学生の切磋琢磨の場として、プレゼンテーション能力の育成をはかり、グループを中心に、新しい教材開発など積極的な活動を求める。

関連科目
本科目を学ぶまでに開講されている他の教職関連科目、一般教養科目を予め履修しておくことが望ましい。

担当者の研究室等
3号館3階

数学科教育法I Method of Mathematics Teaching I				
寺本 恵 昭 (テラモト ヨシアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	「数学」教免 取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標
数学科教育法Iでは、高等学校数学科教員を目指す学生の意識を高め、実際に教育を担当できうるための基礎的な実践能力の育成をめざす。「カリキュラム・教育目標・目的・方法・内容・評価・教授及び学習に関する理論」をとらえ、数学教育における教育の方法や技術の修得に重点を置く。また、問題発見力と解決のための「情報活用法」を体得するべく、グループ学習を重視し、マイクロティーチング・プレゼンテーションをとおして「教えるもの」と「学ぶもの」の相互の立場を経験し、自己の教育観・教育力の基礎的基盤の確立を目指す。

授業方法と留意点
グループ学習・活動で実施する。自らが発見した課題に積極的に取り組むことにより学ぶ「メタ学習」を根本におく。レポートの提出を求める。ビデオ、教材提示装置等視聴覚器材を用いて講義を進める。

科目学習の効果 (資格)
「創造型人材育成教育(数学教育)を実践しうる教育者」となるための基礎・基本の確立ができる。(高等学校一種免許(数学))

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 **【授業テーマ】** 本授業のねらいと展開
【内容・方法 等】 本教科科目の内容、特徴、学び方、ガイダンス、全体の展望、学習の進め方
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第2回 **【授業テーマ】** 教育と評価(1)
【内容・方法 等】 「評価」観の変遷から新しい「学力」観におけるメタ認知・メタ学習における評価について考える。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第3回 **【授業テーマ】** 教育と評価(2)
【内容・方法 等】 教育における指導と評価を一体化させる方法を考え、「教育改善のための評価法」に統合する。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第4回 **【授業テーマ】** 数学教育の目的と目標
【内容・方法 等】 教授の概念を学び、教授論の歴史的展開から教授メディアの発展及び学習理論について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第5回 **【授業テーマ】** 新しい学力観
【内容・方法 等】 数学的な見方・考え方に関わる教授法に関する知識を、学習理論に結びつけ、新しい「学力」観につ

数学科教育法II Method of Mathematics Teaching II				
小林 俊 公 (コバヤシ トシマサ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	「数学」教免 取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

数学科教育法 II では、高等学校数学科教員を目指す学生が実際に教育を担当できるようにするための基盤となる実践力の育成をめざす。数学科教育法 I でまとめあげた各自の「教える立場に立ったときの心構え・知識」と、体験したマイクロティーチングを礎にして、生きる力を知的な側面から支える「確かな学力」を育成し、生徒の学習意欲をため、自ら学び自ら考える力などを育成できるプロジェクトをたて、教育コースウェアを研究・開発し、バズ式セッション・グループ活動・他者評価・自己評価、相互評価などで実践的な学びを展開する。学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点

学ぶ意欲を維持し自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決し、プレゼンテーションする資質や能力の涵養

科目学習の効果（資格）

「創造型人材育成教育（数学教育）を実践しうる教育者」となるための基盤力が涵養できる。（高等学校一種免許（数学））

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項：各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 本授業のねらいと展開
【内容・方法等】 本教科科目の内容、特徴、学び方、ガイダンス、全体の展望、学習の進め方
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第2回** 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(1)
【内容・方法等】 高等学校教科「数学」や専門教科「理数」において、生徒の学習意欲をため、生きる力を支える「確かな学力」について考える。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第3回** 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(2)
【内容・方法等】 「生徒が数学的な見方・考え方が好きだと思ふこと」とは、また「授業以外に学ぶ習慣を体得できる種々の方策」とはについて考える。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第4回** 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(3)
【内容・方法等】 「生活の中での数学の有効性を体験し論理的に考える態度の育成」とは、また「人やものに関わる力をためるための体験」とはどのようなものであるかを考える。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第5回** 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(4)
【内容・方法等】 身近な事象から、どのような数学的知識がひきだされているか具体例を挙げ、数学的思考の構成過程を振り返って、当初の事象にどのように活用されているかを考える。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第6回** 【授業テーマ】 高等学校の数学教育開発プロジェクト(1)
【内容・方法等】 高等学校普通教科数学「I・II・III, A, B, C, 数学活用」や専門科目「理数」の各々について、その理念と意義及び目標・内容について理解する。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第7回** 【授業テーマ】 高等学校の数学教育開発プロジェクト(2)
【内容・方法等】 理解の過程で各自が持った問題意識でテーマをたて「自分が求める数学教育」を設定し、各自のたてた学力観から教授モデルや評価のあり方についてさらに考えをすすめる。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第8回** 【授業テーマ】 高等学校の数学教育開発プロジェクト(3)
【内容・方法等】 自ら学び自ら考える力や表現力を身につけさせることができる「各自のおこないたい教育コースウェア」を開発するプロジェクトを考察する。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第9回** 【授業テーマ】 高等学校の数学教育開発プロジェクト(4)
【内容・方法等】 教育目標・目的、内容・方法、評価について考え、教育課程、年間指導計画、単元計画、本時の学習についての学習指導案・学習指導細案・ワークシート・板書計画・評価法をまとめ上げる。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第10回** 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(1)
【内容・方法等】 グループ活動として、各自の開発した教育コースウェアについてバズ式セッションで討議する。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第11回** 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(2)
【内容・方法等】 討議の結果をフィードバックして各自の考えた教育コースウェアを修正し、「50分間の模擬授業」をおこなう。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第12回** 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(3)
【内容・方法等】 各自の考えた「評価規準」「評価基準」「ルーブリック」等で評価をおこない、観点別評価を実践する。
【事前・事後学習課題】 課題レポート

- 第13回** 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(4)
【内容・方法等】 実践により各々のプロジェクト型問題解決学習を完結し、ひとりひとりの「Plan-Do-Check-Actionのサイクル」をシステムティックに組み上げる。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第14回** 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(5)
【内容・方法等】 教育者としての基盤を確立し、自己の教育力（授業改善力・評価力等）育成のための方法を体得する。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 高等学校教科「数学」の学習指導要領について体系的な知識を身につけ、「生きる力」や「確かな学力」について考えをまとめ、各自の「学力観」を立てる。
【事前・事後学習課題】 課題レポート

評価方法（基準）

マイクロティーチング(模擬授業)は必須。授業への参画（出席状況、受講態度、平常点）、課題提出、課題解決の経過等の日常学習状況(出席状況を含む)の評価が50%、マイクロティーチングと評価のまとめで50%とする。

教材等

教科書…中学校学習指導要領解説－数学編、高等学校学習指導要領解説－総則編、数学編・理数編各200円程度
参考書…「観点別評価実践事例集」図書文化（2415円）

学生へのメッセージ

生徒の自己実現を支援する高等学校数学科の教員を目指すという目的意識を持ち、常に問題を発見し問題解決・課題解決に情熱を傾け、日々の課題を着実に解決し、自ら継続的に問題（課題）解決のための取り組みを日常的におこなう学生の受講を希望する。

関連科目

本科目を学ぶまでに数学科教育法 I を履修すること。他の教職関連科目、一般教養科目なども予め履修しておくことが望ましい。

担当者の研究室等

3号館3階 数学研究室

数学科教育法III Method of Mathematics Teaching III				
大西慶一(オオニシ ケイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	「数学」教員 取得上必修 (中免のみ)	2

授業概要・目的・到達目標

数学科教育法 III では、中学校数学科教員を目指す学生の意識を高め、実際に教育を担当できるようにするための基礎的な実践能力の育成をめざす。中学生の実態を捉え、「カリキュラム・教育目標・目的・方法・内容・評価・教授及び学習に関する理論」に関する知識を展開し、数学教育における教育の方法や技術の修得に重点を置く。また、問題発見力と解決のための「情報活用法」を体得するべく、グループ学習を重視し、マイクロティーチング・プレゼンテーションをとおして「教えるもの」と「学ぶもの」の相互の立場を経験し、自己の教育観・教育力の基礎的基盤の確立を目指す。また、校種間の連携として小学校・高等学校の指導要領についてもふ。学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点

グループ学習・活動で実施する。自らが発見した課題に積極的に取り組むことにより学ぶ「メタ学習」を根本におく。レポートの提出を求める。ビデオ、教材提示装置等視覚聴覚器材を用いて講義を進める。

科目学習の効果（資格）

「創造型人材育成教育（数学教育）を実践しうる教育者」となるための基礎・基本の確立ができる。（中学校一種免許（数学））

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項：各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 本授業のねらいと展開
【内容・方法等】 本教科科目の内容、特徴、学び方、ガイダンス、全体の展望、学習の進め方
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第2回** 【授業テーマ】 中学校数学教育の歴史(1)
【内容・方法等】 中学校運営全体の中で、数学教育体制がどのように始められ変遷してきたかを学ぶ。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第3回** 【授業テーマ】 中学校数学教育の歴史(2)
【内容・方法等】 中学校数学教育でなにが教えられてきたか、教科内容の取捨選択がいかに行われてきたかを学ぶ。
【事前・事後学習課題】 課題レポート

- 第4回** 【授業テーマ】 算数教育から数学教育へ(1)
【内容・方法 等】 小学校算数教育の内容の変遷を通じて、小中の算数数学教育の連携がどのように考えられてきたか学ぶ。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第5回** 【授業テーマ】 算数教育から数学教育へ(2)
【内容・方法 等】 現行算数教育と数学教育の間にどのような問題があるのか、その課題といかに改善すべきか考える。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第6回** 【授業テーマ】 数学教育の目的と目標
【内容・方法 等】 近接校種の教育の現場の状況を知り、各自の目指す校種に至るまでの現状を知る。特に小学校低学年における学級崩壊の実状を考察して、各自の教育観をたてる。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第7回** 【授業テーマ】 学級崩壊・学力崩壊
【内容・方法 等】 近接校種の教育の現場の状況を知り、各自の目指す校種に至るまでの現状を知る。特に小学校低学年における学級崩壊の実状を考察して、各自の教育観をたてる。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第8回** 【授業テーマ】 生きる力(1)
【内容・方法 等】 近接校種等の総合的な学習の時間における教育のあり方を学び、先進的な実践校の内容と、その分析をおこなう。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第9回** 【授業テーマ】 生きる力(2)
【内容・方法 等】 教授法・学習理論をメタ学習・数学教育の観点から教育の現場で役立つ力とする。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第10回** 【授業テーマ】 学習指導要領
【内容・方法 等】 中学校の学習指導要領について学び、その目標や内容について知り、教科書の分析法や、授業・指導の組織化の方法について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第11回** 【授業テーマ】 数学科教授計画
【内容・方法 等】 授業の設計法を体系的に学ぶ。目標の分析法や、授業・指導の組織化の方法について学び、その知識を援用して学習指導案にまとめる。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第12回** 【授業テーマ】 マイクロティーチングの方法
【内容・方法 等】 教育機器と教授メディア、教授メディアの発展と現状、チャート・カード・OHPなどの活用
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第13回** 【授業テーマ】 マイクロティーチング(プレゼンテーション)・グループ学習(1)
【内容・方法 等】 各自の求める数学教育について、「15分間のマイクロティーチング」にまとめ、実践する。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第14回** 【授業テーマ】 マイクロティーチング(プレゼンテーション)・グループ学習(2)
【内容・方法 等】 グループ員各々のマイクロティーチングを「学ぶものの立場」、「同僚(教えるもの)としての立場」で相互評価し、「教えるもの」としての自己評価を加えて総合的にまとめる。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第15回** 【授業テーマ】 マイクロティーチング(プレゼンテーション)・グループ学習(3)
【内容・方法 等】 マイクロティーチングの相互評価と自己評価の発表と検討により、自己の教育力・評価力育成のための方法を体得する。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 評価方法(基準)**
バズ式セッションを中心に展開(グループ員との連携が必須・特に欠席時)。マイクロティーチング(模擬授業)は必須。レポートの提出を求める。マイクロティーチングと評価のまとめで50%、レポートと日常学習状況(出席状況を含む)の評価が50%とする。
- 教材等**
教科書…「中学校数学の教材開発・授業プラン1年」学事出版2520円、中学校学習指導要領解説-数学編、小学校学習指導要領解説-算数編、高等学校学習指導要領-数学編 各200円程度
参考書…「中学数学の教材開発・授業プラン2年」学事出版2520円程度
- 学生へのメッセージ**
将来教員をめざす学生の切磋琢磨の場として、プレゼンテーション能力の育成をはかり、グループを中心に、新しい教材開発など積極的な活動を求める。
- 関連科目**
本科目を学ぶまでに開講されている他の教職関連科目、一般教養科目を予め履修しておくことが望ましい。
- 担当者の研究室等**
当該講義内での対応が中心となります。

数学科教育法IV Method of Mathematics Teaching IV				
大西 慶一(オオニシ ケイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	「数学」教免 取得上必修 (中免のみ)	2

- 授業概要・目的・到達目標**
数学科教育法IVでは、中学校数学科教員を目指す学生が実際に教育を担当できるようにするための基盤となる実践力の育成をめざす。数学科教育法I、II、IIIでまとめあげた各自の「教える立場に立ったときの心構え・知識」と、体験したマイクロティーチングを礎にして、生きる力を知的な側面から支える「確かな学力」を育成するための教育コースウェアを研究・開発する。バズ式セッション・グループ活動を学習形態に取り入れ、生徒の学習意欲をたかめ、自ら学び自ら考える力を育てるという課題を持ってプロジェクトをたてる。各自がたてた課題解決プロジェクトを互いに他者評価し、自己評価して実践的な学びを展開する。学科の学習・教育目標との対応：[C]
- 授業方法と留意点**
学ぶ意欲を維持し自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決し、プレゼンテーションする資質や能力の涵養
- 科目学習の効果(資格)**
「創造型人材育成教育(数学教育)を実践しうる教育者」となるための基盤力が涵養できる。(中学校一種免許(数学))
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育課程及び指導法に関する科目
各科目に含める必要事項：各教科の指導法
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 本授業のねらいと展開
【内容・方法 等】 本教科科目の内容、特徴、学び方、ガイダンス、全体の展望、学習の進め方
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第2回** 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(1)
【内容・方法 等】 中学校教科「数学」において、生徒の学習意欲をたかめ、生きる力を支える「確かな学力」について考える。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第3回** 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(2)
【内容・方法 等】 「生徒が数学的な見方・考え方が好きだと思ふこと」とは、また「授業以外に学ぶ習慣を体得できる種々の方策」とはについて考える。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第4回** 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(3)
【内容・方法 等】 「生活の中での数学の有効性を体験し論理的に考える態度の育成」とは、また「人やものに関わる力をたかめるための体験」とはどのようなものであるかを考える。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第5回** 【授業テーマ】 中学校の数学教育開発プロジェクト(1)
【内容・方法 等】 教育目標・目的、内容・方法、評価について考え、教育課程、年間指導計画、単元計画、本時の学習についての学習指導案・学習指導細案・ワークシート・板書計画・評価法をまとめ上げる。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第6回** 【授業テーマ】 中学校の数学教育開発プロジェクト(2)
【内容・方法 等】 理解の過程で各自が持った問題意識でテーマをたて「自分が求める数学教育」を設定し、各自のたてた学力観から教授モデルや評価のあり方についてさらに考えをすすめる。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第7回** 【授業テーマ】 中学校の数学教育開発プロジェクト(3)
【内容・方法 等】 第1学年での数学教科について、その理念と意義及び目標・内容について理解する。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第8回** 【授業テーマ】 中学校の数学教育開発プロジェクト(4)
【内容・方法 等】 第2学年での数学教科について、その理念と意義及び目標・内容について理解する。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第9回** 【授業テーマ】 中学校の数学教育開発プロジェクト(5)
【内容・方法 等】 第3学年での数学教科について、その理念と意義及び目標・内容について理解する。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第10回** 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(1)
【内容・方法 等】 グループ活動として、各自の開発した教育コースウェアについてバズ式セッションで討議する。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第11回** 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(2)
【内容・方法 等】 討議の結果をフィードバックして各自の考

えた教育コースウェアを修正し、「50分間の模擬授業」をおこなう。

- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第12回 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(3)
【内容・方法等】 各自の考えた「評価規準」「評価基準」「ルーブリック」等で評価をおこない、観点別評価を実践する。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第13回 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(4)
【内容・方法等】 実践により各々のプロジェクト型問題解決学習を完結し、ひとりひとりの「Plan-Do-Check-Actionのサイクル」をシステマティックに組み上げる。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第14回 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(5)
【内容・方法等】 教育者としての基盤を確立し、自己の教育力（授業改善力・評価力等）育成のための方法を体得する。
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 高等学校教科「数学」の学習指導要領について体系的な知識を身につけ、「生きる力」や「確かな学力」について考えをまとめ、各自の「学力観」を立てる。
【事前・事後学習課題】 課題レポート

評価方法（基準）

マイクロティーチング(模擬授業)は必須。授業への参画（出席状況、受講態度、平常点）、課題提出、課題解決の経過等の日常学習状況(出席状況を含む)の評価が50%、マイクロティーチングと評価のまとめで50%とする。

教材等

教科書…「中学校数学の教材開発・授業プラン2年」学事出版2520円、中学校学習指導要領解説－数学編、小学校学習指導要領解説－算数、高等学校学習指導要領－数学編 各200円程度
参考書…「中学数学の教材開発・授業プラン1年」学事出版2520円程度

学生へのメッセージ

生徒の自己実現を支援する中学校数学科の教員を目指すという目的意識を持ち、常に問題を発見し、問題解決・課題解決に情熱を傾け、日々の課題を着実に解決し、自ら継続的に問題（課題）解決のための取り組みを日常的におこなう学生の受講を希望する。

関連科目

本科目を学ぶまでに数学科教育法Ⅲを履修すること。他の教職関連科目、一般教養科目なども予め履修しておくことが望ましい。

担当者の研究室等

当該講義内での対応が中心となります。

工業科教育法 I Engineering Education I				
倉田光雄(クラタ ミツオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	「工業」教免 取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

工業科教育法Ⅰでは、工業教育の意義・目標や教育関連法規、歴史と現状などについて説明します。到達目標は工業高等学校における技術教育を行うための必要な基礎的知識を修得する事が目標です。工業科教育法Ⅱでは、学習指導の実際について、学習指導計画の作成から授業の進め方と成績評価、授業改善について学び、進路指導や学校運営についても学びます。到達目標は工業高等学校における技術教育を行うための必要な基礎的知識を修得することが目標です。

授業方法と留意点

教科書中心で行い、随時にプリントの配布、教材掲示装置、プロジェクターも使用します。

科目学習の効果（資格）

工業高等学校の教員1種免許を得るために必要です。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項：各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 工業教育の意義・歴史・法令関係<工業教育の意義・役割・目標・内容>
【内容・方法等】 工業教育の役割について、適正年齢などに基き説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第2回 【授業テーマ】 工業教育の意義・歴史・法令関係<工業教育の意義・役割・目標・内容>
【内容・方法等】 工業教育の目標やその内容を取り扱う。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第3回 【授業テーマ】 工業教育の意義・歴史・法令関係<教育関係法令>

【内容・方法等】 教育関係法令の種類と法令のおもな部分を取り扱う。

- 第4回 【事前・事後学習課題】 教科書による予習
【授業テーマ】 工業教育の意義・歴史・法令関係<工業高校発展の歴史と現状>
【内容・方法等】 日本の工業高校発展の明治以来の歴史と現在の状況について取り扱う。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第5回 【授業テーマ】 工業教育の意義・歴史・法令関係<工業高校発展の歴史と現状>
【内容・方法等】 数種類の工業高校発展の具体例を挙げて歴史について考える。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第6回 【授業テーマ】 外国の技術・工業教育の紹介
【内容・方法等】 外国の技術・工業教育の具体例を紹介する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第7回 【授業テーマ】 教科・工業の内容関係<教科・工業の共通科目>
【内容・方法等】 教科・工業の共通科目の考え方とねらいについて説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第8回 【授業テーマ】 教科・工業の内容関係<教科・工業の共通科目>
【内容・方法等】 教科・工業の共通科目の課題研究について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第9回 【授業テーマ】 教科・工業の内容関係<専門学校などの工業教育について>
【内容・方法等】 専門学校などの工業教育の内容について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第10回 【授業テーマ】 教科・工業の内容関係<工業科の主な学課の実験・実習の内容紹介>
【内容・方法等】 工業科の主な学科の実験・実習を紹介する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第11回 【授業テーマ】 教科・工業の内容関係<工業科の主な学科の実験・実習の内容紹介>
【内容・方法等】 工業科の主な学科の実験・実習について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第12回 【授業テーマ】 教科・工業の内容関係<実践的工業教育>
【内容・方法等】 就業体験学習の指導計画、就業資格について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第13回 【授業テーマ】 教科・工業の内容関係<実践的工業教育>
【内容・方法等】 実践的工業教育の活動計画・実際・展開などについて具体例を紹介する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第14回 【授業テーマ】 教育課程・授業設計・教育評価・教育実習関係<教育課程の編成から単元の計画まで>
【内容・方法等】 教育課程の意義・目標・役割などについて説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第15回 【授業テーマ】 教育課程・授業設計・教育評価・教育実習関係<教育課程の編成から単元計画までの手順や配慮事項について説明する。>
【事前・事後学習課題】 教科書による予習

評価方法（基準）

試験成績、レポートの成績と毎回の平常点により総合判断する。

教材等

教科書…「新しい観点と実践に基づく 工業科教育法の研究」、池森慈、佐藤弘幸、中村豊久、実教出版、2006年、(2,000円税別)

参考書…参考書・参考資料等 高等学校学習指導要領解説・工業編

学生へのメッセージ

工業科教育関係に必要な科目です。

関連科目

特になし

担当者の研究室等

1号館3階 倉田教授室

備考

なし

工業科教育法II
Engineering Education II

倉田 光雄 (クラタ ミツオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	「工業」教免 取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

工業科教育法Iでは、教育の意義・目標や教育関連法規、歴史と現状などについて説明します。到達目標は工業高等学校における技術教育を行うための必要な基礎的知識を修得する事が目標です。工業科教育法IIでは、学習指導の実際について、学習指導計画の作成から授業の進め方と成績評価、授業改善について学び、進路指導や学校運営についても学びます。到達目標は工業高等学校における技術教育を行うための必要な基礎的知識を修得することが目標です。

授業方法と留意点

教科書中心で行い、随時にプリントの配布、教材掲示装置、プロジェクターも使用します。

科目学習の効果（資格）

工業高等学校の教員1種免許を得るために必要です。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項：各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 "教育課程・授業設計・教育評価・教育実習関係<授業設計学習指導案授業改善および教育実習>"
【内容・方法等】 授業構造や学習指導案について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第2回** 【授業テーマ】 "教育課程・授業設計・教育評価・教育実習関係<授業設計学習指導案授業改善および教育実習>"
【内容・方法等】 授業改善および教育実習について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第3回** 【授業テーマ】 教育課程・授業設計・教育評価・教育実習関係<教育評価>
【内容・方法等】 新しい学力観に基づく教育評価などについて説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第4回** 【授業テーマ】 教育課程・授業設計・教育評価・教育実習関係<教育評価>
【内容・方法等】 評価・認定の実例を説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第5回** 【授業テーマ】 学習理論関係<学習と授業理論>
【内容・方法等】 学習と授業理論の歴史的展開を説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第6回** 【授業テーマ】 学習理論関係<学習と授業理論>
【内容・方法等】 授業の方法や形態について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第7回** 【授業テーマ】 学習理論関係<自作教具の勧め>
【内容・方法等】 教具の種類と具体例について説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第8回** 【授業テーマ】 模擬授業と評価および意見交換（導入を中心に）
【内容・方法等】 模擬授業と評価および意見交換（導入を中心に）
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第9回** 【授業テーマ】 模擬授業と評価および意見交換（展開を中心に）
【内容・方法等】 模擬授業と評価および意見交換（展開を中心に）
【事前・事後学習課題】 模擬授業と評価および意見交換（展開を中心に）
- 第10回** 【授業テーマ】 模擬授業と評価および意見交換（まとめ）
【内容・方法等】 模擬授業と評価および意見交換（まとめ）
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第11回** 【授業テーマ】 進路指導・学校運営・工業高校の展望<工業教育と進路指導>
【内容・方法等】 工業教育と進路指導を説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第12回** 【授業テーマ】 進路指導・学校運営・工業高校の展望<工業教育と進路指導>
【内容・方法等】 工業教育と進路指導の具体例を紹介する。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第13回** 【授業テーマ】 進路指導・学校運営・工業高校の展望<学校運営と教員研修>
【内容・方法等】 学校運営と教育力向上への取り組み。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第14回** 【授業テーマ】 進路指導・学校運営・工業高校の展望<工業高校の展望>
【内容・方法等】 工業教育の現状と今後の発展について取り扱う。
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第15回** 【授業テーマ】 創造性教育課題研究
【内容・方法等】 問題解決学習について説明する。

【事前・事後学習課題】 教科書による予習

評価方法（基準）

試験成績、レポートの成績と毎回の平常点により総合判断する。

教材等

教科書…"「新しい観点と実践に基づく 工業科教育法の研究」、池森慈、佐藤弘幸、中村豊久、実教出版、2006年、(2,000円税別)

参考書…参考書・参考資料等 高等学校学習指導要領解説・工業編

学生へのメッセージ

工業科教育関係に必要な科目です。

関連科目

特になし

担当者の研究室等

1号館3階 倉田教授室

備考

なし

教職実践演習（中・高）

Practicum in Prospective Teachers

深川 八郎 (フカガワ ハチロウ)

村田 俊明 (ムラタ トシアキ)

朝日 素明 (アサヒ モトアキ)

吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		後期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

- 教育実習を終え、各自の問題点を明確化しながら今後の自らの実践課題をグループワーク等を通して再認識し、教員としての適性や実践的な力量について確認する。
- 中学・高校での現場体験学習を基に、現職・元教員、教育委員会指導主事等と研究交流し、生徒理解を通して生徒指導・進路指導ができることを確認する。
- 教科に関する科目の担当者や科目の指導主事・現職教員と連携協議し、専門科目・教職科目の学習を深め、授業実践ができることを確認する。
- 教員としての適性や力量、特に「授業を創造する意欲と能力」「対人関係能力と社会性・協調性」「使命感・責任感」「学校教育活動におけるリーダーシップ」等を有していることを確認する。

授業方法と留意点

- 教職課程の専任教員4名による全体指導と、各専任教員毎のグループ学習を中心に進める。1グループは15~20名。さらに、長年の実践経験を有する教員から実践を通して見えてくる学校現場の諸課題を知り、自己の実習経験と重ねる中で、新たな課題を探り、かつ全体でも共有していく。
- 大学の教科に関する科目の担当者・指導主事・現職教員と連絡協議し、教科指導・生徒指導・進路指導等ができることを確認していく。

科目学習の効果（資格）

- 教職実践演習は、当該演習を履修する者の教科に関する科目及び教職に関する科目（教職実践演習を除く。）の履修状況を踏まえ、教員として必要な知識技能を修得したことを確認するもの。
- 2013年度から4年次後期の教職課程の必修科目。免許資格取得と同時に即学校現場で生かせる実践力を身に付けることが求められる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 「教職実践演習」のガイダンス
【内容・方法等】 ・科目の目的、内容方法についての確認
・各自の教育実習後の課題についての確認
・3回以降のグループ学習の各課題の確認
【事前・事後学習課題】 ・教育実習ノートの点検と再確認
- 第2回** 【授業テーマ】 専攻科目に於ける実践上の課題
【内容・方法等】 ・専攻科目ごとに分かれ、その科目の専門分野に関する個々の課題について教科担当教員が指導。
【事前・事後学習課題】 ・専攻教科における分野ごとの課題を整理
- 第3回** 【授業テーマ】 専攻科目に於ける実践上の課題
【内容・方法等】 ・専攻科目ごとに分かれ、その科目の専門分野と実践上の課題について、教科担当教員が指導。その上で、研究交流する。
【事前・事後学習課題】 ・専攻教科における分野ごとの課題を整理
- 第4回** 【授業テーマ】 生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)
【内容・方法等】 地元市教委との連携協力を基に、中学校現場を全体で参観し、生徒指導・進路指導上の実践課題を知る。
【事前・事後学習課題】 中学生における集団づくりと個別指導(生徒指導・進路指導のあり方)についてレポートにまとめる

教職科目

- 第5回** 【授業テーマ】 生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)
 【内容・方法 等】 地元市教委との連携協力を基に、中学校現場をグループ毎に参観し、生徒指導上の実践課題を知る。その上で、「生徒理解」を目指した研究協議を行う。
 【事前・事後学習課題】 中学生における集団づくりと個別指導(生徒指導のあり方)についてレポートにまとめる
- 第6回** 【授業テーマ】 生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)
 【内容・方法 等】 地元市教委との連携協力を基に、中学校現場をグループ毎に参観し、進路指導上の実践課題を知る。その上で研究協議を行う。
 【事前・事後学習課題】 中学生における集団づくりと個別指導(進路指導のあり方)についてレポートにまとめる
- 第7回** 【授業テーマ】 学級集団づくりと生徒指導・進路指導の課題
 【内容・方法 等】 ・学級経営の重要性と困難性を確認しながら、個別指導について生徒指導・進路指導の事例を基に考える(グループワーク)
 【事前・事後学習課題】 教員のマネジメント能力や「学級崩壊」の危険性についてレポートにまとめる
- 第8回** 【授業テーマ】 進路指導
 【内容・方法 等】 ・進路指導・生徒指導上の教師の行うカウンセリングマインドについて考える
 ビデオ「教師の行うカウンセリングマインド」
 【事前・事後学習課題】 特に中学生における進路指導のあり方についてレポートにまとめる
- 第9回** 【授業テーマ】 カウンセリングマインドと生徒対応
 【内容・方法 等】 カウンセリングの技法を生徒への対応、保護者への対応に応用する(ロールプレイ)
 【事前・事後学習課題】 (事前) カウンセリングマインドについての復習
 (事後) 小レポート
- 第10回** 【授業テーマ】 「自分」を知る
 【内容・方法 等】 教育職における「自己を知る」ことの重要性を知り、そのための1方法としてのエゴグラム作成を行う
 【事前・事後学習課題】 (事前)「自分」について考える
 (事後) 小レポート
- 第11回** 【授業テーマ】 いじめの現状
 【内容・方法 等】 問題行動のなかから特に「いじめ」を取り上げ、その多様性、メカニズム、深刻さを理解する。配布資料の事前学習に基づき、グループワークを行う。
 【事前・事後学習課題】 (事前)配布資料の熟読
 (事後)小レポートの提出
- 第12回** 【授業テーマ】 いじめ問題への取り組み
 【内容・方法 等】 日常の些細な出来事がどのように「いじめ」に発展するのか、教師がいじめを見抜くのはどうして困難なのかを考える。配布資料の事前学習に基づき、グループワークを行う。
 【事前・事後学習課題】 (事前)配布資料の熟読
 (事後)小レポートの提出
- 第13回** 【授業テーマ】 教育実習と「道徳」の授業について一課題の確認
 【内容・方法 等】 教育実習体験発表レジュメ等に基づく発表と討論
 ー教育実習における「道徳」指導について考えたことを話し合うー
 【事前・事後学習課題】 事前：教育実習における「道徳」指導についての経験をまとめてくる。
 事後：話し合いから学んだことをまとめる。
- 第14回** 【授業テーマ】 「道徳」の模擬授業と授業検討
 ー「道徳」授業のポイント確認ー
 【内容・方法 等】 受講生による模擬授業と全体討論を通して、「道徳」の授業を検討する。
 【事前・事後学習課題】 事前：代表者による模擬授業(30分)の実施準備を行う。
 事後：模擬授業の検討・評価を通して、「道徳」の授業観をもつ。
- 第15回** 【授業テーマ】 授業改革と人権教育(元校長との研究交流)
 総括レポートの作成
 【内容・方法 等】 ・学力格差克服へ向けた中学校の授業実践に学ぶ
 ・大阪の人権教育は如何に進められてきたかについて知る
 ・中・高等学校が抱えている教育課題を踏まえ、自らの今後の課題をまとめる。
 【事前・事後学習課題】 レポート作成
- 評価方法(基準)**
 教職教室教員4名によるグループ学習が中心となる。それ故、それぞれのグループでのレポート評価を総合し評価する。
- 教材等**
 教科書…「教育実習記録」(摂南大学)
 教育実習で使用した各教科書・教材
 参考書…資料等は授業中に適宜配布
- 学生へのメッセージ**
 教育実習を終えた時点で各自が自らの実習を省察すること。そ

の中で、問題点を見出し、諸課題を自ら設定し、この科目を軸にししながら、全体講義やグループワークを通して課題克服を目指しながら、さらなる実践的力量を身に付けること。

関連科目

全ての教職課程必修科目、取得予定免許状に関わる各教科毎の必修科目

担当者の研究室等

教職教室(7号館3階)
 深川八郎、村田俊明、朝日素明、吉田佐治子

職業指導 Vocational Guidance				
水野 武 (ミスノ タケシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	教免取得上 必修	4

授業概要・目的・到達目標

職業教育や進路指導においては、職業構造や職種・業種内容について学んだり資格取得や技能訓練などを促進したりするばかりでなく、社会や産業構造の変化の中で自分はいかに生きていくかという「生き方の設計」について学ぶことが重要です。本科目を通して学生は、キャリア教育の理論と実践について理解を深めるとともに、経済社会・産業界の変化と職業指導に与える影響などについて知見を広め、「生き方の設計」の指導者としての資質能力の基礎を身につけます。

授業方法と留意点

講義と受講生による報告・討議を織り交ぜて進めます。講義では都度課題を提示し、その内容を元に受講者間で話し合いを行って頂きます。尚、遅刻等は厳禁です。

科目学習の効果(資格)

工業科に関する職業指導の基礎知識が身に付く

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
 【内容・方法 等】 授業概要の説明、職業の定義、職業指導の概念整理
 【事前・事後学習課題】 本科目のシラバスを熟読
- 第2回** 【授業テーマ】 職業指導の基礎理論
 【内容・方法 等】 職業指導における基本的な考え方、手法
 【事前・事後学習課題】 職業指導に関する資料を熟読
- 第3回** 【授業テーマ】 職業指導の歴史①
 【内容・方法 等】 アメリカ・ヨーロッパを中心に職業指導の経緯を知る
 【事前・事後学習課題】 欧米の職業指導に関する資料を熟読
- 第4回** 【授業テーマ】 日本の産業構造の変化
 【内容・方法 等】 日本の産業、雇用事情の変化を知る
 【事前・事後学習課題】 日本の産業史に関する資料を熟読
- 第5回** 【授業テーマ】 職業指導の歴史②
 【内容・方法 等】 日本の戦後の教育改革について
 【事前・事後学習課題】 日本の戦後の教育改革についての資料を熟読
- 第6回** 【授業テーマ】 日本型雇用と職業指導
 【内容・方法 等】 日本における雇用システムの変容と職業指導の関わり
 【事前・事後学習課題】 日本型雇用の見通しについて考える
- 第7回** 【授業テーマ】 新規高卒就職システム
 【内容・方法 等】 新規高卒労働市場の変容と現状
 【事前・事後学習課題】 高卒労働市場に関する資料を熟読
- 第8回** 【授業テーマ】 高等学校における職業指導
 【内容・方法 等】 各種学校における職業指導の在り方について
 【事前・事後学習課題】 職業指導の事例を調査
- 第9回** 【授業テーマ】 「労働すること」を考える
 【内容・方法 等】 仕事をするものの意義を考える
 【事前・事後学習課題】 授業後は自らの労働観を持つようにする
- 第10回** 【授業テーマ】 職業指導の領域
 【内容・方法 等】 学校、家庭、地域コミュニティ、公的機関等職業指導がなされる「場」について考える
 【事前・事後学習課題】 職業指導領域に関する資料を熟読
- 第11回** 【授業テーマ】 キャリア教育の基礎理論①
 【内容・方法 等】 キャリアデザインにおける基礎理論を知る
 【事前・事後学習課題】 キャリアデザイン理論についての資料を熟読
- 第12回** 【授業テーマ】 キャリア教育の基礎理論②
 【内容・方法 等】 キャリアデザインにおける基礎理論を知る
 【事前・事後学習課題】 キャリアデザイン理論についての資料を熟読
- 第13回** 【授業テーマ】 授業内容立案

- 【内容・方法 等】 高校生向けの職業指導・キャリア教育に関する授業内容を立案する
- 第14回 【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備をする
【授業テーマ】 模擬授業①
【内容・方法 等】 講義13で立案した内容で模擬授業を実施
- 第15回 【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備をする
【授業テーマ】 講義の振り返り
【内容・方法 等】 講義の振り返り、前期の中間レポートの提出
- 第16回 【事前・事後学習課題】 前期の中間レポートの準備
【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 後期授業概要の説明
【事前・事後学習課題】
- 第17回 【授業テーマ】 商業教育と職業指導
【内容・方法 等】 商業高校における職業指導について
【事前・事後学習課題】 商業高校の職業指導事例に関する資料を熟読
- 第18回 【授業テーマ】 工業教育と職業指導
【内容・方法 等】 工業高校における職業指導について
【事前・事後学習課題】 工業高校の職業指導事例に関する資料を熟読
- 第19回 【授業テーマ】 人権教育としての職業指導
【内容・方法 等】 職業指導の国際基準、ハンディキャップがある生徒への職業指導
【事前・事後学習課題】 提示する資料を熟読
- 第20回 【授業テーマ】 フリーター・ニートについて
【内容・方法 等】 グループ（またはペア）でフリーター・ニート対策を考える
【事前・事後学習課題】 フリーター・ニート問題に関する資料を熟読し、発表できるよう準備
- 第21回 【授業テーマ】 職業適性とは何か？
【内容・方法 等】 職業適性、各種アセスメントについて
【事前・事後学習課題】 自らの適性の活かし方を考える
- 第22回 【授業テーマ】 高校生の就業力について
【内容・方法 等】 新規高卒者が求められる就業力について
【事前・事後学習課題】 就業力育成のための企画を考える
- 第23回 【授業テーマ】 職業指導・キャリア教育の実例①
【内容・方法 等】 地方も含めた職業指導の事例紹介
【事前・事後学習課題】 配布資料を精読
- 第24回 【授業テーマ】 職業指導・キャリア教育の実例②
【内容・方法 等】 地方も含めた職業指導の事例紹介
【事前・事後学習課題】 配布資料を精読
- 第25回 【授業テーマ】 就業力向上企画を立案①
【内容・方法 等】 高校生の就業力向上のための企画・授業を考える
【事前・事後学習課題】 企画立案にあたっての事前情報を収集すること
- 第26回 【授業テーマ】 就業力向上企画を立案②
【内容・方法 等】 25回目で考えた内容を発表する
【事前・事後学習課題】 発表の準備
- 第27回 【授業テーマ】 キャリアカウンセリング理論①
【内容・方法 等】 自己概念を中心としたキャリア発達
【事前・事後学習課題】 自己概念に関する資料を精読
- 第28回 【授業テーマ】 キャリアカウンセリング理論②
【内容・方法 等】 環境との相互作用によるキャリア行動の発達
【事前・事後学習課題】 配布資料を精読
- 第29回 【授業テーマ】 キャリアカウンセリング理論③
【内容・方法 等】 学習理論からのアプローチ
【事前・事後学習課題】 学習理論に関する資料を熟読
- 第30回 【授業テーマ】 まとめ/講義の振り返り

評価方法（基準）

講義内での課題、提出物、レポート、授業への積極的参加、レポートの提出状況およびその内容、報告や討議の内容も加味して、成績を判定します。

また、前期最終時に中間レポートを実施します。

教材等

教科書…講義の中で必要に応じてレジュメ配布をします。

参考書…『ノンキャリア教育としての職業指導』ナカニシヤ出版（斎藤武雄・佐々木英一・田中喜美・依田有弘）

ほか、授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ

「職業指導」について学ぶとともに、自らの勤労観・職業観を養い、経済社会・産業界の状況に対応して自らの進路を切り開いていってください。特に後期は就職活動と並行しての受講となるので、自らの経験と照らし合わせながら、高校生に対する指導について考えてみてください。

関連科目

教職科目全般。特に「生徒指導論」に関連する事柄を含みます。また「特別活動論」にも近接します。

担当者の研究室等

3号館4階（キャリア教育推進室）

